

講義内容 2007

経営学部

 **KOMAZAWA UNIVERSITY**

開校125年 平成19年10月15日

# 講 義 内 容

## 目 次

### 経営学科フレックスA

I	全学共通科目	
1	宗教教育科目	11
2	教養教育科目	31
3	外国語科目	175
4	保健体育科目	341
II	専門教育科目	399
III	他学部履修科目	533
IV	「日本語」・「日本事情」科目	579

### 経営学科フレックスB

I	全学共通科目	
1	宗教教育科目	611
2	教養教育科目	619
3	外国語科目	653
4	保健体育科目	689
II	専門教育科目	707
III	他学部履修科目	785

経営学科フレックスA	全学共通科目	宗教教育 教養教育 外国語 保健体育
		専門教育
		他学部履修科目
		「日本語」 「日本事情」
経営学科フレックスB	全学共通科目	宗教教育 教養教育 外国語 保健体育
		専門教育
		他学部履修科目

# 経営学科フレックスA

# I 全 学 共 通 科 目



# 1. 宗教教育科目

## 1. 宗教教育科目

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
仏教と人間	営A1必	通年	4	村松 哲文	11
仏教と人間	営A1必	通年	4	吉村 誠	11
仏教と人間	営A1必	通年	4	伊藤 隆壽	12
仏教と人間	営A1必	通年	4	吉村 誠	13
仏教と人間〔再クラス〕	全学科（フレB除く）234年	通年	4	吉津 宜英	14
仏教と人間〔再クラス〕	全学科（フレB除く）234年	通年	4	下室 覚道	15
仏教と人間〔再クラス〕	全学科（フレB除く）234年	通年	4	松田 陽志	15
仏教と人間〔再クラス〕	全学科（フレB除く）234年	通年	4	晴山 俊英	16
文化と宗教	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経商現営A放選	通年	4	佐藤 憲昭	17
社会と宗教	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経商現営A放選	通年	4	矢野 秀武	18
自然と宗教	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経商現営A放選	通年	4	小川 順敬	18
坐禅	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経商現営A放選	半期	2	佐藤 秀孝 熊本 英人	19

科目名	仏教と人間	開講	通年	単位	4
配当	堂A1必				
担当者名	村松 哲文 <small>むらまつ てつみ</small>				

講義のねらい

東洋世界で生きている我々にとって、仏教は身近な宗教のはずである。ところが案外と知らないことが多いのではないだろうか。いうまでもなく駒沢大学は、仏教精神により建てられた大学である。本学に在籍していることも何かの縁であり、これを機会に仏教を知り、深遠な仏教世界を理解してもらいたい。本講義では、釈尊の生涯、仏教の伝播などについて考察し、宗教の存在意義や宗教と人間との関わりについて考えを深めてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

釈尊の生涯（1～3）、釈尊の教え（4～8）、経典の内容（9～12）、仏教的世界観（13～14）、大乘仏教と小乗仏教（15・16）中国の仏教受容（17）、中国仏教の展開（18）、日本の仏教受容（19）、日本仏教の展開（20）、仏教と仏画で見る仏教（21～30）

履修上の留意点

仏教が日常の社会・生活に如何に関わっているのか考えながら講義に臨むこと。

成績評価の方法

定期試験、レポート、授業態度、出席率などを総合的に評価する。

教科書

適宜プリントを配布する。

参考書等

講義中に紹介する。

科目名	仏教と人間	開講	通年	単位	4
配当	堂A1必				
担当者名	吉村 誠 <small>よしむら まこと</small>				

講義のねらい

駒沢大学の建学の理念である「仏教」について理解を深めてもらうための講義です。仏教が現代に生きる私たちにとっていかなる意味を持ち、いかなる役割を果たすのかということを学問的見地から考察してゆきます。

前期は、仏教の開祖ブッダ（釈尊、紀元前5世紀頃）の思想と、その後発展した大乘仏教（紀元後1世紀頃）の特徴について概説します。後期は、仏教と日本文化の関係について、空海（774-835）がもたらした密教の世界観と、道元（1200-1253）が究めた禅の人間観とを中心に検討します。

講義の内容・授業スケジュール

（前期）（1）ブッダの生涯 （2）ブッダの観たもの （3）ブッダ最初の説法 （4）仏教の実践教義 （5）業と輪廻 （6）真理の言葉 （7）ブッダ最後の旅 （8）無我から空へ （9）菩薩とは誰か （10）仏像の誕生 （12）大乘仏教の伝播 （13）お盆の話  
（後期）（1）お彼岸の話 （2）日本への仏教伝来 （3）国家と仏教 （4）最澄と空海の入唐 （5）密教のコスモロジー （6）共生の世界 （7）神と仏のシンクレティズム （8）浄土への憧憬 （9）禅と無の境地 （10）栄西と道元の入宋 （11）自己の探求 （12）禅と生活文化 （13）仏教と現代

履修上の留意点

授業は講義形式なので、ノートの準備が必要です。また、講義内容は仏教の理解が次第に深まるように構成してありますので、欠席しないようにしてください。

成績評価の方法

出席状況と試験などを総合して評価します。

教科書

プリントを使用します。

科目名	仏教と人間	開講	通年	単位	4
配当	営A1必				
担当者名	伊藤 隆壽 <small>いとう たかとし</small>				

講義のねらい

本講座は、建学の理念に基づき、「仏教」や「禅」についての正しい知識を身につけることを目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 仏になる教え
2. 中道
3. 八正道
4. 菩薩の道
5. 成仏への道
6. 念仏
7. 唱題
8. 禅
9. 信仰と社会

履修上の留意点

教科書は早めに購入し、前期中に各自通読すること。

成績評価の方法

評価は年度末の試験によるが、授業への出席状況も考慮するので欠席しないこと。

教科書

松本史朗著『仏教への道』（東京書籍）1,400円

参考書等

主要参考書は、水野弘元著『仏教要語の基礎知識』（春秋社）1,600円

科目名	仏教と人間	開講	通年	単位	4
配当	営A1必				
担当者名	吉村 誠 <small>よしむら まこと</small>				

講義のねらい

駒澤大学の建学の理念である「仏教」について理解を深めてもらうための講義です。仏教が現代に生きる私たちにとっていかなる意味を持ち、いかなる役割を果たすのかということを学問的見地から考察してゆきます。

前期は、仏教の開祖ブッダ（釈尊、紀元前5世紀頃）の思想と、その後に発展した大乘仏教（紀元後1世紀頃）の特徴について概説します。後期は、仏教と日本文化の関係について、空海（774-835）がもたらした密教の世界観と、道元（1200-1253）が究めた禅の人間観とを中心に検討します。

講義の内容・授業スケジュール

（前期）（1）ブッダの生涯 （2）ブッダの観たもの （3）ブッダ最初の説法 （4）仏教の実践教義 （5）業と輪廻 （6）真理の言葉 （7）ブッダ最後の旅 （8）無我から空へ （9）菩薩とは誰か （10）仏像の誕生 （12）大乘仏教の伝播 （13）お盆の話  
（後期）（1）お彼岸の話 （2）日本への仏教伝来 （3）国家と仏教 （4）最澄と空海の入唐 （5）密教のコスモロジー （6）共生の世界 （7）神と仏のシンクレティズム （8）浄土への憧憬 （9）禅と無の境地 （10）栄西と道元の入宋 （11）自己の探求 （12）禅と生活文化 （13）仏教と現代

履修上の留意点

授業は講義形式なので、ノートの準備が必要です。また、講義内容は仏教の理解が次第に深まるように構成してありますので、欠席しないようにしてください。

成績評価の方法

出席状況と試験などを総合して評価します。

教科書

プリントを使用します。

科目名	仏教と人間〔再クラス〕	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	よしづ よしひで 吉津 宜英				

講義のねらい

まず最初にこの科目名は「仏教と人間」となっていますが、私は「宗教と人間」というぐらいに広く考えてゆきたいと思います。仏教を含めた宗教に対して皆さんはどんなイメージを抱き、どんな意見を持っているのでしょうか。すでに特定の宗教を信じている人もありましよう。これまで宗教に無関心な人や、宗教批判者もありましよう。私は宗教に対して肯定的な人にも、否定的な方にもまず宗教や仏教への正しい知識を持ってもらいたいと思います。宗教は政治、経済、科学技術、教育、芸術などと並んで人間の文化の一翼を担っています。太古から様々な宗教が存在しています。ある宗教は一神を信仰しますが、また多くの神々を信仰したり、仏教のように仏を重んじるものもあります。なぜ人間は宗教を求めるのでしょうか。この講義ではまず宗教の多様性の確認から始めます。そして宗教は社会の中でどのような機能を果たしているのかを考えます。また宗教をめぐる様々な問題点を取り上げます。宗教は人々の幸福を成就する目的を持っているのに、民族紛争などと絡んで宗教戦争が起き、多くの不幸な人々が出てしまう問題もあります。宗教は個人が何かを信じていれば他に迷惑をかけないですむと思うのですが、宗教集団が成立すると公共の福祉に反する社会的問題も引き起こします。講義全体としては仏教を含めた宗教の功罪両面を考察してゆくことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

前期には宗教の様々な形態について概説します。世界の諸宗教の中で仏教の特色を明らかにします。後期は仏教を含めた宗教と人間社会や世界の様々な問題を取り上げます。新靈性運動（new spirituality movement）という新しい宗教運動にも注目します。また靖国神社問題を始めとする政教分離の課題、宗教原理主義の問題、人権と宗教の関連性、脳死の是非、クローン人間の問題、遺伝子工学と宗教倫理などのテーマを順次取り上げていきます。毎回、あるタイトルを掲げて講義を行います。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。講義を筆記すると同時に自分の意見や疑問を書き留め、年間を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいものです。

成績評価の方法

毎回出席を取ります。年間2、3回課題の提出を依頼します。最後に期末試験を行います。それらを総合して成績評価を行います。

教科書

特に使用しません。できるだけ参考資料としてプリントを配布します

参考書等

講義の中で随時参考図書を紹介します。

その他

私が講義中であっても挙手して質問や意見を述べて下さい。私語は厳禁です。あまり目立つ時は退場を要請します。講義開始時間から30分過ぎていたら教場に入らないで下さい。

科目名	仏教と人間〔再クラス〕	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	下室 覚道 <small>しもむろ かくどう</small>				

講義のねらい

日本は仏教国といわれるが、どれほどの人が仏教について理解しているであろうか。本講義では、仏教の開祖である釈尊の生涯や基本的な教え、そして仏教の伝播などについて考察し、宗教の存在意義や宗教と人間との関わりについて考えていきたい。また、仏教と現代社会のさまざまな問題についても考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

釈尊の生涯とその教え、仏教の伝播について学んでいく。特に伝播過程において日本の曹洞宗の開祖である道元禪師についてはより細かく取り上げていきたい。また、仏教と現代社会の問題においては、臓器移植や人権の問題に関して随時紹介していきたい。

成績評価の方法

授業の出席状況、レポート、年度末試験により評価する。

教科書

プリントを随時配布する。

参考書等

松尾剛次『仏教入門』（岩波ジュニア新書）  
水野弘元『仏教要語の基礎知識』（春秋社）

科目名	仏教と人間〔再クラス〕	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	松田 陽志 <small>まつだ ようし</small>				

講義のねらい

本学が建学の理念とする仏教・禅の考え方について講義する。インドに生まれた仏教はアジア各地にさまざまに変容しながら伝えられた。釈尊（釈迦牟尼世尊）の生涯を仏伝（釈尊の伝記）の記述などによってたどりながら、インドのヒンドゥー文化圏の中で、釈尊の抱えた課題とその説き示した初期仏教の内容を捉えることで、われわれが身近に感ずる仏教の性格との違いについて考える。

講義の内容・授業スケジュール

最初に本学が禅・曹洞宗を母胎として創立されたことを歴史的に概観したあと、釈尊の生涯を仏伝の記述によって理解する。釈尊以後の仏教教団によってまとめられる仏伝が、釈尊の教えの独自性を、釈尊の生涯を記述するなかでどのように表現しようとしたのかを、具体的に検討する。特に釈尊の生きたインドのヒンドゥー教の性格や、その中で釈尊自身が何を求めて出家し、成道において何をさとり、伝道の旅の中で人々に対しておこなった説法の意義について考える。またインドを離れ中国・日本へと伝えられた仏教がどのようにその教えを展開・変容させていったのかについても講義する。

履修上の留意点

インドの宗教風土の中で釈尊の求めたものと、現在の日本や中国での仏教（大乘仏教）のとりえ方に違いがあることを踏まえ、講義を通じて自分が考える「仏教」がどのような性格を持っているのかということを考えてもらいたい。

成績評価の方法

毎回の出席点に加えて、前期末のレポートと年度末試験によって評価する。

教科書

特に指定しない。配布プリントにしたがって講義する。

参考書等

随時紹介する。

科目名	仏教と人間〔再クラス〕	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	はれやま しゆんえい 晴山 俊英				

講義のねらい

仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依ろうが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。

講義の内容・授業スケジュール

釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本における仏教の展開と主な人物、特徴を概説していく。

履修上の留意点

仏教が何らかの展開する際には、必ず人間の何らかの要請が介在していると思われる。本講義を通じて、そういった人間の要請というものを考察されたい。

成績評価の方法

期末試験に出席の状況（不定期に出欠をとります）を加味して評価する。

教科書

特になし。板書が中心となる。

参考書等

授業において必要があれば適宜指示する。

その他

試験は自筆ノートのみ持ち込み可で、試験範囲を限定することはしません。従って欠席した分については自己責任で対処すること。



科目名	文化と宗教	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現営A放選				
担当者名	佐藤 憲昭 <small>さとう のりあき</small>				

講義のねらい

私たちは自分の好みに合わせて、例えば、服装の色を選択しているが、冠婚葬祭などにおいては当該社会に伝承され、社会で期待されている色彩の服装を身につけるのがふつうである。色彩の問題は服装ばかりではなく、多方面に及んでいる。しかも色彩の象徴的意味は、民族が異なると正反対の意味をもつなど、決して人類に普遍的なものではない。この講座では、内外の事例を紹介しながら、カラー・シンボリズムとその周辺の諸問題に焦点を合せて考察し、「文化と宗教」の問題に接近してみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

次のテーマのもとに具体的に考察する。

1. 人類学の視点と方法、
2. 文化の概念、
3. 文化の特質と機能、
4. 文化と社会構造、
5. 文化人類学・民俗学における色彩の研究小史、
6. 通過儀礼におけるカラー・シンボリズムとその周辺の諸問題、
7. 仏教儀礼におけるカラー・シンボリズムとその周辺の諸問題、
8. 王権のカラー・シンボリズム、
9. 宗教的職能者のカラー・シンボリズム、
10. 総括。

履修上の留意点

ときどき出席をとるので、欠席をする場合（または出席をした場合）には、欠席届（形式は任意）を提出することが望ましい。

成績評価の方法

学年末の筆記試験で評価する。合格の基準は、講義内容を踏まえて、みずからの言葉でどのように論じているかという点にある。なお、不合格の場合には、出席点とりポート点（4年生のみ該当）を加算して最終評価を行う。4年生のみの提出りポートは、次の通りである。【課題】教科書を読み、その感想文を作成する。【字数】2000字。【提出先と時期】12月までの授業時に随時受けつける。【その他】ワープロ作成可。ただし、授業時以外は受理しない。4年生は必ず提出のこと。

教科書

佐々木宏幹『神と仏と日本人――宗教人類学の構想――』（吉川弘文館）

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	社会と宗教	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現営A放選				
担当者名	やの ひでたけ 矢野 秀武				

講義のねらい

宗教は、心の次元の事柄であり、深い精神性に関わり、また言い尽くしがたい個々人の思いや人生と密接なつながりをもっている。しかし、それらの信仰心や宗教活動は、特定の時代や地域、あるいは性差による違いなど、社会的・文化的な影響を帯びているものでもある。さらに、宗教思想や宗教活動が、社会に何らかの影響を及ぼすこともある。本講義では、このような宗教と社会との様々な関わりについて学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期はおもに、宗教集団の形成や変容の過程、カルト問題、現代文化における儀礼・祭礼や精霊信仰などをとりあげ、宗教社会学と宗教学人類学に関わる基礎知識を学ぶ。後期は、戦争やテロリズムなどの社会的暴力、ナショナリズム、民主主義、法律、教育、福祉活動といったテーマと宗教の接点を取りあげ、宗教が私的な信仰心の側面だけではなく、社会一般の制度と関わる公的側面を持っている点について解説する。

成績評価の方法

レポートと年度末の筆記試験を総合して評価を行なう。レポートは夏期休暇前に課題を提示する。レポートや試験形式、その他授業の基本的な約束事は、初回の授業で述べる。

参 考 書 等

授業時に随時紹介する。

科目名	自然と宗教	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現営A放選				
担当者名	おがわ としゆき 小川 順敬				

講義のねらい

人間は古来から、自然のいとなみの背後に説明のつかない大きな力を感じ、自然の事物や、自然現象を崇拜の対象としてきたと言われます。それでは、人間は自然の背後にどのような“説明のつかない力”をみたのでしょうか。あるいは、自然を人間とのつながりでどのようにとらえ、考えてきたのでしょうか。

この講義では、宗教と自然との関わりという角度から、これらの問題を考えてゆくことにしたいと思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

まず最初に、宗教現象を考えていくための宗教学、宗教学人類学のいくつかの基本的な概念を概説、紹介します。その後、山と宗教、海と宗教、森と宗教、また仏教と自然、キリスト教と自然などのテーマを立て、具体的事例をあげながら人間と自然との宗教的な関わりを諸相を紹介していくことにしたいと思います。また、環境問題に対する仏教やキリスト教、新宗教、あるいは伝統宗教からの発言や取り組みを紹介し、その考え方や今日的評価・議論を概観、紹介する予定です。

成績評価の方法

評価は原則として、年2、3回の「小レポート試験」と年度末の筆記試験により行います。なお小レポートとは別に、夏期休暇前に「夏期レポート」課題を出しますが、提出は受講者の自由意志とします。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教 科 書

原則として教科書は用いません。

参 考 書 等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名	坐禅	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現営A放選				
担当者名	さとう しゆこう くまもと えいじん 佐藤 秀孝・熊本 英人				

## 講義のねらい

駒澤大学では建学の理念に基づき宗教教育科目が設けられ、その中に「坐禅」の授業があります。本授業は、仏教学部だけではなく広く一般学生に門戸を開き「坐禅」の世界を知ってもらうことを、その目的としています。他大学では経験できない、駒澤ならではの授業が「坐禅」といえるでしょう。坐禅に触れることによって、本学の良さを味わい、学生生活の貴重な体験としてもらいたいと思い、この授業を進めるものです。

今、私たちの周りでは、さまざまな宗教が声高に叫んでいます。反面、多くの人は何を拠り所にしてよいか不安感が募っています。基本的な人生観を学生時代にこそ考え培いたいものです。

坐禅は、決して特殊な精神状態を作るものではありません。姿勢を整え、静けさの中で自己を見つめるのです。初めはぎこちないかもしれませんが、何回か経験するうちに静けさに落ちつきを感じることでしょう。

この授業では、初心者にも無理なく坐禅に親しめることに指導のポイントを置き、経験を積む中で、坐禅の静寂な時間に落ちつきと安らぎが感ぜられるよう実習を進めたいと思っています。併せて、坐禅の世界をより深く体得できるように、禅の歴史とその思想にも触れる時間を設けます。

## 講義の内容・授業スケジュール

半期単位ですので、全体で13回ほどの開講数が予定されます。その流れを以下のように進めます。

1～3 「坐禅の作法指導」(坐禅堂に即して基本的知識と、坐るに至るまでの作法を修得)

4～13 「坐禅実習」(1回の坐禅実習の時間は、初心者にも無理のない程度です)

(道元禅師の書かれた坐禅の指導書ともいえる『正法眼蔵-坐禅儀』を通して坐禅の本来の姿を学びます)

## 履修上の留意点

実習をその主なる内容としますので出席を重視します。特に、最初の3回は作法の説明がありますので必ず出席してください。また、まじめに授業を受けられることを要望します。事前登録科目ですので、他の受講希望者の迷惑となりますから、カラ登録や受講途中放棄はやめてください。

## 成績評価の方法

出席数、出席態度、レポートを総合して成績評価とします。

## 教科書

適宜、プリントにて配布します。

## 参考書等

『坐禅一講本一』(更生社) 2,226円

## 2. 教 養 教 育 科 目

## 2. 教養教育科目

・『授業時間表』の区分「B」の科目を履修する場合は、フレックスBの教養教育科目のページを参照してください。(P.619)

・配当学科

経営学科フレックスA…営A

経営学科フレックスB…営B

### (1) 人文分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
文学【2〔日本文学「近代」〕】	営A選	通年	4	川島 淳史	31
	営B選				
文学【5〔日本文学「近代」〕】	営A選	通年	4	石割 透	32
	営B選				
歴史学 【3〔古代オリエント史〕】	営A選	通年	4	大城 道則	33
	営B選				
芸術学【1〔日本美術〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商法A政営A選	通年	4	北野 良枝	34
芸術学【2〔西洋美術〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商法A政営A選	通年	4	矢野 陽子	35
芸術学【3〔音楽〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商法A政営A選	通年	4	浦本 裕子	36
哲学 【6〔近代の人間観と世界観〕】	営A選	通年	4	植野 公稔	37
哲学【9〔現代文明と人間〕】	営A選	通年	4	久保 陽一	38
	営B選				
論理学【5〔知の技法〕】	全学科（フレB除く）選	通年	4	伊古田 理	39
論理学 【6〔科学方法論と現代論理学〕】	営A選	通年	4	鈴木 聡	40
	営B選				
論理学【7〔知の技法〕】	全学科（フレB除く）選	通年	4	植野 公稔	41
科学史【1〔科学と技術〕】	国英地文環境歴日外考社福心営A選	通年	4	高橋 秀裕	42
倫理学【1〔人間観〕】	全学科（フレB除く）選	通年	4	古田 知章	43
倫理学【2〔応用倫理学〕】	全学科（フレB除く）選	通年	4	黒崎 剛	44
倫理学【3〔価値観〕】	全学科（フレB除く）選	通年	4	滝沢 正之	45
倫理学【4〔応用倫理学〕】	全学科（フレB除く）選	通年	4	麻生 享志	46
倫理学【5〔制度とモラル〕】	全学科（フレB除く）選	通年	4	滝口 清栄	47
倫理学【6〔東洋倫理〕】	全学科（フレB除く）選	通年	4	末木 恭彦	47
倫理学【7〔応用倫理学〕】	全学科（フレB除く）選	通年	4	黒崎 剛	48
宗教学【1〔比較宗教文化〕】	全学科（フレB除く）選	通年	4	池上 良正	49
	経B法B営B選				
宗教学【2〔聖と俗〕】	全学科（フレB除く）選	通年	4	田中 かの子	50
	経B法B営B選				
宗教学【3〔世界観と儀礼〕】	全学科（フレB除く）選	通年	4	小川 順敬	51
	経B法B営B選				

宗教学【4〔日本人の宗教〕】	全学科(フレB除く)選	通年	4	矢野 秀武	51
	経B法B営B選				
宗教学【5〔生活と宗教〕】	全学科(フレB除く)選	通年	4	菅原 壽清	52
	経B法B営B選				
宗教学【6〔民俗宗教の諸相〕】	全学科(フレB除く)選	通年	4	浅川 泰宏	53
	経B法B営B選				
人文地理学【1〔風土と文化〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経商法A政営A選	通年	4	山口 太郎	54
人文地理学【2〔風土と文化〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経商法A政営A選	通年	4	高橋 健太郎	55
人文地理学【3〔空間と行動〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経商法A政営A選	通年	4	伊藤 修一	56
人文地理学【4〔空間と行動〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経商法A政営A選	通年	4	伊藤 修一	57
教育の思想	経B法B営B234選	半期	2	豊田 千代子	58
教育の思想	経B法B営B234選	半期	2	北村 三子	58
教育の思想	法A政営A234選	半期	2	伊藤 茂樹	59
	経B法B営B234選				
教育の思想	経B法B営B234選	半期	2	萩原 建次郎	60
教育の思想	商法A政営A234選	半期	2	坂本 信昭	61
	経B法B営B234選				
教育と社会	経B法B営B234選	半期	2	豊田 千代子	62
教育と社会	経B法B営B234選	半期	2	北村 三子	62
教育と社会	法A政営A234選	半期	2	伊藤 茂樹	63
	経B法B営B234選				
教育と社会	経B法B営B234選	半期	2	萩原 建次郎	64
教育と社会	商法A政営A234選	半期	2	坂本 信昭	65
	経B法B営B234選				
発達と学習の心理学	経A商法A政営A234選	半期	2	小倉 康仁	66
	経B法B営B234選				
発達と学習の心理学	経B法B営B234選	半期	2	大浜 幾久子	67
発達と学習の心理学	経A商法A政営A234選	半期	2	三國 隆子	67
	経B法B営B234選				
発達と学習の心理学	経A商法A政営A234選	半期	2	飯田 都	68
	経B法B営B234選				
発達と学習の心理学	経B法B営B234選	半期	2	角野 善司	69
カリキュラムと学習	経A商法A政営A234選	半期	2	小倉 康仁	70
	経B法B営B234選				
カリキュラムと学習	経B法B営B234選	半期	2	大浜 幾久子	70
カリキュラムと学習	経A商法A政営A234選	半期	2	三國 隆子	71
	経B法B営B234選				
カリキュラムと学習	経A商法A政営A234選	半期	2	杉山 二季	71
	経B法B営B234選				
カリキュラムと学習	経B法B営B234選	半期	2	角野 善司	72
フレッシュマンセミナー	禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A1選(19年度入学生のみ)	半期	2	萩原 義雄	73

フレッシュマンセミナー	禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A1選(19年度入学生のみ)	半期	2	佐原 作美	74
フレッシュマンセミナー	禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A1選(19年度入学生のみ)	半期	2	鈴木 裕子	75
フレッシュマンセミナー	禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A1選(19年度入学生のみ)	半期	2	坂口 博規	76
フレッシュマンセミナー	禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A1選(19年度入学生のみ)	半期	2	藺部 幹生	77
フレッシュマンセミナー	禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A1選(19年度入学生のみ)	半期	2	石割 透	78
フレッシュマンセミナー	禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A1選(19年度入学生のみ)	半期	2	小林 治	79
フレッシュマンセミナー	禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A1選(19年度入学生のみ)	半期	2	松田 直行	80
フレッシュマンセミナー	国英日外考心営A1選(19年度入 学生のみ)	半期	2	湯浅 陽子	81
日本文化基礎	禅仏国英地文環境日外考心政営 A12選	半期	2	佐原 作美	82
日本文化基礎	禅仏国英地文環境日外考心政営 A12選	半期	2	鈴木 裕子	82
日本文化基礎	禅仏国英地文環境日外考心政営 A12選	半期	2	坂口 博規	83
日本文化基礎	禅仏国英地文環境日外考心政営 A12選	半期	2	藺部 幹生	83
日本文化基礎	禅仏国英地文環境日外考心政営 A12選	半期	2	石割 透	84
日本文化基礎	禅仏国英地文環境日外考心政営 A12選	半期	2	小林 治	85
日本文化基礎	禅仏国英地文環境日外考心政営 A12選	半期	2	松田 直行	86
日本語文化基礎	禅仏国英地文環境日外考心政営 A12選	半期	2	萩原 義雄	87
日本語文化基礎	禅仏国英地文環境日外考心政営 A12選	半期	2	湯浅 陽子	88
日本文化研究IA	禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A選	通年	4	佐原 作美	89
日本文化研究IA	禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A選	通年	4	坂口 博規	89
日本文化研究IA	禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A選	通年	4	鈴木 裕子	90
日本文化研究IA	禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A選	通年	4	藺部 幹生	91
日本文化研究IIA	禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A234選	通年	4	佐原 作美	91
日本文化研究IIA	禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A234選	通年	4	鈴木 裕子	92

日本文化研究IIA	禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A234選	通年	4	坂口 博規	93
日本文化研究IIA	禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A234選	通年	4	菌部 幹生	94
日本文化研究IB	禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A選	通年	4	石割 透	95
日本文化研究IB	禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A選	通年	4	小林 治	96
日本文化研究IB	禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A選	通年	4	松田 直行	97
日本文化研究IIB	禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A234選	通年	4	石割 透	98
日本文化研究IIB	禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A234選	通年	4	小林 治	99
日本文化研究IIB	禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A234選	通年	4	松田 直行	100
日本語文化研究I	禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A選	通年	4	萩原 義雄	101
日本語文化研究I	禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A選	通年	4	湯浅 陽子	103
日本語文化研究II	禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A234選	通年	4	萩原 義雄	104
日本語文化研究II	禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A234選	通年	4	湯浅 陽子	106
実務表現	禅仏国英地文環境歴日外考心法 A政営A選	通年	4	萩原 義雄	107
実務表現	禅仏国英地文環境歴日外考法A 政営A選	通年	4	湯浅 陽子	108
日本文化テーマ研究A	禅仏国英地文環境歴日外考政営 A選	半期	2	佐原 作美	109
日本文化テーマ研究A	禅仏国英地文環境歴日外考政営 A選	半期	2	鈴木 裕子	109
日本文化テーマ研究B	禅仏国英地文環境歴日外考政営 A選	半期	2	佐原 作美	110
日本文化テーマ研究B	禅仏国英地文環境歴日外考政営 A選	半期	2	鈴木 裕子	110
日本文化テーマ研究C	禅仏国英地文環境歴日外考政営 A選	半期	2	坂口 博規	111
日本文化テーマ研究C	禅仏国英地文環境歴日外考政営 A選	半期	2	菌部 幹生	111
日本文化テーマ研究D	禅仏国英地文環境歴日外考政営 A選	半期	2	坂口 博規	112
日本文化テーマ研究D	禅仏国英地文環境歴日外考政営 A選	半期	2	菌部 幹生	112
日本文化テーマ研究E	禅仏国英地文環境歴日外考政営 A選	半期	2	石割 透	113



日本文化テーマ研究E	禅仏国英地文環境歴日外考政営 A選	半期	2	小林 治	114
日本文化テーマ研究F	禅仏国英地文環境歴日外考政営 A選	半期	2	石割 透	115
日本文化テーマ研究F	禅仏国英地文環境歴日外考政営 A選	半期	2	小林 治	116
日本文化テーマ研究G	禅仏国英地文環境歴日外考政営 A選	夏期集中	2	松田 直行	117
日本文化テーマ研究H	禅仏国英地文環境歴日外考政営 A選	半期	2	松田 直行	118

## (2) 社会分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
社会学 【5〔社会生活を考える〕】	営A選	通年	4	小畑 和	119
	営B選				
統計学 【1〔社会現象の統計的分析〕】	経A経商現営A選	通年	4	田中 正光	120
	経B営B選				
文化人類学 【3〔諸民族とコスモロジー〕】	営A選	通年	4	杉井 純一	121
	営B選				
文化人類学 【4〔諸民族とコスモロジー〕】	営A選	通年	4	矢野 秀武	122
	営B選				
法学・憲法【5〔法と権利〕】	営A選	通年	4	沼田 雅之	123
	営B選				
法学・憲法【7〔法と国家〕】	営A選	通年	4	新田 浩司	124
	営B選				
法学・憲法【12〔法と権利〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現政営A放選	夏期集中	4	池田 実	125
	経B営B選				
政治学【2〔政治システムと政治参加〕】	歴日外考社福心営A選	通年	4	富崎 隆	126
	営B選				
社会科学論 【〔社会認識の思想〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選	通年	4	大石 雄爾	127
	経B法B営B選				
教育学 【〔デス・エデュケーション〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選	通年	4	柳堀 素雅子	128
教育心理【大学生の心理－教育臨床心理学の立場から－】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選	通年	4	石橋 達也	129

## (3) 自然分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
生物学【3〔生物と環境〕】	禅仏国英営A選	通年	4	中村 敏枝	130
	営B選				
地球科学 【6〔自然景観の成り立ち〕】	営A選	通年	4	市川 清士	131
	営B選				
自然環境論【3〔生命と環境〕】	営A選	通年	4	坂巻 義章	132
	営B選				

自然環境論【7〔生命と環境〕】	営A選	通年	4	中村 敏枝	133
	営B選				
自然誌【2〔現代の自然像〕】	国英地文環境歴日外考社福心営A選	通年	4	清水 善和 篠原 正雄 山縣 毅	134
数学【1〔微積分学入門〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A選	通年	4	小沢 誠	135
数学【2〔線型代数学入門〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A選	通年	4	小沢 誠	136
数学【3〔現代数学入門〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A選	通年	4	福田 賢一	137
情報数学【〔情報と論理〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A選	通年	4	坂野井 和代	138
	経B法B営B選				
物理学【2〔光と物質〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福心営A選	通年	4	篠原 正雄	139
化学【1〔衣食住の化学〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福心営A選	通年	4	牧岡 良和	140
宇宙科学【1〔星と銀河〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選	通年	4	篠原 正雄	140
宇宙科学【2〔星と銀河〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選	通年	4	篠原 正雄	141
人類学【1〔人類の進化〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選	通年	4	篠田 謙一	142
人類学【2〔人類の進化〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選	通年	4	篠田 謙一	143
心理学【6〔人間関係を考える〕】	営A選	通年	4	鈴木 順一	144
	営B選				
心理学【7〔人間関係を考える〕】	営A選	通年	4	加藤 博己	145
	営B選				
心理学【12〔心を科学する〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A選	夏季集中	4	深堀 友覚	146
	経B法B営B選				

#### (4) 総合分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
総合I 1〔仏教と自然〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選	通年	4	四津谷 孝道	147
総合I 2〔仏教と社会〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選	通年	4	熊本 英人	148
総合I 3〔仏教と芸術〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選	通年	4	村松 哲文	149

総合II 1 [駒澤大学の歴史]	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選	通年	4	熊本 史雄 大城 道則 小泉 雅弘 佐々木 真 杉山 清彦 廣瀬 良弘	150
総合II 2 [自然観察入門富浦をめぐる人と自然]	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選	通年	4	清水 善和 漆原 和子 小沢 誠 小高 昭一 坂野井 和代 桜井 邦夫 篠原 正雄 柳澤 紀夫 山縣 毅	151
総合III 1 [人権と社会問題]	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A放選	通年	4	ピアス、D. M.	152
総合III 2 [欧米の教育と日本の教育]	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A放選	通年	4	岡崎 寿一郎	153
総合III 3 [フランス現代文化史]	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A放選	通年	4	桑田 禮彰	154
総合IV 1 [現代アメリカ事情]	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A放選	通年	4	林 明人	154
総合IV 2 [シアトル市のNPOとまちづくり]	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A放選	通年	4	西村 祐子	155
総合IV 3 [ポスト・モダンの世界]	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A放選	通年	4	丸小 哲雄	156
総合V				休講	
総合VI 1 [民族とは何か]	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選	通年	4	大野 祐二	157
総合VI 2 [イスラム]	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選	通年	4	吉田 京子	157
総合VI 3 [フェミニズム・ジェンダー]	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選	通年	4	早川 紀代	158
総合VII 1 [トラブルと法的解決]	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選	通年	4	高橋 洋城 川口 幸美 竹中 智香 原田 啓一郎 藤本 茂 松村 格	159
総合VII 2 [都市論]	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選	通年	4	内海 麻利 浦田 早苗 坂井 文 早川 純貴 堀内 康史	160

科目名	文学【2〔日本文学「近代」〕】	開講	通年	単位	4
配当	営A選 営B選				
担当者名	かわしま あつし 川島 淳史				

講義のねらい

日本の近代文学はどのように成立し、発展していったのか。明治二十年代から四十年代までの時代状況を見据えつつ、近代文学の成立過程を考察していきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

今年度は、森鷗外・樋口一葉・泉鏡花・広津柳浪・内田魯庵・徳富蘆花・夏目漱石などの作品を取り上げ、考察する。

履修上の留意点

予告された作品は必ず読んでおくこと。講義の終わりに短い感想文を書いてもらうこともある。

成績評価の方法

レポート・出席状況・小テストなどによって評価する。欠席が三分の一に達した者は、いかなる理由があろうとも単位は認定しない。

教科書

必要に応じてプリントなどを配布するが、文庫本などの入手しやすいものは各自購入してもらう。

参考書等

その都度、講義の中で指示する。

科目名	文学【5〔日本文学「近代」〕】	開講	通年	単位	4
配当	営A選 営B選				
担当者名	いしわり とおる 石割 透				

講義のねらい

〈秘密〉〈人工空間〉〈変身〉をめぐって－日本近代文学における－  
日本近代文学において、特に明治三十年代以後の作品を対象にして、個々の人間の内に潜む〈秘密〉、夢想される人工楽園、理想郷、人工庭園、また〈ドッベルゲンガー〉、女性の〈男装〉、〈変身〉、〈模造人間〉の表象のもつ意味を考えていき、その奥に潜む時代の問題を検討していく。扱う作品は、島崎藤村「破戒」、田山花袋「蒲団」、谷崎潤一郎「刺青」、永井荷風「地獄の花」「闇の叫び」、島崎藤村「旧主人」、谷崎潤一郎「秘密」、芥川龍之介「鼻」「開化の殺人」「奉教人の死」「庭」「河童」「二つの手紙」、他菊池幽芳、江戸川乱歩などを自由に絡めて検討していき、日本近代の問題を浮きあがらせていく。

講義の内容・  
授業スケジュール

個人を自覚することとは、個人の内なる〈秘密〉を自覚することであるとの前提をもとに、まず、日露戦争前後の日本文学を検討していく。谷崎潤一郎「刺青」あたりから始め、前期は「みだれ髪」「乳姉妹」「地獄の花」から「破戒」「蒲団」「秘密」。後期に人工庭園、ドッベルゲンガーなどについての作品をとりあげていく予定。「幫間」「二つの手紙」「奉教人の死」「金色の死」「パノラマ島奇譚」など

履修上の留意点

前もって、その授業で扱う内外の作品をできるだけ読んで授業にのぞむこと。図書館などに積極的に足を運ぶように。

成績評価の方法

年2、3回のレポート提出。出席状況を重視する。

教科書

特に指示しないが、扱うほとんどの作品は、文庫本で読める。

参考書等

授業時に指示する。

その他

講義形式で進める。プリントなどは必要な際に、その都度準備する。

科目名	歴史学【3〔古代オリエント史〕】	開講	通年	単位	4
配当	営A選 営B選				
担当者名	おおしろ みのり 大城 道則				

講義のねらい

古代オリエント世界と古代地中海世界との交流関係について具体例を挙げつつ紹介し、当時の歴史背景や研究上の問題点などを解説・指摘する。

講義の内容・授業スケジュール

ヨーロッパ世界の起源である古代地中海世界は、様々な文明と多様な文化が接触・交錯し、相互に影響を与え合い、共存する場であった。我々は、ヨーロッパ世界を理解するために、その根源である古代地中海世界について考える必要がある。そのため本講義では、古代エジプト文明の成立から、古代ギリシアを通して、古代ローマ帝国の地方都市である埋没都市ポンペイや隊商都市パルミラの歴史までを取り扱う。

前期

- (1) 地中海世界の中のエジプト
- (2) 古代エジプト形成期（統一王朝の出現）
- (3) 古王国時代のエジプト（ピラミッドの発展過程）
- (4) 古王国時代のエジプト
- (5) 新王国時代のエジプト
- (6) メソポタミアの古代都市
- (7) 鉄の王国ヒッタイト

後期

- (8) 古代エーゲ文明の成立
- (9) 東方化の時代と大植民時代
- (10) エトルリア文明
- (11) 古代ローマ皇帝伝
- (12) 火山で埋もれた都市ポンペイ
- (13) 古代ローマ人の食生活
- (14) 砂漠の隊商都市パルミラの歴史

履修上の留意点

お互いの信頼関係のため講義中の携帯電話および遅刻・退室は禁じる。配布したプリントはファイルし、毎回講義に持参すること。

成績評価の方法

学年末試験、出席率、受講態度により総合的に評価する。

教科書

講義の際には講義内容に則したプリントを配布する。

参考書等

大城道則『古代エジプト文化の形成と拡散—ナイル世界と東地中海世界—』（ミネルヴァ書房）

その他

画像を多用するためパワーポイントを使用する。

科目名	芸術学【1〔日本美術〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商法A政営A選				
担当者名	きたの よしえ 北野 良枝				

講義のねらい

室町時代から江戸時代に至る日本絵画の流れを、中国およびヨーロッパとの関係に留意しつつ概説する。美術の歴史を理解するにあたって、常に作品を参照する必要があるため、授業では毎回、作品を映写する。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期 室町から桃山時代の絵画  
 (1) ガイダンス (2) 絵画に関する基礎知識  
 (3)～(7) 室町時代の水墨画 (8) 阿弥派  
 (9) 関東水墨画 (10) 土佐派  
 (11) 狩野正信・元信 (12)～(13) 狩野永徳と桃山画壇  
 後期 江戸時代の絵画  
 (14) 江戸時代の狩野派 (15)～(18) 琳派  
 (19)～(20) 浮世絵 (21) 南蘋派  
 (22) 文人画 (23) 秋田蘭画と司馬江漢  
 (24) 円山四条派 (25) 伊藤若冲と曾我蕭白  
 (26) 江戸から明治へ

履修上の留意点

授業中の私語は厳禁。

成績評価の方法

学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

参考書等

映写した作品を確認するには、下記のような美術全集があり、いずれも駒沢大学図書館に所蔵されている。  
 『原色日本の美術』(小学館)  
 『日本美術全集』(学習研究社)  
 『日本美術絵画全集』(集英社)  
 『日本美術全集』(講談社)

科目名	芸術学【2〔西洋美術〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商法A政営A選				
担当者名	矢野 <sup>やの</sup> 陽子 <sup>ようこ</sup>				

講義のねらい

ひとつの美術作品が制作されるにあたっては、芸術家の個性や技術のみならず、その時代と地域の宗教・文化・政治状況などさまざまな要因も関係しています。この講義では私たちとは異なる文化から生まれた西洋美術のうち、およそ16世紀から18世紀まで、つまりルネサンス期から革命期頃までのフランス美術を、絵画を中心に取り上げます。まず美術の主要な流れを把握し、作品に表現された内容とその表現様式の特徴を考えます。さらに芸術家と注文主や鑑賞者との関係、美術が社会のなかで占めていた位置についても考察していきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期 16世紀および17世紀のフランス美術  
後期 18世紀のフランス美術

履修上の留意点

スライドで作品を見ながら講義を進めるので、授業にはなるべく遅刻欠席をせず続けて出席するようにしてください。

成績評価の方法

夏休みの課題としてのレポートと学年末の試験によって評価する予定です。レポートや試験の形式などは授業中に説明します。

参考書等

授業中に適宜参考文献を紹介します。

その他

授業では毎回スライドを使用します。



科目名	芸術学【3〔音楽〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商法A政営A選				
担当者名	浦本 <sup>うらもと</sup> 裕子 <sup>ゆうこ</sup>				

講義のねらい

音楽は私たちの回りに溢れている。さまざまなメディアから音楽が流れ、カラオケも今や世界共通語にまでなった。社会のグローバル化が進み、音楽も世界のものが聴けるようになり、ジャンルもボーダーレスになってきた。日本では、演歌など一部のを除けば、流れている音楽のほとんどがヨーロッパとアフリカの音楽に基づいたものである。音楽理論はヨーロッパで生まれたクラシック音楽に由来し、ポップスにはアフリカ的な要素も多く入り込んでいる。

そもそもどのように音楽が生まれてきたのだろうか、そしてどのように享受されてきたのであろうか。

本来は、音楽は生活の中での祈りや子守歌など「必要なもの」として生まれてきた。そして世界各地で、環境や生活形態が異なる中で、楽器や発声法などそれぞれ独自の音楽文化を長い時間をかけて形成してきたのである。

この授業では、そのような多様な諸民族の音楽やヨーロッパのクラシック音楽を学ぶことにより、多様な文化の一つとして音楽を理解することを目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

前期：諸民族の音楽（アジアを中心に）  
後期：ヨーロッパの音楽（民族音楽とクラシック音楽）

履修上の留意点

- ・音資料や映像資料を鑑賞するので、できるだけ出席するように。
- ・授業中に簡単なレポートを書いてもらうことがあるかも知れません。

成績評価の方法

前期：レポート  
後期：試験

教科書

柘植元一・塚田健一編『はじめての世界音楽』（音楽之友社）

参考書等

藤井知昭 他 編『民族音楽概論』（東京書籍）  
久保田慶一 他 『はじめての音楽史』（音楽之友社）

科目名	哲学【6〔近代の人間観と世界観〕】	開講	通年	単位	4
配当	営A選				
担当者名	うえの きみとし 植野 公稔				

講義のねらい

近代哲学では、①実在する世界は物理学的合理性に基づいて捉えられるとする自然科学的な世界観、②こうした世界観を支える拠点としての理性的な人間精神は自然科学では理解できない特権的なものとする人間中心主義的な人間観、これら2つの観点が強く打ち出された。そして、これらの観点は、いま現在もなお、科学技術の時代に生きる私たちが世界との関わりについて考える際の枠組みを形成するものとして、重要な位置づけを与えられている。しかし同時に、それらの観点は、批判的な検討を受けることによって、「私たちの世界理解は、科学的合理性に基づく形ではなく、むしろ日常的な行為の文脈と切り離せない形で成立するものではないだろうか」等々、現代的な問題を見出し、考えていくためのきっかけを作ってきたものでもある。つまり、近代哲学には、いま私たちが世界と関わる際の重要な手立てが詰まっていると同時に、現代的な問題を見出したり考えたりする際に不可欠な手がかりが潜んでいる。

こうしたことから、本講座では、受講するみなさんが、①近代哲学で展開された議論の主要な論点とその問題点を理解し、②こうした理解を通じて、現代的な問題に上手くアプローチしていくための力を伸ばす、以上の2点が目的とされる。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を参照しながら進める。前期では、デカルトとヒュームを中心にして、合理性をめぐる議論について理解を深め、また後期では、カントとヘーゲルを中心にして、人間精神をめぐる議論について考察を進めることにする。

履修上の留意点

折にふれて、教科書に載せられたテキストで復習し、学習内容を定着させることに励んでほしい。なお、受講に際しての予備知識は必要としない。

成績評価の方法

理解度を確認する中間・期末テストと、近代哲学の問題点の考察をテーマにした期末レポート(2000字程度)によって評価する。

教科書

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』(公論社)

科目名	哲学【9〔現代文明と人間〕】	開講	通年	単位	4
配当	営A選 営B選				
担当者名	久保 陽一 <small>くぼ よういち</small>				

講義のねらい

現代は科学技術によって生活のすみずみまでもが規定された時代であると同時に、一見何でも可能な「自由」が認められている時代でもある。しかし、それによって、かえって、何を選択し、いかに科学技術を用いるべきかについて、明確な答を得にくい時代でもあろう。科学技術と自由主義の時代において、知情意を含めた、人間らしい本来の生き方とはいかなるものであるかが、根本的に問われているように思う。

そのような問題意識のもとで、本講義では現代哲学の状況を捉えることにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

今日グローバルなものとなった西洋哲学の近代の歩みを、その大筋において捉えた後で、現代文明の諸問題（マルクス主義、フクヤマの「歴史の終わり」、ハンチントンの文明衝突論、環境倫理学など）を取り上げることとする。

履修上の留意点

よく出席し、ノートを取ること。私語はつつしむこと。遅刻、途中退席しないこと。遠慮なく質問すること。

成績評価の方法

出席数、試験（前期と後期）、レポートによって評価する。

教科書

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社） 3,200円

参考書等

渡辺二郎『現代の哲学』（日本放送出版協会） 1,800円  
久保陽一『ドイツ観念論への招待』（日本放送出版協会） 2,800円  
授業中、種々の資料を配布する

その他

講義

科目名	論理学【5〔知の技法〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	いこた まさる 伊古田 理				

講義のねらい

本講義は、文科系の文章技術について解説し、かつトレーニングを試みる。すなわち、あるテーマについて、文献を集め、読み、考え、そのうえで自分の考えを文章としてまとめるといった一連のプロセスについての実際的ノウハウの習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

まず、最初に文献・資料集めのしかたについて、簡単に解説する。次にあるテーマについて異なる立場からの考察を読みこなすトレーニングを行う。そのうえでこうした読解をもとにして自分の考え、立場を文章としてまとめあげるトレーニングを行う。

履修上の留意点

以下の「成績評価の方法」でも触れてあるが、この授業は基本的に講義スタイルですすめてゆくが、それと平行して、数回のレポート課題を出す。そして、この提出したレポートを材料に授業を進めるケースも少なくない。したがって、レポート課題がこなせないという意識をもつ諸君には受講をすすめたくない。

成績評価の方法

随時課するレポート課題（問題演習＋文章要約、等々：年間10本以上はありうることを承知しておいてほしい。翌週提出厳守）のほかに、最終的に本講義で扱ったテーマに対する諸君の考えをまとめた原稿用紙20枚程度のレポート（12月最終週講義時提出）によって判定。定期試験はまったく実施しない。

教科書

本年度は、テーマとして「道徳の理由（なぜ道徳なんでものに従って行動しなければならないのか）」をとりあげる。

教科書：大庭他著『なぜ悪いことをしてはいけないのか』（ナカニシヤ出版）

副読本：野矢茂樹『論理トレーニング』（産業図書）

参考書等

そのつど指示する。

その他

上記教科書のテーマに対する関心を予めそなえていることは、必ずしも前提しない。しかし無関心でいつづけることはできない。自分で興味をみつけてゆくつもりで授業に臨んでほしい。

科目名	論理学【6〔科学方法論と現代論理学〕】	開講	通年	単位	4
配当	営A選 営B選				
担当者名	すずき さとる 鈴木 聡				

講義のねらい

論理学の初歩の講義を、できるだけ丁寧にわかりやすく行う。我々は、日常生活において様々な文を用いて様々なタイプの推論を行う。多種多様な姿を持つ文にも、実は或る一定の構造が存在する。その構造を見極めることが論理学の課題である。また多種多様に見える推論にも、実は或る一定のタイプが存在する。この推論のタイプについての研究が論理学の主要課題である。論理学の習得は、正しい推論結果を導出するために、すべての学問において重要なことである。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は次のものを予定している。

1. 文論理
  - (a) 文論理の意味論 (b) 文論理の統語論
2. 第一階量化論理
  - (a) 第一階量化論理の意味論 (b) 第一階量化論理の統語論
3. メタ論理
  - (a) 健全性定理の意義 (b) 完全性定理の意義

履修上の留意点

毎回の出席が要求される。

成績評価の方法

成績は、中間試験・期末試験・小テスト・出席点で評価する。

教科書

配布プリント

参考書等

本講義は、講義→小テスト(チュートリアル)→前回の講義の復習→小テストの解説→……という形式で行う。

科目名	論理学【7〔知の技法〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	植野 公稔 <small>うえの きみとし</small>				

講義のねらい

いま、私たちの社会生活では、論理的であることを求められる場面に出会うことが多い。本講座の目的は、こうした現状に対処できるだけの論理的思考力を受講者のみなさんが身に付けられるように、その基本練習の場を作ることにある。言葉相互の論理的な繋がりについて自覚しながら読み、考え、そして書くことができるようになるためには何が必要なのかを、毎時間、自分自身で課題に取り組みながら気づいてほしい。なお、いわゆる現代記号論理学については、必要最小限のこと以外、扱わないものとする。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に則して授業を進める。原則として、各回とも、事項に関する説明と問題練習によって授業が構成される。前期では、論理の骨格をなす接続語や指示語の適切な使い方と、首尾良く考えを展開するための推論のあり方について練習を重ねる。また後期では、演繹的な推論について練習を重ね、就職試験等でも取り上げられるような、いわゆる推理部門の問題にも対処していける力を養うことにしたい。受講人数にもよるが、できるかぎり、復習を兼ねた形の添削課題を出し、受講するみなさんの練習の質を高められるようにしたいと思う。

履修上の留意点

本講座では、受講者本人による練習が何よりも重要であるので、コンスタントに参加してほしい。問題練習での間違いを恐れる人たちもいると思われるが、間違いをきっかけにしてステップアップしてしてくれるのならば、本講座に関するかぎり、間違いをおかすこと自体には何ら問題はない。

成績評価の方法

事項の習熟度を確認するための中間・期末テスト、および期末に取り組んでもらう小論文課題（2000字程度）によって評価する。なお、練習が重要な講座のため、原則として、1学期につき欠席が3回を越える場合は、単位の認定ができないものとする。

教科書

野矢茂樹『論理トレーニング』（産業図書）

科目名	科学史【1〔科学と技術〕】	開講	通年	単位	4
配当	国英地文環境歴日外考社福心管A選				
担当者名	高橋 秀裕 <small>たかはし しゅうゆう</small>				

講義のねらい

今日、我々は高度に発達した科学とその科学に基づいた技術の受益者になりうるだけでなく、その反対に被害者にもなる可能性がある。近代自然科学をどのように捉え、それに如何に対処するかという問題が近年しきりに議論されている所以でもある。本講義では、古代から現代に至る科学の歴史的展開を、「方法」や「思想」そして「宗教との関係」にも眼を向けつつ総合的に学び、科学がいかに広範な文化的背景をもって発展してゆく知的営為であるかを理解するとともに、科学と技術に関して今後思索する際の信頼できる知的道具の習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、近代日本の科学技術の性格を歴史的に考察することから出発し、近代日本が導入を図った西欧近代科学の長い歴史をたどる中から、その成立の由来を探ることを通して、近代科学に裏付けられた技術の強力さの秘密とそれが抱える問題点について講義する。後期は、科学の三つの典型として、数学、自然科学、医学を議論の俎上にのせ、科学がいかなる構造と射程をもつ知的営為であるのか、そして高度な科学・技術が制度化された現代社会の抱えている諸問題について、具体的事例をとりあげながら、科学と技術の歴史的展望をも含めて講義する。

履修上の留意点

いわゆる自然科学に関する素養はとくに要求しないが、講義の中に出てくる諸概念を必要に応じて自ら調べ理解する積極的な態度は受講の最低要件である。また、毎回講義内にコメントカード（兼出席票）を配布するので、講義内容に関する感想や不明な点などを書いてほしい。

成績評価の方法

講義内に課すコメントカード（兼出席票）と随時のレポートおよび定期試験で評価を行う。なお、試験については、手書きノートの参照は可とする。

教科書

特に指定しない。

参考書等

講義の際に適宜紹介する。

その他

講義形式、随時プリント配布。

科目名	倫理学【1〔人間観〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	ふるた ともあき 古田 知章				

講義のねらい

われわれは、社会の中で、一人の人間として、さまざまなものを「よい」あるいは「悪い」と判断しながら生活している。逆に言うと、この判断なしにわれわれは生きていくことができない。では、このような倫理的生活を送っているわれわれ人間とは何者であろうか。日常、われわれは「人間」という言葉、あるいは、「自分が人間である」という事態を自明なものとして扱っている。しかし「人間とは何か」と問われたとき、さまざまな問題が浮かび上がり、簡単には解答に到達できない。西洋の思想的領域では、この問いに対して、その時代の社会的状況や思想的背景との関連のもとで、さまざまな解答が示されてきた。現代に生きるわれわれが、自らが人間であることの意味を問い直すとき、これらの諸説を一度、検討することは有意義であると考えられる。

講義の内容・  
授業スケジュール

教科書を利用し、以下の内容を取り上げる（各項目ごとに、2～4回の講義）。

人間観の形成の歴史

1. 人間と倫理 一人間であるために一
2. 古代ギリシア思想における人間観の諸相
3. 中世キリスト教思想における人間観
4. 人間観の転換 ールネサンス・宗教改革ー

新しい時代の人間観

1. 出発点としてのデカルト《思惟する私》
2. 自己の内面性と他者の問題
3. 人格 ーロックを手がかりにー
4. 人間存在と自由

成績評価の方法

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義の際にその都度紹介する。



科目名	倫理学【2〔応用倫理学〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	黒崎 剛 <small>くろさき つよし</small>				

講義のねらい

「倫理」というのは、人間が世界の中で、世界に対して振る舞う上にさいして基準とする「規範」―「価値」や「義務」、「習慣」といった―の正当性を問うものである。だから「倫理学」というのは、自分が行動するに際して自覚的・無自覚的にとっている規範が半端なものではないか、みずから検証するという課題を持っている。ところで、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のものとなっていた多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしている。そこで、この授業では、生命科学と医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動にともなって提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 「生命倫理」の諸問題のうち、以下のテーマを取り上げる予定
1. 生命の倫理―講義の課題概説
  2. 「インフォームド・コンセント」：自己決定の思想
  3. 人工妊娠中絶
  4. 安楽死と尊厳死
  5. 脳死と臓器移植
  6. 「生殖革命」―人工生殖の現状と問題点
  7. 遺伝子操作論

履修上の留意点

課題はすべて現在進行形のものばかりなので、受講生にも起りつつある問題に絶えず嗅覚を働かせる態度を望む。

成績評価の方法

受講態度、出席、試験（レポート）、を総合評価。

教科書

教科書はプリントを使用。参考書は教場で紹介する。

科目名	倫理学【3〔価値観〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	滝沢 正之 <small>たきざわ まさゆき</small>				

## 講義のねらい

倫理学の基本的な考え方を紹介する。  
我々はすでに何が善いことで何が悪いことであるかをだいたい知っている。日常生活にはそれで支障はない。しかし、その善悪についての信念をあらためて反省してみると、いろいろと問題含みであることに気づく。  
そこで、ポイントごとに、それらの問題を考えていくことになる。その際、主に近世の哲学者イマヌエル・カントの倫理学を手がかりにするので、これの解説をしつつ、問題に向かうことになる。  
たとえば、道徳的な善し悪しの判断と、個人の趣味はどう関係するのか。不純な動機から（「誉められたい」など）善いことをすることをどう評価するのか。人間を殺してはいけないのに、動物を殺してもいいのか。その他もろもろ。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期にカント倫理学の基本概念を解説する。それを踏まえたうえで、後期には以下のような問題を扱う予定。動物愛護の問題、人間の自由の問題、国家と道徳の問題。  
細かいスケジュールは講義中に示す。

## 履修上の留意点

特定の教科書を使用せず、講義が中心となる。欠席が多いと試験等が大変になるので注意されたい。

## 成績評価の方法

中間試験および期末試験により評価する。中間試験はレポートにする予定。期末試験は筆記。受講者の人数が少ない場合は出席をとり、それも評価に加味したい。

## 教科書

適宜プリントを配布する予定。  
また、講義中に適宜指定する。

## 参考書等

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）  
また、講義中に適宜指定する。

科目名	倫理学【4〔応用倫理学〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	<small>あさお たかし</small> 麻生 享志				

講義のねらい

応用倫理は、究極的に「どう生きるか」という自分の生き方につながっていくものと考えます。（これを倫理学・哲学で”実存的”問いと呼んだりする）ですから、講義を通じて、自己の問題として興味を持ち、考えてもらう、という事を目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

倫理学（理論的倫理学）の基礎から、応用倫理学の「ごく特殊なもの」まで、幅広く紹介していきます。わたくし自身の興味や人生観にも、触れていきたいと思っています。生命倫理的内容からはじまる応用倫理的話題、労働・人生の意味・交通ルール・まちづくり住環境など、多面的に考えていく予定です。

履修上の留意点

最低限の常識的なルールを守り、あとは、講義を“楽しんで”もらえたらいいと思います。

成績評価の方法

前期試験（45%）、後期レポート（レポート試験）（55%）  
 前期は哲学史に関わる記述問題、後期レポートは講義の感想を原稿用紙3－4枚程度を予定

教科書

久保・河谷編麻生ほか著『原典による哲学の歴史』公論社刊（前期試験受験に必須）

参考書等

特になし

その他

初日はガイダンスとし、定時から五分間程度、または正規の終了時刻前五分間に資料を配布して質問を受け付けます。（ガイダンス後は、雑談的内容にあてる予定です。この間、入退出自由。）この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。

科目名	倫理学【5〔制度とモラル〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	なきぐち きよえい 滝口 清栄				

講義のねらい

人間は古くから共同体を作り、さまざまな社会的・政治的制度を生みだしてきた。そこには時代により、地域により違いが見られる。そこにはまた人間のよりよいあり方とよりよい社会的・政治的制度のあり方をめぐり、絶えることのない思想的な営みがあった。どのような時代でも人間はこの営みをやめることはなかった。私たちの社会は今どのような方向に進んでいくのか。いろいろと考えざるをえない。以上の思想的営みを歴史的視野の中で振り返っておくことが、今日の問題を考えていく上でも大切な土台となるであろう。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では、西洋倫理思想史のなかで古代、近代、現代から主要な思想をピックアップし、人間観の特徴と、人間のよりよき生活を可能にするよりよき制度をめぐる思索のあとを検討する。制度はもちろんそれを担う人間を必要とする。ここにモラルの問題が関わる。時代的な違いを背景において以上の問題を検討していく。

こまかなスケジュールについては開講時にスケジュール表を配布するが、前期に古代ギリシアから近代初頭、後期にはそれ以降を扱う。

履修上の留意点

講義は平明を心がける。ときどき質問用紙を配るので、不明な点について質問を出してほしい。

成績評価の方法

中間テスト（前期の最終授業時）と学年末テストにより成績を評価する。

教科書

久保陽一・河谷淳編『原典による哲学の歴史』（公論社）3,200円

科目名	倫理学【6〔東洋倫理〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	すえき やすひこ 末木 恭彦				

講義のねらい

倫理学は、人の行為の規範を考える学問である。倫理学という学問は生れなかったが、それに相当する思索は東洋の伝統思想の中に生まれていた。東洋の伝統思想がどのようにどれだけ現代の倫理に貢献するか、諸君と一緒に考えてみる。

講義の内容・授業スケジュール

授業の最初に、倫理とは何か、倫理学とは何かを講義する。その後、今年は環境と倫理の問題について考える。環境問題は現代の大きな問題である。しかし、環境の問題は既に古代から芽生えていた。中国の古代にも、環境問題をめぐる議論が行われた。その中国古代の環境をめぐる議論を顧て、現代の環境と倫理の問題にどのような貢献するか考えてみる。

履修上の留意点

ノートはしっかりと取る。

成績評価の方法

各学期末の試験と夏期休暇のレポートによって成績をつける。

教科書

浅野裕一『中国古代の文明観』（岩波新書）

科目名	倫理学【7〔応用倫理学〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	くろさき つよし 黒崎 剛				

講義のねらい

「倫理」というのは、人間が世界の中で、世界に対して振る舞う上にさいして基準とする「規範」—「価値」や「義務」、「習慣」といった—の正当性を問うものである。だから「倫理学」というのは、自分が行動するに際して自覚的・無自覚的にとっている規範が半端なものではないか、みずから検証するという課題を持っている。ところで、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のものとなっていた多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしている。そこで、この授業では、生命科学と医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動にともなって提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 「生命倫理」の諸問題のうち、以下のテーマを取り上げる予定
1. 生命の倫理—講義の課題概説
  2. 「インフォームド・コンセント」：自己決定の思想
  3. 人工妊娠中絶
  4. 安楽死と尊厳死
  5. 脳死と臓器移植
  6. 「生殖革命」—人工生殖の現状と問題点
  7. 遺伝子操作論

履修上の留意点

課題はすべて現在進行形のものばかりなので、受講生にも起りつつある問題に絶えず嗅覚を働かせる態度を望む。

成績評価の方法

受講態度、出席、試験（レポート）、を総合評価。

教科書

教科書はプリントを使用。参考書は教場で紹介する。

科目名	宗教学【1〔比較宗教文化〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選 経B法B営B選				
担当者名	池上 <sup>いけがみ</sup> 良正 <sup>よしまさ</sup>				

講義のねらい

宗教学という学問は、そもそもの出発点から比較宗教学という性格をもっていた。そこでは「ひとつの宗教しか知らない者は、いかなる宗教をも知らない」（マックス・ミュラー）という信念が前提になっていた。「国際化」が進む今日の世界において、異なる社会に育った人々の生活の基盤を形づくってきた宗教文化の相互理解は、ますます重要な課題となっている。本講義では、宗教学の基本的な視点を紹介しながら、いくつかの具体的な研究成果を学ぶことにする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、まず近代的用語としての「宗教」が成立した過程を検討し、この用語の特性と限界を考える。近代宗教学の成果をふまえて、私たちの日常の身近な出来事に引き寄せながら、「宗教」を理解する広い視点を提示してみたい。後期は、多くの日本人には馴染みが薄いものの、現代世界を理解するうえでは欠くことのできない、「一神教」という特異な宗教が成立した過程を考察し、その特性に迫ってみたい。

成績評価の方法

年度末に筆記試験を行なう。

教科書

特に指定しない。

参考書等

『岩波講座・宗教』（全10巻）（岩波書店）。『エリアーデ著作集』（せりか書房）。上田閑照・柳川啓一編『宗教学のすすめ』（筑摩書房）。脇本平也『宗教学入門』（講談社学術文庫）。加藤隆『新約聖書の誕生』（講談社）。ラーンジュ『ユダヤ教とはなにか』（青土社）。

科目名	宗教学【2〔聖と俗〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選 経B法B営B選				
担当者名	田中 <small>たなか</small> かのこ				

講義のねらい

ありのままの世界には「聖」も「俗」もなく、あるがままに続けられてゆくその営みがみられるばかりである。そこにあえて「聖と俗」といった対立概念をみるのは、変化し続ける多様な現象の動きを把握しきれない人間の焦燥感が、二分法という遠心分離機を欲するから、ともいえる。人類の精神史において展開してきた各宗教の分立を観るにつけても、深く知れば知るほど、「～教」と「～教」を隔てる壁の存在に疑問を抱かずにはいられなくなる。一見、相違するようにみえる諸宗教の教義・儀礼・生活共同体の掟にも、歴史的な相関性があり、言語や民族の絆は、信仰の違いを超えて、多様な文化圏を形成している。さらに「いのち」の尊厳を守るための真摯な祈りはどれも、学問的に定義された「宗教」概念では捉えきれない、普遍的で深遠な思想を内に秘めている。ゆえに本講では、従来の宗教学が呪縛されてきた既存の宗教分類（例：「一神教と多神教」「世界宗教と民族宗教」）から出発せずに、最も根源的で身近な「いのち」をめぐる人間の畏れ・感謝・願いをテーマにしながら、「宗教」を考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、「いのち」に気づき、その表現・解釈・ゆくえ・価値観などについて考えることに重点を置き、後期は、現代社会の理解に欠かせないゾロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教、儒教、道教、神道の歴史・思想・文化における「いのち」を探究する。

履修上の留意点

既存の知識で示せる情報の範囲をはるかに凌駕した、真実の豊かさに眼を開いてほしい。

成績評価の方法

独創性と応用力を発揮できる、論述式のレポート。

教科書

拙著『比較宗教学―「いのち」の探究―』（北樹出版）2006年、改版

その他

講義担当者の現地調査によるスライドや録音テープを活用する。

科目名	宗教学【3〔世界観と儀礼〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選 経B法B営B選				
担当者名	おがわ としゆき 小川 順敬				

講義のねらい

人間の“宗教行動”を理解することはなかなか困難な作業です。目に見えぬものに語りかけたり、その声に耳をそばだてたり、時としてその声を代弁したりすることを一体どのように分かれれば良いと言うのでしょうか。祈りやお告げといった“宗教行動”は、信仰を持たぬものにとっては全く理解不可能な事なののでしょうか。宗教学は、そういった行動を信仰者の立場からではなく、“人間の行動”として、その背後の考え方を探ることによって理解しようと努めてきました。

この講義では、宗教学の立場から儀礼（宗教行動）とその世界観について考えていこうと思えます。一見、不可解な行動に見えても、その背後の世界観を知ることによって、宗教行動の意味をいささかでも理解する端緒が開かれるはずで。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教学の基本的な考え方や方法論、いくつかの基本概念などを具体事例にそって概説、紹介します。この際、儀礼に関する議論や理論を、宗教学や宗教人類学、あるいはもう少し広く社会科学や人文学の中から紹介する予定です。ついで、様々な儀礼の諸相を具体例をあげて紹介し、その事例の検討を通して、思想や世界観、神話との関係について考えてゆくことにしたいと考えています。

成績評価の方法

評価は原則として、年2、3回の「小レポート試験」と年度末の筆記試験により行います。なお小レポートとは別に、夏期休暇前に「夏期レポート」課題を出しますが、提出は受講者の自由意志とします。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

原則として教科書は用いません。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名	宗教学【4〔日本人の宗教〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選 経B法B営B選				
担当者名	やの ひでたけ 矢野 秀武				

講義のねらい

宗教というものを語り理解するには様々な方法がある。宗教学はその1つである。また宗教学の中にも宗教に対しての異なる見方がある。本講義では、宗教学における多様な見方を理解するとともに、特に宗教人類学や宗教社会学、宗教思想研究といった見方を通じて日本の宗教についての基礎的な知識を学んでもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

前半はおもに、日本の諸宗教の概説、冠婚葬祭といった儀礼・民俗宗教とその変化を中心に取り上げ、宗教人類学・宗教社会学の視点から解説を加える。後半では、宗教の思想的側面にも触れながら、ひきつづき日本の諸宗教の概説を行なう。

成績評価の方法

レポートと年度末の筆記試験を総合して評価を行なう。レポートは夏期休暇前に課題を提示する。レポートや試験形式、その他授業の基本的な約束事は、初回の授業で述べる。

教科書

なし

参考書等

授業時に随時紹介する。



科目名	宗教学【5〔生活と宗教〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選 経B法B営B選				
担当者名	すがわら としきよ 菅原 壽清				

講義のねらい

人間の精神世界の根源にあって人びとの生活を支える宗教文化の理解は、現代社会においても不可欠な問題であると思われます。そこで、本講義では宗教人類学の視点から、「生活と宗教」というテーマで、人びとの宗教的営みについてとらえてみたいと思います。

授業は講義形式とし、はじめに宗教学・宗教人類学についての基礎的な概説を行います。次に、日本を含めたアジアの多様な姿について、人々の宗教的な営みを中心に、その分布や特徴について述べます。さらに、日本と東南アジア、および中国の西南地域の人々の暮らしなどから、その宗教形態に注目して、仏教と民俗宗教との関係や、その展開過程について、それぞれの地域の具体的な事例を取り上げながら、展開したいと思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 宗教学・宗教人類学とは
2. 日本とアジア、その多様な姿
3. アジアの人々の生活と宗教
4. 日本の人々の生活と宗教

成績評価の方法

試験＋出席点＋レポート点（詳細は、講義の時説明）

教科書

指定なし

参考書等

『宗教学ハンドブック』（世界書院）

その他

授業の方法—講義、ビデオ・スライドなども使用

科目名	宗教学【6〔民俗宗教の諸相〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選 経B法B営B選				
担当者名	あさかわ やすひろ 浅川 泰宏				

講義のねらい

宗教は、「人間生活の究極的な意味をあきらかにし、人間の問題の究極的な解決にかかわりをもつと、人々に信じられている営みを中心とした文化現象」（岸本秀夫）と説明されるように、あらゆる社会に存在する普遍的文化であり、同時に人間の根源的思考様式のひとつです。本講義では、現代社会およびそこに生きる個人を、「宗教」という観点からとらえ、考える力を養うことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

まず現代社会における「宗教」のすがたをデータ等から確認し、続いて、宗教学の基本的な考え方を学びます。その上で、身近な宗教的いとなみである民俗宗教に焦点をあて、「祭り」、「死者供養」、「巡礼」等のトピックを通して、「宗教」という観点から現代社会を考えるための実践的なトレーニングを行います。

履修上の留意点

講義内容についての考察を記入したコメントカードを、毎回提出していただきます。そのため、皆さんには講義を消極的・受動的に「聴く」のではなく、積極的・能動的に「理解」し、「考える」姿勢を求めます。

成績評価の方法

レポート（60点）とコメントカード（40点）によって評価します。  
なお、評価にあたっては、理解力、論理的思考力、独創性を重視します。

教科書

指定しません

参考書等

棚次正和・山中弘編 2005 『宗教学入門』 ミネルヴァ書房  
関一敏・大塚和夫編 2004 『宗教人類学入門』 弘文堂  
井上順孝編 2005 『現代宗教事典』 弘文堂  
池上良正他編 2003 『岩波講座 宗教』（全10巻）岩波書店

その他

詳細については、初回授業時のガイダンスで説明します。

科目名	人文地理学【1〔風土と文化〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商法A政営A選				
担当者名	やまぐち たろう 山口 太郎				

講義のねらい

今年度は、人文地理学の一分野である「文化地理学」を体系的に学習する。ただし、全学共通科目なので、人文地理学の研究対象である地域事象については、あくまで事例として扱い、講義の重点は人文・社会科学に広く適応できる文化論・社会問題の提供に置く。

講義の内容・授業スケジュール

I. イントロダクション

II. 文化地理各論

- ・都市・郊外・レジャーの空間といった地域・場所を対象として、以下の項目を中心に解説する。
- ・若者文化、エスニシティ、階級、世代・ライフコース、ジェンダー・セクシュアリティ、メディア、権力、レジャー、住居、自然

III. 文化地理学の方法論

- ・地域、景観、環境、分布

履修上の留意点

出席はとらないが、理解度や要望等を把握するため、不定期に小レポートを課することがある。

成績評価の方法

前期・後期試験で評価する。小レポート等の平常点も評価の対象とする。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

中川正・森正人・神田孝治2006『文化地理学ガイダンス』ナカニシヤ出版。  
大城直樹・加藤政洋2006『都市空間の地理学』ミネルヴァ書房。

その他

講義形式を基本とするが、皆さんに質問を投げかけることもあるので、主体的に参加してほしい。

科目名	人文地理学【2（風土と文化）】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商法A政営A選				
担当者名	<small>なかはし けんたろう</small> 高橋 健太郎				

講義のねらい

人々の世界観や価値観、生活様式といった文化的側面と、地域社会の特徴や変容とを関連づけて考えるという、人文地理学の基本概念について理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

全体的には、自分の生活または異文化について考える際に、空間的側面からの視点がいかに重要であるかということについて検討する。

具体的には、講義内容として次の項目を予定している。(1) 人文地理学からみた文化、(2) 大衆文化と文化景観、(3) 日本の基層文化の地域性、(4) 照葉樹林文化とブナ帯文化、(5) 環境決定論と環境可能論、(6) 地域文化と観光、(7) 地図、(8) 地名、(9) 空間認知。

履修上の留意点

講義内容についての理解の程度を把握するため、また一部を講義の資料として使用するため、頻繁に教場にてレポートを作成し提出してもらう。

成績評価の方法

教場レポートの内容(30%)と定期試験の結果(70%)で採点する。

教科書

使用しない。授業時にプリントを配布する。

参考書等

主な参考書は次のとおり(授業スケジュール順に掲載)。その他については、授業中に適宜紹介する。

高橋伸夫ほか『文化地理学入門』(東洋書林)  
 鈴木秀夫『風土の構造』、講談社(講談社学術文庫)  
 佐々木高明『日本文化の基層を探る』(日本放送出版会)  
 田畑久夫『照葉樹林文化の成立と現在』(古今書院)  
 市川健夫ほか『日本のブナ帯文化』(朝倉書店)  
 中島峰広『日本の棚田』(古今書院)  
 溝尾良隆『観光学』(古今書院)  
 若林幹夫『地図の想像力』、講談社(講談社選書メチエ)。

その他

この授業では、部活動や就職活動などの理由は、採点の際の参考にしない方針である。

科目名	人文地理学【3〔空間と行動〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商法A政営A選				
担当者名	伊藤 修一				

**講義のねらい**  
 日常生活の中の多くの場面で、我々は個々の意思の基に行動する。ところがその行動には規則性や一般性が認められることが少なくない。特に都市では多くの人々が集まるがゆえに、その規則性や一般性を捉えやすく、一方で都市がもつ特徴のような例外も観察される。それでは、その規則性や一般性はどのようなもので、例外はどのように表れているのか？この講義では理論と事例を通して、都市や空間・距離がもつ意味をより深く理解することを目的とする。

**講義の内容・授業スケジュール**  
 前期には、都市が今日のように分布・形成することとなったかについて、地理学ではどのように説明しているかを概説する。後期には、都市の形成や変化に大きな影響を与える人口動態と移動の傾向を把握した上で、個人の行動と都市をめぐる理論との結びつきを、事例を通して説明する。なお、講義で扱う予定の主なテーマは以下の(1)～(8)である。詳しくは第1回の講義の際に述べる。  
 (1)地図、(2)都市の分布と立地、(3)都市や地域の結びつき、(4)都市の内部構造、(5)人口変動と分布・人口移動、(6)都市の居住構造の形成過程とその変化、(7)都市と余暇活動、(8)都市空間における知覚と認知

**履修上の留意点**  
 講義では簡単な数式を用いることがある。高校の数学I程度の基礎知識に不安がないことが望ましい。

**成績評価の方法**  
 原則として年度末の試験結果から評価する。

**教科書**  
 高校などで利用した地図帳を準備することが望ましい。

**参考書等**  
 北川建次編『現代都市地理学』（古今書院）2,730円、ISBN4-7722-3044-0  
 富田和暁・藤井 正編『図説 大都市圏』（古今書院）2,730円、ISBN4-7722-4027-6  
 ノックスP. ・ピンチ、S. 著、川口太郎・神谷浩夫・高野誠二訳『新版都市社会地理学』（古今書院）6,090円、ISBN4-7722-5103-0

**その他**  
 講義ではプリントを随時配布する。

科目名	人文地理学【4〔空間と行動〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商法A政営A選				
担当者名	いとう しゅういち 伊藤 修一				

講義のねらい

日常生活の中の多くの場面で、我々は個々の意思の基に行動する。ところがその行動には規則性や一般性が認められることが少なくない。特に都市では多くの人々が集まるがゆえに、その規則性や一般性を捉えやすく、一方で都市がもつ特徴のような例外も観察される。それでは、その規則性や一般性はどのようなもので、例外はどのように表れているのか？この講義では理論と事例を通して、都市や空間・距離がもつ意味をより深く理解することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期には、都市が今日のように分布・形成することとなったかについて、地理学ではどのように説明しているかを概説する。後期には、都市の形成や変化に大きな影響を与える人口動態と移動の傾向を把握した上で、個人の行動と都市をめぐる理論との結びつきを、事例を通して説明する。なお、講義で扱う予定の主なテーマは以下の(1)～(8)である。詳しくは第1回の講義の際に述べる。

(1)地図、(2)都市の分布と立地、(3)都市や地域の結びつき、(4)都市の内部構造、(5)人口変動と分布・人口移動、(6)都市の居住構造の形成過程とその変化、(7)都市と余暇活動、(8)都市空間における知覚と認知

履修上の留意点

講義では簡単な数式を用いることがある。高校の数学I程度の基礎知識に不安がないことが望ましい。

成績評価の方法

原則として年度末の試験結果から評価する。

教科書

高校などで利用した地図帳を準備することが望ましい。

参考書等

北川建次編『現代都市地理学』(古今書院) 2,730円、ISBN4-7722-3044-0  
 富田和暁・藤井 正編『図説 大都市圏』(古今書院) 2,730円、ISBN4-7722-4027-6  
 ノックスP.・ピンチ、S. 著、川口太郎・神谷浩夫・高野誠二訳『新版都市社会地理学』(古今書院) 6,090円、ISBN4-7722-5103-0  
 なお、高校などで利用した地図帳を準備することが望ましい。

その他

講義ではプリントを随時配布する。

科目名	教育の思想	開講	半期	単位	2
配当	経B法B営B234選				
担当者名	豊田 <small>とよた ちよこ</small> 千代子				

講義のねらい

この授業では、1989年に国連で採択された「子どもの権利条約」について、それを「思想として読む」ことをめざす。具体的には、子どもの権利条約の思想的基礎となっている「コルチャック先生」（ヤヌシュ・コルチャック、本名ヘンリク・ゴールドシュミット、1878～1942）の子ども観について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- ・自分たちの受けてきた教育のふり返り
- ・教育をめぐる子どもたちの現状
- ・コルチャック先生の思想（子ども観）
- ・子どもの権利条約とコルチャック先生

成績評価の方法

出席状況、小レポート、レポートによる。

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参考書等

樋渡直哉『子どもの権利条約とコルチャック先生』（ほるぷ出版）

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	教育の思想	開講	半期	単位	2
配当	経B法B営B234選				
担当者名	北村 <small>きたむら みつこ</small> 三子				

講義のねらい

日本の教育界に大きな影響を与えた教育思想を学び、それを手がかりに自分なりの教育観を培っていくことを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

20世紀の代表的な思想家の一人、ジョン・デューイの教育思想をその基礎にある考え方にも注意しながら学んでいきます。子ども自身の経験を基礎に構築されたその教育論を丁寧に読み、私達の日常経験や教育体験を考え直します。具体的な授業計画は、初回の講義でお話します。

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

出席状況とレポートによります。

参考書等

教場で指示します。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	教育の思想	開講	半期	単位	2
配当	法A政営A234選 経B法B営B234選				
担当者名	伊藤 茂樹				

講義のねらい

私たちが今日知っている学校教育という営みは、近代という時代の到来とともに出現した制度であり、また近代社会を成り立たせる不可欠の制度でもある。この「公教育」のバックボーンとなった思想、歴史的経緯、その特色や社会的機能について概観し、今日の教育やそれが直面する諸問題について考えるための手がかりを探索する。

講義の内容・授業スケジュール

とりあげるテーマとして以下のようなことがらを予定している。

- ・学校教育の本質と機能
- ・近代日本における学校教育

履修上の留意点

自分が通ってきた学校やそこで受けてきた教育について、批判的に再考する姿勢を求める。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。



科目名	教育の思想	開講	半期	単位	2
配当	経B法B営B234選				
担当者名	はぎわら けんじろう 萩原 建次郎				

講義のねらい

この授業では、第一に自分自身の教育体験のふりかえりを出発点として、「学ぶこと」「教えること」「生きること」の意味を考える機会をもちたい。第二に自己の体験と他者の体験を交流させながら、多様なものの見方を学ぶと共に、教育に対する自分の視点がどこにあるのかさぐっていききたい。第三に各自の体験知だけにとどまらずに教育学が蓄積してきた学問知（主に教育史・教育哲学）との交流によって、これまで暗黙のうちに了解してきた「教育目的」「学習」「人間の発達」などの意味について深く捉える感性と知性を養いたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ① 自らの教育・学習体験をふりかえるー「学びのマップ」・「私のライフライン」「学びの自分史」をつくる
- ② 自己と他者との体験知の交流ー「学びのマップ」・「私のライフライン」「学びの自分史」を他の受講生と相互コメントを行う
- ③ 教育をめぐる体験知と学問知との交流
  - (1) 近代教育が前提としてきた人間観と教育目的・理念の歴史を学ぶ
  - (2) 発達の思想を学ぶ
  - (3) 学習の思想を学ぶ

履修上の留意点

この授業は講義だけではなく、受講者自身の作業が多く含まれる参加型学習である。よって授業の質は各自の積極的な参加姿勢に大きくかかわっていることを留意願いたい。また、小レポートを毎回提出してもらおう。

成績評価の方法

小レポート、作品の提出状況、授業への参加度、学期末レポートを総合して評価する。

教科書

特に使用しない。

参考書等

そのつど紹介する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。一回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	教育の思想	開講	半期	単位	2
配当	商法A政営A234選 経B法B営B234選				
担当者名	<small>さかもと のぶあき</small> 坂本 信昭				

講義のねらい

民主主義的教育思想はルソー、ペスタロッチ、フレーベル、エレン・ケイ、デューイなど多くの思想家によって生み出され、継承されて今日に至り、教育思想と実践の面で多様な展開を示した。

20世紀の教育思想を生み出し、継承することに貢献した思想家たちの教育思想・教育目的を概観することを手初めに、次のようなテーマを取り上げて進める。

講義の内容・授業スケジュール

- ・教育の理想と目的
- ・わが国の教育目的の変遷
- ・現代・社会の変化と教育目的
- ・その他（大村はま、林竹二などから学ぶものは何か）

履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法

課題レポート、自主レポート、出席等により総合的に評価する。

参考書等

西村絢子他著『現代教育を考える』（昭和堂）2,600円  
 デューイ著『学校と社会』（岩波文庫）410円

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	教育と社会	開講	半期	単位	2
配当	経B法B営B234選				
担当者名	豊田 <small>とよた ちよこ</small> 千代子				

講義のねらい

教育のあり方は、社会のあり方と関わっている。授業では、自分たちの受けてきた教育をふり返り、その中でみえてきた教育のさまざまな問題を、社会の歴史や構造等との関連で考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- ・学習体験のふり返り
- ・教育をめぐる諸問題
  - ・近代社会と学校教育制度について
  - ・子どもの身体と教育・社会
  - ・その他

(詳細は第1回の授業時に説明する。)

成績評価の方法

出席状況、小レポート、レポートによる。

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参考書等

適宜紹介する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	教育と社会	開講	半期	単位	2
配当	経B法B営B234選				
担当者名	北村 <small>きたむら みつこ</small> 三子				

講義のねらい

近代の社会システムと教育はどのような関係にあるのでしょうか。私たちが体験してきた日本の学校教育のあり方を社会との関係から考察することを通して、私たちがどのように社会的に形成されてきたのかを考えます。

講義の内容・授業スケジュール

日本という国家と教育との関係を歴史的に考察するとともに、近代的な組織とその構成員との間に働く力について考察します。また、そうした観点から、今日の学校教育をめぐる諸問題を考えていきます。詳細は初回の授業でお話します。

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

出席状況とレポートによります。

参考書等

教場で指示します。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	教育と社会	開講	半期	単位	2
配当	経B法B営B234選 法A政営A234選				
担当者名	伊藤 <sup>いとう</sup> 茂樹 <sup>しげき</sup>				

講義のねらい

学校教育という営みは社会のあり方や他の諸領域に広く影響されると同時に、社会に影響を及ぼす関係にある。また一方で、学校という場もひとつの社会を形成している。こうした観点から、現代社会における学校教育が直面している諸問題や、これからの時代に学校教育が向かおうとしている方向性について、多面的に考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

とりあげるテーマとして以下のようなことがらを予定している。

- ・現代の教育問題
- ・教育改革の動向

履修上の留意点

ふだんから教育に関するニュースに気をつけ、自分なりに考えることを心がける。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	教育と社会	開講	半期	単位	2
配当	経B法B営B234選				
担当者名	<small>ほぞわら けんじろう</small> 萩原 建次郎				

講義のねらい

80年代半ばから不登校問題とともに「居場所」という言葉がマスコミに登場したが、いまや教育学、心理学、社会学においてもキーワードになっている。居場所の喪失感が静かに広がる中で、私たちはそこにどのような人間の姿、世界の在り様を感じるのだろうか。

この授業ではまず、子どもの自己形成空間と若者の文化変容、大人と子ども・若者の関係性の変容を読み解きながら、「居場所」が何において生まれ、何において失うのかを探っていく。次に「居場所」となりうる場のデザインを目指した具体的な方法論はあるのか、子ども・若者の居場所にかかわるいくつかの実践を手がかりに検討し、教育の可能性を考えていく。

この授業を通して、「居場所」を切り口として今いる自分を見つめなおしながら、他者（子ども・友人・親・先生など）とのかかわりの質を問い直し、さまざまな場面での教育実践に応用していける視点と感性を養ってもらいたいと願っている。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 「居場所」をめぐる言説の登場
- ② 「居場所」の意味を読み解く
- ③ 子ども・若者の自己形成空間の変容
- ④ 子ども・若者の居場所空間をデザインする
- ⑤ 「居場所」に関わる指導者論
- ⑥ 「居場所」と子どもの参加論

履修上の留意点

授業はできるだけ参加型学習をとりいれたいので、積極的な姿勢が求められる。小レポートを毎回提出してもらう。

成績評価の方法

小レポート、出席状況、授業への参加度、学期末レポートを総合して判断する。

教科書

田中治彦編著『子ども・若者の「居場所」の構想－「教育」から「関わり」の場へ－』（学陽書房）3,000円

参考書等

久田邦明編著『子ども・若者の居場所』（萌文社）  
 ロジャー・ハート著『子どもの参画』（萌文社）

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	教育と社会	開講	半期	単位	2
配当	商法A政営A234選 経B法B営B234選				
担当者名	<small>さかもと のぶあき</small> 坂本 信昭				

講義のねらい

人間の社会に余暇をもつ少数の人々が生まれたときに学校は生まれた。いわば余暇とともに学校は生まれたのである。もし余暇がすべての人々のものとなるとき、それは、社会そのものが全体として学習と教育の場所、つまり学校になるときであるかも知れない。

講義の内容・授業スケジュール

講義で取り上げるテーマとしては、次のようなものを考えている。

- ・学校教育のあゆみ
- ・学校の社会的機能
- ・学校教育の現実と課題
- ・その他（教師論等）

履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法

課題レポート、自主レポート、試験、出席等により総合的に評価する。

参考書等

西村絢子他著『現代教育を考える』（昭和堂）2,600円  
 デューイ著『学校と社会』（岩波文庫）410円

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	発達と学習の心理学	開講	半期	単位	2
配当	経A商法A政営A234選 経B法B営B234選				
担当者名	小倉 康仁 <small>おぐら やすよし</small>				

講義のねらい

人間の教育活動や教育問題に対して心理学的にアプローチする教育心理学の主要な関心事として、発達および学習に関する様々なトピックスがあります。この発達と学習の問題を中心に、教育者が理解しておくべき事柄を取り上げて授業を進めていきます。つまり、「人はどのようにして育ち学んでいくのか?」、「そのプロセスにおいて親や教師や友人等からの働きかけはどのようにかわってくるのか?」といったことについて分析・考察していく予定です。

講義の内容・授業スケジュール

- ①発達の定義
- ②発達の規定因（遺伝と環境）
- ③発達のメカニズム（成熟と経験）
- ④発達観と教育可能性
- ⑤レディネス、臨界期と早期教育
- ⑥発達の様子（発達時期・発達段階）
- ⑦学習のメカニズム（学習理論）
- ⑧学習と動機づけ（学びを支える意欲）
- ⑨教授－学習過程
- ⑩個性・個人差と教授法（適性－処遇相互作用）

成績評価の方法

平常授業期間中に課す小レポート課題と学期末試験の成績および出席状況等の平常点との総合評価によって評価を行う予定です。

教科書

使用しません。

参考書等

必要な場合は、そのつど授業で指示します。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	発達と学習の心理学	開講	半期	単位	2
担当	経B法B営B234選				
担当者名	おおはま きくこ 大浜 幾久子				

講義のねらい

子どもが大人になる過程を20世紀の心理学は、どのようにとりあげ、また解明しようとしてきたのだろうか。他の諸学問分野が心理学の成立に果たしてきた役割にも言及しつつ、次のような基本的な問題をめぐる諸研究を学び、21世紀の新しい教育観を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 発達と学習は、どのように定義され、また両者の関係はどのように説明されるのか。
- 2) 知能の発達と情意の発達は、どのような関係にあるのか。
- 3) 障害をも含む発達および学習における個人差を、どのようにとりあげ得るのか。

成績評価の方法

定期試験（学期末）の成績に小レポートの成績を加味する予定である。

教科書

参考資料等については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	発達と学習の心理学	開講	半期	単位	2
担当	経A商法A政営A234選 経B法B営B234選				
担当者名	みくに りゆうこ 三國 隆子				

講義のねらい

- ・子どもから大人へ。人の発達過程について概観する。
- ・発達や個に応じた学習や教育について学ぶ。
- ・以上を踏まえ、学校現場で行われる教育や指導のあり方について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- ・発達とは何か
- ・発達の特徴と発達理論
- ・発達観の変遷と教育
- ・学習とは何か
- ・学習と評価
- ・意欲と学習（1）動機づけ理論
- ・意欲と学習（2）自己効力感

成績評価の方法

- ・毎回の授業でその授業内容についての小テストや課題を提出してもらう。
- ・学期末にレポート試験を行う。
- ・小テストや課題の提出状況と学期末レポートを総合して評価を行う。

教科書

教科書、参考資料等は、授業中に配布する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。



科目名	発達と学習の心理学	開講	半期	単位	2
配当	経A商法A政営A234選 経B法B営B234選				
担当者名	飯田 都				

講義のねらい

人間は、親兄弟、友人、そして教師といった、多くの他者との多面的なかかわりの中で成長し、「自己」を見つけ、つくりあげていきます。教職を志す者だけにとどまらず、すべての人が何らかの形で他者の成長発達に関わる存在である以上、人間に対する心理学的な考え方を深めていくことは重要なことです。心理学的な考え方を学び、学校教育の意義をはじめ、教師や大人に求められる資質、“教える“ということの意味等についての考えを深め、自らの役割を問い直していくことを目指します。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ◆人の発達・学習と教育 ◆乳幼児期・児童期・青年期の発達課題 ◆思春期の自我の発達
- ◆学習と認知（連合説と認知説） ◆知識の種類と構造、技能と知識の獲得 ◆動機づけ
- ◆学習過程・学習理論の教育への応用

履修上の留意点

聴いたことを受身的に自らの思想とするのではなく、講義の内容にヒントを得て、自分自身の、自分らしい考えを創り出していくことを期待しています。

成績評価の方法

中間試験、期末試験、および毎授業ごとの課題の成果を総合して評価します。ただし、出席が半分にも満たない場合には、単位の取得はできないと考えてください。

教科書

特に使用しません。必要に応じて資料を配布します。

参考書等

- 西林克彦 『間違いだらけの学習論』新曜社
- 川島一夫 『図でよむ心理学「発達」』福村出版

科目名	発達と学習の心理学	開講	半期	単位	2
配当	経B法B営B234選				
担当者名	すみの ぜんじ 角野 善司				

講義のねらい

教育心理学は、教育場面において、教師が、生徒を理解し、効果的な教育を行うためにはどうしたらよいかを、多様な観点から心理学的に考えようとするものです。この科目では、教育心理学の中でも、特に発達と学習に焦点を当てていきます。講義を通じて学び、考えたことを、生徒と接する際のヒントにしてほしいと願っています。

講義の内容・授業スケジュール

(1)教育心理学とは (2・3)発達観の変遷 (4・5)発達の規定因 (6)教育の最適期 (7)発達段階と発達課題 (8)学習への動機づけ (9)内発的動機づけ (10)学習性無力感 (11)原因帰属 (12)学習目標と遂行目標 (13-15)補遺

履修上の留意点

この科目は、教職課程の科目として開講されます。自らの意志で免許・資格の取得を目指す以上は、毎回出席するのはもちろんのこと、授業を聴きながら考えるという主体的な態度で臨んでください。

成績評価の方法

免許・資格に関連する科目なので、単位認定の基準を甘くするわけにはいきません。成績評価は、毎回の授業で行う小テスト・課題提出状況・学期末テスト・学期末レポートの4つに基づいて行う予定です。小テストは、その日の授業で取り上げた内容に関する問題を出題して、全問正解した場合に限り合格とします。合格した回数が授業回数の半分以下ならば、学期末テストの受験、レポートの提出を認めず、単位は付与しません。

教科書

使用しません。講義は、図表などを載せた資料プリントを活用して進めます。

参考書等

講義の進行に合わせて、適時紹介します。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	カリキュラムと学習	開講	半期	単位	2
配当	経A商法A政営A234選 経B法B営B234選				
担当者名	小倉 康仁 <small>おくら やすよし</small>				

講義のねらい

人間の発達と学習のしくみを踏まえた上で、カリキュラム（教育課程）の構造（構造要素）、社会的意義、編成方式などを理解し、日本の現行カリキュラム（教育課程）について考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール

- ①カリキュラムとは？（カリキュラムの構造要素）
- ②カリキュラムの意義と規定因
- ③様々なタイプ（型）のカリキュラム
- ④カリキュラム編成方式
- ⑤学習指導要領の変遷
- ⑥現行学習指導要領の特徴と問題点
- ⑦カリキュラムと教授法
- ⑧カリキュラムと評価法

成績評価の方法

平常授業期間中に課す小レポート課題と学期末試験の成績および出席状況等の平常点との総合評価によって評価を行う予定です。

教科書

使用しません。

参考書等

必要な場合は、そのつど授業時に指示します。

その他

原則として、前期に「発達と学習の心理学」を受講していることを前提とします。

科目名	カリキュラムと学習	開講	半期	単位	2
配当	経B法B営B234選				
担当者名	大浜 幾久子 <small>おおはま きくこ</small>				

講義のねらい

はじめに、学生自身が学んできた小学校、中学校、高等学校における教育課程がどのように編成されていたのかを、当該の学習指導要領により考える。次に、現行の新しい教育課程を学び、その背景にある基本的考え方について考察していく。とくに教科・科目等の具体的内容の削減や再編については、子どもの発達と学習の観点からの考察を深めたい。さらに、諸外国における学習課程の歴史や編成原理について、異文化間教育学的な観点から検討を試みる。その際、潜在的カリキュラムにも注目することとする。

成績評価の方法

レポート提出（定期試験期間）を中心とした評価の予定である。

参考書等

『(小学校・中学校・高等学校)学習指導要領』(文部科学省)  
その他の参考資料については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。

科目名	カリキュラムと学習	開講	半期	単位	2
配当	経A商法A政営A234選 経B法B営B234選				
担当者名	みくに りゆうこ 三國 隆子				

講義のねらい

- ・学習指導要領から読み取れる、日本の教育課程を理解する。
- ・カリキュラムと学習の効果について学ぶ。
- ・学校現場で行われているカリキュラムの実際と課題について理解する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ・我が国の教育課程
- ・学習指導要領の変遷
- ・教授と学習の効果
- ・カリキュラムと学習の効果
- ・学校教育（１）教育制度・カリキュラムの実際について
- ・学校教育（２）教育評価・今後の課題について

成績評価の方法

- ・毎回の授業でその授業内容についての小テストや課題を提出してもらう。
- ・学期末にレポート試験を行う。
- ・小テストや課題の提出状況と学期末レポートを総合して評価を行う。

教科書

教科書、参考資料等は、授業中に配布する。

その他

原則として、前期に「発達と学習の心理学」を受講していることを前提とします。

科目名	カリキュラムと学習	開講	半期	単位	2
配当	経A商法A政営A234選 経B法B営B234選				
担当者名	すぎやま みたき 杉山 二季				

講義のねらい

カリキュラムとは単なる教育計画でなく、子どもの学習経験の履歴でもあります。カリキュラムや学習をめぐる理論を理解し、授業実践を観察・検討するための多様な見方を身につけることをねらいとします。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義では受講者の理解を踏まえながら、以下のトピックについて扱う予定です。（１）カリキュラムとは何か（２）学習指導要領の変遷（３）カリキュラムを支える教育理論（４）知識とは、学力とは何か（５）授業の反省と批評（６）かくれたカリキュラム 実践を見る目を養うために、小・中・高校の授業を撮影したビデオを観察し検討する機会を何回か設けます。

成績評価の方法

授業中の提出物と期末レポートの内容によって総合的に評価します。各回（毎回ではないが）の講義終了時にその日の講義を聞いて考えたことや感じたことを書いて提出してもらう予定です。

教科書

教科書は使用せず、必要に応じてプリントを配布します。

参考書等

講義中に適宜紹介します。

科目名	カリキュラムと学習	開講	半期	単位	2
配当	経B法B営B234選				
担当者名	すみの ほんじ 角野 善司				

講義のねらい

この科目では、カリキュラムの編成・実施を中心テーマとして取り上げ、それが生徒の学習をどのように規定し、導いていくかを検討していきます。これからの教育がどのようなカリキュラムで行われていくべきかを、各自考えてほしいと願っています。

講義の内容・授業スケジュール

(1)カリキュラム(教育課程)とは (2)カリキュラムに関する法制 (3)カリキュラム編成の原則 (4)学習指導要領改訂の歴史 (5-6)平成10年学習指導要領改訂の経緯と基本方針 (7-8)平成15年学習指導要領一部改正の経緯と基本方針 (9-10)学習指導要領をめぐるその後の動き (11-13)カリキュラムと教育評価 (14-15)補遺

履修上の留意点

この科目は、教職課程の科目として開講されます。自らの意志で免許・資格の取得を目指す以上は、毎回出席するのはもちろんのこと、授業を聴きながら考えるという主体的な態度で臨んでください。

成績評価の方法

免許・資格に関連する科目なので、単位認定の基準を甘くするわけにはいきません。成績評価は、毎回の授業で行う小テスト・課題提出状況・学期末テスト・学期末レポートの4つに基づいて行う予定です。小テストは、その日の授業で取り上げた内容に関する問題を出題して、全問正解した場合に限り合格とします。合格した回数が授業回数の半分以下ならば、学期末テストの受験、レポートの提出を認めず、単位は付与しません。

教科書

追って指示します。講義は、図表などを載せた資料プリントも活用して進めます。

参考書等

講義の進行に合わせて、適時紹介します。

科目名	フレッシュマンセミナー	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A1選(19年度入学生のみ)				
担当者名	萩原 義雄 <small>はぎはら よしお</small>				

講義のねらい

嘗て「国語学基礎」という科目が存在した。逆に「基礎国語学」と呼称してもいた。今横文化して「フレッシュマンセミナー」だそう。日本人である私にとってこのカタカナ文字は刺りにもなじまない。故に何を教え、何を学ぶのかその教育展望が今少しく見えていないことを前置きする。いわば、何をどう教え何を見出すか試行錯誤の授業と云うことである。この一教員である私と複数の学生との共同（嚮導）授業になろう。私なりにその堂塔の心柱ともいえる骨格を意味する科目と構えて日本国の大学人にふさわしい「東アジア圏日本語文化交流」に大切な教養を育む時間とも云えよう。

そこで、高等教育で何を学んだのか、まずは教える側と学ぶ側相互に確かめねば成るまい。今の大学教育の第一歩として本学の入学試験に国語・英語・社会（専門科目に細分類）といった三科目が指定され、この試験科目の評価点で合否が決定され、大学人としての門をくぐる。その査定の実態分析は、総合的に委員会を通じて実施されているが、この分析結果がどのような組織的に教員に伝達されてこの科目成立に結びついていると信じたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続き担当責任者説明
- 02の講義内容 日本語文献一般基礎資料の蒐集方法とその取り扱い
- 03の講義内容 日本語字書・辞書、そして参考とすべき専門書の利用とその実際
- 04の講義内容 「東アジア漢文文化圏」における現在の学術研究レベルと成果  
その研究領域の一般活用と手続き
- 05の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその1（手書きそして縦書き）
- 06の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその2（入力そして横書き）
- 07の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその3（四種類の文字と融合）
- 08の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその4（漢語と和語）
- 09の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその5（洋語と日本語）
- 10の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその6（東アジア漢文文化圏のことは）
- 11の講義内容 日本語表現文章と国際政治社会における文章
- 12の講義内容 文章作成能力開発その1
- 13の講義内容 文章作成能力開発その2
- 14の講義内容 文章作成能力開発その3
- 15の講義内容 期末課題レポートの提出

履修上の留意点

※情報機器利用の為、許容の人数制限を実施します。出席も、教場IT管理に依拠しています。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れてきた場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。特に、4週連続して理由なき欠席された受講者については、履修名簿から自動的に抹消します。  
※講義内容及び連絡事項については、HP（情報言語学研究室）上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても対応可能とします。

成績評価の方法

前期と後期それぞれにレポート課題を用意します。これを紙出し&FD（ネットへの添付資料）にして、最終締め切り日に提出します。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句（書名・人名・用語など）の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部（日本文化部門）&短期大学国文学・英文学掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営していきます。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させて行きますのでご承知願います。

教科書

随時、講義の前後に報知します。

参考書等

随時、講義の前後に報知します。

そ の 他

情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP（情報言語学研究室）上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

科目名	フレッシュマンセミナー	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A1選(19年度入学生のみ)				
担当者名	佐原 作美 <small>さばら さくみ</small>				

講義のねらい

学びのためにある学生生活を送るに当って、学部学科を問わず必要と思われる基礎的な知識や、物事に対する心得や態度など、ごく基本的な事柄について学び、かつその応用力としての考える力や表現力を養うことを目標としていく。

講義の内容・  
授業スケジュール

学生に求められることはより豊かな感性を磨き持つべく努力することであろう。そのための基本的な方法として文章の読解や表現力あるいは思考力が求められよう。そこで授業では、その方法として古典などの文学作品を素材としてその手懸りとしていきたい。それによってあわせ日本の伝統文化や思想面についても知識が得られるよう考えていきたい。

履修上の留意点

目的意識と向上心を強くもって臨んでほしい。

成績評価の方法

折々の提出物や試験や出席（重視）などを見て総合的に評価する。

教 科 書

当面はプリントの配布をもって行う。

参 考 書 等

必要に応じて授業の中で紹介する。

科目名	フレッシュマンセミナー	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A1選(19年度入学生のみ)				
担当者名	鈴木 <sup>すずき</sup> 裕子 <sup>ひろこ</sup>				

講義のねらい

—自己表現力のためのレッスン—  
 自分の考えをわかりやすく主張する力が不足している人、言葉で表現する力を磨いて今の自分を少しでも変えたいと思っている人、そういう人たちのために表現力を養う手助けをする。

講義の内容・授業スケジュール

自己表現力は、大学での効果的な学びに必要な力の一つである。いろいろな種類の文章を読み、理解する力、自分の意見を筋道立てて説明する力、限られた時間にまとまりのある文章を書く力を、実際の作業を通して養う。なお、授業中に文章を書いてもらう場合と、授業外の時間に課題として書いてもらう場合とがある。教材は、新聞記事、評論、手紙、詩、歌詞など。特に、今日的な問題を提起しているものを多数取り上げる予定。

履修上の留意点

授業では文章を次から次へと読み、課題を書き、報告することが要求される。オーソドックスな講義形式を希望している受講生には不向きなので、履修するときにはその点を留意すること。また、人数は少数が望ましく、希望者は最初の授業から出席すること。

成績評価の方法

提出物、授業中の発言内容、出席状況（遅刻・早退をしないことは大前提）から総合的に行う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。

教科書

プリント教材。

参考書等

参考書は、授業中に指示する。



科目名	フレッシュマンセミナー	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A1選(19年度入学生のみ)				
担当者名	さかくち ひろき 坂口 博規				

講義のねらい

平成18年度より、入学初年度に受講する科目として開設されたもので、大学生活を有意義に送ってもらうことをねらいとしています。

殆どの学生諸君は最終学校たる本学において、将来の人生設計の途に立ちます。その貴重な4年間を、自覚的・能動的に過ごしてほしいと考えています。それぞれの専門分野の学問の理解は、実は日本語の理解能力の与かるころ大です。また自己をより正確に且つ効果的に他人に認定されるように、言葉の伝達（日本語表現）の大切さを自覚してほしいものです。

講義の内容・授業スケジュール

上記の目的に立って、毎時間テーマを設定して講義し、その講義内容に対する感想や、テーマに即した自分の考えを作文してもらいます（1～5）。講義中心ですが、受講生の人数や教場の形態などの条件によって、作文の添削や討論会の設定なども工夫したい。特にコミュニケーション論の一端として、言語断絶の疎外状況を物語る「変身譚」について考えてみたい（6～10）。また日本語表現の特質なども考えてみたい（11～13）。

履修上の留意点

「自己表現」の大切さを学んでほしい。言葉による伝達の意義を正しく自覚してほしいと思います。

成績評価の方法

授業の最終日に提出のレポートの成績評価。レポートは同じ題目にて2種（1つは要旨）提出してもらいます。また授業の折々に課題を出して小レポートも提出してもらいます。出席状況も参考にして、総合的に評価します。

教科書

授業の折々にプリントを配布します。

参考書等

授業において紹介します。

科目名	フレッシュマンセミナー	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A1選(19年度入学生のみ)				
担当者名	<small>そのへみきお</small> 菌部 幹生				

## 講義のねらい

大学のおかれた状況は年々変化し、大学生に対する社会的要請も重みを増したものが増えてきている。大学生活は高等学校までとは異なる点が多いので、充実した学生生活を送るために心得ておくべきことを体験的・実習的に修得することを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

1 ガイダンス。2～4 大学と大学生生活。5～7 キャリアデザインとライフスタイル。8～11 表現法とレポートの書き方。12 レポート提出。13 まとめ。

ただし、受講生の数や志向によって内容やスケジュールを変更することもある。その際は授業時間内に連絡する。

## 履修上の留意点

本講座は、出席や授業内提出物で60点分を評価するので、毎時間出席することが大原則である。課題の連絡も含めて、授業時間を大切にすることを求める。

## 成績評価の方法

出席点30点、授業時間内提出物30点、レポート40点の割合で評価する。定期試験期間中の試験は行わない。前期最後の授業時間内に追試験に相当するレポートに関する伝達を行うので必ず出席すること。

## 教科書

必要に応じてプリントを配布する。

## 参考書等

必要があればそのつど紹介する。

科目名	フレッシュマンセミナー	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A1選(19年度入学生のみ)				
担当者名	石割 透 <small>いしわり とおる</small>				

講義のねらい

日本文化に特色があるとすれば、それはどのようなものなのか。この授業では、近代になり西洋世界との接触が次第に深まるにつれて、西洋から訪れた人たちに日本がどのように見られ、記述されたのか。それによって、日本の文化の特徴を検討し、国際化の進む状況の中で歩むべき方向を考えていこうと思います。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には、主に小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）『日本瞥見記』、ヴェンセスラウ・デ・モラエスの『日本精神』などを読み、彼等に日本人の宗教・住居・風景・生活習慣・芸術などがいかに見られたかを述べ、近代の西洋世界との接触の深まりの中で、喪なわれたもの、得られたものを考え、そのことの意味に触れたいと思います。

履修上の留意点

小泉八雲、モラエスのみならず、16世紀に訪れた西洋人より現在に至るまで、西洋人の日本について記した文献は数えきれない程多数あります。できるだけ多くの書物に触れ、その見方も西洋の諸国、時代によっていかに異なっていくかも考えてほしいと思います。また、東洋、南洋の国々からいかに見られてきたかも、同時に考え、西洋人のまなぎしを相対化することも試みて下さい。

成績評価の方法

1、2回のレポートの提出。出席状況を重視し、成績評価に加味する。

教科書

小泉八雲『日本瞥見記上・下』（恒文社）、モラエス『日本精神』（彩流社）など。

参考書等

授業時に指示する。

その他

講義形式で授業を進め、必要に応じてプリントなどを準備する。

科目名	フレッシュマンセミナー	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A1選(19年度入学生のみ)				
担当者名	こばやし おさむ 小林 治				

講義のねらい

山田洋次が『男はつらいよ』シリーズ（第一作は1969年公開）とは別に、しかし並行して1970年から1980年にかけて松竹で撮った5本の映画がある。三部作シリーズとしての『家族』、『故郷』、『同胞』ならびに『幸福の黄色いハンカチ』、『遙かなる山の呼び声』である。それらの作品は、戦後30年を経て高度経済成長の真ただ中において、喪われつつある日本人および日本の風土の特質を、例えばタイトルの如く、家族、故郷、同胞などの視点から凝視しつつ、その新たな現代における再生の可能性を探っている。これらの営為を眺める中で、戦後の日本が歩んだ道を決定的に方向づけた高度経済成長によって喪ったものを計り、その廢墟からの再生と復活を願う希望について考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

上記した映画作品を随時、見ながら、また資料等によって時代背景を考察しながら、上記のテーマに迫ってみたい。

履修上の留意点

開講時に、あらかじめ上記した映画作品以外に取り上げる文学作品や映画作品を指示するので、できるだけ事前に読み、かつ見て授業に出席のこと。他の学生の大いなる迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。

成績評価の方法

毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。

教科書

適宜プリントを配布する。

参考書等

授業時に指示する。

科目名	フレッシュマンセミナー	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A1選(19年度入学生のみ)				
担当者名	まつだ なおゆき 松田 直行				

講義のねらい

大学の授業から最大限のものを得たいと真剣に考えている新入生を対象に、大学での学業の基本を講義する。レポートの書き方や図書館・パソコンの活用法など実務的な事項を確認しながら、教科書を使用して「教養とは何か」を考え、「学ぶ態度」の基本を身につけていただきたい。また数名ずつのグループを編成して作業を行い、コミュニケーションについて体験的に学ぶ機会も設ける。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 変わる大学 (2) 教養とは何か (3) 地域と大学 (4) 論理的な思考と表現 (5) コミュニケーションについて (6) 図書館とパソコンの活用法 (7) レポートの書き方

履修上の留意点

大学生活を始めるにあたって授業にしっかり出席する習慣を身につけていただくためにも、2/3よりは多い出席を必須とし、遅刻は認めない(途中入室を許可しない)ので注意すること。図書館でのガイダンス、パソコン教場の使用、世田谷保存住宅見学など、通常の教場以外で授業を行う場合がある。予定は随時授業の中で指示するが、欠席の場合はインターネット Komsyの詳細情報表示で確認すること。

成績評価の方法

前期定期試験期間中にレポートを提出していただくが、出席状況や、授業の中で求める様々な課題の提出状況を加味した上で採点する。

教科書

村上陽一郎『やりなおし教養講座』、NTT出版、1,680円。

参考書等

竹内洋『教養主義の没落』、中公新書1704、819円。阿部謹也『「教養」とは何か』、講談社現代新書1358、735円。筒井清忠『新しい教養を求めて』、中央公論新社、1,680円。

その他

初回の授業でガイダンスを行う。なお後期科目の「日本文化基礎(松田)」はこの授業とは別の科目であり、必ずしも両方を履修する必要はない(してもよい)が、後期科目は履修登録の前にガイダンスを行う機会がないので、そのガイダンスもこの前期授業の初回にあわせて行う。

科目名	フレッシュマンセミナー	開講	半期	単位	2
配当	国英日外考心営A1選(19年度入学生のみ)				
担当者名	湯浅 陽子 <small>ゆあさ しょうこ</small>				

講義のねらい

プレゼンテーションは、特別な人が特別な機会に行なうものではありません。誰もが経験する自己紹介も、ゼミでの発表もプレゼンテーションの一種です。発表する内容や聞き手の人数に違いがあっても「自分の考えを正しく分かり易く相手に伝える」という基本に違いはありません。プレゼンテーションとは、自己表現なのです。

様々な Workshop を通じて相手にうまく伝えるための文書を作ったり、それを使って伝えるためのコツを学んだりして、これからの4年間の学生生活に活かしていくと共に、就職の際にも役立つスキルを習得することが目的の授業です。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 第1回 オリエンテーション 簡単な自己紹介をしてください
- 第2回 ・インタビューしてクラスメートの紹介準備(上手な聞き方とは?)
- 第3回 ・クラスメート紹介とプレゼンチェック
- 第4回 同窓会の幹事になったらどうする?
- 第5回 ・案内状の作成
- 第6回 ・当日の会の進め方
- 第7回 レジюме(配布資料)のある発表
- 第8回 ・グラフを使ったレジюмеを作ろう!
- 第9回 国際会議場の使用プランを任せたらどうする?
- 第10回 ・複雑な情報を整理して自分なりの部屋割りプランを提示
- 第11回 ・提示する際の視覚教材の作成
- 第12回 ・アウトライン原稿の作成
- 第13回 プレゼンテーション

履修上の留意点

入学式後に行なわれる総合情報センターのオリエンテーションに出席して、IDを必ず取得してください。IDが無いとパソコンが使えません。オリエンテーションを受ければ翌日にIDが発行されますが、この時期を逃すとIDの取得に時間がかかって授業に支障をきたすので注意してください。

成績評価の方法

毎回 Workshop を行なう実習科目につき、出席を重視します。評価を受けることができるのは出席率が2/3以上の方のみです。Workshop で使用する教材作成の良否、授業参加度等で総合評価します。

教科書

適宜指示します。

参考書等

適宜指示します。

その他

パソコンで文字入力に困らぬよう、できるだけタッチタイピングをマスターするよう、自分で練習しておいてください。大学のパソコンには優れたソフト(Type Quick)が入っています。タッチタイピング技能は、他の授業でも大変役に立ちます。

科目名	日本文化基礎	開講	半期	単位	2
配当	国英日外考心営A12選				
担当者名	佐原 作美				

講義のねらい

日本文化とは何か、をテーマとしていきたい。そこでそれを考えていくその方法の一つとして日本の古典文学、特に『古事記』や『万葉集』や『風土記』など、古代文学をもとにそれらを読みながら考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、古代の日本人の精神文化の要素として、  
 (1)呪的(物)信仰について  
 (2)言霊信仰について  
 (3)夢信仰について  
 の三つをテーマとしてあげ、それらが古典文学の中でどのように展開しているかを見ることによって前述のテーマに迫りたい。また、それらが古代人のみならず、現代人においての有りようをもあわせ考えていきたい。

履修上の留意点

素朴な問題意識と各自の感性を磨く意欲をもって臨んでほしい。

成績評価の方法

折々の提出物や試験や出席(重視)などを見て総合的に評価する。

教科書

プリントの配布をもって行う。

参考書等

必要に応じ授業の中で紹介する。

科目名	日本文化基礎	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境日外考心政営A12選				
担当者名	鈴木 裕子				

講義のねらい

—〈家族〉の文学史……描かれた古代の女と男—  
 古代の文学作品を中心に取り上げ、それらに描かれた古代の人々の生活を見ていきたい。例えば、良妻/悪妻とはどのような妻か、あるいは悪母/慈母とは何か、男女の関係や親子関係はどのように変わったか、その背景にはどのようなことがあるのかなど、実際に古典の一節を読みながら考える。

講義の内容・授業スケジュール

取り上げる作品は『日本霊異記』や『今昔物語集』などの説話文学や、『蜻蛉日記』などの日記文学、『源氏物語』などの物語である。描かれている記事の歴史的社会的な背景が理解できるように、周辺の資料も読みながら、現代につながる人間の問題をさぐってみたい。併せて古典文学のおもしろさが味わえるとよい。

履修上の留意点

授業は主としてプリント教材を用いての講義形式であるが、頻繁に小作文などの課題を出題する。

成績評価の方法

期末に行う試験(日時・論題等は授業時に提示)・授業態度(欠席・遅刻をしないことは前提)・課題などから総合的に行う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。

教科書

プリント教材。

参考書等

参考書は、授業中に指示する。

科目名	日本文化基礎	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境日外考心政営A12選				
担当者名	坂口 博規 <small>さかぐち ひろき</small>				

講義のねらい

日本文学は社会や風土と深く関わり合い、複雑多様で豊かな展開を示している。時代時代において様々な思想の推移において美意識の変遷が見られる。その全ては現代に至るまで日本文化の特質を示すものであり、長く伝統を形成している。それら各時代の文学に表われた美的理念をたどり、日本的な美意識の流れを考える。

講義の内容・授業スケジュール

古代から近世までの、主として古典文学に現れた美的理念を概説する。古代の「まこと(明・浄・直)」(1～3)、平安期の「あはれ」「をかし」「はかなし」(4～7)、中世の「無常」「幽玄」「妖艶」(8～10)、近世の「粋・通・意気」「滑稽」(11～13)等々を取り上げ解説する。

履修上の留意点

授業はプリント教材を用いて講義形式で行うので、出席に努めてほしい。

成績評価の方法

定期試験時のレポートの成績に、出席状況を加味して評価する。

教科書

適宜プリントを配布する。

参考書等

授業において適宜紹介する。

科目名	日本文化基礎	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境日外考心政営A12選				
担当者名	菌部 幹生 <small>そのべ みきお</small>				

講義のねらい

真の国際人とは自国の文化をしっかりと認識している人物である。これからの国際社会を生き抜いていくためには、自国についての認識と意見を持ち、それを表現できる必要がある。本講座は、そうした文化の認識に関する導入的講座である。したがって、単に知識を得るのではなく、文化的事象をどのように自分の中で体系化して認識し、そこから何を考えるかを問題にしたい。

講義の内容・授業スケジュール

1 ガイダンス。2 婚姻史。3 婉曲表現の文化。4 自己認識の文化。5 食文化。6 住まいの文化。7 服飾文化。8 宗教文化。9 テレビゲームの可能性と文化的展望。10 文化史としての日本文学。11 伝承文芸。12 教場試験。13 まとめ。

履修上の留意点

毎時間の最後に、その日の講義内容に関する意見文の提出を求めるので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法

出席点20点、意見文30点、教場試験50点の割合で評価する。定期試験期間中の試験は行わない。なお、12月の最後の授業時間中に、追・再試験に相当するレポートに関する伝達(該当者・テーマ・提出期限等)を行うので必ず出席すること。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

参考書等

必要があればそのつど紹介する。



科目名	日本文化基礎	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境日外考心政営A12選				
担当者名	石割 <sup>いしわり</sup> 透 <sup>とおる</sup>				

講義のねらい

日本の戦争及び戦後のことを考えることは極めて重要な課題であるが、戦後の風景を検討するに際して、この授業では、昭和27年に放送劇として始まり、その人気ゆえに映画、歌謡、小説など、多くのジャンルにまたがって、大きな人気を博したメロドラマ、「君の名は」について、その人気を博した理由を考え、戦後の1時期における戦中観を検討してみたい、あわせて、日本のメロドラマの系譜を概観することで、日本の戦後の文化の一端を考察してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

「君の名は」は、放送劇であるがゆえに、現在はその台本でしか、その内容に触れることができない。小説も、全国の幾つかの図書館でしか、現在では見ることはできない。(河出書房の文庫本も、現在では絶版である。) わずかに、映画全三部作がビデオなどで見ることができのみである。レンタルビデオなどで、あらかじめ、その物語に触れていただければ、幸いである。

履修上の留意点

「君の名は」の内容にこだわらず、この時間には、放送劇、映画、絵画などの分野にも拡張、その特徴、歴史などにも触れる予定である。メロドラマ、歌謡曲、大衆小説などにも関心をもって授業に臨んでほしい。

成績評価の方法

出席を重視する。戦後文化についてのレポートを提出。それらによって評価する。

教科書

特に指定しない。その都度、必要な教材を、こちらで準備する。

参考書等

その都度、授業中に紹介する。

その他

映画などは、ビデオで見せることを考えています。

科目名	日本文化基礎	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境日外考心政管A12選				
担当者名	こばやし おさむ 小林 治				

講義のねらい

宮澤賢治の童話を精読する。賢治作品はこれまで、そこに溢れるイメージの絢爛さが、言葉だけの世界におけるデザインの卓抜さということに囲い込まれ、消費されるという不幸にしばしばみまわられてきた経緯があり、それゆえに賢治を遊民と錯視する見解も生まれてきた。しかし、その詩においても童話においても、注意深くそれらを読むならば、賢治の比類無き想像力の飛翔によって夢見られたイメージや虚構は、その飛翔に相当した深い喪失感と内省を生み出していることに気づくはずである。そこに表現者としての賢治の修羅があるのであり、ムードに流された生半可な鑑賞などはねつけてくるのである。

講義の内容・授業スケジュール

上記の賢治作品の実相を、生前発表作品である『氷河鼠の毛皮』、『シグナルとシグナレス』、およびその生前に唯一出版された童話集『注文の多い料理店』所収の作品などにみていく予定。

履修上の留意点

開講時に、あらかじめ重点的に取り上げる作品を指示するので、文庫や全集などで、事前に作品を読んで授業に出席のこと。他の学生の大いなる迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。

成績評価の方法

毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。

教科書

宮澤賢治『宮澤賢治全集第8巻』（ちくま文庫）  
その他、適宜プリントも配布する。

参考書等

授業時に指示する。

科目名	日本文化基礎	開講	半期	単位	2
担当	禅仏国英地文環境日外考心政管A12選				
担当者名	まつだ なおゆき 松田 直行				

講義のねらい

講義タイトルは「流行歌の近代史～J-POPへの道程」。明治維新から現代までの流行歌を通して、①世相風俗とメディア史を中心とした近現代史、②伝統音楽・西洋音楽・ジャズの3要素の交錯と融合による現代音楽史、③西洋音楽に日本語をのせる歌詞の問題、の3つを並行して考える。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 音の科学 (2) 基本の楽理 (3) 明治における西洋音楽の移入 (4) 浅草オペラとモダニズム (5) 流行歌の誕生 (6) 戦後の歌謡曲 (7) ビートルズとロックの時代 (8) 歌謡曲からJ-POPへ

履修上の留意点

新入生と2年次生を対象として、各自の興味・関心をもとに真剣に授業に取り組む学習姿勢を身につけること自体も目的としているので、基本的に毎回出席する姿勢が求められ、遅刻しての入室は禁じる。

成績評価の方法

定期試験期間中に筆記試験を行う。授業で指示する提出物や出席状況も考慮して採点する。

教科書

指定しない。授業で毎回プリントを配布する。

参考書等

佐藤良明『J-pop 進化論』平凡社新書、¥725。

その他

後期科目だが、希望者には4月の履修登録前にガイダンスを行う。前期科目の「フレッシュマンセミナー（松田）」の講義内容を参照。前期科目はこの授業とは別であり、必ずしも両方を履修する必要はない（してもよい）が、前期授業の初回にこの授業のガイダンスもあわせて行う。

科目名	日本語文化基礎	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境日外考心政営A12選				
担当者名	萩原 義雄 <small>はぎはら よしお</small>				

講義のねらい

「東アジア漢文文化圏」の東端海上に位置する日本国は、独特な言語文化を生み出してきました。その素養を知る手がかりをこの講義を通じて理會を深めていただき、海外の国際文化交流のうえで基礎となる素養を多くの方が育み、この日本文化の手触り・肌触りを実感できる講座となればと考えています。日本の書記文字文化は西欧の音楽文化に通じています。逆に西欧の文字文化は、日本の邦楽文化（仏教聲明・平曲・謡曲）と連動しているといった図式がよく取り沙汰される所以をこの時間で具現できればと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続について担当責任者説明
- 02の講義内容 日本語文化を学ぶ一般基礎資料の蒐集方法とその取り扱い
- 03の講義内容 日本語文化を学ぶ字書・辞書・参考専門書の利用とその実際
- 04の講義内容 「東アジア漢文文化圏」における現在の学術研究レベルと成果  
その研究領域の一般活用と手続き  
(中国・韓国・北朝鮮・モンゴル・ベトナム・タイ・インドネシアなど)
- 05の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その1 (中国と日本)
- 06の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その2 (朝鮮半島と日本)
- 07の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その3 (モンゴルと日本)
- 08の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その4 (ベトナムと日本)
- 09の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その5 (タイと日本)
- 10の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その6 (インドネシアと日本)
- 11の講義内容 「西欧言語文化圏」と日本語文化(ギリシャ・トルコ・イタリアを中心に)
- 12の講義内容 言語文化「西欧言語文化圏」その1 (ギリシャ&トルコと日本)
- 13の講義内容 言語文化「西欧言語文化圏」その2 (イタリアと日本)
- 14の講義内容 言語文化「西欧言語文化圏」その3 (英国・米国・豪国と日本)
- 15の講義内容 期末課題レポートの提出

履修上の留意点

※情報機器利用の為、許容の人数制限を実施します。出席も、教場IT管理に依拠しています。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れてきたりした場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。特に、4週連続して理由なき欠席された受講者については、履修名簿から自動的に抹消します。

※講義内容及び連絡事項については、HP(情報言語学研究室)上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても対応可能とします。

成績評価の方法

期末にレポート課題を用意します。これを紙出し&データ記録(ネットへの添付資料)にして、最終締め切り日迄に提出します。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部(日本文化部門)&短期大学国文学・英文学掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させて行きますのでご承知願います。

教科書

随時、講義の前後にて報知します。

参考書等

随時、講義の前後にて報知します。

その他

情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

情報機器を利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

科目名	日本語文化基礎	開講	半期	単位	2
担当	禅仏国英地文環境日外考心政管A12選				
担当者名	湯浅 陽子 <small>ゆあき ようこ</small>				

講義のねらい

今やパソコンは使えて当たり前の時代ですが、使いこなしているでしょうか？この授業では、使いこなす上で必要な表現力（大学生として恥ずかしくない日本語能力・文章力、色彩および図解能力）を強化します。

日本語能力は、語彙を増やし、読み仮名や漢字の間違いを減らすことに重点を置きます。また、社会生活で必要な慣用句やことわざの意味、敬語の基本を確認して、活用できるかどうかをチェックします。

文章力は、簡潔でわかりやすい実用文の書き方のポイントと、説得力のある文章の構成方法を学び、小論文などを実習します。

色彩及び図解能力では、色彩の基本と表や図形を書くときの注意点を学び、図解の基本的な作成方法を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 情報利活用における表現力の位置づけ
- 第2回 語彙を増やす（送り仮名・同音異義語）
- 第3回 語彙を増やす（慣用句）
- 第4回 語彙を増やす（ことわざ・敬語）、練習1
- 第5回 良い文のポイント、練習2
- 第6回 文章の構成（要素と構成方法・要約・見出し）、練習3&4
- 第7回 さまざまなビジネス文書、練習5
- 第8回 小論文の構成、引用の提示方法、エントリーシート、練習6&7
- 第9回 色彩と図解の基礎知識、練習8&9
- 第10回 グラフを作る、練習10
- 第11回 グラフや図解でものを考える、練習11
- 第12回 Drill
- 第13回 予備日

履修上の留意点

コンピュータを使用します。コンピュータを起動するためにIDが必要です。入学式後のオリエンテーション期間中に行なわれる総合情報センターの説明会に必ず出席して、コンピュータのユーザー登録を行ないIDを取得している人でなければ受講できません。また、第1回目の授業で定員を超えた場合は、2回目の授業時に抽選を行ない、履修登録許可書を発行しません。

成績評価の方法

出席を重視します。毎回講義のあとに練習問題を課します。その課題の提出は翌週までにメールに添付して提出します。評価は出席点・課題提出点・および授業内試験による総合評価です。

教科書

自作教材

参考書等

必要時に、適宜指示します。

その他

「基本が大切」とは、よく言われることですが、パソコン操作も基本が大切なことに変わりはありません。パソコン操作の基本とは、すなわちキーボード操作です。Windowsの出現以来、専門家や一部の愛好者ばかりでなく、誰もが触れるようになったパソコンですが、マウスの操作だけではパソコンの機能のうち、ほんのわずかなことしかできません。

ワープロによる文書作成も電子メールもキーボードによる文字入力を中心であり、現在専門家としてパソコンを操作している人も初めはキーボードの入力から覚えていったのです。初心者にとっては、大きなハードルとなるキーボードですが、情報化がすすむ社会では不可欠の技能と言えます。総合情報センター内のコンピュータに入っているタッチタイピングソフトの「Type Quick」で入力のスキルアップを図ってください。

科目名	日本文化研究IA	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A選				
担当者名	佐原 作美 <small>さきはら さくみ</small>				

講義のねらい

授業では『万葉集』の講読を中心に進める。『万葉集』は承知の如くわが国最古の大歌集であり、約4500首もの和歌を収める国民的古典である。授業ではその中から特に特色ある歌人として知られる山上憶良の作品を中心に読んでいくと共に、作者憶良の人間像を探求することを目標としたい。

講義の内容・授業スケジュール

憶良を理解するにはその作品を精読することが第一であり、それにあわせその時代や社会などとの関わりをも視野に入れる必要がある。授業では、憶良の全作品を創作年代順に追いつながりつつ、その全体像の把握につとめながら共に読んでいきたい。

履修上の留意点

授業は単に出席して講義を聞けばいいというものではない。自ら積極的に作品を読み、考え、味わうことが大切である。作品は人間から生れた文学芸術であることを忘れずに、意欲的に立ち向うようにしてほしい。

成績評価の方法

折々の提出物や試験や出席などを見て総合的に評価する。

教科書

土橋 寛編『作者別万葉集』(おうふう) 2,000円

参考書等

授業時に必要に応じてその都度紹介する。

科目名	日本文化研究IA	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A選				
担当者名	坂口 博規 <small>さかくち ひろき</small>				

講義のねらい

鎌倉時代初期に成立した私家集(=個人歌集)『建礼門院右京大夫集』を読む。平家一門全盛の世、高倉天皇中宮となった平清盛娘徳子(安徳天皇母)の宮廷に女房として仕えた、「右京大夫」と称した女性の歌集である。他人詠も含めて361首の歌が、全体ほぼ年代順に配列されており、その半生の回想の記の体を示していることから、日記文学に指摘される自照精神を問うこともできる。徳子の宮廷に仕えていた折に、平清盛の孫に当たる貴公子資盛と恋に陥り、以後平家一門の都落ちに伴う資盛の流転、壇の浦での死去を体験し、その追想の日々を過ごす。その戦乱期に運命を翻弄された作者の人生を、散文(=詞書)と韻文(=和歌)が見事に融合したと評価される作品を通して考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

開講時(1・2)は、女性の手になる自照文学の流れを概観し『平家物語』の裏面史とも言うべき本作品を理解するため『平家物語』の女人哀話を紹介(3)、前期は平資盛との交渉を中心に作品を講読する(4~13)。後期は似絵(肖像画)の名手であり歌人でもあった藤原隆信との稔らぬ恋に苦悩するが、その交渉を伝える和歌を中心に作品を読み進め(14~25)、和歌文学の魅力を考える(26)。作品研究という形で本文を読みたい。

履修上の留意点

和歌の魅力を感じてもらうように、いくつかの作品を分析的に読解してみるが、まず作品の成立した平家全盛の時代、そしてその滅亡の歴史的背景について研究してほしい。なお宮廷社会について考察してほしい。

成績評価の方法

授業内試験の成績に、平素の出席状況や授業への取組みを参考にして評価する。

教科書

久富高文編『建礼門院右京大夫集』(おうふう) 1,890円

科目名	日本文化研究IA	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A選				
担当者名	鈴木 裕子				

講義のねらい

『源氏物語』入門……禁忌と夢を中心に――

日本文化の基底をなす文芸の一つとして、古代より人々によって読み継がれ、受け継がれてきた古典文学『源氏物語』を取り上げる。文学作品としての価値はどのようなところにあるのか、またその享受のあり方は時代の流れにともなうどう変わってきたか、実際に作品世界の一端に触れつつ考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、『源氏物語』の中核となっている、光源氏と藤壺の禁忌の恋の物語を取り上げて物語世界での位置付けや注釈の歴史をたどりつつ読み解く。後期は、『源氏物語』において夢がどのように描かれ、物語の展開に関わっていくか、明石の一族の物語を中心に読み解く。

履修上の留意点

授業はテキストやプリント教材を用いての講義形式を基本とするが、頻繁に小作文などの課題を出題する。

成績評価の方法

半期毎に行うレポート試験、提出物（授業中に短い作文の提出を求めることがある）、出席状況（遅刻・早退をしないことは大前提）等から総合的に行う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。

教科書

『ビギナーズ・クラシック源氏物語』角川ソフィア文庫（角川書店）、その他プリント教材。

参考書等

参考書は、授業中に指示する。

科目名	日本文化研究IA	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A選				
担当者名	蘭部 <small>そのへ</small> 幹生 <small>みきお</small>				

講義のねらい

日本文化のなかで、伝承文芸は上代から近世まで、あらゆるジャンルの文芸と関わって、大きな意味を持っていた。その伝承文芸を代表する説話文学のなかから、特に有名な作品の一つである『宇治拾遺物語』をとりあげる。『宇治拾遺物語』は長く編者未詳の作品として扱われてきたが、その謎を解き明かしてみたい。説話集は、伝承された話を編纂したものであるから、同じ話や類似した話が、他のさまざまな作品にも載せられている。それらの話との比較も、説話を理解するうえでは、たいせつな要件となる。したがって、『今昔物語集』のような他の説話集はもちろん、その他さまざまなジャンルの作品も合わせ読むことになる。そうしたことを通して、説話の本質を考え、また、『宇治拾遺物語』の秘められた特質も浮き彫りにしてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

1 ガイダンス。2 説話とは。3・4 説話文学史。5 序文講読。6・7 宇治拾遺物語の特徴。8～18 編者論。19～24 作品論。25 教場試験。26 まとめ。

履修上の留意点

毎時間の最後に、その時間の講義内容に対する意見文を書いて提出するので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法

毎時間提出する意見文で50点分を評価し、12月の授業時間内に50点満点の筆記試験を行なう(試験には、ノート・テキスト・辞書・参考書など、何でも持ち込み参照可)。また、最後の授業時間内に、追・再試験に相当するレポートについての連絡を行なうので、必ず出席すること。

教科書

中島悦次校注『宇治拾遺物語』角川文庫

参考書等

『駒澤短大国文』36号。その他は必要に応じてそのつど紹介する。

科目名	日本文化研究IIA	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A234選				
担当者名	佐原 <small>さばら</small> 作美 <small>さくみ</small>				

講義のねらい

平安朝の末期に成立したわが国最大の説話集である『今昔物語』を通じて、社会の下層に位置する人々が、日々何を願い何を求めて生きていたか、その心性と思想と行動の有りようを探っていききたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、『今昔物語集』の「本朝仏法」部(巻十一～巻二十)の中から、特に観音や地藏や阿弥陀などの諸仏への信仰をはじめ、興味ひかれる説話を選んで読みながら見つめていきたい。

履修上の留意点

自発的に取り組むことと、何度も繰り返し読んで味読してほしい。

成績評価の方法

折々の提出物や試験や出席(重視)などを見て総合的に評価する。

教科書

佐藤謙三校注 『今昔物語集』本朝仏法部、上・下巻 (上巻903円、下巻735円)・角川ソフィア文庫(角川書店刊)

参考書等

必要に応じ授業の中で紹介する。



科目名	日本文化研究II A	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A234選				
担当者名	鈴木 裕子 <small>すずき ひろこ</small>				

講義のねらい

一和歌で読む『源氏物語』一

古典の物語では和歌は重要な役割を果たす。和歌を読み解くことで、作中人物の状況や心情、あるいは無意識の深層まで探れることがある。今回は、特に日本文化の基底をなす文芸の一つ『源氏物語』を取り上げる。

講義の内容・授業スケジュール

精選した場面を原文で読み、和歌の機能について理解を深める。第一部、第二部の物語世界から、藤壺や六条御息所、紫の上の歌などを取り上げる予定。古典和歌になじみのない人も現代語訳の『源氏物語』で和歌がどう扱われているかを確認しつつ物語のおもしろさを発見して欲しい。

履修上の留意点

授業はテキストやプリント教材を用いての講義形式が基本となるが、頻繁に小作文などの課題を出題する。

成績評価の方法

前期・後期にそれぞれ一度ずつ行うレポート試験（論題等は授業時に提示）・授業態度（欠席・遅刻をしないことは前提）・課題などから総合的に行う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。

教科書

プリント教材。

参考書等

参考書は、俵万智『愛する源氏物語』（文藝春秋社）、鈴木裕子『『源氏物語』を〈母と子〉から読み解く』（角川叢書・角川書店）その他、授業中に指示する。

科目名	日本文化研究II A	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心政宮A234選				
担当者名	坂口 <sup>さかぐち</sup> 博規 <sup>ひろき</sup>				

講義のねらい

古代の『古事記』『日本書紀』『風土記』等の歌謡を考える。古代の「ウタ」の発生の問題や、「ウタ」の役割（＝古代的意義）を考えるとともに、作品中に登場する歌謡が、その物語の中でどのような役割（＝文学性）を担っているか等を考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

はじめ「ウタ」の発生について考察し（1～3）、次いで古代歌謡の種類（4～6）や形態（7・8）や表現様式・歌体（9～13）などを、『古事記』や『日本書紀』『風土記』の物語を含めて解説する。後期に入り、歌謡が物語にいかなる役割を以って挿入されているかを理解してもらうために、ヤマトタケル物語を『古事記』と『日本書紀』の両方で読む。この二つのヤマトタケル物語は内容を大きく変えており、その違い、『古事記』と『日本書紀』の政治的主張の差などに由来することから、まず『古事記』と『日本書紀』の成立について考察（14～17）、その上でヤマトタケル物語を読み解きたい（18～25）。

履修上の留意点

古代の文学・歴史書たる『古事記』『日本書紀』『風土記』は、その表現や内容上難解な点が多いので、是非注釈書などに目を通してほしい。本文読解を中心に行うことはしないので作品の理解は現代語訳でもよい。

成績評価の方法

定期試験時におけるレポートの評価による。出席状況も参考にする。

教科書

授業時に適宜プリントを配布する。

参考書等

授業時に適宜紹介する。

科目名	日本文化研究II A	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A234選				
担当者名	蘭部 <small>そのべ みきお</small> 幹生				

講義のねらい

同じ担当者（蘭部幹生）の日本文化研究IAを履修済みという前提で講義を行う。すなわち、『宇治拾遺物語』の編者が文章博士・藤原経範であるという前提に立てば、『宇治拾遺物語』をどのように読むことができるか、という点を最大のテーマとする。恣意的な読み方によらずに、どのように読むべきかという作品研究の立場に立った方法を実践したい。

講義の内容・授業スケジュール

1 ガイダンス。2 説話文学の盛衰。3 編者論。4～13作中人物論。14～24作品論。25教場試験。26まとめ。

履修上の留意点

日本文化研究IAを履修済みであることが望ましい。できれば同一担当者の日本文化研究IAを単位修得してから履修することが望ましいが、そうでない場合は、必ず最初の授業時にその旨を相談すること。

また、毎時間の最後に、その時間の講義内容に対する意見文を書いて提出するので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法

毎時間提出する意見文で50点分を評価し、12月の授業時間内に50点満点の筆記試験を行なう（試験には、ノート・テキスト・辞書・参考書など、何でも持ち込み参照可）。また、最後の授業時間内に、追・再試験に相当するレポートについての連絡を行なうので、必ず出席すること。

教科書

中島悦次校注『宇治拾遺物語』角川文庫

参考書等

『駒澤短大国文』25号。その他は必要に応じてそのつど紹介する。

科目名	日本文化研究ⅡB	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A選				
担当者名	いしわりとおる 石割 透				

講義のねらい

1910年から20年代にかけての日本の、主に短篇小説を読む。  
主に大正時代の文壇の中心にいた作家——芥川龍之介・志賀直哉・谷崎潤一郎・菊池寛・江戸川乱歩ら——の作品を読みそれぞれの作家の特質、作家の生きた時代の社会的、文化的状況を検討する。大正期には、それぞれの個性が開花し、現代に通じるさまざまな表現方法が見出され、生きるうえでの課題が生まれたが、代表的な短篇小説を扱うことで、そのようなテーマを検討していく。とりあげる作品は、芥川龍之介「芋粥」「舞踏会」「雛」、谷崎潤一郎「白昼鬼語」「小さな王国」「春琴抄」「痴人の愛」、志賀直哉「小僧の神様」「焚火」、菊池寛「屋上の狂人」「父帰る」「海の勇者」「入れ札」「真珠夫人」、江戸川乱歩「人間椅子」「芋蟲」など。

講義の内容・授業スケジュール

上記の作品を読み、それぞれの作品にひそむ課題、表現方法、社会的背景などを検討していく。大体、前期、後期、4、5つの作品をとりあげる予定である。

履修上の留意点

授業に際して、各々の作品を前もって十分に読んでおくことが望ましい。各作品に絡めて言及する作品についても、すぐに図書館にでも行き、読んでほしい。短篇小説だから、すぐに読める筈である。

成績評価の方法

年度2、3回のレポート提出。出席状況を重視する。

教科書

特に指示しないが、扱う作品は、主要な文庫本などで比較的容易に読むことが可能である。例えば谷崎潤一郎「美食倶楽部」(ちくま文庫)、江戸川乱歩「江戸川乱歩傑作選」(新潮文庫)、芥川龍之介「芥川龍之介全集Ⅰ～Ⅵ」(ちくま文庫)、谷崎潤一郎「痴人の愛」(新潮文庫)など。年表の会編『近代文学年表』(双文社)。

参考書等

授業時に指示する。

その他

講義を中心に進行する。授業に必要なコピーなどを、その都度準備する。

科目名	日本文化研究I B	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A選				
担当者名	小林 治 <small>こばやし ちか</small>				

講義のねらい

現代文学の作家と映画との関わりは、その作家及び作品の方向性を決定してしまうほど深いケースが多くなっていると言えるだろう。その関わり方は、大きく分けて二種類あると思われる。一つは、作家が観た映画に触発された、あるいは影響を受けた場合であり、もう一つは作家が実際に監督として映画を作った、もしくは脚本などを担当して映画作りに参加した場合である。これまで、映画と文学というテーマが掲げられると、前者の関わりから語られることが多かったが、ここでは具体的に後者の場合を安部公房について取り上げて、どのように関わっているか考えてみたい。また、前者についてもいくつか取り上げる。

講義の内容・授業スケジュール

代表作『砂の女』など昭和30年代から40年代にかけて先駆的に自作の映画化に数多く関わった安部公房について順次みていく予定である。

履修上の留意点

授業で触れる作品は、できるだけ多くを授業と併行して読むことが望まれる。また、特に詳しく触れる作品はあらかじめ指示するので、必ず読んでおくこと。

成績評価の方法

毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出欠状況を加えて成績評価をおこなう。

教科書

安部公房『砂の女』（新潮文庫）400円  
 安部公房『他人の顔』（新潮文庫）450円  
 その他、適宜プリントを配布する。

参考書等

授業時に指示する。

科目名	日本文化研究IB	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心政管A選				
担当者名	まつだ なおゆき 松田 直行				

講義のねらい

近代以降の日本における演劇と芸能の諸相を、多角的に考察する。西洋近代劇の移入に始まる演劇史を中心としながら、浅草オペラや宝塚、ミュージカルなどの音楽劇、寄席の芸能や大道芸に至るまでを広い視野でとらえ、ジャンルの枠を超えた発想から近代日本におけるライブ・パフォーマンスの全体像を見つめる。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 芸能とは何か (2) 現代日本の芸能と演劇の実情 (3) 歌舞伎開化から新派へ (4) リアリズム演劇の理念 (5) 近代演劇の移入と新劇 (6) 帝劇と宝塚 (7) 浅草オペラとエノケン (8) 漫才と喜劇 (9) 大道芸と見世物 (10) 近代戯曲を読むーイブセン「人形の家」と岸田国士「紙風船」

履修上の留意点

できる限りの映像資料を使って芸能や演劇に触れてほしいと思っているが、それは単なる映像に過ぎないことも事実である。授業時間以外に自分で様々な芸能や演劇の場に足を運び、レポートとして報告する課題を出す。機会があれば希望者を募っての観劇会も企画したい。

成績評価の方法

出席状況を重視するが、学年末の定期試験期間中に筆記試験を行い、またそれとは別に前期・後期それぞれにレポートの提出を求め、総合的に評価する。

教科書

指定しない。随時教場でプリントを配布する。

その他

この授業で扱う内容からさらに専門性を深め、自分の興味にしたがって各自が研究し発表する演習形式に近い形態を取り入れた「日本文化研究IIB(松田)」を今年度から開講する。こちらのIBを先に履修してから、翌年度以降さらに興味があればIIBを履修していただきたい。

科目名	日本文化研究II B	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A234選				
担当者名	いしわり とおる 石割 透				

講義のねらい

日本近代文学と〈京都〉——そうだ、京都。学ぼう。  
 京都は平安時代から、政治、文化の中心としてあり、近代においても首都東京と対照的な際だった性格をもつ場所として文学の世界でも表象されてきた。現在でも多くの人たちが訪れる国際的な都市でもある。日本の文化の本質とも深く関わる、こうした〈京都〉という場所は、どのような空間に位置し、いかなる歴史、文化とかがかわってきたか。この授業では、京都という地の性格を概観し、それが日本近代文学でいかに表象されてきたかを検討しようとする授業です。文学作品としてとりあげるのは、与謝野晶子「みだれ髪」、吉井勇「祇園歌集」、長田幹彦、夏目漱石「虞美人草」、近松秋江「黒髪」、川端康成「古都」、高浜虚子「俳諧師」、谷崎潤一郎「蓼喰ふ虫」「陰翳礼讃」、三島由紀夫「金閣寺」、大仏次郎「帰郷」など。他に映画、絵画もとりあげたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は京都の歴史的・地理的特色を述べ、京都の町の特徴を概観する。それぞれの場所、事象、行事がいかに古典などに表象されてきたかを簡単に説明し、それを基にして、近代文学と京都、について、各テキストに基づいて考えていく。及んでは、それによって、日本近代の特質、日本文化の諸問題を浮きあがらせていく。

履修上の留意点

各授業に先だち、各テキストを読んでおくことが望ましい。

成績評価の方法

年間に2、3回のレポートの提出。出席を重視して、成績評価に加味する。

教科書

特に指示しない。授業時にコピー、印刷物を配布する。

参考書等

授業時に指示する。京都を表象したテキストに注目しておくように。

その他

講義を中心として進行する。

科目名	日本文化研究II B	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A234選				
担当者名	こばやし おさむ 小林 治				

講義のねらい

戦後における文学の第一声ともされる同人誌『近代文学』に依る本多秋五や荒正人の評論から始めて、野間宏、椎名麟三などの第一次戦後派から、第二次戦後派の安部公房、島尾敏雄を経て、小島信夫、庄野潤三などの第三の新人に至るまでの戦後日本文学の軌跡を、それぞれの作家の作品を読むという形で辿ってみたい。そうすることで、敗戦までの日本近代文学の陥穽に対峙することから、その表現の独自性を確立しようとした戦後日本文学の可能性と限界を探りたい。

同時に受講生において、個々に自分にとって文学を読むこと、もしくは文学として作品を読むという行為がどのような意義を持つのかということをおぼろげに意識して考えていくことを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

第二次大戦直後の戦後文学の出発期から第三の新人が出揃った昭和三十年代に至るまでの戦後日本文学の軌跡がいかなるものであったのか、その概論を講義形式でおこなうと同時に、個々の作家の重要な作品については、逐次たちどまって具体的にテキストを用意してじっくりと講読する予定。

履修上の留意点

開講時に、あらかじめ重点的に取り上げる作品を指示するので、文庫や全集などで、事前に作品を読んで授業に出席のこと。他の学生の大いなる迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。

成績評価の方法

毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。

教科書

野間宏『暗い絵・顔の中の赤い月』（講談社文芸文庫）  
安部公房『飢餓同盟』（新潮文庫）  
その他、適宜プリントを配布する。

参考書等

授業時に指示する。



科目名	日本文化研究II B	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A234選				
担当者名	松田 <sup>まつだ</sup> 直行 <sup>なおゆき</sup>				

講義のねらい

昨年度の「日本文化研究IB（松田）」で概説した演劇・芸能の中から受講者の興味関心に応じたテーマを選び、受講者が分担して調査研究した内容を発表する演習形式に近い要素も取り入れながら、より深い理解を目指す。ビデオによる作品研究も行うが、必要に応じて実際の演劇や芸能を授業時間以外に見に行くこともある。演技の実技は行わない（日本文化テーマ研究Gで行う）。

講義の内容・授業スケジュール

「日本文化研究IB（松田）」で触れた主なテーマとしては、（1）演劇におけるリアルとは何か （2）鴻上尚史の演劇 （3）浅草オペラとエノケン （4）宝塚とミュージカル （5）漫才と喜劇 （6）大道芸と見世物 などがある。ほかに受講者の希望があれば、できる限り応じたい。

履修上の留意点

基本的には昨年度の「日本文化研究IB（松田）」の受講者を対象としているので、それを受講していない場合はまずIBから履修していただきたい。初回の授業でガイダンスを行い、履修に関する質問等を受けつける。

成績評価の方法

筆記試験は行わない。学年末の定期試験期間中にレポート提出を求めるが、それまでも授業中で随時、発表や小レポートの提出などを求め、出席状況や授業に参加する姿勢も含めて総合的に判定する。

教科書

「演劇におけるリアルとは何か」を考えるためのテキストとして、平田オリザ「演劇入門」講談社現代新書1422、¥735を使用する。

その他

本年度から開設する科目なので、受講者の様子を見ながら、授業の進め方はその都度柔軟に対応するつもりである。

科目名	日本語文化研究I	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A選				
担当者名	萩原 義雄 <small>はぎはら よしお</small>				

講義のねらい

音韻・文字・文法・語彙・敬語・文体・言語生活といった分野を常に据えた形態で、古代から現代までの“ことばの歴史”を現代人の鳥瞰・虫瞰の眼で、しかと見据えていくことを目的としています。そのなかで、現存する紙面日本語資料の実態についてその保管現況の把握が第一義となります。これをどう時代区分しているのかを精確に知りましょう。将来、日本語文化研究としてどのような重要性を有し、どのように発展研究していくのかを各で認識していただきます。

講義の内容・授業スケジュール

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続き担当責任者説明
- 02の講義内容 日本文化の未来と古代をつなぐ
- 03の講義内容 五十音圖のはなしと音訓について
- 04の講義内容 文字資料(漢字・ひらがな・カタカナ・ローマ字)から日本語学資料へ
- 05の講義内容 「いろはうた」と「あめつちのうた」そして「たみのうた」
- 06の講義内容 『伊勢物語』第九段 「東下り」を読む
- 07の講義内容 『野馬臺詩』をめぐる説話譚 — 『吉備大臣入唐絵巻』— PDF版
- 08の講義内容 「落書」 PDF版
- 09の講義内容 「手紙」失われた文字 PDF版
- 10の講義内容 文字の修得と習学 PDF版 かなについて 貴族階級とことば教育 佛敎界とことば教育
- 11の講義内容 文字の運びと流れ PDF版 カタカナ文献資料について— 『古今和歌集』(旧伏見宮家藏)一〇六年寫 —
- 12の講義内容 漢字・カタカナの混淆文を読む その1 PDF版 — 『今昔物語集』(京都大学附属図書館藏国宝、鈴鹿本)—
- 13の講義内容 漢字・カタカナの混淆文を読む その2 PDF版 — 鈴鹿本『今昔物語集』から古辞書利用へ—
- 14の講義内容 連綿連続にみる日本語の抑揚階調表現 PDF版 — 徳川本・五島本『源氏物語繪巻』のかな書き「ひ」文字 —
- 15の講義内容 夏季課題提出(後期講義に向けてその方向性と準備を説明)
- 16の講義内容 『作庭記』について PDF版
- 17の講義内容 梅沢本『古本説話集』にみる畳字踊り字「/＼」 PDF版
- 18の講義内容 延慶本『平家物語』について PDF版
- 19の講義内容 鴨長明自筆『方丈記』について PDF版
- 20の講義内容 細川三斎忠興筆『徒然草』について PDF版
- 21の講義内容 『蒙古襲来絵詞』について PDF版
- 22の講義内容 『太平記』について PDF版
- 23の講義内容 中世藝術論〔謡曲・能・狂言〕の言語文化についてPDF版
- 24の講義内容 天草版(キリシタン)資料 PDF版
- 25の講義内容 往来物『庭訓往来』について PDF版
- 26の講義内容 松尾芭蕉『奥の細道』PDF版
- 27の講義内容 『仮名手本忠臣蔵』 PDF版
- 28の講義内容 町人文化とことば 十返舎一九編『東海道中膝栗毛』 PDF版
- 29の講義内容 樋口一葉『たけくらべ』—雑誌「文學界」と「文藝俱樂部」所載直筆原稿—
- 30の講義内容 冬季課題の提出

履修上の留意点

※出席は、教場IT管理に依拠します。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れてたりした場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。特に、4週連続して理由なき欠席された受講者については、履修名簿から自動的抹消します。

※講義内容及び連絡事項については、HP(情報言語学研究室)上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても対応可とします。

成績評価の方法

前期と後期それぞれにレポート課題を用意します。これを紙出し&FD(ネットへの添付資料)にして、最終締め切り日に提出します。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添

成績評価の方法

えてください。

ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部(日本文化部門)掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させていきますのでご承知願います。

教科書

紀田順一郎著『日本の書物』〔勉誠出版、3000円(税別)〕

インターネット公開型テキスト“国語史”〔URL <http://www.komazawa.-u.ac.jp/~hagi>〕

参考書等

今野真二『日本語の歴史』文献から読み解く【鳥瞰虫瞰】(笠間書院) 3,800円(税別)  
ISBN4-305-70307-6

その他

情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

情報機器を利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

科目名	日本語文化研究I	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A選				
担当者名	湯浅 陽子 <small>ゆあさ ようこ</small>				

講義のねらい

近頃いろいろな場面で若者のコミュニケーション能力に不安があるという声を耳にします。コミュニケーション能力には、相手の話を聞くこと、意見の主張、説明、プレゼンテーションなどの能力が含まれます。コミュニケーション能力は、相手に効果的に働きかけることのできる「表現力」を身につけることで高めることができます。  
本講義では、文章技法からプレゼンの実施までを体験しながら方法論を学び、総合的な表現力を身につける手助けをします。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 知っておきたい日本語の知識
- 第2回 知っておきたい敬語の知識
- 第3回 日本語表現の基礎レッスン—ことばに変える（声を文字に、絵をことばに）
- 第4回 情報を要約する
- 第5回 情報の探し方
- 第6回 アカデミック・ライティング—正確な表現（何を書くか：マッピングで頭の中を取材）
- 第7回 電子ツールによるマッピングの方法
- 第8回 問いの立て方、根拠に支えられた意見提示
- 第9回 論理力トレーニング—紙上ディベート
- 第10回 小論文の構成（構成ノートにしたがって）
- 第11回 文章を書く技法—パラグラフ・ライティング
- 第12回 推敲のしかた（校正記号）
  
- 第13回 レポートから論文へ（作成の手順と方法）
- 第14回 電子ツールによるアウトライン作成
- 第15回 論文のスタイル、卒業論文の構成
- 第16回 電子ツールによる推敲、コメント機能、編集作業
- 第17回 テクニカル・ライティング—わかりやすい表現
- 第18回 ライティング技法
- 第19回 マニュアル制作（携帯電話の活用法）
- 第20回 マニュアル制作（携帯電話コミュニケーション術）
- 第21回 スライド作成（1年間を振り返って）
- 第22回 スライド作成
- 第23回 プレゼンテーションの実践（発表会）
- 第24回 プレゼンテーションの実践（発表会）

履修上の留意点

コンピュータを使用します。コンピュータを起動するためにIDが必要です。入学式後のオリエンテーション期間中に行なわれる総合情報センターの説明会に必ず出席して、コンピュータのユーザー登録を行ないIDを取得している人でなければ受講できません。また、第1回目の受講者数が定員を超えている場合は、第2回目の授業時に抽選を行ない、受講者を決定します。

成績評価の方法

出席を重視します。殆ど毎回アクティビティーがあり、それに伴う課題提出があり、それも評価の対象になります。課題提出は、次回の授業時までには、添付ファイルでメールにより提出します。最終プレゼン（発表）の良し悪しも評価され、出席・課題・発表の総合評価です。

教科書

適宜指示します。

参考書等

適宜指示します。

その他

コンピュータに慣れていない人は、総合情報センターのトップページから「e-Learning」に入り、Web上PC講習（学内のみ）にて練習してください。

科目名	日本語文化研究II	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心政宮A234選				
担当者名	萩原 義雄				

講義のねらい

日本語文化研究Iの日本語歴史で取り扱ってきた作品資料には、多くの注釈書類が編纂されてきている。これらの注釈書類に焦点を当ててみることで、作品の有する特徴並びに享受者側の学習教養の度合いを検証していくこととする。例えば、『古今和歌集』には『古今集註』、『伊勢物語』には『和語知類集』『神風知類正義集』『伊勢物語性清抄』など、『源氏物語』には『源氏物語抄』『河海抄』など、『枕草子』には『春曙抄』、『徒然草』には『徒然草寿命院抄』といった具合に枚挙なき注釈書が存在している。これらの注釈書類を以て、日本語文化研究において国語資料としての位置づけを探ってみることをめざすものである。

講義の内容・授業スケジュール

- |         |  |
|---------|--|
| 01の講義内容 | ※最初に情報センターの使用手続について担当責任者説明<br>古典作品に於ける「古注釈」研究の領域とは |
| 02の講義内容 | 『万葉集』の注釈書『万葉集略解』『万葉代匠記』                            |
| 03の講義内容 | 『古事記』の注釈書『古事記伝』                                    |
| 04の講義内容 | 『日本書紀』の注釈書『日本書紀抄』                                  |
| 05の講義内容 | 文献資料の蒐集方法とその取り扱い                                   |
| 07の講義内容 | 字書・辞書、そして参考とすべき専門書の利用とその方法                         |
| 08の講義内容 | 『伊勢物語』の注釈書『和語知類集』『神風知類正義集』『伊勢物語性清抄』                |
| 09の講義内容 | 『古今和歌集』の注釈書『古今集註』                                  |
| 10の講義内容 | 『枕草子』には『春曙抄』                                       |
| 11の講義内容 | 『源氏物語』の注釈書『源氏物語抄』『河海抄』                             |
| 12の講義内容 | 文献素材の入手及びデータ入力作業                                   |
| 13の講義内容 | 『和漢朗詠集』の注釈書『和漢朗詠集註』『和漢朗詠集聞書』                       |
| 14の講義内容 | 『平家物語』の注釈書『平家物語繪抄』                                 |
| 15の講義内容 | 『徒然草』の注釈書『徒然草寿命院抄』                                 |
| 16の講義内容 | 『太平記』の注釈書『太平記賢愚抄』『太平記音義』                           |
| 17の講義内容 | 『庭訓往来』の注釈書『庭訓往来註』『庭訓往来抄』                           |
| 18の講義内容 | 難字・異体字の処理及び修飾文字の利用(「今昔文字鏡」等)                       |
| 19の講義内容 | 図画・図表の処理(データ加工)→機器スキャナーに依る取り込み                     |
| 20の講義内容 | 注釈書類の引用文献その1 漢詩・漢籍資料                               |
| 21の講義内容 | 注釈書類の引用文献その2 和歌資料                                  |
| 22の講義内容 | 注釈書類の引用文献その3 和文資料                                  |
| 23の講義内容 | 注釈書類の引用文献その4 記録類資料                                 |
| 24の講義内容 | 注釈書類の引用文献その5 字書・辞書類資料                              |
| 25の講義内容 | 解説資料の整理記述  |
| 26の講義内容 | 資料公開とその注釈語の分析結果報告                                  |

履修上の留意点

※出席は、教場IT管理に依拠します。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れていたりした場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。  
 ※講義内容及び連絡事項については、HP(情報言語学研究室)上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても対応可能とします。

成績評価の方法

月毎に注釈書収載のこぼ群から説明語彙を選択し、上記項目を常にふまえた上で、報告書を提出し発表してもらいます。個人が年間分析する上記報告書における私からの質問を受けて、各自それぞれ提出してもらいます。解答の数を最低20としてこの一問一答ずつの提出物を高く評価していきます。  
 提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。  
 ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。  
 また、総合教育研究学部(日本文化部門)掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させて行きますのでご承

## 成績評価の方法

知願います。

## 教科書

URL <http://www.komazawa-u.ac.jp/~hagi> を使用する。

## その他

情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

情報機器を利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

科目名	日本語文化研究II	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A234選				
担当者名	湯浅 陽子 <small>ゆあさ ようこ</small>				

講義のねらい

相手に効果的に働きかけることのできる「表現力」を身につけることでコミュニケーション能力を高めるレッスン第2弾です。日本語文化研究Iとはちょっと視点を変え、表現する自分自身を主題にした文章、ことばの持つ音感やイメージを生かした表現のレッスンを行ないます。

自己をくぐった表現は強く、また鮮やかなイメージやエピソードは表現に深さや広がりを生むものです。論理だけでなく、感性や想像力も鍛え、強い表現力を支えます。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 オリエンテーション（自分史、俳句に挑戦する）
- 第2回 自分史のサンプルから学ぶ①
- 第3回 自分史のサンプルから学ぶ②
- 第4回 自分史を作る準備（立案・計画・素材集め・書き方のルール）
- 第5回 ブロック方式の構成
- 第6回 自分史年表＋エピソード方式の構成
- 第7回 本文入力①
- 第8回 本文入力②
- 第9回 本文入力③
- 第10回 レイアウト編集
- 第11回 印刷
- 第12回 まとめ
  
- 第13回 モノ語りーモノを通して自分を表現する
- 第14回 資料集め①
- 第15回 資料集め②
- 第16回 本文入力①
- 第17回 本文入力②
- 第18回 レイアウト編集
- 第19回 俳句をつくる
- 第20回 題材探し
- 第21回 自由に俳句
- 第22回 レイアウト編集
- 第23回 作品公開①（発表会）
- 第24回 作品公開②（発表会）

履修上の留意点

コンピュータを使用します。コンピュータを起動するためにIDが必要です。入学式後のオリエンテーション期間中に行なわれる総合情報センターの説明会に必ず出席して、コンピュータのユーザー登録を行ないIDを取得している人でなければ受講できません。また、第1回目の受講者数が定員を超えている場合は、第2回目の授業時に抽選を行ない、受講者を決定します。

成績評価の方法

出席を重視します。殆ど毎回アクティビティーがあり、それに伴う課題提出があり、それも評価の対象になります。課題提出は、次回の授業時まで、添付ファイルでメールにより提出します。最終プレゼン（発表）の良し悪しも評価され、出席・課題・発表の総合評価です。

教科書

適宜指示します。

参考書等

適宜指示します。

その他

Wordを使って作成していきますので、ある程度の入力レベルを必要とします。無理なく作業できるよう、自習室のパソコンに入っている Type Quick の入力練習ソフトでタッチタイピングに励んでください。

科目名	実務表現	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴史外考法A政営A1234選				
担当者名	萩原 義雄 <small>はぎはら よしお</small>				

講義のねらい

広く日本語の特徴についてを学ぶことで、学習者自身が修得してきた国語全般に渉る教養を再度この講義を通して確認していくことにより、自分が気づいていたこと、気づかずにいたことを含めて、自身の教養をより高めていくことを目標に進めていく。

講義の内容・授業スケジュール

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続について担当責任者説明  
書く技術 原稿用紙縦書きの意味
- 02の講義内容 出版社はなぜ400字詰めの原稿用紙を用いないのか？
- 03の講義内容 800字の文章は、こうして書く。
- 04の講義内容 原稿用紙7枚半(3000字)の文章の書き方
- 05の講義内容 漢和辞典を繙く
- 07の講義内容 国語辞典を繙く
- 08の講義内容 類語辞典を活用してみよう
- 09の講義内容 話題のエピソードを導入部で使おう
- 10の講義内容 人物はどのように描けるか
- 11の講義内容 自然景物をどう活写するか
- 12の講義内容 時代小説家は何に留意して作品を構築しているのか
- 13の講義内容 推理小説は、種明かしの部分をどこにおいているか
- 14の講義内容 「パロディ」な文章を書いてみよう
- 15の講義内容 絵本を書いてみよう
- 16の講義内容 漫画・アニメにみることば表現を使えるか
- 17の講義内容 手書き文字はどうすれば巧く書けるようになるのか？そのコツ
- 18の講義内容 詩や短歌を用いてことば遊び(回文・逆きことば・しりとり等)を学ぼう
- 19の講義内容 かな文字だけの文章
- 20の講義内容 ローマ字だけの文章
- 21の講義内容 文法は、グラグラだ！どうすりゃいいの？
- 22の講義内容 文章の修辭法を知ろう
- 23の講義内容 音の響きと弾みから学ぶオノマトペアの活用法
- 24の講義内容 生活に根ざした方言で書く文章
- 25の講義内容 句読点はどう用いてきたか
- 26の講義内容 言語生活からみた新聞論評・コラム
- 27の講義内容 愈々、独り立ち！個性ある書き手をめざそう。

履修上の留意点

※出席は、教場IT管理に依拠します。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れてたりした場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。

※講義内容及び連絡事項については、HP(情報言語学研究室)上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても対応可能とします。

成績評価の方法

週毎に上記項目を常にふまえた上で、提出作文を書いてもらいます。個人が年間提出する上記作文は添削を受けながら再度提出を求めていきます。その仕上がりに度合いを許し評価を五段階にして提示します。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部(日本文化部門)掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させて行きますのでご承知願います。

教科書

URL <http://www.komazawa-u.ac.jp/~hagi> を使用する。



そ の 他

情報機器及び文書編集ソフト「一太郎2007」を利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

情報機器を利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

科目名	実務表現	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考法A政営A1234選				
担当者名	湯浅 <sup>ゆあき</sup> 陽子 <sup>ようこ</sup>				

講義のねらい

社会のあらゆる分野で、情報ネットワークの利活用が基盤となる本格的なネット社会を迎えた今日、インターネットおよびパソコン等の情報機器の活用は、企業はもとより個人の社会生活においても不可欠になっています。

こうしたなか、企業実務においては、パソコンソフト等によるビジネス文書の作成能力や業務データの処理・分析能力、さらには情報機器およびこれに繋がるネットワークの利活用による事務能力や情報収集・発信能力が極めて重要な能力として求められています。

特に、ネット社会のビジネスにおいては、電子メールに代表されるように、これまで以上に文字によるコミュニケーションの機会が増え、ビジネス文書の作成能力が要求されることとなりました。

本講義では、文書作成の実習を通して、世の中の動きに即対応できる文書表現力を身につけます。

講義の内容・授業スケジュール

前期：日商PC検定試験 3 級（日本商工会議所）「文書作成」対応の講義・実習  
ビジネス文書検定試験 3 級（実務検定協会）対応の講義・実習

後期：日商PC検定試験 2 級（日本商工会議所）「文書作成」対応の講義・実習  
ビジネス文書検定試験 2 級（実務検定協会）対応の講義・実習

履修上の留意点

コンピュータを使用します。（ビジネス文書検定試験はコンピュータを使用しない試験ですが、「実務技能」分野の練習に敢えてパソコンを使用します。）

コンピュータを起動するためにIDが必要です。入学式後のオリエンテーション期間中に行なわれる総合情報センターの説明会に必ず出席して、コンピュータのユーザー登録を行ないIDを取得している人でなければ受講できません。また、第1回目の授業で定員を超えた場合は、2回目の授業時に抽選を行ない、履修登録許可書を発行します。

成績評価の方法

出席を重視します。毎回講義のあとに練習問題を課します。その課題の提出は翌週までにメールに添付して提出します。評価は出席点・課題提出点・および授業内試験による総合評価です。

教科書

適宜指示します。

参考書等

適宜指示します。

そ の 他

Wordを使って作成していきますので、ある程度の入力レベルを必要とします。無理なく作業できるよう、自習室のパソコンに入っている Type Quick の入力練習ソフトでタッチタイピングに励んでください。

科目名	日本文化テーマ研究A	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考政宮A1234選				
担当者名	佐原 <small>さいら</small> 作美 <small>さくみ</small>				

講義のねらい

わが国において、古代から口承によって伝えられて来たいわゆる「伝承文学」を読みながら、古代の日本人における精神世界とその有りようを探っていききたい。あわせてわれわれ現代人との関連性の上からも見ていききたい。

講義の内容・授業スケジュール

古くから人々の間によく知られている「国産み神話」や「羽衣伝説」をはじめ、その他の古伝承を『古事記』や『万葉集』や『風土記』の中から選り出し、読解と鑑賞をもとに上記の点について考察していく。

履修上の留意点

素朴な気持と自分の感性を大切にすることを心掛けてほしい。

成績評価の方法

折々の提出物や試験や出席などをもって総合的に評価する。

教科書

プリントの配布をもって行う。

参考書等

必要に応じて紹介する。

科目名	日本文化テーマ研究A	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考政宮A選				
担当者名	鈴木 <small>すずき</small> 裕子 <small>ひろこ</small>				

講義のねらい

—日本古典文学と〈異界〉……神話や伝説を読む—  
古代の文学作品や歴史書、地誌などを取り上げて、古代の人々が〈異界〉をどのように考え、語っているかを解説する。実際に原文に触れて古典を読む楽しさを体験して欲しい。

講義の内容・授業スケジュール

どのような人が〈異界〉から訪れ、あるいは〈異界〉への旅をしたか、『古事記』や『日本書紀』、『風土記』などの神話や『万葉集』に歌われている伝説を読み解きながら、古代の人々の死生観について考える。

履修上の留意点

授業は主としてプリント教材を用いての講義形式であるが、頻繁に小作文などの課題を出題する。

成績評価の方法

期末に行うレポート試験（日時・論題等は授業時に提示）・授業態度（欠席・遅刻をしないことは前提）・課題などから総合的に行う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。

教科書

プリント教材。

参考書等

参考書は、授業中に指示する。

科目名	日本文化テーマ研究B	開講	半期	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考政営A1234選				
担当者名	佐原 作美 <small>さばら さくみ</small>				

講義のねらい

奈良時代の社会と当時の人々の生活と行動を描いて成る、わが国最初の仏教説話集である『日本霊異記』をもとに、古代社会の底辺に生きた人々は何を求め、何を願っていたか、また、その願いは何に向けられていたかなど、その心のありようを諸仏への信仰を中心とする説話から探っていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業では、作中に見られる観音や弥勒や薬師などの諸仏への信仰のほか、行動としての善悪のありようなどを見せる説話を選んで読んでいく。また、『今昔物語集』など後世の作品との関連性も考えていきたい。

履修上の留意点

文学は味読することが大切なので、何度も繰り返して読んでほしい。

成績評価の方法

折々の提出物や試験や出席などを見て総合的に評価する。

教科書

当面はプリントの配布をもって行う。

参考書等

必要に応じて紹介する。

科目名	日本文化テーマ研究B	開講	半期	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考政営A選				
担当者名	鈴木 裕子 <small>すずき ひろこ</small>				

講義のねらい

—日本古典文学と〈あづま・みちのく〉……物語や説話を読む—  
古代から中世の文学作品を取り上げて、平安京という都市空間を生きた古代の人々における〈あづま・みちのく〉の意味を考える。実際に原文に触れて古典を読む楽しさを体験して欲しい。

講義の内容・  
授業スケジュール

『万葉集』におさめられている東国の歌や『伊勢物語』、『大和物語』などの歌物語、『更級日記』、『宇治拾遺物語』などの文学作品の一節を読みながらどのように〈あづま・みちのく〉という地域が古代の人々に把握されてきたかを読み取り、併せて作品に内在する問題について考えてみたい。

履修上の留意点

授業は主としてプリント教材を用いての講義形式であるが、頻繁に小作文などの課題を出題する。

成績評価の方法

期末に行うレポート試験（日時・論題等は授業時に提示）・授業態度（欠席・遅刻をしないことは前提）・課題などから総合的に行う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。

教科書

プリント教材。

参考書等

参考書は、授業中に指示する。

科目名	日本文化テーマ研究C	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考政営A1234選				
担当者名	坂口 博規 <small>さかぐち ひろき</small>				

**講義のねらい** 日本文化の一つとして、昔話・民譚と称される伝承がある。本年度はその伝承の中でも「異類怪婚譚」の諸相について考える。異類とは人間と類を異にする鳥獣・魚虫・植物のことで、この異類が人間の男や女に変身して人間と結婚するという伝承であり、特に異類房譚を考察する。

**講義の内容・授業スケジュール** 異類女房譚は、その異類の郷土を基礎として大きく三つの系統があり、A「空」を郷土とする羽衣伝説の例、B「海」を郷土とする浦島伝説の例、C「陸地（森林・山野）」を郷土とする狐女房伝説の例などである。半期科目なので、今年度は羽衣伝説を中心に考察する。まず異類怪婚譚について解説（1）、次いで日本の古代の伝承から講じてゆく（2～6）。平安時代成立の『竹取物語』も羽衣伝説の系譜に立つ物語であり、また「鶴の恩返し」で有名な鶴女房の話もA系統に属する伝承であり、これらについても考察する（7～11）。更にB・Cの系統についても言及したい（12・13）。

**履修上の留意点** 異類怪婚譚は室町時代物語草子（御伽草子）の中に多く登場し、その考察は「テーマ研究II I・日本文化テーマ研究D」で行うので、併せて履修して下されば幸いである。なお本時の内容は、平成18年度「日本文化基礎」で行ったものであり、昨年「日本文化基礎」を履修した受講生も「日本文化テーマ研究D」を履修していただくと幸いである。

**成績評価の方法** 授業の最終日に提出してもらうレポートの成績に、出席状況を加味して評価する。

**教科書** 授業において適宜プリント教材を配布する。

**参考書等** 授業において適宜紹介する。

科目名	日本文化テーマ研究C	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考政営A選				
担当者名	菌部 幹生 <small>そのべ みきお</small>				

**講義のねらい** 日本文化における事項のうちから、「失われた文化」をテーマとする。日本文学の中で現存しない作品は多いが、そのうち、説話文学史上に多大の影響を与えた（散佚）『宇治大納言物語』をとりあげる。諸書に紹介される記事や引用されて残る佚文を読み、その実態を探る試みを通して、失われた文化の持っていた意味や役割を考えてみたい。

**講義の内容・授業スケジュール** 1 ガイダンス。2 作品の文学史的意義。3～6 他文献の記事。7～10 他文献の受容。11 実態と散佚に関する推定。12 教場試験。13 まとめ。

**履修上の留意点** 毎時間の最後に、その日の講義内容に関する意見文の提出を求めるので、必ず原稿用紙を持参すること。

**成績評価の方法** 出席点20点、毎時間の意見文30点、教場試験50点の割合で評価する。定期試験期間中の試験は行わない。なお、最後の授業時間中に、追・再試験に相当するレポートに関する伝達（該当者・テーマ・提出期限等）を行うので必ず出席すること。

**教科書** プリントを配布する。

**参考書等** 必要があればそのつど紹介する。

科目名	日本文化テーマ研究D	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考政宮A1234選				
担当者名	坂口 博規 <small>さかぐち ひろ規</small>				

講義のねらい

室町時代物語草子（御伽草子）群には「異類怪婚物語（人間と人間以外の鳥獣・魚虫・植物等の変身した者との不思議な結婚の物語）」が多く存在する。それらの作品を取り上げ考察すると共に、受講生にはそうした作品から希望する作品を各自選んでもらい、研究レポートを作成してもらおう。

講義の内容・授業スケジュール

室町時代物語草子のうち、江戸時代に23篇の作品が「御伽草子」と題して出版された。その中から異類怪婚物語を取り上げて解説する。まず古典文学における物語史を講じて室町時代物語草子の文学的意義を考察（1～5）、更に23篇の中より異類怪婚物語として『浦島太郎』（6～8）・『本幡狐』（9・10）を取り上げて読解する。折々にレポート作成の指導をするが、最後に「御伽草子」23篇以外の『雁の草子』を例に作品研究の実際を学んでもらう（11～13）。

履修上の留意点

「異類怪婚物語」については、「羽衣伝説」を中心に「テーマ研究III・日本文化テーマ研究C」で講義し、室町時代物語草子の作品例として『鶴の草子』を解説するので、こちらも受講してくれると幸いである。

成績評価の方法

授業の最終日に提出してもらったレポートは原稿用紙10～20枚程度（400字詰）を考えている。その成績に、出席状況を加味して評価する。

教科書

授業時にプリント教材を配布する。

参考書等

授業時に、レポート作成のための文献等の紹介をする。

科目名	日本文化テーマ研究D	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考政宮A選				
担当者名	菌部 幹生 <small>そのへ けんせい</small>				

講義のねらい

日本文化における事項のうちから、「歌徳説話」をテーマとする。「徳」は「得」を意味し、「歌徳説話」とは歌を詠むことによって得をした話であるが、そのような話がどのようにして形成されていったのか、精神的背景にどのようなことがあるのかを顕かにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

1 歌徳説話の意味。2 典型的な歌徳説話について。3～5 歌徳説話の形成。6～7 歌徳説話の精神的背景。8～11 重流の歌徳説話。12 教場試験。13 まとめ。

履修上の留意点

毎時間の最後に、その日の講義内容に関する意見文の提出を求めするので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法

出席点20点、毎時間の意見文30点、教場試験50点の割合で評価する。定期試験期間中の試験は行わない。なお、最後の授業時間中に、追・再試験に相当するレポートに関する伝達（該当者・テーマ・提出期限等）を行うので必ず出席すること。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

必要があればそのつど紹介する。

科目名	日本文化テーマ研究 E	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考政営A1234選				
担当者名	石割 透 <small>いしわり とおる</small>				

講義のねらい

スポーツと文化・権力ー例えば<ボクシング>を例として。  
 スポーツは現在多くの人に、実際にプレーしたり、見ることを通して親しまれている。しかし、時代を超越して存在しているようなスポーツにも、権力や文化と深く介在し、時代状況と深く関係している。この授業ではスポーツを、文学・映画・テレビ映像がいかに表象されてきたかを検討し、そうした問題を考えていこうと思います。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には、昭和三十年代に日本でブームともなったボクシングは、それまでいかに表象され、時代・権力と関わってきたかを考えていきます。昭和三十年に<太陽族>という流行語を生み出した石原慎太郎「太陽の季節」から、三島由紀夫、大江健三郎らの文学作品、日活アクション映画、60年安保条約からベトナム戦争に関わるテレビ・ニュース映像、などから高森・ちばの「あしたのジョー」までを実際のボクシングの試合も絡めて、検討していきます。

履修上の留意点

スポーツを愉しんだり、見たりする際にも、そのスポーツの歩んできた歴史を一応考えてのぞむ。授業時に扱おう作品などを、読んだり見たりして授業にのぞむこと。

成績評価の方法

スポーツが芸術作品にいかに表象され、それがいかなる意味をもっているのか、などについて、レポートを提出すること。出席状況を重視して、成績評価に加味する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業時に指示する。

その他

講義形式で授業を進行させる。プリントなど、必要に応じて配布する。

科目名	日本文化テーマ研究 E	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考政営 A 選				
担当者名	小林 治 <small>こばやし おさむ</small>				

講義のねらい

宮澤賢治の生前未発表童話を読む。賢治が書いた散文作品は、童話としては難解すぎ、またその法華経文学としての宗教性からも、児童文学としては適当ではないのではないかなど様々な議論がこれまであった。しかし賢治童話は、たとえ難解ではあったとしても、「純真な心意の所有者たち」（『注文の多い料理店』広告文）へ与えられるべき「すぎとほつたほんたうのたべもの」（『注文の多い料理店』序）であることを願って書かれていることに異を唱える者はいだろう。「卑怯な成人たちに畢竟不可解な」（『注文の多い料理店』広告文）「純真な心意」とは何かを賢治作品の読解を通じて考え、そのような物語を求める賢治の精神のありようについて考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には上記のテーマ等の考察を、『なめとこ山の熊』、『セロ弾きのゴーシュ』などの短編や、『ポラーノの広場』、『風の又三郎』など比較的長い生前未発表作品の初期形から最終形までの生成の過程の中にみていく予定。

履修上の留意点

開講時に、あらかじめ重点的に取り上げる作品を指示するので、文庫や全集などで、事前に作品を読んで授業に出席のこと。他の学生の大いなる迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。

成績評価の方法

毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。

教科書

宮澤賢治『宮澤賢治全集第7巻』（ちくま文庫）  
その他、適宜プリントも配布する。

参考書等

授業時に指示する。

科目名	日本文化テーマ研究 F	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考政営A1234選				
担当者名	いしわり とおる 石割 透				

講義のねらい

日本近代美術に描かれてきた女性  
 絵画の世界では、江戸時代においては、女性は美人画の分野でもっぱら扱われてきたようであるが、近代の西洋画の流入に伴ない、さまざまな女性の姿が描かれるようになった。その意味を時代の流れに即して検討していく。

講義の内容・  
授業スケジュール

近代に至り写真にも刺激されて出現する肖像画、裸体画、農婦など働く婦人、家庭における婦人など、生活の中での女性が描かれていく。その画題の移り行きを、文学作品などを絡めあわせ、その意味を検討していきたい。それは、社会における女性の地位と関わることになると思う。

履修上の留意点

美術館の展示会に足を運んだり、美術の書物によって、明治期・大正期の絵画に注目しておくこと。

成績評価の方法

1、2回のレポート提出による。出席状況を重視する。

教科書

特に定めない。

参考書等

授業時に指示する。

その他

講義形式で進める。プリントを必要に応じて配布する。



科目名	日本文化テーマ研究 F	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英歴日外考政営 A 選				
担当者名	小林 治 <small>こばやし ちかむね</small>				

講義のねらい

異貌の作家・深沢七郎の小説を精読する。深沢は、昭和三十二年（1956年）、四十二歳で総合誌「中央公論」に創設されたばかりの「中央公論新人賞」に応募し、第一回の入賞者となって作家デビューを果たしている。それ以前は、戦前からギターのリサイタルを継続的に開いたり、旅まわりのバンドにいたり、日劇ミュージックホールにスカウトされて出演したりなど一風変わった風来坊的な生活を送っていた。このような書齋で思考する知識人作家的なタイプとは無縁の、文学同人やサークルからも孤立したその来歴からもうかがえるように、その作品においては、およそ日本の近代文学の正統からはずれて、ヒューマンイズムの規範による人間中心主義的な価値観を徹底して排除したすこぶる実存的な土着の庶民的世界が展開している。既成の価値観をあざ笑うかの如きその突出したアンチヒューマンイズムぶりをその作品世界において、検証してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には上記の深沢の作家としての特徴を、『楢山節考』、『笛吹川』『甲州子守歌』などの代表的作品の読解によって明らかにしていきたい。

履修上の留意点

開講時に、あらかじめ重点的に取り上げる作品を指示するので、文庫や全集などで、事前に作品を読んで授業に出席のこと。他の学生の大きいなる迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。

成績評価の方法

毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。

教科書

深沢七郎『楢山節考』（新潮文庫）  
その他、適宜プリントも配布する。

参考書等

授業時に指示する。

科目名	日本文化テーマ研究G	開講	夏期集中	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考政営A1234選				
担当者名	まつだ なおゆき 松田 直行				

講義のねらい

「演劇ワークショップ」の実技体験を行う夏季集中授業。これは即興演技の訓練法から生まれたもので、コミュニケーションに関する様々な要素（表情と体の動き、話し方、感情表現、グループの人間関係など）を体験的に学ぶとともに、状況に応じて臨機応変に対処する「インプロ」の技術を身につけることを目的とする。台本を使って演技をする演劇の訓練とは異なり、誰にでも簡単にできる「シアターゲーム」と呼ばれる体を動かすゲームをグループごとに繰り返しながら、最終的には台本も打合わせもなしでストーリーを生み出すことを目指す。人間関係を学ぶとともに、本番に実力を発揮する能力を身につけるものとして、企業の社員研修などでも取り入れられているものである。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 基本講義：ワークショップとは何か？ (2) 講義：心と体はつながっている  
(3) 実技：シアターゲーム (4) 実技：インプロの練習 (5) 実技：インプロのグループ発表 (6) まとめとレポート試験

履修上の留意点

集中授業なので基本的に4日間全ての出席を必要とする。軽い運動をすることができる動きやすい服装（靴はスニーカーなど）で出席すること。演劇の実習ではないので、演技の経験はまったく必要としない。むしろ人前で自分を表現することが苦手な方にこそ受講していただきたい。ただしグループでの練習に積極的に参加する協力的な姿勢は必要となる。

成績評価の方法

授業への参加状況、「インプロ」のグループ発表の結果、および最終日に教場で書いていただくレポート試験の結果を総合して算出する。

教科書

指定しない。

参考書等

絹川友梨『インプロゲームー身体表現の即興ワークショップ』、晩成書房、3,150円。池上奈生美・秋山桃里『インプロであなかも「本番に強い人」になれる』、フォレスト出版、1,365円。

その他

授業日程：7月31日の2～4限と、8月1日～8月3日の2～5限。合計4日間の15時限授業。予備日は8月6日の2～5限。

科目名	日本文化テーマ研究H	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考政営A1234選				
担当者名	松田 直行 <small>まつだ なおゆき</small>				

講義のねらい

講義タイトルは「映画の近代史」。19世紀末の発明である映画は、20世紀を「映像の世紀」と言わしめるほど近代という時代と深くかかわってきた。いま、映画というメディアが近代において果たした役割を歴史的に振り返り、映画とはどのような表現なのかをあらためて考える。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 映画とは何か (2) 映画の技術と歴史 (3) 映画の文法 (4) 映画の記号論  
(5) 日本のモダニズム映画 (6) シナリオの構造

履修上の留意点

実際に映像作品を授業で見させていただくことになるので、欠席すると内容がわからなくなる。上映予定の作品は、マック・セネットの無声映画、「戦艦ポチョムキン」、「市民ケーン」、「マダムと女房」、「カルメン故郷に帰る」、「東京物語」など。現代のいわゆる娯楽映画作品とは異なるので、その点は承知しておくように。

成績評価の方法

授業で随時小レポートの提出を求めるほか、授業期間中に教科書持込可の筆記試験を行って成績を評価する。試験の日時は授業で伝達する。定期試験期間中ではないので注意すること。

教科書

ジェイムズ・モナコ『映画の教科書—どのように映画を読むか』、フィルムアート社、3,675円。

科目名	社会学【5〔社会生活を考える〕】	開講	通年	単位	4
配当	営A選 営B選				
担当者名	小畑 和 <small>おひた かず</small>				

講義のねらい

社会学はつかみどころのない学問と言われますが、その理由は、社会学が「社会人の形式として社会関係や社会集団を研究するだけでなく、家族、人口、経済、法律、政治、企業、教育…等々の領域を一切切包み込んだ社会全体を研究する学問だからです。それ故に幅広く、内容も多種多様で、明確な統一の立場を見出だし難い性格を持っています。

講義では、生産力と消費力の2つのキー概念を用いて現代社会の構造を捉え、人々の社会生活が生産と消費の社会的環境の中でどのように影響されているかを明らかにしたい。また講義を通して「巨視的 (Macroscopic) なものの見方」を身に付けて貰いたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

この講義では「ゆたかさは人間を幸せにしたか」を主テーマに、人々の社会生活を誕生から老後に至る過程を追いながら次の7つの要因について講義する。

(1) マクロ的要因 (現代の生産の意味、生産力と消費力の関係が個人の社会生活にどのような影響を与えるかを中心に現代社会 (少子社会) を総合的に講義する。)

(2) 誕生に関する要因 (出生・墮胎・殺児…)

(3) 幼児・子供の成長に関する要因 (育児・保育・遊び・いじめ・体罰・塾・進学…)

(4) 家庭生活に関する要因 (核家族化、晩婚晩産化、生涯独身、パート、共働き、残業、余暇、離婚の増大…)

(5) 消費生活に関する要因 (広告・宣伝・ローン、消費者教育、自己破産、ホームレス問題、ゴミ問題等の消費者問題…)

(6) 会社生活に関する要因 (入社、転職、失業、終身雇用制の崩壊…)

(7) 老後の生活に関する要因 (年金、介護、生きがい、死の問題…) などを講義する。

この7つの要因を通して、全体として現代社会の社会生活を考えて見たいと思います。

履修上の留意点

初回の講義で説明する。

成績評価の方法

五段階2乗方式によるが、そのやり方は初回の講義で説明する。

教科書

初回の講義で説明する。

参考書等

初回の講義で説明する。

その他

上記授業のスケジュールは進度によって多少の変更がある。

科目名	統計学【1〔社会現象の統計的分析〕】	開講	通年	単位	4
配当	経A 経商現営A 選 経B 営B 選				
担当者名	田中 <small>たなか まさみつ</small> 正光				

講義のねらい

現代社会では、官庁統計、企業の経営上のデータ、アンケート調査結果など社会の諸相を反映した様々な数値が身近に氾濫している。これらのデータから各自が自分の必要とする情報を的確に選出・分析するためにはある程度の統計的知識とパソコン操作が必要である。こうした数値データの整理・分析の作業は実社会に出たときに様々の場面で必要とされるものである。また、新聞や専門誌上に頻出するグラフや統計表などの理解にも基礎的な統計の素養を必要とすることが多い。講義では、統計学の初歩の習得を主軸とし、同時に統計計算のためのパソコン操作に慣れることも目指す。

講義の内容・授業スケジュール

前期・後期を通じて、統計的基礎知識の習得に努め、現実の統計データ及び架空の数値などで実際に統計的計算を実行する場面も多々つく。その場合大量のデータを扱う時には、パソコン（実際にはエクセルが主流）を使って計算作業を実行する。

【前期】

1. 代表値（平均値、中央値、最頻値等）
2. データの散布度（分散、標準偏差、変動係数等）
4. 度数分布
5. 相関分析
6. 回帰分析

【後期】

1. 確率
2. 確率変数
3. 確率分布
4. 標本と標本分布
5. 統計的推定
6. 統計的仮説検定

履修上の留意点

通常の講義では電卓（関数電卓が望ましい）を持参のこと。自分自身で計算すれば理解が倍増する。また、パソコン操作ではエクセルを使うので同ソフトの計算にある程度通じていることを前提にして講義を進める。

成績評価の方法

前期末と後期末に中間試験を行い、この点数に日頃の出席状況を加味して成績を評価する。

教科書

指定なし。

参考書等

稲葉三男・稲葉敏夫・稲葉和夫『経済・経営・統計入門』（共立出版）2004年  
 室淳子・石村貞夫『Excel でやさしく学ぶ統計解析』（東京図書）2004年  
 鳥居泰彦『はじめての統計学』（日本経済新聞社）2003年  
 東京大学教養学部統計学教室編『統計学入門』（東京大学出版会）1997年  
 岸野洋久『社会現象の統計学』（朝倉書店）1992年  
 森田優三『統計概論』（日本評論社）1966年

その他

授業においては原則的にプリントを配布する。この中に関連問題を収め、これら問題に取り組むことで理解度を高める。

科目名	文化人類学【3〔諸民族とコスモロジー〕】	開講	通年	単位	4
配当	営A選 営B選				
担当者名	すぎい じゆんいち 杉井 純一				

講義のねらい

さまざまな民族が絶えず各地を移動する現代世界では、私たちは「異質な他者」との出会いを日常的に経験します。こうした多民族社会に生きる私たちは以前にもましてコミュニケーションの困難に直面します。お互いが先入観や偏見にとらわれず、十分な意志疎通を図るためには、相互の民族的、文化的背景への理解が前提となります。

文化人類学は民族や文化の多様性を比較することで、それぞれの文化的相違についての認識を深める学問です。具体的に言えば、人々の生活様式や儀礼、習慣などを通して「人間を取りまく世界、宇宙の成りたちやしくみ」についての多様な観念体系を理解していきます。

本講義では、前期に文化人類学の基礎、後期に民族とコスモロジーを学びます。まず、「異文化を理解する」ことの面白さ、そして、難しさを味わいながら、「異質なものとの共存」「他者との共生」の可能性について考えていくことが本講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

- I 文化人類学の基礎
  - 1. 文化人類学とは何か
  - 2. 文化人類学の歩み(1)
  - 3. 文化人類学の歩み(2)
  - 4. 文化とコミュニケーション
  - 5. 環境と人間(1) 狩猟採集民
  - 6. 環境と人間(2) 牧畜民
  - 7. 環境と人間(3) 農耕民
  - 8. ジェンダー
  - 9. セクシュアリティ
  - 10. 婚姻の形態
  - 11. 家族の多様性
  - 12. 親族と社会
- II 民族とコスモロジー
  - 1. 呪術と宗教
  - 2. アニミズム
  - 3. シャーマニズム
  - 4. シンクレティズム
  - 5. 儀礼の構造
  - 6. コスモロジー
  - 7. 神話
  - 8. 政治組織
  - 9. 民族とエスニシティ
  - 10. 民族紛争と戦争
  - 11. 開発と文化
  - 12. 移動の民族誌

履修上の留意点

ビデオを見た感想を問うことがあります。

成績評価の方法

夏期レポート(20%)、期末試験(60%)、平常点(20%)で評価します。

教科書

特に指定しません。適宜、プリントを配布します。

参考書等

祖父江孝男『文化人類学入門』(中公新書) 800円  
 山下晋司ほか『文化人類学キーワード』(有斐閣) 1,700円  
 佐々木宏幹・村武精一編『宗教人類学』(新曜社) 2,200円

その他

できるだけ、ビデオを利用します(年に4~5回程度)。

科目名	文化人類学【4〔諸民族とコスモロジー〕】	開講	通年	単位	4
配当	営A選 営B選				
担当者名	矢野 <sup>やの</sup> 秀武 <sup>ひでたけ</sup>				

講義のねらい

文化人類学とは、世界の民族などの集団を対象に、その文化・社会について、比較しながら特質を理解する学問である。またそれを通じて自分の文化や社会の前提を理解する学問でもある。本講義では、人間社会の多様な生業形態を知り、コスモロジーなど世界の理解の仕方についての基礎的な考え方を身につけてもらいたい。さらに、多民族社会の様相、日本の民族や日本文化といった考え方の形成と変容についても学んでもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期においては、文化人類学の基本的な考え方を紹介し、狩猟採集民、牧畜民、農耕民など、近代化によって工業化した社会とは異なる生活環境・生業形態における人々の生活や考え方をとりあげる。後期では、グローバル化の進む現代社会の特質を踏まえつつ、民族と文化という基本的な考え方を理解し、文化摩擦、民族の形成、多民族国家、文化の流動化といったテーマで授業を進める。

成績評価の方法

レポートと年度末の筆記試験を総合して評価を行なう。レポートは夏期休暇前に課題を提示する。レポートや試験形式、その他授業の基本的な約束事は、初回の授業で述べる。

教科書

なし

参考書等

授業時に随時紹介する。

科目名	法学・憲法【5（法と権利）】	開講	通年	単位	4
配当	営A選 営B選				
担当者名	沼田 雅之 <small>ぬまた まさゆき</small>				

講義のねらい

この講義のねらいは、今の社会を「法」という道具を通して見る訓練をおこなうことにあります。ですから、本講義以前に私がみなさんに求める能力は、今の時代の「風」を敏感に感じとることができる能力です。それには「想像力」が大切です。それまでに培ってきた「教養」をフルに活用してもらいたいと思います。

法は、「黒」か「白」かの区別をつける作業であるという側面は否定しがたいですが、社会の高度な発展にもなって、「黒」と「白」の隙間をどのように考えるかがとても大切な作業になっています。ですから、決して単純な学問ではないことは、覚悟しておいてください。

そうはいっても、決して難解なばかりの学問ではありませんから、気楽な気持ちで受講していただきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

法学に関する下記の各テーマに沿って、判例（判決）を中心に解説をおこないます。スケジュールは執筆時点で下記のようなものを考えていますが、適宜変更がありうるので注意してください。

（前期）

1. ガイダンス
2. 法における自由・平等
- 3～4. 憲法の役割
- 5～6. 新しい人権
- 7～8. 契約の自由とその規制
- 9～10. 診療契約と自己決定
- 11～12. 消費者の保護

（後期）

- 13～14. 刑事法の諸原則
- 15～16. 人の生・死と法
- 17～18. 司法制度改革と裁判員制度
19. 企業と法
20. 労働と法
21. 社会保障と法

などを予定しています。

なお、下記の「その他」の欄も参照してください。

履修上の留意点

注意点は特にありませんが、感想・要望、また法学を履修する上での疑問点など、みなさんの意見には率直に耳を傾けますので、講義中、講義終了後を問わず、積極的に意見を言っていたいただきたいと思います。

成績評価の方法

基本的に前期試験と後期試験の得点で評価し、補助的に平常点として出席などを考慮いたします。前期試験と後期試験の評価割合は1：1です。平常点は前期試験と後期試験の合計得点に加点いたします（ただし、前期試験と後期試験の得点の合計と平常点の加点得点の合計が100点を超えた場合には、100点を限度として平常点を加点いたします）。詳しくは、第1回目の講義時に説明いたします。

教科書

テキストは指定いたしません。担当教員が作成したプリント教材を用います。開講当初は印刷したプリントを配布いたしますが、その後はホームページから各自でダウンロードしてもらいます（データはPDF形式で配布予定です）。詳細は、第1回講義時に説明いたしますので、不明な点はその際に質問してください。

参考書等

第1回目の講義時に説明するとともに、講義中にも適宜指示いたします。

その他

また、講義に連動して、ホームページを運用します。プリントのダウンロードサービスなどを実施する予定です。URL等は、第1回目の講義時にお知らせします。

第1回講義時に大学配布のものは異なるシラバスを配布します（取り上げるテーマなどがここで記載されたものと異なる場合があります）。それを熟読の上、履修を決定してください。



科目名	法学・憲法【7〔法と国家〕】	開講	通年	単位	4
配当	営A選 営B選				
担当者名	新田 <sup>（ひつた）</sup> 浩司				

講義のねらい

法は社会のルールであり、憲法は政府と我々国民の関係という国家生活の基本的ルールを決めたものといえる。我々の生活にとって法や憲法を無視することは不可能である。法や憲法を良く知ることは、とりもなおさず我々日本国民がより幸福に生きるために不可欠な作業である。

ここでは、我々が国民として住民として生活する上で必要な法というものの考え方、及び国家の根本法である憲法について、現実<sup>（ひつた）</sup>に発生する様々な問題にも言及しつつ講義を進める。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回目 ガイダンス
- 第2回目 法学の基礎知識①
- 第3回目 法学の基礎知識②
- 第4回目 法学の基礎知識③
- 第5回目 憲法の基礎知識
- 第6回目 日本国憲法の制定過程
- 第7回目 日本国憲法の基本原理
- 第8回目 国家の安全保障（戦争放棄）
- 第9回目 精神的自由権①
- 第10回目 精神的自由権②
- 第11回目 経済的自由権
- 第12回目 社会権
- 第13回目 参政権、国家請求権
- 第14回目 統治機構①
- 第15回目 統治機構②

履修上の留意点

社会で起こる様々な問題は、憲法をはじめとする法律問題でもあり、この講義を履修して法的思考を養ってもらいたい。

成績評価の方法

夏期レポート及び学年末試験の成績により評価する。  
なお、授業の出席状況も参考とする。

教科書

佐伯宣親・酒井憲郎・高乗正臣編『現代法学と憲法』（成文堂）2,500円＋税  
※小六法（何でも可）があれば持参することが望ましい。

参考書等

小六法（何でも可）があれば持参することが望ましい。

科目名	法学・憲法【12〔法と権利〕】	開講	夏季集中	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現政営A放選 経B営B選				
担当者名	いけだ みのる 池田 実				

講義のねらい

家庭生活、社会生活、政治参加、経済活動など、私たちの日常が「法」とどのようにかわり、規制されているかを考察し、それが最終的に日本国憲法に定めるとどのような原理・精神に結びついているかを明らかにします。  
政治の法である憲法にかかわる問題には、“唯一絶対の正解”というものがほとんどありません。すっきり明瞭で断定的な解答を求めるのではなく、現代国家の病理やその複雑さに悩みながら、政治生活のあるべき姿をじっくり考えるきっかけにしていただければ、と思います。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 授業案内・導入 (2) 法とは何か(その1) (3) 法とは何か(その2)  
 (4) 法とは何か(その3) (5) 法とは何か(その4) (6) 憲法の基本概念  
 (7) 日本国憲法の沿革 (8) 国会(その1) (9) 国会(その2) (10) 選挙・政党  
 (11) 内閣(その1) (12) 内閣(その2) (13) 天皇 (14) 地方自治 (15) 財政  
 (16) 戦争の放棄(その1) (17) 戦争の放棄(その2) (18) 人権総論(その1)  
 (19) 人権総論(その2) (20) 精神的自由権(その1) (21) 精神的自由権(その2)  
 (22) 経済的自由権 (23) 身体的自由権 (24) 受益権 (25) 社会権(その1)  
 (26) 社会権(その2) (27) 包括的人権 (28) 裁判所(その1) (29) 裁判所(その2)  
 (30) 憲法改正

成績評価の方法

出席および授業時間内に提出するレポート類により総合的に評価します。

教科書

野畑健太郎・池田実編著『テキストブック日本国憲法』(嵯峨野書院) 2,700円+税  
 ISBN 4-7823-0424-2

その他

授業日程：7月31日～8月3日・6日・7日、1～5時限

科目名	政治学【2〔政治システムと政治参加〕】	開講	通年	単位	4
配当	歴日外考社福心堂A選 営B選				
担当者名	とみさき たかし 富崎 隆				

講義のねらい

「2001年9月11日、世界が変わった」と表現されることがあります。そして、米同時多発テロを境に、「ポスト冷戦」が終了し、「新しい時代」に入ったと議論されています。しかし、世界政治の方向性ははっきりとした訳ではありません。一方、世界の急速なグローバル化と情報化を背景に、膨大な情報が、テレビ、ラジオ、新聞、コンピュータ・ネットワークを通じ流通するようになってきました。しかし、これらの情報を単に漫然と受け取っているだけでは、毎日起こる事件の本当の意味は理解できません。事件や出来事を整理する「体系的視点」がどうしても必要となります。政治学を学ぶ基本的な意義もここにあります。

本講義では、政治学が蓄積してきた視点を、最新の成果を含めた形で、かなり網羅的に、かつ現実政治との連関を失わないように検討し、受講生が日々の政治的事件に対し自分の見解をもつための土台を提供したいと思います。講義は、大きく「マクロ政治学」、「ミクロ政治学」、「国際政治学」3部に分かれます。(内容は、初回講義時に説明)

講義全体として、特に現代における「国家」と「民主主義」の意義と役割、その動態について明らかにし、考えてもらうことを中心テーマとしていきたいと思っています。さらに、今日の対テロ問題とグローバル化・情報化が現代政治(と政治学)にどのように影響を与えるかについても検討していきます。

講義の内容・授業スケジュール

- I マクロ政治学
  - 国家と自由民主主義体制の枠組み -
- II ミクロ政治学
  - 自由民主主義体制の作動メカニズム -
- III 国際政治学
  - 戦争と平和の分析 -

成績評価の方法

テスト及びレポート・出席など総合的に評価

教科書

青木・大谷・中郵編  
『国家のゆくえ - 21世紀世界の座標軸 -』  
(芦書房、2001年)

参考書等

適時指示

科目名	社会科学論【(社会認識の思想)】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選 経B法B営B選				
担当者名	おおいし ゆうじ 大石 雄爾				

講義のねらい

私たちをとりまく社会はめまぐるしく変化しています。日本はようやく「複合不況」とよばれる経済スランプから抜け出しつつあります。しかし、アフリカや一部のアジア諸国の人々は貧困にあえいでいるばかりか、好調に推移してきたアメリカ経済も安定的とはいえません。また、世界中の国々が協力して地球環境破壊を防止しようとしているときに、他方では、中東などの地域には戦鬨の火だねが残っているのです。こうした問題を私たちはどのように捉えればよいのでしょうか。

人々は、人種や信条のちがいを問わず、より豊かに、より自由に、より安全に生活できることを願っています。社会科学は、社会の仕組みと法則性を明らかにすることを通して、こうした人類の願いに応える道を探ることを課題としています。この講義では、資本主義の経済とそこにおける法や国家の仕組みに焦点を当て、社会的諸関係を把握する方法について講義します。特に、社会科学の前進にとって重要な意味をもった社会学者・思想家の社会観および理論をとり上げ、現代的な意味について考えます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 思考する楽しみ
2. 社会科学とは何か
3. 社会の歴史的発展と社会思想
4. 社会科学の生誕：ホッブスとロック
5. 資本主義経済の把握：スミスとリスト
6. 資本主義の経済と国家：マルクスとウェーバー
7. 現代資本主義の捉え方：レーニン・ケインズ・ガルブレイス
8. 現代社会の思想的諸潮流

なお、現代社会の時事的諸問題について、折に触れてとり上げ解説するつもりです。

履修上の留意点

1年間講義に出席し理解しようと努めることによって、皆さんの思考力、書写能力は高まります。

成績評価の方法

授業中に小レポートを作成していただくことがあります。成績は、小レポートと後期に行なわれる定期試験で評価します。

教科書

特に指定しない。

参考書等

高嶋善哉『社会科学入門』（岩波新書）  
平野喜一郎『社会科学の生誕』（大月書店）  
大石雄爾『ヘーゲル論理学の真相』（白桃書房）

科目名	教育学【(デス・エデュケーション)】	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	やなぎほり オガニ 柳堀 素雅子				

講義のねらい

デス・エデュケーションの始まりはベトナム戦争当時のアメリカにある。デス・エデュケーションの1つの流れは戦争で傷ついたベトナム帰還兵の心をどのように癒すかにあった。これは現在のトラウマの問題とその治療につながっていく。デス・エデュケーションのもう1つの流れは、治らない病気、すなわち死にゆく患者との対話の中から生まれた。キューブラー・ロスを中心に、精神科医や宗教者が死にゆく患者との対話を重ねた中から新しい視点が注目されるようになった。死を考えることはやがて死後の世界まで考えることになり、昨今是一種のブームになっているようである。デス・エデュケーションの1の流れと2の流れの両方を取り扱う予定である。アメリカでの取り組みを中心に説明していくが、欧米の文化や思想も合わせて解説していく。幅広い知識と視野をもっていないと、講義の内容はあらゆる方向に拡大していくので理解していくのに労力を要することになるだろう。デス・エデュケーションの欧米での取り組みを紹介すると同時に、日本でのデス・エデュケーションの状況も紹介する。戦争の問題と医療の問題の両方の内容にまたがっているので、両方に興味がある人が履修することが望ましいだろう。

講義の内容・授業スケジュール

- ①デス・エデュケーションの1の流れ②デス・エデュケーションの2の流れ
- ①と②の内容の概略を説明して具体的な内容に入っていく。

履修上の留意点

授業中に絶対に私語をしないようにすること。基本的に遅刻は認めない。出席は毎回とる。授業中に入ったり、飲食したりしないこと。

成績評価の方法

レポート提出(内容に点数をつける)。出席回数。その他総合的な視点から評価する

教科書

なし

参考書等

授業中に紹介する

その他

講義に必要な資料はコピーして配布する。

科目名	教育心理【大学生の心理－教育臨床心理学の立場から－】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	いしばし たつや 石橋 達也				

講義のねらい

本授業では今日の社会的状況における、大学生を中心とした青年期の心の在り方の特徴や問題点およびその課題について、教育心理学や教育臨床の立場から探っていきます。前期の授業では、生涯発達の観点から青年期の位置づけやその発達課題について学び、現代社会における青年期の延長の様子やアイデンティティの問題などを概観します。続いて後期の授業では、青年期の様々な心の問題について具体的に取り上げ、今日の社会における青年期の問題の特徴やその社会的な背景要因などについて検討していきます。

講義の内容・授業スケジュール

主として、以下に示すテーマに沿って進めていく予定です。

- ・人の生涯と発達区分
- ・青年期とその発達課題
- ・アイデンティティとモラトリアム
- ・現代社会と青年期の延長
- ・青年期の心の問題とその要因
- ・大学生の学業と学生生活
- ・大学生の就職と将来設計
- ・大学生の人間関係と恋愛など。

履修上の留意点

履修する学生には、授業に毎回まじめに出席して意欲的に取り組むことを期待します。

成績評価の方法

成績の評価は期末試験の得点を中心にして、毎回の授業への出席状況や受講態度などの平常点を加味して行ないます。

教科書

使用する教科書については、初回の授業の中で伝える予定です。

参考書等

授業中に必要に応じて、参考文献・関連資料・ビデオ映像などを紹介していきます。

その他

受講学生には「学ぶ意欲」をしっかり持って、積極的に取り組むことを望みます。

科目名	生物学【3〔生物と環境〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英営A選 営B選				
担当者名	なかむら としえ 中村 敏枝				

講義のねらい

この地球が誕生したのは46億年の昔といわれる。40億年前にはすでに生命が誕生し、以後それは地球の環境を変えつつ、自らも進化の歴史を歩みながら現在に至った。この長い歴史の中で、種の構成は変わり、あるものは絶滅してしまったけれど、現存する生物は40億年の間、生まれ・成長し・繁殖し・死ぬ ということを営々と繰り返してきた。この生物たちの営みをいろいろいるな段階（細胞・個体・個体群・生態系）で紹介したい。

後期には、環境問題をとりあげる。科学技術は私たちに快適で豊かな生活をもたらした。しかし、その負の部分が近年私たちを脅かしている。その一つである人工化学物質の功罪について考える。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 生物の生活

- (1) 地球の歴史と生命の起源
  - ・最初の生命
  - ・地球の歴史
  - ・極限環境生物
- (2) 生命誕生
  - ・いまここにいる奇跡
  - ・受精と発生
- (3) 生命の維持
  - ・なぜ食べるか
  - ・消化と吸収
  - ・排泄物のゆくえ
  - ・植物の光合成
- (4) 生態系の物質循環とエネルギーの流れ
  - ・陸と海をめぐるいのちの輪

(後期) 化学物質の功罪

- (1) ゴミ処理とダイオキシン汚染
  - ・ゴミ焼却とダイオキシン
  - ・ゴミの減量 Reduce Reuse Recycle
  - ・ゼロエミッションという考え方
- (2) 人工化学物質の功罪
  - ・内分泌かく乱化学物質 - 環境ホルモン
- (3) 人工放射性核種
  - ・原発は温暖化を防ぐ救世主か
  - ・JCO 臨界事故
- (4) まとめ 自然とともに生きる

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。

教科書

赤堀他著『生物学—地球に生きるいのちを考える』(宣協社) 2,700円

参考書等

授業時間内に随時紹介します。

その他

授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

科目名	地球科学【6〔自然景観の成り立ち〕】	開講	通年	単位	4
配当	営A選 営B選				
担当者名	市川 清士 <small>いちかわ きよし</small>				

講義のねらい

地球が誕生して46億年といわれています。この間、地球はたえず表情を変化させつづけてきました。では、私たちの生活している周辺の自然景観、たとえば山や川、平野や海洋などはいつどのようにしてできたのでしょうか？ 本講義では、この問いに答えるために地形、気候、水文などの地球表面の現象を対象として、その成り立ちについて探っていきます。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、大陸の成り立ちや造山運動（プレートテクトニクス）、地震、氷河期（気候変動）などの大きなスケールの変動について探っていきます。

後期では、前期の内容をふまえて、南関東を中心とした「身近な自然景観」の成り立ちについてより具体的に探っていきたいと思います。

履修上の留意点

高校で使用した地図帳を用意すること（できれば最新のものが望ましい）。

成績評価の方法

授業への積極性・レポート・学年末の試験を総合して評価を行います。

教科書

『地球学入門 一惑星地球と大気・海洋のシステム一』（東海大学出版会）2,940円

参考書等

参考書はその都度紹介します。

その他

一般的な講義を主とし、スライド・OHP・ビデオによる説明を入れて皆さんが興味を持てるような講義を行おうと考えています。

また、駒沢公園など近くに行き実際に野外観察もする予定です。



科目名	自然環境論【3〔生命と環境〕】	開講	通年	単位	4
配当	営A選 営B選				
担当者名	<small>さかまき</small> 坂巻 <small>よしあき</small> 義章				

講義のねらい

地球環境の変化は現代の重要な問題の1つである。これは、個人の専門や興味に関係なく我々に降りかかってくる。この状況の中で人間を含めた自然、それを取り巻く環境について正しい理解をもつことは必要不可欠である。この講義では生物の生活と環境の関係を理解する事を基本とし、生態系の成り立ちやその中で起こる調節、人間による攪乱などについて取り上げる。これらの知識を基礎にこれからの環境変化についてどう対処するかを考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期 (1,2) 地球 (3) 環境とは何か (4) 生物とは何か (5,6) 生物の歴史と環境 (7,8) 生物の進化 (9,10) 生物の分布 (11,12) 環境への適応 (13) 前期のまとめと試験  
 後期 (14,15) 食物連鎖とエネルギー流 (16) 生態ピラミッド (17) 個体群 (18) 出生と死亡 (19) 競争と住み分け (20) 捕食 (21) 共生と寄生 (22) 土壌と分解者 (23) 物質循環 (24) 里山の生態系 (25) 人口問題と環境問題 (26) まとめと試験

履修上の留意点

スケジュールは基本である。開始後に理解度によって進度を調整したり、新たな内容についても触れるなどの変更はありうる。大学生として授業に参加する基本的なマナーは守って欲しい。

成績評価の方法

出席点と筆記試験で行う。途中で課題を出すこともあるので、その場合はこれも加える。

教科書

指定しない

参考書等

指定しない。必要な場合にプリントを配布することがある。

その他

講義形式の授業とする。

科目名	自然環境論【7〔生命と環境〕】	開講	通年	単位	4
配当	営A選 営B選				
担当者名	中村 敏枝 <small>なかむら としえ</small>				

講義のねらい

アメリカ産の牛肉の安全性が近年問題になった。牛海綿状脳症（BSE 狂牛病）は牛の致死性の感染症であるが、病原体がプリオンというたんぱく質であること、ヒトおよび他の生物に種の壁を越えて感染することが、生物学的には興味深い。英国でこれが蔓延したのは罹病した牛の屍体を飼料として用いたことによるという。経済性・効率性を追求して到達した究極のした資源の有効利用とは、草食動物である牛に肉食、しかも「共食い」をさせることであった。増え続ける人口、豊かな食生活への限りなき欲求。それが、生物と環境に何をもたらしているのかを考えてみよう。

講義の内容・  
授業スケジュール

- (前期) 自然環境の改変
  - (1-6) 自然のしくみ
  - (7-12) 自然の改変食をめぐる問題
- (後期) 人間の活動と地球環境
  - (13-18) 農業—有機農業・灌漑・遺伝子組み替え作物
  - (19-22) 畜産業—肉食とは何か・BSE・クローン動物
  - (23-25) 漁業—海外依存度・環境ホルモン汚染

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。

教科書

使用しません。

参考書等

赤堀他著『生物学—地球に生きるいのちを考える』（宣協社）2,700円  
その他については授業時間内に随時紹介します。

その他

授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

科目名	自然誌【2〔現代の自然像〕】	開講	通年	単位	4
配当	国英地文環境歴日外考社福心堂A選				
担当者名	清水 <sup>しみず よしかず</sup> 善和・篠原 <sup>しのはら まさお</sup> 正雄・山縣 <sup>やまがた たけし</sup> 毅				

講義のねらい

我々は何者か、なぜ、今ここにいるのか？大宇宙の中で人類存在の意味を問う本質的には哲学的なこの問いに対して、20世紀の自然科学が見いだした一応の答えは次の通りである。すなわち、我々は100億年を越える宇宙の進化と、46億年の地球及び生命の進化の果てに出来上がったかけがえのない存在である。一方で、科学技術の発展は、人類を育ててきた地球の自然環境を脅かすに至っている。もはや科学の未来は科学者だけの問題ではありえず、社会を構成する一人一人が考えねばならないことである。本講義では自然科学教室の専門を異にする3名の教員がそれぞれの専門分野の知識を持ち寄り、自然の階層構造と進化を軸に現代科学諸分野を総合して得られる自然像を語る。それは自然界全体を総合的、統一的にとらえるナチュラル・ヒストリー（博物学、自然誌）の伝統を現代的に蘇らせる試みでもある。地球の未来に向けいかなる道を目指すべきかを考える足掛かりとしてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

自然科学教室の専任教員3人により、1人8回程度の輪講形式で行われる。宇宙の始まりから地球と生命の進化を経て人類の時代に至る自然の歴史をたどり、私達にとっての自然環境がどのようにして今日の姿をとるようになったかを学ぶ。また、21世紀の重要課題となる地球環境問題の本質とその解決の方向についても考察する。

第1講 宇宙の進化と地球の起源 篠原正雄

- (1) 宇宙の起源（自然の階層構造、膨張する宇宙、ビッグバンと元素の起源）
- (2) 銀河の起源と進化（宇宙の大規模構造、ダークマター、銀河）
- (3) 星の進化と物質の進化（星の一生、星間物質の進化、銀河の渦と星生成領域）
- (4) 太陽系の起源（太陽系起源仮説、太陽系外惑星、宇宙の有機化合物）
- (5) 宇宙の中の地球（太陽の進化、太陽放射の変動、地球軌道、隕石、銀河系）

第2講 地球の進化 山縣毅

- (1) 大陸と海洋の形成（海の誕生、地球の内部構造の変化）
- (2) 大陸の漂流（大陸移動説、プレートテクトニクス、プレリウムテクトニクス）
- (3) 変動する地球（巨大山脈の形成、火山、地震）
- (4) 地球と生命の共進化（地球表層の環境変遷、生物の進化・大量絶滅）

第3講 生命の起源と進化 清水善和

- (1) 生命の起源（生物体を作る物質、遺伝暗号とタンパク質合成、生命起源仮説）
- (2) 生物の進化と進化論（生物進化40億年の歴史、進化のメカニズム、現代進化論）
- (3) 人類の進化（霊長類の系統、ヒトの発展段階、ホミニゼーション）
- (4) 生物の多様性（分類体系、生物多様性、植生帯、動植物の分布）
- (5) 人類と地球環境（生態系、食物連鎖、物質の循環、地球温暖化）

履修上の留意点

本科目は1年間の継続的な講義を通じて総合的な自然像を養うことを目的としているので、毎回出席するのが困難な卒業年次生や運動部員等は履修を控えてほしい。一般の通年科目と異なり、教員ごとに計3回の評価（テストやレポート等）を受けねばならないことの自覚をもって履修してほしい。

成績評価の方法

教員ごとに小テストやレポート等の方法で評価し、最終的に3人の採点を合算して成績評価とする。追試験は行わないので、教員ごとの指示に従って必ずそのつど評価をうけること。

教科書

特になし。必要に応じて各教員がプリント等を配布する。

参考書等

各教員がそれぞれ講義の中で適宜紹介する。

科目名	数学【1〔微積分学入門〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A選				
担当者名	小沢 誠 <small>おざわ まこと</small>				

講義のねらい

数学の基礎分野の一つである微分積分学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に従って以下の項目を解説する。

1. 集合と写像
2. 数列
3. 連続関数
4. 1変数関数の微分
5. 多変数関数の微分
6. 積分

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

前期と後期の試験の結果で評価する。

教科書

沢田賢／渡辺展也／安原晃 共著『大学で学ぶ 微分積分』サイエンス社  
1050円（税込）ISBN4-7819-1082-3

参考書等

適宜紹介する。

その他

講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

科目名	数学【2〔線型代数学入門〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A選				
担当者名	おざわ まこと 小沢 誠				

講義のねらい

数学の基礎分野の一つである線形代数学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に従って以下の項目を解説する。

1. 文字の使用について
2. 行列
3. 連立一次方程式
4. ベクトル空間
5. 線形写像
6. 行列式
7. 固有値・固有空間

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

前期と後期の試験の結果で評価する。

教科書

沢田賢／渡辺展也／安原晃 共著『大学で学ぶ 線形代数』（サイエンス社）  
1050円（税込）ISBN4-7819-1092-0

参考書等

適宜紹介する。

その他

講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

科目名	数学【3〔現代数学入門〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A選				
担当者名	ふくだ けんいち 福田 賢一				

講義のねらい

現代数学の基礎概念を、諸科学への応用例を通して学ぶ。特に社会・経済現象に応用例を求め、具体的かつ基礎的な事例から無理のない数理的抽象化を計り、実践的な応用力の養成を目指す。  
本年度は情報環境への理解を深めるため、基礎情報理論・情報数理解分野を充実させる。時間に余裕があれば、経済工学・金融工学の数理的基礎にも触れる。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期： 論理の基礎と言語、情報理論の数理解と論理、論理設計・論理回路、情報機器の理解、コンピュータ・携帯電話、通信機器の理解と数理解、線型代数とその応用。  
後期： 線型計画法、確率現象と社会現象、保険の数理解、微積分とその応用、交通・運輸の数理解、経済・経営の数理解基礎。

履修上の留意点

予備知識は特に必要としない。高校数学の基礎的な知識があれば十分理解できる。しかし、系統性の強い学術分野であるから、基本的な定義、性質を明確にするとともに、基本的な事項の確実な理解・運用能力が必要とされる。また、社会・経済現象に対し興味を持ち、基礎的な認識を深める必要もある。

成績評価の方法

前後期試験結果を中心に、レポート、出欠状況を加味し、総合的に判断する。

教科書

使用しない。教材、資料等は数時限に一回の割合で配布する。また、内外の関連する公的な機関等のサイト等も紹介する。

参考書等

必要となり次第指示する。配布する教材、資料等に明示する。

その他

教材、資料等は数時限に一回の割合で配布する。再配布ができない事もあるので注意。講義に対する要望、質問等は積極的に行うこと。疑問点、理解不十分なところを放置しないように努める事。  
可能な限り演習を行い理解の徹底を図る。

科目名	情報数学【(情報と論理)】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A選 経B法B営B選				
担当者名	坂野井 <small>さかのい かずよ</small> 和代				

講義のねらい	情報処理・情報科学等で使用する基礎的な数学について学ぶ。
講義の内容・ 授業スケジュール	前期は、記数法など基礎的な数学知識について学んだ後、情報処理において必要となる概念である集合と論理について学ぶ。後期は主に確率と統計について勉強してゆく。講義時間中に例題を解くなど、実際に手を動かして数学に慣れる講義を目指す。
履修上の留意点	予備知識・教科書は特に必要とせず、その都度、資料配付や説明を行う。ただし、講義は必ず毎回出席し、ノートを取り、出題された例題や課題を解いているものとする。つまり、レポートは講義に出席していないと解答することは難しい。
成績評価の方法	評価は原則として年に3回程度のレポートによって評価する。その他、講義時間中の発言も評価に含める。
教科書	使用しない。適宜資料を配付する。
参考書等	野々山隆幸監修、石原光／小堆光喜共著『入門 情報処理数学』（実教出版）2,200円

科目名	物理学【2〔光と物質〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心営A選				
担当者名	篠原 <sup>しのはら</sup> 正雄 <sup>まさお</sup>				

講義のねらい

地上の天文学者は天体から来る光などの電磁波を分析して、手の届かない天体を作る物質の種類、温度、運動などを読み取る。この天体物理学の方法は物質と光の関係の物理学的研究に伴って発展してきた。

本講では「光とはどのようなものか、光と物質の関係は?」という問いをめぐるさまざまな事柄を取り上げる。「光学」に限定せず、力学、電磁気学、熱力学、量子力学、宇宙物理等に及ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

波としての光  
 光線 影 鏡 屈折 屈折楼 透明人間 スペクトル 虹の七色と三原色  
 波動 光波 音波・地震波・水の波 シャボン玉の色  
 電磁波としての光  
 電気と磁気 電磁波 電波 X線とガンマ線  
 光子 原子構造と光 電磁波は粒子・電子は波  
 光と宇宙  
 光速不変 ブラックホール 膨張する宇宙 光の旅

履修上の留意点

十分に出席する自信のない者は、履修しないようお勧めする。数学的な予備知識はいらない。

成績評価の方法

期末試験を受けた人だけが成績評価の対象となる。しかし、期末試験の比重は15%程度であり、数回のテストを含む平常点を中心に評価する。

教科書

藤城敏幸著『生活の中の物理』(東京教学社) 1,800円+税

参考書等

講義の中で適宜紹介する。

その他

理解を深めるためには毎回問題を考えてもらう。



科目名	化学【1〔衣食住の化学〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心営A選				
担当者名	まさおか よしかず 牧岡 良和				

講義のねらい

現代の日常生活にあふれる化学物質について広く取り上げ、その利便性と問題点を理解するための基礎知識を解説してゆく。各受講生が、化学物質・技術の適用の可否や環境問題について、正確な基礎知識に基づいた意見を持てるようになることを目的とする。講義では、はじめに、化学物質の生体・環境への作用を理解するために必要な化学の基礎について解説する。その後、衣食住の化学として、各論の解説を行う予定である。

講義の内容・授業スケジュール

前期 (1)有機化学・無機化学の導入 (2)物質の成り立ち (3)水の性質 (4)有機化学の基礎 (5)合成繊維 (6)染料 (7)合成洗剤と水質汚濁  
後期 (8)太陽光発電 (9)遺伝子 (10)燃料電池 (11)バイオ燃料 (12)食品の安全性 (13)住環境と化学物質

履修上の留意点

上記のようなスケジュールを基本とするが、学生の理解度にあわせて進度を調整したり、途中でニューストピックを取り上げるなど、柔軟に進めていく。講義は、基礎的内容から順次、発展的・先端的事項へと進むので、欠席すると理解が困難になることを留意の上、履修すること。なお、授業中の私語・飲食・講義と無関係な用途での携帯電話の使用は禁止。

成績評価の方法

出席点と筆記試験による。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科目名	宇宙科学【1〔星と銀河〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	しのはら まさお 篠原 正雄				

講義のねらい

現代の天文学が描く宇宙の姿を研究の手法と併せて紹介する。  
観測装置やコンピューターの発展に伴い、宇宙の研究は急速に進展している。星と銀河についての知識のほとんどは20世紀になって明らかにされた。前世紀の成果をふり返し、新世紀の天文学を展望しつつ講義を進める。宇宙が昔思われたような永遠不変・不生不滅の静かな広がりではなく、むしろ荒々しいまでにダイナミックな進化していく世界であること、我々人類もまたそうした宇宙の歴史の所産であることを知っていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は恒星をとりあげる。  
観測：望遠鏡 スペクトル 年周視差と距離  
太陽：構造 エネルギー源  
恒星：恒星の分類 連星 変光星 恒星の質量 恒星の進化  
後期は銀河をとりあげる。  
銀河系：星団 星雲 銀河系の渦巻き構造と星生成領域 銀河回転と暗黒物質  
銀河：銀河の分類 距離 銀河団 宇宙の大規模構造  
宇宙：宇宙膨張 暗黒エネルギー ビッグ・バン

成績評価の方法

中間試験および学年末に行う筆記試験の結果により評価する。平常点も考慮する。

教科書

高瀬文志郎『星・銀河・宇宙』（地人書館）1,800円＋税

その他

講義を中心とするが、天体の映像などを多用する。

科目名	宇宙科学【2〔星と銀河〕】	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	篠原 <sup>しのはら</sup> 正雄 <sup>まさお</sup>				

講義のねらい

現代の天文学が描く宇宙の姿を研究の手法と併せて紹介する。  
 観測装置やコンピューターの発展に伴い、宇宙の研究は急速に進展している。星と銀河についての知識のほとんどは20世紀になって明らかにされた。前世紀の成果をふり返り、新世紀の天文学を展望しつつ講義を進める。宇宙が昔思われたような永遠不変・不生不滅の静かな広がりではなく、むしろ荒々しいまでにダイナミックな進化していく世界であること、我々人類もまたそうした宇宙の歴史の所産であることを知っていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は恒星をとりあげる。  
 観測：望遠鏡 スペクトル 年周視差と距離  
 太陽：構造 エネルギー源  
 恒星：恒星の分類 連星 変光星 恒星の質量 恒星の進化  
 後期は銀河をとりあげる。  
 銀河系：星団 星雲 銀河系の渦巻き構造と星生成領域 銀河回転と暗黒物質  
 銀河：銀河の分類 距離 銀河団 宇宙の大規模構造  
 宇宙：宇宙膨張 暗黒エネルギー ビッグ・バン

成績評価の方法

中間試験および学年末に行う筆記試験の結果により評価する。平常点も考慮する。

教科書

高瀬文志郎『星・銀河・宇宙』（地人書館）1,800円＋税

その他

講義を中心とするが、天体の映像などを多用する。

科目名	人類学【1〔人類の進化〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	<small>このだ けんいち</small> 篠田 謙一				

講義のねらい

人類学はひとことでは「人間の生物学」ということですが、その包含する分野は漠然としていて、簡単に捉えることは難しいものです。本講義では、現在「人類学」の名の下に行われている具体的な研究内容を紹介し、人類学とはどのような学問であるのかを理解することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

以下の内容をそれぞれ1回ないし2回で講義します。前期は基本的には人類の進化を、後期は日本人の起源を中心とした話になります。

「人類学の歴史と包括する分野」「霊長類学」「化石人類の発見史」「霊長類の進化と猿人」「原人から新人への進化」「現代人の起源」「分子人類学」「日本人の起源」「歴史時代における日本人の変化」「成長」「新大陸の人類学」

履修上の留意点

出席を重視しますので、講義に参加できることを前提に履修してください。

成績評価の方法

毎回、課題もしくは小試験を行い、その成績を総合して評価します。

教科書

中橋孝博著『日本人の起源』（講談社メチエ）ISBN4-06-258318-6

参考書等

特に指定しませんが講義の中で紹介します。

その他

本講義では、単に講師の話聞くだけでなく、皆さんに考えて頂くような講義をしたいと思っていますので、主体的に参加していただくことを望みます。

科目名	人類学【2〔人類の進化〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	篠田 <sup>しのだ</sup> 謙一 <sup>けんいち</sup>				

講義のねらい

人類学はひとことで言えば「人間の生物学」ということですが、その包含する分野は漠然としていて、簡単に捉えることは難しいものです。本講義では、現在「人類学」の名の下に行われている具体的な研究内容を紹介し、人類学とはどのような学問であるのかを理解することを目的とします。

講義の内容・  
授業スケジュール

以下の内容をそれぞれ1回ないし2回で講義します。前期は基本的には人類の進化を、後期は日本人の起源を中心とした話になります。

「人類学の歴史と包括する分野」「霊長類学」「化石人類の発見史」「霊長類の進化と猿人」「原人から新人への進化」「現代人の起源」「分子人類学」「日本人の起源」「歴史時代における日本人の変化」「成長」「新大陸の人類学」

履修上の留意点

出席を重視しますので、講義に参加できることを前提に履修してください。

成績評価の方法

毎回、課題もしくは小試験を行い、その成績を総合して評価します。

教科書

中橋孝博著『日本人の起源』（講談社メチエ）ISBN4-06-258318-6

参考書等

特に指定しませんが講義の中で紹介します。

その他

本講義では、単に講師の話聞くだけでなく、皆さんに考えて頂くような講義をしたいと思いますので、主体的に参加していただくことを望みます。

科目名	心理学【6（人間関係を考える）】	開講	通年	単位	4
配当	営A選 営B選				
担当者名	鈴木 順一 <small>すずき じゆんいち</small>				

講義のねらい

講義形式だけの授業形態は、学習者を受け身のバケツの学び方にしてしまう。学問とは、問い学ぶと書くように、講師が一方向的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める（勉強する）ことではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立て、仮説の基にサーチライトをあて、検証（反証）し、新たな仮説構成や発見をしていくプロセスである。

学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を獲得した人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子の他に「遺言子」とでも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩み出すようになった。

しかし、経験から学ぶプロセスから遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見しようとするモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互と自己内のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。心理学の人間理解の仮説の基に、自分自身や他者を見つめなおし、よりよい人間関係を築くために役立つ道具（理論と技法）を体験的に学んでいきます。

講義の内容・授業スケジュール

番号は進行順であり、それぞれ1回から3回程度時間が配当されます。学習計画は、進行状況により変更することがあります。

【前期】 [1]学習とは？ 授業方針 [2]エンカウンター（出会いと人間関係づくり） [3]グループ形成と集団規範 [4]コミュニケーションの促進 [5]心とは何か [6]性格検査による自己理解 [7]パーソナリティ理論 [8]無意識の心の働き（精神分析的人格理論） [9]環境を知る働き（感覚・知覚・認知）

【後期】 [10]カウンセリングの理論と技法 [11]心理療法による自己理解と他者理解 [12]自己肯定の人間関係 [13]学習理論と行動療法 [14]relaxationによる心身の健康回復

履修上の留意点

最初の数回の授業で、6人のグループを編成しますので必ず出席してください。授業は、グループごとに決められた場所に着席していただき、毎回グループごとに自筆で出席をとり本人を確認します。

単独・聴講学習ではなく、グループによる協力学習・相互学習・体験学習・発見学習ですので、集団規範を守ることと、全回出席することが求められます。ルールを守れない人と欠席しがちな人は、履修しないでください。

成績評価の方法

出席状況と平常の小試験、小レポート、個人発表とグループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。平常点で評価しますので、学年末定期試験及び追・再試験はありません。

教科書

使用しません。授業内で紹介する参考図書や下記参考書の指摘する部分などを読み概念学習を進めていただきます。

参考書等

蓮見将敏・小山望編著『人間関係の心理学—体験をとおして学ぶ心理学—』（福村出版）

その他

すべての「心理学」の授業で、心理学科卒業年次生の卒業論文のための調査に協力していただく時間があります。

科目名	心理学【7〔人間関係を考える〕】	開講	通年	単位	4
配当	営A選 営B選				
担当者名	加藤 <sup>かとう</sup> 博己 <sup>ひろき</sup>				

講義のねらい

この講義では、人間関係に重点を置きつつ、哲学から独立し、約130年の歴史を有する心理学の基礎分野、並びに、心理学論（語源、定義、分野、研究法、歴史）を概観し、心理学の基礎知識を習得することを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

前期：オリエンテーション（講義の目標、形式、内容、評価方法、注意事項の確認等）、  
**【記憶】** 1.記憶の過程、2.記憶の分類、3.記憶の仕方、4.記憶の変容、5.忘却の仕方と理由  
**【学習・思考】** 1.レスポナント条件づけ、2.オペラント条件づけ、3.その他の学習理論（試行錯誤学習、洞察学習、模倣学習、観察学習）4.初期学習、5.問題解決  
**【パーソナリティ】** 1.パーソナリティの分類（類型論・特性論・力動論）、2.パーソナリティの測定、3.パーソナリティテスト、4.知能  
**【動機づけ】** 1.動機づけの分類、2.欲求不満、3.防衛機制、4.葛藤、5.コンプレックス  
**【情動】** 1.感情の生起、2.感情の測定

後期：【**発達**】 1.発達段階、2.発達要因、3.愛着、4.知覚の発達、5.発達の研究法  
**【感覚・知覚・認知】** 1.感覚（感覚のモダリティ、閾値）2.知覚（図と地、群化、恒常性）、3.認知（アフォーダンス、心的回転）、対人認知（ハロー効果、ビッグマリオン効果）  
**【社会】** 1.他者や社会が個人の態度に及ぼす影響（印象形成、同調実験、態度変容、バランス理論、援助の傍観者効果、認知的不協和理論）、2.相互作用（リーダーシップ論）  
**【臨床】** 1.査定、2.心理療法  
**【心理学論】** 1.心理学の語源、2.定義、3.心理学の分野、4.心理学の研究法、5.歴史。

履修上の留意点

履修希望者は、初回授業のオリエンテーションに必ず出席し、講義の目標、形式、内容、評価方法等をよく理解した上で受講すること。

成績評価の方法

前期授業の最終日（7月）に前期試験を、定期試験期間内に、定期試験を行う。詳細は、初回のオリエンテーションで述べる。

教科書

鹿取廣人・杉本敏夫 2004年 『心理学 第2版』 東京大学出版会 2,520円（本体2,400円+税）ISBN4-13-012041-7

参考書等

教科書や配付資料の引用文献を参照のこと。その他、必要に応じて紹介する。

その他

主に板書を用い、必要に応じて教科書、資料、書画カメラ、ビデオなどを用いるとともに、数回の簡単な心理検査や実験を実施する予定である。本授業は講義形式であるが、一方通行の講義とならないよう、前回の授業内容の理解度を確認するためのワークや、授業内容についての積極的なコメントが毎回求められる。

科目名	心理学【12〔心を科学する〕】	開講	夏季集中	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A選 経B法B営B選				
担当者名	あかほり ともなり 深堀 友寛				

講義のねらい

身体的な異質性も然ることながら、人間には固有の性格、価値観、知能、行動パターンといった精神的（心理的）な異質性が認められる。それらを含め、人間は個性を獲得する。しかし、人間とは決して一人では生きていけない。これはこの世に生を授かり生を全うするまで続くのである。人生とは、いわば異なる個性との共存である。個性が異なれば、そこから衝突や誤解が生じ、人間関係に支障を及ぼすこともしばしばである。

本講義では個と、個の集合体である「社会」を心理学的側面から理解していくことを目的とする。本講義を通じ、少しでも心理学の世界に興味を持って頂ければ幸いである。

講義の内容・授業スケジュール

パーソナリティ、学習心理学、集団・社会心理学、臨床心理学、生涯発達心理学等を講義する予定である。

履修上の留意点

短期間で集中的に行われる講義なので、主体的に講義に参加できる姿勢が望まれる。受動的にしか参加できない学生には、本講義の性質は不向きであろう。

成績評価の方法

講義最終日に行われる筆記試験と、出席率による総合評価。

教科書

特に指定しない。

参考書等

重野純『キーワードコレクション 心理学』（新曜社）1994年  
中村昭二『心理学概説』（八千代出版）1982年

その他

授業日程：7月31日～8月3日・6日・7日、1～5時限

科目名	総合I 1〔仏教と自然〕	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	よつや こうどう 四津谷 孝道				

講義のねらい

「エコロジー」というものが、大きな社会的な且つ学問的な課題になって久しいが、仏教学の分野においても「エコロジー」との関連ですでに多くの研究が蓄積されつつある。本講座では、それらの研究を参照しながら、具体的テーマに焦点をしばりながら、「仏教と自然」に関する検討を進めてゆきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

今年度は、「肉食と菜食主義」というテーマを、仏教を中心としたインド思想全体の中で検討する。授業は、以下のようなテーマの下で進めていく。

- インドの宗教（バラモン教）の基本的な理解
- インドの宗教（仏教・ジャイナ教）の基本的な理解
- 肉食と菜食主義（概観）
- ヴェーダ時代の肉食思想と菜食主義
- 祭式にみる肉食思想と菜食主義
- バラモン教にみる肉食思想と菜食主義
- 輪廻・解脱と肉食・菜食主義（1）
- 輪廻・解脱と肉食・菜食主義（2）
- インドの法典に示された肉食と菜食主義
- パーリ仏教聖典に示された肉食と菜食主義
- 三種浄肉（1）
- 三種浄肉（2）
- 仏教の戒律にみる肉食と菜食主義（1）
- 仏教の戒律にみる肉食と菜食主義（2）
- 植物は生き物か（1）
- 植物は生き物か（2）
- 大乘仏教における非肉食思想（1）
- 大乘経典における非肉食思想（2）
- 如来蔵・仏性思想と非肉食思想
- 慈悲と菜食主義
- 宮沢賢治（1）
- 宮沢賢治（2）
- 聖なる牛と不浄なる豚
- ディーブ・エコロジー（1）
- ディーブ・エコロジー（2）

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

学年末の試験。

教科書

授業において適宜に配付する。

参考書等

必要と思われるものは、授業において適宜に指示をする。



科目名	総合I 2〔仏教と社会〕	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	熊本 英人				

講義のねらい

日本の社会の諸問題を、仏教とのかかわりから考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

社会とは、人間の言語、慣習、規範、制度などによって規定された世界であり、人間は、その社会のあり方を思索し、理想的な社会の実現に努力している。  
 仏教は、社会とどのようにかかわり、影響を与え、あるいは運動を起こしてきたか。生死、人権、女性、家族、平和といったキーワードから、仏教の立場、仏教の功罪、仏教への期待などをみていくことで、現代社会への問題提起を行いたい。

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

適宜レポートを課す。年度末の筆記試験と合わせて評価する。

教科書

適宜プリントで配布する。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科目名	総合I 3〔仏教と芸術〕	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	むらまつ てつかみ 村松 哲文				

講義のねらい

本講義では、仏教美術の誕生から伝播について、インド・西域・中国・朝鮮半島の仏像・仏画をスライドを写して概観する。同じモチーフが時代や地域によって変化してゆく過程を、歴史的な背景と照らし合わせながら考察してゆく。講義を通して、信仰が生み出した深遠なる美の表現を眼と心で会得してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕  
 仏教美術の世界（1～2）  
 インドの仏教美術（3～5）  
 西域の仏教美術（6～8）  
 初期の敦煌石窟（9～11）  
 後期の敦煌石窟（12～15）

〔後期〕  
 炳靈寺石窟（16～17）  
 麦積山石窟（18～20）  
 雲岡石窟（21～23）  
 龍門石窟（24～27）  
 朝鮮三国の仏教美術（28～30）

以上は予定で、講義の合間に特定の意匠（仏像の胸飾・宝冠・袈裟など）についても考察する。

履修上の留意点

博物館・美術館で開催される仏教美術関係の展覧会には、積極的に足を運ぶこと。

成績評価の方法

出席率・レポート・授業態度・定期試験などを総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

講義中に適宜参考書を紹介する。

科目名	総合II 1〔駒澤大学の歴史〕	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	<small>くまもと ふみお おおしろ みちのり こいずみ まさひろ ささき まこと すぎやま きよひこ ひろせ りょうこう</small> 熊本 史雄・大城 道則・小泉 雅弘・佐々木 真・杉山 清彦・廣瀬 良弘				

講義のねらい

本講義では、スライドや写真資料などを豊富に織り交ぜながら、駒澤大学の歴史につき概述します。

駒澤大学は、平成14年（2002）に「開学120周年」を迎えました。これは、駒澤大学の前身・曹洞宗大学林専門学本校が設置された、明治15年（1882）を起点としたものです。しかし、駒澤大学の起源は遠く戦国時代の終わり、文禄元年（1592）にまでさかのぼることができます。その年、曹洞禅の研究と漢学の振興を目的として、「学林」が開かれました。実に415年前の話になります。“日本一古い大学”と形容される所以です。最近では、駅伝や野球、サッカー、空手と、スポーツ部門でもその名を轟かせている駒澤大学ですが、こうした古くからの伝統と学風も、現在の駒澤大学に受け継がれている大事な要素です。

本講義を通じて、駒澤大学の歴史を学ぶとともに、“駒澤スピリット”を感じ取り、“駒澤アイデンティティ”を形成して下さい。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期：1. 授業計画とガイダンス  
 2. 道元と曹洞宗  
 3. 永平寺と総持寺  
 4. 吉祥寺旃檀林の誕生  
 5. 学寮での厳しい修行  
 6. 学寮から学校へ  
 7. 明治政府の宗教・教育政策  
 8. 曹洞宗大学の発足  
 9. 日ヶ窪から駒沢へ  
 10. 大学令と「駒澤大学」の誕生  
 11. 「大正教養主義」と駒大生  
 12. 「禅文化歴史博物館」の見学
- 後期：13. 「郊外」の誕生と駒大 ～玉電の開通と世田谷の発展～  
 14. 戦時下の駒大 ～学徒動員と学徒出陣～  
 15. 世界の大学との比較① ～古代エジプトの教育～  
 16. 世界の大学との比較② ～ヨーロッパの大学 宗教機関から世俗機関へ～  
 17. 世界の大学との比較③ ～中国における科挙制度～  
 18. 世界の大学との比較④ ～中国の近代化構想と教育～  
 19. 占領政策と新制大学の設立  
 20. 東京オリンピックと駒大  
 21. 駒大の名物教授／駒大図書館所蔵の貴重書・稀覯本  
 22. 学生運動／部活動  
 23. スポーツにみる駒大の躍進 ～駅伝・野球・サッカー～  
 24. 国際交流における駒澤大学 ～留学・学术交流～

履修上の留意点

4年間を過ごすことになる駒澤大学のことを、広く、深く知って下さい。駒澤大学に対する理解と愛着が深まることを願っています。

成績評価の方法

学年末の期末試験。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

適宜紹介する。

科目名	総合II 2〔自然観察入門富浦をめぐる人と自然〕	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英地文環境歴史外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	<small>しみず よしかず</small> <small>うるしばら かずこ</small> <small>おざわ まこと</small> <small>おだか しょういち</small> <small>さかのい かずよ</small> <small>さくらい くにお</small> <small>しのはら まさお</small> 清水 善和・漆原 和子・小沢 誠・小高 昭一・坂野井 和代・桜井 邦夫・篠原 正雄・ <small>やなぎざわ のりお</small> <small>やまがた たけし</small> 柳澤 紀夫・山縣 毅				

講義のねらい

教場での通常の講義では、自然の現物を示せないもどかしさがある。自然を理解するためには、自然を観察し、データをとり、解析し、結果を出すという科学的な研究手法の一部を実体験することが重要だからである。一方、我々の身近に接する自然は、生の自然ではなく、人間の営みの内にある自然である。ある地域の自然を総合的に理解するためには、自然をめぐる歴史的、地理的な背景を知る必要がある。本科目では、まず、前期半期で植物、鳥類、地形・地質、天体、環境などの観察やデータ処理の方法を紹介する。一部の講義では大学キャンパスや駒沢公園を利用した実習も行う。次に、夏休み中（7月下旬）に房総半島の富浦にある駒澤大学富浦セミナーハウスにて、4泊5日の泊り込みの集中講義と野外実習を行い、富浦周辺の自然をトータルに理解することを試みる。夜には天体望遠鏡を用いて天体観測の実習も行う。これらの講義や実習を通して、自然の見方、接し方、自然科学的な考え方の基本を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

次のような内容で前期の講義と夏休みの富浦での実習を行う。内容に応じて9名の教員が交代しながら講義と実習を担当する。なお、後期の講義はない。

- 前期（半期）：本校での講義（一部実習を含む）
  - (1) ガイドンス（抽選）、(2) 自然観察の方法、(3) 植物の観察1、(4) 植物の観察2、(5) バードウォッチング1、(6) バードウォッチング2、(7) 地球科学的な見方1、(8) 地球科学的な見方2、(9) 地球環境の見方1、(10) 地球環境の見方2、(11) 天体観測の方法1、(12) 天体観測の方法2、(13) 富浦実習に向けて
- 富浦での講義と実習：7月16日（月）午後—20日（金）午前（4泊5日）  
 午前の講義、午後の実習（植物、地形・地質、地理・歴史）、夜の天体観測など。

履修上の留意点

- 前期半期の講義と夏休み中の実習の両者を合わせて単位を認定するので、富浦の実習に参加できない人は履修できない。前期の講義に毎回欠かさず出席し、夏休み中の実習に参加する人のみ履修すること。また、本科目を9月卒業のための単位に加えることはできないので注意すること。
- 富浦への旅費とセミナーハウスの宿泊費（1泊4000円×4日）は学生の自己負担とする。
- 実習を伴う科目の性格上、履修人数の上限を30名とする。4月の初回の講義で詳しいガイドンスを行い、履修希望者が定員を越える場合には、その場で抽選を行うので、履修希望者は必ず初回の講義に出席すること。

教科書

特になし。各教員が必要に応じてプリント等を配布する。

参考書等

各教員が必要に応じて紹介する。

その他

定員30名を越える希望者がある場合は抽選を行うので、履修希望者は必ず4月の初回講義に出席すること。

科目名	総合III【1〔人権と社会問題〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A放選				
担当者名	ピアス, D. M.				

講義のねらい

This being the most advanced English course available, its first intention is to prepare for studying abroad; it should provide an approximate experience of what it is like to attend a university-level course in a foreign country. Students will not study English, but study something else in English. Lectures, compositions, and conversation practice will concentrate on international social problems such as human rights, war, feminism, poverty, suicide, sex, racism, euthanasia, abortion, ecology, etc. Alternatively, programs in the history of economic and political thought, and in American sociology, may be used as lecture material.

Elementary level English conversation will not be taught, but there will be intensive practice every period in spoken English on, quotidian, controversial, and intellectual levels. Emphasis is placed on learning to converse intelligently, that is, to communicate thought in spoken language. Time will be devoted to English composition and to listening comprehension practice.

The format of the course is not based fundamentally upon the lecture series; during most of the class time students will be actively producing, in writing and speaking.

講義の内容・授業スケジュール

SCHEDULE OF TOPICS

CLASS 1 rights	CLASS 16 abortion
CLASS 2 rights	CLASS 17 abortion
CLASS 3 rights	CLASS 18 abortion
CLASS 4 income	CLASS 19 racism
CLASS 5 income	CLASS 20 racism
CLASS 6 income	CLASS 21 racism
CLASS 7 income	CLASS 22 racism
CLASS 8 feminism	CLASS 23 suicide
CLASS 9 feminism	CLASS 24 suicide
CLASS 10 feminism	CLASS 25 suicide
CLASS 11 feminism	CLASS 26 suicide
CLASS 12 euthanasia	CLASS 27 war
CLASS 13 euthanasia	CLASS 28 war
CLASS 14 euthanasia	CLASS 29 war
CLASS 15 euthanasia	CLASS 30 war

履修上の留意点

ATTENDANCE: Attendance and active participation are vital; only practice improves English. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

EXAMINATIONS: Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

GRADING: Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, TAKE SOME OTHER COURSE. In this class you will be speaking English all the time. Your final grade depends 70% on your class performance. Attendance is extremely important, whereas examinations have minor effect on the final grade. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A," because final grade is relative to his improvement in comparison to his initial ability.

教科書

Textbook and materials: We will probably use Sociology, Economics, Political Science,

教科書

Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or an electronic dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

科目名	総合Ⅲ 2〔欧米の教育と日本の教育〕	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A放選				
担当者名	おかざき としちろう 岡崎 寿一郎				

講義のねらい

日本の大学は、1949年の改革で、アメリカの一般教育の理念を採用し、人文・社会・自然科学・体育・外国語のコースを専門課程の前に課してきました。それが、新カリキュラムによって改変されました。しかし、アメリカの大学がいかなる変革を経て今日にいたったのか。また、その現状がどのようなものであるのかは、知られていないとおもわれます。大学数は、現在、アメリカでは、約3,000校、日本は、約1,000校（短大・四年制大学）です。ヨーロッパでは、まだ、日本の戦前における数（旧大学令・47校）とほぼ同数です。進学率も10%前後です。また、大学入試制度については、例えば、「各大学単位で独自の入学試験が行われている国は、OECD加盟国の中では日本とユーゴスラヴィアの二国だけであり、また選抜試験のみで大学生を入学させているのは、日本以外はポルトガルとトルコの二国のみである」（西尾幹二『ヨーロッパ像の転換』）とあります。欧米では、大学入学資格認定制度が採用されています。（例、イギリスの「A」レベル、ドイツのアビトゥア、フランスのバカロレア、アメリカのSAT等）講義では、文化相対論（異なる文化の風俗・習慣についての批判・評価と同時に、その風土・歴史的背景を十分に考慮する）の観点から、自国の教育（制度）を絶対視する価値観の単一化を避けつつ、国際化の時代に即応したグローバルな教育観の展望について論じます。

成績評価の方法

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、講義内容に則したプリントを配布します。成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

参考書等

参考書・文献については適宜言及します。

科目名	総合Ⅲ 3〔フランス現代文化史〕	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A放選				
担当者名	桑田 <small>くわた のりあき</small> 禮彰				

講義のねらい

フランスにおける現代（特に第2次大戦後）の文化の歴史を概観します。

講義の内容・授業スケジュール

ここで扱う「文化」とは、文学（バタイユ、ブランショ他）、演劇（アルトー、ジュネ、イヨネスコ他）、美術（ピカソ、セザンヌ、ジャコモッティ、スタール他）、音楽（プーレーズ他）、映画（ゴダール他）などの芸術にとどまらず、哲学（サルトル、メルロ＝ポンティ、フーコー、ドゥルーズ他）、精神分析（ラカン他）、人類学（レヴィ＝ストロース他）、歴史学（ブローデル他）、社会学（バルト他）などの学問も含まれます。

講義では、時の流れに沿って過去から現在へ向かいながら、こうした文化界における重要な具体的事件（哲学書出版、芝居公演、美術展など）を取り上げ、当時の政治・社会的背景の上に位置付けてみます。一方では個々の文化的事件をできるかぎり具体的に追いつつ、他方ではフランス現代文化全体を大きな流れとして提示し、そこから「知識人」「戦争」「消費社会」「芸術と政治」「ニヒリズム」などの問題を考えて行きます。

もちろん「フランス現代」という時空枠は暫定的なもので、講義はこの枠をはみ出します。たとえば、この時代のフランス文化はドイツ文化の大きな影響のもとにありましたが、現代の「知識人」のフランス的性格を考えるためには歴史を遡る必要もあります。

尚、この講義は、Jean-Paul Aron, *Les modernes*, Gallimard, 1984 を下敷にします。

履修上の留意点

履修者にフランス語の知識は必要ありません。

成績評価の方法

学年末試験

教科書

特に指定しません。

参考書等

講義で指示します。

科目名	総合Ⅳ 1〔現代アメリカ事情〕	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A放選				
担当者名	林 <small>はやし あきと</small> 明人				

講義の内容・授業スケジュール

現代のアメリカが抱えているさまざまな問題を、具体的なキーワード（abortion, affirmative action, euthanasia, Brady Bill 等）を説明しながら紹介します。なぜその問題が起こったのか、そしてそれがどのように発展し、現在どうなっているのかを見てゆきます。知っているようで知らないアメリカの諸相が見えてきます。

履修上の留意点

遅刻（交通機関の遅延を除く）及び授業中の出入りは認めません。

成績評価の方法

①試験、②レポート、③出席で総合評価するが、出席は3分の2を越えていなければならない。出席以外のそれぞれの評価が一つでも4割に満たない場合は単位を認めない。

教科書

プリントを配布します。

科目名	総合Ⅳ 2〔シアトル市のNPOとまちづくり〕	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A放選				
担当者名	西村 祐子 <small>にしむら ゆうこ</small>				

講義のねらい

前期はアメリカのシアトルを中心にNPO,NGO（非営利組織）におけるまちづくり（コミュニティビルディング）、後期の前半は日本の神奈川県を中心に発達しつつあるNPO間のネットワークについて考察する。後期後半はインドにおけるNGO,NPOについて考察する。

講義の内容・授業スケジュール

前期：アメリカの非営利組織と日本の非営利組織との違い  
 コミュニティ・ビルディングとNPO  
 シアトルのまちづくり  
 シアトル・アジア系住民のまちづくりとNPO  
 アメリカにおける移民とNPO  
 自治体とNPOの協働について：日本との比較  
 神戸市・横浜市、川崎市などの事例研究  
 後期：日本のNPO,インドのNPO,NGO  
 日本のまちづくり政策とNPO  
 世田谷区のまちづくりとNPO  
 まちづくり協議会とNPO  
 神奈川県・横浜市におけるNPOと外国人労働者  
 インド社会概観  
 インド社会とNGO  
 南インドのNGOとコミュニティビルディング  
 行政とNPO,NGOのかかわり：タミルナードゥ州、ケーララ州などを事例として。

履修上の留意点

インターネットによる資料調査をおこなう。またビデオなども使用。受講人数制限あり。学内で使用するコンピュータ用IDを必ず取得しておくこと。

成績評価の方法

平常点（出席率、レポート内容）重視。

教科書

『草の根NPOのまちづくり：シアトルからの挑戦』（勁草（けいそう）書房）、その他。

参考書等

教場で指定（インターネットサイトなど。）

その他

ゲストレクチャーを後期に2回予定している。



科目名	総合Ⅳ 3〔ポスト・モダンの世界〕	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A放選				
担当者名	丸小 <sup>まるこ</sup> 哲雄 <sup>てつお</sup>				

講義のねらい

本講座は、総合科目と専門科目の「あいまいな」通路を拓き、連動していくことが狙いである。「いい大学を出て、大企業に就職する」という「幸福な方程式」から絶対に避けることのできない遇有的な不確実性にどのように対応するかという「人生の方程式」に向けて講義してゆく。そこで「いま・ここ」における社会現象に向き遇って問題意識を高めてもらうために、「生活知」（人間の時間）と「世界知」（科学の時間）を、つまり「熱い知」と「冷たい知」を結び付けて、その中間にあるあいまいな生の「遇有性」（不確実の時代）のダイナミズムを自分の主体的な「生活知」のなかで生かせるように講義を進める。

講義の狙いは、「近代化とは何か」を問うために、「ポストモダンの世界」を開き、モダン近代化批判する主体的な能力を育むことで現代文明の本質を捉え直すことにある。ここには近代化批判による現代文明論と主体性の確立という二つの大きな特徴がある。一つ目の特徴は、近代化における科学観・社会観・人間観を構造的・思想的に見直しするために、近代知の権力の座（特権化された場）を移動・転倒させ、固定概念の構造をこじ開けることである。二つ目の特徴は、聴講生自らが近代知批判の複眼的な思考や答えに逢着する過程のなかで、自ら置かれている現状を対象化（＝他者）して、日常世界にそれを重ね合わせて、「自分の居場所探し」（主体性の確立）を確保することである。

講義の内容・授業スケジュール

社会的な問題（現象）を取り上げてコメントし、問題点を指摘して、モダン（近代史）とポストモダン（現代史）のズレとその課題を認識するために、クラス外では文庫本・新書版の読書課題もありますが、本講義の骨子は以下の通りです。

- 1) 総合Ⅳの性格と意義
- 2) 現代という時代の捉え方
- 3) 「プリモダン」・「モダン」と「ポストモダン」という言葉の定義と時代認識の問題
- 4) ルネッサンス以後の人間観・宇宙観・社会観の思想的な変遷
- 5) 言語の恣意性：ラングとパロール（ソシュールの言語観など）
- 6) モダンとポストモダンにおけるヴィジュアル系の変遷：建築の変遷、広告及び世界万博の変遷、エロスの変遷、ファッション・モードの変遷など。
- 7) 理性批判の整理：思想史の観点（ポストモダン）からモダン批判
  - ① プレモダン・モダンという近代史（ソクラテス、デカルト、ヘーゲルとマルクスなど）
  - ② モダン思想的批判の源泉（ニーチェ・フランクフルト学派・ハイデガーなど）
  - ③ 合理性と非合理性理の問題（マックス・ヴェーバーなど）
  - ④ モダン批判：外部の力と内部の力（ミッシェル・フーコーなど）
- 8) ポストモダンを乗り越えるための主体性の問題
- 9) レビュー：アメリカン・イデオロギーとグローバリズムに対する批判

履修上の留意点

私語厳禁

成績評価の方法

平常クラスでの発表（出席率と質疑応答）、前期と後期のリーディング・テスト課題、学年末に提出するターム・ペーパー

教科書

・プリント使用：読書課題のリスト配布（レポート作成方法、提出日、提出場所も指示）  
・多くのプリントを配布しますので、そのファイル用具を用意すること

参考書等

講義のときに、随時指示します。

科目名	総合VI 1〔民族とは何か〕	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	おおの ゆうじ 大野 祐二				

講義のねらい

この講義は、文化人類学的な視点から「民族」にまつわる様々な現象を、我々の日常生活において理解することを、主たるねらいとしています。世界各地で噴出する民族問題の百科事典的な紹介ではなく、問題を理解する際に必要なアプローチなり、方法や認識について考察することを通して、我々の日常との関連について、つまり「あちら／他者」の問題としてではなく、「あちらとこちら／自己と他者」との関係のあり方から検討することを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

具体的なスケジュールについては最初の講義の際に伝えますが、前期においては文化人類学的方法論（文化の概念、異文化の記述・異文化へのまなざし、文化相対主義、他者表象など）についてが中心になります。

後期は、ビデオ教材も使いながら、日本・朝鮮半島・北米などにおける事例を検討しながら、「民族」現象について国家・ナショナリズム・植民地主義・歴史・伝統文化などとの関連から考察を進める予定です。

履修上の留意点

講義形式ですすめますが、一方的にならないため質問時間も可能な限りとりまします。大幅に遅刻する人はご遠慮ください。

成績評価の方法

前後期の定期試験（またはレポート）、および小テストで評価します。

教科書

詳細については授業中にプリントで伝える予定です。

参考書等

原尻英樹著『コリアンタウンの民族誌』（筑摩書房）  
吉野耕作著『文化ナショナリズムの社会学』（名古屋大学出版会）  
李孝徳著『表象空間の近代』（新曜社）

科目名	総合VI 2〔イスラム〕	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	よしだ きょうこ 吉田 京子				

講義のねらい

本講義は、イスラームの基本的理念、信仰上の儀礼、日常の規定、宗教思想などについて、概論的講義を行い、初歩的なイスラームの知識を提供するものである。

講義の内容・授業スケジュール

- ①イスラームの預言者ムハンマド
  - ②イスラームの啓典クルアーン
  - ③イスラームの世界観
  - ④イスラームの実践
  - ⑤イスラームの分派
  - ⑥イスラーム神秘主義
- これらの項目を各2～3回ずつ行う予定。

履修上の留意点

授業中の疑問点やコメント回答を毎回提出してもらい、それらに対する返答を習週行う。

成績評価の方法

毎回提出のコメント用紙を出席表とする。出席率（3分の2以上）と試験による総合評価。

科目名	総合VI 3〔フェミニズム・ジェンダー〕	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	はやかわ のりよ 早川 紀代				

講義のねらい

この世のなかには、男性と女性、女性と男性の両性から成りたっています。この両性の関係は私たちの社会の中で、どんな風に構成されているだろうか。男も女も人間らしくいきいきとすることができる両性関係はどんな関係だろうか。私たちが理想とする両性関係をどんな風にしてつっていったらよいか、皆さんとともに考えます。

講義の内容・授業スケジュール

前期

- a. ジェンダーってなに？  
フェミニズムやジェンダーという考え方がうまれた歴史背景と私たちがもっている女らしさ、男らしさの内容を考えます。
- b. 労働とジェンダー  
企業の雇用戦略が大変貌をとげている現在、男女の企業における配置はどのようになっているか、その原因はなにか、雇用機会均等法は機能しているか、家族と労働生活は両立できるのか、など、私たちが直面している問題を考えます。

後期

- c. 家族とジェンダー  
皆さんの来歴をたどりながら、現在の家族の変貌、そこからでてくる問題をとりあげ、未来の家族像を考えます。恋愛や結婚、夫妻、親子の歴史を簡単に古代からふりかえりながら、私たちの将来像を考えます。
- d. セクシュアリティとジェンダー  
今日程、性のありかたが多様になって、変化している時代はないでしょう。性同一障害やホモセクシャルな関係、性暴力の問題など、人間の性のありかたを考えます。

履修上の留意点

毎回ではありませんが、感想や意見を書いてもらいます。それが出席評価になりますから、就職活動や病気などを除いて欠席しないこと。

成績評価の方法

出席回数、夏休みレポート、後期期末試験（論述）によって成績評価する。講義の内容がいかされているかが評価の基準になる。

教科書

教科書は使用しない。

参考書等

資料を随時配布する。

その他

授業は講義、討論、映画鑑賞をふくむ。

科目名	総合VII 1〔トラブルと法的解決〕	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	<small>たかはし ひろき かわぐち ゆきみ たけなか ちか ほらだ けいいちろう ふじもと しげる まつむら いたる</small> 高橋 洋城・川口 幸美・竹中 智香・原田 啓一郎・藤本 茂・松村 格				

講義のねらい

日常生活は、常に順調と言うわけにはいかない。社会生活につきまとうトラブルを法的に解決することを考える。

法的トラブルにはどのようなパターンがあるか。それをどう解決すればよいのか、あるいは、トラブルを未然に防ぐにはどうすればよいのか。これらの点について、市民として知っておくべき基礎的知識を、各法領域の教員が交替で講義する。

講義の内容・授業スケジュール

第1回目の講義で、履修上の注意点と各法領域での講義内容の概要を説明する。受講希望者は必ず、出席すること。

担当教員の順番や講義内容は、KOMSY内の「詳細情報画面」を参照すること。各領域3回から4回を予定している。ここでは、各担当教員のテーマを上げるに止める。

- 1 高橋 洋城      トラブルが法の問題になるとき
- 2 川口 幸美      現代社会と商法
- 3 藤本 茂        現代雇用社会と労働法
- 4 原田啓一郎    大学生活と社会保障の法的トラブル
- 5 竹中 智香      変化する市民生活と民法
- 6 松村 格        刑事事件と法定手続

履修上の留意点

各担当教員の実質講義回数が少ないため、講義には必ず出席すること。私語は慎むこと。携帯電話のスイッチはOFFにすること。

成績評価の方法

各担当教員がそれぞれの担当回数の中で実施する試験（担当教員により、担当枠の最後に試験を実施する場合や毎回小テストを実施する場合がある）の成績を総合して評価する。講義に出席することはもとより、各担当教員の実施する試験は必ず受け、レポートが出されれば必ず、その担当期間内に提出すること。

担当教員が実施する試験を2回以上欠席（不受験）した場合には、全体の評価が0点となり、その時点で単位取得が不可能になるので注意して欲しい。

追試験は、講義の形態上、行わない。

教科書

特に指定しない。

参考書等

各担当教員が講義に際し、必要に応じて、その都度開示する。六法は毎回忘れずに、持参すること。

科目名	総合VII 2〔都市論〕	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴史日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	内海 麻利・浦田 早苗・坂井 文・早川 純貴・堀内 康史				

講義のねらい

大都市は多様な問題が集積する場である。過密化と空洞化、犯罪、失業、ゴミ問題、再開発、国際化など。しかしこれらは、独自のダイナミズムを持ち、拡大と変容を繰り返すと都市社会が示す多様な表象にはかならない。都市の現状を政治学あるいは社会や建築及び都市計画学の観点から概観し、その将来を考える。

講義の内容・授業スケジュール

5名の講師により、各々4回又は6回の講義を担当する。その順序、時期と講義内容については以下の通り。

- 内海麻利『都市論』ガイダンス（1回：4月）
- 内海麻利「都市計画制度とその動向」（4回：4月・5月）  
都市の物的な計画、実現手段である都市計画制度は、土地利用や道路・公園等の都市施設整備、市街地開発など、都市を形成するための様々なルールや仕組みを提供してきた。本講義では、社会情勢を踏まえ着目すべき都市計画制度を概観するとともに、その動向に見られるまちづくりのあり方を考える。
- 早川純貴「まちづくりと住民参加」（4回：5月・6月）  
いわゆる迷惑施設や道路建設をめぐる住民と行政の対立、地域による防災への取組み、老人・障害者支援など身近にあるまちづくり、そして古い家並みや建造物の保存運動などを通じ、住みやすく愛着のある「まちのかたち」を住民参加の観点で考える。
- 浦田早苗「イギリスの都市はおいしい」（4回：6月・7月）  
イギリス一般市民の都市生活を、食事、娯楽、居住などの面から観察し、日英の都市文化の比較を試みる。
- 堀内康史「都市とコミュニティ」（6回：9月・10月）  
都市を社会学的な視点からとらえ、都市における人間関係（あるいはコミュニティ）を中心に見ていく。都市化とコミュニティの変化、社会階層とコミュニティの関係、グローバリゼーションとコミュニティの変化、などのテーマを考察していく。
- 坂井 文「都市を公共空間から読む」（6回：11月・12月）  
都市の形成とともに、広場や公園などの近代公共空間は形成されてきた。公園の誕生にともなって、伝統的な都市空間の社会的な意味はどう変化してきたのだろうか。ロンドンと江戸・東京の都市の歴史を振り返り、また現在の政策を考察しながら、都市における公共空間のあり方を考える。

履修上の留意点

日本や海外の都市問題に強い関心を持つ学生の受講を歓迎する。

成績評価の方法

成績は各講師がレポートないし小テスト等により判断し、それらを内海が総合して評価する。

### 3. 外国語科目

### 3. 外国語科目

〔英語〕

科目名	曜日・時間	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
英語IA	水2	営A1年	通年	2	梅原 敏弘	175
英語IA	水2	営A1年	通年	2	丹治 弘昌	176
英語IA	水2	営A1年	通年	2	相馬 美明	176
英語IA	水2	営A1年	通年	2	林 明人	176
英語IA	水2	営A1年	通年	2	三輪 久恵	177
英語IA	水2	営A1年	通年	2	澤田 真弓 田中 保	177
英語IA	水2	営A1年	通年	2	ピアス、D. M.	178
英語IA	水2	営A1年	通年	2	川崎 笑佳	179
英語IA 【〔基礎英語特別クラス〕】	月1	法A政営A1年	通年	2	牧野 輝良	179
英語IB	木3	営A1年	通年	2	澤田 真弓	180
英語IB	木3	営A1年	通年	2	佐藤 江里子	180
英語IB	木3	営A1年	通年	2	亀田 三重子	181
英語IB	木3	営A1年	通年	2	矢島 直子	181
英語IB	木4	営A1年	通年	2	澤田 真弓	182
英語IB	木4	営A1年	通年	2	木村 正俊	182
英語IB	木4	営A1年	通年	2	亀田 三重子	183
英語IB	木4	営A1年	通年	2	佐藤 江里子	183
英語IB 【〔基礎英語特別クラス〕】	木4	営A1年	通年	2	矢島 直子	183
英語IC (会話)	金3	営A1年	通年	2	ハバード、W. D	184
英語IC (会話)	金3	営A1年	通年	2	ロンゴ、T.	184
英語IC (会話)	金3	営A1年	通年	2	デンドウ、G.	185
英語IC (会話)	金3	営A1年	通年	2	ササキ、M.	185
英語IC (会話)	金4	営A1年	通年	2	ラッセル、S. J.	186
英語IC (会話)	金4	営A1年	通年	2	デンドウ、G.	186
英語IC (会話)	金4	営A1年	通年	2	ササキ、M.	187
英語IC (会話)	金5	営A1年	通年	2	ラッセル、S. J.	188
英語IC (会話)	金5	営A1年	通年	2	ミックエリゴット、 J. P.	189
英語IC (会話)	金5	営A1年	通年	2	セイジ、K	190
英語IIA	月4	営A2年	通年	2	江田 幸子	190
英語IIA	月4	営A2年	通年	2	太田 美智子	191
英語IIA	木1	営A2年	通年	2	高柳 文江	191
英語IIA	木1	営A2年	通年	2	前田 脩	192
英語IIA	木1	営A2年	通年	2	高野 秀夫	192
英語IIA	土1	営A2年	通年	2	手島 敬子	193
英語IIA	土1	営A2年	通年	2	本間 俊一	193
英語IIA	土1	営A2年	通年	2	萩原 輝	194
英語IIC (会話)	金3	営A2年	通年	2	ラッセル、S. J.	195
英語IIC (会話)	金3	営A2年	通年	2	セイジ、K	196

外国語

外国語

英語II C (会話)	金 3	営A2年	通年	2	ミックエリゴット、 J. P.	197
英語II C (会話)	金 4	営A2年	通年	2	セイジ、 K	198
英語II C (会話)	金 4	営A2年	通年	2	ロンゴ、 T.	198
英語II C (会話)	金 4	営A2年	通年	2	ミックエリゴット、 J. P.	199
英語II C (会話)	金 5	営A2年	通年	2	ロンゴ、 T.	200
英語II C (会話)	金 5	営A2年	通年	2	デンドウ、G.	200
英語II C (会話)	金 5	営A2年	通年	2	ササキ、M.	201
英語II C (会話)	金 5	営A2年	通年	2	ロビン、G.F.	201
英語II C (会話)	金 4	営A2年	通年	2	ソルタ、P.N.F.	202
英語III A	月 1	営A3年	通年	2	小布施 圭佐三	203
英語III A	月 1	営A3年	通年	2	佐藤 孝一	203
英語III A	月 1	営A3年	通年	2	伊藤 美代子	204
英語III A	月 1	営A3年	通年	2	広川 治	204
英語III A	月 1	営A3年	通年	2	岩井 洋美	205
英語III A	火 4	営A3年	通年	2	吉江 正雄	205
英語III A	火 4	営A3年	通年	2	井伊 順彦	206
英語III A	火 4	営A3年	通年	2	小泉 和弘	206
英語III A	火 4	営A3年	通年	2	伊藤 幸一	207

【ドイツ語】

科目名	曜日・時間	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
ドイツ語IA	火 3	営A1年	通年	2	杉本 正俊	208
ドイツ語IA	火 3	営A1年	通年	2	松岡 晋	208
ドイツ語IA	火 3	営A1年	通年	2	藪下 紘一	209
ドイツ語IB	土 2	営A1年	通年	2	岡本 時子	209
ドイツ語IB	土 2	営A1年	通年	2	藪下 紘一	209
ドイツ語IB	土 2	営A1年	通年	2	松岡 晋	210
ドイツ語IC (会話)	火 5	営A1年	通年	2	清水 修	210
ドイツ語IIA	月 3	国地文環境日外考商政営A2年	通年	2	柴野 博子	211
ドイツ語IIA	月 3	国地文環境日外考商政営A2年	通年	2	飯塚 公夫	211
ドイツ語IIC (会話)	金 4	営A2年	通年	2	堀内 美江	212
ドイツ語IIIA	金 5	営A3年	通年	2	堀内 美江	212

【フランス語】

科目名	曜日・時間	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
フランス語IA	火 3	営A1年	通年	2	小玉 齊夫	213
フランス語IA	火 3	営A1年	通年	2	遠山 博雄	213
フランス語IA	火 3	営A1年	通年	2	出口 雅敏	214
フランス語IB	土 2	営A1年	通年	2	桑田 禮彰	214
フランス語IB	土 2	営A1年	通年	2	浜崎 設夫	215
フランス語IB	土 2	営A1年	通年	2	遠山 博雄	215



フランス語IC (会話)	火5	営A1年	通年	2	佐藤 久美子	216
フランス語IIA	月3	国地文環境日外考商政営A2年	通年	2	遠山 博雄	216
フランス語IIA	月3	国地文環境日外考商政営A2年	通年	2	前田 祝一	217
フランス語IIC (会話)	金4	営A2年	通年	2	大野 英士	217
フランス語IIIA	金5	営A3年	通年	2	大野 英士	218

## 〔中国語〕

科目名	曜日・時限	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
中国語IA	火3	営A1年	通年	2	布施 直子	220
中国語IB	土2	営A1年	通年	2	下出 宣子	
中国語IA	火3	営A1年	通年	2	小栗山 恵	221
中国語IB	土2	営A1年	通年	2	徳間 佳信	
中国語IA	火3	営A1年	通年	2	工藤 早恵	221
中国語IB	土2	営A1年	通年	2	布施 直子	
中国語IA	火3	営A1年	通年	2	本間 由香利	222
中国語IB	土2	営A1年	通年	2	曹 泰和	
中国語IA	火3	営A1年	通年	2	塩旗 伸一郎	222
中国語IB	土2	営A1年	通年	2	塩旗 伸一郎	
中国語IA	火3	営A1年	通年	2	吉田 建一郎	223
中国語IB	土2	営A1年	通年	2	佐藤 普美子	
中国語IC (会話)	火5	営A1年	通年	2	秋元 翼	223
中国語IIA	月3	国地文環境日外考商政営A2年	通年	2	橋本 幸枝	224
中国語IIA	月3	国地文環境日外考商政営A2年	通年	2	福地 桂子	224
中国語IIA	月3	国地文環境日外考商政営A3年	通年	2	児島弘一郎	225
中国語IIA	月3	国地文環境日外考商政営A2年	通年	2	弘兼 加奈子	225
中国語IIA	月3	国地文環境日外考商政営A2年	通年	2	江林 英基	226
中国語IIC (会話)	金4	営A2年	通年	2	宮本 厚子	226
中国語IIIA	金5	営A3年	通年	2	王 聡	226

## 〔スペイン語〕

科目名	曜日・時限	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
スペイン語IA	火3	営A1年	通年	2	佐藤 佐知	227
スペイン語IA	火3	営A1年	通年	2	ルイズティノコ,C.	227
スペイン語IA	火3	営A1年	通年	2	亀山 晃一	228
スペイン語IA	火3	営A1年	通年	2	上野 勝広	228
スペイン語IB	土2	営A1年	通年	2	佐藤 麻里乃	229
スペイン語IB	土2	営A1年	通年	2	米田 博美	229
スペイン語IB	土2	営A1年	通年	2	栗林 ゆき絵	230

スペイン語IB	土2	営A1年	通年	2	荻野 雅司	230
スペイン語IC (会話)	火5	営A1年	通年	2	ルイズティノコ,C.	231
スペイン語IIA	月3	国地文環境日外考商政営A2年	通年	2	真下 祐一	231
スペイン語IIA	月3	国地文環境日外考商政営A2年	通年	2	上野 勝広	232
スペイン語IIC (会話)	金4	営A2年	通年	2	真下 祐一	232
スペイン語IIIA	金5	営A3年	通年	2	真下 祐一	233

〔ロシア語〕

科目名	曜日・時間	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
ロシア語IA	火3	営A1年	通年	2	杉山 秀子 佐野 朝子	235
ロシア語IB	土2	営A1年	通年	2	廣田 英靖	236
ロシア語IC (会話)	火5	営A1年	通年	2	佐野 朝子	236
ロシア語IIA	月3	国地文環境日外考商政営A2年	通年	2	木村 英明	237
ロシア語IIC (会話)	金4	営A2年	通年	2	クロチコフ、Y.	237
ロシア語IIIA	金5	営A3年	通年	2	クロチコフ、Y.	238

《選択科目》

科目名	曜日・時間	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
英文講読	水1	禅仏国地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選	通年	4	林 明人	239
英文講読	水2	禅仏国地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選	通年	4	矢島 直子	239
英文講読	水1	禅仏国地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選	通年	4	牧野 輝良	240
時事英語研究	月4	禅仏国地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選	通年	4	高野 秀夫	240
時事英語研究	火2	禅仏国地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選	通年	4	林 明人	241
時事英語研究	火2	禅仏国地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選	通年	4	岸本 茂和	241
時事英語研究	月4	禅仏国地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選	通年	4	落合 和昭	242
時事英語研究	月4	禅仏国地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選	通年	4	矢島 直子	242
マルチ・メディア	月4	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選	通年	2	落合 和昭	243
マルチ・メディア	木4	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選	通年	2	大庭 直樹	244
マルチ・メディア	火1	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選	通年	2	西村 祐子	245
マルチ・メディア	水3	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選	通年	2	大庭 直樹	246

英会話I	月 1	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選	通年	2	ロビン、G.F.	246
英会話I	月 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選	通年	2	ロビン、G.F.	247
英会話I	火 1	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選	通年	2	ウェルズ、J.K.	248
英会話I	火 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選	通年	2	ウェルズ、J.K.	249
英会話I	水 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選	通年	2	ソルタ、P.N.F.	250
英会話I	水 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選	通年	2	ソルタ、P.N.F.	251
英会話I	木 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選	通年	2	レーン、C.M.	252
英会話I	木 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選	通年	2	レーン、C.M.	253
英会話I	金 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選	通年	2	ピアス、D.M.	254
英会話I	金 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選	通年	2	ピアス、D.M.	255
英会話I	土 1	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選	通年	2	レイン、R.V.	256
英会話I	土 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選	通年	2	ラッセル、S.J.	257
英会話II	水 1	全学科（フレB除く）234選	通年	2	ソルタ、P.N.F.	258
英会話II	土 1	全学科（フレB除く）234選	通年	2	ラッセル、S.J.	259
英会話II	土 2	全学科（フレB除く）234選	通年	2	レイン、R.V.	260
英会話III	火 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	ウェルズ、J.K.	261
英会話III	木 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	ピアス、D.M.	262
英語LLI	月 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選	通年	2	西村 祐子	263

外国語

英語LLI	火 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選	通年	2	埴 美智子	263
英語LLI	火 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選	通年	2	埴 美智子	264
英語LLI	水 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選	通年	2	西村 祐子	264
英語LLI	木 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選	通年	2	外池 一子	265
英語LLI	木 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選	通年	2	外池 一子	266
英語LLI	金 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選	通年	2	甲斐 捷子	267
英語LLI	土 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選	通年	2	久保 ひさ子	267
英語LLII	月 3	全学科(フレB除く)234選	通年	2	西村 祐子	268
英語LLII	木 2	全学科(フレB除く)234選	通年	2	高橋 明子	268
英語LLII	金 3	全学科(フレB除く)234選	通年	2	甲斐 捷子	269
英語LLIII	火 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	甲斐 捷子	269
英語LLIII	水 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	西村 祐子	270
英語LLIII	土 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	久保 ひさ子	270
時事ドイツ語	金 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現営A34選	通年	4	堀内 美江	271
上級ドイツ語	水 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現営A34選	通年	2	藪下 紘一	271
ドイツ語コミュニケーション I	木 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	小林 ゲアリンデ	272
ドイツ語コミュニケーション II	木 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	小林 ゲアリンデ	272
ドイツ語IA(選)	火 2	全学科(フレB除く)選	通年	2	松岡 晋	273
ドイツ語IB(選)	金 2	全学科(フレB除く)選	通年	2	井村 行子	273
ドイツ語II(選)	木 5	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	井村 行子	274
時事フランス語	金 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現営A34選	通年	4	桑田 禮彰	274
上級フランス語	火 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現営A34選	通年	2	小玉 齊夫	275

フランス語コミュニケーションI	月2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	ラリア・三倉,M.	275
フランス語コミュニケーションII	月3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	ラリア・三倉,M.	276
フランス語IA(選)	火2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	通年	2	出口 雅敏	276
フランス語IA(選)	木3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	通年	2	前田 祝一	277
フランス語IB(選)	金2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	通年	2	桑田 禮彰	277
フランス語II(選)	木5	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	桑田 禮彰	278
時事中国語	木2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現営A34選	通年	4	塩旗 伸一郎	278
上級中国語	金2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現営A34選	通年	2	児島弘一郎	279
中国語コミュニケーションI	月3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	岩崎 皇	279
中国語コミュニケーションII	木3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	曹 泰和	280
中国語IA(選)	火2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	通年	2	吉田 建一郎	280
中国語IA(選)	木3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	通年	2	宮本 厚子	281
中国語IB(選)	土2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	通年	2	蘭 明	281
中国語II(選)	木5	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	三田村 圭子	282
時事スペイン語	金3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現営A34選	通年	2	齋藤明美	282
上級スペイン語	火2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現営A34選	通年	2	上野 勝広	283
スペイン語コミュニケーションI	木3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	ナバロ、ホワンJ.	283
スペイン語コミュニケーションII	木4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	ナバロ、ホワンJ.	283
スペイン語IA(選)	火2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	通年	2	亀山 晃一	284
スペイン語IB(選)	金2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現営A34選	通年	2	齋藤明美	284
スペイン語II(選)	木5	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	荻野 雅司	285
時事ロシア語	金3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現営A34選	通年	4	木村 英明	285
上級ロシア語	火2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現営A34選	通年	2	クロチコフ、Y.	286

ロシア語コミュニケーション I	月 5	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法 A 政営 A234選	通年	2	安徳 ニーナ	286
ロシア語コミュニケーション II	月 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法 A 政営 A234選	通年	2	安徳 ニーナ	287
ロシア語IA (選)	火 5	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法 A 政営 A 選	通年	2	クロチコフ、Y.	287
ロシア語IB (選)	金 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法 A 政営 A 選	通年	2	木村 英明	288
ロシア語II (選)	木 1	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法 A 政営 A234選	通年	2	クロチコフ、Y.	288
朝鮮語IA (選)	火 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法 A 政営 A 選	通年	2	宋 美玲	289
朝鮮語IB (選)	木 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法 A 政営 A 選	通年	2	宋 美玲	289
朝鮮語II (選)	火 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法 A 政営 A234選	通年	2	宋 美玲	290

## 《再クラス》

〔英 語〕

科目名	曜日・時限	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
英語IA〔再クラス〕	月 1	全学科(フレB除く) 234年	通年	2	濱口 真木	291
英語IA〔再クラス〕	月 1	全学科(フレB除く) 234年	通年	2	松堂 啓子	291
英語IA〔再クラス〕	月 2	全学科(フレB除く) 234年	通年	2	岩井 洋美	292
英語IA〔再クラス〕	月 2	全学科(フレB除く) 234年	通年	2	牧野 輝良	292
英語IA〔再クラス〕	土 3	全学科(フレB除く) 234年	通年	2	熊沢 和明	293
英語IA〔再クラス〕	火 5	全学科(フレB除く) 234年	通年	2	埴 美智子	293
英語IA〔再クラス〕	木 2	全学科(フレB除く) 234年	通年	2	丸小 哲雄	294
英語IA〔再クラス〕	木 3	全学科(フレB除く) 234年	通年	2	近藤 真彫	294
英語IA〔再クラス〕	土 1	全学科(フレB除く) 234年	通年	2	岡本 誠	295
英語IA〔再クラス〕	土 2	全学科(フレB除く) 234年	通年	2	熊沢 和明	295
英語IA〔再クラス〕	土 3	全学科(フレB除く) 234年	通年	2	岩原 康夫	296
英語IB〔再クラス〕	月 1	全学科(フレB除く) 234年	通年	2	高見 陽子	296
英語IB〔再クラス〕	月 4	全学科(フレB除く) 234年	通年	2	菅原 典子	297
英語IB〔再クラス〕	月 5	全学科(フレB除く) 234年	通年	2	佐藤 江里子	297
英語IB〔再クラス〕	水 1	全学科(フレB除く) 234年	通年	2	落合 和昭	298
英語IB〔再クラス〕	木 2	全学科(フレB除く) 234年	通年	2	高柳 文江	298
英語IB〔再クラス〕	土 3	全学科(フレB除く) 234年	通年	2	山岸 二郎	299
英語IB〔再クラス〕	木 3	全学科(フレB除く) 234年	通年	2	太田 由紀子	299
英語IC(会話)〔再クラス〕	金 3	営A234年	通年	2	ハバード、W.D	184
英語IC(会話)〔再クラス〕	金 3	営A234年	通年	2	ロンゴ、T.	184
英語IC(会話)〔再クラス〕	金 3	営A234年	通年	2	デンドウ、G.	185
英語IC(会話)〔再クラス〕	金 3	営A234年	通年	2	ササキ、M.	185
英語IC(会話)〔再クラス〕	金 4	営A234年	通年	2	ラッセル、S.J.	186
英語IC(会話)〔再クラス〕	金 4	営A234年	通年	2	デンドウ、G.	186
英語IC(会話)〔再クラス〕	金 4	営A234年	通年	2	ササキ、M.	187
英語IC(会話)〔再クラス〕	金 5	営A234年	通年	2	ラッセル、S.J.	188
英語IC(会話)〔再クラス〕	金 5	営A234年	通年	2	ミックエリゴット、J.P.	189

英語IC (会話)〔再クラス〕	金 5	営A234年	通年	2	セイジ、 K	190
英語IIA〔再クラス〕	月 4	全学科(フレB除く) 34年	通年	2	竹村 恵都子	300
英語IIA〔再クラス〕	月 5	全学科(フレB除く) 34年	通年	2	山口 晃	300
英語IIA〔再クラス〕	火 4	全学科(フレB除く) 34年	通年	2	三幣 友行	301
英語IIA〔再クラス〕	火 4	全学科(フレB除く) 34年	通年	2	澤田 真弓	301
英語IIA〔再クラス〕	水 1	全学科(フレB除く) 34年	通年	2	前田 脩	302
英語IIA〔再クラス〕	木 2	全学科(フレB除く) 34年	通年	2	外池 一子	302
英語IIA〔再クラス〕	木 3	全学科(フレB除く) 34年	通年	2	古富 猛	303
英語IIA〔再クラス〕	土 3	全学科(フレB除く) 34年	通年	2	飯沼 好永	303
英語IIC (会話)〔再クラス〕	金 3	営A34年	通年	2	ラッセル、S.J.	195
英語IIC (会話)〔再クラス〕	金 3	営A34年	通年	2	セイジ、 K	196
英語IIC (会話)〔再クラス〕	金 3	営A34年	通年	2	ミックエリゴット、J.P.	197
英語IIC (会話)〔再クラス〕	金 4	営A34年	通年	2	セイジ、 K	198
英語IIC (会話)〔再クラス〕	金 4	営A34年	通年	2	ロンゴ、 T.	198
英語IIC (会話)〔再クラス〕	金 4	営A34年	通年	2	ミックエリゴット、J.P.	199
英語IIC (会話)〔再クラス〕	金 5	営A34年	通年	2	ロンゴ、 T.	200
英語IIC (会話)〔再クラス〕	金 5	営A34年	通年	2	デンドウ、G.	200
英語IIC (会話)〔再クラス〕	金 5	営A34年	通年	2	ササキ、M.	201
英語IIC (会話)〔再クラス〕	金 5	営A34年	通年	2	ロビン、G.F.	201
英語IIC (会話)〔再クラス〕	金 4	営A34年	通年	2	ソルタ、P.N.F.	202
英語IIIA〔再クラス〕	月 1	営A4年	通年	2	小布施 圭佐三	203
英語IIIA〔再クラス〕	月 1	営A4年	通年	2	佐藤 孝一	203
英語IIIA〔再クラス〕	月 1	営A4年	通年	2	伊藤 美代子	204
英語IIIA〔再クラス〕	月 1	営A4年	通年	2	広川 治	204
英語IIIA〔再クラス〕	月 1	営A4年	通年	2	岩井 洋美	205
英語IIIA〔再クラス〕	火 4	営A4年	通年	2	吉江 正雄	205
英語IIIA〔再クラス〕	火 4	営A4年	通年	2	井伊 順彦	206
英語IIIA〔再クラス〕	火 4	営A4年	通年	2	小泉 和弘	206
英語IIIA〔再クラス〕	火 4	営A4年	通年	2	伊藤 幸一	207

〔ドイツ語〕

科目名	曜日・時間	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
ドイツ語IA〔再クラス〕	水 5	全学科(フレB除く) 234年	通年	2	本橋 右京	304
ドイツ語IA〔再クラス〕	木 1	全学科(フレB除く) 234年	通年	2	志真 斗美恵	304
ドイツ語IA〔再クラス〕	土 4	全学科(フレB除く) 234年	通年	2	南 はるつ	305
ドイツ語IA〔再クラス〕	金 4	全学科(フレB除く) 234年	通年	2	井村 行子	305
ドイツ語IA〔再クラス〕	土 3	全学科(フレB除く) 234年	通年	2	杉本 正俊	306
ドイツ語IB〔再クラス〕	月 5	全学科(フレB除く) 234年	通年	2	飯塚 公夫	306
ドイツ語IB〔再クラス〕	火 5	全学科(フレB除く) 234年	通年	2	岡本 時子	307
ドイツ語IB〔再クラス〕	土 4	全学科(フレB除く) 234年	通年	2	杉本 正俊	307
ドイツ語IB〔再クラス〕	土 3	全学科(フレB除く) 234年	通年	2	岡本 時子	308
ドイツ語IC(会話)〔再クラス〕	火 5	営A234年	通年	2	清水 修	210
ドイツ語IIA〔再クラス〕	水 1	禅仏国英地文環歴日外考経 商現法A政営A34年	通年	2	森 公成	308
ドイツ語IIA〔再クラス〕	水 4	禅仏国英地文環歴日外考経 商現法A政営A34年	通年	2	本橋 右京	309

ドイツ語IIA〔再クラス〕	土3	禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年	通年	2	南 はるつ	309
ドイツ語IIC(会話)〔再クラス〕	金4	営A34年	通年	2	堀内 美江	212
ドイツ語IIIA〔再クラス〕	金5	営A4年	通年	2	堀内 美江	212

外国語

〔フランス語〕

科目名	曜日・時間	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
フランス語IA〔再クラス〕	月5	全学科(フレB除く)234年	通年	2	前田 祝一	310
フランス語IA〔再クラス〕	火5	全学科(フレB除く)234年	通年	2	芦原 眷	310
フランス語IA〔再クラス〕	木1	全学科(フレB除く)234年	通年	2	小玉 齊夫	311
フランス語IA〔再クラス〕	金1	全学科(フレB除く)234年	通年	2	菅原 猛	311
フランス語IA〔再クラス〕	土3	全学科(フレB除く)234年	通年	2	谷川 かおる	312
フランス語IB〔再クラス〕	月5	全学科(フレB除く)234年	通年	2	菅谷 暁	312
フランス語IB〔再クラス〕	火5	全学科(フレB除く)234年	通年	2	今関 アン	313
フランス語IB〔再クラス〕	木5	全学科(フレB除く)234年	通年	2	伊藤 なお	313
フランス語IB〔再クラス〕	土4	全学科(フレB除く)234年	通年	2	谷川 かおる	314
フランス語IC(会話)〔再クラス〕	火5	営A234年	通年	2	佐藤 久美子	216
フランス語IIA〔再クラス〕	水1	禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年	通年	2	畑中 千晶	314
フランス語IIA〔再クラス〕	水4	禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年	通年	2	沼倉 広子	315
フランス語IIA〔再クラス〕	土3	禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年	通年	2	前田 祝一	315
フランス語IIC(会話)〔再クラス〕	金4	営A34年	通年	2	大野 英士	217
フランス語IIIA〔再クラス〕	金5	営A4年	通年	2	大野 英士	218

〔中国語〕

科目名	曜日・時間	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
中国語IA〔再クラス〕	月5	全学科(フレB除く)234年	通年	2	児島弘一郎	316
中国語IB〔再クラス〕	月5	全学科(フレB除く)234年	通年	2	児島弘一郎	
中国語IA〔再クラス〕	火5	全学科(フレB除く)234年	通年	2	本間 由香利	316
中国語IB〔再クラス〕	火5	全学科(フレB除く)234年	通年	2	本間 由香利	
中国語IA〔再クラス〕	木1	全学科(フレB除く)234年	通年	2	天野 節	317
中国語IB〔再クラス〕	木1	全学科(フレB除く)234年	通年	2	天野 節	
中国語IA〔再クラス〕	金1	全学科(フレB除く)234年	通年	2	児島弘一郎	317
中国語IB〔再クラス〕	金1	全学科(フレB除く)234年	通年	2	児島弘一郎	
中国語IA〔再クラス〕	土3	全学科(フレB除く)234年	通年	2	張 渭涛	318
中国語IB〔再クラス〕	土3	全学科(フレB除く)234年	通年	2	張 渭涛	
中国語IA〔再クラス〕	土4	全学科(フレB除く)234年	通年	2	弘兼 加奈子	318
中国語IB〔再クラス〕	土4	全学科(フレB除く)234年	通年	2	弘兼 加奈子	
中国語IA〔再クラス〕	土3	全学科(フレB除く)234年	通年	2	蘭 明	319
中国語IB〔再クラス〕	土3	全学科(フレB除く)234年	通年	2	蘭 明	
中国語IC(会話)〔再クラス〕	火5	営A234年	通年	2	秋元 翼	223
中国語IIA〔再クラス〕	月5	禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年	通年	2	梅田 雅子	319



中国語IIA〔再クラス〕	木5	禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年	通年	2	岩崎 皇	320
中国語IIA〔再クラス〕	土3	禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年	通年	2	大久保 明男	320
中国語IIC(会話)〔再クラス〕	金4	営A34年	通年	2	宮本 厚子	226
中国語IIIA〔再クラス〕	金5	営A4年	通年	2	王 聡	226

〔スペイン語〕

科目名	曜日・時限	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
スペイン語IA〔再クラス〕	水5	全学科(フレB除く)234年	通年	2	大岩 功	321
スペイン語IB〔再クラス〕	水5	全学科(フレB除く)234年	通年	2	大岩 功	
スペイン語IA〔再クラス〕	金1	全学科(フレB除く)234年	通年	2	齋藤明美	321
スペイン語IB〔再クラス〕	金1	全学科(フレB除く)234年	通年	2	齋藤明美	
スペイン語IA〔再クラス〕	土4	全学科(フレB除く)234年	通年	2	亀山 晃一	322
スペイン語IB〔再クラス〕	土4	全学科(フレB除く)234年	通年	2	亀山 晃一	
スペイン語IA〔再クラス〕	月5	全学科(フレB除く)234年	通年	2	大岩 功	322
スペイン語IB〔再クラス〕	月5	全学科(フレB除く)234年	通年	2	大岩 功	
スペイン語IA〔再クラス〕	土3	全学科(フレB除く)234年	通年	2	荻野 恵	323
スペイン語IB〔再クラス〕	土3	全学科(フレB除く)234年	通年	2	荻野 恵	
スペイン語IA〔再クラス〕	土3	全学科(フレB除く)234年	通年	2	佐藤 麻里乃	323
スペイン語IB〔再クラス〕	土3	全学科(フレB除く)234年	通年	2	佐藤 麻里乃	
スペイン語IC(会話)〔再クラス〕	火5	営A234年	通年	2	ルイズティノコ、C.	231
スペイン語IIA〔再クラス〕	水1	禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年	通年	2	齋藤明美	323
スペイン語IIA〔再クラス〕	水4	禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年	通年	2	大岩 功	324
スペイン語IIA〔再クラス〕	土3	禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年	通年	2	亀山 晃一	324
スペイン語IIC(会話)〔再クラス〕	金4	営A34年	通年	2	真下 祐一	232
スペイン語IIIA〔再クラス〕	金5	営A4年	通年	2	真下 祐一	233

〔ロシア語〕

科目名	曜日・時限	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
ロシア語IA〔再クラス〕	火5	全学科(フレB除く)234年	通年	2	杉山 秀子 廣田 英靖	325
ロシア語IB〔再クラス〕	火5	全学科(フレB除く)234年	通年	2	杉山 秀子 廣田 英靖	
ロシア語IA〔再クラス〕	水1	全学科(フレB除く)234年	通年	2	佐野 朝子	325
ロシア語IB〔再クラス〕	水1	全学科(フレB除く)234年	通年	2	佐野 朝子	
ロシア語IA〔再クラス〕	金1	全学科(フレB除く)234年	通年	2	木村 英明	326
ロシア語IB〔再クラス〕	金1	全学科(フレB除く)234年	通年	2	木村 英明	
ロシア語IA〔再クラス〕	土4	全学科(フレB除く)234年	通年	2	安德 ニーナ	326
ロシア語IB〔再クラス〕	土4	全学科(フレB除く)234年	通年	2	安德 ニーナ	
ロシア語IC(会話)〔再クラス〕	火5	営A234年	通年	2	佐野 朝子	236

外国語

ロシア語IIA〔再クラス〕	火 4	禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年	通年	2	クロチコフ、Y.	327
ロシア語IIA〔再クラス〕	木 5	禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年	通年	2	大須賀 史和	327
ロシア語IIA〔再クラス〕	土 3	禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年	通年	2	安德 ニーナ	328
ロシア語IIC(会話)[再クラス]	金 4	営A34年	通年	2	クロチコフ、Y.	237
ロシア語IIIA〔再クラス〕	金 5	営A4年	通年	2	クロチコフ、Y.	238

# 英 語 I A

## 〈英語 I A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのびます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

外国語

科目名	英語IA	開講	通年	単位	2
配当	営A1年				
担当者名	梅原 <small>うめはら</small> 敏弘 <small>としひろ</small>				

### 講義のねらい

正確な英語表現力の基礎を身につけるためには、英語で自己表現する際、日本人が犯しやすい誤りをできる限り少なくすることが肝要です。授業では特にこの点を留意して、英語表現力の向上を目指します。

### 講義の内容・授業スケジュール

日本人が犯しやすい英語表現上の誤りを文法的、語彙的観点から分析し、単元毎に整理した教科書を、順を追って勉強します。この教科書は、各々の単元の最初にダイアログが、次いで誤りの事例と解説が載っており、その後に英作文を含む練習問題がついています。学生諸君は新しい単元に入る前に教科書をよく読み、予習を必ずやっておいてください。教室では主として、ダイアログと解説の部分の説明と練習問題の答え合わせをします。

### 履修上の留意点

予習・復習は怠り無くやってください。

### 成績評価の方法

主として平常の授業時に行うテスト（前期・後期一回ずつを予定）の結果により成績判定をします。出欠席及び遅刻は重要視します。年間3回までの欠席は減点しませんが、それ以上の欠席はテストの点から減点します。8回以上欠席した場合は単位の取得は期待できません。遅刻2回につき1回の欠席とみなします。

### 教科書

Haruo Kizuka 『Common Errors In English Writing』（マクミラン）

### 参考書等

出来れば、学習者用の英英辞書（Longman Dictionary of Contemporary English や Oxford Advanced Learner's Dictionary of Current English 等の）を購入し、利用してください。

科目名	英語IA	開講	通年	単位	2
配当	営A1年				
担当者名	丹治 弘昌 <small>たんじ ひろまさ</small>				

**講義のねらい** 映画のシナリオと原作を読み比べながら、各場面での表現法を学習し、口語表現と書き言葉の違いなど、多角的なアプローチで英語を修得していく。

**講義の内容・授業スケジュール** 4月－6月 3本のDVD作品より、印象的な場面を取り出し、表現文法を学ぶ。  
7月初め、表現のまとめおよび期末テスト  
9月－11月 2本のDVD作品とその原作を比較鑑賞して、英語表現への理解を深める。  
12月初め、期末テスト

**成績評価の方法** 日常の出席および発表を重視する。テストは年2回、期末の授業の中でおこないます。

**教科書** 教場にて指定

科目名	英語IA	開講	通年	単位	2
配当	営A1年				
担当者名	相馬 美明 <small>そうま よしあき</small>				

**講義のねらい** 入学時の英語を基礎として、様々な英語の運用能力（発話・読解・聴解）を身につける。プリントを用いた文法問題、及び教科書による読解問題を通じ、精読・多読の両面から英語の基本的な運用能力を身につける。また、様々な検定対策も対応すべく、TOEICのリスニング・セクションの問題等にも触れ、聞解力を高めてゆく

**成績評価の方法** 全授業日数の3分の2以上の出席を基本とし、前・後期に行う試験、及び授業で行う小テスト、また授業態度等を総合的に評価する。

**教科書** Hiroko Nishida・William Gudykunst, American Communication Patterns (金星堂) 1,200円  
Mitsuho Sugawara, 10-Minute Listening (Introductory) (桐原書店) 780円

科目名	英語IA	開講	通年	単位	2
配当	営A1年				
担当者名	林 明人 <small>はやし あきと</small>				

**講義の内容・授業スケジュール** 英語の聞き取りを中心に授業を進めます。テキストに付いてくるCDをあらかじめ聴いてくこと。

**履修上の留意点** 遅刻（交通機関の遅延を除く）及び授業中の出入りは認めない。

**成績評価の方法** ①発表②試験③出席で総合評価するが、出席は3分の2を越えていなければならない。出席以外のそれぞれの評価が一つでも4割に満たない場合は単位を認めない。

**教科書** 4月に教場で指示します。

科目名	英語IA	開講	通年	単位	2
配当	営A1年				
担当者名	三輪 <sup>みつわ</sup> <sup>ひさえ</sup> 久恵				

講義のねらい

シチュエーションや英語表現を正しく受けとめる語学能力と共に、文化的背景の違いからくる受けとめ方の違い(異文化の視点)を分析する能力、多角的な観点に立つ柔軟なものの見方を、あわせて養うことをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み進めると同時にハンドアウトも使用します。さまざまなシチュエーションに接し、また、さまざまな作者の英文を読みたいと思います。

履修上の留意点

予習をしていただくことが重要です。辞書は中辞典程度のもの必携です。電子辞書はあまり感心しないですけれどね。

成績評価の方法

日常の予習・発表等の積極的な授業参加を重視。15~20分程度の小テスト等の提出物が年間8回程度あります。定期試験は行なわない予定です。普段出席しない学生は必然的に単位も記録されない事となりますのでご注意ください。

教科書

Culture Riddles — America : Shaules 他著(南雲堂)1,400円 + tax.[前期]  
The Spirit of New England : MIWA編著(旺史社)1,500円 + tax.[後期]

科目名	英語IA	開講	通年	単位	2
配当	営A1年				
担当者名	澤田 <sup>さわだ</sup> <sup>まゆみ</sup> 真弓・田中 <sup>たなか</sup> <sup>たもつ</sup> 保				

講義のねらい

- (前期) 毎回興味深いエッセイを取り上げて簡単な英語表現を学び、リスニングやリーディングの能力を総合的に伸ばすことを目標とします。
- (後期) 英語圏世界で、日常生活を送る場合に最低必要と思われる英会話運用能力を培う。日常英会話表現やトラベル英会話も取り入れて、英語運用能力を高める。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) 授業は演習形式で行います。毎回発表担当者を決め、あらかじめ指定した箇所を音読し、日本語訳をつけてもらいます。また授業の終わりに簡単な確認テストを行います。
- (後期) 授業はテキストにそって進めるが、予習を前提とした発表形式によって行なう。

履修上の留意点

- (前期) 積極的に授業に参加することが望ましい。辞書は必ず持参すること。
- (後期) 必ず予習をして授業に臨むこと。

成績評価の方法

- (前期) 出席回数、発表や提出物、確認テスト、前・後期試験の結果を総合的に判断して評価します。
- (後期) 前期の成績・授業時の発表・後期の試験・出席状況等を総合的に検討して評価します。

教科書

- (前期) W.F.オコーナー、中村匡克、照山顕人著『New Compass: An Unconventional Look at the World 世界のユニークな出来事』(南雲堂) 1,500円 ISBN4-523-17453-9
- (後期) 後期の最初の授業のときに教室で指示しますので、必ず出席して下さい。

科目名	英語IA	開講	通年	単位	2
配当	営A1年				
担当者名	ピアス, D. M.				

講義のねらい

This advances students to a high level of speaking ability within a short period of time. It provides continuous conversational practice in quotidian conversational situations. It supplies special vocabulary and speech patterns for banal circumstances such as travel, banking, telephone, business exchange, etc. The major language aspects tested in TOEFL, EIKEN, AND, TOEIC will be practiced every week. English composition and aural comprehension will be practiced by means of having students correct and improve materials they themselves have produced. The method of the course is to render students active throughout the ninety minute period. Opportunities for speaking about intelligent topics at a level above ordinary conversation will be provided by dialogue practice. Advanced conversation practice is crucial for students who need to show their English speaking ability when searching for employment. Short lectures will be given on sociological contrasts between Japan and America, following which students will develop personal reactions to the ideas conveyed in those topics. Alternatively the lecture series may concentrate on economics or political science instead of sociology.

講義の内容・授業スケジュール

SCHEDULE OF TOPICS

CLASS1	conversation	CLASS16	wages
CLASS2	conversation	CLASS17	marriage
CLASS3	ranking	CLASS18	marriage
CLASS4	ranking	CLASS19	youth
CLASS5	opinions	CLASS20	youth
CLASS6	opinions	CLASS21	wealth
CLASS7	gratitude	CLASS22	wealth
CLASS8	gratitude	CLASS23	honesty
CLASS9	modesty	CLASS24	honesty
CLASS10	modesty	CLASS25	submission
CLASS11	politics	CLASS26	submission
CLASS12	politics	CLASS27	ambition
CLASS13	liberty	CLASS28	ambition
CLASS14	liberty	CLASS29	scholarship
CLASS15	wages	CLASS30	scholarship

履修上の留意点

**ATTENDANCE:** Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one latter-grade less than what the student would otherwise have received.

**EXAMINATIONS:** Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

**GRADING:** *Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, take some other course. In this class you will be speaking English all the time. Your academic grade depends 70% on your class performance, in every class. Records are made of your participation in every single class meeting. Attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. An "A" is possible for anyone in the class, because the final grade dose not depend on the final examination.*

教科書

**Textbook and materials:** We will probably use Sociology, Economics, Political Science, publisher Themis Research Group, by Adam Pelagius, 2006, Themis Reseach Group. In the

教科書

first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or an electronic dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

科目名	英語IA	開講	通年	単位	2
配当	営A1年				
担当者名	川崎 笑佳				

講義のねらい

入学時の英語能力を基盤として、意思伝達能力の向上を目的とする。本授業では、テキスト、また必要に応じてその他の教材を用いて指導を行い、パラグラフの構造を確認してもらいながら基本的な英文から、より効果的な表現へとステップアップすることを最終目標とする。また、TOEIC、TOEFLなども授業に取り入れる予定。

履修上の留意点

毎回授業の中で英作文を提出してもらうので、和英辞書は必須。(電子辞書も可。)

成績評価の方法

3分の2以上の出席および毎回の提出物、発表内容、授業態度をもとに総合的に評価する。

教科書

『Writing Plus!』(金星社) ¥1,950 ISBN4-7647-3803-1

科目名	英語IA 【(基礎英語特別クラス)】	開講	通年	単位	2
配当	法A政営A1年				
担当者名	牧野 輝良				

講義のねらい

英語の基本を正確に身につけること。

講義の内容・授業スケジュール

毎時間テキストを1課ずつ学習し、3課終了毎に小テストを行ない、記憶を深める。

履修上の留意点

よく予習復習し、授業にはよく出席し、辞書を持参し、辞書の活用に慣れること。

成績評価の方法

小テストと期末の記述試験の成績による。

教科書

『大学英文法 A to Z』(金星堂) 1,300円 ISBN4-7647-3697-7

# 英 語 I B

## 〈英語 I B の授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

外国語

科目名	英語IB	開講	通年	単位	2
配当	営A1年				
担当者名	澤田 <small>さわだ</small> 真弓 <small>まゆみ</small>				

### 講義のねらい

テーマ別に英語で書かれた簡単なエッセイを読み、文法事項について確認しながら、読解力を養っていきます。

### 講義の内容・授業スケジュール

授業は演習形式で行います。毎回発表担当者を決め、あらかじめ指定した箇所を音読し、日本語訳をつけてもらいます。また授業の終わりに簡単な確認テストを行います。

### 履修上の留意点

積極的に授業に参加することが望ましい。辞書は必ず持参すること。

### 成績評価の方法

出席回数、発表や提出物、毎回行う確認テストの結果を総合的に判断して評価します。

### 教科書

Bill McLain 著、長阪朱美 編注 『Do You Know? 世界の面白・ミニストーリー』(金星堂) 1,800円 ISBN4-7647-3750-7

科目名	英語IB	開講	通年	単位	2
配当	営A1年				
担当者名	佐藤 <small>さとう</small> 江里子 <small>えりこ</small>				

### 講義の内容・授業スケジュール

テキストを基本とし、演習形式で授業を進めていく。その他に、補足プリントを配布し、TOEIC等の各種検定にも対応できる英語力を身につけることをめざす。

### 履修上の留意点

必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。授業中に、私語をしたり、寝ている場合は出席とみなさないので注意すること。

### 成績評価の方法

定期試験(50%)と小テスト、提出物、発表などの平常点(50%)から総合的に評価する。特に、出席状況や授業態度を重視する。

### 教科書

『感動のスクリーン・イングリッシュ』(南雲堂) ¥1800+税



科目名	英語I B	開講	通年	単位	2
配当	営A1年				
担当者名	亀田 <small>かめだ みえこ</small> 三重子				

講義のねらい

様々な分野のニュースを読み聞きし、幅広い英語を身につける事を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに添ってビデオを見たり、記事を読んだりする。応用として英作文も行う。

履修上の留意点

記事は必ず前もって読んでくる事。

成績評価の方法

日常の授業、小テスト、前・後期の試験、出席状況で評価する。

教科書

初回の授業の時に知らせる。

科目名	英語I B	開講	通年	単位	2
配当	営A1年				
担当者名	矢島 <small>やじま なおこ</small> 直子				

講義のねらい

大学1年生には少し難しい英文を読めるようにすること。

講義の内容・授業スケジュール

文法を説明し、時に内容に関する説明もしながら、教科書を読み、練習問題も解きます。授業の進み具合は学生次第です。

履修上の留意点

どんどん当てて読んでもらい、問題に答えてもらいますから、しっかり予習しておくこと。1回目の授業から出席してください。

成績評価の方法

平常点と、前・後期末試験の結果を、総合的に判断して評価します。

教科書

『『ビジネスウィーク』社説で読み解く日本と世界』(南雲堂) ¥1,785  
ISBN 978-4-523-17546-9

科目名	英語IB	開講	通年	単位	2
配当	営A1年				
担当者名	澤田 <sup>さわだ</sup> 真弓 <sup>まゆみ</sup>				

講義のねらい	テーマ別に英語で書かれた簡単なエッセイを読み、文法事項について確認しながら、読解力を養っていきます。
講義の内容・授業スケジュール	授業は演習形式で行います。毎回発表担当者を決め、あらかじめ指定した箇所を音読し、日本語訳をつけてもらいます。また授業の終わりに簡単な確認テストを行います。
履修上の留意点	積極的に授業に参加することが望ましい。辞書は必ず持参すること。
成績評価の方法	出席回数、発表や提出物、毎回行う確認テストの結果を総合的に判断して評価します。
教科書	Bill McLain 著、長阪朱美 編注 『Do You Know? 世界の面白・ミニストーリー』（金星堂）1,800円 ISBN4-7647-3750-7

科目名	英語IB	開講	通年	単位	2
配当	営A1年				
担当者名	木村 <sup>きむら</sup> 正俊 <sup>まさとし</sup>				

講義のねらい	基本的な文法事項を確認しながら、実際の英文の表現力を高める。
講義の内容・授業スケジュール	英文ニュース記事を題材に、英文の内容を把握する力と英文を作る力を養うための練習問題を多くこなす。音声教材を併せて使い、聴く力を伸ばす訓練にも重きを置く。
履修上の留意点	毎回の授業では訓練を多く行うので、欠席しないこと。
成績評価の方法	平常点評価。随時行う小試験やレポートの成績、毎回の授業への出席・参加の状況等を合わせて総合的に評価する。
教科書	中川淳／R.Greg McNabb 編著 『英語ニュースで読む現代社会2007』金星堂 ¥1,800 ISBN 978-4-7647-3841-6
参考書等	とくに使用しない。
その他	教室で指示する。

科目名	英語IB	開講	通年	単位	2
配当	堂A1年				
担当者名	亀田 <sup>かめだ みえこ</sup> 三重子				

講義のねらい

多様なニュースを聞いたり読んだりして、幅広い知識を英語によって身につける。

講義の内容・授業スケジュール

記事を読み進めると共にビデオを見聞きし、英作や会話に応用出来るようにする。

履修上の留意点

予習を前提とする。

成績評価の方法

日常の発表、小テスト、前後期の試験、出席状況で評価する。

教科書

初回の授業の時に知らせる。

科目名	英語IB	開講	通年	単位	2
配当	堂A1年				
担当者名	佐藤 <sup>さとう えりこ</sup> 江里子				

講義の内容・授業スケジュール

テキストを基本とし、演習形式で授業を進めていく。その他に、補足プリントを配布し、TOEIC等の各種検定にも対応できる英語力を身につけることをめざす。

履修上の留意点

必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。授業中に、私語をしたり、寝ている場合は出席とみなさないので注意すること。

成績評価の方法

定期試験（50％）と小テスト、提出物、発表などの平常点（50％）から総合的に評価する。特に、出席状況や授業態度を重視する。

教科書

『感動のスクリーン・イングリッシュ』（南雲堂）¥1800＋税

科目名	英語IB 【〔基礎英語特別クラス〕】	開講	通年	単位	2
配当	堂A1年				
担当者名	矢島 <sup>やじま なおこ</sup> 直子				

講義のねらい

英語を、初級から大学1年終りまでの範囲で勉強します。

講義の内容・授業スケジュール

文法を説明し、問題を解いてもらい、さらに時間があれば、解説しながら長文も読みます。教科書を全部終えたいです。

履修上の留意点

必ず予習してくる。1回目の授業から出席するようにしてください。

成績評価の方法

平常点と、前・後期末試験の結果を、総合的に判断して評価します。

教科書

田本健一、「基本英語表現法」、(成美堂)、¥1,680、ISBN 4-7919-4907-2

## 英語 I C (会話)

### 〈英語 I C の授業内容と履修上の留意点〉

外国語

英語を母語とする外国人教師が担当します。ネイティブスピーカーの英語が聞きとれて、基本的な日常表現ができることを目指した大学初級レベルの英会話の授業です。達成目標の目安は英検 2 級合格、TOEFL® のスコアー450点、TOEIC® のスコアー500点程度。

科目名	英語 I C (会話) 英語 I C (会話) [再クラス]	開講	通年	単位	2
配当	堂 A1 年 堂 A234 年				
担当者名	ハバード, W. D.				

#### 講義のねらい

Students are expected to increase their English speaking and listening abilities through interaction with the teacher and with other students in their group and to improve their conversation skills to express topics of their own interest.

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- tasks to help students develop real-life communicative skills
- task-planning time to improve fluency and accuracy
- exercises to help students build a bigger active vocabulary
- activities based around songs, book extracts and magazine articles to maximize motivation
- an approach to grammar that enables students to deepen their understanding of language use
- group role playing and presentation activities to help students express themselves with confidence in front of others

#### 履修上の留意点

Students will be required to participate in one or more group projects and presentation activities during the school year.

#### 成績評価の方法

Final grade will be based on attendance, class work, and test results

#### 教科書

Textbook will be made available during the first week of class.

科目名	英語 I C (会話) 英語 I C (会話) [再クラス]	開講	通年	単位	2
配当	堂 A1 年 堂 A234 年				
担当者名	ロンゴ, T.				

#### 講義のねらい

The students will work on improving their communicative and listening skills.

#### 履修上の留意点

4 absences in one semester is poor attendance. Come to every class, and your English will improve!

#### 成績評価の方法

Regular attendance and participation is expected of each student.

#### 教科書

The textbook will be assigned at the first class meeting.

科目名	英語IC (会話) 英語IC (会話) [再クラス]	開講	通年	単位	2
配当	営A1年 営A234年				
担当者名	テンドウ, G.				

講義のねらい	このコースの目的は英語でのコミュニケーション力の向上です。
講義の内容・授業スケジュール	このコースでは海外旅行、観光そして海外留学の際に実際に起こりうるシチュエーションをビデオなどの教材を通して体験し、勉強します。
履修上の留意点	出席、遅刻、授業参加などに対して厳しくやります。
成績評価の方法	毎週の宿題、小テスト、授業態度、出席と授業の参加で決まります。詳細は一回目の授業で伝えます。
教科書	テキストはありません。教材は教員が用意します。
その他	金曜3限

科目名	英語IC (会話) 英語IC (会話) [再クラス]	開講	通年	単位	2
配当	営A1年 営A234年				
担当者名	ササキ, M.				

講義のねらい	The goal of this course is for students to obtain the social skills and academic knowledge necessary to hold intelligent conversations in English. Social skills include how to express an opinion based on knowledge obtained from watching the news, reading the newspaper, and searching for information on the Internet.
講義の内容・授業スケジュール	Students will be expected to explain in English "what happened in the news" on a weekly basis. They will also be expected to give oral presentations based on thorough research. An emphasis will be placed on pronunciation, intonation, tone, loudness, and speed. The textbook will cover practical conversation skills needed for travel.
履修上の留意点	3分の2以上出席すること。課題（レポート、小テスト、プレゼンテーション等）を重視すること。遅刻しないこと（30分以上遅刻する場合、欠席扱い）。カンニング、代返、教室退場、盗作などしないこと（成績評価は「不可」になる）。毎日、ニュースを見ること。
成績評価の方法	課題や出席点数の平常点。試験はありません。
教科書	『Viva! San Francisco』(Macmillan Language House) 教科書と和英・英和辞典をいつも持参すること。
その他	金曜3限

科目名	英語IC (会話) 英語IC (会話)〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	営A1年 営A234年				
担当者名	ラッセル, S. J.				

講義のねらい

English Conversation 1C is for students who really want to improve their listening and speaking skills in English.

講義の内容・  
授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Interactive-style learning will be a feature of the classes so good attendance will be required.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook and an electronic dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.

教科書

Fifty-Fifty Book1 (Third Edition) ISBN 962-00-5665-5  
published by Longman

その他

金曜4限

科目名	英語IC (会話) 英語IC (会話)〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	営A1年 営A234年				
担当者名	デンドウ, G.				

講義のねらい

このコースの目的は英語でのコミュニケーション力の向上です。

講義の内容・  
授業スケジュール

このコースでは海外旅行、観光そして海外留学の際に実際に起こりうるシチュエーションをビデオなどの教材を通して体験し、勉強します。

履修上の留意点

出席、遅刻、授業参加などに対して厳しくやります。

成績評価の方法

毎週の宿題、小テスト、授業態度、出席と授業の参加で決まります。  
詳細は一回目の授業で伝えます。

教科書

テキストはありません。教材は教員が用意します。

その他

金曜4限

科目名	英語IC (会話) 英語IC (会話)〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	営A1年 営A234年				
担当者名	ササキ, M.				

講義のねらい	The goal of this course is for students to obtain the social skills and academic knowledge necessary to hold intelligent conversations in English. Social skills include how to express an opinion based on knowledge obtained from watching the news, reading the newspaper, and searching for information on the Internet.
講義の内容・授業スケジュール	Students will be expected to explain in English “what happened in the news” on a weekly basis. They will also be expected to give oral presentations based on thorough research. An emphasis will be placed on pronunciation, intonation, tone, loudness, and speed. The textbook will cover practical conversation skills needed for travel.
履修上の留意点	3分の2以上出席すること。課題（レポート、小テスト、プレゼンテーション等）を重視すること。遅刻しないこと（30分以上遅刻する場合、欠席扱い）。カンニング、代返、教室退場、盗作などしないこと（成績評価は「不可」になる）。毎日、ニュースを見ること。
成績評価の方法	課題や出席点数の平常点。試験はありません。
教科書	『Viva! San Francisco』（Macmillan Language house） 教科書と和英・英和辞典をいつも持参すること。
その他	金曜4限

科目名	英語1C (会話) 英語1C (会話)〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	営A1年 営A234年				
担当者名	ラッセル, S. J.				

講義のねらい

English Conversation 1C is for students who really want to improve their listening and speaking skills in English.

講義の内容・授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Interactive-style learning will be a feature of the classes, so good attendance will be required.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook and an electronic dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.

教科書

Fifty-Fifty Book 1 (Third Edition) ISBN 962-00-5665-5  
Published by Longman

その他

金曜5限



科目名	英語IC (会話) 英語IC (会話) [再クラス]	開講	通年	単位	2
配当	営A1年 営A234年				
担当者名	ミックエリゴット, J. P.				

講義のねらい

This course will cultivate in students a higher level of natural oral and written English expression. Through this course students should be able to listen and understand longer English texts, carry on an extended conversation and write in English at some length.

講義の内容・  
授業スケジュール

Students will enter into a weekly journal at the beginning of each class. The journals will be read aloud and/or exchanged with classmates. Following the class textbook themes, students will read and write about topics of daily interest. The teacher will help empower students with the skill of proficient writers, able to use English accurately and creatively to perform a variety of writing tasks.

This is a highly interactive class. Students will be placed in small groups and pairs. Students will ask each other questions and offer opinions according to the theme of each chapter of the text.

前期授業

- 1.Orientation
- 2.You're an Interesting Person
- 3.You're an Interesting Person
- 4.What an Unusual Family
- 5.What an Unusual Family
- 6.TGIF (Thank God It's Friday)
- 7.Wow! Everything's on Sale!
- 8.Listen to That Engine
- 9.Got Any Travel Plans?
- 10.Got Any Travel Plans?
- 11.That's Not Pizza!
- 12.Welcome to Las Vegas
- 13.Hey, Look at Her!
- 14.Meet Your Lucky Date!
- 15.Student Reports

後期授業

- 1.Summer Vacation Reports
- 2.Traveling Around Japan
- 3.Highlights in Sports
- 4.Shake, Rattle and Roll
- 5.I need a Job
- 6.I need a Job
- 7.I've Got a Question for You!
- 8.What's on Your Mind?
- 9.What's on Your Mind?
- 10.Home Is Where The Heart Is
- 11.Home Is Where The Heart Is
- 12.Holidays to Remember
- 13.Holidays to Remember
- 14.Guess What Happened to me!
- 15.Final Exams/Presentation

履修上の留意点

Student grades will be based on attendance, completion of class assignments, class participation and oral presentation.

成績評価の方法

GPA方式 再試験無し

教科書

Dale Fuller & Clyde Grimm 著 “New Airwaves Developing Better Listening Skills”  
Macmillan Language House ¥2,100

参考書等

Bilingual dictionary

科目名	英語IC (会話) 英語IC (会話)〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	営A1年 営A234年				
担当者名	セイジ, K				

講義のねらい To improve your confidence, fluency and understanding of English through various genres; including, discussion, DVDs, magazines, advertisements and etcetera.

講義の内容・授業スケジュール Up-to-date topics will be discussed between students and the teacher in-class. These will come from the DVDs, magazines and internet. Some examples are world sports events, celebrity activities, social issues and etcetera.

履修上の留意点 Trying to express yourself in English will be important to try!

成績評価の方法 WORKSHEETS:  
 1. 3 x in-class worksheets  
 2. Email  
 3. Internet resource gathering exercise  
 PERFORMANCE ASSESSMENT:  
 4. Pair role-play  
 5. DVD reflection presentation (pair or small group)  
 ATTENDANCE:  
 6. Attendance and participation

教科書 Headway 2, 2nd Ed. - Pre-intermediate (yellow)  
ISBN 0194366707

参考書等 An electronic dictionary is always handy!

科目名	英語IIA	開講	通年	単位	2
配当	営A2年				
担当者名	江田 幸子				

講義のねらい このクラスでは、読む、聞く、書く、の三要素を重点的に学習します。今日的なトピックを扱った簡素な英語文を多様な分野に渡って読みます。そこで使われている基礎的な英語構文を使えるようにします。英語文は英文を書くためのお手本として読みますのでテキスト中の使用頻度の高い単語句は徹底的にマークして覚えます。そしてそれ等の構文、単語句を用いて短い英文を書く練習を行います。

準備としてはまず各章の英語文を日本語に訳したノートを各自作ります。その日本語から原文の英語が書けるようにします。その上で重要な構文や表現方法を用いて応用英作文を実践します。

成績評価の方法 一年間を通して最低5回テストを行い、平均点60点以上に欠席回数5回迄を以って合格点とします。欠席が5回以上になった人は、試験の平均点が70点以上を以って合格とします。欠席が5回以上の人は英語の実力で評価します。

教科書 テキスト：TOEIC TEST Training 500  
 著者：Roger Pattimore 他  
 南雲堂 ￥1700

科目名	英語II A	開講	通年	単位	2
配当	営A2年				
担当者名	おおた みちこ 太田 美智子				

講義のねらい

コミュニケーションの手段として英語の運用能力を高めることを目的とします。

講義の内容・  
授業スケジュール

英語の歌を素材として、様々な表現を幅広く学ぶ。広範な基本フレーズを覚えることにより、状況に合わせて応用できる基礎力を培うべく、多くの表現方法を身につける。

履修上の留意点

必ず予習し、真摯な態度で授業に臨むこと。単位の修得ではなく、各自の実力の向上が目的であることを決して忘れないこと。そして何事にも知的好奇心を持つ。単に椅子に座しているのみで、授業参加していない場合には出席とはみなさない。

成績評価の方法

平常時の授業態度、予習の有無、場合によってはレポートの内容、また試験を行った際はその素点、等々の総合評価。

教科書

『Say It In Songs』（マクミラン・ランゲージハウス）

科目名	英語II A	開講	通年	単位	2
配当	営A2年				
担当者名	たかやなぎ ふみえ 高柳 文江				

講義のねらい

自分の思っている事を英語でいかに適切に表すのか、Writing、及び、Speaking の両面から表現できる事をめざします。

講義の内容・  
授業スケジュール

教科書の中の演習問題、会話を中心に皆さんが度々出くわす様々な状況でどのように英語で表現していくかを学びます。Writing 能力だけでなく Speaking 能力も重視され、毎時間 Speaking による発表が課されます。

履修上の留意点

授業の内容上、予習は必ず必要です。2/3 以上の出席が課されます。座席指定。

成績評価の方法

試験（前期試験・後期試験）50%、日常点（出席、小テスト、提出物、授業への取り組み）50%。

教科書

『Lively Writing: English Composition Through Dialogues』（南雲堂）1,800円  
ISBN4-523-17388-5 C0082

参考書等

テープ、ビデオ教材使用。

科目名	英語II A	開講	通年	単位	2
配当	営A2年				
担当者名	前田 脩 <small>まえだ おさむ</small>				

講義のねらい	英文になれ、やさしい語による表現を学びます。
講義の内容・授業スケジュール	比較的短い英文を読み、その英文に沿った英語表現とリスニングをおこないます。
履修上の留意点	授業は予習をしてくること。求められた英語表現レポートは必ず提出すること。
成績評価の方法	日常の発表を重視し、前期と後期の試験結果を総合的に評価します。
教科書	「事件でたどる20世紀」(南雲堂) 1800円 ISBN4-523-17314-1

科目名	英語II A	開講	通年	単位	2
配当	営A2年				
担当者名	高野 秀夫 <small>たかの ひでお</small>				

講義のねらい	英作文の教科書と英語ニュースで英語表現能力を高め、平易な英語で自由に自分の意思を伝えることができるようになることをめざす。
講義の内容・授業スケジュール	(1) 各授業時間一つのニュースを Natural Speed の英語で聞き、その役立つ英語表現で自由に英文を作る練習を重ねる。 (2) 教科書に従って授業計画を立てているので、教科書参照。 (3) A Short Speech は身近な話題を自分の英語で表現する。
履修上の留意点	(1) 出来るだけ Natural Speed の生の英語に慣れ親しむこと。 (2) 一日30分間でよいから自分の思ったことを英語で書き表してみる。
成績評価の方法	(1) レポート (2) 中間・期末各1回テスト (a) 英語ニュース (b) 教科書の英作文 (c) 自由英作文 (3) 平常点
教科書	『Unique English Composition (Vol I・II)』 『TV News Watching・21Approaches』

科目名	英語II A	開講	通年	単位	2
配当	営A2年				
担当者名	手島 敬子				

講義のねらい

日常生活において実際に活用できるより自然で正確な「ライティング」能力を習得することを目指します。

履修上の留意点

毎回、予習と課題の提出が必要となります。教室以外でも積極的に学習に取り組んで下さい。和英辞典、必ず持参。

成績評価の方法

前期・後期試験、課題、授業への参加度、出席状況などにに基づき総合的に評価します。

教科書

村田和代著『English Composition Workbook, Second Edition』（マクミランランゲージハウス）¥1800 ISBN4-7773-6069-5

科目名	英語II A	開講	通年	単位	2
配当	営A2年				
担当者名	本間 俊一				

講義の内容・授業スケジュール

教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を發表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。

履修上の留意点

毎回、作品の全体を視野にいれながら、細部に注目し、各自が一部を責任もって発表する予定。  
パソコン・ネットワークを利用した、英語自習、研究の発展、相互のコミュニケーションに及ぶつもりである。

成績評価の方法

前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については、授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

教科書

BBC Documentary: Natural Remedies  
「DVDで学ぶ BBCドキュメンタリー」（桐原書店）2,200円 ISBN4-342-54820-8

科目名	英語IIA	開講	通年	単位	2
配当	営A2年				
担当者名	萩原 輝 <small>はぎわら てる</small>				

外国語

講義のねらい

英語で、自分の意見が自由に表現出来る能力を身に付ける。

講義の内容・  
授業スケジュール

毎時間、その日に読んだテキストの本文に対する意見を、英語で表現する。

履修上の留意点

大学生としてふさわしい辞書を持ってくること。

成績評価の方法

授業態度、出席、前期、後期の試験等の総合評価。

教科書

Jim Knudsen 著 “Who Said That?” ISBN4-523-17292-7 C0082

## 英語ⅡC（会話）

### 〈英語ⅡCの授業内容と履修上の留意点〉

I Cのレベルを修得またはそれに相当する力を持っていることを前提とした英会話の授業です。達成目標の目安は英検準1級合格、TOEFL® のスコアー500点、TOEIC® のスコアー700点程度。

外国語

科目名	英語ⅡC（会話） 英語ⅡC（会話）〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	営A2年 営A34年				
担当者名	ラッセル, S. J.				

#### 講義のねらい

English Conversation 2C is for intermediate level students who really want to improve their listening and speaking skills in English.

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Interactive learning will be a feature of the classes so good attendance will be required. We will also use a range of audio and video materials to prompt class discussion.

#### 履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook and a good dictionary to each class.

#### 成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.

#### 教科書

『English Firsthand 2』 Published by Longman ISBN 962-00-5347-8

科目名	英語II C (会話) 英語II C (会話) [再クラス]	開講	通年	単位	2
配当	営A2年 営A34年				
担当者名	せいじ, K				

**講義のねらい** To help you gain confidence to participate in pair and open-class discussion with your classmates and the teacher. Facilitated through interesting genres such as DVDs, magazines, internet printouts, advertisements and etcetera.

**講義の内容・授業スケジュール** The topics that are addressed by the selected materials will include: social issues, celebrity activities and world events. Students will be encouraged to, via the activities organised by the teacher, comment freely on them during the lesson.

**履修上の留意点** This class is designed to help you improve your understanding and interactive skills in English at a higher level.

**成績評価の方法**

WORKSHEETS:

1. 3 x completed in-class activities
2. Reflection email on an in-class topic
3. Information gathering exercise of English texts

PERFORMANCE ASSESSMENT:

4. Pair role play
5. Small group or pair presentation extension of an in-class topic

ATTENDANCE:

6. Attendance and participation

**教科書** Headway 3 - Intermediate - 3rd Ed. (blue)  
019438750X

**参考書等** An electronic dictionary is always useful!

**その他** 金曜3限



科目名	英語II C (会話) 英語II C (会話)〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	営A2年 営A34年				
担当者名	ミックエリゴット, J. P.				

講義のねらい

This course will cultivate in students a higher level of natural oral and written English expression. Through this course students should be able to listen and understand longer English texts, carry on an extended conversation and write in English at some length.

講義の内容・  
授業スケジュール

Students will enter into a weekly journal at the beginning of each class. The journals will be read aloud and/or exchanged with classmates. Following the class textbook themes, students will read and write about topics of daily interest. The teacher will help empower students with the skill of proficient writers, able to use English accurately and creatively to perform a variety of writing tasks.

This is a highly interactive class. Students will be placed in small groups and pairs and will ask each other questions and offer appropriate responses according to the theme in each chapter of the text. In addition, for each chapter there will be a dictation practice with handouts.

前期授業

1. Orientation
2. All About the "Real" Me
3. All About the "Real" Me
4. Friends Forever
5. Friends Forever
6. Student Reports
7. Shopping for Bargains
8. Shopping for Bargains
9. Dreaming About Summer
10. Dreaming About Summer
11. I'd Better Get a Job
12. I'd Better Get a Job
13. What do You Think?
14. What do You Think?
15. Final Student Reports

後期授業

1. Summer Vacation Reports
2. Rap, Rock, Reggae
3. Rap, Rock, Reggae
4. What a character
5. What a character
6. Student Reports
7. Money Matters
8. Money Matters
9. Part-Time Jobs
10. Part-Time Jobs
11. Situations in Life
12. Situations in Life
13. Facing the Future
14. Facing the Future
15. Final Student Reports

履修上の留意点

Student grades will be based on attendance, completion of class assignments, class participation and oral presentation. Students should bring a bilingual dictionary and folder.

成績評価の方法

GPA方式 再試験無し

教科書

Dale Fuller/Corey Fuller 著 Face to Face Macmillan Language House  
¥1.890 ISBN:4-89585-223-7

参考書等

bilingual dictionary

その他

金曜3限

科目名	英語II C (会話) 英語II C (会話)〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	営A2年 営A34年				
担当者名	セイジ, K				

講義のねらい

To help you gain confidence to participate in pair and open-class discussion with classmates and the teacher. Facilitated through interesting genres such as DVDs, magazines, internet print outs, advertisements and etcetera.

講義の内容・  
授業スケジュール

The topics that are addressed by the selected materials will include: social issues, celebrity activities and world events. Students will be encouraged to, via the activities organised by the teacher, comment freely on these during the lesson.

履修上の留意点

This class is designed to help you improve your understanding of and interactive skills in English at a higher level.

成績評価の方法

- WORKSHEETS:
1. 3 x inclass completed activities
  2. Reflection email on an in-class topic
  3. Information gathering exercise of English texts
- PERFORMANCE ASSESSMENT:
4. Pair role play
  5. Small group or pair presentation extension of an in-class topic
- ATTENDANCE:
6. Attendance and participation

教科書

Headway 3 - Intermediate - 3rd Ed. (blue)  
ISBN 019438750X

参考書等

An electronic dictionary is always useful!

その他

金曜4限

科目名	英語II C (会話) 英語II C (会話)〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	営A2年 営A34年				
担当者名	ロンゴ, T.				

講義のねらい

The students will work on improving their communicative and listening skills.

履修上の留意点

4 absences in one semester is poor attendance.  
Come to every class and your English will improve!

成績評価の方法

Regular attendance and participation is expected of each student.

教科書

The textbook will be assigned at the first class meeting.

その他

金曜4限

科目名	英語II C (会話) 英語II C (会話)〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	営A2年 営A34年				
担当者名	ミックエリゴット, J. P.				

講義のねらい

This course will cultivate in students a higher level of natural oral and written English expression. Through this course students should be able to listen and understand longer English texts, carry on an extended conversation and write in English at some length.

講義の内容・  
授業スケジュール

Students will enter into a weekly journal at the beginning of each class. The journals will be read aloud and/or exchanged with classmates. Following the class textbook themes, students will read and write about topics of daily interest. The teacher will help empower students with the skill of proficient writers, able to use English accurately and creatively to perform a variety of writing tasks.

This is a highly interactive class. Students will be placed in small groups and pairs and will ask each other questions and offer appropriate responses according to the theme in each chapter of the text. In addition, for each chapter there will be a dictation practice with handouts.

前期授業

1. Orientation
2. All About the “Real” Me
3. All About the “Real” Me
4. Friends Forever
5. Friends Forever
6. Student Reports
7. Shopping for Bargains
8. Shopping for Bargains
9. Dreaming About Summer
10. Dreaming About Summer
11. I'd Better Get a Job
12. I'd Better Get a Job
13. What do You Think?
14. What do You Think?
15. Final Student Reports

後期授業

1. Summer Vacation Reports
2. Rap, Rock, Reggae
3. Rap, Rock, Reggae
4. What a character
5. What a character
6. Student Reports
7. Money Matters
8. Money Matters
9. Part-Time Jobs
10. Part-Time Jobs
11. Situations in Life
12. Situations in Life
13. Facing the Future
14. Facing the Future
15. Final Student Reports

履修上の留意点

Student grades will be based on attendance, completion of class assignments, class participation and oral presentation. Students should bring a bilingual dictionary and folder.

成績評価の方法

GPA方式 再試験無し

教科書

Dale Fuller/Corey Fuller 著 “Face to Face” Macmillan Language House  
¥1.890 ISBN:4-89585-223-7

参考書等

bilingual dictionary

その他

金曜4限

科目名	英語II C (会話) 英語II C (会話)〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	営A2年 営A34年				
担当者名	ロンゴ, T.				

講義のねらい

The students will work on improving their communicative and listening skills.

履修上の留意点

4 absences in one semester is poor attendance.  
Come to every class and your English will improve!

成績評価の方法

Regular attendance and participation is expected of each student.

教科書

The textbook will be assigned at the first class meeting.

その他

金曜5限

科目名	英語II C (会話) 英語II C (会話)〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	営A2年 営A34年				
担当者名	デンドウ, G.				

講義のねらい

このコースの目的は英語でのコミュニケーション力の向上です。

講義の内容・  
授業スケジュール

このコースでは海外旅行、観光そして海外留学の際に実際に起こりうるシチュエーションをビデオなどの教材を通して体験し、勉強します。

履修上の留意点

出席、遅刻、授業参加などに対して厳しくやります。

成績評価の方法

毎週の宿題、小テスト、授業態度、出席と授業の参加で決まります。  
詳細は一回目の授業で伝えます。

教科書

テキストはありません。教材は教員が用意します。

科目名	英語II C (会話) 英語II C (会話)〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	営A2年 営A34年				
担当者名	ササキ, M.				

講義のねらい

The goal of this course is for students to advance their social skills and academic knowledge necessary to hold intelligent conversations in English in order to develop friendly relations with native English speakers. They should already have the maturity and social skills necessary to express intelligent opinions based on what they obtain from watching the news, reading the newspaper, and searching for information on the Internet.

講義の内容・授業スケジュール

Students will be expected to explain in English “what happened in the news” on a weekly basis in great detail. They will also be expected to give sophisticated oral presentations based on excellent research. Emphasis will be placed on pronunciation, intonation, tone, loudness, and speed. Students will be encouraged to develop their English accents. The textbook will cover practical conversation skills needed for home stay and living abroad.

履修上の留意点

3分の2以上出席すること。課題（レポート、小テスト、プレゼンテーション等）を重視すること。遅刻しないこと（30分以上遅刻する場合、欠席扱い）。カンニング、代返、教室退場、盗作などしないこと（成績評価は「不可」になる）。毎日、ニュースを見ること。

成績評価の方法

課題や出席点数の平常点。試験はありません。

教科書

「Viva! San Francisco」 published by Macmillan Languagehouse  
教科書と和英・英和辞典をいつも持参すること。

科目名	英語II C (会話) 英語II C (会話)〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	営A2年 営A34年				
担当者名	ロビン, G. F.				

講義のねらい

This course will focus on developing conversation skills for students using vocabulary and grammar that would normally have been acquired from previous courses in the school system. New vocabulary will be introduced as needed. Students will be encouraged to express themselves in English through pair and group activities and will be graded.

講義の内容・授業スケジュール

It will consist of pair group, small group, and class discussion activities designed to gradually build and improve upon vocabulary and fluency normally acquired from previous pre-college study of English.

成績評価の方法

According to class participation, homework assignments, and a mid-term and final test which will be given at the end of each term.

教科書

INSIDE ENGLISH HIGH BEGINNER MACMILLAN ISBN 4-84585489-2

科目名	英語II C (会話) 英語II C (会話) [再クラス]	開講	通年	単位	2
配当	営A2年 営A34年				
担当者名	ソルタ, P. N. F.				

講義のねらい

Aims and Objectives: English Conversation IIC was designed for high school graduates, who have studied English for at least six years at junior and senior high school, and have successfully completed English Conversation I. The course provides such students with the necessary environment in which to improve upon and expand their abilities to communicate in natural spoken English. This naturally leads to greatly increased confidence in oral communications. The course seeks to give students the necessary competence in talking about various everyday topics that will enable them to establish and maintain meaningful relationships with native English speakers of their own age.

講義の内容・  
授業スケジュール

Course Contents: A textbook with 15 units and the instructor's worksheets will be used as sources of classroom material. The course is based on the principle that the only way to become fluent in a language is through lots of practice. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening exercises. Students will do most of their exercises with one other student (this is called pairwork) to give everyone the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

The units to be covered in this course are:

- Unit 1: Introductions/Classroom Language
- Unit 2: Likes and Dislikes/Adjectives
- Unit 3: Locations/Telephoning (1)
- Unit 5: There is... There are.../Quantities
- Unit 6: Have..., Want..., Would like.../Shopping (1)
- Unit 7: Uncountable nouns/At a Restaurant
- Unit 9: Present Continuous/telephoning (2)
- Unit 10: Fashion/Shopping (2)
- Unit 12: Present Simple/Occupations
- Unit 13: Adverbs of frequency/Routines (1)
- Unit 14: Transportation/Work & School
- Unit 15: The Present Tenses/Frequency

履修上の留意点

Registration Requirements & Class Rules: It will be assumed that students taking this course have studied English language at high school level for six years, and have passed English Conversation I or IC. Students must be willing and able to take a class where all teaching is done in English.

Students should also note that constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be essential for a passing grade in English Conversation IIC.

成績評価の方法

Grading and Evaluation: A final grade will be based on two measures: end-of-year exam (60%), and a mark based on attitude in class and class performance throughout the year (40%). The exam will contain both listening and written exercises. Bonus marks will be awarded to those students who have only zero/one absence (+ 10%) or two absences (+ 5%) throughout the year.

教科書

Textbook: Communicate: book 1a/David Paul/Macmillan Language House, ¥1,230  
ISBN 0-435-26119-3

# 英 語 III A

## 〈英語ⅢAの授業内容と履修上の留意点〉

ⅡAを基礎として高度な英語の運用能力を身につける。(例：時事社会科学系のテキストを使用する。)

科目名	英語ⅢA 英語ⅢA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	営A3年 営A4年				
担当者名	おぶせ けさぞう 小布施 圭佐三				

外国語

### 講義のねらい

英文和訳や訳読ではなく、読むためのスキルとして、語彙力、内容予測力、大意把握などを養うことで、英語による内容理解力を高めます。

### 講義の内容・授業スケジュール

総合教材を使用し、読み物としてのおもしろさを十二分に生かしながら、効率的な読解のスキルを訓練します。

《前期》 Chapter1～Chapter11

《後期》 Chapter12～Chapter22

### 履修上の留意点

授業形態は演習形式で行います。予習してきてください。

### 成績評価の方法

出席点/授業の貢献度/レポート/小テスト/定期試験(前・後期)などを加味して総合評価します。

### 教科書

土屋武久/花光理香/B. Benfield『Read Up-22Steps to Strategic Reading』(成美堂)  
1,700円 ISBN4-7919-4062-8 C1082

科目名	英語ⅢA 英語ⅢA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	営A3年 営A4年				
担当者名	さとう こういち 佐藤 孝一				

### 講義のねらい

授業では、基本的に英文を正しく読めて、正しく理解できたかをチェックしていきます。授業中に英語を学習していくのは困難であると思います。予習・復習を通して段々に英語力を高めていく意欲や動機付けを自覚し、実行してもらいたいと思います。

### 講義の内容・授業スケジュール

テキストはアメリカの文化や社会など多種多様な内容を学んでいきます。異文化理解に関してアメリカの文化が学生に身近に感じられると思っています。全体で100章ありますので、毎時間5章を消化するのをノルマにします。発表者は事前に内容をテープに吹き込んできて下さい。希望者には、テキストのテープをコピーします。授業以外でも自主的にテープを用いた学習を強く望みます。リーディングの他に、リスニング能力の向上を計りTOEIC教材を用いる予定です。毎時間5人に発表をしてもらいますが、事前に割り振ります。

### 成績評価の方法

基本的に前期・後期の試験と発表点、レポート等で総合的に評価します。出席点はありません。

### 教科書

授業で指示。

科目名	英語III A 英語III A〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	営A3年 営A4年				
担当者名	伊藤 美代子 <small>いとう みよこ</small>				

講義のねらい

IA、IIAからさらに進んで高度な英語の運用能力をめざす。英語を学ぶことから一步進んで、英語で学ぶことも体験する。実際の経済ニュース記事を学ぶことにより、実社会の経済動向の理解も深めることも目的とする

講義の内容・授業スケジュール

原則として和訳は行わず、英語による内容の理解を図る。できるだけ、英語を使用するが、構文等の説明や経済活動等の説明は日本語で行う。本文を理解した後、和文英訳により英語力を強化する。また、内容についての及びリスニングの訓練も行う。

履修上の留意点

予習が絶対条件である。半期に4回以上欠席したものには、単位を与えない。遅刻2回で欠席1回と数える。

成績評価の方法

各学期毎に中間テストと期末テストを行い、その結果の平均が80%、残りの20%は、平常点、小テスト、提出物等により計算する。

教科書

1. Dave Hara, Yoko Okayama, Hayley Davies 『経済ニュースを読む（国内編）』（南雲堂） ¥1,600
2. 同上：『経済ニュースを読む（国際編）』（南雲堂） ¥1,500

科目名	英語III A 英語III A〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	営A3年 営A4年				
担当者名	広川 治 <small>ひろかわ おさむ</small>				

講義のねらい

映画のシナリオをテキストに用い、文法、会話表現等を確認しながら、単語の知識やリスニング、読解力を高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

初回の授業で説明する。

履修上の留意点

遅刻、居眠等は欠席扱いとするなど、授業態度は厳しくチェックする。

成績評価の方法

平常点と前・後期試験で評価。

教科書

プリント配布の予定（必要に応じて購入を指示）



科目名	英語ⅢA 英語ⅢA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	堂A3年 堂A4年				
担当者名	岩井 洋美 <small>いらい ひろみ</small>				

講義のねらい 語彙と表現を増やし、口頭でのやりとりができるようにすることと長文が書けるようにすること。

講義の内容・授業スケジュール テキストを中心に進める。小テストやスピーキングのテストもクラス内で随時実施する。

履修上の留意点

- ・出席と授業態度を最も重視しますのでまず出席するように。
- ・遅刻欠席は合わせて8回までとし、それ以上は試験やテストを受けていても単位は取得できない。
- ・テキストがない場合は欠席とし、4回以上の無断欠席はクラスに来ないものとする。

成績評価の方法 出席、授業態度100 小テスト、スピーキングテスト100 前期テスト100 後期テスト100  
240点(60%)以上で単位取得

科目名	英語ⅢA 英語ⅢA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	堂A3年 堂A4年				
担当者名	吉江 正雄 <small>よしえ まさお</small>				

講義のねらい 英文の美しさを理解し、また広く、世界史や言語の成り立ちを学ぶ。尚、文法事項や構文についても詳しく説明するので、広い知識を身に付ける事ができるようにする。

講義の内容・授業スケジュール H.G.Wellsの“A Short History of the World”というテキストを通読する。まず辞書をひきながら丹念に英文を逐語訳することから始める。その後、それを誰が読んでもしっかりとした日本語として理解出来る文章になるように指導する。

履修上の留意点 予習を必ずし、問題意識をもって授業に参加し、質問するようにして欲しい。また、評価の対象にもなるので、積極的に自ら発表をするよう努めて頂きたい。

成績評価の方法 前・後期試験の結果に、平常点(授業中での発表)を加味して評価する。出席点は無い。すなわち、学生は全時間数の三分の一以上出席して始めて受験資格(単位取得の資格)を得ることになる。

教科書 H.G.Wells 著 “A Short History of the World” (ウェールズの簡約世界史)  
(こびあん書房) 教室で販売する。

科目名	英語ⅢA 英語ⅢA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	営A3年 営A4年				
担当者名	井伊 <small>いゐ</small> 順彦 <small>のぶひこ</small>				

講義のねらい

いくぶん高度な社会問題を扱ったテキストを読んで、思考力や教養を高めるとともに、英語を「聞く」力および「書く」力をのばす。

講義の内容・  
授業スケジュール

毎回かなりの時間が英文を聞くことに費やされる。また、英作文の機会を作ること、ビデオを観て現代の諸状況について学ぶことにも配慮する。

履修上の留意点

毎回おそらく半数ほどの学生がなんらかのかたちで指名されて解答することになる。積極的な姿勢が求められる。

成績評価の方法

数回の小テストの成績、質疑応答の出来、出席数を柱とするが、詳細は教室で。

教科書

『A Changing Japan in the Global Economy』（「総合英語：世界の中の日本経済」）示村一也著（三修社）

科目名	英語ⅢA 英語ⅢA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	営A3年 営A4年				
担当者名	小泉 <small>こいずみ</small> 和弘 <small>かずひろ</small>				

講義のねらい

IIAを基礎として、より高度な英語運用能力を身につける。

講義の内容・  
授業スケジュール

2回の授業で1課進む。授業は演習形式で行う。

履修上の留意点

授業は予習をしてくること。また、辞書を持って来ること。（電子辞書可）

成績評価の方法

前期・後期の試験の結果および、授業への取り組み方を総合的に評価します。

教科書

“Major Countries In The World” 鳳書房 ¥1,800 ISBN4-902455-03-X

科目名	英語ⅢA 英語ⅢA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	営A3年 営A4年				
担当者名	いとう こういち 伊藤 幸一				

講義のねらい

会社の経営は、その産物も含めてデザインが重要であろうか。  
 毎回、着席順に当てるので予習して出席されたい。また復習の為に宿題レポートを（5月末、夏休み、大学祭後）3回課し、まとめとして最終授業時にテストの予定。

成績評価の方法

以上の3点、予習・復習・まとめの成果による。詳細は最初の授業時に説明する。

教科書

「Design Makes the World Go'Round」(トムソンコーポレーション)

〔ドイツ語〕

科目名	ドイツ語IA	開講	通年	単位	2
配当	営A1年				
担当者名	杉本 <small>すぎもと</small> 正俊 <small>まさとし</small>				

講義のねらい

初めて習う外国語であるドイツ語に、文法という観点からアプローチしてみる。一年の授業を通じてドイツ文法の全体が概観できるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

指定する教科書に従って授業を進めるが、発音に関しては、独自のプリントを用意する。

履修上の留意点

予習不用な授業を心掛けるが、必要最少限の課題は必ずしっかりやってもらう。又、授業内容は十分に理解することが必要。重要な項目は反復して説明し、折にふれて復習する。又学生からの質問を歓迎する。

成績評価の方法

成績は、期末テストの他、日常の小テストや課題を見て評価するが、学生のドイツ語への関心や取り組み方などをあわせて考慮する。授業中のまちがった解答は、必ずしもマイナスに評価しない。

教科書

ステップバイステップ15  
著者：新妻孝一 兼子安弘 渡部敏一  
発行所：東洋出版株式会社 ￥1,900

科目名	ドイツ語IA	開講	通年	単位	2
配当	営A1年				
担当者名	松岡 <small>まつおか</small> 晋 <small>すすむ</small>				

講義のねらい

週一回、一年間の授業でドイツ語の初級文法をマスターすることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

ドイツ語のアルファベット、発音規則の説明から始めて、冠詞、動詞の現在時制、過去時制、完了自制等々という具合にゆっくりと文章構造と表現様式の理解を深めてゆきます。補助的に適宜ネイティブ・スピーカーの発音を収録したCDを用いることも考えております。ともかくゆっくりと、皆さんとともに先へ進んでゆくつもりです。

履修上の留意点

文法の学習は積み重ねですから、定期的出席が前提条件です。また、初回の授業のさいに中型の「独和辞典」を何種類か紹介いたしますので、そのうちの一つを入手し、以降つねに持参ください。

成績評価の方法

期末試験（7月）、学年末試験（1月）以外に何度か小テストを行ないます。そのほかに平常点（出席率、授業中に指名された時の口頭練習の結果など）を加味して成績評価をいたします。筆記試験と平常点の成績評価に占める割合は同等であると考えてください。

教科書

未定

その他

実際のドイツ語の文章に慣れるために、その都度の文法事項に即した例文を取めたプリントを何度か配布いたします。

科目名	ドイツ語ⅠA	開講	通年	単位	2
配当	営A1年				
担当者名	やぶした こういち 藪下 絃一				

講義のねらい

ドイツ語文法は最初の1年がむづかしい。それを乗り越えたら、辞書をひいて、約1億人の人々の情報が入って来ます。

成績評価の方法

7月、12月の試験+平常点。

教科書

椿・成田：『新訂・入門初級ドイツ文法』（同学社）¥2100+税。

科目名	ドイツ語ⅠB	開講	通年	単位	2
配当	営A1年				
担当者名	おかもと ときこ 岡本 時子				

講義のねらい

初心者を対象に、ドイツ語が使えるようになるための基礎的学力、知識の養成を目指し、併せてドイツ語圏の文化、社会、歴史等についても学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期はドイツ語の発音・文法の基礎を中心に簡単な挨拶や文が言えるようにする。後期は辞書を引きながら平易なドイツ語の文章を読めるようにし、口頭では複文や重文が組み立てられるようにする。

履修上の留意点

受身に「教わる」授業ではなく、積極的に自分から「学び、考える」授業にしたい。

成績評価の方法

期末筆記試験・授業への出席・参加等を総合して評価する。

教科書

荻野蔵平『ドイツこころのふるさと』（朝日出版）

参考書等

参考書・辞書等については第一回目の授業で説明する。

科目名	ドイツ語ⅠB	開講	通年	単位	2
配当	営A1年				
担当者名	やぶした こういち 藪下 絃一				

講義のねらい

家でCDを何回も聴いて、まねして下さい。教室では復習をやります。発音がうまくできるように、文法も少しやります。

成績評価の方法

7月、12月のテスト+平常点。

教科書

大谷『言ってみよう、ドイツ語で!』（同学社）¥2500+税。

科目名	ドイツ語I B	開講	通年	単位	2
配当	営A1年				
担当者名	まつおか すずは 松岡 晋				

講義のねらい

平行して行なわれる文法の授業で得られた知識を活用しながら、口頭練習、平易なドイツ語の文章の読解に取り組みます。一年後には、独和辞典を用いて新聞、雑誌などの現代文をなんとか理解できるようになりたいものです。

講義の内容・授業スケジュール

ドイツ語の文章の発音練習、プリントで配布する文章の和訳・読解が授業の大半を占めます。

履修上の留意点

文法の時間に紹介される中型の「独和辞典」を入手し、それを毎回の授業のさいに必ず持参して下さい。定期的出席が単位取得の前提条件です。

成績評価の方法

期末試験（7月）、学年末試験（1月）以外に何度か小テストを行ないます。そのほかに平常点（出席率、授業中に指名された時の口頭練習の結果など）を加味して成績評価をいたします。筆記試験と平常点の成績評価に占める割合は同等であると考えてください。

教科書

なし（授業担当者が用意したプリントを配布します）

科目名	ドイツ語I C（会話） ドイツ語I C（会話）〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	営A1年 営A234年				
担当者名	しみず おさむ 清水 修				

講義のねらい

初級ドイツ語会話の授業です。ドイツ語の発音規則の説明・練習から始め、基本的パターンの学習を積み重ねて、一年後には自分に関する事柄をドイツ語で述べるができるようになります。日常的によくある状況にもドイツ語で対応できるようになれば、と考えております。

講義の内容・授業スケジュール

授業はDVD付きの教科書を用いて行います。（DVDの再生装置は必須ではありません。）映像と音声で、実際の場面に則してドイツ語でのコミュニケーションの練習をしていきます。

履修上の留意点

会話のクラスですので、毎回出席して口頭練習することが出発点となります。是非とも定期的に出席するように！

成績評価の方法

成績評価は、学期末その他に行われる口頭試験および平常点（定期的に出席して、口頭練習に積極的に参加しているかどうか等々）によって行います。

教科書

荻野蔵平、Andrea Raab 著『ドイツってすてき！〔DVD付き改訂版〕』（朝日出版社）  
2,600円

科目名	ドイツ語IIA	開講	通年	単位	2
配当	国地文環境日外考商政営A2年				
担当者名	柴野 <sup>しばの</sup> 博子 <sup>ひろこ</sup>				

講義のねらい

中級程度の文章で書かれた、ドイツ人のものの見方をテーマにしたテキストを読んでいきます。私達がドイツあるいは日本文化について考えるきっかけになれば、と思っています。

講義の内容・授業スケジュール

はじめは、1年生の文法を復習あるいは補足しながら、ゆっくり進んでいきます。後半は、少し速度を早め、11月にはテキストを読み終える予定です。12月には、ドイツ文学の名作（たとえばシュティフター）を読んでみましょう。

履修上の留意点

ドイツ語の勉強は、短い時間でも、毎日つづけることが大切です。予習、復習をして、特別の事情がない限り、毎回出席して下さい。

成績評価の方法

年3回の試験と、平常の学習態度を総合して評価します。

教科書

大谷弘道『ドイツ人を知る9章+1』（三修社）2,500円

科目名	ドイツ語IIA	開講	通年	単位	2
配当	国地文環境日外考商政営A2年				
担当者名	飯塚 <sup>いいたづか</sup> 公夫 <sup>きみお</sup>				

講義のねらい

一年で習ったドイツ語の補習とその応用。辞書を引くことに慣れること。勉強する根気を養うこと。映画を見ながら文章を読むことで、文章が生きてくることを体験すること。

講義の内容・授業スケジュール

おおよそのスケジュール①前期前半：一年の文法の復習と、未修部分があればその部分の補習（コピー練習問題中心）②前期後半：練習問題と平行して、映画を見ながらテキストである映画シナリオの読解③後期：映画をみながら、テキストであるシナリオの読解。（映画は、『Paris je t'aime（アイ・ラブ・ユー・パリ）』というオムニバス・フランス映画の、ドイツ人監督トム・ティクヴァが監督したエピソードです。）

履修上の留意点

辞書を毎回持つてくること（完全に予習している人は持つてこなくてもよろしい）。予習が必要になるので、予習時間を自分の生活スケジュールに組み込める人の参加が望ましい。

成績評価の方法

前期・後期各1回の筆記試験及び平常点（＝発表点）。

教科書

Tom Tykwer『True』（ISBN:3-936298-12-2）。大変きれいな本なので、購入をおすすめしますが、ドイツから直接取り寄せなければならないので、学内での購入は事務的に不可能ですから、自分で洋書店かアマゾンで購入してください。もちろん、こちらでもコピーを用意します。

科目名	ドイツ語II C (会話) ドイツ語II C (会話) [再クラス]	開講	通年	単位	2
配当	営A2年 営A34年				
担当者名	ほりうち みえ 堀内 美江				

**講義のねらい** ドイツでは今日本文化が、日本食からアニメや盆栽などに至るまで注目をあびています。日本人と話をしたいと思っているドイツの人達も少なくありません。皆さんがドイツ人と知り合って、そしておしゃべりすることができたら、皆さんの世界は一気に広がることでしょう。この授業では、自分のことを伝えたり、相手のことを聞き取ったりといった練習を具体的場面を想定して繰り返しおこないます。

**講義の内容・授業スケジュール** 主に会話とヒアリングの練習を通して、一度学んだドイツ語を再度勉強していきます。皆さんの進み具合を見ながらじっくり学習していきますから、忘れがちなポイントや複雑な文法も、十分再確認できるでしょう。授業はテキストに沿って進めていきますが、機会がある限り、実際のドイツの映像や音楽、ドイツ文化やドイツの学生生活など紹介していきたいと思ひます。

**履修上の留意点** 会話の授業ですが、文法的な知識も確認しながら進めていきますので安心して毎回授業に参加して下さい。間違えてもいいですから、どうぞ恥ずかしがらず、ドイツ語を声に出してみてください。

**成績評価の方法** 年2回の口述試験、学年末の筆記試験に出席と平常点を加えた総合評価を行ないます。

**教科書** 筑和正格他著「ドイチュ・インターアクティブ Ver.3」(郁文堂) 定価2500円  
ISBN 978-4-261-01219-4

科目名	ドイツ語III A ドイツ語III A (会話) [再クラス]	開講	通年	単位	2
配当	営A3年 営A4年				
担当者名	ほりうち みえ 堀内 美江				

**講義のねらい** この授業では、ドイツ語の基礎的力を安定させ、さらにさまざまな語いや表現を学習していきます。文法や基本的構文をひと通り復習しながら、「聞く、読む、書く、話す」といった総合的なドイツ語力を養っていきます。同時にさまざまな映像や音楽、文化的資料を用いて、言葉だけではなく、ドイツ、オーストリアやスイスといったドイツ語圏の文化を紹介していきます。ドイツ語を出発点に、より国際的な視野を身につけていただきたいと思ひます。

**講義の内容・授業スケジュール** 皆さんの進み具合を見ながらゆっくりと授業を進めていきます。ドイツで作られたテキストを用いて、より実際のドイツ生活に即したテーマを体験していきましょう。

**履修上の留意点** とにかく授業に来るようにしましょう。部活動などのやむをえない場合は、できるだけ早く連絡をするようにしてください。1年後に「ドイツ語がけっこうわかってきた」と言えるように一緒にがんばっていきましょう。

**成績評価の方法** 年2回の筆記試験、出席、課題などの平常点を加えた総合評価を行ないます。

**教科書** Daniela Niebisch 他著「Schritte international 3 mit Kursbuch und Arbeitsbuch」11,50 Euro Max Hueber Verlag (日本の取扱店 郁文堂) ISBN 3-19-001853-7



〔フランス語〕

科目名	フランス語IA	開講	通年	単位	2
配当	営A1年				
担当者名	小玉 齊夫				

講義のねらい

「話すための」フランス語学習に直結するような、文法の勉強をしていこうと思っています。授業で新しく得た知識をすぐ使えるような、フランス語をいちいち日本語と突き合わせて覚えるのではなく、フランス語の音として身につけてしまうような、そういう在り方が理想的なので、そのための練習を、可能な限り豊富に、数多く、試みてみようと思います。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の文法的な内容は結構多いので、授業の展開はすこし早めになるかもしれません。覚えることがらも少なくはありません。要するに、フランス語漬けになるくらいのつもりで、授業に出て下さい。

履修上の留意点

1年間で文法を終えるためには、覚えて覚えて覚えまくるほどの覚悟が必要かもしれません。特別な理由のない限り欠席しないこと。毎回の授業で覚えたことがらを積み重ねていくこと。

成績評価の方法

日常の授業への参加の度合いを見つつ、前期・後期（後期の方を重視します）の試験結果によって判断します。出席はするのが当たり前。よって「出席点」などはありません。

教科書

藤田 他著『新・東京--パリ、初飛行』（駿河台出版社、2200円）ISBN978-4-411-01097-1 C1085

参考書等

辞書等については開講時にお話しします。

科目名	フランス語IA	開講	通年	単位	2
配当	営A1年				
担当者名	遠山 博雄				

講義のねらい

基礎的な文法事項をきちんと身につけること。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに詳しい説明をし、その後で練習問題をやります。単純な事項から複雑な事項に順を追って進んでいきます。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席し、自分で問題に取り組む姿勢が必要です。遅刻をして説明を聞きもらさないこと。

成績評価の方法

2～3回の筆記試験を行ないます。

教科書

斎藤昌三著『新版 ル・フランセ』（白水社）1,838円 ISBN4-560-06052-2

参考書等

最初の授業で仏和辞典のガイダンスをします。

科目名	フランス語IA	開講	通年	単位	2
配当	営A1年				
担当者名	出口 <small>でぐち まきとし</small> 雅敏				

講義のねらい	フランス語をはじめて学ぶ学生のための授業です。初級文法の習得を中心に、読む、書く、聞く、話すための基礎をバランス良く学習することが目的です。
講義の内容・授業スケジュール	授業は、まず基礎的な文法事項の説明の後、練習問題を通じて理解を確実にします。次に、フランス語文章の音読と読解、語彙と表現の学習を行います。加えて、仏和辞書の引き方についても慣れてもらいます。
履修上の留意点	辞書を持参して下さい。やむをえず欠席する場合は、理由を書面にて提出して下さい。
成績評価の方法	前期・後期の期末試験と通常点によって評価します。
教科書	吉野仁子著『プティタプティ』（第三書房）2,000円

科目名	フランス語IB	開講	通年	単位	2
配当	営A1年				
担当者名	桑田 <small>くわた のりあき</small> 禮彰				

講義のねらい	フランス語の基礎の習得。
講義の内容・授業スケジュール	まず発音の基本をしっかりと確認した上で、簡単な会話表現に親しみながら、初級文法を理解し、読解力の基礎を身につけます。
履修上の留意点	発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。
成績評価の方法	ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。
教科書	林田遼右著『パリ散歩』（朝日出版社）2,600円＋税
参考書等	その都度授業で指示します。

科目名	フランス語I B	開講	通年	単位	2
配当	営A1年				
担当者名	はまき せつお 浜崎 設夫				

講義のねらい

文法読本の教科書を使い、文法を復習しつつ初級の文章を読解できるようにする。またフランス文化に対する関心を強めてもらう。

講義の内容・授業スケジュール

発音の練習から始めて、約25回の授業で、最終段階の接続法まで進みたい。1課ごとにまず文法を説明し、文章の和訳と練習問題を宿題にする。レポートを2度出してもらう。

履修上の留意点

なるべく遅刻欠席をしないこと。必ず復習すること（予習は必要なし）。ノートを用意すること。毎回辞書を持って来ること。辞書は最初の授業で紹介する。

成績評価の方法

出席回数、宿題をやって来た回数、前後期の試験の成績、レポートの内容等に基づいて評価する。

教科書

藤田裕二他『新・東京一パリ、初飛行』（駿河台出版社）2,310円

参考書等

前もって買う必要はない。授業中に紹介する。

科目名	フランス語I B	開講	通年	単位	2
配当	営A1年				
担当者名	とおやま ひろお 遠山 博雄				

講義のねらい

ある程度まとまったやさしい文章やスケッチを読み取り、発音できるようになること。

講義の内容・授業スケジュール

必要な文法事項の説明をしてから、辞書を使って応用していきます。リスニングと発音練習もあわせて行ないます。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席し、自分で取り組むこと。大きな声を出すこと。遅刻をして説明を聞きもらさぬこと。

成績評価の方法

筆記試験を3回行ないます。その中にリスニングも含まれます。

教科書

藤田裕二他著『新・東京一パリ、初飛行』（駿河台出版社）2,310円  
ISBN4-411-01097-6

参考書等

最初の授業で仏和辞典のガイダンスをします。

科目名	フランス語IC (会話) フランス語IC (会話) [再クラス]	開講	通年	単位	2
配当	営A1年 営A234年				
担当者名	佐藤 久美子				

講義のねらい	フランス語を初めて学ぶ学生を対象とし、挨拶の表現から始めて、日常会話を中心にコミュニケーション力を養う。
講義の内容・授業スケジュール	発音練習と応答訓練に重点を置く。文法解説は必要最小限にとどめ、繰り返しによってフランス語に慣れてもらうことを目指す。
履修上の留意点	出席を重視する。会話の授業であるので、出席しなければ何の意味もないことをよく理解し、授業に臨んでもらいたい。年間授業回数の三分の一以上欠席した場合は評価の対象からはずす。ただし出席さえしていればよいというのではなく、積極的に授業に参加することが肝要。
成績評価の方法	授業への参加度を含む平常点50%、前・後期の試験の結果50%を目安として、総合的に判断する。試験の内容は、聞き取り、応答、発音を予定している。
教科書	佐藤、山崎著『耳よりフランス語会話』(DHC) 定価1,600円 ISBN4-88724-166-6
参考書等	文法のクラスの教科書をそばにおいて参照することを勧める。
その他	CDつきのテキストなので、音声教材は、授業時以外にも積極的に聞くように心がけてほしい。

科目名	フランス語IIA	開講	通年	単位	2
配当	国地文環境日外考商政営A2年				
担当者名	遠山 博雄				

講義のねらい	辞書を使ってやさしいフランス語の文章やスケッチを読み、発音すること。口語的な有用表現を覚えること。後期はフランスの社会や時事問題についての知識をフランス語を通じて学ぶこと。
講義の内容・授業スケジュール	1年次でやり残した文法事項の説明をまずませ、その他の文法事項は復習したり追加しながら、辞書を片手に精読していきます。リスニングも行ないます。
履修上の留意点	必ず辞書を持って出席し、自分で調べて取り組むこと。発音をおろそかにしないこと。
成績評価の方法	2回の筆記試験を行ないます。その中にリスニングも含まれます。
教科書	澤田直他著『アミカルマン』(駿河台出版社) 2,625円 ISBN4-411-01093-3

科目名	フランス語IIA	開講	通年	単位	2
配当	国地文環境日外考商政営A2年				
担当者名	前田 祝一 <small>まえだ のりかず</small>				

講義のねらい	レベルを中級フランス語に設定します。したがって、一年生で学んだフランス語の後半部分を学習し直し、さらに豊かなフランス語の世界への参入を試みます。
講義の内容・授業スケジュール	テキストに沿って進め、細かいニュアンスの把握にも挑戦しましょう。
履修上の留意点	初級フランス語IA・IBの単位の未修者は、自分で参考書などで勉強する覚悟でいて下さい。
成績評価の方法	基本的には前・後期のペーパー・テストで成績を評価しますが、授業中の課題や出席の状況にも配慮します。
教科書	数江編『フランス史』(白水社) 1,200円

科目名	フランス語IIC (会話) フランス語IIC (会話) [再クラス]	開講	通年	単位	2
配当	営A2年				
担当者名	大野 英士 <small>おおの ひでし</small>				

講義のねらい	少なくとも1年間、フランス文法・会話等フランス語の基礎を学んだ学生を対象に、日常的な会話を中心に、文法・表現やコミュニケーション能力を養成するクラスです。
講義の内容・授業スケジュール	教科書の各章は Dialogue (会話)、Grammaire (文法)、Activités (活動)、Compréhension orale (聴覚理解) で構成されています。一応、教科書に沿って進みながら、演習や会話練習を行います。
履修上の留意点	語学の授業は、教える側の技術や熱意ばかりでなく、授業の参加者がどの位熱心に授業に取り組むかで大きく効果が違ってきます。教科書にはCDが付属していますので、予習段階から積極的に活用し、スケッチや問題を暗記する位聞きこんで下さい。
成績評価の方法	出席点、前・後期末試験で総合的に評価します。
教科書	藤田裕二著 『新・えすかるご2』(朝日出版社、2500円)を使用します。
参考書等	授業開始時に教室で指示します。

科目名	フランス語ⅢA フランス語ⅢA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	営A3年 営A4年				
担当者名	おおの ひでし 大野 英士				

講義のねらい

ある程度フランス語文法の基礎を学んだ学生を対象に、さまざまなジャンル・話題のフランス語のテキストを通して、文法力、読解力、表現力を磨いてもらうクラスです。到達目標は実用フランス語技能検定試験（仏検）3級から準2級レベルに対応しています。

講義の内容・授業スケジュール

一応、復習も兼ねて、授業開始時に教科書を指定します。当面教科書に沿って、会話演習、文法解説、テキストの講読等を行います。出席者のレベルや、関心をみながら、教科書が早く終わるようであれば、新聞や雑誌の記事、フィクション・シャンソンなど、ジャンルにとらわれず広くさまざまなスタイルの文章を読みたいと思います。

履修上の留意点

なるべく丁寧に解説し、予習・復習の負担は極力軽くするつもりですが、全く予習・復習をしないで語学の上達はありえません。

成績評価の方法

出席点、前・後期の試験で総合的に評価します。特に出席点を重視します。

教科書

授業開始時に教室で指定します。

参考書等

初回到教室で紹介します。

# 中国語

## 中国語ⅠA・ⅠB

中国語の入門クラス。発音と文字（簡体字）そして文法の基礎を学ぶ。授業では、まず「ピンイン」というローマ字表記を使って発音を学び、次いでその表記法によりつつ基本的な文法・文型等を学んでゆく。「ピンイン」表記を最初にしっかり覚えないと、その後の学習がほとんど不可能になる（漢字で書かれているので他の外国語より易しいというのは、誤った俗説である）。

ⅠA－ⅠBという週2コマの授業を通して1冊の教科書を使用する。ⅠA－ⅠBの組み合わせは固定されており、それを一人の教員が担当する場合と、二人の教員が共同で担当する場合とがある。いずれにしても必ずその2コマを1セットで履修しなければならない。

中国語の学習には自分の口と耳を使った教室での実地練習がきわめて重要である。休まず出席し、教員の指導のもと、積極的に練習を行ってほしい。出席は成績評価においても重要な判断材料となる。そのほか年間を通じての各種小テスト、中間・定期試験、課題提出、および授業中に見られる実際の習熟度等々に基づいて最終的な成績評価がなされる。日頃の努力の積み重ねが不可欠であり、定期試験のときだけ一夜漬けで乗り切るということは絶対に不可能である。

## 中国語ⅡA

ⅠA－ⅠBの学習を基礎としつつ、ピンイン付の長文を学び、中級程度の読解力・文法的理解力を養う。正確な読解は、読み書きだけでなく、話したり聞いたりするための基礎ともなるものである。

授業は、各担当者によって多彩な内容が用意される。文学的なもの、中国の社会や文化の理解に役立つもの、文法学習を主とするもの、またいろいろな文章の抜粋を読むもの、1～2篇の、まとまった作品をじっくり読み上げるもの、等々である。いずれの場合も、発音と基礎文法の復習・定着、やや複雑な中級程度の語彙・文法・文型の学習、そして長文の論理展開や文章構成の把握、といったことが目標となるであろう。また、それと同時に、教材を通して、表面的な知識や情報にとどまらない、内在的な中国理解の眼を養ってもらいたいと思う。

## 中国語ⅡB

ⅠA－ⅠBの学習を基礎としつつ、簡単な内容の文を言ったり書いたりすることのできるような、初歩的な表現力の獲得を目指す。長文読解中心のⅡAに対し、ⅡBの教材は短文の会話体を主とするもので、内容理解だけならさほど難しくはないであろう。ここで目標とされているのは新たな知識の拡張よりも、むしろ既修の知識を血肉化させ、それを「使える」ようにすることなのである。つまり、「発信型」の語学力の土台を築こうというわけである。そのため毎回の授業に休まず出席するのはもちろんのこと、教室で行われる練習に積極的に参加し、なるべく多くの反復練習をこなすよう努めてほしい。成績評価の原則は、上記ⅠA－ⅠBに準ずる。

### 【辞書について】

1年次の授業は辞書の購入を前提とせずに進められる。最初から中国語の勉強は1年限りと決めてしまうなら、辞書なしで済ませることはできる。しかしそういう人にとっても、1年間の学習をより実りのあるものとするために、次の辞書は役に立つことだろう。

相原茂『はじめての中国語学習辞典』（2002年 朝日出版社）2,800円

2年次以降も中国語学習を続ける場合、辞書の購入は必須である。近年は中国語の辞書の出版が相次いだが、特に以下の2点が薦められる。

商務印書館・小学館『中日辞典〔第2版〕』（2003年 小学館）語法解説や図版豊富。6,300円

相原茂『講談社中日辞典〔第二版〕』（2002年 講談社）全例文にピンイン付き。6,500円

より手軽なサイズと価格では次の2点も推薦できる。しかし、学習の伴侶として息長くおつきあいすることを考えれば、思いきって奮発したほうが結局は「得」である。

松岡榮志『クラウン中日辞典』（2001年 三省堂）4,000円／『小型版』（2004年）2,800円

武信彰『プログレッシブ中国語辞典』（1998年 小学館）3,500円／『コンパクト版』（2004年）2,600円

また、これらよりさらに小型のものや、中日・日中を1冊で間に合わせる類の辞書は薦められない。

なお、下の2点も、初心者向けではないが、中級から上級以降の学習や研究に十分耐え得る内容を具えた優れた辞書である。

伊地智善継『白水社中国語辞典』（2002年 白水社）7,800円

愛知大学中日大辞典編纂処『中日大辞典〔増訂第二版〕』（1987年 大修館書店）8,600円

日中辞典は授業では必須としないが、次のものが手元があれば重宝するであろう。

对外経貿大学・商務印書店・小学館『日中辞典〔第2版〕』（2002年 小学館）7,000円

倉石武四郎・折敷瀬興『岩波日中辞典〔第2版〕』（2001年 岩波書店）5,000円

科目名	中国語IA・中国語IB	開講	通年	単位	2
配当	営A1年				
担当者名	布施 <small>なほこ</small> 直子・下出 <small>しもいで のぶこ</small> 宣子				

講義のねらい

初級段階の習得。

講義の内容・授業スケジュール

「声調」および「ピンイン」の学習により発音の方法を学んだのち、語法の学習に入る。話せる日常会話の表現を増やしていく。

履修上の留意点

IAIBで同じ1冊の教科書を用い、語法とドリルというように担当分野を分けて、二人の教員が担当する。発音の占める重要性は大きく、発音ができれば中国語がおもしろくなる。大きな声でとりくんでほしい。

成績評価の方法

各学期で中間・期末試験をする。出席状況、テスト成績、授業への積極性を総合して評価する。

教科書

楊凱栄・張麗群『中国語へのアプローチ』（朝日出版社）2,300円＋税



科目名	中国語IA・中国語IB	開講	通年	単位	2
配当	営A1年				
担当者名	小栗山 <small>おぐりやま けい</small> 恵・徳間 <small>とくま よしのぶ</small> 佳信				

講義のねらい	発音・文法・語法等に即して、中国語がどのような言語であるかという入門的な理解を得る。とくに読めるが聞きとれないという弊に陥らないよう発音を重視する。
講義の内容・授業スケジュール	IAでは課文の音読・日訳・文法の説明を主に行い、IBではその定着のために問題演習を行う。
履修上の留意点	休まず出席し、大きな声で発音して下さい。
成績評価の方法	試験の成績、出席状況、授業中の取りくみ、提出物等により総合的に評価する。
教科書	相原茂「語学三十六景」東方書店 2400円 ISBN4-497-99565-8

科目名	中国語IA・中国語IB	開講	通年	単位	2
配当	営A1年				
担当者名	工藤 <small>くどう さえ</small> 早恵・布施 <small>ふせ なおこ</small> 直子				

講義のねらい	中国語の初級段階の学習を内容とする。中国語の発音のしかたを覚え、中国語の文の構造を理解することを目指す。
講義の内容・授業スケジュール	二人の教員が連携して授業を進める。基礎となる発音をしっかりマスターした後、基本的な語彙や文法、言い回しを身につける。
履修上の留意点	初めて学ぶ言語なので、授業での文法等の説明をしっかりと聞き、音声練習や作文練習に取り組むことが非常に大切である。欠席せずに毎回の出席を心がけてほしい。
成績評価の方法	出席状況、平常点、小テスト・中間テスト、期末テストによって総合的に評価する。
教科書	相原茂 陳淑梅著『語学三十六景』（東方書店）2,520円

外国語

科目名	中国語IA・中国語IB	開講	通年	単位	2
配当	営A1年				
担当者名	本間 <small>ほんま</small> 由香利・曹 <small>そう</small> 泰和				

講義のねらい

中国語に興味と関心を持ってもらうこと。

講義の内容・授業スケジュール

単語の発音と意味の確認、文法の説明及び例文の発音と意味をIAで行い、文法の復習と会話文の発音と意味及び会話練習をIBで行う。

履修上の留意点

練習問題は自宅で解答しておくこと。必ず出席して声を出して発音練習すること。

成績評価の方法

出席を重視し、平常点（授業態度）、小テスト、学期末テストを総合的に評価します。評価はA、Bでそれぞれ行います。

教科書

本間史・孟広学『中国語ポイント55』（白水社）2,415円

参考書等

授業の中で紹介する。

科目名	中国語IA・中国語IB	開講	通年	単位	2
配当	営A1年				
担当者名	塩旗 <small>しおけした</small> 伸一郎 <small>しんいちろう</small>				

講義のねらい

中国語の音声的魅力を体感するとともに、その構造的特徴や、表現の背景にある文化、ひいては中国人のものの考え方や世界観を理解すること。それは私たち自身の言葉や習慣、社会について異なる視点から捉えなおすことにも繋がるだろう。

講義の内容・授業スケジュール

北京ロケによる最新ビデオを楽しみながら、生きた中国語を場面に戻して練習する。課ごとの仕上げはビデオに合わせたバーチャル会話。  
音を離れて言葉は存在し得ない。漢字だけ睨んで当て推量する暗号解読作業に陥らぬため、定期試験の約半分は音声により出題する。また年間を通じて聞き取り・発音等の小テストを盛大に行う。

履修上の留意点

IAとIBが連動するので、必ずセットで履修すること。  
なお、携帯電話&メールの電源を切らぬ者は、そこにいないのと同じ。退席を命じ、欠席扱いとする。

成績評価の方法

定期試験+小テスト+平常点-欠席点。IAとIBは連続した通年授業だが、便宜上、前期の成績をIAに、後期の成績をIBに反映させる。  
「平常点」とは「出席点」ではない。ただ坐っていれば評価されると期待するのは大いなる誤解である。  
前期、火曜と土曜を合わせて欠席3回を超えると、1回につき10点ずつ減点する。遅刻は2回で欠席1回に換算する。

教科書

相原茂・李貞愛『北京コレクション入門篇』（朝日出版社）2,625円

科目名	中国語IA・中国語IB	開講	通年	単位	2
配当	営A1年				
担当者名	吉田 建一郎・佐藤 普美子				

講義のねらい	中国語の発音のしかた、初級段階での基本文法を学びます。
講義の内容・授業スケジュール	二人の教員が連携して授業を進めます。発音の基礎をマスターした後、基本的語彙・表現を身につけます。
履修上の留意点	ともかく大きな声を出しましょう。そして、欠席しないこと！
成績評価の方法	小テスト（前後期各2回）、学期末テスト、出席状況によって総合的に評価します。
教科書	楊凱栄・張麗群『中国語へのアプローチ』（朝日出版社、2,415円）

科目名	中国語IC（会話） 中国語IC（会話）〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	営A1年 営A234年				
担当者名	秋元 翼				

講義の内容・授業スケジュール	まず中国語の音節の正しい発音の仕方を学び、四声（アクセント）を聞き分け、言い分けられるようにする。その後、一年を通して、基本単語や日常的によく使う表現を漢字を見ないでも意味が分かるようにヒヤリング能力を高め、会話能力の基礎を養う。
履修上の留意点	教室ではできるだけ教科書から目を離し、文法にはあまりこだわらず耳と口を働かせて楽しく学んで欲しい。4分の3以上の出席が必要。
成績評価の方法	平常の学習態度や到達度と、中間・期末のテストの結果によって総合的に評価する。
教科書	楊光俊等著『すぐに使える中国語』郁文堂、2500円

科目名	中国語IIA	開講	通年	単位	2
配当	国地文環境日外考商政営A2年				
担当者名	橋本 <sup>はしもと</sup> 幸枝 <sup>さちえ</sup>				

講義のねらい

あまり長くなく、比較的読み易い文章をきちっと読めるようになることを目指す。既習の文法を定着させ、更に補語や複文表現を学ぶ。また発音をしっかり習熟させる。

講義の内容・授業スケジュール

本文がきちっと訳せるかチェックし、単語の意味、文章構造、文法事項を解説する。練習問題により理解できたか確かめる。2週間に1課の目安で進めていく。

履修上の留意点

欠席しないように。課題をしっかりとやってくること。

成績評価の方法

出席状況、授業態度、課題、前後期の期末テストで総合的に評価する。

教科書

杉野元子著『大学生のための現代中国12話』（白帝社）2,625円

科目名	中国語IIA	開講	通年	単位	2
配当	国地文環境日外考商政営A2年				
担当者名	福地 <sup>ふくち</sup> 桂子 <sup>けいこ</sup>				

講義のねらい

自分で辞書をひいて、簡単な文章が読めることを目指す。  
文法は中国語Iで学んだ基礎を定着させ、さらに接続詞を使った複文を学ぶ。  
中国語IIに引き続き、正確な発音の練習に力を入れる。  
中国の社会文化に対する理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

中国の文化を紹介した文章を読む。  
文法事項を体系的に把握する。  
下記の教科書を用い、だいたい2週間に1課の進度で進めていく。

履修上の留意点

必ず予習してくること。  
授業に辞書を携帯すること。

成績評価の方法

前・後期（各2回）の総合テスト、小テスト、授業での発表内容、出席状況（3/4以上出席すること）を総合して評価する。

教科書

名和又介『ビデオで学ぶ中国文化』（金星堂）2,800円

科目名	中国語II A	開講	通年	単位	2
配当	国地文環境日外考商政営A3年				
担当者名	児島 弘一郎 <small>こじま こういちろう</small>				

講義のねらい

中国語Iで学習した発音・単語・文法事項を復習しつつ、中国文化に関するテキストを精読し、中国語の文章を理解するための総合的な力を養成します。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの訳読と練習問題は受講者を随時指名して進め、発音の矯正、単語の解説、文法事項の整理、構文・文脈の把握などを行ないます。中国文化に関連する書籍・写真や具体的なモノに触れる機会も、多く設ける予定です。

履修上の留意点

毎回の出席と予習・復習は不可欠です。有効な勉強法については、教場で指導します。また、辞書をこまめにひく習慣を身につけてください。

成績評価の方法

前期・後期の試験、数回実施する小テスト、出席状況によって総合的に評価します。

教科書

荒屋勸・尹景春・阿部博幸『中国と日本』(朝日出版社) 2100円 CD付

参考書等

辞書や中国文化の理解に資する参考書などは、教場で紹介します。

その他

語学はコツコツやるよりほかに上達の方途はありません。毎回の授業に、真摯かつ謙虚に臨んでください。

科目名	中国語II A	開講	通年	単位	2
配当	国地文環境日外考商政営A2年				
担当者名	弘兼 加奈子 <small>ひろかね かなこ</small>				

講義の内容・授業スケジュール

一年次で学んだことを定着させ、更に発展させることを目標とする。課文には高校の漢文でなじみ深いものも一部含まれる。翻訳が中心となるが、発音・声調も重視していく。

成績評価の方法

年数回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

于振領『中国歴史故事』(駿河台出版社) 1500円

科目名	中国語II A	開講	通年	単位	2
配当	国地文環境日外考商政営A2年				
担当者名	江林 英基				

講義のねらい	講読と文法をかねた中級テキストを用いて、文章を正確に読み、文法を理解することによって翻訳力の育成をはかる。
講義の内容・授業スケジュール	語句と文章の意味を説明して、文形の構造（文法）を解説する。朗読力を高めるため文章を読ませる。二週間に一課の進度で授業を進めていく。
履修上の留意点	三分の二以上の出席が必要、授業中に私語を禁止する。
成績評価の方法	出席状況、学習態度、宿題、小テスト、学期末テストによって総合的に評価する。
教科書	中川正之、沈国威編著『中国語中級教科書（読物、文法編）』（白帝社）1400円。

科目名	中国語II C（会話） 中国語II C（会話）〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	営A2年 営A34年				
担当者名	宮本 厚子				

講義のねらい	これまでに学んだ中国語を口に出せるよう定着させるとともに、新たな構文を学び、表現する力を養成する。
講義の内容・授業スケジュール	教科書に沿って、実際に役に立つフレーズ、単語を増やしていく。
履修上の留意点	書き取りか暗誦のどちらかを毎回課すので、必ず準備してから授業に臨むこと。また、予習も必要である。
成績評価の方法	年4回のテストと平常点で行う。テストは期末は筆記試験とし、中間に口頭での試験を行う。
教科書	三瀧正道・金子伸一著『やさしいビジネス中国語』（朝日出版社）2200円（税抜き）

科目名	中国語III A 中国語III A〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	営A3年 営A4年				
担当者名	王 聡				

講義のねらい	中国語の文章や文法事項の学習と同時に、中国語の日常会話や中国文化の学習も並行していきます。
履修上の留意点	予習を済ませてあることを前提に授業をします。
成績評価の方法	前期試験40%、後期試験40%、出席率・授業態度20%
教科書	相原茂・楊凱榮・張麗群『ドリル式中国語テキストII』（くろしお出版）1,890円

## 〔スペイン語〕

科目名	スペイン語ⅠA	開講	通年	単位	2
担当	営A1年				
担当者名	佐藤 佐知				

## 講義のねらい

テキストに沿ってスペイン語の初級文法を学び、その知識をもとに作文・会話練習を行い、表現力を身につける。

## 講義の内容・授業スケジュール

前期：動詞の現在形を中心に学ぶ。最終的には自己紹介など、自由作文で作成または発表できるようにする。

後期：前期の復習をもとに、他の時制（過去・未来形）を学ぶ。スペインで出版されている簡単な読み物を辞書を用いて読解できるくらいのレベルを目指す。

## 履修上の留意点

授業は復習に重点をおく形式で進める。そのため、授業中に時間を与えて課題などをやってもらう事があるため、テキストだけでなく辞書は各自必ず用意してもらいたい（辞書に関しては初回の授業でいくつか紹介する）。

## 成績評価の方法

学期末試験の点数と、平常点（出席、小テスト、授業への積極的参加など）をあわせ、総合的に評価する。

## 教科書

福嶋 教隆「生き活きスペイン語」朝日出版社 2000円 ISBN4-255-55013-1 C1087

科目名	スペイン語ⅠA	開講	通年	単位	2
担当	営A1年				
担当者名	ルイズティノコ, C.				

## 講義のねらい

この授業ではスペイン語の文章を読んで、練習をしながら文法の基本的な会話能力を身につけることが目標である。

## 講義の内容・授業スケジュール

前期は発音、簡単なあいさつ、規則動詞などから不規則動詞まで学ぶ予定である。

後期は不規則動詞、間接目的格、直接目的格、再帰動詞、現在完了、点過去、線過去、未来形などを学ぶ予定である。ビデオを見ることもある。

## 履修上の留意点

毎回の練習は重要なので出席を重視する。

## 成績評価の方法

前期と後期の成績、出席と授業参加の状態で評価する。

## 教科書

未定

科目名	スペイン語ⅠA	開講	通年	単位	2
配当	営A1年				
担当者名	亀山 晃一 <small>かめやま こういち</small>				

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当たって役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

科目名	スペイン語ⅠA	開講	通年	単位	2
配当	営A1年				
担当者名	上野 勝広 <small>うえの かつひろ</small>				

講義のねらい

スペイン語の基礎（発音・文法・語彙）を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて、前期は1課～5課まで、後期は6課～10課を解説します。同時に口頭および筆記の練習も行います。

履修上の留意点

少しでもスペイン語を身につけるには、ただ授業に出席するだけでは達成できません。集中して教師や録音CDのスペイン語を聴き、疲れるくらい口や手を動かしてレッスンに励みましょう。  
また最低限の復習も欠かせません。

成績評価の方法

年間4回のテスト結果（70％）に平常点（30％）を合わせて評価します。

教科書

上野勝広『改訂版・新世紀のスペイン語』（同学社）2,500円

参考書等

初回の授業で紹介します。



科目名	スペイン語IB	開講	通年	単位	2
配当	営A1年				
担当者名	佐藤 麻里乃 <small>さとう まりの</small>				

- 講義のねらい

文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的な構造を理解する。
- 講義の内容・授業スケジュール

教科書にそって解説と練習を行う。性数変化、動詞の変化（現在形・過去形）、再帰動詞、人称代名詞、分詞などを主に扱う。また必要に応じて適宜小テストを行う。
- 履修上の留意点

教科書と辞書を毎回必ず持参すること。授業中は先生の話をよく聞き、きちんとノートをとること。宿題が出たら必ずやってくること。
- 成績評価の方法

主として試験によるが、授業態度が悪い場合はさらに減点となる。
- 教科書

パロマ・トレナド他『プラサ・マヨールI（ソフト版ーベーシックスペイン語）』朝日出版社
- 参考書等

三省堂『クラウン西和辞典』

科目名	スペイン語IB	開講	通年	単位	2
配当	営A1年				
担当者名	米田 博美 <small>よねだ ひろみ</small>				

- 講義のねらい

我々はITグローバル化時代に生きている。インターネットを通じて、キューバやスペイン、アルゼンチンの音楽を聴いたり、NHKのRadio Japan が世界に配信する今日の出来事を聞いたり読むことも容易に出来る。スペイン語を学ぶ者にとって、これ以上の好環境はない。スペイン語を母国語とする多くのラテンアメリカ諸国の経済成長率は高く、日本との結びつきも益々深まることでしょう。その意味で、スペイン語の重要性は確実に増しています。強い目的意識と希望をもって新たな挑戦をしてください。
- 講義の内容・授業スケジュール

年間スケジュールとして、下記テキストの1～7課までの範囲を学習します。
- 履修上の留意点

スペイン語は、発音しやすく聞きとりやすいと言われますが、語学の学習は、基礎の積み重ねが特に大切であり、欠席をしないように。
- 成績評価の方法

成績は、一般の授業態度、出席、テストなどにより総合的に判断します。
- 教科書

「英語からスペイン語へ」（細川幸夫著、弘学社）
- 参考書等

辞書は、「クラウン西和辞典」（三省堂）、「現代スペイン語辞典」（白水社）、「和西中辞典」（小学館）、「新スペイン語辞典」（研究社）などを推薦しておきます。
- その他

文法的説明に終始することなく、スペイン語の楽しさを味わい、スペイン語圏の文化や社会についても関心を深めることができるようコメントをしたり、世界遺産のビデオ鑑賞の機会もつくる予定です。

科目名	スペイン語IB	開講	通年	単位	2
担当	営A1年				
担当者名	栗林 <small>くりばやし ゆきえ</small> ゆき絵				

講義のねらい

基本的な単語や挨拶のほか、基本的な文法事項を整理してスペイン語のことばのしくみを学習し、日常の簡単な会話に応用できることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、文法事項の説明と、それを応用した練習問題、という構成で進める。前期は現在形(下記教科書8課の動詞まで)、後期は過去形(14課まで)を中心に学習する。随時、小テスト(活用・単語)を実施。

履修上の留意点

月1回程度小テストを行うので、少しずつ文法や語彙を身につけていってほしい。

成績評価の方法

小テスト30%(日程は授業中に指示)、前後期の期末試験70%。半期で5回以上欠席した者は試験の受験を認めない。

教科書

西川喬『さあ、始めようスペイン語』(同学社) 2,500円

参考書等

〈辞書〉『プログレッシブ スペイン語辞典』(小学館)

科目名	スペイン語IB	開講	通年	単位	2
担当	営A1年				
担当者名	<small>おどの まさじ</small> 荻野 雅司				

講義のねらい

スペイン本国のスペイン語に限らず、中南米で今日常用されているものも含めて、スペイン語の全体を概観することを狙いとしています。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って初級スペイン語を学習して行きますが、言葉のみでなく、出来るだけヒスパニック圏の人々の物の考え方や文化、習慣を学ぶことで、communicationがより容易に行えるようになります。

さらに、このクラスはスペイン語の理解を促進するために、英語の語法との対比を常時行なうことを特徴の一つとしています。

成績評価の方法

原則として年2回正規のテストを行いますが、総合的な成績の評価に当たっては、良くても、悪くてもテストの結果のみによってこれを行いません。むしろ、日頃の出席状況と受講態度を同じくらいに重視して評価します。

教科書

細川幸夫著『英語からスペイン語へ』(弘学舎)

科目名	スペイン語IC (会話) スペイン語IC (会話)〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	営A1年 営A234年				
担当者名	ルイズティノコ, C.				

講義のねらい

この授業では文法を学びながら様々な表現や言い方を練習して覚えられるようにしたいと思います。  
表現力や会話能力を高めることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、様々なあいさつ、描写の表現、物の位置の言い方、道の説明、などを学ぶ予定である。  
後期は、日付、時間の表現、好みを表す表現、買物の表現などを学ぶ予定である。ビデオを見ることもある。

履修上の留意点

毎回の練習は重要なので出席を重視する。

成績評価の方法

前期と後期の成績、出席と授業参加の状態で評価する。

教科書

未定

科目名	スペイン語IIA	開講	通年	単位	2
配当	国地文環境日外考商政営A2年				
担当者名	眞下 祐一 <small>さしも ゆういち</small>				

講義のねらい

一年次で学んだスペイン語の基礎を完成し、以降の学習につなげていくための授業です。復習にも力を入れましょう。読み、書き、聞き、話す四つの能力の総合的なトレーニングです。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の目次に沿って授業を進めます。一年次の復習の後、動詞の接続法の活用まで学びます。授業中に練習問題のプリントを配布します。

履修上の留意点

予習・復習は欠かせません。また常にスペイン語圏のニュースに注意していること。

成績評価の方法

100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は2回の期末試験と小テストなどの結果で評価します。

教科書

東京大学教養学部スペイン語部会『ディメロースペイン語初級-』（朝日出版社）

科目名	スペイン語II A	開講	通年	単位	2
配当	国地文環境日外考商政営A2年				
担当者名	上野 勝広 <small>うえの かつひろ</small>				

講義のねらい

スペイン語Iで学習した基礎（発音・文法・語彙）を確認しながら発展させるクラスです。前期は既習事項の復習にも重点を置きます。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて、前期は1課～15課まで、後期は16課～22課を学習します。随時プリントも配布し、口頭および筆記の練習を追加します。またテキスト後半のエッセイを随時取り上げ、読解力の向上を図ります。

履修上の留意点

休まず遅れずきちんと授業に参加することが肝要です。授業には必ず辞書を持参すること。スペイン語本文の音読や練習問題は、指名して読んだり答えてもらいます。原則的に毎回課題があり、翌週の授業でチェックします。

成績評価の方法

年間4回のテストの結果（70％）に平常点（30％）を合わせて評価します。

教科書

菊田 和佳子／丹波 美佐子『二つの世界で』（同学社） 2,700円

科目名	スペイン語II C（会話） スペイン語II C（会話）〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	営A2年 営A34年				
担当者名	真下 祐一 <small>ましも ゆういち</small>				

講義のねらい

旅先で、また日々の暮らしの中で、あなたがスペイン語に接する機会はますます増えていくでしょう。実際の場面で簡単でも適切な表現が自然と口をついて出てくるくらいスペイン語に親しんでください。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の目次に沿って授業を進めます。一年次の復習から始め、すぐに答えられるドリル形式の問題に大きな声ではっきりと答える練習などを通して自由な会話力の基礎を固めます。

履修上の留意点

予習・復習を忘れずに。大きな声でしっかり練習しましょう。また自分の言いたいことだけを言うのではなく、相手の言うことがよく理解できるよう、聴解力を養う努力もしましょう。

成績評価の方法

100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残りの60点は二回の期末試験と聞き取りなどの小テストの結果で評価します。

教科書

坂東省次ほか『改訂版』コミュニケーションのためのスペイン語』（第三書房）

科目名	スペイン語ⅢA スペイン語ⅢA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	営A3年 営A4年				
担当者名	ましも ゆういち 真下 祐一				

## 講義のねらい

三年目のスペイン語です。これまでに学んだスペイン語の基礎を確かなものとしながら、以降各人が勉強を続けていくために必要な土台の完成に努めます。

講義の内容・  
授業スケジュール

目次に沿って進めます。はじめに各テーマについて解説を行い、次に練習問題によって理解を確実にします。これまでの勉強の復習にも役立つテキストを選びました。

## 履修上の留意点

新聞記事などスペイン語の短い読み物も随時配布する予定です。これで最後というより、さあこれからといった姿勢で勉強に取り組みましょう。

## 成績評価の方法

100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は二回の期末試験と小テストの結果で評価します。

## 教科書

Sánchez Pérez, Aquilino. 『en DIRECTO』 SGEL.

## ロシア語

### 外国語

よく一国を理解するにはその国の言葉を学べば、一番よくわかると人々の口に伝えられているように、現代ロシアの秘められた部分を理解するには、ロシア語を学ぶことが一番手っとり早い方法です。一口にロシア語と言ってもそれはモスクワを中心とした東スラヴ語をさします。ロシア語と兄弟の関係のように近い、よく似た言葉には、ポーランド語、ブルガリア語、ウクライナ語、チェコ語、スロヴァキナ語、セルビア語、マケドニア語、多くの言葉があります。これらの中東欧語を理解するうえでも、ロシア語は、もっとも基本的な言葉となります。またこれらのスラヴ諸国を理解するうえでもロシア語が最も中心的な位置を占めていると言っても過言ではありません。しかもロシア語人口はヨーロッパの全人口に匹敵し得る程の数にのぼっているのです。これからの国際化時代にはどうしても見すごすことのできない言葉と言えます。21世紀においては、単にロシア語を学ぶことのみならず、その背後にある文化と広大な精神風土についても学ぶことは多いに価値があることです。駒澤大学でのロシア語はこの国際化時代に向けて、実際に使えるロシア語の学習をめざします。ロシア語もどんどん変化しつつある昨今ですが、そのような流れにも常に敏感でありたいと願っています。

なお、一週間に学ぶロシア語の時間は現状では圧倒的に不足していますが、与えられた時間を最大限に有効に使うために次のような目標をたて、年間スケジュールで授業はすすめられます。

I A・I B：発音や聞きとり、発話を中心に学び、やさしい基本文法を一年間で修了させます。細目は以下の授業内容を参考にしてください。なお、一部のクラスはパソコンによるロシアサイトをリアルタイムでみたり、聞いたりする時間ももちます。

II A・II B：一年のI A・I Bのロシア語を基礎にさらに会話や聞きとり、読解力をつけます。また一年でやりのこした文法の能動・被動、副動詞などの事項や、より複雑な文章を理解する練習をします。

なお、最後に参考として辞典の紹介を若干しておきます。

- 『露和辞典』（研究社）東郷 正延他著
- 『露和辞典』（岩波書店）和 久利他編
- 『博友社ロシア語辞典』（博友社）木村 彰一他編
- 『和露辞典』（研究社）藤沼 貴著
- 『和露辞典』（講談社）佐藤 勇著

科目名	ロシア語ⅠA	開講	通年	単位	2
配当	営A1年				
担当者名	杉山 <sup>すぎやま</sup> 秀子・佐野 <sup>さの</sup> 朝子 <sup>あさこ</sup>				

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期はイントネーションや発音に力点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円

参考書等

『露和辞典』

科目名	ロシア語I B	開講	通年	単位	2
配当	営A1年				
担当者名	廣田 <sup>ひろた</sup> 英靖 <sup>ひでやす</sup>				

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらいます。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は発音、イントネーションに重点をおき、後期はやさしい短文の読みや初級文法のエッセンスを学びます。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円

参考書等

『露和辞典』

科目名	ロシア語IC (会話) ロシア語IC (会話) [再クラス]	開講	通年	単位	2
配当	営A1年 営A234年				
担当者名	佐野 <sup>さの</sup> 朝子 <sup>あさこ</sup>				

講義のねらい

このクラスはロシア語をはじめて学ぶ学生を対象とします。文法を学び、辞書を使ってテキストを読んでいくクラスよりロシア語をより身近に感じるよう、500ぐらいの単語だけを使って、発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいきます。

会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。

履修上の留意点

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教科書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に取りにくい教科書ですので、コピーを用意します。



科目名	ロシア語IIA	開講	通年	単位	2
担当	国地文環境日外考商政営A2年				
担当者名	木村 英明 <small>きむら ひであき</small>				

講義のねらい

1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

出席と平常点を重視します。

教科書

『やさしいロシア語読本』(大学書林)。1年次に使用した教科書と文法表。

その他

プリント配布。教場にて指示します。

科目名	ロシア語II C (会話) ロシア語II C (会話)〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
担当	営A2年 営A34年				
担当者名	クロチコフ, Y.				

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。講師が作成した練習テキストを用い、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に、時々、簡単なテストを行います。

教科書

杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林) 1,751円、その他。  
プリント配布。  
ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	ロシア語ⅢA ロシア語ⅢA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	宮A3年 宮A4年				
担当者名	クロチコフ, Y.				

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。講師が作成した練習用テキストを用い、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。  
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

講義の内容・  
授業スケジュール

以前に学習した発音、文法、会話の復習。講師が作成した練習用テキストを用い、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習する。

履修上の留意点

出席を重視します。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に、時々、簡単なテストを行います。

教科書

学生の学力に応じて教科書を選びます。  
プリント配布。

その他

ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	英文講読	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	林 <sup>はやし</sup> 明人 <sup>あきと</sup>				

講義の内容・  
授業スケジュール

現代アメリカ文学の短編をなるべくたくさん読みます。単に英語を読むことから鑑賞できるようにすれば幸いです。

履修上の留意点

遅刻（交通機関の遅延を除く）及び授業中の出入りは認めない。

成績評価の方法

①試験、②レポート、③出席、④発表で総合評価するが、出席は3分の2を越えていなければならぬ。出席以外のそれぞれの評価が一つでも4割に満たない場合は単位を認めない。

教科書

教員が作成したものを uses。

科目名	英文講読	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	矢島 <sup>やじま</sup> 直子 <sup>なおこ</sup>				

講義のねらい

現在イギリスで日常使われている英語を学びます。2006年2月にロンドンで上演された戯曲を読みます。残念ながら、芝居は見えていません。

講義の内容・  
授業スケジュール

本を読み、意味を取っていきます。その際、どういう事を伝えようとしているのか、想像力を働かせて読み取ること。現代チャキチャキの言葉で書かれていますから、見た目は易しくても、内容を理解するのは難しいです。できれば、1年間で最後まで読み終えたいです。

履修上の留意点

ほとんど毎回当てて、読んで意味を言ってもらいますから、必ず1回の授業の全範囲を予習しておくこと。辞書の文例まで読まないで、意味が分からないことがあります。1回目の授業から必ず出席してください。

成績評価の方法

平常点と、前・後期末試験の結果を、総合的に判断して評価します。

教科書

Laura Wade, 「Other Hands」 Oberon Modern Plays, £ 8.99, ISBN 1-84002-650-2.

科目名	英文講読	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	<small>まさの てるよし</small> 牧野 輝良				

講義のねらい	英語の長文の内容理解に努める。
講義の内容・授業スケジュール	英文の構造をしっかりと学習し、毎時間3頁読み進めることを目安とする。
履修上の留意点	テキストの文章がかなり長いから、履修者は指名されたら内容の発表、和訳ができるようによく自習しておくこと。
成績評価の方法	授業中の発表、和訳、期末テストを総合的に評価するが、英語の理解力に力点をおく。
教科書	『西欧文明をどう理解するか』(南雲堂) 1,600円+税 ISBN4-523-03656-X

科目名	時事英語研究	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	<small>たかの ひでお</small> 高野 秀夫				

講義のねらい	今や、日常生活のなかに real time で入って来る世界のニュースを捉える学修は欠かせない。この時事英語の授業では、できるだけ新しい英語ニュースの教材で、時々刻々と変わる国内外の動向を異文化の視点で捉え、国際社会の理解に努め、英語力増強を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	教科書では、時事英語 (Current English) の特徴 “最初の部分で全文の内容が捉えられるように書かれている” を読み込んで生きた英語の理解に努める。
履修上の留意点	毎時間、英語での質疑応答があるので予習は欠かせないこと。英語で世界の動きを捉える習慣を身に付けること。
成績評価の方法	前、後期末テスト、平常点 (出席点、レポート等)
教科書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ TV News Watching 21 Approaches (北星堂)</li> <li>・ An Introduction to Media English (北星堂)</li> <li>・ プリント</li> </ul>

科目名	時事英語研究	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国地文環境歴史日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	林 <small>はやし あきと</small> 明人				

講義のねらい

CNN, Herald Tribune 紙などから集めたニュース英語によく使用される語をキーとした短文をたくさん読むことにより、そのキーワードの意味、および使い方をおぼえることを目的とします。そのほかに実際に英字新聞を読みます。  
尚、履修希望者が70名を越えた場合は、4月の第1回目の授業で抽選となります。

講義の内容・授業スケジュール

CNN, Herald Tribune 紙などから集めたニュース英語によく使用される語をキーとした短文をたくさん読むことにより、そのキーワードの意味、および使い方をおぼえることを目的とします。そのほかに実際に英字新聞を読んだりします。

履修上の留意点

遅刻（交通機関の遅延を除く）及び授業中の出入りは認めません。

成績評価の方法

①試験、②レポート、③出席で総合評価するが、出席は3分の2を越えていなければならない。出席以外のそれぞれの評価が一つでも4割に満たない場合は単位を認めない。

教科書

教員が作成したものを用います。

参考書等

『Sanseido's Dictionary of News English』（三省堂）

科目名	時事英語研究	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国地文環境歴史日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	<small>きしもと しげかず</small> 岸本 茂和				

講義のねらい

1980年以降のアメリカ社会でどんなことが起こってきたか。それを解く鍵のことばが、“racism”（人種差別主義）・“sexism”（性差別主義）・“political correctness”（政治的妥当性）・“multiculturalism”（多文化主義）などだ。すこしむつかしいかもしれないが、読みごたえのあるいい文章だ。できるだけ読みすすみたい。

講義の内容・授業スケジュール

この授業はいわゆる講義ではなくふつうの英語のクラスだ。  
「時事英語研究」と銘うちながら新聞・雑誌をよまないのを不審におもうのももっともだが、時事関係の文書については随時プリントを配布する。

履修上の留意点

授業にはかならず英和辞書をもってくる。電子辞書も可。予習は必須。

成績評価の方法

試験は前期・後期の2回。欠席が授業日数の3分の1を越えたばあい「不可」とする。

教科書

『現代アメリカの＜美德＞』（朝日出版社）定価1,359円＋税

その他

受講者は40人を上限とする。

科目名	時事英語研究	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	おちあい かずあき 落合 和昭				

講義のねらい

新聞、雑誌、ニュース等の英語のヒヤリングと読解。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、主として、二つの部分からなる。第一の部分では、ニュース英語のヒヤリングやディクテーションをする。第二の部分では、新聞、雑誌、ニュース等の英語を正確に読む練習をする。

履修上の留意点

授業は、徹底した演習形式をとるため、学生の予習を前提にして、進める。できるだけ多くの学生に、順不同に当て、積極的に参加してもらうために、受講学生を70人以下に制限する。受講希望者が70人を越えた場合は、最初の授業で、抽選を行う。そのため、最初の授業に出席しない学生はこのクラスを受講できない可能性がある。

成績評価の方法

前期試験は20%、後期試験20%、課題・授業中の発表・小テスト等は60%（課題は年間約10回前後の提出を予定。授業中の発表等に関しては、できるだけ多くの学生に当てるように気をつける）。出席率が平常授業（前期・後期試験は除く）の3分の2を越えなければ、成績は「不合格」とする。また、遅刻は2回で、欠席1回とし、30分以上の遅刻は欠席とする。

教科書

- 『続・英字新聞用語速習法』 マクミラン 1600円  
ISBN4-89585-524-4
- 『読んで学んで英字新聞』 英宝社 1600円  
ISBN978-4-269-190302 C1082
- プリント

科目名	時事英語研究	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	やじま なおこ 矢島 直子				

講義のねらい

アメリカ、イギリスの新聞を読めるようになってもらいたいです。

講義の内容・授業スケジュール

英字紙の電子版を編集した教科書の中から記事を読んでもらい、意味を取っていきます。必要な場合は、文法・構文の説明をし、全体を把握してもらうようにします。進み具合は、学生次第です。

履修上の留意点

毎回どんどん当てて読んでいってもらいますから、辞書を引いてしっかり予習してきて下さい。必ず1回目の授業から出席すること。

成績評価の方法

平常点と、前・後期末試験の結果を、総合的に判断して評価します。

教科書

- 佐藤公雄『オンラインニュースで学ぶ世界情勢』成美堂、¥1,800円 ISBN 4-7919-1043-5。

科目名	マルチ・メディア	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政管A選				
担当者名	おちあい かずあき 落合 和昭				

## 講義のねらい

このクラスにタイトルを付けるとすると、「日常会話から映画の英語へ」とでもなるだろう。このクラスのレベルは英語の中級（二級、準一級）程度とする。自然な日常会話文や映画の台詞（せりふ）を通して、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを第一目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。さらに、時間が許す限り、アメリカやカナダの作家、都市、国立公園等に関するビデオを鑑賞し、ヒヤリングの向上、文化や自然の多様性を学ぶ。

## 講義の内容・授業スケジュール

一回の講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、日常会話文や映画を通して、英語の自然なスピードに慣れ、ヒヤリングを向上させる。第二段階は、その会話文や映画の中で、使用されている表現の意味や用法を、文字を通して、確認する。第三段階は、学生に登場人物になってもらって、会話文や台詞を再現しながら、会話練習をする。授業は徹底的した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

## 履修上の留意点

このクラスの受講生はすでに口語英語を一年以上学んでいることが望ましい。初めて口語英語を学ぶ学生には、かなりづらい授業になるかもしれない。課題、小テスト、授業中の発表等で、かなりのことを要求するので、そのつもりで受講するように心がけてもらいたい。また、受講を希望する学生は、最初の授業の時に、必ず、担当者の許可を得なければならない。教場は46名しか入れないLL教場を使用するので、46名以上の履修希望者がいた場合は、最初の授業の時に、抽選をする。そのため、最初の授業に出席しない学生はこのクラスを受講できない可能性がある。

## 成績評価の方法

定期試験は全評価の40%（前期試験が20%、後期試験が20%）である。課題、小テスト、授業中の発表等は60%とする。課題は10回程度、一回の授業に、全員が最低一回は当てるように努める。出席率は平常授業（前期・後期試験は除く）3分の2を越えなければ、成績は「不合格」とする。また、遅刻2回で、欠席1回とし、30分以上の遅刻は欠席とする。出席率が3分の2を越えなければ、成績は「不合格」とする。

## 教科書

- 『映画総合台本 ノッティングヒルの恋人』 松柏社
- 『イディオム書き取り練習帳』 鶴見書店
- 『L.A. ビート、ビデオで見るロサンジェルス』 朝日出版社  
1800円 ISBN4-255-15322-1 C1082

科目名	マルチ・メディア	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	大庭 <small>おおば なおき</small> 直樹				

講義のねらい

このクラスは、マルチメディアを使って英語を学ぶクラスである。  
 第一の課題は、インターネットを使って、世界の最新のニュースがどのように報道されているかを比較しながら読んでいく、ことである。インターネットという広大な情報空間から、必要な情報を探索し、その内容を理解するという訓練を積む。  
 第二の課題は、研究、文献・資料整理等、カード型のデータベースの作り方を学び、またその有効的な使い方を身につける。具体的には、データベース・ソフト「ファイルメーカー」を使い、自分用の英語彙データベースをつくる。  
 第三の課題として、Wordと電子辞書を使いながら、英語による論文、公式文書、ビジネス文、手紙等の書き方を訓練する。  
 第四の課題は、英語の映画を一本観ながら、英語の表現の意味内容を徹底的に研究していく。

履修上の留意点

受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが条件である。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のファイルを提出してもらおう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。

そ の 他

受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室（朝9時より夜9時まで開館）で補修すること。



科目名	マルチ・メディア	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	にしむら ゆうこ 西村 祐子				

外国語

講義のねらい

英語による欧米の学部レベルの授業を体験させ、英語によるプレゼンテーション能力、聞き取り、理解力、読解力、作文能力などを総合的に高めるクラス。前半、後半ともそれぞれ8回程度アメリカシアトル市のワシントン大学とテレビ会議システムでつなぎ、インターアクティブなレクチャーを進める。テレビ会議を行わない週には英語でレクチャー内容の復習、予習などを行う。講義は社会科学系のテーマで、現代日本社会論、日米のNPO比較、NPOにおけるインターンシップの詳細などである。

講義の内容・授業スケジュール

4－7月：米国ソーシャルワークとコミュニティビルディングの歴史をワシントン大学側がレクチャー（計4回）。日本現代社会論（社会福祉政策、公益法人とNPO、現代若者文化、ジェンダーなど）を西村がレクチャー（計4回）。（授業はワシントン大学ソーシャルワーク学部学生と共同聴講）。隔週でテレビ会議に備え、前回レクチャーの復習と次回レクチャーの予習を教場授業で行う。

9－12月：現代日本社会論のレクチャーをテレビ会議システムで8回にわたりワシントン大学に配信。ここで本授業受講者はテーマを現代社会論の中から決めてそれぞれ15分程度のプレゼンテーションを行う。

履修上の留意点

受講資格は最低TOEIC650（TOEFL500）レベル以上であること。第一回授業でスクリーニングを行う。英語圏への留学希望者などで英語力アップをめざす学生は積極的に受講してほしい。

成績評価の方法

平常点（出席点、発表など）で評価。定期試験は行わない。

教科書

教場にて指定。

参考書等

授業で指定。

その他

本学ではじめてのテレビ会議によるインターアクティブな日米共同授業であり、本学とワシントン大学の交流プロジェクトの一環となる授業である。この授業とは別にこの授業の受講者に限り、夏季はシアトル市で実際にNPOのインターンシップに参加できる。また、冬季はこの授業を受講しているワシントン大学学生が日本のNPOでの研修に参加する。

科目名	マルチ・メディア	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	大庭 <small>おおば なつき</small> 直樹				

講義のねらい

このクラスは、マルチメディアを使って英語を学ぶクラスである。  
 第一の課題は、インターネットを使って、世界の最新のニュースがどのように報道されているかを比較しながら読んでいくことである。インターネットという広大な情報空間から、必要な情報を探索し、その内容を理解するという訓練を積む。  
 第二の課題は、研究、文献・資料整理等、カード型のデータベースの作り方を学び、またその有効的な使い方を身につける。具体的には、データベース・ソフト「ファイルメーカー」を使い、自分用の英語彙データベースをつくる。  
 第三の課題として、Word と電子辞書を使いながら、英語による論文、公式文書、ビジネス文、手紙等の書き方を訓練する。  
 第四の課題は、英語の映画を一本観ながら、英語の表現の意味内容を徹底的に研究していく。

履修上の留意点

受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが条件である。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のファイルを提出してもらう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。

その他

受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室（朝9時より夜9時まで開館）で補修すること。

科目名	英会話	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	ロビン, G. F.				

講義のねらい

This course will focus on developing conversation skills for students using vocabulary and grammar that would normally have been acquired from previous courses in the school system. New vocabulary will be introduced as needed. Students will be encouraged to express themselves in English through pair and group activities, on which they will be graded.

講義の内容・授業スケジュール

It will consist of pair group, small group, and class discussion activities designed to gradually build and improve upon vocabulary and fluency normally acquired from previous pre-college study of English.

成績評価の方法

According to class participation, homework assignments, and a mid-term and final test, which will be given at the end of each term.

教科書

FIFTY FIFTY STUDENT BOOK 1 WARREN WILSON ROGER BARNARD ISBN-10 9620056655 10 digit

科目名	英会話I	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	ロビン, G. F.				

講義のねらい

This course will focus on developing conversation skills for students using vocabulary and grammar that would normally have been acquired from previous courses in the school system. New vocabulary will be introduced as needed. Students will be encouraged to express themselves in English through pair and group activities, on which they will be graded.

講義の内容・  
授業スケジュール

It will consist of pair group, small group, and class discussion activities designed to gradually build and improve upon vocabulary and fluency normally acquired from previous pre-college study of English.

成績評価の方法

According to class participation, homework assignments, and a mid-term and final test, which will be given at the end of each term.

教科書

FIFTY FIFTY  
STUDENT BOOK 1  
WARREN WILSON  
ROGER BARNARD  
ISBN-10 9620056655  
10 digit

科目名	英会話I	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	ウェルズ, J. K.				

講義のねらい

WELCOME TO ENGLISH CONVERSATION I

Speaking English is not so difficult if you have the interest and belief that you can. I hope to give you this chance to speak without feeling shy!

講義の内容・  
授業スケジュール

First Semester: Pairwork practice answering and asking questions in a relaxed environment. The first semester exam will be an interview that I give you based on the questions and answers you practiced with your partner (s).

Second Semester: Role-playing will be emphasized as I feel that speaking English while moving (not just sitting) is important. It will also give you an opportunity to show your 'acting' skills in front of other people, or should I say speaking skills. Your final exam will be a dialogue that you and your partner create/write and, which you will perform in the classroom. Do not worry, it is fun!

履修上の留意点

Attendance is VERY important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent more than three times during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. There are NO exceptions for activities in sports or for job hunting. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and I know you can attend regularly also.

成績評価の方法

Attendance : 50%  
 Tests : 25% (one test each semester)  
 Quizzes : 25% (usually part of assignments or announced quiz)

教 科 書

There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook to keep all the prints I provide you in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders should NOT be used. I will provide you with B5sized prints so a notebook larger than B5should be used. Notebooks will be checked in the second class.

The first class is very important, so please do not be absent!

そ の 他

I am an American and have been teaching at Komazawa for many many years! It is a great joy to be a part of such a nice university and I hope you will help me enjoy teaching you during the school year. Learning to communicate in English CAN be fun! See you in class soon!

科目名	英会話I	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	ウェルズ, J. K.				

講義のねらい

WELCOME TO ENGLISH CONVERSATION I

Speaking English is not so difficult if you have the interest and belief that you can. I hope to give you this chance to speak without feeling shy!

講義の内容・  
授業スケジュール

First Semester: Pairwork practice answering and asking questions in a relaxed environment. The first semester exam will be an interview that I give you based on the questions and answers you practiced with your partner (s).

Second Semester: Role-playing will be emphasized as I feel that speaking English while moving (not just sitting) is important. It will also give you an opportunity to show your 'acting' skills in front of other people, or should I say speaking skills. Your final exam will be a dialogue that you and your partner create/write and, which you will perform in the classroom. Do not worry, it is fun!

履修上の留意点

Attendance is VERY important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent more than three times during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. There are NO exceptions for activities in sports or for job hunting. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and I know you can attend regularly also.

成績評価の方法

Attendance : 50%

Tests : 25% (one test each semester)

Quizzes : 25% (usually part of assignments or announced quiz)

教科書

There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook to keep all the prints I provide you in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders should NOT be used. I will provide you with B5sized prints so a notebook larger than B5 should be used. Notebooks will be checked in the second class.

The first class is very important, so please do not be absent!

その他

I am an American and have been teaching at Komazawa for many many years! It is a great joy to be a part of such a nice university and I hope you will help me enjoy teaching you during the school year. Learning to communicate in English CAN be fun! See you in class soon!

科目名	英会話	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	ソルタ, P. N. F.				

講義のねらい

Introduction and Class Goals: English Conversation I was designed for typical Japanese high school graduates who have studied English for six years at junior and senior high school, but have great difficulty in speaking and understanding spoken English. This course helps students overcome their natural shyness at speaking in a foreign language, and gives them many opportunities to practice, in a meaningful context, communicating in natural spoken English. This enables students to build up their speaking and listening skills, and improve their ability to understand and use real English for real communication. Finally, this course seeks to increase the number of situations in which students can function using real-world English.

講義の内容・授業スケジュール

Class Contents: Fifteen units from a textbook and the instructor's worksheets will be used as sources of classroom material. The course is based on the principle that the only way to become fluent in a language is through lots of practice. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening exercises. Students will do most of their exercises with one other student (this is called pairwork) to give everyone the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

The units to be covered are:

- Unit 1: Introductions / Classroom Language
- Unit 2: Likes and Dislikes / Adjectives
- Unit 3: Locations / Telephoning (1)
- Unit 5: There is ... There are... / Quantities
- Unit 6: Have..., Want..., Would like..., / Shopping (1)
- Unit 7: Uncountable nouns / At a Restaurant
- Unit 9: Present Continuous / telephoning (2)
- Unit 10: Fashion / Shopping (2)
- Unit 12: Present Simple / Occupations
- Unit 13: Adverbs of frequency / Routines (1)
- Unit 14: Transportation / Work & School
- Unit 15: The Present Tenses / Frequency

履修上の留意点

Class Regulations and Prerequisites: It will be assumed that students taking this course have studied English language at high school level for six years. Students must be willing to take a class where all the teaching will be done in English. Students should note that only two absences per semester are permitted in this course. Constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be essential for a passing grade in English Conversation I.

成績評価の方法

Student Evaluation: A final grade will be based on two measures: an end-of-year exam (60%), and a mark based on attendance, attitude in class and class performance throughout the year (40%). The nature of the exams may vary depending upon the class size. An interview-style exam will given if the number of students is small. Otherwise, listening and written exercises will be used. Bonus marks will be awarded to those students who have only zero/one absence (+10%) or two absences (+5%) throughout the year.

教科書

Textbook and Materials: **Communicate: book 1a** / David Paul / Macmillan Language-House, ¥1,230, ISBN 0-435-26119-3.

科目名	英会話I	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	ソルタ, P. N. F.				

講義のねらい

Introduction and Class Goals: English Conversation I was designed for typical Japanese high school graduates who have studied English for six years at junior and senior high school, but have great difficulty in speaking and understanding spoken English. This course helps students overcome their natural shyness at speaking in a foreign language, and gives them many opportunities to practice, in a meaningful context, communicating in natural spoken English. This enables students to build up their speaking and listening skills, and improve their ability to understand and use real English for real communication. Finally, this course seeks to increase the number of situations in which students can function using real-world English.

講義の内容・  
授業スケジュール

Class Contents: Fifteen units from a textbook and the instructor's worksheets will be used as sources of classroom material. The course is based on the principle that the only way to become fluent in a language is through lots of practice. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening exercises. Students will do most of their exercises with one other student (this is called pairwork) to give everyone the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

The units to be covered are:

- Unit 1: Introductions / Classroom Language
- Unit 2: Likes and Dislikes / Adjectives
- Unit 3: Locations / Telephoning (1)
- Unit 5: There is ... There are... / Quantities
- Unit 6: Have..., Want..., Would like..., / Shopping (1)
- Unit 7: Uncountable nouns / At a Restaurant
- Unit 9: Present Continuous / telephoning (2)
- Unit 10: Fashion / Shopping (2)
- Unit 12: Present Simple / Occupations
- Unit 13: Adverbs of frequency / Routines (1)
- Unit 14: Transportation / Work & School
- Unit 15: The Present Tenses / Frequency

履修上の留意点

Class Regulations and Prerequisites: It will be assumed that students taking this course have studied English language at high school level for six years. Students must be willing to take a class where all the teaching will be done in English. Students should note that only two absences per semester are permitted in this course. Constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be essential for a passing grade in English Conversation I.

成績評価の方法

Student Evaluation: A final grade will be based on two measures: an end-of-year exam (60%), and a mark based on attendance, attitude in class and class performance throughout the year (40%). The nature of the exams may vary depending upon the class size. An interview-style exam will given if the number of students is small. Otherwise, listening and written exercises will be used. Bonus marks will be awarded to those students who have only zero/one absence (+10%) or two absences (+5%) throughout the year.

教科書

Textbook and Materials: **Communicate: book 1a** / David Paul / Macmillan Language-House, ¥1,230, ISBN 0-435-26119-3.

科目名	英会話	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	レーン, C. M.				

外国語

講義のねらい

This class concentrates on improving communication and fluency skills in English. Most Japanese university students already have basic vocabulary and grammatical skills in English. However, they are unable to use them when speaking. Therefore, this course aims to help students learn to use the knowledge they already have, and then to build on this knowledge. During the first semester basic conversation skills will be covered, through pair work and group work, which will be followed during the second semester by more in depth conversational discussions, also in pairs, small groups and through whole class activities. By the end of the year students should feel more confident when speaking English, and should have the ability to hold simple conversations in English, as well as being able to give their opinion on various topics.

講義の内容・授業スケジュール

(If the above is too detailed then please use the below instead)  
 During the first semester students will study basic conversation patterns and will gain confidence and fluency skills in making general conversation. At the end of the first semester students will be required to give a three-minute speech talking about general themes. Then, during the second semester more time will be spent on group discussions whereby the students will be invited to give their opinions on a variety of topics chosen by the teacher. At the end of the year students will give a presentation in small groups on a topic of their choice.

履修上の留意点

As this is an oral English class students will not improve unless they attend most of the classes. Students who are absent without a good reason more than twice a semester will find it hard to pass. Moreover, while it is not necessary for students to be able to speak English really well to enter this class, they must try to speak English as much as they can. If a student is too shy or unable to try then they might find this class difficult.

成績評価の方法

(ア) Attendance 20%  
 (イ) Participation during class 50%  
 (ウ) Homework 10%  
 (エ) Individual presentation 10%  
 (オ) Group presentation 10% As this is a practical class, students must be present and participate actively in order to get a passing grade.

教科書

A good dictionary  
 A file to keep work sheets together-A4 size



科目名	英会話I	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	レーン, C. M.				

講義のねらい

This class concentrates on improving communication and fluency skills in English. Most Japanese university students already have basic vocabulary and grammatical skills in English. However, they are unable to use them when speaking. Therefore, this course aims to help students learn to use the knowledge they already have, and then to build on this knowledge. During the first semester basic conversation skills will be covered, through pair work and group work, which will be followed during the second semester by more in depth conversational discussions, also in pairs, small groups and through whole class activities. By the end of the year students should feel more confident when speaking English, and should have the ability to hold simple conversations in English, as well as being able to give their opinion on various topics.

講義の内容・授業スケジュール

(If the above is too detailed then please use the below instead)  
 During the first semester students will study basic conversation patterns and will gain confidence and fluency skills in making general conversation. At the end of the first semester students will be required to give a three-minute speech talking about general themes. Then, during the second semester more time will be spent on group discussions whereby the students will be invited to give their opinions on a variety of topics chosen by the teacher. At the end of the year students will give a presentation in small groups on a topic of their choice.

履修上の留意点

As this is an oral English class students will not improve unless they attend most of the classes. Students who are absent without a good reason more than twice a semester will find it hard to pass. Moreover, while it is not necessary for students to be able to speak English really well to enter this class, they must try to speak English as much as they can. If a student is too shy or unable to try then they might find this class difficult.

成績評価の方法

- (ア) Attendance 20%
- (イ) Participation during class 50%
- (ウ) Homework 10%
- (エ) Individual presentation 10%
- (オ) Group presentation 10%

教科書

- A good dictionary
- A file to keep work sheets together-A4 size

科目名	英会話	開講	通年	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	ピアス, D. M.				

講義のねらい

Program Content:

During most of the class period you will be talking to each other in groups. You will not be learning English, but using the English you already know. The program should enable you to perform very simple activities such as foreign travel, chatter with foreigners, and effective communication in practical circumstances. Concentration on TOEFL, EIKEN, AND TOEIC patterns is a long-range effort to improve your qualifications. There will be intensive practice in composition as well.

講義の内容・授業スケジュール

SCHEDULE OF TOPICS

CLASS 1	addressing people	CLASS 16	consumption
CLASS 2	addressing people	CLASS 17	courtship
CLASS 3	social hierarchy	CLASS 18	courtship
CLASS 4	social hierarchy	CLASS 19	adolescence
CLASS 5	self expression	CLASS 20	adolescence
CLASS 6	self expression	CLASS 21	social classes
CLASS 7	gift-giving	CLASS 22	social classes
CLASS 8	gift-giving	CLASS 23	candor
CLASS 9	informality	CLASS 24	candor
CLASS 10	informality	CLASS 25	authority
CLASS 11	news coverage	CLASS 26	authority
CLASS 12	news coverage	CLASS 27	employment
CLASS 13	personal freedom	CLASS 28	employment
CLASS 14	personal freedom	CLASS 29	politicians
CLASS 15	consumption	CLASS 30	politicians

履修上の留意点

ATTENDANCE: Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

EXAMINATIONS: Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

GRADING: *Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, take some other course. In this class you will be speaking English all the time.* Your final grade depends 70% on your classes performance, in every class. Records are kept of your participation in every single class meeting. Attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Students are graded according to improvement during the year; an "A" is possible for anyone.

教科書

Textbook and materials: We will probably use Sociology, Economics, Political Science, Themis Research Group, as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or a battery-powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

科目名	英会話	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政管A放1234選				
担当者名	ピアス, D. M.				

講義のねらい

Program Content:

During most of the class period you will be talking to each other in groups. You will not be learning English, but using the English you already know. The program should enable you to perform very simple activities such as foreign travel, chatter with foreigners, and effective communication in practical circumstances. Concentration on TOEFL, EIKEN, AND TOEIC patterns is a long-range effort to improve your qualifications. There will be intensive practice in composition as well.

講義の内容・授業スケジュール

SCHEDULE OF TOPICS

CLASS 1	addressing people	CLASS 16	consumption
CLASS 2	addressing people	CLASS 17	courtship
CLASS 3	social hierarchy	CLASS 18	courtship
CLASS 4	social hierarchy	CLASS 19	adolescence
CLASS 5	self expression	CLASS 20	adolescence
CLASS 6	self expression	CLASS 21	social classes
CLASS 7	gift-giving	CLASS 22	social classes
CLASS 8	gift-giving	CLASS 23	candor
CLASS 9	informality	CLASS 24	candor
CLASS 10	informality	CLASS 25	authority
CLASS 11	news coverage	CLASS 26	authority
CLASS 12	news coverage	CLASS 27	employment
CLASS 13	personal freedom	CLASS 28	employment
CLASS 14	personal freedom	CLASS 29	politicians
CLASS 15	consumption	CLASS 30	politicians

履修上の留意点

ATTENDANCE: Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

EXAMINATIONS: Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

GRADING: *Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, take some other course. In this class you will be speaking English all the time. Your final grade depends 70% on your classes performance, in every class. Records are kept of your participation in every single class meeting. Attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Students are graded according to improvement during the year; an "A" is possible for anyone.*

教科書

Textbook and materials: We will probably use Sociology, Economics, Political Science, Themis Research Group, as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or a battery-powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

科目名	英会話I	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	レイン, R. V.				

外国語

- 講義のねらい** This course will help students to: 1] use conversational English language patterns and idioms with increased confidence, and 2] improve their presentation skills.
- 講義の内容・授業スケジュール** The first half of the class is devoted to textbook speaking activities [done in pairs] to provide the student with opportunities to use a variety of language patterns and verb tenses. The second half of the class is devoted to students giving one-minute presentations on a TV commercial of their choice in front of the class.
- 履修上の留意点** Students are expected to participate actively in class and practice the textbook activities at home. Students should be aware that attendance is important. If the student is absent for 1/3 of the scheduled classes [approximately eight times], the student will fail the class.
- 成績評価の方法** Students will be tested orally on the textbook activities twice a month and will also be graded on their class presentations. The final grade will be determined on the basis of these grades as well as on attendance and class participation.
- 教科書** author: Steven Molinsky and Bill Bliss  
title: Side by Side, 3rd Edition, BOOK 4  
publisher: Longman  
date: 2003  
ISBN 0-13-183937-3

APPROX, 45 COPIES OF TEXTBOOK ARE NEEDED FOR THIS CLASS

科目名	英会話I	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	ラッセル, S. J.				

講義のねらい

English Conversation 1 is for students who really want to improve their listening and speaking skills in English.

講義の内容・  
授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Interactive-style learning will be a feature of the classes so, good attendance will be required.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive intention to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook, and an electronic dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.

教科書

English Firsthand Book 1 ISBN 962-00-5345-1  
Published by Longman

科目名	英会話II	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234選				
担当者名	ソルタ, P. N. F.				

外国語

講義のねらい

Aims and Objectives: English Conversation II was designed for high school graduates, who have studied English for at least six years at junior and senior high school, and have successfully completed English Conversation I. The course provides such students with the necessary environment in which to improve upon and expand their abilities to communicate in natural spoken English. This naturally leads to greatly increased confidence in oral communications. The course seeks to give students the necessary competence in talking about various everyday topics that will enable them to establish and maintain meaningful relationships with native English speakers of their own age.

講義の内容・授業スケジュール

Course Contents: A textbook with 12 units and the instructors worksheets will be used as sources of classroom material. The course is based on the principle that the only way to become fluent in a language is through lots of practice. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening exercises. Students will do most of their exercises with one other student (this is called pairwork) to give everyone the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

The units to be covered in this course are:

Unit 1: Personal information / Talking about likes and dislikes

Unit 2: Friends & Friendship / Personal experiences

Unit 3: Romantic relationships / Dating

Unit 4: Shopping

Unit 5: Summer vacations / Domestic & foreign Travel (1)

Unit 6: Jobs / Job interviews

Unit 7: Opinions / Reasons for opinions

Unit 8: Music / Pop groups

Unit 9: Personality / Strengths & Weaknesses

Unit 10: Money & Budgets / Prices & Numbers

Unit 11: Responses in various situations / Stories

Unit 12: Plans for the future

履修上の留意点

Registration Requirements & Class Rules: It will be assumed that students taking this course have studied English language at high school level for six years, and have passed English Conversation I. Students must be willing and able to take a class where all teaching is done in English, and where students are required to speak English at all times.

Students should also note that constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be essential for a passing grade in English Conversation II.

成績評価の方法

Grading and Evaluation: A final grade will be based on two measures: an end-of-year exam (60%), and a mark based on a student's attitude towards the class and class performance throughout the year (40%). The End-of-term exam will normally be a ten-minute one-to-one interview with the teacher. If student numbers are too large to make this type of exam practical, then an exam with listening and written exercises will be used.

Bonus marks will be awarded to those students who have only zero/one absence (+ 10%) or two absences (+ 5%) throughout the year.

教科書

Textbook: **Face To Face: English for Today's Generation**, Dale Fuller & Corey Fuller, Macmillan LanguageHouse. Student's Book 1 (¥2,100 + tax).

科目名	英会話II	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234選				
担当者名	ラッセル, S. J.				

講義のねらい

English Conversation 2 is for intermediate level students who really want to improve their listening and speaking skills in English.

講義の内容・  
授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Interactive learning will be a feature of the classes so good attendance will be required. We will also use a range of audio and video materials to prompt class discussion.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive intention to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook, and a good dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.

教科書

English Firsthand 2 ISBN 962-00-5347-8  
Published by Longman

科目名	英会話II	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234選				
担当者名	レイン, R. V.				

外国語

講義のねらい

This course will help students to: 1] use conversational English language patterns and idioms with increased confidence, and 2] improve their presentation-giving skills.

講義の内容・  
授業スケジュール

The first half of the class is devoted to textbook speaking activities [done in pairs] to provide the student with opportunities to use a variety of language patterns and verb tenses. The second half of the class is devoted to students giving one-minute presentations on a TV commercial of their choice in front of the class.

履修上の留意点

Students are expected to participate actively in class and practice the textbook activities at home. Students should be aware that attendance is important. If the student is absent for 1/3 of the scheduled classes [approximately eight times], the student will fail the class.

成績評価の方法

Students will be tested orally on the textbook activities twice a month and will also be graded on their class presentations. The final grade will be determined on the basis of these grades as well as attendance and class participation.

教科書

author: Steven Molinsky and Bill Bliss  
title: Side by Side, 3rd Edition, **BOOK 4**  
publisher: Longman  
date: 2003  
ISBN 0-13-183937-3



科目名	英会話III	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	ウェルズ, J. K.				

講義のねらい

English Conversation III

Welcome to my class! I hope you will challenge yourself speaking English openly on a variety of subjects and activities. This is NOT a beginner's class and the class is held (in most cases) entirely in English. It is usually a small class, so there should be much opportunity for you to speak.

講義の内容・授業スケジュール

First Semester: Emphasis will be put on working with your partners and talking about a variety of subjects I give you. Your first semester exam will be based on speaking ability and you will be marked accordingly.

Second Semester: Partner and group activities will enhance your speaking ability. Your final exam will be an interesting and creative dialogue that you and your partner write. It will be performed in front of everyone.

履修上の留意点

Attendance is VERY important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent more than three times during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. There are NO exceptions for activities in sports or for job hunting. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and know you can attend regularly also.

It is preferred that you not take English Conversation I and English Conversation III at the same time.

The first class is very important, so please do not be absent!

Auditing my class will be granted based upon the size of the class. Please talk to me about this.

成績評価の方法

Attendance : 50%

Tests : 25% (one test each semester)

Quizzes : 25% (usually part of assignments or announced quiz; class participation is important)

教科書

There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook to keep all the prints I provide you with in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders should NOT be used. I will provide you with B5sized prints so a notebook larger than B5 should be used. Notebooks will be checked in the second class.

その他

I am an American and have been teaching at Komazawa for many, many years. I am sure some of you know me and maybe I taught you English Conversation I. If you want to challenge yourself further, please join my class. I will interview you briefly the first class period to see if your English is good enough to join this class. It is NOT a beginner's class. See you in class! John Wells

科目名	英会話Ⅲ	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	ピアス, D. M.				

講義のねらい

This is the highest level of English conversation practice offered by the university; accordingly we will present the most difficult material possible to speed your success in English fluency.

講義の内容・授業スケジュール

Free conversation is urged at all occasions. Topics of a very wide variety will be introduced by practice dialogues which you will work through in dialogue or group. When applicable, we will exchange our own opinions, orally, about the topic presented in the dialogue. Speech practice will be conducted on three different levels. 1) Daily conversation, which you are already capable of conducting; practice is to amplify your present ability. 2) Conversation on a semi-abstract level, which will be accomplished through a mixture of lecture and dialogue. Topics will be cultural and sociological. This type of conversation is to accelerate your fluency in conducting intelligent conversation in English. 3) Academic conversation. Material will cover ethical-social topics such as human rights, income distribution, war, suicide, etc, in a mixture of lecture and dialogue, with subsequent free exchange of opinions. This level requires an entirely new world of vocabulary and speech patterns that never appear in ordinary English conversation. Academic conversation prepares many of you for overseas university study.

履修上の留意点

Grammar, reading, and composition will be practiced every week, in an oral style that you have never before encountered.

成績評価の方法

Three absences per semester permitted. Tests are purely didactic; they are not a disciplinary tool to monitor whether you are studying. Grading is likely to be generous, as anybody who qualifies for a class like this is evidently sincere and self-motivated; using grades as a whip is unnecessary. Classes proceed closely according to the textbook; coming to class without the textbook counts as an absence.

科目名	英語LLI	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	西村 <sup>にしむら</sup> 祐子 <sup>ゆうこ</sup>				

- 講義のねらい** 基本的な表現をつかってまず「話すこと」からはじめ、日常的なテーマを英語で話してみる。後期は日常的スピードで話される会話をききとり、受け答えできるように聞き取る力を向上させていく。説明は前期は日本語でおこなうが、後期にはすべて英語による授業になる。
- 講義の内容・授業スケジュール** 4-7月：基本的な会話表現を学習。フラッシュカードを使って基本表現を覚えつつCDで発音とイントネーションを修正しながら聞き取り力を増強する。ペアワークをおこなう。9-12月：ビデオをみながら話の内容を英語で説明、簡単な英語のプレゼンテーションを繰り返しおこない、英語で話すことになれる。
- 履修上の留意点** 全員コンピュータIDを取得しておくこと。(総合情報センターで取得可能)。
- 成績評価の方法** 出席は4分の3以上であること、平常点としての小テスト、発表などによる。定期試験は実施しない。
- 教科書** Essential Listening 3 (Macmillan)、フラッシュカードとCD (別配布)
- 参考書等** 授業中に提示する。

科目名	英語LLI	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	埴 <sup>はなわ</sup> 美智子 <sup>みちこ</sup>				

- 講義のねらい** PC教室を使い英語の発音、アクセント、イントネーション等を習得し、明確な英語が使える、話せる様にする。自分のことばで表現する力を養成する。
- 講義の内容・授業スケジュール** 日常生活の中で実際に話されている生きたことばを教材に用い、音声を聞き、繰り返し練習する。聞き、話す力を高めていく。
- 履修上の留意点** 表現について研究したり、ことばの広がりをも自分なりに探す習慣をつける。
- 成績評価の方法** 日常の授業を重視し、出席状況、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。
- 教科書** 'Experience America!' - An Authentic DVD English Language Text - (金星堂) ¥2,300
- 参考書等** その都度黒板に板書し、案内する。
- その他** いろいろなテーマが出てくるので、英語圏文化についての知識を増す努力をする。

科目名	英語LLI	開講	通年	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	はなわ みちこ 埜 美智子				

講義のねらい	PC教室を使い英語の発音、アクセント、イントネーション等を習得し、明確な英語が使える、話せる様にする。自分のことばで表現する力を養成する。
講義の内容・授業スケジュール	日常生活の中で実際に話されている生きたことばを教材に用い、音声を聞き、繰り返し練習する。聞き、話す力を高めていく。
履修上の留意点	表現について研究したり、ことばの広がりをも自分なりに探す習慣をつける。
成績評価の方法	日常の授業を重視し、出席状況、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。
教科書	'Experience America!' - An Authentic DVD English Language Text - (金星堂) ¥2,300
参考書等	その都度黒板に板書し、案内する。
その他	いろいろなテーマが出てくるので、英語圏文化についての知識を増す努力をする。

科目名	英語LLI	開講	通年	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	にしむら ゆうこ 西村 祐子				

講義のねらい	基本的な表現をつかってまず「話すこと」からはじめ、日常的なテーマを英語で話してみる。後期は日常的スピードで話される会話をききとり、受け答えできるように聞き取る力を向上させていく。説明は前期は日本語でおこなうが、後期にはすべて英語による授業になる。
講義の内容・授業スケジュール	4-7月：基本的な会話表現を学習。フラッシュカードを使って基本表現を覚えつつCDで発音とイントネーションを修正しながら聞き取り力を増強する。ペアワークをおこなう。 9-12月：ビデオをみながら話の内容を英語で説明、簡単な英語のプレゼンテーションを繰り返しおこない、英語で話すことになれる。
履修上の留意点	学生への要望：学生は全員駒澤大学のコンピュータIDを取得しておくこと。
成績評価の方法	出席は4分の3以上であること、平常点としての小テスト、発表などによる。定期試験は実施しない。
教科書	Essential Listening 3 (Macmillan)、フラッシュカードとCD (別配布)
参考書等	教場で指定する。

科目名	英語LLI	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	外池 <small>とのいけ</small> 一子 <small>かずこ</small>				

講義のねらい

リスニングに欠かせない英語の音声変化と聴き取りのストラテジーを体系的に学習し、その後比較的短いモノログやダイアログ、英語のニュースなどを正確に聴き取れるようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

1. テキストに従って、以下の項目を学習します。
  - (a) 個音（母音、子音）の識別
  - (b) 連結
  - (c) リダクション（機能語の弱形・縮約形）
  - (d) 脱落・同化
  - (e) リズム、イントネーション
2. 実際の聴き取り練習を行いながら、さまざまなリスニングのストラテジーを身につけていきます。

履修上の留意点

授業はCALL教室で行います。コンピューターを使用しますから、受講前にユーザーIDとパスワードを取得しておくこと。  
また、初回にテストを行い受講の可否を判定しますから必ず出席してください。初回のテストを受けなかった場合受講できない場合があります。

成績評価の方法

平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教科書

開講時に指示します。

その他

毎週きちんと予習をして出席すること。予習をしていなかった場合は出席とは認めません。

科目名	英語LLI	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	とのいけ かずこ 外池 一子				

外国語

講義のねらい

リスニングに欠かせない英語の音声変化と聴き取りのストラテジーを体系的に学習し、その後比較的短いモノログやダイアログ、英語のニュースなどを正確に聴き取れるようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

1. テキストに従って、以下の項目を学習します。
  - (a) 個音（母音、子音）の識別
  - (b) 連結
  - (c) リダクション（機能語の弱形・縮約形）
  - (d) 脱落・同化
  - (e) リズム、イントネーション
2. 実際の聴き取り練習を行いながら、さまざまなリスニングのストラテジーを身につけていきます。

履修上の留意点

授業はCALL教室で行います。コンピューターを使用しますから、受講前にユーザーIDとパスワードを取得しておくこと。  
また、初回にテストを行い受講の可否を判定しますから必ず出席してください。初回のテストを受けなかった場合受講できない場合があります。

成績評価の方法

平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教科書

開講時に指示します。

その他

毎週きちんと予習をして出席すること。予習をしていなかった場合は出席とは認めません。

科目名	英語LLI	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	甲斐 捷子 <small>かい かつこ</small>				

講義のねらい

外国語の習得は、乳幼児の言語習得を観察すればわかるように、音と習得が基本です。この授業では、河合楽器が製作したビデオを使って、アメリカ英語の発音を視覚的に、基礎から学び直し、バランスの取れた英語力を身につけることが目的です。一つ一つの音の習得から初めて、単語、短文を正確に聞き取り、アメリカ人と同じような発音で発話する訓練へと進みます。音の習得ができれば、英語を学ぶ楽しさが倍加するだけでなく、正確なりスニング力、会話力が身につきます。小中学校の間に、きちんとした発音の訓練を受けなかった皆さんには、ぜひ履修していただきたい授業です。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは全22章からなり、各章の構成は、課題発音を含むスキット、発音方法、日米比較、単語、短文の練習、初めのスキットとなっています。発音の様子が映像で写し出されますから、それを見ながら、また、自分の発音とビデオの発音とを重ね合わせながら、正しい発音を習得します。前期でビデオを終了し、後期は American Accent Training のCDを使用してレベルアップを図ります。このハンドアウトは開講時に配布します。テキストは全22章からなり、各章の構成は、課題発音を含むスキット、発音方法、日米比較、単語、短文の練習、初めのスキットとなっています。発音の様子が映像で写し出されますから、それを見ながら、また、自分の発音とビデオの発音とを重ね合わせながら、正しい発音を習得します。前期でビデオを終了し、後期は American Accent Training のCDを使用してレベルアップを図ります。このハンドアウトは開講時に配布します。

履修上の留意点

ビデオ、CDとも、図書館の視聴覚室で視聴できます。

成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。

教科書

Sounds Right! Sounds Good! マクミランランゲージハウス2, 000円

参考書等

American Accent Training 2nd ed. Barrons

科目名	英語LLI	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	久保 ひさ子 <small>くぼ ひさこ</small>				

講義のねらい

海外旅行で場面別に、一回で通じる短い、英会話文を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

旅行英会話の短文を、パソコン使用で、聞きとり、書きとり、反復練習する。コミュニケーションできるようにするため、さらに暗記する。毎回、小テストあり。

履修上の留意点

実習授業のため、欠席しないようお願い致します。

成績評価の方法

試験と授業実習点と小テストの合計点

教科書

マイケル・ブラウン「旅行でしゃべる英会話」南雲堂

科目名	英語LLII	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234選				
担当者名	にしむら ゆうこ 西村 祐子				

講義のねらい

基本的な会話と英語表現を学んだレベルIを終了した学生もしくはそれと同程度の英語力がある学生のためのクラス。レベルIIではナチュラルスピードで話されるさまざまなストーリーのビデオを見ながら、さらに込み入った日常表現を修得し、概略を説明していく作業を繰り返す。また、テキストを使用してより正確な表現、高度な表現ができる訓練をおこなう。電子メールで提出する課題英作文による書く訓練、多様な文章を読む訓練も併用する。授業はすべて英語でおこない、質問も英語でのみ受けつける。学生同士の英語での話し合いやペアワークなどもとりいれ、インターアクティブに授業をすすめる。到達目標はTOEIC700-800程度。LLIにくらべ、難易度が高いので学生によっては受講を制限することがある。

講義の内容・授業スケジュール

4-7月：基本的な会話表現の復習と聞き取り、プレゼンテーション。教科書はUnit 8-12まで。  
9-12月：LLIIIへの橋渡しとして、書き方とプレゼンテーションに力点をのいた授業。

履修上の留意点

宿題提出はメールまたは大学教場の共有フォルダーのなかに入れる。受講学生は全員駒澤大学のコンピュータIDを取得しておくこと。

成績評価の方法

定期試験はおこなわない。平常点重視（出席率、発表内容など。）

教科書

テキスト：New Headway Pre-intermediate (Oxford Univ. Press.)

参考書等

使用ビデオ：New Headway (elementary), および (pre-intermediate)、その他。

その他

前年度LL2の同じ授業をとった学生でも聴講できる。このためテキストは1-7を飛ばし、UNIT8から後半部を集中的にとりあげる（次年度は1-7を用いる）。

科目名	英語LLII	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234選				
担当者名	たかはし あきこ 高橋 明子				

講義のねらい

ニュースや映画などの多量の英語を聴き取って内容を理解し、学習した英語表現を実際に運用できるよう練習を重ねていきます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを中心に聴き取りの練習を進め、進度に応じてやや専門的なテーマのスピーチや映画などの教材を学習していきます。TOEICのリスニング・セクションの問題の練習もします。

履修上の留意点

毎回の授業での学習の積み重ねが大事なので、欠席をなるべくしないことを心がけてください。また、受講前にユーザーIDとパスワードを取得してください。

成績評価の方法

平常点（出席状況や小テストなど）と前期・後期の試験結果とを総合して評価します。

教科書

『CNN：ビデオで見る世界のニュース（8）』（朝日出版社）2,000円+税  
ISBN978-4-255-15432-9



科目名	英語LLII	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234選				
担当者名	甲斐 捷子				

講義のねらい	日常の卑近な問題から現代の諸問題まで、ディスカッションできるところまで、英語の運用能力を高めることが、この授業の目的です。
講義の内容・授業スケジュール	全12章のうち、6章を前期で、残り6章を後期でクリアする予定です。
履修上の留意点	特にLLの授業ですので、遅刻、欠席をしないようお願いします。
成績評価の方法	一応の目安として、クイズ30%、前期試験30%、後期試験40%、とします。
教科書	アメリカ口語教本 中級用 WilliamS. Clark 著 研究社 2, 600円

科目名	英語LLIII	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	甲斐 捷子				

講義のねらい	日常の卑近な問題から、現代の諸問題までディスカッションできるところまで、英語の運用能力を身につけることがこの授業の目的です。
講義の内容・授業スケジュール	前期6～7章、後期6～7章の予定で進みます。
履修上の留意点	LLの授業につき、特に遅刻、欠席をしないようお願いします。
成績評価の方法	一応の目安として、クイズ30%、前期試験30%、後期試験40%とします。
教科書	アメリカ口語教本 上級用 WilliamS. Clark 著 研究社 3, 000円

科目名	英語LLIII	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	にしむら 祐子				

講義のねらい

レベルIIでは日常的なテーマを掘り下げ、より高度な表現をききとることをめざしたが、このレベルIIIはそれより一層高度な会話表現力およびプレゼンテーション能力を習得することをめざす。また、欧米の大学留学のための準備クラスとして、多様な英文を読み、概略を英語でまとめたり、いくつかのトピックについてのプレゼンテーションをおこなったりもする。LLII同様、授業はすべて英語でおこなわれ、質問も英語でのみ受けつける。毎回英語でのプレゼンテーションが要求され、グループワークも取り入れる。LLレベルIIを終了し、英検準一級程度（TOEICレベル650以上）の学生を対象とする。このレベルに達していない学生はレベルIIを受講することをすすめる。

講義の内容・授業スケジュール

4-7月：教科書のUnit 8-12まで。ビデオのサマリーを中心としたプレゼンテーション。  
9-12月：教科書の前半部分を使い、多様な文章を読みながら感想を記述し、発表する訓練を繰り返す。ビデオの英語による概略説明も続ける。TOEICの模擬テストなども行う。

履修上の留意点

大学のコンピュータIDを必ず事前に取得しておく。レベルIIIは例年高度なクラスなので途中で落伍しないためにも履修の前にLLIIの内容とよく比較して検討してほしい。

成績評価の方法

平常点重視（出席率、プレゼンテーションなど）。定期試験はおこなわない。

教科書

New Headway Upper Intermediate. (Oxford Univ. Press)

その他

最初と最後にTOEICの模擬などを授業で行い、到達度をチェックする。

科目名	英語LLIII	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	ひさこ 久保				

講義のねらい

英語講演等をおおよそ、理解でき、さらに、ディベートできる程度をめざしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを、聞きとり、書きとり、解答し、再生し反復練習する。

履修上の留意点

実習授業のため、欠席しないようお願い致します。

成績評価の方法

試験と授業実習の合計点

教科書

World Times of Japan, Michigan Action English Step 6

科目名	時事ドイツ語	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現堂A34選				
担当者名	堀内 美江 <small>ほりうち みえ</small>				

講義のねらい

ドイツ語圏のインターネットや雑誌、テレビやラジオなどを、少しでも理解できるようになると、あなたの世界はぐんと広がります。この授業では、さまざまなドイツのメディアを使うための学習をしていきます。  
ドイツの国技サッカー、ドイツ料理にウィーン菓子、ドイツの観光名所、さらにドイツで今話題になっていることなどをテーマに、ドイツ語の世界を楽しみましょう。

講義の内容・授業スケジュール

テーマごとに、まず用いられる語いを学び、必要な文法的な知識を復習します。その後、自力で情報を見つげたり、読み取ったりする練習をしていきます。映像などの視覚的資料もできるかぎり紹介しながら、生のドイツを体験していただきたいと思っています。

履修上の留意点

PC教室をしばしば使います。学内で用いられるPCのアドレスを取っておいてください。皆さんの様子を見ながらゆっくりと授業を進めていきますので、リラックスして参加して下さい。辞書は毎回携帯のこと。

成績評価の方法

前後期それぞれ二回の小レポートと出席点による総合評価を行ないます。

教科書

プリント配布

科目名	上級ドイツ語	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現堂A34選				
担当者名	薮下 絃一 <small>やぶした こといち</small>				

講義のねらい

小人数で辞書を使って読んでいきます。毎回あたります。予習を忘れない様に。

成績評価の方法

評価は7月と12月の試験+平常点で決めます。

教科書

ヨーゼフ・ロート：美の勝利、白水社、¥950。

科目名	ドイツ語コミュニケーションI	開講	通年	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	小林 <sup>こばやし</sup> ゲアリンデ				

講義のねらい

ドイツ語の基礎的な知識を履修するとともにドイツおよびドイツ語を国語とするオーストリア、スイスの国情について知識を身につけることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

日常的な状況でのドイツ語を話し、理解することに重点をおく。そのため発音練習やパートナー練習を数多く取り入れる。基本的な文法の習得と並んでドイツ語を読む楽しみにも触れたい。適宜宿題を課す。

成績評価の方法

定期試験は行わないが、毎時間、口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。

教科書

テキストは教室で配布する。

その他

ビデオ、カセットを使用する。

科目名	ドイツ語コミュニケーションII	開講	通年	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	小林 <sup>こばやし</sup> ゲアリンデ				

講義のねらい

ドイツ語を1年(LLまたは他のドイツ語科目)で学んだ学生を対象とする。ドイツ語を話し、理解する能力をさらに伸ばし、ドイツ語圏諸国についての知識を拡げることが目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

話す力、とくに正しい発音を習得する。ややこみ入った状況での会話、中級テキストを読む練習をする。

成績評価の方法

定期試験は行わないが、毎時間、口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。

教科書

テキストは教室で配布する。

その他

ビデオを使用する。

科目名	ドイツ語IA（選）	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	松岡 晋 <small>まつおか すすむ</small>				

講義のねらい

週一回、一年間の授業でドイツ語の初級文法をマスターすることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

ドイツ語のアルファベット、発音規則の説明から始めて、冠詞、動詞の現在時制、過去時制、完了自制等々という具合にゆっくりと文章構造と表現様式の理解を深めてゆきます。補助的に適宜ネイティブ・スピーカーの発音を収録したCDを用いることも考えております。ともかくゆっくりと、皆さんとともに先へ進んでゆくつもりです。

履修上の留意点

文法の学習は積み重ねですから、定期的出席が前提条件です。また、初回の授業のさいに中型の「独和辞典」を何種類か紹介いたしますので、そのうちの一つを入手し、以降つねに持参ください。

成績評価の方法

期末試験（7月）、学年末試験（1月）以外に何度か小テストを行ないます。そのほかに平常点（出席率、授業中に指名された時の口頭練習の結果など）を加味して成績評価をいたします。筆記試験と平常点の成績評価に占める割合は同等であると考えてください。

教科書

未定

その他

実際のドイツ語の文章に慣れるために、その都度の文法事項に即した例文を取めたプリントを何度か配布いたします。

科目名	ドイツ語IB（選）	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	井村 行子 <small>いむら ゆきこ</small>				

講義のねらい

ドイツ語を実際に使えるようにするとともに、ドイツについての知識の習得に努めます。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に沿って進めます。

成績評価の方法

前期と後期の筆記試験の成績によります。

教科書

近藤／小林／新倉／松尾『Dialog 一ペーシック版』（郁文堂）

科目名	ドイツ語Ⅱ（選）	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	井村 <small>いむら ゆきこ</small> 行子				

講義のねらい	ドイツ語のレベルアップとともに、ドイツについての知識を深めます。
講義の内容・授業スケジュール	最初に復習を行った後、前期に少なくとも3課まで、後期はそれ以降に進める予定です。
成績評価の方法	前期と後期の筆記試験の成績によります。
教科書	近藤／小林／新倉／松尾『Dialog 一ステップアップ版』（郁文堂）
その他	最初に『Dialog 一ベーシック版』のSzene4と5を1年次の復習を兼ねて使いますが、もっていない場合にはコピーを用意しますので、こちらは購入する必要はありません。

科目名	時事フランス語	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現営A34選				
担当者名	<small>くわた のりあき</small> 桑田 禮彰				

講義のねらい	フランス語中級。フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。
講義の内容・授業スケジュール	比較的簡単で興味深い最新の時事フランス語の文章を読んでいきます。発音の基本を確認しつつ、文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。フランス語の基礎を終えた人は、ぜひこの授業を取って、もう一歩踏み込んだフランス語の魅力、フランスの魅力に触れてください。
履修上の留意点	最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。
成績評価の方法	ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。
教科書	荒木善太他『ヴァリエテ・フランセーズ2007』（朝日出版社）本体1,900円＋税
参考書等	そのつど授業で指示します。

科目名	上級フランス語	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現営A34選				
担当者名	小玉 齊夫 <small>こたま なりお</small>				

講義のねらい

「上級フランス語」クラスでは、フランス語検定試験の3級あるいは準2級に合格することをめざして、文法事項の再確認とともに、聞きとり、作文、ならびに会話についての実力を養っていくつもりです。1、2年次の知識を復習し、視聴覚教材も用いて、可能なかぎり、総合的なフランス語能力を身につけるよう、勉強していきます。来年3月に行われる「短期セミナー」に参加を希望される方は、現在の自分のフランス語能力など気にせず、積極的に、この授業をとるようして下さい。「短期セミナー」に参加した人たちも歓迎です。放っておくと、「実力」はすぐ落ちてしまいますから。

講義の内容・授業スケジュール

下記の教科書を用いますが、他に、こちらで準備するプリント教材あるいはビデオ教材なども、使っていく予定です。前期は、主として、これまでの復習に、後期は、その展開という風に、段階を追って進んでいくつもりです。

履修上の留意点

出席するのが楽しい授業、でなくては、会話などに心を配る余裕が出てきません。つとめて、そのようにしたいと思しますので、「遊び心」も持って参加して下さい。フランス語の聞き取りは、「ある日、突然に」、それまで理解できなかった表現も、分かってくるものです。初めの「難しさ」にめげずに、突然訪れて来る「その日」をめざして、地道に練習を続けていく心構えがたいせつです。

成績評価の方法

随時提出する宿題や、年末の試験で評価します。

教科書

阿南・モラン 共著 『パシヨネマン2』(第三書房、2400円) ISBN978-4-8086-2185-8

参考書等

『現代和仏小辞典』(白水社)。フランス語彙を増やすためにも、必要です。

科目名	フランス語コミュニケーションI	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	ラリア・三倉 <small>らりあ・みくら</small> , M.				

講義のねらい

フランス人講師や教材のフランス語を聞きながら、学生が簡単なフランス語で表現力を身につけることを学ぶ。

成績評価の方法

筆記試験はしない。授業の平常評価と簡単な口頭面接評価。

教科書

高橋・ジェンタ共著 『ヌーヴォー・ク・ドゥ・クール』  
第三書房 ISBN 4-8086-2136-3

科目名	フランス語コミュニケーションII	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	ラリア・三倉 <sup>らりあ・みくら</sup> , M.				

講義のねらい

フランス語の基礎学習の経験のある学生のためのクラスです。生徒は小さなグループにわかれ、フランス語会話をたくさんすることで発音、表現力の向上をめざします。尚、ビデオで現在のフランスの若者の生活パターンが多く紹介されているので、それに触れながら楽しく学習できます。

成績評価の方法

筆記試験はしない。授業の平常評価と口頭面接評価。

教科書

MONNERIE著BIENVENUE EN FRANCE TOME 1 (Didier HATIER)  
プリント資料を学生に与えますので、学生は、格別に教科書を買う必要がありません。

科目名	フランス語IA (選)	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	出口 雅敏 <sup>でぐち まさとし</sup>				

講義のねらい

この授業では、フランス語文法の基礎を学習してゆきます。文法の基礎をしっかりと身につけることは、フランス語の世界に入ってゆくための大切なプロセスです。ですから、この入口で躓かぬよう、じっくり基礎固めをすることが授業の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは、文法事項の簡潔なまとめと練習問題から成っています。授業は、文法事項の具体的説明の後、練習問題に取り組む、という形で進行します。加えて、フランス語の読み方や仏和辞書の引き方についても慣れてもらいます。

履修上の留意点

辞書を持参して下さい。やむをえず欠席する場合は、理由を書面にて提出して下さい。

成績評価の方法

前期・後期の期末試験と通常点によって評価します。

教科書

斎藤昌三『《新版》ル・フランセ』(白水社) 1,750円



科目名	フランス語IA (選)	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	前田 祝一 <small>まえだ のりかず</small>				

講義のねらい	フランス語の言語としての特性を理解してもらうこと。そして、少しでも使いこなせるようになること。
講義の内容・授業スケジュール	日常的な基本語・文型を身につけて、少しずつ積み重ね、言葉の世界を広げ、深めてゆく。つまり、毎日が新しいことの学習です。
履修上の留意点	したがって、毎日が新しいことの学習であり、それらが理解できていることが、次の回の出発点ですから、欠席しないで持続させること。それが終着点での満足感になるはずです。
成績評価の方法	平常点としますが、ペーパーテストも随時行ないます。
教科書	内藤・玉田著『フランス語へのパスポート(改訂版)』(白水社) 1,800円

科目名	フランス語IB (選)	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	桑田 禮彰 <small>くわた のりあき</small>				

講義のねらい	フランス語の基礎の習得。
講義の内容・授業スケジュール	まず発音の基本をしっかりと確認した上で、簡単な会話表現に親しみながら、初級文法を理解し、読解力の基礎を身につけます。
履修上の留意点	発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。
成績評価の方法	ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。
教科書	林田遼右著『パリ散歩』(朝日出版社) 2,600円+税
参考書等	そのつど授業で指示します。

科目名	フランス語II (選)	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴史外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	桑田 <small>くわた のりあき</small> 禮彰				

講義のねらい	フランス語中級。フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。
講義の内容・授業スケジュール	比較的簡単で興味深い最新の時事フランス語の文章を読んでいきます。発音の基本を確認しつつ、文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。フランス語の基礎を終えた人は、ぜひこの授業を取って、もう一歩踏み込んだフランス語の魅力、フランスの魅力に触れてください。
履修上の留意点	最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。
成績評価の方法	ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。
教科書	荒木善太他著『ヴァリエテ・フランセーズ2007』（朝日出版社）本体1,900円＋税
参考書等	そのつど授業で指示します。

科目名	時事中国語	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴史外考社福心経商現営A34選				
担当者名	<small>しおはた しんいちろう</small> 塩旗 伸一郎				

講義のねらい	インターネットで中国の各サイトを訪れ、見出し&リードの速読と記事精読の2種のアプローチにより、ニュースの文体を読み解く力を養う。 ピンインのルビを振るソフトの導入により、生の記事にピンインをつけてテキストにする。
講義の内容・授業スケジュール	「速読」篇は、その場で声に出して読み、大意を掴む。「精読」篇は、文を構造的に捕える練習を積む。 併せて、ニュースの聴き取り、単語の構造分析クイズ、中国語入力・検索の体験学習などを行なう。
履修上の留意点	精読教材は予習が不可欠。 教材等、授業に関する情報は下記URLに掲示するので常時チェックすること。 <a href="http://www.komazawa-u.ac.jp/~siop/jiji.html">http://www.komazawa-u.ac.jp/~siop/jiji.html</a>
成績評価の方法	平常点。
教科書	ネット上で採取し、上記URLに掲示。
参考書等	辞書は『現代漢語詞典』（中国商務印書館）、『中日辞典』（小学館）、『中日大辞典』（大修館書店）、『講談社中日辞典』、『白水社中国語辞典』を推奨する。 これらより薄いものや、中日・日中を一冊で兼ねる安あがりな辞書は、役に立たない。
その他	PC教場使用を要望しているが、教場変更の可能性もあるので、掲示に注意すること。

科目名	上級中国語	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現堂A34選				
担当者名	児島 弘一郎				

- 講義のねらい** 実用的な中国語表現の習得を目指すと同時に、各種検定試験への対策を行ないます。頻出する基本構文・語彙を反復学習しつつ、聴き取り・翻訳・作文などの訓練をします。
- 講義の内容・授業スケジュール** 中国でのインタビューを中心に編集された音声教材を使用し、自然なスピードで話された中国語に毎回触れてもらいます。はじめは慣れないと思いますが、教員が丁寧に補助しながら何度も繰り返すので、心配は無用です。
- 履修上の留意点** 毎回の授業が貴重な訓練の場となるので、出席を怠らないこと。予習は不要ですが、教員が示した方法による復習をしっかりと行って下さい。
- 成績評価の方法** 前期・後期の試験、数回実施する小テスト、授業への取り組み、出席状況によって総合的に評価します。
- 教科書** 楊達・南勇『リスニング中国語I』（朝日出版社、2200円、CD付）。
- 参考書等** 辞書や役立つ音声教材などは、教場で紹介します。
- その他** 検定試験の受験を予定していない学生も、もちろん歓迎します。

科目名	中国語コミュニケーションI	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政堂A234選				
担当者名	岩崎 皇				

- 講義のねらい** コンピュータ教場の機能を使って、中国語の音声聞き取り能力を養うことが目標です。聞き取りは会話の前提となる能力であり、もっとも大事なものです。まずは、これまで習ったことを聞いて分かるようにすることが、直接の目的になります。
- 講義の内容・授業スケジュール** 基本的には、テキストに沿って聞き取りの練習を行っていきませんが、必要に応じて他の音声教材も使います。授業の合間に、中国のテレビ番組などの映像も見ます。
- 履修上の留意点** 授業にはすべて出席することが前提です。欠席した場合は、そのつど課題を提出してもらいます。未提出が3回を越えるときは単位取得ができません。ただし、課題提出は授業に全く取って代わることはできないので、欠席が7回を越えてはいけません。  
卒業年次生は就職活動等を考慮して、欠席回数を10回まで許容しますが、課題にかんしては上と同じです。  
なお、これまで中国語を勉強したことのない人、および中国語を母語とする人は履修しないでください。
- 成績評価の方法** 履修上の留意点にある条件を満たした上で、毎回の授業への取り組み、および前期1回、後期1回のテストで評価を行います。
- 教科書** 楊達他著「新・聞こえる中国語」（南雲堂）2,940円

科目名	中国語コミュニケーションII	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	曹 泰和 <small>そう たいわ</small>				

講義のねらい	簡単な会話の習得。ヒヤリングの力の向上。初級文法の復習
講義の内容・ 授業スケジュール	会話とヒヤリングを中心にして授業を行う。日常会話や基本文型を繰り返し練習する。
履修上の留意点	積極的に会話の練習に参加すること。なお、中国語コミュニケーションIを履修しなくても、この授業は履修できる。2年生から4年生まで履修可。IA・IB既習程度
成績評価の方法	出席、授業態度、テストで総合評価する。
教科書	竹島金吾 監修 竹島 毅著『中国語さらなる一歩』(白水社) 2,200円+税
参考書等	授業の中で紹介する。

科目名	中国語IA (選)	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	吉田 建一郎 <small>よしだ たていちろう</small>				

講義のねらい	中国語の基礎力を身につける。
講義の内容・ 授業スケジュール	発音の基礎であるピンインを習得した上で、短い会話文を題材として基本的な語彙と表現を学んでいきます。
履修上の留意点	大きな声を出して積極的に発音練習に参加しましょう。携帯電話の使用、私語、内職などは、真剣に学習に取り組んでいる他の学生にとって極めて迷惑なので絶対に行わないでください。
成績評価の方法	平常点と定期試験により評価します。
教科書	南雲智・趙暉『始めよう！中国語』(白水社) 2,205円

科目名	中国語ⅠA（選）	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	宮本 <sup>みやもと</sup> 厚子 <sup>あつこ</sup>				

講義のねらい	中国語の基礎を身につける。
講義の内容・授業スケジュール	発音を学んだ後、会話文を通して、基本的な文法を学び、語彙を増やしてゆく。
履修上の留意点	毎回暗誦あるいは聞き取り（小テスト）を行うので十分に復習をして授業に臨むことが求められる。
成績評価の方法	年に4回の筆記試験（前後期末試験を含む）と平常点（暗誦・小テストを含む）で評価する。
教科書	プリント配布。
その他	詳細は開講時に説明する。

科目名	中国語ⅠB（選）	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	蘭 <sup>らん</sup> 明 <sup>めい</sup>				

講義の内容・授業スケジュール	前期は最初の一カ月（4回に分け）において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。
成績評価の方法	出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。
教科書	董燕・遠藤光暁『理香と王麗 話す中国語1』（朝日出版社）2,835円

科目名	中国語II (選)	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	三田村 圭子 <small>みたむら けいこ</small>				

**講義のねらい** 基礎中国語を復習し、聞く・話す・書くを反復練習することで、より実践的な中国語を習得する。

**講義の内容・授業スケジュール** ①基礎中国語で学習した重要な文法や発音を復習する。  
②教科書の進度にしたがって、会話を暗記し、また簡単な文章を書けるように練習する。

**履修上の留意点** 出欠は成績に加味するので、欠席の多い学生は単位取得が難しい。欠席が3分の1以上の場合、採点評価の対象外とする。

**成績評価の方法** 前・後期の中間期末試験(全4回)と平常点で総合評価する。本文の暗記も点数に加算する。

**教科書** 塚本慶一『2年生のコミュニケーション中国語』(白水社)2200円

**参考書等** 授業開始時に説明する。

科目名	時事スペイン語	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現営A34選				
担当者名	齋藤 明美 <small>さいとう あけみ</small>				

**講義のねらい** 初級文法および基本語彙を復習しながら、スペイン語圏の政治・社会、文化、芸術、スポーツ、文化についての簡単なテキストを理解できるようにします。また日本の文化・慣習について外国人に簡単に紹介できる能力をつけます。

**講義の内容・授業スケジュール** 様々な媒体のテキストの読解を通してスペイン語圏の文化・生活様式の理解を深めつつ、スペイン語を使った情報収集能力を高めます。また平素なテレビ・ラジオ番組を随所利用し基礎的なヒアリング力を向上させます。自分の考えを簡単にスペイン語で表現できる力を伸ばします。

**履修上の留意点** 時事スペイン語を理解するためにはしっかりした文法の知識そして豊富な語彙力が不可欠です。受身にらず興味関心がもてるテーマを一つでも見つけ、辞書をたよりに貪欲に語彙や慣用表現を増やす努力をしていきましょう。またインターネット等を積極的に活用して日ごろからスペイン語に慣れましょう。

**成績評価の方法** 毎回の授業参加や演習課題・小テストそして各期末の達成度チェックによります。

**教科書** 学生の興味関心や学習状況に応じてその都度具体的なテーマを指定します。

科目名	上級スペイン語	開講	通年	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現営A34選				
担当者名	上野 <sup>うえの</sup> <sup>かつひろ</sup> 勝広				

講義のねらい

このクラスでは、スペイン語検定試験（3級・4級）に合格することを目標にします。既習の文法事項を随時復習しながら、聴解・会話・読解・作文の各技能を伸ばし、総合的なスペイン語力を身につけられるようレッスンを進めます。

講義の内容・  
授業スケジュール

作文については年間を通じ下記のテキストを用いて、1回の授業で10ページくらい進めます。読解はインターネットのオンライン教材およびプリント、聴解・会話はビデオ・CD等の視聴覚教材を利用してゆきます。

履修上の留意点

「継続こそ力なり」です。休まずさぼらず目標に向かって頑張れる意欲に満ちた受講者を歓迎します。また授業の学習成果を最大限あげるために、何より集中力が大切です。

成績評価の方法

前期末・学年末試験の結果（60％）と平常点（40％）を総合して評価します。

教科書

小池和良『スペイン語作文の方法・構文編』（第三書房）2,500円

科目名	スペイン語コミュニケーションI	開講	通年	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	ナバロ、ホワンJ.				

講義のねらい

スペイン語の基礎知識がある学生のための授業です。授業中に配布されるプリントの文章や会話について問題を出します。日常会話でよく用いられる表現を聞き取り、話すことができるよう練習します。

成績評価の方法

授業中の練習への参加と出席で評価します。特別試験も実施します。

教科書

『Viaje al español』  
テキスト及びVTR教材

科目名	スペイン語コミュニケーションII	開講	通年	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	ナバロ、ホワンJ.				

講義のねらい

スペイン語の基礎知識がある学生のための授業です。授業中に配布されるプリントの文章や会話について問題を出します。日常会話でよく用いられる表現を聞き取り、話すことができるよう練習します。

成績評価の方法

授業中の練習への参加と出席で評価します。特別試験も実施します。

教科書

『Viaje al español 上級編』  
テキスト及びビデオ教材

科目名	スペイン語IA (選)	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	亀山 晃一 <small>かめやま こういち</small>				

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

科目名	スペイン語IB (選)	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	齊藤 明美 <small>さいとう あけみ</small>				

講義のねらい

基礎文法を習得しながらスペイン語で「聞く」「読む」「話す」「書く」ことができるバランスの取れた基本的コミュニケーション能力を伸ばします。

講義の内容・授業スケジュール

文法に関しては初級文法の復習をしながら直接法の習得を目指します。また日常よく使われる口語表現などを具体的なシチュエーションを通して学び、スペイン語圏で安心して生活できるコミュニケーション能力習得を目指します。また語学学習を通して日本とスペイン語圏の生活・風習に関する相違点を考察し多文化に対する理解を深めます。随時スペイン・ラテンポップスや話題の映画なども紹介していきます。

履修上の留意点

レベルが上がれば上がるほど、文法や語彙習得するためには多大な時間と努力が必要です。自ら楽しみながら勉強するコツを見つけましょう。

成績評価の方法

毎回の授業参加や演習課題そして各期末の達成度チェックによります。

教科書

未定



科目名	スペイン語Ⅱ（選）	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	荻野 雅司 <small>おぎの まさじ</small>				

- 講義のねらい** スペイン語Iで学習したものを更に広く深く学ぶ事で、実際に使えるスペイン語を習得することを第一の目的とします。さらに、学期が終る頃には、通常のスペイン語Ⅱの一段上のレベルが身に付いている事を狙いとします。
- 講義の内容・授業スケジュール** 上記の目的を達成するために、一方でスペイン語Iで得た知識を今一度リフレッシュしながら、新しい領域に進んでいきます。この過程では教科書以外にテープ、ビデオ、更に広くスペイン文学作品の抜粋を含めた多様なプリント類を併用します。これにより、生きたスペイン語と同時に、例えその片鱗だけでも、スペイン語本来の持つ美しさにも触れる様にします。
- 履修上の留意点** 言葉の学習には継続が肝要ですから、特別な事情がある場合を除き、可能な限りコンスタントに出席出来る学生の受講を期待します。
- 成績評価の方法** 成績評価に当たっては、テストの成績よりも、むしろ日頃の受講態度を重視します。
- 教科書** 佐藤玖美子著「新・何を話しましょうか」  
(弘学舎)
- その他** 出来るだけ詳しい西和辞典（例、小学館「西和中辞典」等）を用意したい。

科目名	時事ロシア語	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現営A34選				
担当者名	木村 英明 <small>きむら ひであき</small>				

- 講義のねらい** 1991年のソ連邦崩壊からおよそ15年を経たロシアは、2期目に入ったプーチン政権下で、豊かな天然資源を基盤に着実な経済成長を維持している。また、天然資源のみならず、人的資源に恵まれたロシアの国際政治に及ぼす影響力や、21世紀の文化創造に向けて秘めている潜在力は看過できない。この授業では、そんなロシアの動向にじかにロシア語で触れていきたい。
- 講義の内容・授業スケジュール** ロシアの政治、経済、文化に関する平易な記事や論文を講読する予定だが、ビデオ等の映像教材も用いることにする。なるべく受講者の要望に応じたテーマを取り上げていきたい。テキストは適宜プリントの形で配布する。
- 履修上の留意点** 各自が、授業を通じて自分の問題意識と出会えるよう、アクティブな授業参加を望む。
- 成績評価の方法** 試験は行わず、平常点で評価する。
- 教科書** プリントを配布する。

科目名	上級ロシア語	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現営A34選				
担当者名	クロチコフ, Y.				

講義のねらい

会話練習。  
簡単な新聞、雑誌の記事、文学書を辞書を用いて講読します。  
講読した内容について自由会話をを行う。  
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

履修上の留意点

出席を重視します。

成績評価の方法

平常点で評価します。

教科書

教場にて指示します。プリント配布。  
学生の要望も考慮してテキストを選びます。  
ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	ロシア語コミュニケーションI	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	安徳 <sup>あんどく</sup> ニーナ				

講義のねらい

ロシア語I、IIで学んだことを基に、日常会話からロシア文学への入門ができることを目標とします。  
日常の話題等についても自由に会話ができるようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にもとづいて会話形式に講義を進めます。

履修上の留意点

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

成績評価の方法

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教科書

S,KHAVRONINA著「RUSSIAN AS SPEAK IT」(ナウカ社)

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布します。

科目名	ロシア語コミュニケーションII	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	安徳 <sup>あんどく</sup> ニーナ				

- 講義のねらい** 日常会話からロシア文学への入門、新聞、雑誌を読みこなせることを目標とします。また自由に会話ができるようになることをめざします。
- 講義の内容・授業スケジュール** 資料にもとづいて会話形式に講義を進めます。
- 成績評価の方法** 講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。
- 教科書** 新聞、雑誌の記事など必要に応じてその都度資料を配布します。(学生の希望も考慮します。)
- その他** 講義の状況に応じビデオ等を使用し「現在のロシアとロシア語について」説明と話もします。

科目名	ロシア語IA (選)	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	クロチコフ, Y.				

- 講義のねらい**
- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
  - 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボディ・ランゲージを含む)を身につけます。
  - 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
  - 4) 基礎的な初等文法を学びます。
  - 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
  - 6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。
- はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に慣れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業で各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員がやさしく指導してくれますので恥ずかしがらないことが大切です。
- 講義の内容・授業スケジュール** 前期は発音やアクセントに重点をおき、後期は短文の読みや文法をくり返し学びます。
- 成績評価の方法** テストは行わず、平常点で評価。
- 教科書** 『21世紀のロシア語』(大学書林)1,800円、プリント配布。ビデオ、オーディオ等を使用します。
- 参考書等** 『露和辞典』

科目名	ロシア語I B (選)	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法 A 政営 A 選				
担当者名	きむら ひであき 木村 英明				

講義のねらい

ユーラシア大陸にまたがる広大なロシアは、100に及ぶ民族を抱えた歴史的、文化的に多様な国家です。ソ連崩壊後の長い混迷を経て、現在は再び経済や文化の領域で飛躍の道をたどり始めています。ロシアの人々とじかにコミュニケーションできる機会、必要性は、隣国である日本でも高まりつつあります。この授業では、言葉を通してロシアの現況、習慣や文化にも触れていきたいと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

この授業では、簡単な日常会話表現をもとにして、初歩の文法を速習します。音声面を重視して、できるだけコミュニケーションに役立つロシア語を学習します。ビデオ等の映像資料も利用したいと思います。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

桑野隆『エクスプレス・ロシア語』(白水社)をもとに、必要に応じて適宜プリントを配布します。

科目名	ロシア語II (選)	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法 A 政営 A234選				
担当者名	クロチコフ, Y.				

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。  
講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。  
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書

杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林)

参考書等

ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	朝鮮語ⅠA（選）	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	宋 <sup>そん</sup> 美玲 <sup>みりょん</sup>				

講義のねらい

朝鮮語Ⅰの授業は、同一の教員がそれぞれ違う教科書をもって週2回の授業を行う。ⅠAのクラスは会話中心、ⅠBのクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。同時に多様な資料をもって韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いも試みる。

講義の内容・授業スケジュール

文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。基本的な学習の内容はA、Bクラス同様であるが、後期からはⅠAのクラスでは、口頭練習および聞き取りと書き取り、ⅠBのクラスでは、文法事項による作文や読解などに力を注いでいく。

履修上の留意点

最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。

成績評価の方法

出席・授業への参加度および、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書

ⅠA：長谷川由紀子著『コミュニケーション韓国語（会話編1）』（白帝社）1,800円＋税

参考書等

野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』（ナツメ社）1,000円

科目名	朝鮮語ⅠB（選）	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	宋 <sup>そん</sup> 美玲 <sup>みりょん</sup>				

講義のねらい

朝鮮語Ⅰの授業は、同一の教員がそれぞれ違う教科書をもって週2回の授業を行う。ⅠAのクラスは会話中心、ⅠBのクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。同時に多様な資料をもって韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いも試みる。

講義の内容・授業スケジュール

文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。基本的な学習の内容はA、Bクラス同様であるが、後期からはⅠAのクラスでは、口頭練習および聞き取りと書き取り、ⅠBのクラスでは、文法事項による作文や読解などに力を注いでいく。

履修上の留意点

最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。

成績評価の方法

出席・授業への参加度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書

ⅠB：長谷川由紀子著『コミュニケーション韓国語（読んで書こう1）』（白帝社）2,400円＋税

参考書等

野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』（ナツメ社）1,000円

科目名	朝鮮語II (選)	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	<small>せん みりよん</small> 宋 美玲				

講義のねらい

基本的な文法の内容をふまえ、日常生活での基礎会話が話せるようにする。プリント資料による読解・作文の練習とドラマなどの聞き取り練習を通して実践的な習得を目指す。なお、多様な映像の資料をもって韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いを試みる。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストをもって基本的な文法及び表現に基づいた文型練習を行う。また、口頭練習を通して聞き取り及び書き取りの能力を、プリントの資料をもって作文や読解の能力を強化していく。

履修上の留意点

韓国語の文字と発音を覚え、初歩的な文法事項を学習した人を対象とするので、まったく初めての人は朝鮮語Iのほうを受講すること。  
受講生は、テキストの復習・予習など、積極的な授業への参加が望ましい。

成績評価の方法

授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書

野間秀樹著『至福の朝鮮語』(朝日出版社) 2,900円

参考書等

野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』(ナツメ社) 1,000円  
 金美仙著『韓国語用言 活用と用言』(三修社) 2,500円+税

# 《再履修クラス》〔英語〕

科目名	英語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	濱口 真木				

講義のねらい	これまで学んできた英語を基礎として、基本的な文法・構文を再確認しつつ、総合的な英語の運用能力をめざす。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを読みすすめていく。また、英語力の確認と向上を図るため、小テストもおこなう。
履修上の留意点	授業は平常点を重視するので、必ず予習をして授業に参加してください。
成績評価の方法	出席や発表などの平常評価（50%）、前期・後期試験（50%）の総合評価とします。
教科書	前期・Focus on Communication 1「基本文型からコミュニケーションへ」 後期・Focus on Communication 2「音の理解からコミュニケーションへ」 朝日出版社 ￥1,400-ISBN978-4-255-15442-8・978-4-255-15443-5

科目名	英語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	松堂 啓子				

講義のねらい	基礎的な文法を確認しながら、短い英文を書けるようにする。また、リスニング力の強化も併せて行う。
履修上の留意点	単位取得には、三分の二以上の出席が必要である。
成績評価の方法	試験の結果、課題等を含めて総合的に評価する。
教科書	『Three-line Writing in English』成美堂 ￥1800 ISBN4-7919-1041-9

科目名	英語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	岩井 <small>いづみ</small> 洋美 <small>ひろみ</small>				

講義のねらい

基本文法を復習すると同時に語彙と表現を増やし、自分の事や身近な事をライティング、スピーキングの両面でやりとりすることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを中心に進めていきます。口頭での質疑応答、聞き取り、英作文の練習問題を行います。スピーキングや復習テストをクラス内で随時行う予定です。

履修上の留意点

欠席、遅刻をしないことと1回めの授業に必ず出ること。出席とやる気のある授業態度を最も重視します。8回以上の欠席、4回以上連続の無断欠席をした者は単位は取れません。

成績評価の方法

出席、授業態度の平常点100、前・後期試験各100、スピーキングテスト復習テスト100、合計240点以上で単位取得とします。

教科書

1回目の授業までに大学教科書売り場で購入して置いてください。

科目名	英語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	牧野 <small>まきの</small> 輝良 <small>てるよし</small>				

講義のねらい

英文構造の理解をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

毎時間リーダの部分を読み、その後日本語に訳し提出すること。

履修上の留意点

かならず出席し、指名されたら和訳が出来るように予習しておくこと。

成績評価の方法

3課進む毎に和訳の小テスト、毎時間の和訳の提出、期末テスト等により総合的に評価する。

教科書

田本 & Sanada 著『基本英語表現』（成美堂）1,600円  
ISBN4-7919-4907-2 C1082



科目名	英語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	熊沢 和明 <small>くまさわ かずあき</small>				

- 講義のねらい** 英語の基礎的な口語運用能力を確認し、コミュニケーション能力を引き伸ばすことをねらいとします。
- 講義の内容・授業スケジュール** 平易なコミュニケーション能力開発用教科書を使い、読み、書き、聞く、話す能力をバランスよく伸ばすように、ペアワークなどの実習形式を取り入れた授業とします。
- 履修上の留意点** 英語が苦手でも積極手に授業参加する姿勢を評価します。
- 成績評価の方法** 出席、授業態度などの平常点を重視します。年間12回の単語テストを実施します。評価は総合評価とします。  
PCおよび携帯メールを利用した補習を行います。
- 教科書** 『NEW ACTIVATOR』（金星堂）
- その他** 土曜3限

科目名	英語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	塙 美智子 <small>はなわ みちこ</small>				

- 講義のねらい** 英語の運用能力養成をめざす。日常基本表現から多様な会話表現の理解と運用能力の養成をめざす。同時に文章表現も学ぶ。
- 講義の内容・授業スケジュール** テキストの中から多様な英語表現を習得する。日本語に訳さないで英語の表現として身につける習慣をつけていく。
- 履修上の留意点** 辞書を使う場合も出来るだけ英英辞典を使う習慣を身につけていく。
- 成績評価の方法** 日常の出席状況を重視し、普段の授業態度、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。
- 教科書** 『Appreciating European Culture 一生まれ変わるヨーロッパ』（成美堂）1,800円
- 参考書等** その都度黒板に板書し案内する。
- その他** 大切なことばを一つでも多く頭に入れ必要な時すぐに使える努力をする。

科目名	英語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	丸小 哲雄				

講義のねらい

広告制作のしくみとそのイデオロギーを捉えることは広告の解読になる。同時に人々の欲望を管理している広告を読み解くことは、消費者として喪失している主体性を回復することでもある。

講義の内容・授業スケジュール

リスニングとリーディングによって読込みと思考を養い、発信型のコミュニケーション力を補完していきます。

履修上の留意点

質問や発表は評価の対象となりますので、予習・復習がこのクラスの前提条件です。私語は厳禁。

成績評価の方法

出席、平常テスト、レポート作成課題、前期・後期の試験などの総合評価。クラスでの発表者に別途評価します。

教科書

- ・リーディングとリスニングのテキスト
- 1. Decoding Advertisements 英宝社
- 2. Daily Life Listening 英宝社 ISBN4-269-44041-4 C1082

参考書等

参考書を随時指示し、日常英語のプリントや時事英語ニュースのコピーも配布します。

科目名	英語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	近藤 真彰				

講義のねらい

英文ニュース記事を読みながら、時事英語の読解力、語彙力をつけ、その内容について英語で意見が述べられるようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

最新の英字新聞やインターネットのニュースサイトからの記事を、単語や表現に注意しながら読んでいきます。その上で、英語での意見の表現法を学びながら、記事内容について自分の意見を述べる練習をします。

履修上の留意点

必ず辞書を持参してください。

成績評価の方法

前期と後期の定期試験の成績（50％）と通常の授業での課題（50％）を総合して評価します。

教科書

授業の第一回目に指示します。

科目名	英語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	岡本 誠 <small>おかもと まこと</small>				

- 講義のねらい** 日本人の学生が弱点としている聴く力を養成したく、聴いて書いていく、つまり原稿を書き上げていく作業を行う。つまり、Writingを聴く力を前提にしてやろうというわけである。
- 講義の内容・授業スケジュール** なにを聴くか、その材料はこちらから提供するが、英語の慣用的な表現がどのような大きさで日常の言語生活に定着したのか説明したものである。原稿を書き上げたら、その独特の表現を自分でも使えるようにしてほしい。
- 履修上の留意点** 辞書必携。着帽禁止。ケータイは off。
- 成績評価の方法** 発表状況・出席状況・遅刻状況・テストの結果等の総合評価。
- 教科書** 特定のものは使用しない。

科目名	英語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	熊沢 和明 <small>くまさわ かずあき</small>				

- 講義のねらい** 英語の基礎的な語学力を確認し、能力を引き伸ばすことをねらいとします。
- 講義の内容・授業スケジュール** 平易な総合学習教科書を使い、読み、書き、聞く、話す能力をバランスよく伸ばすように、ペアワークなどの実習形式を取り入れた授業とします。
- 履修上の留意点** 英語が苦手でも積極手に授業参加する姿勢を評価します。
- 成績評価の方法** 出席、授業態度などの平常点を重視します。年間12回の単語テストを実施します。評価は総合評価とします。  
PCおよび携帯メールを利用した補習を行います。
- 教科書** 『今日の問題二つの見方  
Opposite Opinions on News Topics』Brian Powle 著  
長阪 朱美 編 1785円

科目名	英語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
担当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	いわはら やすお 岩原 康夫				

講義のねらい

英語による日常的なコミュニケーション力の向上を狙いとする。そのために、一定の基本的な動詞の構文と用法を学習する。

講義の内容・授業スケジュール

クラスはテキストに沿って、表現練習問題をやり、その応用を行ってもらう。

履修上の留意点

学生諸君の予習を前提にしてクラスは進める。

成績評価の方法

前期・後期の試験60パーセント、平常点40パーセントを基準として、成績評価をする。平常点はクラスにおける予習及び発表によって判断する。

教科書

Cultivating Writing Skills（朝日出版）2000円 ISBN4-255-15280-2

科目名	英語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
担当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	たかみ しょうこ 高見 陽子				

講義のねらい

英文を速く的確に読むための基礎を身につけることを主な目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

音読やリスニングを通して英語のリズムに慣れることと、精読とは異なる「理解しながら読む」方法に慣れること、この二点を軸に英文を読みこなすための基礎的な練習をします。英文を読む際は、まず全体に目を通して要点と話の流れを把握してから、もう一度詳しく読み直して一回目の読解内容を確認します。

履修上の留意点

必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

全授業回数の3分の2以上の出席が必要です。前・後期末試験の結果をベースに、小テスト・レポート等の結果と授業中の取り組みなどの平常点を加味して、総合的に評価します。

教科書

テキストについては、第一回目の授業で指示します。

科目名	英語I B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
担当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	菅原 <sup>すがわら</sup> 典子 <sup>のりこ</sup>				

講義のねらい

比較文化論的観点に立ち日米の文化や考え方の違いについて学びながら、英語の運用能力向上をめざします。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストを読み進めながら、練習問題もやっています。

履修上の留意点

授業は予習をしてくること。

成績評価の方法

前期後期の試験の結果をベースに、日常の発表、出席状況、態度等を入れて総合的に評価します。

教科書

*Simply America, Simply Japan* 『ちょっと日米比較』 Jim Knudsen、石井隆之、金澤順一、木村博是、樋口忠彦、松田聡太郎、村松秀紀 南雲堂 定価1470円（税込）ISBN4-523-17308-7

科目名	英語I B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
担当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	佐藤 <sup>さとう</sup> 江里子 <sup>えりこ</sup>				

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストを基本とし、演習形式で授業を進めていく。その他に、補足プリントを配布し、TOEIC等の各種検定にも対応できる英語力を身につけることをめざす。

履修上の留意点

必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。授業中に、私語をしたり、寝ている場合は出席とみなさないで注意すること。

成績評価の方法

定期試験（50％）と小テスト、提出物、発表などの平常点（50％）から総合的に評価する。特に、出席状況や授業態度を重視する。

教科書

『大学生のための初級英語』（南雲堂）¥1900＋税

科目名	英語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	おちあい かずあき 落合 和昭				

講義のねらい

このクラスのレベルは英語の中級（英検準二級、二級、準一級）程度とし、現代口語英語で書かれた文章とヒヤリングを通して、口語表現に慣れ、英語の運用能力を高めることを目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。

講義の内容・授業スケジュール

一回の講義は、主として、四段階からなる。第一段階として、ヒヤリングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は書き取りをする。第三段階は、ヒヤリングや書き取りのなかで使用されている慣用表現の意味や用法を、テキストを通して、確認する。第四段階は、学生に会話文の発音練習をしてもらう。

履修上の留意点

授業は徹底した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

成績評価の方法

前期試験が20%、後期試験20%、課題・授業中の発表・小テスト等が60%。出席率は平常授業（前期・後期試験は除く）3分の2を越えなければ、成績は「不合格」とする。また、遅刻2回で、欠席1回とし、30分以上の遅刻は欠席とする。

教科書

『音の理解からコミュニケーションへ』 朝日出版社 1400円  
ISBN978-4-255-15443-5  
『初めてのビジネス英語、大学からビジネス・ワールドへ』 金星堂 1800円  
ISBN4-7647-3655-1

科目名	英語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	たかなぎ ふみえ 高柳 文江				

講義のねらい

英文の逐一の翻訳ではなく、英文を速やかに、かつ、正確に理解する事をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

簡潔な文章の Reading だけではなく、Listening にも重点がおかれます。章毎のトピック文の中の語彙、慣用句、文法についての演習問題により更なる理解を深めるよう構成されています。

履修上の留意点

授業の性質上、予習が必ず必要です。又、単位取得には2/3以上の出席が必須です。座席指定

成績評価の方法

試験（前期試験・後期試験）60%、日常点（出席、小テスト、提出物、授業への取り組み）40%

教科書

第1回目の授業にて通知します。

科目名	英語I B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
担当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	やまぎし じろう 山岸 二郎				

講義のねらい	英文の基本構造を理解すると共に運用力の向上に努める。
講義の内容・授業スケジュール	文型を意識しながら英文を読み、それをテープで聴きリズムに慣れる。授業ではこの訓練に集中する。音声によるアプローチは、英語再入門には効果的学習法である。
履修上の留意点	ノートを用意する。短文を暗誦して書き留める。随時小テストで学習内容を確認し、その定着を計る。
成績評価の方法	平常の学習を重視する。小テスト、発表、レポート、テスト等総合して評価する。
教科書	『Focus on communication (1)』（朝日出版社）

科目名	英語I B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
担当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	おおた ゆきこ 太田 由紀子				

講義のねらい	聴解力と読解力を養う。それを可能にするべく単語力、構文理解力を高める。また扱う資料を通して英語圏の文化についての理解を深める。
講義の内容・授業スケジュール	アメリカの喜劇王チャールズ・チャップリンの映画を鑑賞する。それと平行して彼の自伝を読む。映画鑑賞については英語字幕にする場合と日本語字幕にする場合とあるが、これにより読解力と聴解力を養う。映画の粗筋（英文）も読む予定だが、映像と音声で展開された物語の要約に触れることで英語の理解力を高めたい。そして映画に関係の深い箇所を彼の自伝 My Autobiography から抜粋して読む。これについては音声テープもついているので利用する。いずれの作業においても英文法の確認作業をする。
履修上の留意点	毎回の授業に参加し、作業をすることが実力向上につながる。そう心得てほしい。
成績評価の方法	授業時の応答および小テスト、そして前期・後期の最終授業日に実施する試験結果を総合する。
教科書	随時、プリントを配布する。
参考書等	安井稔 『英文法総覧』（開拓社）、江川泰一郎 『英文法解説』（金子書房） Charles Chaplin. My Autobiography (Penguin Modern Classics Non-Fiction) チャールズ・チャップリン 『チャップリン自伝』 中野好夫訳（新潮文庫 上下巻に分冊。下巻は絶版）

科目名	英語IIA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）34年				
担当者名	竹村 恵都子				

講義のねらい	主として Speaking や Writing の英語運用能力を高めることを目的とします。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを中心に、テープも利用しながら演習形式で授業を進めます。
履修上の留意点	遅刻・欠席をせず、予習を含め、積極的な授業参加をすること。
成績評価の方法	前期・後期の試験を主として、授業時の発表及び出席率などを総合的に評価します。
教科書	未定

科目名	英語IIA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）34年				
担当者名	山口 晃				

講義のねらい	IAを土台にして、さらに豊かな表現ができるようになってほしい。そのため、同じことが様々な表現できることを授業の中で感じてもらいたい。
講義の内容・授業スケジュール	IAのとき以上に複合的な文脈を把握する練習をしたい。表現のためのもとなる思考を深める工夫をしたい。
履修上の留意点	語学の授業なので、出席は重視する。発表には加わってもらおう。遅刻は授業のさまたげになるので、注意してほしい。
成績評価の方法	出席回数、授業での発表、レポート、テストの四つを総合的に考えて評価する。
教科書	プリントを配布する。辞書は毎回かならず持ってくること。



科目名	英語IIA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）34年				
担当者名	三幣 <sup>みぬき</sup> 友行 <sup>ともゆき</sup>				

講義のねらい	英語IAで学んだことを基礎にして、英語による意思伝達能力の向上をはかることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	教科書にそって英語の口語表現を学んでいく。
履修上の留意点	予習を前提として授業をすすめる。
成績評価の方法	前期試験、後期試験、小テスト、出席点、平常点を総合的に評価する。
教科書	未定
その他	詳しいことは初回の授業で説明する。

科目名	英語IIA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）34年				
担当者名	澤田 <sup>さわだ</sup> 真弓 <sup>まゆみ</sup>				

講義のねらい	毎回興味深いエッセイを取り上げて簡単な英語表現を学び、リスニングやリーディングの能力を総合的に伸ばすことを目標とします。
講義の内容・授業スケジュール	授業は演習形式で行います。毎回発表担当者を決め、あらかじめ指定した箇所を音読し、日本語訳をつけてもらいます。また授業の終わりに簡単な確認テストを行います。
履修上の留意点	積極的に授業に参加することが望ましい。辞書は必ず持参すること。
成績評価の方法	出席回数、発表や提出物、毎回行う確認テストの結果を総合的に判断して評価します。
教科書	Blake Baxter 著、大橋久利 編 『The Culture of Clothes 世界の衣生活』（成美堂） 1,600円 ISBN4-7919-1258-6

科目名	英語IIA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）34年				
担当者名	まえだ おさむ 前田 脩				

講義のねらい	英文になれ、やさしい英語による表現を学びます。
講義の内容・授業スケジュール	比較的短い英文を読み、その英文に沿った英語表現とリスニングをおこないます。
履修上の留意点	授業は予習をしてくること、求められた英語表現レポートは必ず提出してください。
成績評価の方法	日常の発表を重視し、前期と後期の試験結果を総合的に評価します。
教科書	「エンジョイ・イングリッシュ」朝日出版 1700円 ISBN4-255-15390-6 C1082

科目名	英語IIA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）34年				
担当者名	とのおいけ かずこ 外池 一子				

講義のねらい	現在日本や世界でいろいろ議論を巻き起こしているテーマを取り上げて、それらの問題について英語で自分の考えを述べられるようになることを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	前期は基礎的な英語の力（読む・書く）があることを確認します。（e-learning教材を使用する場合があります。）後期はさまざまなテーマについて英語で意見を述べる訓練をします。
履修上の留意点	コンピューター教室を使用する場合がありますのでユーザーIDおよびパスワードを取得しておく事。基本的なコンピューターの操作ができることが望ましい。
成績評価の方法	平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。
教科書	開講時に指示します。（e-learning教材使用の場合、教材費4,000円）
その他	日ごろから新聞を読んだりニュースを聞いたりして、自分の身の周り・日本そして世界が直面するさまざまな問題に目を向け、それらについて自分の意見を持つよう心がけてください。

科目名	英語IIA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
担当	全学科（フレB除く）34年				
担当者名	古富 猛 <small>こみ たけし</small>				

講義のねらい

日本人が何年も英語を学校で時間をかけて学んでいるのに、スピーキングが苦手であるのは周知の通りである。私自身もネイティブ・スピーカーとの会話に四苦八苦している。これからの学生さんはもっと語学をやらざるを得ないであろう。異文化との接触はストレスにもなるが、好奇心を捨てない限り、これほどおもしろいものはない。自らの心を鎖国状態にして、メリットは何もない。よって何とか身につける指針だけでも示したいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

やはり日本人はリーディング能力を生かすべきだと痛感している。多読用のテキストを選び、パターン・プラクティスこそが、英語を身につける第一歩と心がけてもらいたい。

履修上の留意点

授業は予習をしてきてもらいたい。

成績評価の方法

出席と発表を日常の評価として、平常点とし、前・後期の筆記試験で総合的に評価を出します。

教科書

教場にて、追って指示します。

科目名	英語IIA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
担当	全学科（フレB除く）34年				
担当者名	飯沼 好永 <small>いひぬま よしなが</small>				

講義のねらい

英語の基本的な文法事項を確認しながら、自分の考えを表現できる英語力を身に付けること目指します。

履修上の留意点

予習を忘れずに、積極的に授業に参加してください。

成績評価の方法

出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行います。

教科書

『The Real World Today New Edition』 桐原書店 ￥750 ISBN4-342-41200-4

## 〔ドイツ語〕

### 外国語

科目名	ドイツ語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	本橋 右京				

#### 講義のねらい

伝統的な配列にしたがってドイツ語初級文法を学びます。やさしい例文にできるだけ多くあたり、基本的な語彙やドイツ語の構文の特徴を習得します。

#### 講義の内容・授業スケジュール

文法をアルファベット、発音から復習します。ドイツ語の仕組みを把握し、それをテキストで確認します。そこに出てきた基本表現を覚え、さらに毎時間配布する練習問題で理解を確かなものとしします。

#### 履修上の留意点

予習・復習や授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

#### 成績評価の方法

前期・後期の試験や出席などで総合評価します。

#### 教科書

諏訪田 清 『新訂・ドイツ文法18歩』（同学社）

科目名	ドイツ語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	志真 斗美恵				

#### 講義のねらい

さまざまな理由でもう一度ドイツ語1Aを履修することになった方たちのクラスですが、編入等ではじめてドイツ語に触れる方もおいでです。全員が、気持ちを新たにドイツ語に取り組んでいきましょう。新しい言葉を学び、未知の文化に触れていくことは楽しいことです。無理なく、一步一步進めるよう、やさしいテキストをつかい、ドイツ語の知識を確かなものにしていきます。

#### 講義の内容・授業スケジュール

文法の説明だけでなく、CDを使い、聞き取り、書き、話すことを繰り返しおこないます。さらに、授業で習った知識を、その場で確かなものとするため、毎回できるだけ多くの練習問題に取り組んでいきます。

#### 履修上の留意点

欠席をするとわからなくなるのは当然ですが、とりわけドイツ語の文法は、積み重ねが大事です。必ず出席してください。

#### 成績評価の方法

前期・後期試験および平常点で総合的に評価します。

#### 教科書

- 1) 入谷・河野・小林・小松・佐原
- 2) ようこそベルリンへ！ -独検4級対応-
- 3) 同学社
- 4) 2500円
- 5) ISBN4-8102-0726-2 C1084

科目名	ドイツ語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	みなみ はるつ 南 はるつ				

講義のねらい	比較的容易な問題を解くことによって初級文法の基礎を身につけます。
講義の内容・授業スケジュール	教科書に沿って前期は発音、冠詞類、動詞の現在人称変化、前置詞について、後期は形容詞、助動詞、複合動詞、過去形・現在完了形、関係代名詞について学習します。
履修上の留意点	出席を重視します。
成績評価の方法	前期試験、後期試験、平常授業時間中に行う小テスト、平常点、出席状況を総合して評価します。
教科書	高橋・城間著『お洒落なドイツ語』（朝日出版社）
参考書等	随時紹介する他、授業に必要な練習問題等のプリントを配布します。

科目名	ドイツ語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	いむら ゆきこ 井村 行子				

講義のねらい	ドイツ語文法の基礎を復習します。
講義の内容・授業スケジュール	基本的な文法事項を説明しながら、簡単な問題を練習します。
履修上の留意点	何はともあれ出席を心がけてください。
成績評価の方法	前期と後期の学期末に筆記試験を行います。
教科書	諏訪田清『ドイツ語文法18課』（同学社）

科目名	ドイツ語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	すぎもと まさとし 杉本 正俊				

講義のねらい

この授業は、学生がドイツ語の知識を全く無い事を前提に、あらゆる観点からドイツ語への入門を行う。ただ文法事項は正しく理解しながら進んで行く。

講義の内容・授業スケジュール

指定する教科書に従って授業を行うが、発音に関しては別にプリントを用意する。

履修上の留意点

なるべく予習不要な、楽しい授業を心掛けるが、必要な課題は必ずしっかりとやってもらおう。授業内容は十分に理解することが必要であり、重要な項目は反復して説明し、折にふれて復習する。

成績評価の方法

成績は、期末テストの他に、日常の授業への取り組み方を特に重視する。授業中のまちがった解答は必ずしもマイナスの評価にはならない。自分の考えを発表することが大切である。

教科書

教科書 ステップバイステップ15  
著者：新妻孝一 兼子安弘 渡部敏一  
発行所：東洋出版株式会社 ¥1900

科目名	ドイツ語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	しいづか きみお 飯塚 公夫				

講義のねらい

正規の授業と同じで、ドイツ語の基本をやっていきます。発音・文法の理解・内容の読み取りが中心となります。

講義の内容・授業スケジュール

教科書通りに、文法説明・発音練習・練習問題・文章の読解という手順でやっていきます。

履修上の留意点

一年の語学は続き物ですので、途中抜けたときは、その分は自分でやっておいてもらわないと、ついていけなくなると思います。その場合は責任は当人にありますから、心してください。「やる気」もさることながら、「根気」がないと一年持ちませんよ。

成績評価の方法

前期後期各一回の筆記試験と平常点（＝発表点）。

教科書

宇佐美幸彦他著「ドイツめぐり（ユーロ版）」（朝日出版社）2,400円

科目名	ドイツ語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	おかもと とまこ 岡本 時子				

講義のねらい

初歩の簡単なドイツ語を理解したり使ったりする運用能力をつけることが主たる目標だが、併せてドイツ語圏の文化や歴史についても学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期は現在時制の単文と格を中心に、後期は複合時制や複文まで拡大させて学習する。

履修上の留意点

授業は前回の内容の上に組み立てて行うので、休まず出席すること。

成績評価の方法

期末試験の結果、出席、学習意欲等を総合して評価する。

教科書

開講時に指定する。

参考書等

必要に応じて授業中に指示する。

その他

火曜5限

科目名	ドイツ語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	すぎもと まさとし 杉本 正俊				

講義のねらい

この授業は、学生にドイツ語の知識が全く無いことを前提に、あらゆる観点から、ドイツ語への入門を行う。

講義の内容・授業スケジュール

指定する教科書に従って授業を進めるが、発音に関しては独自のプリントを用意する。

履修上の留意点

なるべく予習不要な、又楽しい授業を心掛けるが、必要最少限の課題は必ずしっかりとやってもらう。授業内容は十分に理解することが必要。重要な項目は反復して説明し、折にふれて復習する。

成績評価の方法

成績は、期末テストの他に、日常の授業への取り組み方を特に重視する。授業中のまちがった解答は必ずしもマイナスの評価にならない。自分の考えを発表することが大切である。

教科書

教科書 楽しいドイツ語トレーニング  
著者：太田隆士 明石真和 櫻井千絵  
発行所：三修社 ￥2100

科目名	ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	岡本 時子 <small>おかもと ときこ</small>				

講義のねらい	初歩の簡単なドイツ語を理解したり使ったりする運用能力をつけることが主たる目標だが、併せてドイツ語圏の文化や歴史についても学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	前期は現在時制の単文と格を中心に、後期は複合時制や複文まで拡大させて学習する。
履修上の留意点	授業は前回の内容の上に組み立てて行うので、休まず出席すること。
成績評価の方法	期末試験の結果、出席、学習意欲等を総合して評価する。
教科書	開講時に指定する。
参考書等	必要に応じて授業中に指示する。
その他	土曜3限

科目名	ドイツ語ⅡA〔再クラス〕 ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年 禅仏国歴日外考経商現法A政34年				
担当者名	森 公成 <small>もり こうせい</small>				

講義のねらい	ドイツ語ⅡAとⅡBを基礎とし、それを実践的に発展させる授業です。文法の復習をしながら、総合的なドイツ語能力の向上をめざします。
講義の内容・授業スケジュール	一年をかけて下記の教科書を終わらせます。最初はゆっくりと進めますが、じょじょにスピードアップをはかります。
履修上の留意点	授業への積極的な参加を希望します。また、3分の1以上休んだ場合は（遅刻と早退は2回で1回休みとみなします）、原則として定期試験の成績いかに関わらず、単位の修得ができませんのでくれぐれも注意してください。
成績評価の方法	定期試験（年2回）、出席率、夏期休暇中の課題、授業態度等から総合的に判断、評価します。
教科書	早川東三、Michael Muenzer 共著 『新・ドレーガー失踪事件』（第三書房）2,100円



科目名	ドイツ語IIA〔再クラス〕 ドイツ語IIB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年 禅仏国歴日外考経商現法A政34年				
担当者名	もとよし うきよう 本橋 右京				

- 講義のねらい** 初級文法の配列に則った読章を読み、基本的な語彙やドイツ語の構文の特徴を習得して行きます。
- 講義の内容・授業スケジュール** 初級文法に準拠して、文法項目を確認しながら学んで行きます。基本表現はできるだけ覚えましょう。
- 履修上の留意点** テキストは丁寧に無理なく、また興味深く作られています。しっかり予習・復習して授業に臨んでください。授業中の発表や表現練習など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。
- 成績評価の方法** 前期・後期の試験や出席などで総合評価します。
- 教科書** 橋本・Neuberger 『楽しく学ぼうドイツとドイツ語』（三修社）

科目名	ドイツ語IIA〔再クラス〕 ドイツ語IIB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年 禅仏国歴日外考経商現法A政34年				
担当者名	みなみ はるつ 南 はるつ				

- 講義のねらい** ドイツ語IA及びIBで学んだことを基礎として、難解な文法項目の基礎を身につけます。
- 講義の内容・授業スケジュール** 形容詞、関係代名詞、受動態、接続法について教科書に沿って学習していきます。それに関連した比較的容易な問題を解きながら、同時に読解力も身につけましょう。その際必要があれば今まで学習した項目についても復習します。
- 履修上の留意点** 出席を重視します。
- 成績評価の方法** 前期試験、後期試験、平常点、出席状況を総合して評価します。
- 教科書** 南道子他著『ドイツ語の上にも一年』（同学社）2300円
- 参考書等** 随時紹介する他、授業に必要な練習問題等のプリントを配布します。

## 〔フランス語〕

### 外国語

科目名	フランス語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	前田 祝一 <small>まえだ のりかず</small>				

#### 講義のねらい

初めてフランス語を学習するものとして、ABCの基礎から開始します。

#### 講義の内容・授業スケジュール

練習問題をくりかえし教室で実践して、その積み重ねで少しずつ理解を深めてもらいます。

#### 履修上の留意点

毎週の授業が、その前までの学習成果の上に立っての新しい項目の勉強ですから、決して欠席しないこと。欠席を重ねると取り残されてしまいますから、ご用心。

#### 成績評価の方法

前・後期のペーパー・テストで成績評価をしますが、出席状況や教室での課題の消化状況にも配慮します。

#### 教科書

西南学院大学編 『大学生のフランス語－文法・読本・練習－』（白水社）1,700円

科目名	フランス語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	芦原 眷 <small>あしはら けん</small>				

#### 講義のねらい

1年かけて、仏語のやさしい文章（おもに会話の多い文章）が読めて（発音）、その内容が理解（読解力）できるようにします。読解力をつけるためには、文法の知識を身につけることがどうしても必要です。文法は読解力に非常に役立つ道具です。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期は、文法を土台にして、仏語の読み方、辞書の上手な引き方を覚えます。後期は、前期の作業を発展させて、できるだけ多くの仏文を読めるようにします。

#### 履修上の留意点

教科書と同時に辞書を持参して下さい。

#### 成績評価の方法

毎回小テストか辞書を使う和訳のテストをします。それに、期末の総合テスト。ときどきレポート。

#### 教科書

中山真彦『ミニ・ボンジュール・パリ』（白水社）

科目名	フランス語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	こたま ぱりお 小玉 齊夫				

**講義のねらい** フランス語の規則を、しっかりと覚えていきます。辞書を活用し、読み方を確実にして、簡単なフランス語文を読み解けるようになることが目標です。

**講義の内容・授業スケジュール** 一回の授業で、一課を学習する、という速度で、進んでいく予定です。出来れば、各課終了時にまとめとしての小テストを行い、より確実な記憶・学習をめざします。

**履修上の留意点** 特別な事情がないかぎり、毎回必ず出席すること。再履修になった原因の大半は、なんらかの理由で出席を怠ったからです。知識の確認を、授業のたびごとに、行うこと。執念ぶかく授業についていくこと。

**成績評価の方法** 上記の小テストの提出状況、その成績、ならびに前期・後期の試験の成績によって、判定します。出席は、するのが当然、というより、学生の「権利」です。

**教科書** 内藤 著 『新カイエ・ドゥ・フランセ』（駿河台出版社、2200円）ISBN978-4-411-00820-6

**参考書等** 辞書については初めの授業時に説明します。

科目名	フランス語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	すかはら たけし 菅原 猛				

**講義のねらい** 英語以外にも外国語の一つ位は知っておく必要があることは世界中の常識。

**講義の内容・授業スケジュール** 1年間の限られた時間枠の中でフランス語を読解する基礎知識を身につける。

**履修上の留意点** 教科書・辞典を持参し、可能なかぎり出席すること。

**成績評価の方法** 再履修クラスですから、欠席は許されません。年2回の定期試験の他、授業時間内に行う平常試験の成績を重視します。

**教科書** 「基礎入門タブロー・グラメール」久富 健著（朝日出版社） ¥2,200  
ISBN4-255-35137-6 C1085

科目名	フランス語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	谷川 <small>たにかわ かおる</small> かおる				

講義のねらい

フランス語の基礎をゆっくりと学び直します。

講義の内容・授業スケジュール

文法の基礎を学んだ後に、なるべく数多くの練習問題を行い、基礎力を養います。毎回、小テストを行い、重要な項目を暗記します。

履修上の留意点

出席重視。辞書は毎回持参すること。

成績評価の方法

前期・後期試験、および小テストなど。

教科書

『街かどのフランス語一新訂版』、瀬戸秀一他著（朝日出版社）2100円

参考書等

授業中に紹介する。

その他

全員参加の演習方式ですので、積極的に参加してください。

科目名	フランス語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	菅谷 <small>すがや さとる</small> さとる				

講義のねらい

初歩のフランス語を、コミュニケーション能力の学習に力点を置いて勉強します。

履修上の留意点

休まずに出席すること、継続的な努力を望みます。

成績評価の方法

前期末と後期末の試験、および小テストによります。

教科書

藤田著『新・彼女は食いしん坊! 1』（朝日出版社）2,625円

科目名	フランス語I B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	いまげき 今関 アン				

**講義のねらい** 一年時に習得できなかった箇所を確実なものにし、フランス旅行で困らない最低限のコミュニケーション能力を身につける。

**講義の内容・授業スケジュール** CDの聞き取り、単語調べ、その場での会話練習、練習問題など。

**履修上の留意点** 2/3の出席は最低条件である。なお教科書も携行せず、漫然と椅子に座っていて出席点を貰おうなどと考えるのは言語道断である。予習し、積極的に授業に参加し、課題の提出をもって初めて出席と見なす。就職活動・疾病などでやむを得ず欠席する場合は、出席に相当する課題を出す。

**成績評価の方法** 2/3以上の出席（25％）＋夏休みの課題『ふらんす夏休み学習号』（白水社）の実力テスト（25％）＋前・後定期試験（50％）

**教科書** 内村瑠美子著『フランス語でサバイバル!』（白水社）2,000円

**参考書等** 仏和辞典、『ふらんす夏休み学習号』（白水社）（7月中に大学内紀伊國屋書店で購入）  
清岡智比古著『フラ語入門、わかりやすさにもホドがある』（白水社）1,500円

科目名	フランス語I B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	いしやう なお 伊藤 なお				

**講義のねらい** フランス語の基礎を学習し、実用に適した知識を身につけます。

**講義の内容・授業スケジュール** 必要な文法事項を解説しながら、日常会話と練習問題によってフランス語表現の習得と定着を図ります。音としてのフランス語に馴染んでもらうため、発音には力を注ぎます。また簡単な文章の読解にも取り組みます。テキストの文化・社会紹介欄をもとにフランスがどのような国かについての知識も得られるようにしましょう。

**履修上の留意点** 積極的に授業に参加し、ためらわずに発話練習、練習問題に取り組むことが必須です。必ず初回から出席し、毎回与えられる課題をしてから授業に臨んで下さい。

**成績評価の方法** 平常点、小テスト、前・後期試験によって判定します。

**教科書** フランソワ・ルーセル、丸川 誠司 『トーム・アン』（第三書房）本体2,000円

科目名	フランス語ⅡB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	谷川 かのる				

講義のねらい

フランス語の基礎をゆっくり勉強しなおします。フランス語とフランス文化に親しみつつ、フランス語会話を習得します。

講義の内容・授業スケジュール

毎週、重要な基本文法の解説の後、それがきちんと活用できるよう練習問題や暗唱に取り組んでもらいます。

履修上の留意点

出席重視。辞書は必ず持参すること。

成績評価の方法

前期・後期の試験に、毎週行う小テストの点を加味し、総合的に評価します。

教科書

『フランス語でサバイバル』（白水社）2,000円

科目名	フランス語ⅡA〔再クラス〕 フランス語ⅡB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年 禅仏国歴日外考経商現法A政34年				
担当者名	畑中 千晶				

講義のねらい

易しいフランス語で書かれた笑い話を読みながら、読解力を伸ばしていく。日本語に訳すことよりも、内容を素早く的確に把握する読み方ができるようになることを目指す。また、読解と連動させて、語彙・文法・コミュニケーションなどの力も総合的に伸ばしていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

初回の講義の際に年間スケジュールを配布します。

履修上の留意点

毎回、辞書を持参してください。

成績評価の方法

前期末試験30%、学年末試験30%、平常点（宿題など）20%、夏期休暇の課題10%、出席10%

教科書

リリアンヌ・ラタンジオ、村松定史著  
『続・小さなコントー読解からコミュニケーションへー（CD付）』  
駿河台出版社 2004年 2500円

科目名	フランス語II A〔再クラス〕 フランス語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年 禅仏国歴日外考経商現法A政34年				
担当者名	ぬまくら ひろこ 沼倉 広子				

講義のねらい

初級文法の基本項目を復習しながら読む、書く、力をつける。

講義の内容・  
授業スケジュール

日常会話文、インタビュー、アンケート、メール文、時事文など変化に富んだ文体に触れつつ、フランスの日常生活に対する興味を深める。

履修上の留意点

出席はとらないが、毎回練習問題を提出させるので休まないことが肝要。

成績評価の方法

前後期とも試験を行うが、平常点を大いに重視する。

教科書

パシヨネマン2 阿南婦美代 セシル・モラン著 第三書房  
2400円 ISBN978-4-8086-2185-8 C1085

科目名	フランス語II A〔再クラス〕 フランス語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年 禅仏国歴日外考商現法A政34年				
担当者名	まえだ のりかず 前田 祝一				

講義のねらい

中級フランス語ですが、初級の後半部分を重点的に復習しつつ、平易な物語を少しずつ読み進めてゆきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

学生の側が主体的に授業参加できるように、工夫しましょう。

履修上の留意点

フランス語IA・IBの単位未修者は自分で参考書などを求めて、勉強するよう努めて下さい。

成績評価の方法

成績は基本的には、前・後期のペーパー・テストで評価しますが、出席状況や課題にも配慮します。

教科書

数江編『合本・愉快的なコント』（第三書房）2000円

## 〔中国語〕

### 外国語

科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕・中国語ⅠB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	児島 弘一郎 <small>こじま こういちろう</small>				

#### 講義のねらい

外国語としての中国語の基礎を習得し、異文化を深く理解するための土作りをします。「読む、書く、話す、聴く」の4つの能力に関する基礎的な訓練を行いますが、特に発音・ピンイン・簡体字の習得については、徹底的に指導します。

#### 講義の内容・授業スケジュール

開講後しばらくは、中国語の発音体系を集中的に学習します。その後、基本構文や基礎的な単語の習得を図りますが、年間を通じて、正しい発音を身につけることが最も重要な課題となります。

#### 履修上の留意点

毎回の授業が貴重な訓練の場ですから、積極的に参加して下さい。有効な自宅学習の方法も指導しますので、十分に復習を行ない、今年こそ単位を取得しましょう。

#### 成績評価の方法

前期・後期の試験、数回実施する小テスト、出席状況によって、総合的に評価します。

#### 教科書

加藤阿幸ほか『総合現代中国語一会話と閲読一』（中国詩文研究会発行、東方書店出版、1800円、CD付）。

#### その他

新たな気持ちで取り組めるよう、こちらもいろいろ工夫します。一緒に楽しんで勉強しましょう。  
月曜5限

科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕・中国語ⅠB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	本間 由香利 <small>ほんま ゆかり</small>				

#### 講義のねらい

中国語に興味と関心を持ってもらうこと。

#### 講義の内容・授業スケジュール

この授業では先に進むのではなく、確実に発音ができること、語順を理解し定着させることを目的とします。

#### 履修上の留意点

必ず出席して声を出して発音練習すること。

#### 成績評価の方法

出席を重視し、平常点（授業態度）、小テスト、学期末テストを総合的に評価します。

#### 教科書

方如偉・王智新・鎧屋一『《新版》中国語10課』（白水社）2,100円

#### 参考書等

授業の中で紹介する。



科目名	中国語I A〔再クラス〕・中国語I B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	あまの せつ 節 天野 節				

講義のねらい

発音、基礎的な文法、構文を修得し、簡単な会話練習をし、中国語の基本を身につけること。

履修上の留意点

遅刻、早退、欠席をせず、予習、復習をすること。

成績評価の方法

出席点（30％）＋課題の提出あるいは小テスト（10％）＋前後期計2回の期末テストの平均点（60％）。

教科書

荒川清秀著『[改訂版] 簡明中文システム15』（同学社2200円税別）

参考書等

授業の中で提示する。

科目名	中国語I A〔再クラス〕・中国語I B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	こじま こういちろう 児島 弘一郎				

講義のねらい

外国語としての中国語の基礎を習得し、異文化を深く理解するための土台作りをします。「読む、書く、話す、聴く」の4つの能力に関する基礎的な訓練を行いますが、特に発音・ピンイン・簡体字の習得については、徹底的に指導します。

講義の内容・  
授業スケジュール

開講後しばらくは、中国語の発音体系を集中的に学習します。その後、基本構文や基礎的な単語の習得を図りますが、年間を通じて、正しい発音を身につけることが最も重要な課題となります。

履修上の留意点

毎回の授業が貴重な訓練の場ですから、積極的に参加して下さい。有効な自宅学習の方法も指導しますので、十分に復習を行ない、今年こそ単位を取得しましょう。

成績評価の方法

前期・後期の試験、数回実施する小テスト、出席状況によって、総合的に評価します。

教科書

夏宇継『大学生の中国語一基礎からステップアップ』（金星堂、2200円、CD付）。

その他

新たな気持ちで取り組めるよう、こちらもいろいろ工夫します。一緒に楽しんで勉強しましょう。  
金曜1限

科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕・中国語ⅠB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	張 清涛 <small>ちやう いとう</small>				

講義のねらい

中国語の基礎になる発音、語彙、基本文型、基本文法をしっかり身につける。中国語の表音記号であるピンインを全て声に出して読めるようになることが第一目標。中国語の独特の魅力を体感して、だんだん「漢語」の語感を養っていきます。

講義の内容・授業スケジュール

まずは、中国式ローマ字表記ピンインを正確に読み、書けるようにする。その後は、日本人学生の中国における留学生生活を舞台とする食堂、郵便局、試験などの場面で交わされる典型的な会話文を学びながら、体系的に初級中国語文法を無理なく理解していく。

履修上の留意点

元氣よく、積極的に授業に参加すること。今年は絶対単位を取る気で、中国語と中国の世界に関する知識欲を再発見して欲しい。

成績評価の方法

出席率、小テスト、授業時の意欲、期末テストの結果から総合的に評価します。出席は最重視。週に90分間の授業を最後までずっと頑張っていていけば、必ずためになる。

教科書

相原茂・李貞愛『北京コレクション入門篇』（朝日出版社）2,625円

参考書等

推奨辞書は開講時に説明する。

その他

ピンインから始めて、積極的に会話の機会を作り、CDをBGMとして聞き、話すようにしましょう。

科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕・中国語ⅠB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	弘兼 加奈子 <small>ひろかね かなこ</small>				

講義の内容・授業スケジュール

当初は、発音や基本的な文法の内容の確認を行う。テキストは会話を中心とした本文、文法、練習問題から成っており、バランスの取れた学力向上を目指す。

成績評価の方法

年数回の試験と教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

南雲智・趙暉『始めよう！中国語』（白水社）2,100円

科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕・中国語ⅠB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	蘭 明				

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は最初の一カ月において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。

成績評価の方法

出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。

教科書

董燕・遠藤光暁『理香と王麗 話す中国語1』（朝日出版社）2,835円

科目名	中国語ⅡA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年				
担当者名	梅田 雅子				

講義のねらい

物語の講読を通して、一年次の学習を基礎に、語彙・基礎文法・読解力の向上を図る。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1：本文の発音と、意味の確認。
  - 2：本文中の文法項目の確認。
  - 3：練習問題の答え合わせ。
- ★文法項目は本文にあわせて、適時復習する。

履修上の留意点

3/4以上の出席が必要。予習復習必須。辞書持参。特に、その場で辞書を引かせるので、辞書は必ず持ってくること。

成績評価の方法

平常点（出席・授業態度・小テスト）40%、前期試験：30%、後期試験：30%

教科書

八木章好編著『漢語趣話一文法中心の中級読本』（白帝社）1,890円  
ISBN4-89174-411-1

参考書等

中日辞典を教室に持ってくること。電子辞書でも可。出版社は問わないが、日本の漢字音から引ける索引がついている辞書が望ましい。

科目名	中国語II A〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年				
担当者名	いわさき ひろし 岩崎 皇				

- 講義のねらい** 中国語の文章を読むことを通して、文法知識の確認と会話等にも使える語彙量を増やすことが目標です。テキストは中国を紹介するエッセイです。
- 講義の内容・授業スケジュール** 授業はテキストに沿って進めますが、訳すだけでは、中国語そのものを覚えることがなかなかできません。書くこと、聞くこと、音読することで練習していきます。
- 履修上の留意点** 授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由（急病、急用、忌引、部活動等）により欠席する場合でも、6回を越えた場合は単位取得ができなくなります。
- 成績評価の方法** 4分の3以上の出席を前提とした上で、試験の成績により評価します。試験は前期2回、後期2回行う予定です。
- 教科書** 張継濱、小川文昭『中国ってどんな国?』（白水社）2,100円

科目名	中国語II A〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年				
担当者名	おおくば あきお 大久保 明男				

- 講義のねらい** 中国語の「聴く」「話す」「読む」「書く」、各方面のバランスのとれた表現力を身につけることを目指す。
- 講義の内容・授業スケジュール** 基本的に教科書に沿って授業を進める。折に触れて中国の社会や文化に関するを紹介したり、ビデオを見たりする予定。
- 履修上の留意点** 積極的に授業に参加すること。毎回予習、復習すること。
- 成績評価の方法** 出席率、定期試験の成績、平常点の三項目で総合評価する。
- 教科書** 尹景春・竹島毅『中国語さらなる一歩』（白水社）

〔スペイン語〕

科目名	スペイン語IA〔再クラス〕・スペイン語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	おおいわ いさお 大岩 功				

- 講義のねらい** 初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。
- 講義の内容・授業スケジュール** 文法事項の解説を演習をベースに、教科書の会話文に応じて会話の練習なども行います。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。
- 履修上の留意点** 予習するかしないかは一義的に学習者の自主性の問題ですが、かならず予習をして授業に臨むよう心がけてください。授業には辞書を必ず持参すること。
- 成績評価の方法** 平常授業中に適宜行う小テスト、前期・後期末テストの得点、および出席状況、受講の積極性を勘案して総合的に評価します。
- 教科書** 土井裕文他著『スペイン料理はいかが？』同学社
- 参考書等** 推奨辞書宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）  
参考書 大岩功著『やさしいスペイン文法』（三修社）  
寿里順平著『基礎スペイン語文法』（東洋書店）

科目名	スペイン語IA〔再クラス〕・スペイン語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	さいとう あけみ 齋藤 明美				

- 講義のねらい** 初級文法の復習を通し、スペイン語やスペイン語圏に関する生活・文化などに対する関心を育てる。スペイン語を使って簡単なコミュニケーションを取れることを目的とします。
- 講義の内容・授業スケジュール** 直接法現在などの初歩文法を復習しながら、日常よく使われる口語表現などを具体的なシチュエーションを通して学びます。一人でスペイン語圏を旅行できるスペイン語運用能力習得を目指します。また語学学習を通して日本とスペイン語圏の生活・風習に関する相違点を考察し文化に対する理解を深めます。随時スペイン・ラテンポップスや話題の映画なども紹介していきます。
- 履修上の留意点** 遅刻・早退をせず自ら興味をもって学習に打ち込む姿勢がスペイン語習得の鍵です。
- 成績評価の方法** 毎回の授業参加や演習課題・小テストそして各期末の達成度チェックによります。
- 教科書** 未定

科目名	スペイン語IA〔再クラス〕・スペイン語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
担当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	亀山 晃一 <small>かめやま こういち</small>				

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

科目名	スペイン語IA〔再クラス〕・スペイン語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
担当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	大岩 功 <small>おおいわ いさお</small>				

講義のねらい

初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

文法事項の解説を演習をベースに、教科書の会話文に応じて会話の練習なども行います。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。

履修上の留意点

予習するかしないかは一義的に学習者の自主性の問題ですが、かならず予習をして授業に臨むよう心がけてください。授業には辞書を必ず持参すること。

成績評価の方法

平常授業中に適宜行う小テスト、前期・後期末テストの得点、および出席状況、受講の積極性を勘案して総合的に評価します。

教科書

大岩功著『やさしいスペイン語文法』（三修社）  
長文読解用の教材については、適宜プリントを用意する。

参考書等

推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）

科目名	スペイン語ⅠA〔再クラス〕・スペイン語ⅠB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	荻野 <sup>おぎの めぐみ</sup> 恵				

講義のねらい

スペイン語文法の基礎を固めると同時に、イベリア半島の文化に関する平易な文章を通じて講読力を培う。

成績評価の方法

成績は出席、課題、年2回のテストを総合して評価する。

教科書

荻野・浜岡『イベリア文化への誘い』（大学書林）

科目名	スペイン語ⅠA〔再クラス〕・スペイン語ⅠB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	佐藤 <sup>さとう まりの</sup> 麻里乃				

成績評価の方法

試験は行わず、毎回の授業内で行う課題により評価する（このため出席は必須である）。

教科書

宮本博司『簡単なスペイン語18課』大学書林

参考書等

西和辞典（出版社は不問）

科目名	スペイン語ⅡA〔再クラス〕 スペイン語ⅡB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年 禅仏国歴日外考経商現法A政34年				
担当者名	齋藤 <sup>さいとう あけみ</sup> 明美				

講義のねらい

基礎文法の復習を通し、スペイン語やスペイン語圏に関する生活・文化などに対する関心を育てる。スペイン語を使って簡単なコミュニケーションを取れることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

直接法現在形、過去形や命令形など基礎文法を復習しながら、日常よく使われる口語表現などを具体的なシチュエーションを通して学びます。一人でスペイン語圏を旅行できるスペイン語運用能力習得を目指します。また語学学習を通して日本とスペイン語圏の生活・風習に関する相違点を考察し文化に対する理解を深めます。随時スペイン・ラテンポップスや話題の映画なども紹介していきます。

履修上の留意点

遅刻・早退をせず自ら興味をもって学習に打ち込む姿勢がスペイン語習得の鍵です。

成績評価の方法

毎回の授業参加や演習課題・小テストそして各期末の達成度チェックによります。

教科書

未定

科目名	スペイン語IIA〔再クラス〕 スペイン語IIB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年 禅仏国歴日外考経商現法A政34年				
担当者名	おおいわ いさお 大岩 功				

講義のねらい

スペイン語Iで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。

講義の内容・  
授業スケジュール

初めはスペイン語Iで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。

履修上の留意点

予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりとやって授業に参加してください。授業には必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席状況と年数回のテストの得点、適宜行う小テストの得点、および授業に臨む姿勢などを勘案して総合的に評価します。

教科書

中川清、児玉悦子著『皆のスペイン語』（弘学社）  
その他、必要なプリント教材を適宜用意します。

参考書等

推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）  
参考書 大岩功著『やさしいスペイン語文法』（三修社）  
寿里順平著『基礎スペイン語文法』（東洋書店）

科目名	スペイン語IIA〔再クラス〕 スペイン語IIB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年 禅仏国歴日外考経商現法A政34年				
担当者名	みめやま こういち 亀山 晃一				

講義のねらい

基礎的な文法知識と日常会話によく出て来る表現を確実に身に付け、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って困らない為のコミュニケーション能力を養成する。演習の機会を多くすることにより習得した知識を定着させる。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。



〔ロシア語〕

科目名	ロシア語IA〔再クラス〕・ロシア語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	オギヤマ ヒデコ ひろた ひでやす 杉山 秀子・廣田 英靖				

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期はイントネーションや発音に力点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円

参考書等

『露和辞典』

科目名	ロシア語IA〔再クラス〕・ロシア語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	サノ アサコ 佐野 朝子				

講義のねらい

発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいきます。会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならないよう努力するつもりです。

履修上の留意点

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教科書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に取りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

科目名	ロシア語IA〔再クラス〕・ロシア語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	木村 <sup>きむら</sup> 英明 <sup>ひであき</sup>				

講義のねらい	発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいきます。会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならないよう努力するつもりです。
履修上の留意点	予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。
成績評価の方法	平常点を重視します。
教科書	絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

科目名	ロシア語IA〔再クラス〕・ロシア語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	安徳 <sup>あんどく</sup> ニーナ				

講義のねらい	基本的な文法、発音、読み、書き、が出来る事を目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	教科書に基づいて講義を進める。
履修上の留意点	要点の復習は必ずしてほしい。
成績評価の方法	講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。
教科書	桑野隆『はじめてのロシア語』（白水社）
参考書等	必要に応じてその都度資料を配布する。

科目名	ロシア語II A〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法 A 政営A34年				
担当者名	クロチコフ, Y.				

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。  
 講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。  
 ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書

杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林)

その他

ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	ロシア語II A〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法 A 政営A34年				
担当者名	<small>おおすけ ふみかず</small> 大須賀 史和				

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。  
 講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。  
 ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書

杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林)

その他

ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	ロシア語IIA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年				
担当者名	安徳 <sup>あんどく</sup> ニーナ				

外国語

講義のねらい	一般的な文法、発音、読み、書き、ができる事を目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	教科書に基づいて講義を進める。
履修上の留意点	要点の復習は必ずしてほしい。
成績評価の方法	講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。
教科書	桑野隆『はじめてのロシア語』（白水社）
参考書等	必要に応じてその都度資料を配布する。

## 4. 保 健 体 育 科 目

## 保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを楽しむ能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

# 「健康・スポーツ実習」開講種目一覧

(於：玉川校舎)

		2時限(経営-1)		3時限(経営-2)	
木曜日	※竹田	体操・トランポリン	※光永	トレーニング	
	光永	トレーニング	竹田	体操・トランポリン	
	三幣	ゴルフ	三幣	ゴルフ	
	江口	テニス	江口	テニス	
	山口	室内球技	山口	室内球技	
	高橋	空手道	高橋	空手道	
	下谷内	ソフトボール	下谷内	ソフトボール	

※は、科目の主担当者

# 「生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ」開講種目一覧

(於：本校体育館)

		月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
1時限											
2時限	渡辺	前期・基礎	大石	前期・応用	田中	前期・基礎	村松	前期・応用	牧野	前期・応用	
		室内球技		ミニサッカー		フットサル		卓球		バスケットボール	
	渡辺	後期・基礎	大石	後期・応用	田中	後期・基礎	村松	後期・応用	牧野	後期・応用	
		室内球技		ミニサッカー		フットサル		卓球		バスケットボール	
3時限	渡辺	前期・応用	大石	前期・基礎	田中	前期・基礎	鈴木	前期・基礎	牧野	前期・基礎	
		室内球技		簡化太極拳		フットサル		卓球		バスケットボール	
	渡辺	後期・応用	大石	後期・基礎	田中	後期・基礎	鈴木	後期・基礎	牧野	後期・基礎	
		室内球技		簡化太極拳		フットサル		卓球		バスケットボール	
4時限	大石	前期・応用					鈴木	前期・応用		前期・応用	
		簡化太極拳						バドミントン			
		後期・応用						後期・応用			
		簡化太極拳						バドミントン			

## 4. 保健体育科目

科目名/種目	曜日・時間	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
健康・スポーツ実習 (体操・トランポリン)	木 2	営A1必	通年	2	竹田 幸夫	341
健康・スポーツ実習 (トレーニング)	木 2	営A1必	通年	2	光永 吉輝	342
健康・スポーツ実習(ゴルフ)	木 2	営A1必	通年	2	三幣 晴三	343
健康・スポーツ実習(テニス)	木 2	営A1必	通年	2	江口 淳一	344
健康・スポーツ実習 (室内球技)	木 2	営A1必	通年	2	山口 良博	345
健康・スポーツ実習(空手道)	木 2	営A1必	通年	2	高橋 俊介	346
健康・スポーツ実習 (ソフトボール)	木 2	営A1必	通年	2	下谷内 勝利	347
健康・スポーツ実習 (トレーニング)	木 3	営A1必	通年	2	光永 吉輝	348
健康・スポーツ実習 (体操・トランポリン)	木 3	営A1必	通年	2	竹田 幸夫	349
健康・スポーツ実習(ゴルフ)	木 3	営A1必	通年	2	三幣 晴三	350
健康・スポーツ実習(テニス)	木 3	営A1必	通年	2	江口 淳一	351
健康・スポーツ実習 (室内球技)	木 3	営A1必	通年	2	山口 良博	352
健康・スポーツ実習(空手道)	木 3	営A1必	通年	2	高橋 俊介	353
健康・スポーツ実習 (ソフトボール)	木 3	営A1必	通年	2	下谷内 勝利	354
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(室内球技)	月 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心営A放GM234年	通年	2	三幣 晴三	355
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(室内球技)	月 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心営A放GM234年	通年	2	三幣 晴三	355
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(室内球技)	月 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心営A放GM234年	通年	2	三幣 晴三	355
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(室内球技)	火 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心営A放GM234年	通年	2	田中 佳孝	356
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(室内球技)	水 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心営A放GM234年	通年	2	田中 佳孝	356
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(トレーニング)	特 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心営A放GM234年	集中授業	2	秋田 浩一	357
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(太極拳)	特 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心営A放GM234年	集中授業	2	大石 武士	358
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(卓球)	特 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心営A放GM234年	集中授業	2	村松 誠	359
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(室内球技)	特 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心営A放GM234年	集中授業	2	山口 良博	360
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(卓球)	特 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心営A放GM234年	集中授業	2	鈴木 淳平	361



健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(ソフトボール)	特4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心営A放GM234年	集中授業	2	高橋 俊介	362
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 (トレーニング&太極拳)	特4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心営A放GM234年	集中授業	2	光永 吉輝	363
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(室内球技)	特4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心営A放GM234年	集中授業	2	村松 誠	364
生涯スポーツ実習I (前期・基礎)(室内球技)	月2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	渡辺 一郎	365
生涯スポーツ実習II (前期・基礎)(室内球技)	月2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	渡辺 一郎	365
生涯スポーツ実習III (前期・基礎)(室内球技)	月2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	渡辺 一郎	365
生涯スポーツ実習IV (前期・基礎)(室内球技)	月2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	渡辺 一郎	365
生涯スポーツ実習I (後期・基礎)(室内球技)	月2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	渡辺 一郎	365
生涯スポーツ実習II (後期・基礎)(室内球技)	月2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	渡辺 一郎	365
生涯スポーツ実習III (後期・基礎)(室内球技)	月2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	渡辺 一郎	365
生涯スポーツ実習IV (後期・基礎)(室内球技)	月2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	渡辺 一郎	365
生涯スポーツ実習I (前期・応用)(室内球技)	月3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	渡辺 一郎	366
生涯スポーツ実習II (前期・応用)(室内球技)	月3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	渡辺 一郎	366
生涯スポーツ実習III (前期・応用)(室内球技)	月3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	渡辺 一郎	366
生涯スポーツ実習IV (前期・応用)(室内球技)	月3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	渡辺 一郎	366
生涯スポーツ実習I (後期・応用)(室内球技)	月3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	渡辺 一郎	366
生涯スポーツ実習II (後期・応用)(室内球技)	月3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	渡辺 一郎	366
生涯スポーツ実習III (後期・応用)(室内球技)	月3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	渡辺 一郎	366
生涯スポーツ実習IV (後期・応用)(室内球技)	月3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	渡辺 一郎	366
生涯スポーツ実習I (前期・応用)(簡化太極拳)	月4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	大石 武士	367
生涯スポーツ実習II (前期・応用)(簡化太極拳)	月4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	大石 武士	367
生涯スポーツ実習III (前期・応用)(簡化太極拳)	月4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	大石 武士	367
生涯スポーツ実習IV (前期・応用)(簡化太極拳)	月4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	大石 武士	367

生涯スポーツ実習I (後期・応用)(簡化太極拳)	月4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	大石 武士	367
生涯スポーツ実習II (後期・応用)(簡化太極拳)	月4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	大石 武士	367
生涯スポーツ実習III (後期・応用)(簡化太極拳)	月4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	大石 武士	367
生涯スポーツ実習IV (後期・応用)(簡化太極拳)	月4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	大石 武士	367
生涯スポーツ実習I (前期・応用)(ミニサッカー)	火2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	大石 武士	368
生涯スポーツ実習II (前期・応用)(ミニサッカー)	火2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	大石 武士	368
生涯スポーツ実習III (前期・応用)(ミニサッカー)	火2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	大石 武士	368
生涯スポーツ実習IV (前期・応用)(ミニサッカー)	火2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	大石 武士	368
生涯スポーツ実習I (後期・応用)(ミニサッカー)	火2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	大石 武士	368
生涯スポーツ実習II (後期・応用)(ミニサッカー)	火2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	大石 武士	368
生涯スポーツ実習III (後期・応用)(ミニサッカー)	火2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	大石 武士	368
生涯スポーツ実習IV (後期・応用)(ミニサッカー)	火2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	大石 武士	368
生涯スポーツ実習I (前期・基礎)(簡化太極拳)	火3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	大石 武士	369
生涯スポーツ実習II (前期・基礎)(簡化太極拳)	火3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	大石 武士	369
生涯スポーツ実習III (前期・基礎)(簡化太極拳)	火3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	大石 武士	369
生涯スポーツ実習IV (前期・基礎)(簡化太極拳)	火3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	大石 武士	369
生涯スポーツ実習I (後期・基礎)(簡化太極拳)	火3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	大石 武士	369
生涯スポーツ実習II (後期・基礎)(簡化太極拳)	火3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	大石 武士	369
生涯スポーツ実習III (後期・基礎)(簡化太極拳)	火3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	大石 武士	369
生涯スポーツ実習IV (後期・基礎)(簡化太極拳)	火3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	大石 武士	369
生涯スポーツ実習I (前期・基礎)(フットサル)	水3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	田中 佳孝	370
生涯スポーツ実習II (前期・基礎)(フットサル)	水3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	田中 佳孝	370
生涯スポーツ実習III (前期・基礎)(フットサル)	水3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	田中 佳孝	370

生涯スポーツ実習IV (前期・基礎)(フットサル)	水3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	田中 佳孝	370
生涯スポーツ実習I (後期・基礎)(フットサル)	水3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	田中 佳孝	370
生涯スポーツ実習II (後期・基礎)(フットサル)	水3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	田中 佳孝	370
生涯スポーツ実習III (後期・基礎)(フットサル)	水3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	田中 佳孝	370
生涯スポーツ実習IV (後期・基礎)(フットサル)	水3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	田中 佳孝	370
生涯スポーツ実習I (前期・基礎)(フットサル)	水2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	田中 佳孝	371
生涯スポーツ実習II (前期・基礎)(フットサル)	水2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	田中 佳孝	371
生涯スポーツ実習III (前期・基礎)(フットサル)	水2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	田中 佳孝	371
生涯スポーツ実習IV (前期・基礎)(フットサル)	水2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	田中 佳孝	371
生涯スポーツ実習I (後期・基礎)(フットサル)	水2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	田中 佳孝	371
生涯スポーツ実習II (後期・基礎)(フットサル)	水2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	田中 佳孝	371
生涯スポーツ実習III (後期・基礎)(フットサル)	水2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	田中 佳孝	371
生涯スポーツ実習IV (後期・基礎)(フットサル)	水2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	田中 佳孝	371
生涯スポーツ実習I (前期・応用)(卓球)	木2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	村松 誠	372
生涯スポーツ実習II (前期・応用)(卓球)	木2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	村松 誠	372
生涯スポーツ実習III (前期・応用)(卓球)	木2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	村松 誠	372
生涯スポーツ実習IV (前期・応用)(卓球)	木2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	村松 誠	372
生涯スポーツ実習I (後期・応用)(卓球)	木2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	村松 誠	372
生涯スポーツ実習II (後期・応用)(卓球)	木2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	村松 誠	372
生涯スポーツ実習III (後期・応用)(卓球)	木2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	村松 誠	372
生涯スポーツ実習IV (後期・応用)(卓球)	木2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	村松 誠	372
生涯スポーツ実習I (前期・基礎)(卓球)	木3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	鈴木 淳平	373
生涯スポーツ実習II (前期・基礎)(卓球)	木3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	鈴木 淳平	373

生涯スポーツ実習III (前期・基礎)(卓球)	木3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	鈴木 淳平	373
生涯スポーツ実習IV (前期・基礎)(卓球)	木3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	鈴木 淳平	373
生涯スポーツ実習I (後期・基礎)(卓球)	木3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	鈴木 淳平	373
生涯スポーツ実習II (後期・基礎)(卓球)	木3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	鈴木 淳平	373
生涯スポーツ実習III (後期・基礎)(卓球)	木3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	鈴木 淳平	373
生涯スポーツ実習IV (後期・基礎)(卓球)	木3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	鈴木 淳平	373
生涯スポーツ実習I (前期・応用)(バドミントン)	木4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	鈴木 淳平	374
生涯スポーツ実習II (前期・応用)(バドミントン)	木4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	鈴木 淳平	374
生涯スポーツ実習III (前期・応用)(バドミントン)	木4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	鈴木 淳平	374
生涯スポーツ実習IV (前期・応用)(バドミントン)	木4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	鈴木 淳平	374
生涯スポーツ実習I (後期・応用)(バドミントン)	木4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	鈴木 淳平	374
生涯スポーツ実習II (後期・応用)(バドミントン)	木4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	鈴木 淳平	374
生涯スポーツ実習III (後期・応用)(バドミントン)	木4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	鈴木 淳平	374
生涯スポーツ実習IV (後期・応用)(バドミントン)	木4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	鈴木 淳平	374
生涯スポーツ実習I (前期・応用) (バスケットボール)	金2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	牧野 茂	375
生涯スポーツ実習II (前期・応用) (バスケットボール)	金2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	牧野 茂	375
生涯スポーツ実習III (前期・応用) (バスケットボール)	金2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	牧野 茂	375
生涯スポーツ実習IV (前期・応用) (バスケットボール)	金2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	牧野 茂	375
生涯スポーツ実習I (後期・応用) (バスケットボール)	金2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	牧野 茂	375
生涯スポーツ実習II (後期・応用) (バスケットボール)	金2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	牧野 茂	375

生涯スポーツ実習III (後期・応用) (バスケットボール)	金 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	牧野 茂	375
生涯スポーツ実習IV (後期・応用) (バスケットボール)	金 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	牧野 茂	375
生涯スポーツ実習I (前期・基礎) (バスケットボール)	金 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	牧野 茂	376
生涯スポーツ実習II (前期・基礎) (バスケットボール)	金 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	牧野 茂	376
生涯スポーツ実習III (前期・基礎) (バスケットボール)	金 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	牧野 茂	376
生涯スポーツ実習IV (前期・基礎) (バスケットボール)	金 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	牧野 茂	376
生涯スポーツ実習I (後期・基礎) (バスケットボール)	金 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	牧野 茂	376
生涯スポーツ実習II (後期・基礎) (バスケットボール)	金 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	牧野 茂	376
生涯スポーツ実習III (後期・基礎) (バスケットボール)	金 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	牧野 茂	376
生涯スポーツ実習IV (後期・基礎) (バスケットボール)	金 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	牧野 茂	376
生涯スポーツ演習I (シーズン基礎)(ゴルフ)	特 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	シーズン	2	佐藤 政之他	377
生涯スポーツ演習I (シーズン応用)(ゴルフ)	特 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	シーズン	2	佐藤 政之他	377
生涯スポーツ演習II (シーズン基礎) (スキー・スノーボード)	特 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	シーズン	2	山口 良博他	379
生涯スポーツ演習II (シーズン応用) (スキー・スノーボード)	特 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	シーズン	2	山口 良博他	379
生涯スポーツ実習 (集中前期・基礎)(テニス)	特 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	集中授業	1	江口 淳一	380
生涯スポーツ実習 (集中前期・応用)(テニス)	特 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	集中授業	1	江口 淳一	380
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎)(ゴルフ)	特 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	集中授業	1	三幣 晴三	381

生涯スポーツ実習 (集中後期・応用)(ゴルフ)	特 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	集中授業	1	三幣 晴三	381
健康・スポーツ論 1	木 1	営A1選	半期	2	三幣 晴三	382
健康・スポーツ論 1	木 4	営A1選	半期	2	光永 吉輝	383
健康・スポーツ論 2	火 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	半期	2	大石 武士	384
健康・スポーツ論 2	水 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	半期	2	三幣 晴三	385
健康・スポーツ論 2	木 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	半期	2	村松 誠	386
健康・スポーツ論 2	金 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	半期	2	牧野 茂	387
余暇学	月 5	営A234選	半期	2	秋田 浩一	388
余暇学	火 4	営A234選	半期	2	田中 佳孝	389

科目名	健康・スポーツ実習(体操・トランポリン)	開講	通年	単位	2
配当	営A1必				
担当者名	竹田 幸夫 <small>たけだ ゆきお</small>				

講義のねらい

「体操」という種目を広義に捉え、健康体操やストレッチ体操、ならびに器械運動を含めた体操の実技を行なう。健康体操については、体のバランスをチェックし矯正するための体操とマッサージ法を紹介する。器械運動では、マットや鉄棒、さらにトランポリンという種目を中心にして、初心者を対象としたやさしい技から難しい技へと段階的に技を修得する。受講者の希望があれば、能力に応じてマット上での後転とび（バック転）まで発展させる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2 時限目：健康体操とストレッチ体操
- 3 時限目： "
- 4 時限目：マッサージ法
- 5 時限目：ストレッチ体操・マット・トランポリン
- 6 時限目：ストレッチ体操・マット・トランポリン
- 7 時限目：ストレッチ体操・男子：あん馬／女子：平均台
- 8 時限目：ストレッチ体操・男子：つり輪／女子：トランポリン
- 9 時限目：ストレッチ体操・男子：トランポリン／女子：鉄棒
- 10 時限目：ストレッチ体操・男子：平行棒／女子：トランポリン
- 11 時限目：ストレッチ体操・男女とも鉄棒
- 12 時限目：発展技の練習
- 13 時限目：自主練習
- 14 時限目：自主練習
- 15 時限目：まとめと評価

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意する。底の薄い体操シューズを用意するのが望ましいが、ソックスでも良い。実技は、玉川体育館1階アリーナの体操場で行なう。なお、体操場にセットされている鉄棒やトランポリンなどの器械は、扱い方を誤ると怪我や事故につながるため、授業時間内の指示を守ること。

成績評価の方法

健康体操および器械運動ともに、毎回授業に出席して実践することに大きな意味がある。とくに器械運動は、技を習得していく過程にも魅力を見出すことのできるスポーツ種目である。したがって、成績は出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、男女それぞれに課題の達成度によって評価していく。易しい技から難しい技まで約40～50の課題を設定するので、受講生はそこから自分で習得したい技、能力に応じた技を選択する。技の達成度の評価は、受講生同士で行なう。

その他

授業の進行状況に応じて、課題となっている技のビデオ、ならびに体操競技の競技会のビデオを観る。

科目名	健康・スポーツ実習(トレーニング)	開講	通年	単位	2
配当	営A1必				
担当者名	光永 <small>みつねが</small> 吉輝 <small>よしのり</small>				

講義のねらい

トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓など身体の状態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行なう練習、訓練である。

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会的環境の変化などから、日常の筋肉運動量が少なくなり、かつまた知育偏重の傾向が一段と高まり、進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が盛んに論じられてきている。一般に日常生活以外に運動を行なわないでいると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

講義の内容・授業スケジュール

初めに体力測定を行ない、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス（有酸素運動）・ウエイトトレーニングなどを行なう。

ウエイトトレーニングは、米航空宇宙局（NASA）で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムIIという空気抵抗を利用したマシンを用いて行なう。このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が可能であり簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。

授業計画

- 1 時限目：オリエンテーション、体力測定
- 2 時限目：カイザーカムII最大筋力測定
- 3 時限目：〃
- 4 時限目：トレーニング開始 毎時間、最大筋力の1/3～2/3の負荷を各自で選び5～8種類のマシンを、2～3セット行なう
- 5 時限目：トレーニング
- 6 時限目：トレーニング
- 7 時限目：トレーニング
- 8 時限目：負荷を男子は2kg up、女子は1kg up
- 9 時限目：トレーニング
- 10 時限目：トレーニング
- 11 時限目：トレーニング
- 12 時限目：負荷を男子は2kg up、女子は1kg up
- 13 時限目：トレーニング
- 14 時限目：トレーニング
- 15 時限目：体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装、トレーニングウェア、体育館シューズ（室内専用）を用意すること。

成績評価の方法

出席、トレーニング内容（毎時間記録をする）、授業への参加意欲、態度を総合的に判断して成績評価とする。

そ の 他

ストレッチ体操の各種、器具のいろいろなトレーニング方法（単独法、対人法）などを各時間に詳しく講義する。



科目名	健康・スポーツ実習(ゴルフ)	開講	通年	単位	2
配当	宮A1必				
担当者名	三幣 <sup>みき</sup> 晴三 <sup>はるみ</sup>				

## 講義のねらい

ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。

生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

## 講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：グリップ、アドレス、スイング
- 3時限目：打撃練習（7・9アイアン）
- 4時限目：打撃練習（7・9アイアン）・ビデオによるスイング理論の解説
- 5時限目：打撃練習（5アイアン）
- 6時限目：打撃練習（5アイアン）
- 7時限目：打撃練習（W1・W3）
- 8時限目：打撃練習（W1・W3）
- 9時限目：打撃練習（アプローチ）
- 10時限目：打撃練習（アプローチ）
- 11時限目：打撃練習（パッティング）・ルールの解説
- 12時限目：打撃練習（パッティング）・ラウンドにおけるマナー、エチケットの解説
- 13時限目：ラウンド（模擬コース）
- 14時限目：ラウンド（模擬コース）
- 15時限目：実技テスト

## 履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

## 成績評価の方法

授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点70％・実技点（実技テストを含む）30％の割合で評価する。

## その他

雨天時及び強風などの場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

科目名	健康・スポーツ実習(テニス)	開講	通年	単位	2
配当	営A1必				
担当者名	えぐち じゅんいち 江口 淳一				

## 講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで様々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と態度を養うことを目標としている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通してその価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、自律的にスポーツを生活化する態度を養うことを目的とする。

さらに、テニスという共通の体験を通して大学時代でなければ得られない人間関係を作り、社会性を養い、総合的な人間形成を目指す。

## 講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業の目標の説明
- 2 時限目：ラケットティング、ボレー、ミニストローク
- 3 時限目：フォアハンドグラウンドストロークの基本技術
- 4 時限目：バックハンドグラウンドストロークの基本技術
- 5 時限目：フォアハンドボレー、バックハンドボレー
- 6 時限目：スマッシュ、サービスの基本技術
- 7 時限目：ストロークの応用とミニゲーム
- 8 時限目：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）
- 9 時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 10 時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 11 時限目：ダブルスのルールとポジショニング
- 12 時限目：ダブルスゲームを楽しむ
- 13 時限目：より高度なダブルスのゲームへ
- 14 時限目：トーナメント形式の試合の進め方
- 15 時限目：まとめ

## 履修上の留意点

1. 服装は一般的な運動服装とする。
2. テニスシューズを必ず用意すること。
3. ラケットは貸与する。

## 成績評価の方法

出席状況、授業参加態度から総合的に判断する。

## その他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうか、または、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

科目名	健康・スポーツ実習(室内球技)	開講	通年	単位	2
配当	営A1必				
担当者名	山口 <small>やまぐち</small> 良博 <small>よしひろ</small>				

## 講義のねらい

バスケットボール、バレーボール、バトミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

## 講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明  
(バスケットボール)
- 2 時限目：ボールハンドリング、シュート、ゲーム
- 3 時限目：ハーフコート2対1、ゲーム
- 4 時限目：ハーフコート3対3、ゲーム
- 5 時限目：ゲーム(リーグ戦)
- 6 時限目：ゲーム(リーグ戦)  
(バレーボール)
- 7 時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム
- 8 時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム
- 9 時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム
- 10 時限目：ゲーム(リーグ戦)
- 11 時限目：ゲーム(リーグ戦)  
(バトミントン)
- 12 時限目：ラケットティング、クリアー、スマッシュ、シングルのゲーム
- 13 時限目：ドライブ、ヘアピン、シングルのゲーム
- 14 時限目：サービス、ストロークの応用、ダブルスのゲーム
- 15 時限目：ダブルスのゲーム

## 履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

## 成績評価の方法

出席点(70点)、実技点(20点)、態度点(10点)、60点以上を合格とする。

科目名	健康・スポーツ実習(空手道)	開講	通年	単位	2
配当	営A1必				
担当者名	たかはし しゅんすけ 高橋 俊介				

#### 講義のねらい

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してからの猿臂打
- 7時限目：総合的に反復して練習
- 8時限目：総合的に反復して練習
- 9時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11時限目：総合的に反復して練習
- 12時限目：総合的に反復して練習
- 13時限目：総合的に反復して練習
- 14時限目：総合的に反復して練習
- 15時限目：実技試験

#### 履修上の留意点

服装は、全員が授業用の空手衣を着用する。

#### 成績評価の方法

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

#### その他

雨天時は走のための補強トレーニング

科目名	健康・スポーツ実習(ソフトボール)	開講	通年	単位	2
担当	菅A1必				
担当者名	しもやち かつとし 下谷内 勝利				

## 講義のねらい

ソフトボールは野球と同様1チーム9名で2組が得点を争うゲームである。野球が体育実技で取り上げづらいのは、ある種の経験を要するからであり、ソフトボールは、チームの中で1～2名の未経験者がいてもゲームはある程度成立する。野球は、9回の攻守に対してソフトボールは7回と、時間の区切られた実技に適している。

## 講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、打撃練習：トス・ハーフ・フリーバッティング、走塁練習、その他）  
2時限目：＼  
3時限目：試合（勝ち点制）  
4時限目：＼  
5時限目：＼  
6時限目：＼  
7時限目：＼  
8時限目：審判の仕方（球審、1・3塁審）  
9時限目：＼  
10時限目：試合（勝ち点制）  
11時限目：＼  
12時限目：＼  
13時限目：＼  
14時限目：＼  
15時限目：まとめ

## 履修上の留意点

用具：貸与  
服装：ユニフォームの着用はないが、実技のできる服装とする。  
シューズ：ランニングシューズ、アップシューズは可。野球のスパイクシューズは不可。

## 成績評価の方法

出席を重視し、試合毎の勝ち点も加えて評価する。

## その他

雨天時は、視聴覚室において、ルールの解説とビデオ観戦とする。  
30分以上の遅刻は認めないものとする。

科目名	健康・スポーツ実習(トレーニング)	開講	通年	単位	2
配当	営A1必				
担当者名	みづなが としてる 光永 吉輝				

講義のねらい

トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓など身体の状態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行なう練習、訓練である。

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会的環境の変化などから、日常の筋肉運動量が少なくなり、かつまた知育偏重の傾向が一段と高まり、進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が盛んに論じられてきている。一般に日常生活以外に運動を行なわないでいると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

講義の内容・授業スケジュール

初めに体力測定を行ない、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス（有酸素運動）・ウエイトトレーニングなどを行なう。

ウエイトトレーニングは、米航空宇宙局（NASA）で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムIIという空気抵抗を利用したマシンを用いて行なう。このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が可能であり簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。

授業計画

- 1 時限目：オリエンテーション、体力測定
- 2 時限目：カイザーカムII最大筋力測定
- 3 時限目：〃
- 4 時限目：トレーニング開始 毎時間、最大筋力の1/3～2/3の負荷を各自で選び5～8種類のマシンを、2～3セット行なう
- 5 時限目：トレーニング
- 6 時限目：トレーニング
- 7 時限目：トレーニング
- 8 時限目：負荷を男子は2kg up、女子は1kg up
- 9 時限目：トレーニング
- 10 時限目：トレーニング
- 11 時限目：トレーニング
- 12 時限目：負荷を男子は2kg up、女子は1kg up
- 13 時限目：トレーニング
- 14 時限目：トレーニング
- 15 時限目：体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装、トレーニングウエア、体育館シューズ（室内専用）を用意すること。

成績評価の方法

出席、トレーニング内容（毎時間記録をする）、授業への参加意欲、態度を総合的に判断して成績評価とする。

その他

ストレッチ体操の各種、器具のいらないトレーニング方法（単独法、対人法）などを各時間に詳しく講義する。

科目名	健康・スポーツ実習(体操・トランポリン)	開講	通年	単位	2
配当	営A1必				
担当者名	竹田 幸夫 <small>たけだ ゆきお</small>				

講義のねらい

「体操」という種目を広義に捉え、健康体操やストレッチ体操、ならびに器械運動を含めた体操の実技を行なう。健康体操については、体のバランスをチェックし矯正するための体操とマッサージ法を紹介する。器械運動では、マットや鉄棒、さらにトランポリンという種目を中心にして、初心者を対象としたやさしい技から難しい技へと段階的に技を修得する。受講者の希望があれば、能力に応じてマット上での後転とび（バック転）まで発展させる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2 時限目：健康体操とストレッチ体操
- 3 時限目：〃
- 4 時限目：マッサージ法
- 5 時限目：ストレッチ体操・マット・トランポリン
- 6 時限目：ストレッチ体操・マット・トランポリン
- 7 時限目：ストレッチ体操・男子：あん馬／女子：平均台
- 8 時限目：ストレッチ体操・男子：つり輪／女子：トランポリン
- 9 時限目：ストレッチ体操・男子：トランポリン／女子：鉄棒
- 10 時限目：ストレッチ体操・男子：平行棒／女子：トランポリン
- 11 時限目：ストレッチ体操・男女とも鉄棒
- 12 時限目：発展技の練習
- 13 時限目：自主練習
- 14 時限目：自主練習
- 15 時限目：まとめと評価

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意する。底の薄い体操シューズを用意するのが望ましいが、ソックスでも良い。実技は、玉川体育館1階アリーナの体操場で行なう。なお、体操場にセットされている鉄棒やトランポリンなどの器械は、扱い方を誤ると怪我や事故につながるため、授業時間内の指示を守ることを要する。

成績評価の方法

健康体操および器械運動ともに、毎回授業に出席して実践することに大きな意味がある。とくに器械運動は、技を習得していく過程にも魅力を見い出すことのできるスポーツ種目である。したがって、成績は出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、男女それぞれに課題の達成度によって評価していく。易しい技から難しい技まで約40～50の課題を設定するので、受講生はそこから自分で習得したい技、能力に応じた技を選択する。技の達成度の評価は、受講生同士で行なう。

その他

授業の進行状況に応じて、課題となっている技のビデオ、ならびに体操競技の競技会のビデオを観る。

科目名	健康・スポーツ実習(ゴルフ)	開講	通年	単位	2
配当	営A1必				
担当者名	三幣 晴三 <small>みねさ はるみ</small>				

講義のねらい

ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。  
生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：グリップ、アドレス、スイング
- 3時限目：打撃練習（7・9アイアン）
- 4時限目：打撃練習（7・9アイアン）・ビデオによるスイング理論の解説
- 5時限目：打撃練習（5アイアン）
- 6時限目：打撃練習（5アイアン）
- 7時限目：打撃練習（W1・W3）
- 8時限目：打撃練習（W1・W3）
- 9時限目：打撃練習（アプローチ）
- 10時限目：打撃練習（アプローチ）
- 11時限目：打撃練習（パッティング）・ルールの解説
- 12時限目：打撃練習（パッティング）・ラウンドにおけるマナー、エチケットの解説
- 13時限目：ラウンド（模擬コース）
- 14時限目：ラウンド（模擬コース）
- 15時限目：実技テスト

履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法

授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点（実技テストを含む）30%の割合で評価する。

そ の 他

雨天時及び強風などの場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。



科目名	健康・スポーツ実習(テニス)	開講	通年	単位	2
配当	営A1必				
担当者名	江口 淳一 <small>えぐち じゅんいち</small>				

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで様々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と態度を養うことを目標にしている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通してその価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、自律的にスポーツを生活化する態度を養うことを目的とする。

さらに、テニスという共通の体験を通して大学時代でなければ得られない人間関係を作り、社会性を養い、総合的な人間形成を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業の目標の説明
- 2時限目：ラケットティング、ボレー、ミニストローク
- 3時限目：フォアハンドグラウンドストロークの基本技術
- 4時限目：バックハンドグラウンドストロークの基本技術
- 5時限目：フォアハンドボレー、バックハンドボレー
- 6時限目：スマッシュ、サービスの基本技術
- 7時限目：ストロークの応用とミニゲーム
- 8時限目：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）
- 9時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 10時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 11時限目：ダブルスのルールとポジショニング
- 12時限目：ダブルスゲームを楽しむ
- 13時限目：より高度なダブルスのゲームへ
- 14時限目：トーナメント形式の試合の進め方
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況、授業参加態度から総合的に判断する。

その他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

科目名	健康・スポーツ実習(室内球技)	開講	通年	単位	2
配当	営A1必				
担当者名	やまぐち よしひろ 山口 良博				

講義のねらい

バスケットボール、バレーボール、バトミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明  
(バスケットボール)
- 2時限目：ボールハンドリング、シュート、ゲーム
- 3時限目：ハーフコート2対1、ゲーム
- 4時限目：ハーフコート3対3、ゲーム
- 5時限目：ゲーム(リーグ戦)
- 6時限目：ゲーム(リーグ戦)  
(バレーボール)
- 7時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム
- 8時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム
- 9時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム
- 10時限目：ゲーム(リーグ戦)
- 11時限目：ゲーム(リーグ戦)  
(バトミントン)
- 12時限目：ラケットティング、クリアー、スマッシュ、シングルスゲーム
- 13時限目：ドライブ、ヘアピン、シングルスゲーム
- 14時限目：サービス、ストロークの応用、ダブルスゲーム
- 15時限目：ダブルスゲーム

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点(70点)、実技点(20点)、態度点(10点)、60点以上を合格とする。

科目名	健康・スポーツ実習(空手道)	開講	通年	単位	2
配当	営A1必				
担当者名	たかはし しゅんすけ 高橋 俊介				

#### 講義のねらい

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2 時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3 時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4 時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5 時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6 時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してからの猿臂打
- 7 時限目：総合的に反復して練習
- 8 時限目：総合的に反復して練習
- 9 時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10 時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11 時限目：総合的に反復して練習
- 12 時限目：総合的に反復して練習
- 13 時限目：総合的に反復して練習
- 14 時限目：総合的に反復して練習
- 15 時限目：実技試験

#### 履修上の留意点

服装は、全員が授業用の空手衣を着用する。

#### 成績評価の方法

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

#### その他

雨天時は走のための補強トレーニング

科目名	健康・スポーツ実習(ソフトボール)	開講	通年	単位	2
配当	営A1必				
担当者名	しもやち かつとし 下谷内 勝利				

## 講義のねらい

ソフトボールは野球と同様1チーム9名で2組が得点を争うゲームである。野球が体育実技で取り上げづらいのは、ある種の経験を要するからであり、ソフトボールは、チームの中で1～2名の未経験者がいてもゲームはある程度成立する。野球は、9回の攻守に対してソフトボールは7回と、時間の区切られた実技に適している。

## 講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、打撃練習：トス・ハーフ・フリーバッティング、走塁練習、その他）  
 2時限目：＼  
 3時限目：試合（勝ち点制）  
 4時限目：＼  
 5時限目：＼  
 6時限目：＼  
 7時限目：＼  
 8時限目：審判の仕方（球審、1・3塁審）  
 9時限目：＼  
 10時限目：試合（勝ち点制）  
 11時限目：＼  
 12時限目：＼  
 13時限目：＼  
 14時限目：＼  
 15時限目：まとめ

## 履修上の留意点

用具：貸与  
 服装：ユニフォームの着用が必要はないが、実技のできる服装とする。  
 シューズ：ランニングシューズ、アップシューズは可。野球のスパイクシューズは不可。

## 成績評価の方法

出席を重視し、試合毎の勝ち点も加えて評価する。

## その他

雨天時は、視聴覚室において、ルールの解説とビデオ観戦とする。  
 30分以上の遅刻は認めないものとする。

科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(室内球技)	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心営A放GM234年				
担当者名	三幣 晴三				

### 講義のねらい

室内で行なう球技(卓球、バドミントン、フットサル、バスケットボール)の基本技能の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも、将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

### 講義の内容・授業スケジュール

#### 【前期】

- 1 時限目：オリエンテーション、前期授業内容の説明
- 2 時限目：卓球(ラケットの握り方、フットワーク、ミニゲーム)
- 3 時限目：〃(サーブとリターン、ルールの解説、シングルスゲーム)
- 4 時限目：〃(シングルスゲーム)
- 5 時限目：〃(シングルスゲーム)
- 6 時限目：〃(ダブルスゲームの進め方、ゲーム)
- 7 時限目：〃(ダブルスゲーム)
- 8 時限目：〃(まとめと評価)
- 9 時限目：バドミントン(ラケットの握り方、フットワーク、半面コートでのミニゲーム)
- 10 時限目：〃(ストローク、ドロップショット、スマッシュの練習、シングルス)
- 11 時限目：〃(ルール解説、シングルスゲーム)
- 12 時限目：〃(ダブルスゲームの進め方、ダブルスゲーム)
- 13 時限目：〃(ダブルスゲーム)
- 14 時限目：〃(ダブルスゲーム)
- 15 時限目：〃(まとめと評価)

#### 【後期】

- 1 時限目：オリエンテーション、後期授業内容の説明
- 2 時限目：フットサル(ルール説明、キックの基本Ⅰ、キーパーなしゲーム)
- 3 時限目：〃(キックの基本Ⅱ、キーパーなしゲーム)
- 4 時限目：〃(ボールコントロールの基本Ⅰ、ゲーム)
- 5 時限目：〃(ボールコントロールの基本Ⅱ、ゲーム)
- 6 時限目：〃(ゲーム)
- 7 時限目：〃(ゲーム)
- 8 時限目：〃(ゲーム)
- 9 時限目：バスケットボール(パス、ドリブル、ショットの基本技術)
- 10 時限目：〃(レイアップショット、ジャンプショットの技術、ルール解説)
- 11 時限目：〃(ファウルの種類と罰則の解説、ゲーム)
- 12 時限目：〃(ゲーム)
- 13 時限目：〃(ゲーム)
- 14 時限目：〃(ゲーム)
- 15 時限目：〃(まとめと評価)

### 履修上の留意点

遅刻は認めない。実技は、本校第1体育館で行なう。一般的なスポーツウェア、ならびに室内球技に適した体育館シューズを用意する。なお、卓球、バドミントンで使うラケットは、貸与する。

### 成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を実践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、各種目における個人別の技能、およびゲームの結果を加味して評価する。

### その他

曜日・時限によって定員がちがうので注意、『履修要項(学習ガイドブック)』を確認の上履修すること。

科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(室内球技)	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴史日外考社福心営A放GM234年				
担当者名	田中 <small>たなか</small> 佳孝 <small>よしたか</small>				

講義のねらい

室内で行なう球技(卓球、バドミントン、バレーボール、バスケットボール)の基本技能の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも、将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】

- 1時限目：オリエンテーション、前期授業内容の説明
- 2時限目：卓 球 (ラケットの握り方、フットワーク、ミニゲーム)
- 3時限目： " (サーブとリターン、ルールの解説、シングルスゲーム)
- 4時限目： " (シングルスゲーム)
- 5時限目： " (シングルスゲーム)
- 6時限目： " (ダブルスゲームの進め方、ゲーム)
- 7時限目： " (ダブルスゲーム)
- 8時限目： " (まとめと評価)
- 9時限目：フットサル (ルール説明、キックの基本I、キーパーなしゲーム)
- 10時限目： " (キックの基本II、キーパーなしゲーム)
- 11時限目： " (ボールコントロールの基本I、ゲーム)
- 12時限目： " (ボールコントロールの基本II、ゲーム)
- 13時限目： " (ゲーム)
- 14時限目： " (ゲーム)
- 15時限目： " (ゲーム)

【後期】

- 1時限目：オリエンテーション、後期授業内容の説明
- 2時限目：バレーボール (パスとサーブの技術、ミニゲーム)
- 3時限目： " (ソフトバレーの概要とルール)
- 4時限目： " (フォーメーション、ゲーム)
- 5時限目： " (ゲーム)
- 6時限目： " (ゲーム)
- 7時限目： " (ゲーム)
- 8時限目： " (まとめと評価)
- 9時限目：バスケットボール (パス、ドリブル、ショットの基本技術)
- 10時限目： " (レイアップショット、ジャンプショットの技術、ルール解説)
- 11時限目： " (ファウルの種類と罰則の解説、ゲーム)
- 12時限目： " (ゲーム)
- 13時限目： " (ゲーム)
- 14時限目： " (ゲーム)
- 15時限目： " (まとめと評価)

履修上の留意点

実技は、本校第1体育館で行なう。一般的なスポーツウェア、ならびに室内球技に適した体育館シューズを用意する。なお、卓球で使うラケットは、貸与する。  
遅刻は認めない。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を实践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、各種目における個人別の技能、およびゲームの結果を加味して評価する。成績評価を受ける為には2/3以上の出席日数が必要。

そ の 他

曜日・時限によって定員がちがうので注意、『履修要項(学習ガイドブック)』を確認の上履修

科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(トレーニング)	開講	集中授業	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心営A放GM234年				
担当者名	秋田 浩一				

#### 講義のねらい

基礎的な体力要素である筋力、持久力、柔軟性、敏捷性を高めることを目的にして、さまざまなトレーニングを実践する。また、自分の体力の特徴を知ることによって、それに応じたトレーニングの方法を学ぶことを主なねらいとする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1日目 午前：オリエンテーション、体力測定
- 1日目 午後：カイザーカムIIの使用法の説明、最大筋力の測定
- 2日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 2日目 午後：トレーニング
- 3日目 午前：ストレッチ体操、マッサージ法
- 3日目 午後：トレーニング
- 4日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 4日目 午後：12分間走
- 5日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 5日目 午後：体力測定、まとめ

#### 履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意すること。実技は、おもに体育館地下のトレーニング場で行なうので、体育館シューズを用意すること。

#### 成績評価の方法

出席状況、トレーニング内容、授業態度を総合的に判断して評価する。

#### その他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月17日(火)～21日(土)、(後期) 1月5日(土)～9日(水)  
7月17日及び1月5日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00、13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ学習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(太極拳)	開講	集中授業	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心営A放GM234年				
担当者名	おおいし たけし 大石 武士				

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、将来、生涯スポーツの一つとしての基礎をつくる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目午前：オリエンテーション  
：重心の移動・腹式呼吸運動
- 1日目午後：第一組 起勢・左右野馬分鬚・白鶴亮翅
- 2日目午前：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 2日目午後：第三組 左攬雀尾・右攬雀尾
- 3日目午前：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 3日目午後：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・轉身左ドン脚
- 4日目午前：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 4日目午後：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 5日目午前：第八組 轉身搬ラン捶・如封似閉・十字手・収勢
- 5日目午後：総合・テスト

履修上の留意点

服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月17日(火)～21日(土)、(後期) 1月5日(土)～9日(水)  
7月17日及び1月5日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎第1体育館に集合。
- (2) 実施時間：10:00～12:00、13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川校舎第1体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。



科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(卓球)	開講	集中授業	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心営A放GM234年				
担当者名	むらまつ まこと 村松 誠				

### 講義のねらい

卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。

### 講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2時限目：ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
- 11時限目：ダブルスゲーム
- 12時限目：ダブルスゲーム
- 13時限目：ダブルスゲーム
- 14時限目：ダブルスゲーム
- 15時限目：まとめ

### 履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

### 成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

### その他

- 30分以上の遅刻は認めない。  
再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：（前期）7月17日（火）～21日（土）、（後期）1月5日（土）～9日（水）  
7月17日及び1月5日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎第1体育館に集合。
  - (2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
  - (3) 実施場所：玉川校舎第1体育館
  - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
  - (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(室内球技)	開講	集中授業	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心営A放GM234年				
担当者名	やまぐち よしひろ 山口 良博				

講義のねらい

室内で行なわれるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の愉しきを感じつつ、チームの勝利獲得に必要である積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。

1時限目はオリエンテーションを行い、スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

その他

再クラス 集中授業コース実施について

(1)実施期間：（前期）7月17日（火）～21日（土）、（後期）1月5日（土）～9日（水）  
7月17日及び1月5日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合

(2)実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30

(3)実施場所：玉川体育館

(4)申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。

(5)備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(卓球)	開講	集中授業	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心営A放GM234年				
担当者名	すずき じゅんべい 鈴木 淳平				

#### 講義のねらい

1. 卓球を教材に用い、身体運動の実践のなかで、その楽しさや重要性を理解する。技術やルール等を習得し、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的技能を身につける。
2. 技術練習やゲームを行う中で、その運営を仲間と協力して行っていく社会性・協調性を養う。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 日目：ラケットの持ち方、スイングとフットワーク、シングルス・ゲーム
- 2 日目：サービスとレシーブ、ラリー、ダブルス・ゲーム
- 3 日目：ドライブ（フォアハンド・バックハンド）、スマッシュ、ゲーム
- 4 日目：総合練習、ゲーム、リーグ戦
- 5 日目：総合練習、ゲーム、リーグ戦

#### 履修上の留意点

スポーツウェア（上下）、室内用のシューズ着用で受講する。

#### 成績評価の方法

出席状況、運動への積極性、受講態度、技術・体力などから総合的に評価する。

#### そ の 他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1)実施期間：(前期) 7月17日(火)～21日(土)、(後期) 1月5日(土)～9日(水)  
7月17日及び1月5日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎第1体育館に集合。
  - (2)実施時間：10:00～12:00、13:00～15:30
  - (3)実施場所：玉川校舎第1体育館
  - (4)申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は、集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
  - (5)備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(ソフトボール)	開講	集中授業	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心営A放GM234年				
担当者名	たかはし しゅんすけ 高橋 俊介				

講義のねらい

補強運動、練習及びゲームなどを積極的に行い、体力や運動能力を高める。技術やルールを習得し、ソフトボールのゲームを行う基本的能力を身につける。また、ソフトボールの楽しさをゲームや技術の習得を通して体験する。さらに、クラスの仲間と協力して練習やゲームを行う中で社会的態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

第1日目

午前：チーム分け、基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスパッチング、走塁練習、その他）

午後：同上

第2日目

午前：ゲーム

午後： "

第3日目

午前： "

午後：審判法・ゲーム

第4日目

午前： "

午後： "

第5日目

午前： "

午後： "

履修上の留意点

一般的の体育服装を用意すること。野球用ユニフォームでも良い。運動靴は必ず用意すること。スパイクシューズは認めない。用具は貸与する。

成績評価の方法

出席を重視し、総合的に評価する。

その他

再クラス 集中授業コース実施について

(1)実施期間：(前期)7月17日(火)～21日(土)、(後期)1月5日(土)～9日(水)  
7月17日及び1月5日更衣の上、午前10時に玉川体育館に集合

(2)実施時間：10:00～12:00、13:00～15:30

(3)実施場所：玉川体育館

(4)申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。

(5)備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(トレーニング&太極拳)	開講	集中授業	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心営A放GM234年				
担当者名	みつなが よしてる 光永 吉輝				

## 講義のねらい

この講義では午前には、体力の基礎である、筋力、持久力、柔軟性をトレーニングの授業で学び、午後の講義では、バランス、集中力、呼吸法によるリラクセスの方法を太極拳で学ぶことをねらいとしている。

簡化太極拳は、簡単なものから複雑なものへ、やさしいものから難しいものへと構成されていて、学びやすく、覚えやすいようになっている。全コース八組(24式)あって、練習では全コース通してやってもいいし、あるいは一組が2～4式となっているが、ここでは、第一組から第四組(11式)までを学ぶねらいとする。

## 講義の内容・授業スケジュール

- 1日目  
午前：オリエンテーション・体力測定  
午後：オリエンテーション・基本動作・第一組(3式)
- 2日目  
午前：カイザーカムIIの使用説明、最大筋力測定  
午後：第一組、第二組(3式)
- 3日目  
午前：トレーニング  
午後：第一組、第二組、第三組(2式)
- 4日目  
午前：トレーニング  
午後：第一組、第二組、第三組、第四組(3式)、総合
- 5日目  
午前：体力測定  
午後：総合(1～11式)、テスト

## 履修上の留意点

服装は、トレーニングウェア。実技は、体育館地下一階トレーニング上で行うので、体育館シューズを用意すること。

## 成績評価の方法

出席状況、トレーニング内容、授業態度を総合的に判断して評価する。  
尚、太極拳は最終日に演武テストを行う。

## その他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1)実施期間：(前期)7月17日(火)～21日(土)、(後期)1月5日(土)～9日(水)  
7月17日及び1月5日更衣の上、午前10時に玉川体育館に集合
- (2)実施時間：10:00～12:00、13:00～15:30
- (3)実施場所：玉川体育館
- (4)申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5)備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(室内球技)	開講	集中授業	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心営A放GM234年				
担当者名	むらまつ まこと 村松 誠				

講義のねらい

バスケットボール、バレーボール、バドミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明  
(バスケットボール)
- 2時限目：ボールハンドリング、ドリブルシュート、グループ分け
- 3時限目：ハーフコート2対1、ゲーム(1次リーグ)
- 4時限目：ハーフコート3対2、ゲーム(1次リーグ)
- 5時限目：ハーフコート4対3、ゲーム(1・2次リーグ)
- 6時限目：ハーフコート3対3、ゲーム(2次リーグ)
- 7時限目：ゲーム(2次リーグ)  
(バレーボール)
- 8時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム(リーグ戦)
- 9時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム(リーグ戦)
- 10時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム(リーグ戦)
- 11時限目：ゲーム(トーナメント)  
(バドミントン)
- 12時限目：ラケットティング、ミニラリー、スマッシュ、ドロップショット
- 13時限目：クリアー、ネット・ショット、ダブルスのルール
- 14時限目：サービス、ストロークの応用、ダブルスのゲーム
- 15時限目：ダブルスのゲーム

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。ボールを扱う競技においては手のつめを短く切ること。体育館専用シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点(70点)、実技点(20点)、態度点(10点)の配分で評価する。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期)7月17日(火)～21日(土)、(後期)1月5日(土)～9日(水)  
7月17日及び1月5日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎第1体育館に集合。
- (2) 実施時間：10:00～12:00、13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川校舎第1体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期／後期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期／後期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期／後期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期／後期・基礎）（室内球技）	開講	半期	単位	1
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A4選				
担当者名	わたなべ いちろう 渡辺 一郎				

## 講義のねらい

半期間にバスケットボール、フットサル、卓球の3種目を行う。各々の種目を通して個人の基礎体力や運動技能を高めるとともに、集団の中での各個人の役割等を認識することにより社会的態度を養うことを目的とする。

## 講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：バスケットボールの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等）
- 3 時限目～6 時限目：総合練習、ゲーム
- 7 時限目：フットサルの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等）
- 8 時限目～11 時限目：総合練習、ゲーム
- 12 時限目：卓球の基本スキル（ストローク、ドライブ、カット、サーブ等）
- 13 時限目～15 時限目：ゲーム（シングルス、ダブルス）

## 履修上の留意点

1. 本校第一体育館で行う。
2. 定員は40名とする。
3. 服装は一般的スポーツウエア、体育館シューズを用意すること。

## 成績評価の方法

出席点70点、実技点20点、態度点10点

科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期／後期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期／後期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期／後期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期／後期・応用）（室内球技）	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A4選				
担当者名	わたなべ いちろう 渡辺 一郎				

講義のねらい

半期間にバスケットボール、フットサル、卓球の3種目を行う。各々の種目を通して個人の基礎体力や運動技能を高めるとともに、集団の中での各個人の役割等を認識することにより社会的態度を養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：バスケットボールの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等）
- 3時限目～6時限目：総合練習、ゲーム
- 7時限目：フットサルの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等）
- 8時限目～11時限目：総合練習、ゲーム
- 12時限目：卓球の基本スキル（ストローク、ドライブ、カット、サーブ等）
- 13時限目～15時限目：ゲーム（シングルス、ダブルス）

履修上の留意点

1. 本校第一体育館で行う。
2. 定員は40名とする。
3. 服装は一般的スポーツウェア、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点70点、実技点20点、態度点10点



科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期／後期・応用）（簡化太極拳） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期／後期・応用）（簡化太極拳） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期／後期・応用）（簡化太極拳） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期／後期・応用）（簡化太極拳）	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A4選				
担当者名	<small>おおいし たけし</small> 大石 武士				

## 講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。なお、授業風景をビデオ撮影し、予習・復習のため KOMAnet・インターネットで配信（学内のみ）の予定。

## 講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3時限目：第一組 起勢・左右野馬分ゾン・白鶴亮翅
- 4時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5時限目：第三組 左攬雀尾・右攬雀尾
- 6時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7時限目：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・転身左ドン脚
- 8時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10時限目：第八組 転身搬ラン捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11時限目：総合
- 12時限目：総合
- 13時限目：総合
- 14時限目：総合
- 15時限目：テスト

## 履修上の留意点

- 1) 定員：45名
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：体育館

## 成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期／後期・応用）（ミニサッカー） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期／後期・応用）（ミニサッカー） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期／後期・応用）（ミニサッカー） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期／後期・応用）（ミニサッカー）	開講	半期	単位	1
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A4選				
担当者名	おおいし たけし 大石 武士				

講義のねらい

ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること（キック）、止めること（トラッピング）、運ぶこと（ドリブル）から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ゲームの進め方、練習ゲーム
- 3時限目：ゲームの攻め方、守り方、ゲーム
- 4時限目～9時限目：基礎技術の応用練習、ゲーム
- 10時限目～14時限目：ゲーム
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

- 1) 定員：35名
- 2) 服装は、一般的な運動服装で良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。
- 3) 教場：体育館

成績評価の方法

評価は出席点70%、総合評価30%で行う。

科目名	生涯スポーツ実習I (前期/後期・基礎) (簡化太極拳) 生涯スポーツ実習II (前期/後期・基礎) (簡化太極拳) 生涯スポーツ実習III (前期/後期・基礎) (簡化太極拳) 生涯スポーツ実習IV (前期/後期・基礎) (簡化太極拳)	開講	半期	単位	1
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A4選				
担当者名	おおいし たけし 大石 武士				

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛練するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。なお、授業風景をビデオ撮影し、予習・復習のため KOMAnet・インターネットで配信（学内のみ）の予定。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3時限目：第一組 起勢・左右野馬分ゾン・白鶴亮翅
- 4時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5時限目：第三組 左攬雀尾・右攬雀尾
- 6時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7時限目：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・轉身左ドン脚
- 8時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10時限目：第八組 轉身搬ラン捶・如封似閉・十字手・收勢
- 11時限目：総合
- 12時限目：総合
- 13時限目：総合
- 14時限目：総合
- 15時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：45名
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：体育館

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期／後期・基礎）（フットサル） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期／後期・基礎）（フットサル） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期／後期・基礎）（フットサル） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期／後期・基礎）（フットサル）	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A4選				
担当者名	<small>たなか よしたか</small> 田中 佳孝				

講義のねらい

室内で行うサッカー、フットサルを行う。基本技能の習得をベースに、ゲーム中心の授業を展開する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、ルール説明
- 2 時限目：キックの基本技術Ⅰ、GKなしのゲーム
- 3 時限目：キックの基本技術Ⅱ、GKなしのゲーム
- 4 時限目：ボールコントロールの基本技術Ⅰ、ゲーム
- 5 時限目：ボールコントロールの基本技術Ⅱ、ゲーム
- 6 時限目：ゲーム
- 7 時限目：ゲーム
- 8 時限目～14時限目：ゲーム
- 15時限目：まとめと評価

履修上の留意点

実技は本校第1体育館で行う。一般的スポーツウェア、ならびにフットサルに適した体育館シューズを用意すること。遅刻は認めない。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲーム展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を実践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。  
成績評価を受けるには2/3の出席日数が必要。

その他

定員40名の事前登録とする。事前登録に関しては、教務部窓口にて問い合わせること。

科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期／後期・基礎）（フットサル） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期／後期・基礎）（フットサル） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期／後期・基礎）（フットサル） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期／後期・基礎）（フットサル）	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A4選				
担当者名	<small>たなか よしたか</small> 田中 佳孝				

## 講義のねらい

室内で行うサッカー、フットサルを行う。基本技能の習得をベースに、ゲーム中心の授業を展開する。

## 講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、ルール説明
- 2 時限目：キックの基本技術Ⅰ、GKなしのゲーム
- 3 時限目：キックの基本技術Ⅱ、GKなしのゲーム
- 4 時限目：ボールコントロールの基本技術Ⅰ、ゲーム
- 5 時限目：ボールコントロールの基本技術Ⅱ、ゲーム
- 6 時限目：ゲーム
- 7 時限目：ゲーム
- 8 時限目～14時限目：ゲーム
- 15時限目：まとめと評価

## 履修上の留意点

実技は本校第1体育館で行う。一般的スポーツウェア、ならびにフットサルに適した体育館シューズを用意すること。

## 成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲーム展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を実践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。成績評価を受ける為には2/3の出席日数が必要。

## その他

定員40名の事前登録とする。事前登録に関しては、教務部窓口にて問い合わせること。

科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期／後期・応用）（卓球） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期／後期・応用）（卓球） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期／後期・応用）（卓球） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期／後期・応用）（卓球）	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A4選				
担当者名	村松 誠 <small>むらまつ まこと</small>				

講義のねらい

卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2 時限目：ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5 時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6 時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8 時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
- 11時限目：ダブルスゲーム
- 12時限目：ダブルスゲーム
- 13時限目：ダブルスゲーム
- 14時限目：ダブルスゲーム
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行わない。

科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期／後期・基礎）(卓球) 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期／後期・基礎）(卓球) 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期／後期・基礎）(卓球) 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期／後期・基礎）(卓球)	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A4選				
担当者名	鈴木 <small>すずき</small> 淳平 <small>じゆんぺい</small>				

講義のねらい

1. 卓球を教材に用い、身体運動の実践のなかで、その楽しさや重要性を理解する。技術やルール等を習得し、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的技能を身につける。
2. 技術練習やゲームを行う中で、その運営をクラスの仲間と協力して行っていく社会性・協調性を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ラケットの持ち方、スイングとフットワーク、シングルス・ゲーム
- 3時限目：サービスとレシーブ、ラリー、ダブルス・ゲーム
- 4時限目：ドライブ（フォアハンド・バックハンド）、スマッシュ、ゲーム
- 5時限目～：総合練習、ゲーム、リーグ戦

履修上の留意点

1. 定員は50名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行う。
3. スポーツウェア（上下）、体育館用のシューズ着用で受講する。

成績評価の方法

出席状況、運動への積極性、受講態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期／後期・応用）（バドミントン） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期／後期・応用）（バドミントン） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期／後期・応用）（バドミントン） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期／後期・応用）（バドミントン）	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A4選				
担当者名	鈴木 淳平				

## 講義のねらい

バドミントンを生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につける。シングルス、ダブルス等のゲームを通じて技術・戦術を習得し、試合の運営、マナーやエチケット等も学んでいく。

## 講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット、シングルス・ゲーム
- 4時限目：半面での簡易ゲーム、シングルス、ダブルス・ゲーム
- 5時限目：〃
- 6時限目：〃
- 7時限目：〃
- 8時限目～15時間目：総合練習・ゲーム

## 履修上の留意点

1. 定員は40名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。

## 成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。



科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(前期/後期・応用)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期/後期・応用)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期/後期・応用)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期/後期・応用)(バスケットボール)	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A4選				
担当者名	まさの しげる 牧野 茂				

講義のねらい

バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート2対1
- 3時限目：2ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3対3ゲーム
- 4時限目：2マン・ファースト・ブレイク、フルコート2対1、3対3ゲーム
- 5時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム(リーグ戦)
- 6時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム(リーグ戦)
- 7時限目：著名なマンツーマン・オフENSE(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦)
- 8時限目：著名なマンツーマン・オフENSE(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 9時限目：著名なマンツーマン・オフENSE(3)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 10時限目：モーション・オフENSE(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦)
- 11時限目：モーション・オフENSE(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 12時限目：モーション・オフENSE(3)ハーフ・コート4対4、ゲーム(リーグ戦)
- 13時限目：総合練習、ゲーム(リーグ戦)
- 14時限目：総合練習、ゲーム(リーグ戦)
- 15時限目：実技テスト、ゲーム(リーグ戦)

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点(70点)、実技テスト(20点)、態度点(10点)

科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(前期/後期・基礎)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期/後期・基礎)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期/後期・基礎)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期/後期・基礎)(バスケットボール)	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A4選				
担当者名	<small>まきの しげる</small> 牧野 茂				

講義のねらい

バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート2対1
- 3時限目：2ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3対3ゲーム
- 4時限目：2マン・ファースト・ブレイク、フルコート2対1、3対3ゲーム
- 5時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム(リーグ戦)
- 6時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム(リーグ戦)
- 7時限目：著名なマンツーマン・オフense(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦)
- 8時限目：著名なマンツーマン・オフense(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 9時限目：著名なマンツーマン・オフense(3)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 10時限目：モーション・オフense(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦)
- 11時限目：モーション・オフense(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 12時限目：モーション・オフense(3)ハーフ・コート4対4、ゲーム(リーグ戦)
- 13時限目：総合練習、ゲーム(リーグ戦)
- 14時限目：総合練習、ゲーム(リーグ戦)
- 15時限目：実技テスト、ゲーム(リーグ戦)

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点(70点)、実技テスト(20点)、態度点(10点)

科目名	生涯スポーツ演習I（シーズン基礎）（ゴルフ） 生涯スポーツ演習I（シーズン応用）（ゴルフ）	開講	シーズン	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴史日外考社福心経商現法A政営A選 経B法B営B選				
担当者名	佐藤 まさゆき 佐藤 政之 他				

講義のねらい

「健康スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフを基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。ゴルフの技術的向上を主たるねらいとするが、プレーヤーとしてのマナーやエチケット、更に同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいとなる。  
生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良い人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション：
  - 1回目 4月7日（土）12：20～12：40 2研-102教場
  - 2回目 4月14日（土）12：20～12：40 2研-102教場

※本オリエンテーションにて、受講許可書を発行いたします。  
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
2. 事前授業：7月17日（火）13：00～16：10 2研-102教場「ゴルフの基礎知識」
3. 実習内容および現地講義
  - 1日目 9月10日（月）
 

講義：9：00～12：10 ゴルフコースとゲーム、スイングの基礎  
実技：13：00～17：30 打撃練習

※注意：1日目は、玉川校舎で実施する。
  - 2日目 9月11日（火） 実技・講義：11：00～18：00 打撃練習・ゴルフ規則I、その他
  - 3日目 9月12日（水） 実技・講義：8：30～17：00 打撃練習・ラウンド・ゴルフ規則II
  - 4日目 9月13日（木） 実技・講義：8：30～17：00 打撃練習・ラウンド・ラウンドの総括
  - 5日目 9月14日（金） 実技・講義：8：30～13：30 打撃練習・ラウンド・閉校式

履修上の留意点

- 生涯スポーツ演習I（シーズン基礎・シーズン応用）を履修する場合は、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可を受けなければなりません。
1. 実習日程：平成19年9月10日（玉川校舎）・9月11日～14日（現地：3泊4日）
  2. 場所：
 

宿泊：マロウドインターナショナルホテル成田  
286-0121 千葉県成田駒井野763-1  
電話 0476-30-2222 FAX 0476-32-9112

練習場コース：ダイナミックゴルフ成田  
289-2231 千葉県香取郡多古町飯笹1040  
電話 0479-75-0793 FAX 0479-75-0785
  3. 定員：40名
  4. 集合解散
    - (1) 集合 9月10日（月）午前9時 玉川校舎 305教場  
9月11日（火）午前11時 ダイナミックゴルフ成田
    - (2) 解散 9月14日（金）午後12時30分：予定 ダイナミックゴルフ成田
  5. 受講料：35,700（左記金額には、交通費は含まれない。）
  6. 納入期間 平成19年5月21日（月）～6月2日（土）  
証明書自動発行機（教務部ロビー設置）で受講料を納入後、納入書をスポーツ・健康科学部門（第2研究館9階資料室）に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
  7. 服装・用具
    - (1) 一般的なゴルフ服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要）
    - (2) ゴルフシューズ（ソフトスパイクに限る）は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。
    - (3) グローブは、必ず各自で用意すること。
    - (4) ゴルフクラブ・キャディーバッグは大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習（5日間）によって2単位が認められる。  
成績は講義・実技の出席状況講義・実技テスト実習参加態度等総合的に評価される。

科目名	生涯スポーツ演習II (シーズン基礎) (スキー・スノーボード) 生涯スポーツ演習II (シーズン応用) (スキー・スノーボード)	開講	シーズン	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 経B法B営B選				
担当者名	山口 良博 他				

講義のねらい

現在わが国において、スキーやスノーボードに代表されるスノースポーツは、国民に広く普及し「生涯スポーツ」として定着している。これらを楽しむ為、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーなどについて理解を深めていきたい。

実習はそれぞれの技術レベルに応じて班分けして実施する。コースの内容は以下の通りである。

- スキー・スノーボード基礎コース：雪面に慣れることから始まり、基礎的な滑走技術の習得を目指す。
- スキー・スノーボード応用コース：基礎コースを更に発展させ、安全で楽しくゲレンデを滑る技術の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション 1回目 4月7日(土) 12:20~12:40 2研-102教場  
2回目 4月14日(土) 12:20~12:40 2研-102教場  
※ 本オリエンテーションにて、種目決定と受講許可書発行を行います。  
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
2. 事前授業 1月9日(水) 13:00~16:00 2研-102教場「スノースポーツの基礎知識」
3. 実習内容および現地講義
  - 1日目 1月29日(火)  
午後、現地ホテルロビー集合  
午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの基礎技術解説および安全・マナー」
  - 2日目 1月30日(水)  
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの応用技術解説」
  - 3日目 1月31日(木)  
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツと環境」
  - 4日目 2月1日(金)  
午前・午後：班別実習および全体講義「本実習の反省とまとめ」
  - 5日目 2月2日(土)  
午前・午後：班別実習 午後、現地解散の予定

履修上の留意点

本講座は、生涯スポーツ演習IIシーズン・基礎/応用ですが、履修する場合は、スキーまたはスノーボードのどちらかの種目とします。また、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。

- 1) 実習日程：平成20年1月29日(火)~2月2日(土)の4泊5日(現地集合解散予定)
- 2) 場 所：実習 安比高原スキー場  
宿泊・現地講義 安比グラウンド 電話(0195)73-5019
- 3) 定 員：スキー 20名  
スノーボード 30名(但し、初心者に限る)
- 4) 受講料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。  
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書をスポーツ・健康科学部門(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。  
納入期間：平成19年5月21日(月)~6月2日(土)
- 5) 用 具：用具は現地レンタル可能(有料)。
- 6) 特記事項：卒業年次生が履修する場合は日程などに注意すること。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びに技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急にスポーツ・健康科学部門(第2研究館9階資料室)に連絡すること。なお、参加費は返却されないことがある。

科目名	生涯スポーツ実習（集中前期・基礎）（テニス） 生涯スポーツ実習（集中前期・応用）（テニス）	開講	集中授業	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	江口 淳一 <small>えぐち じゅんいち</small>				

## 講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで色々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。

本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サーブ、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって、生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通して、その価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、スポーツを自律的に生活化する態度を養うことを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通した人間関係を広げ深めることの楽しさを知る。

（基礎）…初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

（応用）…エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながら High で Full にテニスと関わる態度を養う。

## 講義の内容・授業スケジュール

- 1日目午前：ラケットティング、フォアハンド・バックハンドグラウンドストロークの基本技術
- 1日目午後：ミニラリー、ラリーを楽しむ
- 2日目午前：フォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ、ストロークの応用
- 2日目午後：ラリーの応用とミニゲーム
- 3日目午前：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）
- 3日目午後： " " （戦術と応用）
- 4日目午前：ダブルスのルールとポジショニング
- 4日目午後：ダブルスのゲームを楽しむ
- 5日目午前：トーナメント形式の試合
- 5日目午後：まとめ

## 履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズを必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

## 成績評価の方法

出席状況（出欠は午前午後の二回確認する。）、授業参加態度から総合的に判断する。

## そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：7月17日（火）～21日（土）  
7月17日更衣の上、午前10時にテニスコート集合
- (2) 実施時間：午前10：00～12：00  
午後13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート
- (4) 定 員：40名とする。
- (5) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。

科目名	生涯スポーツ実習（集中後期・基礎）（ゴルフ） 生涯スポーツ実習（集中後期・応用）（ゴルフ）	開講	集中授業	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	三幣 晴三				

## 講義のねらい

ゴルフは、今や国民的スポーツになりつつある。初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象として実施する。

本講義は、ゴルフの技術的な上達を主たるねらいとするが、プレイヤーとしてのマナーやエチケット、さらに受講生同士とのコミュニケーションも重要なねらいである。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良い人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

## 講義の内容・授業スケジュール

- 1日目実技：打撃練習（グリップ・アドレス・スイングの基本練習）  
講義：スイングの基本
- 2日目実技：打撃練習（9I、7I・アプローチ練習）  
講義：マナーとエチケット
- 3日目実技：打撃練習（7I、5I、1W・パッティング練習）  
講義：ゴルフルール
- 4日目実技：打撃練習（PW、7I・アプローチ練習・パッティング練習）  
講義：ゴルフコースとラウンドについて
- 5日目実技：打撃練習（総合的打撃練習）

## 履修上の留意点

- (1) 服装：一般的な運動服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によっては必要）
- (2) グローブ（ゴルフ用グローブに限る）は、必ず各自で用意すること。

## 成績評価の方法

出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

## その他

- (1) 実施期間：1月5日（土）～9日（水）  
1月5日午前10時に玉川校舎集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00  
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川校舎グラウンド
- (4) 費用：受講者の上達度によっては、民間の練習場を利用する予定である。この場合ボール代として、1,000円程度必要である。
- (5) 定員：40名
- (6) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。

科目名	健康・スポーツ論 1	開講	半期	単位	2
配当	営A1選				
担当者名	みゆき はるみ 三幣 晴三				

講義のねらい

健康は、人間が生きていく上で最も基本的な前提条件である。本講義は「健康」についての一般的な概念を検証し、現代社会で必要な「生き生きした」心と身体を作り上げるための、基本的な取り組み方を提示する。  
さらにスポーツについては、専門的な立場ではなく、スポーツから学べるさまざまな事例を取り上げて解説する。

講義の内容・授業スケジュール

1時限目：授業の進め方の説明（オリエンテーション）  
2時限目：健康とは何かI  
3時限目： // II  
4時限目： // III  
5時限目：健康概念の変遷I  
6時限目： // II  
7時限目：健康ブームの真実I  
8時限目： // II  
9時限目：今必要な健康についての具体的考え方と実践I  
10時限目： // II  
11時限目：スポーツとは何かI  
12時限目： // II  
13時限目：スポーツから学ぶものI  
14時限目： // II  
15時限目：まとめと評価

履修上の留意点

毎時限配布するプリントを中心に授業を進める。

成績評価の方法

出席を重視するが、不定期に実施する小テストの成績も重視する。

教科書

特になし。

参考書等

授業を進めていく中で、さまざまな参考書を提示する。

その他

講義形式を基本とし、必要に応じてビデオや実技も加える。



科目名	健康・スポーツ論 1	開講	半期	単位	2
配当	営A1選				
担当者名	みづなが よしてる 光永 吉輝				

講義のねらい

健康と長寿を願う心は、太古の昔より人類普遍の願望であるが、日常生活においては自分が現在健康である事を意識して行動している人は少ないのではないだろうか、病気やけがを始めてはじめて健康の重要性を知るのではなく、常日頃から健康を意識し健康に関心の目を向けることが必要である。

文明先進国における疾病や運動不足に起因するさまざまな健康阻害を、スポーツ医学の面から人体を運動器としてとらえ、骨格、筋肉、靭帯を中心に、頭部、体幹、手、足と各部の身体的特長や、その欠点とスポーツ障害について講義する。

自己や他人の生命そして健康は何物にもまして大切なものである事の理解を深める事を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：講義の概要説明
- 2 時限目：骨格と障害 1) 頭蓋
- 3 時限目： " 2) 体幹
- 4 時限目： " 3) 体幹
- 5 時限目： " 4) 下肢
- 6 時限目： " 5) 下肢
- 7 時限目： " 6) 上肢
- 8 時限目：身体運動と健康
- 9 時限目：運動不足の害
- 10 時限目：運動の効果・骨と健康
- 11 時限目：トレーニング論 1)
- 12 時限目：トレーニング論 2)
- 13 時限目：運動と栄養
- 14 時限目：健康管理
- 15 時限目：まとめ

成績評価の方法

出席および筆記試験によって行なう。またレポートなど提出物によって試験に変える場合もある。

教科書

『保健体育概論』（カッサ出版部）  
教科書は指定するが、必ずしも教科書に沿って講義を進めるわけではない。

参考書等

医学面の人体解剖図などその他必要な資料は、こちらで配布する。

科目名	健康・スポーツ論 2	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	大石 武士 <small>おおいし たけし</small>				

講義のねらい

生涯を通じての健康や体力・身体運動の効果、体育・スポーツの概念やエイズ問題にふれていき、スポーツ・レクリエーション時や日常生活において、我々はいつどこで、どのような急病や傷害に出会うかもしれない。このような時、救急車が来るまでにしなければならない処置、とっさの処置が生命の別れ目になる。また、小さい怪我でも最初の手当が悪ければ経過が長引く。救命救急のための知識や技術を身につける事によって、病人や怪我人の生命、病气や怪我の経過に大きな差が生じてくる。このことをよく理解し、主な病气・傷害に対する救急処置法について講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：講義内容の説明
- 2 時限目：体育の概念
- 3 時限目：身体運動と体育運動
- 4 時限目：健康の概念、身体運動の効果
- 5 時限目：人体構造の概略、エイズ問題
- 6 時限目：救急処置の目的、一次救命処置
- 7 時限目：一次救命処置
- 8 時限目：一次救命処置実習
- 9 時限目：出血多量、ショック
- 10 時限目：熱中症、やけど（熱傷）、凍傷
- 11 時限目：R・I・C・E処置、創傷、創傷のない障害
- 12 時限目：挫滅傷、打撲、刺し傷
- 13 時限目：中毒、鼻出血、咬傷、虫や毒魚
- 14 時限目：体力について
- 15 時限目：テスト

成績評価の方法

出席・実習および学期末試験で評価する。

参考書等

- 1 駒澤大学保健体育部編『保健体育概論』（カヅサ出版）1,700円
- 2 『最新図解救命救急－応急手当の手引き－』（小学館）700円

その他

救急処置法については、心肺蘇生訓練用マネキンを使った実習や、ビデオを交えながら講義を展開していく。

科目名	健康・スポーツ論 2	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	三幣 晴三				

講義のねらい

健康は、人間が生きて何かを実現していく上で最も重要な基本的前提条件である。本講義は、医学的見地からの健康を論じるだけでなく、人間が生きがいを持って生きる上で身体的・精神的健康を獲得するための実践的条件を検証するものである。

スポーツは過去から現代まで人類が営々と築きあげてきた文化である。スポーツは実践だけでなく、観ることやマスコミからの多くのインフォメーションによってわれわれ現代人にさまざまな影響を及ぼしている。スポーツを狭い領域からだけ論じるのではなく、我々が生き生きと生きるために必要な情報としてのスポーツの価値を論じるものである。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：健康とは何かI
- 3 時限目：同 II
- 4 時限目：同 III
- 5 時限目：同 IV
- 6 時限目：同 V
- 7 時限目：ストレスとは何かI
- 8 時限目：同 II
- 9 時限目：スポーツ論I
- 10 時限目：同 II
- 11 時限目：同 III
- 12 時限目：同 IV
- 13 時限目：同 V
- 14 時限目：健康のまとめ
- 15 時限目：スポーツ論のまとめ

履修上の留意点

毎時限配布するプリントを重視して進める。

成績評価の方法

出席・欠席を特に重視する。また、授業中に行われる小テストの成績も重要である。

教科書

特に指定するものはない。

科目名	健康・スポーツ論 2	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	むらまつ まこと 村松 誠				

講義のねらい

現代は健康の時代の不健康な時代といわれる。健康に関する情報は、マスコミにあふれている。健康情報が商品になる時代である。また、民間療法による健康法も数多く存在している。このような状況の中で、しっかりとした健康観を持つことは、適切な選択をするために大切なこととなる。そして、学生時代は人生の中で最も健康な時期といわれるが、現代の健康問題とされる生活習慣病は、この年代より始まると言われている。このような認識のもとに、現代における健康問題も話題に取り上げながら、生涯にわたっての健康を考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：健康観の変遷
- 3 時限目：現代の健康観
- 4 時限目：健康の成立要因
- 5 時限目：健康の成立条件
- 6 時限目：病気の原因
- 7 時限目：疾病構造の変遷と病気の予防
- 8 時限目：現代の感染症
- 9 時限目：喫煙と健康
- 10 時限目：飲酒と健康
- 11 時限目：ストレスと健康
- 12 時限目：食べ物と健康
- 13 時限目：運動と健康
- 14 時限目：環境と健康
- 15 時限目：まとめ

成績評価の方法

数回のレポート、小テストなどを行い、これを加味して評価する。

教科書

特に指定はしない。参考図書についてはその都度提示する。

科目名	健康・スポーツ論 2	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	まきの しげる 牧野 茂				

講義のねらい

現代社会における健康の意義と認識を深めるとともに、ますます高齢化していく社会において、学生生活を含め生涯にわたって健康な生活を送るための基礎的な知識と、自己の健康管理能力を高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：目的と課題の把握 全体ガイダンス、アンケートとその解説
- 2 時限目：健康とは何か（1） 語源・定義・性格
- 3 時限目：健康とは何か（2）
- 4 時限目：健康とは何か（3）
- 5 時限目：恒常性と適応 ストレス学説
- 6 時限目：健康の成立条件 健康を規定する条件
- 7 時限目：健康の保持増進（1） 科学的研究、健康教育
- 8 時限目：健康の保持増進（2） 保健衛生サービス、健康の獲得
- 9 時限目：健康指標 WHOの総合健康指標
- 10 時限目：日常生活と健康（1） 運動・栄養・休養（1）
- 11 時限目：日常生活と健康（2） "・"・"・"（2）
- 12 時限目：日常生活と健康（3） 嗜好品と健康
- 13 時限目：感染症について（1） インフルエンザ、結核
- 14 時限目：感染症について（2） 性行為感染症
- 15 時限目：筆記試験

成績評価の方法

数回の小テストと学期末の筆記試験で評価する。

教科書

教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布するが、主として黒板を用いるので、出席し、ノートを整理しておくこと。

参考書等

「健康科学—知っておきたい予防医学—」（丸善）1,900円  
「ライフスタイルと健康の科学」（不昧堂出版）2,400円  
他は、講義のなかで紹介する。

科目名	余暇学	開講	半期	単位	2
担当	営A234選				
担当者名	あきた こういち 秋田 浩一				

講義のねらい

世界のサッカーをリードするヨーロッパ。特にオランダ、イタリア、ドイツ、イングランドの現状と将来について考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ヨーロッパサッカーの歴史
- 3 時限目：オランダサッカーの現状
- 4 時限目： " の考え方
- 5 時限目：イタリアサッカーの現状
- 6 時限目： " の将来
- 7 時限目：ドイツサッカーの現状
- 8 時限目： " の将来
- 9 時限目：イングランドサッカーについて
- 10 時限目：フランスサッカーについて
- 11 時限目：ヨーロッパのクラブの運営と組織について
- 12 時限目：東ヨーロッパ・トルコのサッカーについて
- 13 時限目：オランダサッカーの実習
- 14 時限目：イタリア "
- 15 時限目：まとめ レポート提出

履修上の留意点

講義は教室で、実習は主として第1体育館で実施する。用具等はすべて貸与する。実習時は運動着、体育館用シューズを用意。

成績評価の方法

平素の学習態度とレポート提出および授業内の小テストで成績評価を行う。

参考書等

不要。

科目名	余暇学	開講	半期	単位	2
配当	営A234選				
担当者名	<small>たなか よしたか</small> 田中 佳孝				

#### 講義のねらい

「余暇」が勤労の付け足しとして扱われた時代から一つの生活のテーマとして見直され始めた現在、真の自由時間としての余暇の本質を探り、種々の生涯スポーツと自然の中での様々な遊びの知識を学び、将来の個々の余暇生活を考える。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2 時限目：余暇学とは
- 3 時限目：日本の社会と余暇の歴史
- 4 時限目：これからの余暇
- 5 時限目：Jリーグの運営について
- 6 時限目：ダイエットのウソ・ホント
- 7 時限目：春の里山遊び
- 8 時限目：秋の里山遊び
- 9 時限目：キノコ狩り
- 10 時限目：和式蚊鉤釣法（テンカラ）と西洋毛鉤釣り（フライフィッシング）
- 11 時限目：冬のアウトドアスポーツ
- 12 時限目：グループ・プレゼンテーション
- 13 時限目：グループ・プレゼンテーション
- 14 時限目：テスト

#### 履修上の留意点

1. 遅刻は認めない。
2. 授業中の携帯電話の使用は厳禁。違反者は不合格とする。

#### 成績評価の方法

2/3以上の出席をした者に対し、レポート提出（2回）とテスト（最終週）により、評価を行なう。出席回数が不足した者は不合格とする。

## Ⅱ. 専門教育科目

経営学科フレックスA



## II. 専門教育科目

- ・『授業時間表』の区分「B」の科目を履修する場合は、フレックスBの専門教育科目のページを参照してください。(P.707)
- ・科目名の前に※印が付いている科目はフレックスA生の科目ですが、フレックスB時間帯に開講しています。フレックスBの専門教育科目のページを参照してください。
- ・配当学科  
 経営学科フレックスA…営A                      経営学科フレックスB…営B

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
経済学概説	営A1必	通年	4	永田 智則	399
簿記学	営A1必	通年	4	小田 幹雄	400
簿記学	営A1必	通年	4	岸田 隆行	401
簿記学	営A1必	通年	4	岩渕 昭子	402
簿記学	営A1必	通年	4	水野 恵子	403
簿記学	営A1必	通年	4	田辺 正	404
簿記学	営A1必	通年	4	大野 満奈	405
経営学	営A1必	通年	4	宮城 徹	406
会計学	営A1必	通年	4	猿山 義広	407
経済原論	営A2選必	通年	4	明石 博行	408
近代経済学	営A2選必	通年	4	滝田 公一	409
経営科学概論	営A2選必	通年	4	長 国強	410
経営数学	営A1234選 営B1234選	通年	4	飯田 哲夫	411
情報処理基礎	営A1234選	半期	2	河内谷 幸子	412
情報処理基礎	営A1234選	半期	2	地引 昌弘	413
情報処理基礎	営A1234選	半期	2	加藤 武信	414
情報処理基礎	営A1234選	半期	2	遠山 正朗	415
情報処理基礎	営A1234選	半期	2	依田 聖	416
情報処理基礎	営A1234選	半期	2	桃塚 薫	416
情報処理基礎	営A1234選	半期	2	村上 友佳子	417
情報処理応用I	営A1234選	半期	2	桃塚 薫	418
情報処理応用I	営A1234選	半期	2	遠山 正朗	419
情報処理応用I	営A1234選	半期	2	河内谷 幸子	420
情報処理応用I	営A1234選	半期	2	地引 昌弘	421
情報処理応用I	営A1234選	半期	2	加藤 武信	422
情報処理応用I	営A1234選	半期	2	村上 友佳子	423
情報処理応用I	営A1234選	半期	2	依田 聖	424
演習I	営A2選	通年	4	阿部 一人	424
演習I	営A2選	通年	4	飯田 哲夫	425
演習I	営A2選	通年	4	小沢 利久	425
演習I	営A2選	通年	4	鹿嶋 秀晃	426
演習I	営A2選	通年	4	片桐 伸夫	427
演習I	営A2選	通年	4	兼村 栄哲	428

演習I	営A2選	通年	4	岸田 隆行	429
演習I	営A2選	通年	4	高木 克己	429
演習I	営A2選	通年	4	滝田 公一	430
演習I	営A2選	通年	4	中村 公一	430
演習I	営A2選	通年	4	永田 智則	431
演習I	営A2選	通年	4	長 国強	431
演習I	営A2選	通年	4	西村 和夫	432
演習I	営A2選	通年	4	羽鳥 茂	433
演習I	営A2選	通年	4	羽田 尚子	433
演習I	営A2選	通年	4	日野 健太	434
演習I	営A2選	通年	4	藤原 篤志	435
演習I	営A2選	通年	4	宮城 徹	436
演習I	営A2選	通年	4	山田 純平	436
演習I	営A2選	通年	4	山田 勝	437
経営学史	営A234選 営B234選	通年	4	中川 淳平	437
アメリカ経営学				休講	
ドイツ経営学	営A234選 営B234選	通年	4	高橋 成夫	438
経営管理論	営A234選 営B234選	通年	4	鈴木 幸毅	439
経営組織論	営A234選 営B234選	通年	4	日野 健太	440
経営労務論	営A234選 営B234選	通年	4	鹿嶋 秀晃	441
生産管理論	営A234選 営B234選	通年	4	藤原 篤志	442
マーケティング論	営A234選 営B234選	通年	4	兼村 栄哲	443
経営財務論	営A234選 営B234選	通年	4	高田 光明	444
国際経営論				休講	
経営戦略論	営A234選 営B234選	通年	4	中村 公一	445
現代企業論				休講	
ベンチャー企業論	営A234選 営B234選	通年	4	許 伸江	446
公益企業論				休講	
環境経営論	営A234選 営B234選	通年	4	川村 雅彦	446
経営史	営A234選 営B234選	通年	4	前田 和利	447
日本経営史	営A234選 営B234選	通年	4	大島 久幸	448
商業史	営A234選 営B234選	通年	4	山田 勝	449

保険経営論	営A234選	通年	4	石名坂 邦昭	450
	営B234選				
銀行経営論	営A234選	通年	4	服部 昌久	451
	営B234選				
商業経営論	営A234選	通年	4	石川 和男	452
	営B234選				
上級簿記	営A234選	通年	4	田辺 正	453
	営B234選				
財務会計論	営A234選	通年	4	渡邊 恵一郎	454
	営B234選				
管理会計論				休講	
会計監査論	営A234選	通年	4	阿部 一人	455
	営B234選				
原価計算論	営A234選	通年	4	岸田 隆行	456
	営B234選				
税務会計論	営A234選	通年	4	高木 克己	457
	営B234選				
経営分析論	営A234選	通年	4	片桐 伸夫	458
	営B234選				
国際会計論	営A234選	通年	4	山田 純平	459
	営B234選				
情報会計論				休講	
経済政策	営A234選	通年	4	三好 向洋	459
	営B234選				
財政学	営A234選	通年	4	速水 昇	460
	営B234選				
金融論	営A234選	通年	4	渡部 訓	461
	営B234選				
国際経済論				休講	
日本経済論	営A234選	通年	4	羽鳥 茂	462
	営B234選				
証券市場論	営A234選	通年	4	佐藤 昇	463
	営B234選				
計量経済学	営A234選	通年	4	呉 逸良	464
	営B234選				
イノベーション論	営A234選	通年	4	羽田 尚子	465
	営B234選				
日本経済史	営A234選	通年	4	渡辺 新	466
	営B234選				
情報処理応用II	営A234選	半期	2	小沢 利久	467
情報処理応用II	営A234選	半期	2	宇谷 明秀	468
情報処理応用III	営A234選	半期	2	小沢 利久	469
情報処理応用III	営A234選	半期	2	宇谷 明秀	470
情報理論	営A234選	通年	4	西村 和夫	471
	営B234選				
経営科学	営A234選	通年	4	小沢 利久	472
	営B234選				

経営情報論	営A234選	通年	4	岩淵 匠	473
	営B234選				
システム論	営A234選	通年	4	宇谷 明秀	474
	営B234選				
統計原論	営A234選	通年	4	山内 慎二	475
	営B234選				
経営統計	営A234選	通年	4	長 国強	476
	営B234選				
民法I (総則・物権法)	営A234選	通年	4	須賀 昭徳	477
商法I (総則・会社法)	営A234選	通年	4	重田 麻紀子	478
労働法	営A234選	通年	4	藤本 茂	479
	営B234選				
税法	営A234選	通年	4	奥村 正郎	480
	営B234選				
演習II	営A3選	通年	4	明石 博行	481
演習II	営A3選	通年	4	阿部 一人	481
演習II	営A3選	通年	4	飯田 哲夫	482
演習II	営A3選	通年	4	石名坂 邦昭	482
演習II	営A3選	通年	4	岩淵 匠	483
演習II	営A3選	通年	4	小沢 利久	484
演習II	営A3選	通年	4	鹿嶋 秀晃	485
演習II	営A3選	通年	4	片桐 伸夫	486
演習II	営A3選	通年	4	兼村 栄哲	487
演習II	営A3選	通年	4	岸田 隆行	488
演習II	営A3選	通年	4	猿山 義広	489
演習II	営A3選	通年	4	高田 光明	490
演習II	営A3選	通年	4	高木 克己	490
演習II	営A3選	通年	4	滝田 公一	491
演習II	営A3選	通年	4	中川 淳平	491
演習II	営A3選	通年	4	中村 公一	492
演習II	営A3選	通年	4	永田 智則	493
演習II	営A3選	通年	4	長 国強	493
演習II	営A3選	通年	4	西村 和夫	494
演習II	営A3選	通年	4	羽鳥 茂	495
演習II	営A3選	通年	4	羽田 尚子	495
演習II	営A3選	通年	4	日野 健太	496
演習II	営A3選	通年	4	藤原 篤志	497
演習II	営A3選	通年	4	前田 和利	498
演習II	営A3選	通年	4	宮城 徹	498
演習II	営A3選	通年	4	山田 純平	499
演習II	営A3選	通年	4	山田 勝	499
民法II (債権法)	営A34選	通年	4	上井 長久	500
商法II (商行為、手形・小切手法)	営A34選	通年	4	中濱 義章	501
外書講読 (英書)	営A34選	通年	4	高田 光明	502
外書講読 (英書)	営A34選	通年	4	前田 和利	502

外書講読（独書）	営A34選 営B34選	通年	4	柴野 博子	503
外書講読（仏書）	営A34選 営B34選	通年	4	遠山 博雄	503
外書講読（中国書）	営A34選 営B34選	通年	4	宮本 厚子	504
外書講読（スペイン書）	営A34選 営B34選	通年	4	上野 勝広	504
外書講読（ロシア書）	営A34選 営B34選	通年	4	佐藤 和子 杉山 秀子	505
ビジネス英語	営A34選 営B34選	通年	4	杉山 泰彦	505
特殊講義（前期）				休講	
特殊講義（後期）	営A34選 営B34選	半期	2	斉藤 正	506
演習III	営A4選	通年	4	明石 博行	507
演習III	営A4選	通年	4	阿部 一人	507
演習III	営A4選	通年	4	飯田 哲夫	508
演習III	営A4選	通年	4	飯田 哲夫	508
演習III	営A4選	通年	4	石名坂 邦昭	509
演習III	営A4選	通年	4	小沢 利久	509
演習III	営A4選	通年	4	各務 洋子	510
演習III	営A4選	通年	4	鹿嶋 秀晃	511
演習III	営A4選	通年	4	片桐 伸夫	512
演習III	営A4選	通年	4	兼村 栄哲	513
演習III	営A4選	通年	4	岸田 隆行	513
演習III	営A4選	通年	4	猿山 義広	514
演習III	営A4選	通年	4	鈴木 幸毅	515
演習III	営A4選	通年	4	高田 光明	515
演習III	営A4選	通年	4	高木 克己	516
演習III	営A4選	通年	4	滝田 公一	516
演習III	営A4選	通年	4	中村 公一	517
演習III	営A4選	通年	4	中川 淳平	518
演習III	営A4選	通年	4	永田 智則	518
演習III	営A4選	通年	4	長 国強	519
演習III	営A4選	通年	4	西村 和夫	519
演習III	営A4選	通年	4	羽鳥 茂	520
演習III	営A4選	通年	4	羽田 尚子	520
演習III	営A4選	通年	4	日野 健太	521
演習III	営A4選	通年	4	藤原 篤志	521
演習III	営A4選	通年	4	前田 和利	522
演習III	営A4選	通年	4	宮城 徹	522
演習III	営A4選	通年	4	山田 勝	523
演習III	営A4選	通年	4	山田 純平	523
演習III	営A4選	通年	4	渡邊 恵一郎	524

科目名	経済学概説	開講	通年	単位	4
配当	営A1必				
担当者名	ながた ともりの 永田 智則				

#### 講義のねらい

本講義では、経済学の基礎理論の修得を目指します。ミクロ経済学やマクロ経済学の基本的な概念や考え方を学習して、私たちの身近な経済問題を自ら解明するのに役立つように、「経済学の考え方」を身に付けることを意図しています。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. 経済学の課題、2. 消費者の行動、3. 生産者の行動、4. 市場機構、
5. 独占価格の決定、6. 国民所得、7. 国民所得の決定、8. 乗数理論と財政政策、
9. 金融政策、10. 景気循環、11. 経済成長

#### 履修上の留意点

授業中は他の受講生に迷惑が及ばないように、私語を謹み、携帯電話の電源を切るなど全員が授業に集中できるように心がけて下さい。授業内容で不明な点や疑問点があれば遠慮なく質問して下さい。

#### 成績評価の方法

成績評価は、学年末の定期試験にウエイトをおきますが、授業への出席も重視し、年度途中に検討課題も課しますので、総合的な評価になります。

#### 教科書

下記の書物と、授業中に配布するプリントを併用します。  
幸村千佳良著 『経済学事始』 多賀出版 2700円

#### 参考書等

- ① N. グレゴリー・マンキュー著、足立他訳  
『マンキュー経済学』（ミクロ編、マクロ編） 東洋経済新報社
- ② ジョセフ・E・スティグリッツ／カール・E・ウォルシュ著、藪下他訳  
『スティグリッツ入門経済学』 東洋経済新報社
- ③ 伊藤元重著 『入門経済学』 日本評論社

科目名	簿記学	開講	通年	単位	4
配当	営A1必				
担当者名	小田 <small>みきお</small> 幹雄				

講義のねらい

簿記を初めて学ぶ学生のために設けられた基礎知識を理解してもらうクラスです。簿記は日常の経済活動の状態を数値的に把握し、記録するための大切な手段であるので、本講座では「簿記とはどのようなものか」ということを認識してもらうために、プリントや練習問題により、簿記学習の基礎である資産・負債・資本の概念、収益・費用の意味について理解してもらいたい。また、勘定科目の意味を理解し、簿記一連の流れである仕訳・転記・試算表・決算修正・決算等についての基本的問題について正確に理解してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容は次のようになります。

- I 複式簿記の原理：複式簿記の計算構造・簿記一巡の手順
- II 期中取引の処理：現金預金、商品売買、売掛金・買掛金、受取手形・支払手形
- III 決算に必要な処理：決算修正仕訳・残高試算表の作成など
- IV 帳簿処理の合理化：伝票制度、(コンピューター簿記)

履修上の留意点

簿記の学習は「自分自身がペンと電卓をもって練習問題を数多く解くこと以外にはない」との私の教育方針から、練習問題を解かせるし、テストや宿題を出すこともある。テスト用紙は必ず提出すること。出欠席のチェックは毎回行う。

成績評価の方法

講義時のテストおよび、宿題の点数を合計し、更に、定期試験の点を加算し、再び平均点を出して評価する。そのため、講義中のテストや宿題の未提出者は当然平均点が下がることになるから注意をすること。

教科書

羽瀨信宏監修『簿記テキスト—商業簿記—初級編』（共栄出版）2,000円程度  
中村義彦編著『基本簿記演習』（プレスウェーブ）1,524円＋税

科目名	簿記学	開講	通年	単位	4
配当	営A1必				
担当者名	岸田 隆行 <small>きしだ たかゆき</small>				

### 講義のねらい

複式簿記は企業の言語といわれ、企業を理解するためには簿記の知識は必須である。簿記の知識は今後、企業経営を学んでいくための基礎となるものである。

本講義では、日本商工会議所簿記検定3級程度の知識習得を目安として、簿記の一連の手続を理解することを目的とする。

### 講義の内容・授業スケジュール

#### 前期

- ① 企業経営と会計
- ② 複式簿記の基礎概念
- ③ 簿記上の取引と仕訳
- ④ 総勘定元帳と転記
- ⑤ 簿記一巡の手続
- ⑥ 現金
- ⑦ 当座預金
- ⑧ 商品売買（1）
- ⑨ 商品売買（2）
- ⑩ 仕入帳・売上帳・商品有高帳
- ⑪ 売掛金・買掛金
- ⑫ 中間テスト

#### 後期

- ① その他の債権債務
- ② 手形
- ③ 有価証券
- ④ 有形固定資産
- ⑤ 資本金・税金
- ⑥ 費用・収益の見越し・繰延べ
- ⑦ 伝票会計
- ⑧ 試算表
- ⑨ 決算整理（1）
- ⑩ 決算整理（2）
- ⑪ 精算表
- ⑫ 財務諸表の作成

### 履修上の留意点

簿記は講義を聴き、それぞれの取引に対する知識を身につけることはもちろんのこと、自らの手で実際に計算・仕訳を行うことによって初めて身につけることができる。そのため、講義では小テストを随時行いながら、知識の定着をはかる。したがって、講義に出席するにあたっては、必ず電卓を持参すること。

### 成績評価の方法

前期最終回の中間テスト30点、年度末の定期試験70点に、講義中に随時行う小テストの結果を加味して評価を行う。

### 教科書

加古宜士・渡部裕亘編著『新検定簿記講義3級商業簿記』



科目名	簿記学	開講	通年	単位	4
配当	営A1必				
担当者名	岩瀨 <small>いわばち</small> 昭子 <small>しやうこ</small>				

#### 講義のねらい

簿記とは、組織（主に企業）の経営活動を貨幣価値的に把握し、一定の記帳原理によって記録・計算・整理する方法です。今日では中小企業企業でもパソコンで会計処理を行っていますが、その基本は複式簿記にあります。前期では、勘定各論を中心に、後期は、個人企業の決算手続きと財務諸表の作成までを学習します。

#### 講義の内容・授業スケジュール

簿記は「手で考える学問」です。設例を実際に解くことが理解を早く深めます。講義の内容は次のとおりです。

- ① 簿記の基礎
- ② 商品売買の処理
- ③ 現金預金取引の処理
- ④ 手形取引の処理
- ⑤ 有価証券と固定資産の処理
- ⑥ その他の債権債務
- ⑦ 試算表の作成
- ⑧ 決算
- ⑨ 財務諸表の作成
- ⑩ 帳簿組織と伝票

#### 履修上の留意点

簿記の学習は、記帳のルールを覚えるだけでなく、ペンと電卓を片手に反復学習によって修得することができます。可能な限り出席を心掛けて、経営学部<sub>の</sub>学生にとって重要な基礎的専門学問の一つである簿記学を身につけられることを期待いたします。

#### 成績評価の方法

前期と後期の試験に平常点（出席・課題・小テスト）を加味して、総合評価により行います。

#### 教科書

大橋信定編著『四訂版 簿記基礎講座』（創成社）1,500円＋税

#### 参考書等

必要に応じて紹介します。

科目名	簿記学	開講	通年	単位	4
配当	営A1必				
担当者名	みずの けいこ 水野 恵子				

#### 講義のねらい

初めて簿記を学ぶ学生を対象に、簿記の基本原則を解説する「簿記入門」の授業です。この講義では、簿記検定3級程度の知識の習得を目的とします。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義の内容はつぎのようになります。

- |               |                 |
|---------------|-----------------|
| 1. 簿記を学ぶにあたって | 1. 現金・預金        |
| 2. 簿記上の取引と勘定  | 2. 仕入・売上        |
| 3. 取引の仕訳      | 3. 手形           |
| 4. 勘定への転記     | 4. 債権・債務        |
| 5. 試算表の作成     | 5. 有価証券         |
| 6. 精算表の作成     | 6. 固定資産         |
| 7. 決算手続       | 7. 資本金          |
|               | 8. 貸倒償却費の計算     |
|               | 9. 減価償却費の計算     |
|               | 10. 収益と費用の見越・繰延 |
|               | 11. 8けた精算表の作成   |

#### 履修上の留意点

簿記の学習には、授業の復習は不可欠です。練習問題を多く解くことで力がつきます。一步一步の努力が検定合格には重要です。授業中の私語は厳禁。

#### 成績評価の方法

前期と後期の定期試験のほか、講義の際の小テストの点数、出席状況などを総合して評価します。

#### 教科書

- 『日商簿記検定テキスト三丁版3級』城戸宏之著  
実教出版 1,700円 ISBN4-407-01975-1  
『日商簿記検定テキスト基本問題集三丁版3級』  
実教出版 650円 ISBN4-407-04623-6

#### その他

必要に応じレジュメを配布します。

科目名	簿記学	開講	通年	単位	4
配当	営A1必				
担当者名	田辺 正 <small>たなべ ただし</small>				

#### 講義のねらい

この講義は簿記をはじめて学習する学生を対象とし、通年で日商簿記検定3級程度の知識を身につけることを目的としています。

簿記とは日常の経営活動を帳簿に記録、計算、整理して企業の財政状態及び経営成績を的確に把握する技術です。この技術によって、企業の経営管理及び経営計画が可能となります。よって、経営者及び利害関係者にとって、簿記は必要不可欠な技術であると考えられます。問題意識をもって積極的な姿勢で受講することを強く望みます。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. 簿記の基礎概念
2. 簿記一巡
3. 現金預金取引
4. 小口現金
5. 商品売買取引
6. その他の債権債務
7. 手形取引
8. 有価証券
9. 固定資産
10. 資本
11. 決算

#### 履修上の留意点

必ず電卓を用意してきてください。

#### 成績評価の方法

出席、小テスト及び期末テストによって総合的に評価します。

#### 教科書

成川正晃、中村壽男著『解いて合格！日商簿記検定3級』早稲田教育出版

#### 参考書等

染谷恭次郎、新井清光、岡本清監修『新検定簿記講義3級 商業簿記』中央経済社

#### その他

是非、日商簿記検定3級を目指してみてください。教科書は問題中心のものを使用しますが、各項目ごとに出来るだけ丁寧に説明していきます。ただ、テキストも購入して勉強していただければ、より効率があがると思われます。市販されているテキストで自分にあうものを購入してください。

科目名	簿記学	開講	通年	単位	4
配当	営A1必				
担当者名	大野 <small>おのの</small> 満奈 <small>まんな</small>				

### 講義のねらい

簿記は会計学の基本であり、複式簿記の計算構造は、会計学のどの分野を学ぶにしても前提的に理解されることが必要である。この意味において、簿記の基本原則を理解し、経営学部に学ぶ者が最低必要とされる簿記知識を修得することを目的とする。

### 講義の内容・授業スケジュール

#### 前 期

1. 簿記・会計の意義と目的
2. 企業の財政状態—貸借対照表
3. 企業の経営成績—損益計算書
4. 取引と仕訳
5. 勘定記入と元帳の締め切り
6. 帳簿・伝票・証ひょう
7. 試算表の作成（1）
8. 精算表の作成（1）
9. 現金・預金
10. 小口現金
11. 商品売買の処理と仕入帳・売上帳
12. 総合復習
13. 総合復習

#### 後 期

1. 商品有高帳
2. 売掛金・買掛金と人名勘定
3. 有形固定資産の取得と売却
4. 資本金と引出金
5. 試算表の作成（2）
6. 売上原価の計算と決算仕訳
7. 貸し倒れの見積りと減価償却
8. 精算表の作成（2）
9. 有価証券
10. 手形取引
11. 費用・収益の見越しと繰り延べ
12. 精算表の作成（3）
13. 総合復習

### 履修上の留意点

簿記は自分で練習問題を解き、照合することによって初めて修得できるものであるから、原則として毎回出席して要点を理解し、自宅では毎回の復習に心掛けること。また、疑問点は、積極的に質問することによって早期に解決しておくこと。

### 成績評価の方法

試験の点数・出席回数・提出物の三点をもって総合的に評価する。

### 教科書

『要点整理 日商簿記検定練習問題集』3級（一橋出版）

科目名	経営学	開講	通年	単位	4
配当	営A1必				
担当者名	みやぎ てつ 宮城 徹				

#### 講義のねらい

経営学、経営経済学という用語は英語圏の Business Administration、ドイツ語圏の Betriebswirtschaftslehre の訳語であり、企業を認識対象として選択することによって立場を明らかにしている。今日の新しい経営学、とりわけ、経営経済学は組織の経済理論（プロパティ・ライツ理論、取引コスト理論、プリンシパル－エージェント理論）を基礎としてもものすごい勢いで展開されている。

テキストのタイトルは「新制度派経済学による組織入門」と題されているが、上述の立場に立って作られている最新の経営学の教科書である。

この講義では、主として、下記の授業計画の要目について検討する。その際、日本の企業との関連についても検討を加える。

#### 講義の内容・授業スケジュール

##### <2007年度『経営学』授業計画>

- 1 経営学とは何か
- 2 アメリカ経営学とドイツ経営経済学の小史
- 3 企業制度
- 4 プロパティ・ライツ理論
- 5 取引コスト理論
- 6 プリンシパル－エージェント理論
- 7 契約の理論
- 8 企業間関係、カルテル、ライセンス供与、ジョイント・ベンチャー、コンソーシアム、資本参加、フランチャイズ、系列
- 9 個人企業、株式会社、公企業
- 10 機能別組織、事業部制組織
- 11 リーン生産
- 12 モジュール
- 13 リオーガニゼーション・コスト

#### 履修上の留意点

テキストにそって講義し、要点を板書するが、受講生は口述を書き留める能力を磨く必要がある。

#### 成績評価の方法

期末筆記試験。なお、学生諸君の理解度と教育効果を確かめるために、期末試験以外に、小試験をおこない、その結果を評価の対象に加味することがある。

《期末試験の出題形式》

複数の問題から1題選択して論述する。詳細は試験前の授業で説明する。

#### 教科書

宮城徹（共訳書）『新制度派経済学による組織入門』（白桃書房）1999（A. Picot u. a., Organisation. Eine ökonomische Perspektive, Schaffer-Poeschel, 1997）

#### 参考書等

- 1 宮城徹『企業の政治理論序説』（税務経理協会）1997
- 2 宮城徹「企業制度とプロパティ・ライツ理論」『商学研究科紀要』（早大、第20号）1985
- 3 宮城徹「情報と企業経営の理論的諸問題」日本経営学会編『情報化の進展と企業経営』（千倉書房）1987
- 4 宮城徹「経営者論」鈴木英寿編著『経営学総論』（第2版）（成文堂）1998
- 5 宮城徹「経営学の歴史」藤芳誠一編著『新版・新時代の経営学』（学文社）1993
- 6 宮城徹「組織の経済理論の基礎構造」日本経営学会編『現代経営学の課題』（千倉書房）1997
- 7 宮城徹（単独訳書）『情報時代の企業管理の教科書—組織の経済理論の応用—』（税務経理協会）2005（A. Picot u. a., Die grenzenlose Unternehmung, Gabler, 1998）
- 8 宮城徹「企業文化と組織の経済理論」遠山正朗編著『ケースに学ぶ企業の文化』（敬愛大学学術叢書）（白桃書房）2003

科目名	会計学	開講	通年	単位	4
配当	営A1必				
担当者名	さるやま よしひろ 猿山 義広				

### 講義のねらい

この講義では、企業会計の理論的および制度的側面についての基礎知識を学ぶ（企業会計の技術的側面の基礎知識については、同じく1年次の必修科目である「簿記学」で学ぶことになる）。「会計学」は、「簿記学」とともに、「上級簿記」、「財務会計論」、「管理会計論」、「会計監査論」、「原価計算論」、「税務会計論」、「経営分析論」、および「国際会計論」といった会計学系列の専門教育科目の基礎となる科目である。2年次以降、こうした専門教育科目を履修する際に十分な理解が得られるよう、まずは1年間、意欲を持って「会計学」に取り組んでもらいたい。

### 講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 企業会計の基礎
- 第2回 企業会計の技術的側面
- 第3回 企業会計の理論的側面
- 第4回 企業会計の制度的側面
- 第5回 資産の意義・分類・評価
- 第6回 当座資産
- 第7回 棚卸資産
- 第8回 流動資産と流動負債
- 第9回 有形固定資産
- 第10回 無形固定資産・投資その他の資産・繰延資産
- 第11回 損益会計の意義と諸原則
- 第12回 営業収益
- 第13回 営業費用
- 第14回 営業外損益・特別損益・法人税等
- 第15回 負債の意義・分類・表示
- 第16回 負債性引当金
- 第17回 固定負債
- 第18回 資本の意義と分類
- 第19回 資本金
- 第20回 資本剰余金
- 第21回 利益剰余金
- 第22回 評価差額金と自己株式
- 第23回 財務諸表の意義と種類
- 第24回 財務諸表の作成方法
- 第25回 連結財務諸表
- 第26回 財務諸表の分析
- 第27回 まとめ

専門教育

### 履修上の留意点

会計とは、尽きるところ、計算表の作成術である。自ら手を動かして、計算表を作成してみなければ、ほとんど何も身につかない分野である。授業中多少困難を感じても、ある程度は従順に、こちらの指示通りに手を動かすことを心がけてほしい。

### 成績評価の方法

年間で5回から6回行うレポートまたは小テストを計20点満点、定期試験を80点満点として、合計100点満点で評価を行う。定期試験は電卓以外の持ち込みは一切不可なので、注意してほしい。ただし、中間試験および夏休み中のレポートなどは行わないので、安心して下さい。

### 教科書

新井清光著、加古宜士補訂『現代会計学』（中央経済社）。  
教科書に合わせてレポートの題目や定期試験の範囲を指定するので、かならず購入すること。

### 参考書等

会計学の練習問題、会計学に関連する記事や資料、ならびに会計学をより深く学ぶための文献等については、授業中に配布するプリントで紹介する。このプリントは教科書とともに定期試験の試験範囲となるので、保存しておくこと。

### その他

少しでも疑問点があれば、授業中でも授業終了後でもかまわないので、積極的に質問すること。最後まであきらめることなく、よい成績が得られるように、粘り強く勉強してほしい。

科目名	経済原論	開講	通年	単位	4
配当	営A2選必				
担当者名	明石 <sup>あかし</sup> 博行 <sup>ひろゆき</sup>				

講義のねらい

本講義では、資本制の経済社会（資本制経済）を対象とする経済社会学の基礎理論について、入門的な講義をします。資本制社会は、近代から現代にかけて生まれ、発展し、変化してきた、現代世界における支配的な経済社会です。この講義では、この資本制社会について、そこにはどのような経済的な仕組みと法則があるのか、資本制社会の思想・法律・政策などは経済の仕組みや法則によってどのように影響され制度化されるのか、社会的に埋め込まれた諸制度によって資本制経済はどのような変容を受けるのか、について説明します。資本制経済の仕組みや法則に関する基礎認識および資本制社会に関する概括的な認識を得られるよう援助することが、この講義の基本的な課題です。

講義の内容・授業スケジュール

序論的な解説を行う序章ののち、(1) 市場 (2) 貨幣の資本への発展 (3) 資本と労働 (4) 資本の蓄積と再生産 (5) 資本の流通 (6) 資本と利潤 (7) 資本の諸姿態 (8) 資本制社会における市民・階級・階層、という8つの章からなる本論について、その第1章から4章までに重点をおいて授業をします。講義予定のおおまかなスケジュールは以下のとおりです。

- |                    |                        |
|--------------------|------------------------|
| 第1回 講義紹介           | 第2章 貨幣の資本への発展          |
| 序章 経済社会学と経済原論      | 第17回 資本の一般的定式とその矛盾     |
| 第2回 経済社会学と経済学      | 第18回 商品の購買と消費          |
| 第3回 科学的社会主義の学説     | 第3章 資本と労働              |
| 第4回 科学的社会主義の知的遺産   | 第19回 資本による生産と労資型生産様式   |
| 第5回 経済社会把握の基本      | 第20回 剰余価値を増大させる諸方法     |
| 第6回 伝統的な経済観と経済学    | 第21回 賃金制度              |
| 第7回 経済学の拡張と展開      | 第4章 資本の蓄積と再生産          |
| 第8回 資本制の社会と経済      | 第22回 資本の蓄積と再生産         |
| 第1章 市場             | 第23回 雇用と失業             |
| 第9回 商品の二面的性格       | 第24回 身分階層型生産様式と階層分化    |
| 第10回 商品価値          | 補章 資本の流通と資本の諸姿態        |
| 第11回 商品の価値形態と物神的性格 | 第25回 資本の流通             |
| 第12回 交換過程          | 第26回 資本と利潤             |
| 第13回 貨幣の諸機能        | 第27回 商業・信用・地代          |
| 第14回 貨幣制度          | 第28回 資本制社会における市民・階級・階層 |
| 第15回 インフレとデフレの基礎理論 |                        |
| 第16回 市場型生産様式と市民社会  |                        |

履修上の留意点

講義に出席し、ノートをとる必要があります。

成績評価の方法

出席点、レポート、年度末の定期試験の結果を総合的に判断し、評価をします。

教科書

教科書は使用しません。講義時に毎回プリントを配布し、講義を理解できるよう援助します。

参考書等

大谷禎之介『図解・社会経済学』（桜井書店）3,000円＋税

科目名	近代経済学	開講	通年	単位	4
配当	営A2選必				
担当者名	滝田 公一				

講義のねらい

産業組織論の入門的講義を行います。産業組織論は、企業や産業についての経済学的分析を取り扱います。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 第1回 産業組織論とは？
- 第2回 企業の理論
- 第3回 産業の分類と集中度
- 第3回 完全競争と厚生経済学
- 第5回 独占
- 第6回 ゲームの理論I
- 第7回 寡占理論
- 第8回 ゲームの理論II
- 第9回 寡占の動学理論
- 第10回 製品差別化
- 第11回 垂直的統合と垂直的制約
- 第12回 水平合併
- 第13回 産業規制の経済理論
- 第14回 自然独占

履修上の留意点

経済学概説の知識、特に、ミクロ経済学の知識があると役に立ちます。

成績評価の方法

学年度末の筆記試験で評価します。

教科書

特に、指定しません。

参考書等

Church and Ware, Industrial Organization, McGraw-Hill, 2000.  
 Carlton and Perloff, Modern Industrial Organization, HarperCollins, 1994.  
 ロジャー・クラーク『現代産業組織論』（多賀出版）1989年  
 新庄浩二ほか『産業組織論』（有斐閣ブックス）1995年



科目名	経営科学概論	開講	通年	単位	4
配当	営A2選必				
担当者名	なが <small>こきょう</small> 国強				

講義のねらい

経営科学は、一般に、OR(オペレーションズ・リサーチ、Operations Research)、IE(インダストリアル・エンジニアリング、Industrial Engineering)、QC(品質管理、Quality Control)などを包括する総称として使用されている。

講義の内容・  
授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りである。

1. イントロダクション：経営科学・経営工学とは
2. 生産管理：生産管理、在庫管理、最経済発注量EOQ
3. OR：数理計画法、PERT/CPM、待ち行列理論
4. 品質管理：正規分布、QC七つ道具、品質管理図
5. 需要予測：移動平均、統計推測、回帰分析
6. 経済性工学：資金の時間的価値、設備投資案の比較法
7. 企業に対する要求：ISO9000、ISO14000など

成績評価の方法

講義への出席状況と中間・定期試験の結果により総合的に判断する。

教科書

特に使用しないが、プリントは適時に配布する。

その他

関連科目：経営科学、経営数学、生産管理論、システム論、経営統計、経営情報論

科目名	経営数学	開講	通年	単位	4
配当	営A1234選 営B1234選				
担当者名	飯田 哲夫 <small>いいだ てつお</small>				

講義のねらい

企業経営上の諸問題を扱う際、問題を定量的に分析したり、合理的な意思決定を行うために数理的方法論を用いることがしばしばある。また、近年の情報化の発展に伴い、多種大量のデータを収集し、企業経営に活用することが容易になっており、そのための情報利用技術もまた発展してきている。

合理的な意思決定を支援する方法論や情報利用技術については、経営科学や経営情報学といった専門科目で学ぶことになるが、それらを理解する上で、ある程度の数学的素養があることが望ましい。

この講義では、経営科学や経営情報学、そして、その他の経営学関連の専門科目に関係する数学的知識のみを対象とし、数学をあまり得意としない人でも理解できるように、応用例を交えて、数学がどのように用いられるのかを具体的に紹介しながら基礎的なことから講義を進めていく。

講義の内容・授業スケジュール

講義は高校で習った数学の復習を含めて基本的な内容から始め、微分および線形代数を扱う。具体的には以下の内容を予定している。

1. 1次関数、2次関数
2. 分数関数、指数関数
3. 数列、極限
4. 微分法とその応用
5. 多変数関数、多変数関数の微分とその応用
6. ベクトル、行列、逆行列
7. 確率の基礎

ただし、応用例などを紹介するにあたり、関連性の強いいくつかの内容をまとめて説明することもあるため、必ずしも上記の順番で講義を行うものではない。

履修上の留意点

講義では理解を助けるために例を用いて説明を行うけれども、数学を学ぶ上では、抽象的な概念に慣れることが必要であり、かつ、講義の積み重ねを経ないと理解できないことも多いため、毎回出席すること。

成績評価の方法

前期・後期それぞれに数回小テストを行う。必要に応じてレポートの提出を求めることもある。それらの成績を年度末の筆記試験に加味して評価する。

教科書

最初の授業のときに紹介する。プリントを適宜配布する。

参考書等

講義中に適宜紹介する。

その他

〔関連科目〕経営科学概論、経営科学、経営情報論、情報理論、経営統計、統計原論

科目名	情報処理基礎	開講	半期	単位	2
配当	営A1234選				
担当者名	かわちや さちこ 河内谷 幸子				

講義のねらい

この講義のねらいは、様々な情報の中から自分に必要な情報を取得し、自分なりの表現へと加工して発信する力を身につけることです。

講義の内容・  
授業スケジュール

毎回、1人1台コンピュータを使って実習を行います。初心者前提として、タイプ練習、日本語入力、ワープロソフト、ホームページ検索、ホームページ作成入門、ブログ、情報倫理などを実習していきます。

履修上の留意点

コンピュータ実習授業は1回休むと次の実習内容がわからなくなるので、休まないようにしましょう。出席は必ずとります。

成績評価の方法

コンピュータを使って解くレポート課題を2～3回出し、その結果と出席状況の総合評価によって成績を評価します。

教科書

毎回プリントを配布しますので、教科書は使用しません。

参考書等

その都度授業で指示します。

その他

1人1台コンピュータを使った実習形式です。  
 [クラス定員] 60名  
 [関連科目] 経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論  
 ※この科目は4月初旬に事前登録の申請をしなければ履修できません。

科目名	情報処理基礎	開講	半期	単位	2
配当	営A1234選				
担当者名	地引 昌弘				

#### 講義のねらい

本講義では、経営の様々な場面で出会う意思決定やその問題解決の手段として、コンピュータを自分自身で活用できるための基礎の習得を目標とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- ・イントロダクション  
講義内容概説／情報教育センターに関するオリエンテーション／コンピュータ科学と経営学について（プロローグ）
- ・コンピュータの構成と基本操作  
初めてコンピュータに触れる人が戸惑わないために、コンピュータを使う上での最初の一步から説明を始める。続いて、基本的な入力装置であるキーボードおよびマウスの操作に慣れることを目標に、ワープロソフトを用いた文書の作成を行なう。
- ・ホームページによる情報発信  
電子メールを用いたコミュニケーションやWWWブラウザを用いた情報収集、最後に自らのホームページを作成して情報を発信できることを目指す。

#### 履修上の留意点

本講義は、コンピュータの初心者が、コンピュータを補助として利用できるようになることを、そして何か問題が起きた場合でも自分自身で対処を行なえるようになることを最終的な目標にしています。

従って、上記の基本スケジュールと並行して、適宜コンピュータに関する様々な知識や最新情報なども解説していく予定です。

また、この目標に向けてのどのような質問／疑問でも大いに歓迎致します。

#### 成績評価の方法

まずは、上記に述べた本講義の趣旨より、単位の取得だけが目的の者は遠慮していただきたい（出席免除などは認めない）。

実習が中心なので、基本的には毎回出席し、出席の確認として実習内容を提出させることを予定している。また、実習の状況に応じて課題を提出させる場合がある。

期末には、履修を終えた項目を応用したレポートを提出させる。

成績評価は、出席および課題／レポートを統合して行なう。

#### そ の 他

教科書などは特に指定しないが、必要に応じて各項目ごとの参考図書を紹介する。状況が許せば、コミュニケーション手段の一つとしてE-mail（電子メール）を利用する予定。

60名 経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論

※この科目は4月初旬に事前登録の申請をしなければ履修できません。

科目名	情報処理基礎	開講	半期	単位	2
配当	営A1234選				
担当者名	加藤 <sup>かとう</sup> 武信 <sup>たけのぶ</sup>				

講義のねらい

情報化社会の電子文房具であるパソコンは、個人レベル、組織レベルおよび社会レベルで益々必要性を増している。ここではパソコンの原理とその活用法の基礎部分を総合的に学習し、それを自在に使って、インターネットを用いた情報検索やワープロによる文書の作成、表計算によるデータ加工の技法などを修得する。パソコンの実習環境は、Windowsを用いる。

講義の内容・  
授業スケジュール

- (1) コンピュータの仕組みとWindowsの基本操作  
アクセサリとペイントの活用、タイピング、ファイルシステムの操作を含む
- (2) ワードプロソフトWordによる文書作成  
日本語入力、手紙、納品書、履歴書などの作成、図形描画の活用
- (3) 表計算ソフトExcelによる作表・作図(基本レベル)  
売上集計、成績処理と各種グラフ、納品書、履歴書、精算表の作成  
基本関数、論理関数、データベースの活用
- (4) インターネットと電子メールの活用  
Webページの検索、ダウンロード、メールの送受信など

履修上の留意点

パソコン実習が全体の80%を占めるので、欠席せず、熱意をもって受講することを望む。習熟するためには、時間外のパソコン実習が必須である。また、テキストや配布教材を熟読しなければならない。

成績評価の方法

平常点(出席とレポートへの点数付け)およびテストにより総合評価する。

教科書

加藤武信他『コンピュータ活用』(サンウェイ出版)2,300円  
ISBN4-88389-012-0 C0004

参考書等

授業の中で示す

その他

授業の方法：パソコン実習  
〔クラス定員〕60名  
〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論  
※この科目は4月初旬に事前登録の申請をしなければ履修できません。

科目名	情報処理基礎	開講	半期	単位	2
配当	営A1234選				
担当者名	とおやま まさお 遠山 正朗				

#### 講義のねらい

本講義の目的は、大学生として必要不可欠なコンピュータの活用能力を身に付けてもらうことです。その活用能力とは、コンピュータを単体で活用する能力、コンピュータをネットワーク上で活用する能力の2つに大別できますが、それらを着実に習得できるよう、コンピュータの基本的な使い方から始めて、企業に関する情報の収集・処理などの応用的な使い方の導入まで、段階的に学習していきます。

#### 講義の内容・授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りです。  
 (1) コンピュータの基本的な使い方  
 (2) Windowsの基本操作  
 (3～4) ワードプロセッサソフトの基本操作  
 (5～6) ワードプロセッサソフトによる文書作成  
 (7～8) 表計算ソフトの基本操作  
 (9～10) 表計算ソフトによるデータ処理  
 (11) インターネットの基礎  
 (12～13) インターネットの活用による情報の収集・処理

専門教育

#### 履修上の留意点

授業は、コンピュータを使用した実習によって進め、各回ごとに授業内容に応じた演習を課すので、遅刻、欠席をしないように努めてください。

#### 成績評価の方法

出席・演習課題（毎回実施）50%  
レポート50%

#### 教科書

長谷川雄亮『報告書を書くための Word の使い方』三恵社、2007年。1,680円  
 (ISBN: 4-88361-437-9)。その他必要に応じてレジユメ等を配付します。

#### 参考書等

授業時間中に適宜紹介します。

#### その他

〔クラス定員〕60名 経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論  
 ※この科目は4月初旬に事前登録の申請をしなければ履修できません。

科目名	情報処理基礎	開講	半期	単位	2
配当	営A1234選				
担当者名	よだ きよし 依田 聖				

講義のねらい

コンピュータなしでは社会生活を遂行してゆくことは困難になりつつある。コンピュータの基本的な操作方法をマスターする中で、コンピュータの機能について理解し、情報を大学生活に活用する能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

大学あるいは企業でPCを道具（情報収集、情報伝達、レポートの作成等）として使う基本的な力（コンピュータ・リテラシー）を養う。演習を中心に進めるが、コンピュータ化の問題点と情報倫理等の講義も行う。演習の主要な点は（1）PCの操作（Windowsの基本操作）（2）WWW（ブラウザの使用法、情報検索・収集）（3）電子メール（送受信、添付ファイル、アドレス帳）（4）ワープロ（操作法、文書作成、印刷）

履修上の留意点

講義にはメールを活用（講義録の送付と課題の提出）する。  
本科目は積み重ねが必要。欠席した場合必ず休んだ部分を勉強し、次回にのぞむように。分からないことは恥ずかしがらず聞き、その場で解決のこと。また復習をしっかりすること。演習は結果としてハードなものになるので熱意を持って取り組むこと。休まず、遅刻はしないこと（出欠は必ずとる）。

成績評価の方法

出席（毎回の課題を提出）・レポート40%、試験60%。特にメールを習った後は毎回の課題はメールで提出する。受講者が多いと試験を行う場合もある。

教科書

太田忠一編『文科系のためのコンピュータリテラシ [第3版]』（サイエンス社）2004年  
1,995円、ISBN4-7819-1085-8

その他

〔クラス定員〕60名 経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論  
※この科目は4月初旬に事前登録の申請をしなければ履修できません。

科目名	情報処理基礎	開講	半期	単位	2
配当	営A1234選				
担当者名	ももづか かおる 桃塚 薫				

講義のねらい

この講義の目的は、大学生として必要不可欠なコンピュータの基礎的リテラシーを習得してもらうことです。パソコンとインターネットを用いて、必要な情報を収集する能力、自分で情報発信をする能力の両方を学習します。

講義の内容・授業スケジュール

- ・ Windowsの基本操作（電源の入れ方、キーボード、マウスの使い方、日本語入力、ファイルの保存）
- ・ インターネット活用方法（電子メール・ブラウザの使い方、情報倫理）
- ・ ワープロソフトの基礎（Wordによる文書作成）
- ・ 表計算ソフトの基礎（Excelによるデータ処理）

履修上の留意点

実習授業のため、欠席をしないようにしてください。毎回出席を取ります。なお、授業中に数回、課題を提出してもらいます。

成績評価の方法

出席点、課題提出状況、レポートにより評価します。

教科書

毎回プリントを配布します。

科目名	情報処理基礎	開講	半期	単位	2
配当	営A1234選				
担当者名	村上 友佳子 <small>むらかみ ゆかこ</small>				

#### 講義のねらい

本講義は、経営学・経済学での基礎的なコンピューターによる数的処理・統計処理を修得することを目的とする。経済現象は、売上高の変化、利益率の変化、失業率や公定歩合などの割合の変化等々数字として表現されることがほとんどである。こうした数字からいかに情報を引き出すか、基本的な経営・経済指標について講義とエクセルを使った実習を行う。

官公庁などのホームページをデータの収集に利用していくこともおこなう予定である。関心のある事例を調べる（図書館での文献・データベースの検索、パソコンでのインターネットの活用などによる）、表計算ソフトを使って表・グラフを作成する、プレゼンテーションを行う、レポートを書く、などの方法を習得する。

大学生として、勉強や学問で実りある成果をレポートや卒業論文として残したいと考えている学生に相応しい講義です。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 ガイダンス 経営学・経済学と統計
- 2 インターネットによる官公庁統計の利用
- 3 データのダウンロード
- 4 企業の経営データに親しむ（図書館データベースの利用）
- 5 数的処理の方法（構成比、成長率、寄与度）
- 6 EXCELによる統計処理の方法（記述統計 グラフを描く）
- 7 WORDによるレポート執筆（グラフの貼り付け）
- 8 POWER POINTによるプレゼンテーション（報告）の行い方
- 9 分析事例を見てみよう（論文やレポートを読んで、数的処理を知る）
- 10 図書館における文献、資料、統計、データベースの検索の行い方

（ここに挙げた項目のうち、大体2～3を一回の講義で行う。また、「5. 数的処理の方法」「6. EXCELによる統計処理の方法」や、「9. 分析事例を見てみよう」は、複数回、講義する予定。少しずつ無理なく、情報処理を学びましょう。）

#### 成績評価の方法

第一に、レポート提出を課題とする。興味のある企業の経営戦略について、WORD・EXCEL（数表、グラフ添付）を用いて、執筆すること。学生個人のオリジナルな考え方に従って執筆したレポートに対して高い評価をする。完成度が高くとも、盗作したレポートに対しては評価しない。

第二に、講義に遅刻しないで出席し、講義を聴き、指示に従い作業を行う。分からなければ質問し、講義で進められる実際の演習を習得する。その結果として、講義内の練習問題を提出する。



科目名	情報処理応用I	開講	半期	単位	2
配当	営A1234選				
担当者名	ももづか かつおる 桃塚 薫				

講義のねらい

この講義の目的は、大学生として、そして卒業後も必要となるコンピュータの比較的高度なリテラシーを習得してもらうことです。パソコンとインターネットを用いて、必要な情報を収集する能力、自分で情報発信をする能力の両方を学習します。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ・プレゼンテーションソフトの使い方 (PowerPoint による資料作成、効果的なプレゼンテーションについて)
- ・ウェブサイトの作成 (html のタグの使い方)
- ・コンピュータ・ネットワークの仕組み

履修上の留意点

実習授業のため、欠席をしないようにしてください。毎回出席を取ります。なお、授業中に数回、課題を提出してもらいます。

成績評価の方法

出席点、課題提出状況、レポートにより評価します。

教科書

毎回プリントを配布します。

科目名	情報処理応用I	開講	半期	単位	2
配当	営A1234選				
担当者名	とおやま まさお 遠山 正朗				

#### 講義のねらい

本講義の目的は、前期開講の情報情報処理とあわせ、大学生として必要不可欠なコンピュータの活用能力、すなわち、コンピュータを単体で活用する能力と、コンピュータをネットワーク上で活用する能力を身に付けてもらうことです。それらを着実に習得できるよう、コンピュータの基本的な使い方の確認から始めて、企業に関する情報の収集・処理などの応用的な使い方、そして処理した情報の発信の仕方まで、段階的に学習していきます。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 予定している講義内容は以下の通りです。
- (1～2) プレゼンテーションソフトの基本操作
  - (3～4) プレゼンテーションソフトによる資料作成
  - (5～6) 企業に関する情報の収集・処理
  - (7～8) インターネットの活用による企業の情報の収集・処理
  - (9～10) 表計算ソフトによるデータの応用的処理
  - (11) 情報発信に向けた基本的言語の理解
  - (12～13) 情報発信のためのホームページ作成

#### 履修上の留意点

授業は、コンピュータを使用した実習によって進め、各回ごとに授業内容に応じた演習を課すので、遅刻、欠席をしないように努めてください。

#### 成績評価の方法

出席・演習課題（毎回実施）50%  
レポート50%

#### 教科書

長谷川雄亮『報告書を書くための Word の使い方』三恵社、2007年。1,680円  
(ISBN: 4-88361-437-9)。その他必要に応じてレジュメ等を配付します。

#### 参考書等

授業時間中に適宜紹介します。

#### その他

〔クラス定員〕60名 経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論  
※この科目を履修するためには、「情報処理基礎」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。「情報処理基礎」への事前登録申請のみでは履修できません。

科目名	情報処理応用I	開講	半期	単位	2
配当	営A1234選				
担当者名	かわちい さちこ 河内谷 幸子				

#### 講義のねらい

この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです。また、将来的に全く新種のソフトが世間的に普及するような場合が生じても適応できるように、積極的に新しいものに取り組む姿勢を身につけることも目標とします。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

毎回、1人1台コンピュータを使って実習を行います。「情報処理基礎」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。表計算ソフト、プレゼンテーションソフトの使い方、ソフト比較演習、などを実習します。

#### 履修上の留意点

「情報処理基礎」をあらかじめ履修しておくことをおすすめします。また、コンピュータ実習授業は1回休むと次の実習内容がわからなくなるので、休まないようにしましょう。出席は必ずとります。

#### 成績評価の方法

コンピュータを使って解くレポート課題を2～3回出し、その結果と出席状況の総合評価によって成績を評価します。

#### 教科書

毎回プリントを配布しますので、教科書は使用しません。

#### 参考書等

その都度授業で指示します。

#### その他

1人1台コンピュータを使った実習形式です。  
60名 経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論  
※この科目を履修するためには、「情報処理基礎」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。「情報処理基礎」への事前登録申請のみでは履修できません。

科目名	情報処理応用I	開講	半期	単位	2
配当	営A1234選				
担当者名	地引 <sup>じびき</sup> 昌弘 <sup>まさひろ</sup>				

講義のねらい

本講義では、コンピュータの操作方法を単に習得するだけに偏らず、コンピュータ自体の知識や経営における実際の問題などに対応させながら、意思決定／問題解決の手段として活用できる能力の習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

・表計算の基本

経営の場における情報分析に際して、ワープロ以上に重要なツールである表計算ソフトに慣れることを目標に、代表的な表計算ソフトである Excel を利用した表計算やグラフの作成、基礎的な統計分析などの各機能について学ぶ。

・オフィス統合ツールの基本

表計算ソフトの基礎的な利用方法をベースに、より実践的な経営の問題への応用を目指す。まずは、ワープロソフトやデータベースソフトとの連携を目標に、作成したグラフを文書に組み込んだり、データベースからデータを取り出して解析を行なう技術を習得する。

最後に、表計算ソフト上の簡易プログラミング機能であるマクロを利用して、各オフィスツールを統合した環境における応用方法について学ぶ。

・コンピュータの応用

コンピュータを自分自身で使いこなせることを目標に、プログラミングやアーキテクチャ、トラブル時の処理などコンピュータへの理解を深めるための実習／解説を行なう。まずは、簡単なプログラムを自分で開発できることを目指して、オフィス統合ツール上で利用される Visual Basic を対象にプログラミングの基礎を習得する。続いて、複雑なプログラムを作成するための作法や実際のデバッグ手法を学ぶ。最後に、OSやネットワークの仕組みについて解説を行ない、今後コンピュータを独力で使いこなしていける能力の習得を目指す。

履修上の留意点

本講義は、情報処理基礎の履修者が日常の活動にコンピュータを自在に活用できることを最終的な目標にしています。

従って、上記の基本スケジュールと並行して、適宜コンピュータに関する様々な知識や最新情報なども解説していく予定です。また、この目標に向けてのどのような質問／疑問でも大いに歓迎致します。

成績評価の方法

まずは、上記に述べた本講義の趣旨より、単位の取得だけが目的の者は遠慮していただきたい（出席免除などは認めない）。

実習が中心なので、基本的には毎回出席し、出席の確認として実習内容を提出させることを予定している。

また、実習の状況に応じて課題を提出させる場合がある。

期末には、履修を終えた項目を応用したレポートを提出させる。

成績評価は、出席および課題／レポートを統合して行なう。

その他

教科書などは特に指定しないが、必要に応じて各項目ごとの参考図書を紹介する。状況が許せば、コミュニケーション手段の一つとして E-mail（電子メール）を利用する予定。

60名 経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論

※この科目を履修するためには、「情報処理基礎」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。「情報処理基礎」への事前登録申請のみでは履修できません。

科目名	情報処理応用I	開講	半期	単位	2
担当	営A1234選				
担当者名	加藤 <sup>かとう</sup> 武信 <sup>たけのぶ</sup>				

#### 講義のねらい

「情報処理基礎」の授業で確立したパソコンに関する知識・技術をさらに発展させ、実社会で応用できる活用能力に高める。すなわち Excel による応用処理と PowerPoint を用いたプレゼンテーション、さらに関係データベース Access を活用した「仕事の仕組み」の具体化を試みる。パソコンの実習環境は、Windows を用いる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- (1) 表計算ソフト Excel による応用処理  
データベース応用、ピボットテーブルの活用、各種計算モデルの活用、管理資料の作成
- (2) プレゼンテーションソフト PowerPoint によるデータの視覚化  
表題、箇条書き、組織図、表、グラフ、挿絵入りスライドなどの作成
- (3) データベースソフト Access による成績処理業務の設計と処理  
テーブルの設計、フォームによるデータ入力、テーブルの結合、クエリによる各種集計、SQLの基礎

#### 履修上の留意点

パソコン実習が全体の80%を占めるので、欠席せず、熱意をもって受講することを望む。習熟するためには、時間外のパソコン実習が必須である。また、テキストや配布教材を熟読しなければならない。

#### 成績評価の方法

平常点（出席とレポートへの点数付け）およびテストにより総合評価する。

#### 教科書

加藤武信他『コンピュータ活用』（サンウェイ出版）2,300円  
ISBN4-88389-012-0 C0004

#### 参考書等

授業の中で示す。

#### その他

授業の方法：パソコン実習  
〔クラス定員〕60名  
〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論  
※この科目を履修するためには、「情報処理基礎」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。「情報処理基礎」への事前登録申請のみでは履修できません。

科目名	情報処理応用I	開講	半期	単位	2
配当	営A1234選				
担当者名	村上 <sup>むらかみ</sup> 友佳子 <sup>ゆめこ</sup>				

### 講義のねらい

本講義の狙いは、大学生がレポートや卒業論文を執筆する際に、必要とされるスキルを学ぶことです。また、それらは、社会人になってからも、利用可能です。

数的処理やデータベース処理、回帰分析などの高度な統計処理も、EXCEL使うと簡単に習得できて、これまでと一味違う論文を書くことができます。

また、POWER POINTを使って、効果的なプレゼンテーションの練習をしましょう。今まで書いたことのあるレポートをPOWER POINTに移して、きれいな背景や分かりやすい見出しをつけ、発表すると自信がきます。

出席する方は、まず、少人数クラスのなかで自分の意見や疑問点をしっかり述べる習慣、授業にきちんと出席して、話を聞き、課題をこなす習慣をつけてください。

大学生として、勉強や学問で実りある成果をレポートや卒業論文として残したいと考えている学生に相応しい講義です。また、社会人になってからも有効に使えるスキルを身につけたいと考えている学生にも相応しい講義です。

専門教育

### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 POWER POINTによるプレゼンテーション（報告）の行い方
- 2 図書館における文献、資料、統計、データベースの検索の行い方
- 3 パソコン端末利用による、データのダウンロードの行い方
- 4 EXCEL 表計算ソフトを使ってみましょう
- 5 EXCEL 統計関数、財務関数の使い方
- 6 EXCEL 論理関数の使い方（企業を評価し、ランクづけする）
- 7 EXCEL データベース処理I（並び替え、フィルタ、自動集計機能を使う）
- 8 EXCEL データベース処理II（顧客データの集計をピボットテーブルで行う）
- 9 EXCEL グラフの描き方（企業評価をグラフで図示しましょう）
- 10 EXCEL 回帰分析

### 成績評価の方法

第一に、POWER POINTを使って、講義時間内に少なくとも一度は報告を行うことがもとめられる。報告する内容は、以前に書いた企業の経営に関するレポートに基づき、EXCELの数表、グラフを示すこと。学生個人のオリジナルな考え方に従った報告に対して高い評価をする。

第二に、講義内で示す2回の課題（EXCELによる数的処理）を提出することが求められる。

第三に、講義に遅刻しないで出席し、講義を聴き、指示に従い作業を行う。分からなければ質問し、講義で進められる実際の演習を習得する。その結果として、講義内の練習を適宜、提出する。

科目名	情報処理応用I	開講	半期	単位	2
配当	営A1234選				
担当者名	依田 聖 <small>よだ きよし</small>				

講義のねらい	コンピュータなしでは社会生活を遂行してゆくことは困難になりつつある。コンピュータの基本的な操作方法をマスターする中で、コンピュータの機能について理解し、情報を大学生活に活用する能力を身につける。
講義の内容・授業スケジュール	前期で養った基本的な力をベースにして、コンピュータを実践的に使えるような力を養う。演習を中心に進めるが、情報倫理やITビジネス等の講義も行う。演習の主要な点は(1)表計算(エクセル)(操作法、表計算、グラフ)(2)www-ワープロエクセルの連携(アプリケーション間でのデータのやり取り、情報検索・収集とその解析)(3)HPの作成(HTML言語でHPを作成)
履修上の留意点	講義にはメールを活用(講義録の送付と課題の提出)する。 本科目は積み重ねが必要。欠席した場合必ず休んだ部分を勉強し、次回にのぞむように。分からないことは恥ずかしがらず聞き、その場で解決のこと。また復習をしっかりとすること。演習は結果としてハードなものになるので熱意を持って取り組むこと。休まず、遅刻はしないこと(出欠は必ずとる)。
成績評価の方法	出席(毎回の課題を提出)・レポート40%、試験60%。毎回の課題はメールで提出する。受講者が多いと試験を行う場合もある。
教科書	太田忠一編『文科系のためのコンピュータリテラシ [第3版]』(サイエンス社)2004年 1,995円、ISBN4-7819-1085-8
その他	〔クラス定員〕60名経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論 ※この科目を履修するためには、「情報処理基礎」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。「情報処理基礎」への事前登録申請のみでは履修できません。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	営A2選				
担当者名	阿部 一人 <small>あべ かずひと</small>				

講義のねらい	本演習では、財務会計を中心に、企業会計の基礎研究をおこなう。
講義の内容・授業スケジュール	この財務会計の基礎知識を習得するために、簿記の学習を初歩程度からはじめて日本商工会議所簿記検定試験の合格を目標に(すでに3級に合格している者は2級にむけて)これから簿記会計を学習・研究しようとする人達を対象に学習する。後期では、報告形式により報告者のレジュメ(報告要旨)にそって、演習を進める。
成績評価の方法	成績評価は、出席状況、報告発表、レポート等により総合的に判定する。
教科書	開講後、指示する。
参考書等	授業中において適宜指示する。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	営A2選				
担当者名	飯田 哲夫				

#### 講義のねらい

この演習では、企業経営上の問題解決のための定量的な情報分析の理論と方法について学びます。近年の情報技術の発展により、大量のデータや情報を活用した定量的な分析の多くが、比較的容易に行うことができる状況になってきており、それらを利用して定量的に問題を分析することは、データに裏づけられた合理的な意思決定へと通じていきます。そして、分析の際には、より有効にデータや情報を活用するために、また、問題の本質を理解するために、しばしば問題状況を数理的にモデル化します。問題に応じて、様々なモデルがありますが、この演習では、それらの中の基礎的なものから学習していきます。また、数理モデルを用いた分析には、コンピュータの利用を前提としているものが多くあり、それらの分析を行うためのコンピュータの利用技術についても基礎的なところから学習していきます。

#### 講義の内容・授業スケジュール

基礎的な数理モデルの知識および、コンピュータの利用に関する知識の習得のために、ゼミのメンバーによる輪読およびコンピュータ演習を行います。

#### 履修上の留意点

このゼミは学生の主体的・積極的な参加を前提としています。また、数理モデル分析やコンピュータの高度な利用方法を学ぶため、ある程度は数学的知識やコンピュータに慣れていることが望まれます。具体的には、「経営数学」「情報処理基礎」を履修していることが望ましい。

#### 成績評価の方法

平常点（出席とゼミへの積極性）、課題のレポートと発表により総合的に評価します。

#### 教科書

用いる教科書や参考書については最初のゼミのときに紹介します。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	営A2選				
担当者名	小沢 利久				

#### 講義のねらい

個人・企業は様々な場面で次に取るべき行動の選択（意思決定）を迫られています。例えば、投資家は日々変動する株価と付加的な情報を基に資金の投資配分を決めています。電話会社は携帯電話機数の伸びや通話時間の伸びを考慮しながら次の設備投資判断をしています。本演習では、このような問題に対処するための学問的基礎として、経営科学の各種手法とコンピューターリテラシについて学んでいきます。経営科学とは、経営活動などにおいて生じる様々な意思決定を科学的に支援するための方法を考える学問であり、対象をモデルで表現し、コンピューターを使って定量的に分析する点に特徴があります。また、経営科学の応用範囲は、伝統的な生産・流通の分野から近年はマーケティングやファイナンスの分野へと広がりがつづきます。

#### 講義の内容・授業スケジュール

データ分析と予測、在庫管理、生産計画、輸送計画、階層化意思決定法などの経営科学の基本的な手法について学ぶとともに、それら手法を用いた評価（計算）を Excel 上で行うためのやや高度な Excel の使い方について学んでいきます。また、プレゼンテーション能力を高めるために、企業紹介を題材として PowerPoint を用いた発表練習を行います。

#### 履修上の留意点

演習については、演習II（3年生）、演習III（4年生）と継続して受講することを前提としています。よって、演習II及び演習IIIの内容についても該当する講義内容で確認しておいて下さい。演習の内容をより良く理解するために、情報処理基礎、情報処理応用I、経営科学概論、経営科学など、経営科学系の科目を並行して履修することを勧めます。

#### 成績評価の方法

出席状況、受講態度や理解度を勘案して評価します。



科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	営A2選				
担当者名	鹿嶋 <small>かしま ひであき</small> 秀晃				

講義のねらい

研究テーマは現代日本企業の人事労務管理。大学生活の中で、ゼミは最も勉強に打ち込み、一番思い出になるところだと考えます。よって、積極的に勉強し、行事を企画し、みんなで楽しくゼミを過ごしたいという学生を採用します。

講義の内容・  
授業スケジュール

現代の日本企業とそこに働くサラリーマンが抱える問題に関して、入門書と専門書を読みます。企業と労働、社会について幅広い関心を持ち、科学的に考える力を養います。サブテーマは「終身雇用」「年功賃金と能力主義」「日本的経営」「女性労働」「日本的労使関係」「会社人間」「過労死」ほか。2ヵ月に1冊のペースで本を読みます。受講者全員はあらかじめテキストを熟読し、中から報告者（レジュメを作成）、コメンテータを決め、その2人を中心に議論をしていきます。報告者とコメンテータは順番。また、毎回の「新聞発表」では担当者が最近の新聞から企業経営や労務に関するものを切り抜き、自分のコメントを加えてプレゼンテーション。4年次は卒論作成中心。

履修上の留意点

出席重視。無断欠席は単位認定なし。ただし、特別に事情がある場合には個別に対応します。レジュメはワープロで作成のこと。ゼミ以外の工場見学、コンパ、合宿等の時間割以外の行事もゼミの一環なので必ず出席するように。

成績評価の方法

出席点、講義中の発表・発言、レポートを総合して判定。

教科書

適宜指示。参考までに過去のテキスト例。中村圭介『成果主義の真実』、大沢真知子『ワークライフバランス社会へ』、佐藤博樹・佐藤厚『仕事の社会学』、橘木俊詔『格差社会』、木名瀬武『人事改革の法則』など。

参考書等

演習時に適宜紹介。

その他

履修希望者は、経営労務論を履修のこと。他のゼミ活動に、卒業論文集の発行、ゼミ書評、全国コンテスト参加などがあります。WEBページ参照。<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kashima/index.html>

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	営A2選				
担当者名	かたぎり のぶお 片桐 伸夫				

#### 講義のねらい

このゼミは3・4年次（演習II・III）で「就職希望会社の経営分析」を行うことを目的とします。

経営分析とは、文字通り「企業の経営を分析すること」であり、きわめて範囲の広いものです。具体的には、皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
  - 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
  - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
  - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、
- といった内容です。

#### 履修上の留意点

このゼミでは、経営分析の中でも、とくに財務諸表（貸借対照表や損益計算書など）の分析を中心とします。したがって、1年次の簿記学に興味を感じた人向きのゼミです。

#### 成績評価の方法

成績評価の方法は平常点です。

2年次（演習I）では、6月は日商簿記検定2級（or1級）、11月は2級（or1級）にチャレンジしてもらいます。

#### その他

プレゼミや合宿も行います。

ゼミ入室の決定方法は面接〔志望理由書（500字程度）事前提出〕とテスト（演習Iは1年次学習中の簿記）によります。

なお、いうまでもなく無断欠席と遅刻は厳禁です。以上の方針に見合う、学習意欲十分な学生諸君の参加を希望します。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	営A2選				
担当者名	かねひら 栄てつ 兼村 栄哲				

#### 講義のねらい

今日のように社会的な分業体制が成立している経済においては、生産と消費の間にさまざまな隔たりが発生しており、円滑な交換が阻害されていることが少なくない。こうした隔たりは、一般に、経済的懸隔と呼称されており、財ないしサービスの生産者と消費者が人格的に分離したことから生じる主体的懸隔、商品の生産者と消費者が、それぞれ、相手の事情に関する情報を欠如していることから生じる情報的懸隔、商品が生産される地（時）点とそれが消費される地（時）点異なることから生じる空間（時間）的懸隔などがある。

マーケティングとは、以上の経済的懸隔を架橋することにより、円滑な交換（の連鎖）を実現し、ひいては、消費者が生産者が生産した商品を消費することを可能にする活動をいう。

本演習のねらいは、履修者の一人ひとりが、こうしたマーケティングにかかわる諸現象を体感し、当該現象について自分なりに論理的に説明できるようになることにある。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 通常の演習においては、テキストを全員で輪読し、基礎的な概念や理論を学ぶ。
- 2 年に数回、グループでマーケティング（論）にかかわるいくつかのテーマについて調べ、その内容を発表する。
- 3 グループで業界研究をし、A4版100枚以上のレポートにまとめる。その概略を冬合宿にて発表する。
- 4 夏休みに工場見学をおこなう。後期に、その内容についてのレポートを提出する。
- 5 学内で開催される「G-Planning Contest」に応募する。
- 6 電通主催の学生懸賞論文に応募する。

#### 履修上の留意点

- 1 通常の演習のみならず、合宿その他の課外活動にも参加すること。同時に、たんに出席するのではなく、自発的に自分なりの疑問や意見を示すなど、積極的に参加すること。
- 2 お互いの親睦を図ること。
- 3 授業開始後、諸般の事情で履修を取りやめる場合には、必ず事前にその旨を申し出ること。

#### 成績評価の方法

授業態度、発表内容、レポート内容等による総合的な評価

#### 教科書

開講時に指定

#### 参考書等

適宜紹介する。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	営A2選				
担当者名	岸田 隆行 <small>きしだ たかゆき</small>				

講義のねらい

本演習では、原価計算について知識を深め、計算力を高めることを目的とする。また、原価計算が経営管理において、どのような機能を持ちうるのかを管理会計的な側面から追求していく。

講義の内容・授業スケジュール

原価計算の習得を目的として、原価計算に関するテキストを読み進めていく。受講者の報告および報告内容についての討論を中心として、原価計算の理論に対する理解を深めていく。また、練習問題を解いていくことによって、計算力も高めていく。  
日商簿記2級の取得を目安に自宅学習を行ってもらおう。

履修上の留意点

積極的にゼミ活動に参加してもらいたい。  
担当箇所での報告では、指定されたテキストだけでなく、様々な文献を読んだ上で報告を行ってほしい。また、報告者以外の受講生も事前にテキストを熟読し、質問を考えた上で参加してもらいたい。

成績評価の方法

報告の内容、ゼミへの参加程度により総合的に評価する。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

適宜紹介する。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	営A2選				
担当者名	高木 克己 <small>たかき かつみ</small>				

講義のねらい

本ゼミナールでは、3年間を通じて、法人税の対象となる企業の課税所得の算定過程を明らかにすることを中心に研究を行います。  
なお、毎回報告者の発表に対し討論を行うという形式で進めていくので、その中で十分に自分の意見が主張できるようになって欲しいと考えています。  
2年次では、企業の税金の問題を扱う前提として、簿記、会計理論の基礎的な知識を習得します。本年度は会計学の基礎を中心に勉強をします。ただし、最低限、6月の日商検定試験3、2級に向けて3カ月間だけ簿記検定の勉強をします。(すでに3級を取得している者は2級に向けて、初めての人は3級の合格を目的にします。)  
なお、合宿は11月全学年合同で行っています。その内容は、ディベートが中心になります。その他、年2回程度、全学年で集まる機会を持っています。  
明るくて、好奇心が強く、夢をたくさん持っている人が志望してくれたらいいなと思っています。ゼミ運営の基本的な考え方として、目標を持って頑張っている人や一生懸命勉強をしている人が居心地が悪くなるような雰囲気は絶対つくらないようにしています。

成績評価の方法

出席及び報告により評価します。

参考書等

最初の授業で紹介します。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	営A2選				
担当者名	滝田 <small>たきた こういち</small> 公一				

講義のねらい

本年度は次の文献を利用して演習を行う予定です。  
 [1] 東北大学経営学グループ著、『ケースに学ぶ経営学』（有斐閣ブックス）1998（2,500円）  
 文献[1]は、「企業とは何か？それはどのように経営されているのか？」という問題を幾つかの現実の事例（例えば、スカイマークエアライン社の設立、マクドナルドとモスバーガーの競争戦略など）をどうして考察したものです。此の教科書を題材として、学生諸君には、課題報告（例えば、1970年代から80年代に架けて、日本の自動車企業は、アメリカの自動車企業に追いつき追い越していきませんが、なぜそのようなことが起こったのか、環境と戦略について調べましょう、など）をしてもらう予定です。このような課題報告を通じて、レポートの書き方と文献・資料の探し方に習熟していただくことも演習Iの狙いの一つです。  
 また、文献[1]とあわせて、代表的な表計算ソフトであるExcelを使った経済データの情報処理をも勉強する予定です。簡単な計算によるデータの変換、グラフの作成、最小二乗推定、確率分布、線形計画法、簡単な経済理論のシュミレーション、などが取り扱われる予定です。特別な予備知識は必要ありませんが、「情報処理基礎」を前もって、または、同時に履修されると理解が一層深まるのではないかと考えられます。

成績評価の方法

成績評価は、学年末に、課題に基づくレポート（通常、computer assignment）を提出してもらい、それによって行います。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	営A2選				
担当者名	中村 <small>なかむら こういち</small> 公一				

講義のねらい

本ゼミでは現代企業の置かれている環境とそれに対する経営戦略を紐解いていき、実践的な場面でも応用できる知識と考え方を身に付けるために、文献購読・資料調査・ケーススタディ・ビジネスプランニングなど多彩な課題に取り組みます。  
 ゼミは、単位を採るだけのものではなく、個人の「知的トレーニングの場」であり、他のゼミ生達と切磋琢磨する場であると考えて下さい。私の役割は、ゼミ生がゼミでの勉強をきっかけにして豊かな学生時代を築こうとする時のお手伝いをするだけに過ぎません。運営の主体は君達にあります。  
 (1) 文献購読やケーススタディなどを通して、企業の置かれている環境とそれに対する戦略を的確に理解する専門知識の習得、分析力、洞察力の強化を図ります。  
 (2) レポート作成を通してのアウトプット能力、論述能力、論理構成力の強化を図ります。  
 (3) 毎週の報告や議論などを通じてプレゼンテーション能力やディスカッション能力の強化を図ります。  
 (4) 実際にビジネスプランの策定を通して、事業戦略を構築する企画力と構想力の強化を図ります。

講義の内容・授業スケジュール

演習I（2年生）  
 前期；経営戦略論に関する入門書の購読＋資料などの調査方法、企業研究・分析  
 後期；現在の経営環境の解説作業、競争企業分析の実践（グループ調査）

履修上の留意点

ゼミの理念は「知的トレーニング」にあるので、毎週レポートを宿題として課し、相当の勉強時間の確保が必要になります。また、ゼミでは議論が中心になるために、事前の準備も必要となります。

成績評価の方法

遅刻の常連、無断欠席、各種課題や提出物の期限の遅れ、不十分な内容のレポートを提出した場合は、厳しくチェックします。成績は、出席数、提出課題の内容、議論への貢献度などの平常点によって判断します。なお、4年次にはゼミ論文があります。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	営A2選				
担当者名	ながた 智則 <small>ながた ともりのり</small>				

**講義のねらい** 当ゼミナールは国際経済学にかかわる事象を研究対象としている。近年の国際的相互依存関係の緊密化は、どの国の経済にとっても、国際経済とのかかわりがいかに重要であるかを認識させてきた。ある国で生じた経済問題は、その影響が全世界に波及し、世界経済の流れを変え、各国経済に変革を迫る。この流れに対応できない経済は取り残され、困難に直面する。  
当ゼミナールでは、世界の各地で生じている諸現象の中から、経済発展と貿易の関係に焦点を絞り、この問題の研究を通して、国際経済の仕組みやメカニズムについて理解を深めることを目標としている。

**講義の内容・授業スケジュール** 「演習I」では国際経済学の初歩的な分析道具の習得を目的とし、テキストを中心に授業を行う。ここで学ぶ分析道具を使って、現実の世界経済の出来事を学生諸君が自分なりに分析できるよう心がける。

**履修上の留意点** 無断欠席、遅刻は厳禁。授業中は積極的に発言をすること。

**成績評価の方法** 授業中の発言や提出レポート等を含め、ゼミ活動にどの程度積極的に参加したかを最大の評価ポイントにする。

**教科書** 教科書及び参考文献等については必要に応じて紹介する。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	営A2選				
担当者名	なが 国強 <small>なが こさきょう</small>				

**講義のねらい** 現代は情報化社会といわれ、新聞・雑誌・インターネットを開いてもそこに大量の経済・経営データが見られる。ところで、経済・経営などのデータをそのまま見れば、単なる数字の山にすぎず、大切なことはそこから正しい見通しを得ることであろう。実際のデータから経済・経営など社会的な動きをどのように読みとるのかといった能力を養成できるようにすることを目的として、本演習はコンピュータを使ってのデータ解析の基本技術を学習する。

**講義の内容・授業スケジュール** 演習I（2年生）：WORDとEXCEL…コンピュータ初心者のために  
初心者にコンピュータの基本知識やタイピングの基礎を学んだ後、コンピュータ上の代表的なワープロソフトWORDと表計算ソフトEXCELをマスターできるよう、実際の文章や統計表を取り入れながら徹底的に実習していく。

**成績評価の方法** 平常点：出席・レポートの成績などで総合的に評価する。

**その他** 演習Iの選抜方法は自己紹介文（A4、1枚）と面接によって行う。  
演習IIは学生諸君のまだ慣れていないコンピュータ上の演習のうえ、毎回の実習アイテんに連続性があり、1回欠席すると、次回の実習についていけなくなることも考えられる。したがって、理由なく年間5回以上欠席した場合、自動的に除名されることにする。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	営A2選				
担当者名	西村 <sup>にしむら</sup> 和夫 <sup>かずお</sup>				

講義のねらい

【テーマ：コンピュータ科学】 文書（英論文など）の読みかた、書きかた、発表のしかた、コンピュータの利用のしかたを体得し、論理的な思考力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

入ゼミ手続き（1年次）

面接と文章完成法テストによって選考する。説明会に出席しないと、面接が受けられない。“情報処理基礎”をすでに履修している人を優先する。

演習I

- ・タッチタイプ
- ・書誌情報の検索のしかたと検索演習⇒ レポートや論文の作成に役立つ。
- ・言語によるプログラミング
- ・問題の発見と解決
- ・コンピュータの基礎知識
- ・論文の読み方と発表のしかた [1]

その他

- ◆就職活動についてのアドバイス。面接の実習。ビジネス文書の書きかた [2]。
- ◆情報処理技術者試験の受験のための学習。
- ◆合宿（年1度）・イベント（年1～2度）。

履修上の留意点

テーマは“コンピュータ科学”であって、コンピュータの操作方法ではない。コンピュータの知識がある人ではなく、やる気と実行力のある人を求む。入ゼミ者は、2年次までに“情報処理基礎”を必ず履修すること。

成績評価の方法

出席のほかに  
演習I：タッチタイプ、検索課題、レポート

参考書等

- [1] R.Graham, D.Knuth and O.Patashnik, Concrete Mathematics, Addison-Wesley, 1989.  
[2] 吉田幸生『仕事の文章が面白いほど書ける本』（中経出版）1992年

その他

西村ゼミのページ： <http://www.komazawa-u.ac.jp/~kazou/>

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	営A2選				
担当者名	羽鳥 <small>はとり しげる</small> 茂				

講義のねらい

現在の日本経済のさまざまな姿を基本データによって確認し、新しい動きを理解することが本演習の主要な課題である。

また、2002年3月にスタートした経済学検定試験（ERE）に諸君がチャレンジすることを薦めたいので、出題科目の学習についても指導する予定である。

履修上の留意点

積極的にゼミに参加することを学生諸君に要望する。

成績評価の方法

出席状況とゼミでの積極性ならびに年度末に提出する課題レポートによって成績を評価する。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

経済セミナー編集部編『経済学検定試験－ポイント解説と演習－』（日本評論社）2002年1,680円

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	営A2選				
担当者名	羽田 <small>はねだ しょうこ</small> 尚子				

講義のねらい

演習I、II、IIIを通じ、自分の興味あるテーマをデータを使って解析し、その結果から新たな発見を導けるようになることが目的です。

演習Iでは、データの扱い方とソフトウェアの使い方を覚えます。

講義の内容・授業スケジュール

ソフトウェアを使った実習が中心。必要に応じて、教科書の輪読も行います。課題を出すので（不定期）、各自実習し、結果と考察をレポートにまとめ、発表してもらいます。

前期：データの見つけ方、Excelやテキストエディタの基本的な操作方法、

Excelによる回帰分析とその応用

後期：AHPによる意思決定分析

履修上の留意点

演習I、II、IIIと継続して受講することを前提としています。

無断欠席は厳禁です。

成績評価の方法

出席状況、課題の提出状況、発表態度および理解度により総合的に評価。

教科書

柏木吉基『Excelで学ぶ意思決定論』オーム社  
高萩栄一郎・中島信之『Excelで学ぶAHP入門』



科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	営A2選				
担当者名	日野 <sup>ひの</sup> 健太 <sup>けんた</sup>				

講義のねらい

このゼミでは組織が直面するさまざまな問題を取り上げ、多角的に分析する。組織論の問題を中心に上げていくが、経営学全般について理解できるように配慮する。

演習Iでは、まず、経営組織論の基本的な文献を輪読し、組織論の見地から論じられるようになることを目的とする。理論にとどまらず、同時に具体的な問題を取り上げ、理解を深めたい。また、自分の関心のあるテーマを見つけてもらう。

講義の内容・授業スケジュール

文献輪読とディスカッションによって経営組織論の内容を学ぶとともに、工場、職場の見学を行い、現実の組織のイメージを持てるように進める。

必要に応じて、夏、秋の合宿を行う。

学年末には、1万字程度のゼミ論文を提出してもらう。

履修上の留意点

ディスカッションに参加するためには、レポーター以外の学生も予習は必須であるし、自分の考えをまとめるために、小レポート（原稿用紙2枚以下）を頻繁に課す。

成績評価の方法

出席とゼミへの積極性、レポート内容による。

教科書

開講時に指示する。参考までに、昨年度の演習Iで読破した本は、以下の3冊である。

J.アベグレン『新・日本の経営』

田尾雅夫『モチベーション入門』

W.C.キム&R.モボルニュ『ブルー・オーシャン戦略』

参考書等

有斐閣の『経済辞典』は、何かと重宝する。日経産業新聞の『日経MJトレンド情報源』は、経営学部の2年生の暇つぶし向き。

その他

わたくし自身も、学部学生時代のゼミの友人とはいまだにつきあいが深い。そういった友人を得る機会となるように望む。

無断欠席、遅刻は認めない。教室でのディスカッションのみならず、コンパ（コンパニーの略。学生などが費用を出し合って催す懇親会（広辞苑より）のことである。）等の親睦活動にも積極的に参加する学生が望ましい。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	営A2選				
担当者名	藤原 篤志 <small>よじわら あつし</small>				

#### 講義のねらい

本演習ではテーマを「企業における生産・技術・労働」としている。ゼミ生各人がこのテーマ・領域に関連して自分の興味・関心のあるテーマを選び、それについて研究を行い、4年のゼミ終了の時点までにゼミ論文を作成・完成させることを最大の目的としている。また授業の中で、ゼミ生には自分の論文の経過・成果についてプレゼンテーション（発表・報告）をしてもらい、それに対する質疑応答や議論・討論を他のゼミ生と活発に行うことにしている。以上の論文作成、プレゼンテーション、質疑応答、議論・討論を通じて、知識を吸収することはもちろん、ゼミ生各人が物事に対して疑問や意見を持ち、それらを論理的に思考し、自分の意見を的確に表現することを目指している。

#### 講義の内容・授業スケジュール

2年生（演習I）では、まずは基礎固めとして経営学全般の基本的な内容を学習することを目的としている。ゼミ生各人にはこちらから勉強テーマが与えられるので、それについてゼミの中でプレゼンテーション（発表・報告）をしてもらい、それに対する質疑応答、議論・討論を行う。その中で、報告・発表、思考、発言・表現等の能力を養っていく。また上記のように授業自体はプレゼンテーション、質疑応答、議論・討論が中心となるので、ゼミ内に全員が積極的に発言できる雰囲気を作りたい。そのため、授業時間以外のイベント（工場見学、合宿、コンパなど）には全員が参加することが原則である。

#### 履修上の留意点

以上のような内容なので、中途半端な気持ちで志願する学生には遠慮してもらいたい。勉強にしろその他のイベントにしろ、自分から常に積極的に参加・参画する姿勢が求められる。本ゼミでは何よりもやる気のある学生を歓迎する。

#### 成績評価の方法

特に出席を重視。規定の欠席回数に達したものは即除籍にする。その他、ゼミでの報告内容や参加態度も成績評価に入る。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	営A2選				
担当者名	みやぎ てつ 宮城 徹				

講義のねらい

演習 I (2年)

ゼミ生は、ゼミナールという、いわば学問的コミュニティの枠を形成し、学友間の人間的なつながりのなか一緒にディベートを重ね、かつ相互に新鮮な学問的刺激と影響をあたえあい、そのことによって、よりよい学問的環境を展開し、生活するのてなければならぬのは、言うまでもない。その一環として、このゼミの2年次と3年次のゼミ生は、それぞれ年2回のゼミ合宿を行い、親睦を深めている。

さて、このゼミは、企業という経営学の認識対象を正しく理解することを目的とし、「現代経営理論の研究」という統一テーマの下で、4年次ゼミまで3年間一貫して上述の目的達成を進める。一口に現代経営理論と言っても、さまざまな理論があるが、ここでは、企業を正しく理解するための分析枠組として大いに役立つと思われる、諸理論の研究構想・方向という程度に限定して考えてよい。

この目的のために、2年次ゼミ生は、英語圏とドイツ語圏の代表的な「組織理論」であると同時に、3年次ゼミの研究領域へのインプットと成っている、という二重の意義をもつ文献(邦訳書)を熟読し、その基本的内容や考察方法をきちんと理解し、理論認識を深めるよう努力してほしい。

※ ゼミは、毎回1人あるいは複数のリポーターが与えられた範囲をレジュメに基づいて報告し、その他のゼミ生もそれを中心にして活発にディベートするように進める。

※ ゼミの中心的素材はゼミの開始時に指示する。

※ 斎藤 孝著『学術論文の技法』日本エディタースクール出版部、平成9年、を入手のこと。

成績評価の方法

平常点評価。その際、(a) 出席を重視する。(b) 自分の思うところを述べ、他人の意見に注意深く耳を傾ける能力があるかどうかを重視する。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	営A2選				
担当者名	やまだ じゆんぺい 山田 純平				

講義のねらい

日本の会計基準は、国際的な調和化を理由に、ここ10年でかなりの変貌をとげてきたといわれる。しかし、国際的な調和化といっても、そもそも世界的に会計基準がどのような方向に向かいつつあるのか、その背景となる考え方はどのようなものか、といったことは十分に検討されているとはいえない。そこで、本演習では、企業会計に関する基礎的な知識を身につけるとともに、国際基準の動向とその基礎概念を考察する。

また、会計基準は実際に運用されてこそ意味があるのだから、現実の財務諸表を分析することを通じて、会計基準の実態面についても合わせて検討をする。

講義の内容・授業スケジュール

企業会計に関する基礎的な知識を得るためのテキストを輪読する。

履修上の留意点

原則として毎回出席すること。また、ゼミの行事にはできるだけ参加すること。

成績評価の方法

議論への参加度、報告の出来、出席率で評価する。

教科書

授業中に参加者と相談のうえ、決定する。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	営A2選				
担当者名	やまだ まさる 山田 勝				

講義のねらい

ボーダレス時代にビジネスパーソンとして活躍するためのセンスを磨くこと。

講義の内容・  
授業スケジュール

- (イ) 各自が『日本経済新聞(朝夕刊)』を毎日読む。
- (ロ) およそ2週間に1度、日経新聞の中から指定した記事に関して、日本語400字とその英訳文のレポートをメールによって提出。
- (ハ) 月1度のわりで各自のレポート内容を英語で発表し、それに関してディスカッションする。共通語は英語。

成績評価の方法

平常点評価。毎時間出席し、積極的にディスカッションに加わることが評価の対象となる。

科目名	経営学史	開講	通年	単位	4
配当	営A234選 営B234選				
担当者名	なかがわ じゆんぺい 中川 淳平				

講義のねらい

この講義では、100年あまりにわたる経営学の歴史上、重要なものと位置づけられる学説の展開を、企業経営の背景にある社会経済システムの動きと関連させながら検討する。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 経営理論のジャングルの状況、経営学前史
2. 科学的管理法と人間関係論
3. 所有と経営の分離(制度学派)
4. 近代組織論の展開
5. 社会経済構造の変動と経営学説の変容(マクロ組織論・経営戦略論)
6. 経済学の企業理論(新制度学派)
7. 企業と社会(ドイツ経営学の発展)

履修上の留意点

講義中の私語は慎んで下さい。

成績評価の方法

試験による。また必要に応じてレポートの提出を求めることがある。

教科書

適宜プリントを配布する。

参考書等

配布するプリントに適宜指示する。

科目名	ドイツ経営学	開講	通年	単位	4
配当	営A234選 営B234選				
担当者名	たかはし しげお 高橋 成夫				

講義のねらい

ドイツ経営学の性格や内容を、この学問の歴史の中で明らかにするとともに、現代のドイツの企業経営制度の特徴を解明することにある。

講義の内容・  
授業スケジュール

- I. ドイツ経営学の生成
- II. ドイツ経営学の展開
  - (1) 科学的私経済学と技術論的私経済学
  - (2) 私経済学的企業経済学と規範的・技術的経営経済学
  - (3) 理論科学的経営経済学と応用科学的経営経済学
- III. ドイツ経営学の動向
  - (1) 意思決定志向的経営経済学
  - (2) システム志向的経営経済学
  - (3) 労働志向的経営経済学
- IV. ドイツの企業経営制度

履修上の留意点

積極的に出席することが望ましい。

成績評価の方法

定期試験や出席状況等を総合して評価する。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

北野利信編『経営学説入門』(有斐閣新書)  
北村健之助『経営経済学』(学文社)

科目名	経営管理論	開講	通年	単位	4
配当	営A234選 営B234選				
担当者名	鈴木 幸毅				

**講義のねらい** 経営管理の理論と現実について、経済社会の動向、資本主義企業の現在の姿を視野に入れたつ、説明する。

**講義の内容・授業スケジュール** 下記の1、2、3を前期にとりあげ、それとの関連において後期には4を中心に講義する。

- 1 古典的理論
  - (1) テイラーの科学的管理論
  - (2) 管理過程論（職能論）
  - (3) 管理構造論（組織論）
- 2 新古典的理論
  - (1) ホーソン実験と人間関係論的管理論
  - (2) 行動科学的管理論
  - (3) 管理開発論
- 3 近代理論
  - (1) バーナード革命
  - (2) 組織論的管理論
  - (3) 意思決定論的管理論
- 4 現代理論
  - (1) 環境適応的管理論
  - (2) 戦略的管理論
  - (3) 環境問題と企業責任論

**履修上の留意点** 自主的学習を期待するので、特に出欠をとることはしないが、中間試験に代わるレポート提出を求め、その成績を期末テスト結果に加味して評価する。

**成績評価の方法** 定期テスト結果に、夏期課題レポートの成績を加味して評価する。

**教科書**

- ・鈴木幸毅著『企業と管理の理論』（税務経理協会）2001年4月（前期）
- ・後期は、別の教科書を使う。

**参考書等**

- 鈴木幸毅著『バーナード組織理論の基礎』（税務経理協会）1998年
- 鈴木幸毅著『地球環境問題と各国・企業の環境対応』（税務経理協会）2001年6月

科目名	経営組織論	開講	通年	単位	4
配当	営A234選 営B234選				
担当者名	ひの けんた 日野 健太				

#### 講義のねらい

組織論のフレームワークによって、企業をはじめとする組織を分析できるようになることを目的とする。そのための基本概念と思考方法を学ぶ。

#### 講義の内容・授業スケジュール

経営組織論の内容は、大きく分けて、組織の環境適応を扱うマクロ組織論と、組織における集団、個人を扱うミクロ組織論に大別される。この講義は、ミクロ組織論、マクロ組織論の順序で講義を進める。学生諸君が具体的なイメージを持てるように、配慮する。また、学年末の数回は、組織論の分野の新しい理論やトピックについて扱い、全体的な理解が深まるようにする。

講義の対象は以下の通り（番号と講義の回数は対応しない。また必要に応じて順序を入れ替えることがある。）。

- (1) 組織論における組織観と人間観
- (2) モチベーション
- (3) 組織文化
- (4) リーダーシップ
- (5) 組織の環境適応
- (6) 戦略と組織構造
- (7) 情報処理の理論
- (8) 知識創造理論
- (9) 資源依存モデル
- (10) まとめ

#### 履修上の留意点

どうすればうまく学べるか、を意識して欲しい。「自分の言葉でひとにわかるように説明する」ことを意識して講義に参加すること。試験前に困っている友達にノートを貸して、講義の内容を教えてあげられるようになれば完璧。

#### 成績評価の方法

後期の授業開始日に中間試験を行う。このテストのウエイトが30%程度、学年末の定期試験のウエイトが70%程度。大まかには、この二つが成績を決める。中間試験を欠席するのは、即不可ではないが、致命的である。

授業中に小テストを行ったり、講義の内容に対してフィードバックを得るために出席をとることがあるが、必要に応じて成績評価に加味する。

#### 教科書

金井壽宏『経営組織』（日経文庫）

#### 参考書等

桑田・田尾『組織論』（有斐閣）  
 大月・藤田・奥村『組織のイメージと理論』（創成社）  
 田尾『モチベーション入門』（日経文庫）  
 経営学辞典の類、例えば、二神編著『ビジネス・経営学辞典』（中央経済社）などもなにかと重宝である。

科目名	経営労務論	開講	通年	単位	4
配当	営A234選 営B234選				
担当者名	鹿嶋 秀晃 <small>かしま ひであき</small>				

#### 講義のねらい

この講義では、現代の日本企業とそこに働く労働者が抱える経営労務問題を幅広く扱っていく。具体的には経営学と経営労務論、戦後日本経済と日本の経営論、終身雇用、年功序列賃金、企業別組合制度、福利厚生制度、異動と昇進、人材形成、労働時間問題、ホワイトカラーの労働問題、女性労働問題などの小テーマを設けて講義していく。学生には経営労務論を受講することで企業と労働、社会について幅広い問題関心を持ってもらいたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義は1コマ1テーマの原則。各回の最初に「日本は本当に終身雇用なのか?」といったようなテーマを掲げ、その解説をおこなう。また、最近の新聞記事から重要な経営労務問題をピックアップして紹介する。

#### 履修上の留意点

詳細は最初の講義で説明する。出席は取らないので、出席点は無し。(1)私語は真剣に聞いている他の学生に迷惑になるのではないこと。(2)携帯電話は消音すること。ひどいときには退室してもらい、単位の認定をしない。

#### 成績評価の方法

評価は学期末試験とレポート提出の合計点で成績評価を実施する。受講者数の大小によって変更する場合もあり。

#### 教科書

テキストは年度途中で指定する予定。

#### 参考書等

津田真澄『人事労務管理』(ミネルヴァ書房)1993(定価3,000円程度)、労務学説史をわかりやすく説明したものとして渡辺峻『企業組織の労働と管理』(中央経済社)1995(定価2,600円程度)、経営労務をより体系的に深く学習するのによい白井泰四郎『現代日本の労務管理第2版』(東洋経済新報社)1992(定価3,500円程度)をあげておく。この他にも講義の中で適宜いろいろな文献を紹介していく。

#### その他

授業は講義形式でおこなうが、図表やグラフを多用し、ただ聞いてノートを取るだけでなく「頭をつかう」ような形にする。ホームページでも授業に関する情報提供をしていく。次のURLを参照。<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kashima/>



科目名	生産管理論	開講	通年	単位	4
配当	営A234選 営B234選				
担当者名	藤原 <sup>よじわら</sup> 篤志 <sup>あつし</sup>				

### 講義のねらい

生産管理は製造企業における一経営活動である生産活動の管理であり、財の生産に投入する生産諸要素（資材、設備、労働力）を総合的に調整することにより、企業の生産効率を最大にすることを目的として展開されている。そしてそれは機能別・職能別に様々な管理・活動から構成されている。

本講義では様々な管理・活動から成る生産管理を体系的に解説する。また企業内の管理機能としての生産管理に留まらず、企業内外での生産に関する諸活動、諸現象、諸問題についても幅広く取り上げて解説したい。

また本講義では生産や生産管理と密接に関連していることから労働者による労働も考察の対象としている。

### 講義の内容・授業スケジュール

前期では、まず最初に企業の生産活動に関する基本的な用語の解説・確認を行う。その後、様々な管理・活動から成る生産管理を体系的に解説したい。

後期では、まず生産システムの歴史的展開として、テイラー・システム（科学的管理法）、フォード・システム、トヨタ生産システムについて解説する。その他、生産の機械化、自動化・オートメーションの展開について講義を行う予定である。その他、時間があれば、新たな生産方式（セル生産方式やモジュール生産方式）についても取り上げる。

以上の内容の講義と並行して経済専門紙や専門雑誌の記事を紹介しながら、最近の生産上の問題や生産の効率化に関する企業での取り組みについて解説を行いたい。

### 履修上の留意点

講義中の私語は厳禁である。私語や携帯電話の呼出音等、講義を妨げる者は即座に退室扱いになり、また場合によって減点や単位取得不可になることもあるので注意すること。

### 成績評価の方法

主として定期試験で行う。またレポートの課題が出ることもあるが、その場合は事前に通知する。

### 教科書

指定しない。

### 参考書等

山下高之『体系生産管理論』（中央経済社）1990年  
その他、講義の中で指示する。

科目名	マーケティング論	開講	通年	単位	4
配当	営A234選 営B234選				
担当者名	兼村 栄哲 <small>かねむら えいてつ</small>				

#### 講義のねらい

社会的分業体制が成立している今日の経済においては、生産と消費の間に、財ないしサービスの生産者と消費者が人格的に分離したことから生じる主体的懸隔、商品の生産者と消費者が、それぞれ、相手の事情に関する情報を欠如していることから生じる情報的懸隔、商品が生産される地点とそれが消費される地点が異なることから生じる空間的懸隔、商品が生産される時点とそれが消費される時点が異なることから生じる時間的懸隔といったさまざまな経済的懸隔が発生している。

マーケティングとは、こうした経済的懸隔を架橋することにより、円滑な交換（の連鎖）を実現し、ひいては、消費者が生産者が生産した商品を消費することを可能にする活動をいい、社会経済的な観点に立ったマクロ・マーケティング（流通とほぼ同義）と、個別企業のマネジメントの観点に立ったマイクロ・マーケティング（いわゆる「マーケティング」）に大別される。マーケティング論は、以上の2つのマーケティングのメカニズムを研究する学問である。本講義のねらいは、各履修者が、マーケティング論における基本的な概念ないし理論などを正確に理解することにある。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 マーケティングの二義性
- 2 流通機能の意義と領域
- 3 流通機構の意義
- 4 流通機関の意義と分類
- 5 商業者の分類
- 6 小売業者の分類
- 7 マーケティング・コンセプト
- 8 企業におけるマーケティングの役割
- 9 マーケティング管理
- 10 製品政策
- 11 価格政策
- 12 プロモーション政策
- 13 チャネル政策

#### 履修上の留意点

講義中に印刷物を配布することがあるが、この印刷物は当該講義時間内にしか配布しない。やむを得ない事情により、印刷物配布時に欠席した場合には、次回講義までに知人に印刷物をコピーさせてもらうこと。

#### 成績評価の方法

テスト 90点  
出席状況 10点（5回の抜き打ち調査による。）

#### 参考書等

宮澤永光監修『基本流通用語辞典』〔改訂版〕（白桃書房）2007年  
宮澤永光・亀井昭宏監修『マーケティング辞典』〔改訂版〕（同文館）2003年

科目名	経営財務論	開講	通年	単位	4
配当	営A234選 営B234選				
担当者名	高田 <small>たかだ みつあき</small> 光明				

#### 講義のねらい

経営財務論は、企業という組織体の財務活動を研究対象とする学問分野である。今日、企業の財務という場合、企業による資本の調達と運用をいっている。企業は、その活動を営むに際し、原材料などの財貨や労働力を確保しなければならない。そのために元手となる資本を必要とする。資本の調達とは、この元手となる資本を集めることをいう。そして調達した資本で、企業は、原材料などの生産要素を取得して、製品を生産し販売するという活動を遂行する。これが資本の運用である。

資本の源泉は、それぞれ異なる特徴を持っている。したがって、生産要素の取得を賄うために必要とする資本を、どの源泉からどのくらいずつ調達するかは、企業のその後に大きな影響を与える。この授業では、以上の問題意識のもとに、次のスケジュールにしたがって講義を進め、経営財務に関する基礎的知識・基本的考え方を身に付けることを主要目的とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. 経営財務の領域
2. 資本と資産
3. 資本の分類
4. 資本の運用形態
5. 資金調達方法の特徴
6. 資金調達の基本原則
7. 流動・固定分類法の重要性
8. 資金概念
9. 企業利益の概念
10. 減価償却費の性格
11. キャッシュ・フロー
12. リスクとリターン
13. レバレッジ
14. 資本のコスト
15. 続・資金調達の基本原則
16. 資金調達の手順

#### 成績評価の方法

期末の筆記試験による評価を原則とし、出席点を加味する。

科目名	経営戦略論	開講	通年	単位	4
配当	営A234選 営B234選				
担当者名	なかむら こういち 中村 公一				

#### 講義のねらい

経営戦略論は、現実の企業経営と密接に関連している実践的要素の強い科目である。受講生が企業に就職した時に、その企業が属する業界がどのように動いており、それに対応して企業が採っている戦略を理解することは、自分達の仕事の意義を考える上でも有効なことである。さらに、就職活動の時にも、希望する企業の動向を把握することは重要な選択要因の1つとなるだろう。

本講義では、さまざまな企業の置かれている環境とそれに対する経営戦略を理解し、実践的な場面でも応用できる知識と考え方を提供することを目標に進めていく。そこで、新聞やビジネス誌などをもとに、実際の経営戦略をケースとしてできるだけ取り上げるようにする。

そして、なぜこの企業はこの戦略を採るのか、その戦略によってどのような効果が期待されるのか、ということに関して、古典から最先端の理論を使って解釈することを焦点に講義を行う。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義のテーマは、企業の成長戦略と競争戦略にある。これは、経営戦略論の中心的概念であり、企業が存続し発展していくには成長が必要であり、そのためには他企業との競争が避けられないからである。講義内容は、1回の講義で1つのトピックの理解に努める。

1. 経営戦略の基本課題（経営戦略とは何か、戦略の概念、経営戦略論の発展；学説的系譜、外部環境分析・内部資源分析、戦略の策定と実行、現代企業の経営戦略、組織変革との関係など）

2. 企業の成長戦略（企業の成長とは何か、事業領域の決定、多角化戦略、内部成長戦略；研究開発戦略、外部成長戦略；M&A・アライアンス、グループ戦略、グローバル戦略など）

3. 企業の競争戦略（企業の競争とは何か、競争上の優位性、価値連鎖；バリューチェーン、コア・コンピタンス、コーポレート・ブランド、ビジネスモデル、ナレッジ・マネジメント、イノベーションなど）

以上は、講義で扱う主要テーマであり、この順番通りに行うわけではない。また、1回の講義の中で複数のテーマを扱う場合もある。

#### 履修上の留意点

経営戦略論は、実際の企業活動と密接に関連しているために、日頃から新聞や雑誌などで関連する記事にはできる限り目を通すことが望まれる。

注意点としては、講義に対する妨害行為（私語、携帯電話など）には厳しく対処する。1人（数名）の愚かな行為により、他の真面目な学生に迷惑をかけ、講義自体の雰囲気が悪くなるために、教場を友人との話す場として考えている者は出席しないこと。

#### 成績評価の方法

年度末の定期試験を中心に、レポート課題や、授業中に実施する小レポートなども成績評価に含める。

#### 教科書

授業中にレジュメを配布して、それに基づいて講義を進める。1回の講義で1つの重要テーマに関する内容を学習する。

基本図書や参考文献などは授業中にその都度指摘する。

#### 参考書等

・中村公一『M&Aマネジメントと競争優位』（白桃書房）

科目名	ベンチャー企業論	開講	通年	単位	4
配当	営A234選 営B234選				
担当者名	許 <small>きよ のぶえ</small> 伸江				

講義のねらい

経済の停滞が長引く中、活力あるベンチャー企業への関心が高まっている。本講義は、ベンチャー企業の意義、歴史、特徴等について理解することをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

前期の講義では、ベンチャー企業台頭の経済社会的背景について理解するため、主に中小企業に焦点を当てる。その中で、企業家（起業家）、イノベーション、企業成長プロセス、および資金調達等のテーマについてもとり上げることとする。

後期の講義では、ベンチャー企業の経営的特徴について、より詳しくみていく。必要に応じて、ベンチャー企業のケースもとり上げる。

成績評価の方法

期末テストにより成績評価を行う。かつ、授業中の小レポート等も加味する。

教科書

教科書は使用せず、ノート講義形式とする。

その他

授業方法は、講義形式とする。

科目名	環境経営論	開講	通年	単位	4
配当	営A234選 営B234選				
担当者名	川村 <small>かわむら まさひこ</small> 雅彦				

講義のねらい

企業の経営戦略として、環境対策と環境経営の違いを理解する。

講義の内容・授業スケジュール

①前期の講義内容：環境経営（理論編）

- ・日本における環境経営の変遷
- ・環境経営の必要十分条件
- ・市場のグリーン化
- ・環境リスク
- ・環境経営指標（環境効率）
- ・環境経営のバウンダリー問題

②後期の講義内容：環境経営（実践論）

- ・環境先進企業（日本企業）
- ・環境先進企業（欧米企業）
- ・環境マネジメントシステム
- ・温暖化ガスの排出権取引
- ・環境格付とSRI（社会的責任投資）
- ・環境経営からCSR経営へのシフト

履修上の留意点

受講に先立ち、学生各位が考える「環境優良企業」を異なる業種から3社選び、その理由をごく簡単にまとめておくことを希望する。

成績評価の方法

出席（20点）、中間レポート（30点）、試験（50点）の合計100点とする。

教科書

授業でレジュメを配布するので、特に既存の図書は指定しない。

参考書等

必要に応じ、授業で指示する。

その他

講義形式とゼミ形式を併用し、授業単位でレジュメを配布する。

科目名	経営史	開講	通年	単位	4
配当	営A234選 営B234選				
担当者名	まえだ かずとし 前田 和利				

#### 講義のねらい

経営史を学ぶことによって企業経営の変化のダイナミズムを理解することが可能となる。本講義では、方法論を検討したうえで、経営発達史における各段階の典型国をとりあげて講義するが、その際できるだけ産業・企業の歴史や国際比較の視点をふまえて論じていく。その結果、日本の企業経営の特質を鮮明に浮かび上がらせることができよう。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- I. 経営史研究の課題と方法
  - II. 企業経営発達史
    1. 企業経営の生成  
商人資本の経営、マニファクチュア経営
    2. 企業経営の確立  
産業革命、工場制度、企業経営の諸様相－企業経営者のタイプと理念、企業・経営諸機能
    3. 企業経営の発展  
市場と技術、大量生産システム、大企業の形成と戦略・組織、巨大企業の成立と管理機構
    4. 企業経営の変容  
大企業体制の動揺と新動向－管理組織の変遷を中心として
- 以上のうち、前期において企業経営の諸様相の一部まで終える。なお、後期には進行速度に応じて日本の企業経営の変革について論じる予定である。

#### 履修上の留意点

教科書は使用しないので、授業開始時に配布するレジюмеおよび下記の参考書を参照し、必ずノートを整理しておくこと。年に数回簡単な問題等を提示して回答してもらう予定である。

#### 成績評価の方法

学年末試験による評価を原則とするが、出席時に提出した回答を多少考慮する。

#### 教科書

使用しない。

#### 参考書等

榎本悟『アメリカ経営史学の研究』（同文館）、大河内暁男『経営史講義』（第2版）（東京大学出版会）、米倉誠一郎『経営革命の構造』（岩波新書）、安部悦生『経営史』（日経文庫）、鈴木良隆ほか『ビジネスの歴史』（有斐閣）、経営史学会編『外国経営史の基礎知識』（有斐閣）、下川浩一『「失われた十年」は乗り越えられたか』（中公新書）  
その他随時紹介する。

科目名	日本経営史	開講	通年	単位	4
配当	営A234選 営B234選				
担当者名	おおしま ひさゆき 大島 久幸				

講義のねらい

株主との利害調整、持株会社の機能、経営者の役割など現代企業が直面する様々な問題に対処するうえで、近代以降の企業経営の歴史から多くの示唆を得ることができよう。本講義では、近代日本において経済発展を担う主体として、また日本的な企業類型の主要なルーツとして中心的な地位を占めてきた財閥に着目して、それら財閥が、どのようなプロセスで誕生し、日本の経済発展とともにどのように成長していったのかという点を考察し、そこから日本経済の歴史的な起源や日本の経済発展を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】1. 財閥の定義 2. 幕末維新の危機 3. 資本生社会論 4. 政商の誕生 5. 政商と華族資本 6. 政商からの脱皮 7. 運輸・通信システムの建設 8. 産業化の光と影 9. 家政改革と家憲 10. コンツェルンと持株会社 11. 専門経営者の登場（1） 12. 専門経営者の登場（2） 13. 前期のまとめ  
【後期】1. 第一次大戦期における商社ブームと破綻 2. 三井物産の形成 3. 鈴木商店と金融恐慌 4. 都市化の進展と大衆生活の洋風化 5. 三大財閥の覇権 6. 恐慌とドル買い事件 7. 財閥の転向 8. 戦時体制と財閥 9. 財閥解体 10. 企業集団の形成 11. 高度成長期の日本経済 12. 高度成長期の専門経営者 13. 後期のまとめ

成績評価の方法

前期試験と定期試験で総合的に評価する。

教科書

武田晴人『財閥の時代』（新曜社）1996年

参考書等

宇田川勝・中村青志『マテリアル日本経営史』（有斐閣）1999年。老川慶喜・仁木良和・渡邊恵一『日本経済史』（税務経理協会）2002年。

科目名	商業史	開講	通年	単位	4
配当	営A234選 営B234選				
担当者名	やまだ まさる 山田 勝				

講義のねらい

大変革の渦中にある現下の商業経営を、歴史的視点から見つめ直し、変革の方向と意味を考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 〈A〉生産主導の商業
  - (1) 商業史の意義と講義の目的
  - (2) パラダイムの発展
  - (3) 利益と継続性
  - (4) 商品と市場
  - (5) 大衆消費社会の特徴
- 〈B〉需要主導の商業
  - (1) 消費スタイルの変化
  - (2) 充足から満足度重視へ
  - (3) 多様化の要因
  - (4) 「サービス」商品の特徴
  - (5) IT革命と商業経営
  - (6) 生活（文化）の変革と商業

履修上の留意点

教科書の内容を講義で補充していくので、出席はとらないが聴講に努め質問をして欲しい。講義中の私語は他の受講生に迷惑となるので厳禁とする。

成績評価の方法

定期試験による。

教科書

山田勝『商業史概論』（創成社）3,000円（消費税別）



科目名	保険経営論	開講	通年	単位	4
配当	堂A234選 堂B234選				
担当者名	いしなざか くにあき 石名坂 邦昭				

#### 講義のねらい

本講義においては、保険学のアプローチとして近年一般化しつつあるリスク・マネジメントの基本的事柄につき理解した後に、保険理論の基本的知識を正確にし、わが国の保険事業並びに一般企業がかかえているリスクに関する諸問題にどのように対処したらよいかの応用能力が持てるようになることを目標とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

保険学の研究は、保険法学的アプローチ、保険経済的アプローチ、保険経営学的アプローチとそれぞれの時代を背景に論じられてきた。今日、保険学研究については保険経営学的研究をより発展させた、「危機管理論」(リスク・マネジメント)研究が主流となっている。本講義においては、最初にリスク・マネジメントの基本体系について論じ、リスク・マネジメントの理論、歴史的発展について見た後に、リスク・マネジメントの中心となる保険の機能、保険本質、保険技術について詳しく見ていきたい。

前期はリスク・マネジメントを中心とした講義を行い、後期に保険論を中心とした講義を行う。講義は、理解しやすいように工夫をこらしていく。教科書は使用するが、それは本講義を理解するための基本的共通知識として使用し、講義は教科書に書かれている事柄が理解されていることを前提として進めていく。

#### 履修上の留意点

保険およびリスク・マネジメントを理解するためには使用される専門用語を理解されていなければならず、学ぶことも広範囲にわたるため、講義を受ける前に必ず教科書を読み講義後の復習も忘れないようにしてほしい。学生諸君の積極的な授業への参加を望む。

#### 成績評価の方法

講義への出席状況および授業時の質疑応答と定期試験の結果を総合して成績評価を行う。

#### 教科書

石名坂著『リスク・マネジメントの理論』(白桃書房) 3,500円

#### 参考書等

石名坂著『ファミリーリスク・マネジメントと保険』(白桃書房)  
石名坂著『リスク・マネジメントの基礎』(白桃書房)

科目名	銀行経営論	開講	通年	単位	4
配当	営A234選 営B234選				
担当者名	はつとり よしかさ 服部 昌久				

#### 講義のねらい

金融制度は一国の歴史的発展の産物であり、その国の繁栄を築くための社会的インフラである。社会が今日のように大きな変革期にあるときには、長期的な展望に立って変化を先取りして新たな制度を構築しなければならない。経営環境が大きく変化した中で、銀行は新たな道を求めて模索しているが、本講義においては、戦後のわが国の金融システムの変遷を振り返るとともに、欧米主要銀行の動きにも注目しながら、利用者のニーズに応える銀行のあるべき姿を探りつつ、時事問題も含め、銀行経営にかかわる諸問題を、わかりやすく解説する。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

講義はおおよそ次のような内容を予定している。

- (1) わが国の金融制度の沿革と特徴
- (2) 銀行の機能
- (3) 銀行の業務
- (4) 銀行経営と業績の見方
- (5) 銀行経営とリスク管理
- (6) 信用秩序の維持と諸規制
- (7) これからの銀行経営のあり方

#### 履修上の留意点

講義は基本的な事柄を取り上げ、わかりやすく解説するよう心がけるが、それでも不明な点があれば、質問を歓迎する。

#### 成績評価の方法

学年末の定期試験（参照物の持込不可）（50%）、レポート（45%）、授業への出席（5%）を総合して評価する。  
レポートの課題は開講時に指示する。

#### 教科書

指定しない。

#### 参考書等

- ・高木仁、高月昭年『入門 日本の金融機関』（東洋経済新報社）2000年 2,900円
- ・鹿野嘉昭『日本の金融制度（第2版）』（東洋経済新報社）2006年 3,800円
- ・藪下史郎、武士俣友生『中小企業金融入門』（東洋経済新報社）2002年 2,800円
- ・全国銀行協会金融調査部『図説わが国の銀行（2003年版）』（財経詳報社）2003年 2,200円
- ・星岳雄・A.カシャップ『日本金融システム進化論』日本経済新聞社 2006年 2,800円

科目名	商業経営論	開講	通年	単位	4
配当	営A234選 営B234選				
担当者名	石川 <small>いしかわ</small> 和男 <small>かずお</small>				

### 講義のねらい

人は日々にモノやサービスを購入し生活している。またこれらの活動なしには人々の生活が成立しなくなっている。本講義では主に人々（消費者）にモノやサービス（特にモノ）を販売する主体（商業者）の行動を取り上げる。分野として大きく分けると4つの分野から構成されている。1）商業・流通の概念とその機能、2）商業者（流通業者）の現状とその行動、3）販売に関する技術と方法、4）商業者を取り巻く外部環境と内部環境についてである。これら4つの面から多面的に商業者の組織的行動である「商業経営」をとらえてもらえればと考えている。また受講生には受け身の姿勢ではなく、積極的に疑問に思い、解決を探る姿勢が身につけられるように期待したい。

### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 開講にあたって（受講上の諸注意）
- 2 商業とは、流通とは（商業概念、流通概念）
- 3 流通機能と流通機構
- 4 流通機能I（商的流通と物的流通）
- 5 流通機能II（流通情報と流通情報システム）
- 6 流通補助機関の役割
- 7 小売とその営業形態
- 8 小売業の構造と変化
- 9 小売マーケティング
- 10 卸売とその営業形態
- 11 卸売業の構造と変化
- 12 卸売マーケティング
- 13 卸売マーケティングの事例
- 14 予算管理と販売管理
- 15 商品回転率と価格政策
- 16 仕入管理と売買契約
- 17 在庫管理
- 18 消費者行動の変化
- 19 商業立地と商業集積
- 20 商業・流通を取り巻く法的環境
- 21 流通政策I（競争政策と振興政策）
- 22 流通政策II（調整政策）
- 23 中小零細商業者問題
- 24 中小零細商業者の将来
- 25 日本の商業環境と商慣行I
- 26 日本の商業環境と商慣行II
- 27 これまでの講義のまとめ

### 履修上の留意点

- 1 遅刻、早退、中抜けをしない
  - 2 授業中は携帯電話の電源を切る（発見した場合はその場で受講中止）
  - 3 他人との会話などを授業中はしない
  - 4 帽子の着用、飲食しないなど最低限のマナーは守る
  - 5 公欠の取り扱い（運動部の人は必ず公式試合などの場合は提出のこと）
  - 6 その他
- ・第1回目の授業時に詳細な注意事項を書いたプリントを配付する

### 成績評価の方法

授業への参加意欲（出席点） 約30%  
 中間レポートまたは中間試験 約30%  
 期末試験 約40%  
 授業中のボーナス加点  
 年度内に販売士試験2級に合格した者は加点

### 教科書

青木・石川・尾崎・斎藤(2007)『流通論』創成社

参考書等

石川和男(2004)『基礎からの商業と流通』中央経済社  
 鈴木安昭(2004)『新・流通と商業(第3版)』有斐閣  
 小宮路雅博編著(1997)『現代の小売流通』同文館

その他

第1回目の授業時に詳細な説明を行うので、必ず第1回目の授業から出席のこと。  
 連絡方法は、授業時に指示する。

科目名	上級簿記	開講	通年	単位	4
配当	営A234選 営B234選				
担当者名	田辺 正				

講義のねらい

この講義は「簿記学」を習得した学生を対象とし、通年で日商簿記検定2級から1級程度の商業簿記の知識を身につけることを目的としています。  
 投資家、債権者、取引先、課税当局などの外部利害関係者に対して、企業は経済活動及び経済事象を財務諸表等によって報告する役割があります。しかし、企業では経営の多角化及び国際化の傾向が急速に強まり、これにともなって取引も複雑化してきました。したがって、企業は高度な会計知識をもった会計技術者を必要としています。問題意識をもって積極的な姿勢でこの講義を受講することを強く望みます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 現金預金取引
2. 銀行勘定調整表
3. 有価証券
4. 手形取引
5. 引当金
6. 特殊商品売買取引
7. 固定資産
8. リース
9. 社債
10. 本支店会計
11. 合併
12. 連結会計

履修上の留意点

必ず電卓を用意してきてください。

成績評価の方法

小テスト及び期末テストによって総合的に評価します。

教科書

加古宜士、渡部祐亘編著『新検定簿記講義2級商業簿記』(中央経済社)

参考書等

加古宜士、渡部祐亘編著『新検定簿記ワークブック2級商業簿記』中央経済社(教科書と併せて購入すれば検定試験対策になります。)

その他

是非、日商簿記検定2級を目指してみてください。教科書は『簿記講義』を使用しますが、各項目ごとに出来るだけ丁寧に説明していきます。ただ、『ワークブック』も購入して勉強していただければ、より効率があがると思われます。

科目名	財務会計論	開講	通年	単位	4
配当	営A234選 営B234選				
担当者名	渡邊 恵一郎				

講義のねらい

財務会計論は会計学の一分野であり、企業の経営成績と財政状態を明らかにするという基本的職能を取り扱っている。財務会計の目的は、企業経営に責任を負う経営者に、投資者、債権者その他企業と利害関係を持つ外部の人々に対して、適切な企業財務情報を提供させることにある。この主たる手段が、損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書などの財務諸表である。

講義では、財務諸表を作成するための会計処理（測定）と表示方法（伝達）を中心的課題とし、またこれに関するわが国の会社法、税法などの会計法規も取り上げ、さらに国際会計基準との関連にも触れる。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容はおおむね下記の教科書によることとし、この授業スケジュールは次のとおりである。

- (1) 4～5月 財務会計の機能と制度、利益計算の仕組み、会計理論と会計原則
- (2) 6～7月 利益計算と資産評価の基本原則、現金預金と有価証券、売上高と売上債権、棚卸資産と売上原価
- (3) 9～10月 固定資産と減価償却、繰延資産、負債、純資産
- (4) 11～12月 財務諸表の作成と公開、連結財務諸表、外資建取引等の換算

履修上の留意点

毎時間の出席率と宿題提出（年1回）を重視する。

成績評価の方法

成績評価は、出席率、宿題提出及び定期試験点数の総合による。

教科書

桜井久勝著『財務会計講義』（中央経済社）

参考書等

日本公認会計士協会編『監査小六法』（中央経済社）

その他

- (1) 授業の方法は、講義による。(2) 簿記学・会計学の単位を修得していること。

科目名	会計監査論	開講	通年	単位	4
配当	営A234選 営B234選				
担当者名	あべ かずひと 阿部 一人				

講義のねらい

“監査論を無味乾燥であるとエスケープしないでくれたまえ”

もともと監査論は、その言葉自体がもつ語感からして、堅苦しく・手続的で暗いイメージを与えがちである。

監査論は他人の不実行為を暴くこと自体を目的とするものではないので、仮にその結果、内容のどこにも非のうちどころがなく全く適切で妥当なことが明らかになったとしても、それはむしろ当然の事柄であって、その人が負っている責任を免れることにもなるのである。

監査は、優れて社会的・人間的な用具として生みだされたものであるが、しかしそれを悪用したり骨抜きにしたりする者も現実には存在することは、過去の事例からも明らかなことであるけれども、そのような者が多ければなおのこと監査に対する社会的な要望も多岐に存在している。

まさに、監査がどれだけ社会一般に受け入れられているかということこそ、文明社会を映し出す尺度であると言えまいか！

監査論は財務諸表監査として特徴づけられている。

これは、企業をめぐる多数の利害関係者を保護するため、企業の発表する財務諸表が企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて、職業的監査人が公正な立場から批判的意見を表明する社会制度であり、他のあらゆる監査の標準をなすものである。

本講義では、財務諸表監査を中心として、さらに監査役監査ならびに内部監査をはじめ最近の経営監査、監査の国際化などの関連領域をも含めて論及する。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 会計監査の意義と目的（総論）（1）
  - （1）監査の必要
  - （2）監査の意義
  - （3）監査の対象
2. 会計監査の意義と目的（2）
  - （1）監査の目的
  - （2）監査思想の変遷
  - （3）監査の効用
3. 監査の機能
4. 会計上の誤謬と不正
5. 監査の種類
6. 会計監査と財務諸表監査
7. 我国の監査制度
  - （1）証券取引法監査
  - （2）商法監査
  - （3）その他の監査制度
8. 監査基準（1）
  - （1）必要性
  - （2）生成と展開
9. 監査基準（2）
  - （1）意義
  - （2）体系
  - （3）一般基準
  - （4）実施基準
  - （5）報告基準
10. 監査人
11. 監査証拠
12. 監査計画
13. 内部統制
14. 試算
15. 監査技術と監査手続
16. 監査調書
17. 監査報告書
18. 連結財務諸表の監査
19. 中間財務諸表の監査
20. システム監査
21. 国際監査基準
22. 現代監査論の動向
  - （1）監査概念の拡大化
  - （2）監査保証に程度の差を認める監査概念

履修上の留意点

「簿記学」「会計学」の科目を履修済みであることが好ましい。

成績評価の方法

評価の方法は、前期と後期の定期試験、レポート（夏季）および出席状況を考慮して、総合的に判定する。なお、最初の講義時に詳細な講義内容、試験の方法および評価の方法等について説明するので、受講希望者は必ず出席すること。

教科書

小関・柳田共著『監査論セミナー 改訂版』（東京経済情報出版）3,200円

参考書等

田島四郎『最新監査論』（税務経理協会）2,900円  
 高田正淳『最新監査論』（中央経済社）2,800円  
 鳥羽至英『監査基準の基礎』（白桃書房）3,900円  
 三澤 一『会計監査の理論』（中央経済社）2,800円  
 山杵忠恕・松田信男『監査基準精鋭精説』（税務経理協会）3,500円  
 脇田良一『財務諸表監査の構造と制度』（中央経済社）3,800円

科目名	原価計算論	開講	通年	単位	4
配当	営A234選 営B234選				
担当者名	岸田 隆行				

講義のねらい

原価計算は特に製造業において必須の技術である。原価計算は一方で財務会計を支え、一方で管理会計を支えており、会計を学ぶものにとっては必ず習得しておかなければならない知識である。

原価計算の計算理論はすべて企業の製造プロセスの実態を数字として表すにはどのようにすべきであるのかを理論化したものである。理論の背景には企業の製造プロセスや環境変化がある。単に公式を覚えて、計算ができるようになるだけでなく、実態を正確に表すためにはどのような計算方法をとるべきなのか、また、計算された数字がどういう意味を持つのか、自ら考えられるようになってもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期	後期
① 原価計算とはなにか	① 個別原価計算（1）
② 原価計算の機能と原価概念	② 個別原価計算（2）
③ 工業簿記（1）	③ 総合原価計算（1）
④ 材料費計算（1）	④ 総合原価計算（2）
⑤ 材料費計算（2）	⑤ 工程別総合原価計算
⑥ 労務費計算	⑥ 組別・等級別総合原価計算
⑦ 経費計算	⑦ 工業簿記（2）
⑧ 製造間接費（1）	⑧ 標準原価計算（1）
⑨ 製造間接費（2）	⑨ 標準原価計算（2）
⑩ 部門別原価計算（1）	⑩ 直接原価計算（1）
⑪ 部門別原価計算（2）	⑪ 直接原価計算（2）
⑫ 中間試験	⑫ 活動基準原価計算（ABC）

履修上の留意点

原価計算を習得するためには自ら計算を行うことが必要である。講義では随時小テストを行い、知識の定着をはかる。受講するにあたっては、必ず、電卓を持参すること。

成績評価の方法

前期末に行う中間試験30点、年度末の定期試験70点に講義中に、随時行う小テストの結果を加味して評価する。

教科書

特に指定しない。毎回プリントを配布する。

参考書等

講義の進行にしたがって、下記のテキストを自ら進めていくことが望ましい。  
 木島淑孝・高橋史安・吉川武男『コスト・アカウンティング・セミナー』（税務経理協会）

科目名	税務会計論	開講	通年	単位	4
配当	営A234選 営B234選				
担当者名	たかき かつみ 高木 克己				

講義のねらい

今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。ここ数年、法人税も税率の引き下げをはじめ、多くの改正が行われている。本講義では、普通法人（株式会社等）を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、会社法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。ここでは、法人税法固有の規定（いわゆる別段の定め）が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容の概要は次のとおりである。

1. 法人の種類及び課税所得の範囲等
2. 同族会社と青色申告
3. 課税所得の計算構造
  - (1) 企業利益と課税所得の関係
  - (2) 益金の額及び損金の額
  - (3) 公正処理基準及び資本等取引
4. 収益の計上基準についての原則的な考え方
  - (1) 引渡基準
  - (2) 特殊販売収益の計上基準
  - (3) 役務、請負、譲渡収益等の計上基準
5. 受取配当金益金不算入
6. リース取引
7. 給与（報酬、給料、賞与）の税務処理基準
8. 交際費及び寄付金
9. 有価証券、棚卸資産、固定資産、繰延資産等の税務処理
10. 圧縮記帳
11. 引当金と準備金
12. 企業を巡る国際課税の問題
  - (1) 移転価格税制
  - (2) タックス・ヘイブン対策税制
  - (3) 外国税額控除制度
13. 法人税額の計算

履修上の留意点

「簿記学」「会计学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。

成績評価の方法

原則として学年末の試験によって評価する。レポートは年1回程度提出を求める。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

開講時に指示する。



科目名	経営分析論	開講	通年	単位	4
配当	営A234選 営B234選				
担当者名	かたぎりのお 片桐 伸夫				

#### 講義のねらい

経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
  - 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
  - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
  - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、
  - 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、
- といった内容です。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期は、企業の毎期の経営活動を報告する「貸借対照表」や「損益計算書」などの「財務諸表」の読み方をまず説明し、安定性・収益性分析を学習します。

後期は生産性・成長性・社会性分析や、さらに、損益分岐点・利益増減その他の分析を取りあげます。

「各自が企業の経営を分析できるようになる」ため、授業で必要最小限の理論を学び、ただちに、新聞などの最新のトピックによって企業の現実にふれます。

#### 履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、ささやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

#### 成績評価の方法

成績評価はレポートと授業中のテストで行います。学年末試験は行いませんのでご注意ください。

\*レポート・テーマ：前期「各自が関心を持っている企業の収益性・安定性分析」

：後期「各自が関心を持っている企業の成長性その他の分析（続）」

☆提出日（授業はじめに配布するシラバスに明記）以外は受け付けませんのでご注意ください。

\*テスト範囲：財務諸表数値を用いた経営比率の算出問題。

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおいでください。

#### 教科書

開講時、指示します。

#### 参考書等

随時、紹介します。

科目名	国際会計論	開講	通年	単位	4
配当	営A234選 営B234選				
担当者名	やまだ じゆんぺい 山田 純平				

講義のねらい

近年、経済活動がグローバル化し、生産や販売、資金調達などの活動を、国内のみならず、海外でも活発に行っている企業がみられます。トヨタやソニーなどは、そういった国際企業のひとつといえるでしょう。

このような企業活動のグローバル化という流れを受けて、会計の分野においても急速な国際化が進みつつあります。これまでは、会社法・税法などの法律と会計との関係が問題とされることが多かったのですが、最近では、それよりもむしろ、国際基準と日本国内の会計基準との関係の方が注目されています。

そこで、この講義では、①会計基準の国際化が進んでいる現状と問題点、②具体的な会計基準の動向とその背景となる考え方（特に国際基準と日本基準が異なる分野を重点的に）、③多国籍企業の財務諸表分析、といったことを中心に解説をしていきます。

講義の内容・授業スケジュール

この講義を受講することで、以下の点を理解することが望まれます。

- (1) 会計基準が国際的に収斂化しつつある一方で、国際基準をそのまま受け入れればむという単純な問題ではないこと。
- (2) 会計基準が国際的に収斂していくなかで、考え方の違いから差異が残されてしまうこと。また国際基準で提案される考え方自体がこれまでの実務に根ざした考え方とは異なること。
- (3) 現実の財務諸表における会計基準の適用と財務諸表の分析の仕方。

履修上の留意点

簿記学や会計学の履修を前提とします。ただし、授業の内容を理解するのに必要な基礎的知識については、そのつど解説します。

成績評価の方法

試験50%、小テスト30%、出席・課題20%。

教科書

開講時に指定します。

参考書等

授業中に紹介します。

科目名	経済政策	開講	通年	単位	4
配当	営A234選 営B234選				
担当者名	みよし こうよう 三好 向洋				

講義のねらい

経済政策に関する新聞やテレビのニュースについて、どのような意味をもつのか、使われている用語の意味から理解できるようになることを目指します。

成績評価の方法

数回のレポート及び期末試験

参考書等

マンキュー経済学（東洋経済新報社）マクロ編・ミクロ編

科目名	財政学	開講	通年	単位	4
配当	営A234選 営B234選				
担当者名	速水昇 <small>はやみ のぼる</small>				

講義のねらい

私たちの日常生活は、そのほとんどの側面で直接・間接的に政府の経済活動の恩恵を受けている。たとえば、出掛けに傘を持っていくべきか否かは、適確な天気予報によって判断できるし、病気や怪我をしたときにかかる医療費は医療保険のおかげで実際に支払った額の数割程度ですむ。また、道路・港湾などの社会資本整備は公共部門が供給しているなど、政府はさまざまな役割を担っている。さらに金融不安、国債の累積残高、高齢化・少子化社会、規制緩和など政府が解決しなければならない問題が非常に多くある。

その反面、わが国の政府は、平成17年度末で国債の発行残高が約538兆円、地方公共団体の赤字が約205兆円、これに約28兆円の旧国鉄の債務や「隠れ借金」といわれる林野事業等の特別会計の借金などを加えると、財政赤字は実に約774兆円になる。この数字は17年度わが国のGDP見込みの151.2%に相当する。EU（ヨーロッパ連合）の基準だと健全な国家の財政赤字はGDPの60%とされているから、わが国の財政はいかに不健全な状態であるかが理解できる。最近の景気低迷、これから高齢化・少子化社会に向けて、納税者としての立場、あるいは日本国民としての立場から財政の問題を考えていくことが大切であるという認識に立って授業を行う。尚授業中に勉強したことについて10回程度の小テストを予定しているので、出席に自信のある学生を希望する。

成績評価の方法

試験、授業中の小テスト、レポート（小テスト、レポートで成績の半分を評価する）

教科書

速水昇編著 『公共部門の経済活動と租税』（学文社）

科目名	金融論	開講	通年	単位	4
配当	営A234選 営B234選				
担当者名	わたなべ さとし 渡部 訓				

講義のねらい

本講義は、担当教員の日本銀行、Bank for International Settlements、預金保険機構における金融実務経験も踏まえて、金融に関心のある学生、将来金融界での勤務を希望する学生を対象にしています。

本講義の狙いは、①金融の基礎から出発して、金融システム、金融機関行動と金融政策、市場メカニズムと金利形成、国際金融取引まで幅広く応用分野をカバーして、金融を理解する前提となる理論的なフレームワークを提供するとともに、②現代の金融問題の中で、金融システム安定に向けたブルードセンス政策（金融庁検査および日本銀行考査、自己資本比率に関するBIS規制、預金保険制度）、金融システムにおけるイノベーション（セキュリタイゼーション、デリバティブス、リスク・マネジメント）について、実践的な検討を行うことを目指しています。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、以下のスケジュールで行いますが、毎回、教科書に加え、日本銀行公表資料や日本経済新聞掲載記事等を紹介して、理論と実践のインターフェースを図ることを目標としています。

- ・（前期）下掲の教科書を中心に、上記①の金融の基礎および応用分野を理解する前提となる理論的なフレームワーク習得に向けた説明を行います。
- ・（後期）前期の後半部分を説明した後、上記②に関する問題提起と問題解決に向けた議論を行います。

履修上の留意点

履修者は、マクロ経済学の基礎知識があることが望まれます。

成績評価の方法

前期末にレポートの提出を課すほか、後期末に筆記試験を行います。配点のウエイトは、レポート50%、筆記試験50%です。

教科書

黒田晃生『入門金融（第4版）』（東洋経済新報社）2006年 ￥2,300

参考書等

日本銀行金融研究所編『新しい日本銀行 その機能と業務（増補版）』（有斐閣）  
￥2,520 2004年

その他

毎回、授業の中で、講義の後、質疑応答の時間を設けます。

科目名	日本経済論	開講	通年	単位	4
配当	営A234選 営B234選				
担当者名	はとり しげる 羽鳥 茂				

講義のねらい

1990年代以降の長期停滞が長引くなかで、日本の経済システムの問題点およびそれと関連するシステム変換の必要性がさまざまな視点から議論されています。これらの議論を理解し自分の意見を持つためにはそもそも多様な経済システム（日本の経済システムもその1つ）がどのようにして生成し、またどのように進化していくのかについての理解が不可欠です。このことを考えてみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

情報・組織・契約のミクロ経済学と、それらの理論的基礎を提供するゲーム理論、およびゲーム理論のフロンティアの1つである進化ゲーム理論の新しい展開をふまえて、講義のねらいの目標にチャレンジします。

前期では企業の内部システムを検討します。企業内コーディネーションの情報効率性比較、企業システムの生成と進化の可能性、雇用契約とインセンティブが主要なテーマです。

後期においては、企業間の競争と合併、コーポレート・ガバナンス、企業金融、政府と企業の関係がテーマになります。

成績評価の方法

後期授業終了後の筆記試験によって成績評価を行います。ただし、課題レポートの提出とその内容も考慮に入れます。

教科書

青木昌彦、奥野正寛編著『経済システムの比較制度分析』（東京大学出版会）1996年、3,200円

参考書等

講義の進み具合に応じて適宜紹介します。

その他

数学が必要な時にはできるだけ解説します。意欲ある諸君の出席を期待しています。

科目名	証券市場論	開講	通年	単位	4
配当	営A234選 営B234選				
担当者名	さとう のほる 佐藤 昇				

#### 講義のねらい

従来、わが国の金融システムは銀行等を仲介者とする間接金融を中心として発展してきた。しかしながら、近年、有価証券を発行して投資家から資金を調達する手段である直接金融システムへの比重移行の気運が高まっている。講義では有価証券市場の機能や市場構成など基礎的な解説とともに将来への展望についても検討し、経済動向に関する報道等を正しく理解し、みずから判断する能力を培うことを目的とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

最初に証券市場で取り扱う対象である有価証券を定義し、その機能等を解説する。そのうえで伝統的有価証券である債券や株式の種類や機能、発行・流通市場について考察するが、わが国の財政事情と国債市場の動向あるいは株式市場動向と経済全般との関わり、など経済社会における重要な課題についても触れておきたい。

また、資金運用手段としての証券市場の役割も重要であるので、債券利回りの意味と計算の方式、株式の投資尺度やその利用方法、あるいは企業の債務返済能力を示す格付け制度の概要と活用方法など、いわば実務的側面についても解説する。

なお、近年における金融・証券市場のグローバル化にともなって、資金の動きが速くなり、移動の範囲も急速に拡大しているため、市場改革のテンポも極めて速くなっている。今後も、内外共に市場の激変が予想されるため、証券市場に関連して重要な事態が発生した際には、その都度背景や影響などを解説する。

専門教育

#### 履修上の留意点

証券や金融市場に関するニュースに関心を持って欲しい。その上で、疑問点や不明な用語等があれば積極的に質問してもらいたい。授業に際しては出来るかぎり質問の時間を設ける予定である。

#### 成績評価の方法

原則として学年末の定期試験によって評価する。

#### 教科書

佐藤昇ほか著『入門 現代の証券市場（第2版）』（東洋経済新報社）2,800円  
ISBN4-492-71160-6

#### 参考書等

授業中に指定する。

科目名	計量経済学	開講	通年	単位	4
配当	営A234選 営B234選				
担当者名	呉 逸良 <small>こいつりよう</small>				

講義のねらい

現実の経済データを用いた例題を実際に解くことを通じて、計量経済学を学ぶ。パソコンを利用して演習を行うことにより、抽象的になりがちな計量経済学を分かりやすく理解し、実際のデータ分析の能力を身につける。

講義の内容・  
授業スケジュール

(前期) Excel を利用して例題を解きながら、以下の内容を講義する。

- (1・2) 統計学の基礎知識 (I)
- (3) 統計学の基礎知識 (II)
- (4～8) 単純回帰モデル
- (9～11) 重回帰モデル
- (12・13) 回帰モデルの仮説検定 (I) TSPを利用して前期の例題を再計算することを通して、TSPの扱いをマスターする。その上で、以下の内容を講義し、TSPを用いて演習を行う。
- (14) 回帰モデルの仮説検定 (II)
- (15・16) TSPの基礎および練習
- (17・18) Chow Test と予測
- (19・20) ダミー変数
- (21～23) 系列相関
- (24～) 復習・授業中試験

履修上の留意点

経済理論をある程度勉強していることと、統計原理と経営数学を履修すること。

成績評価の方法

日頃の宿題、レポート、学期末試験の結果により総合的に判断する。期末試験は授業中に行い、試験での持ち込みは自由。

教科書

白砂堤津耶『例題で学ぶ 初歩からの計量経済学』(日本評論社) 1999 2,800円(税別)

参考書等

山本拓『計量経済学』(新世社)  
 蓑谷千風彦『計量経済学』(東洋経済新報社)  
 G.S. マダラ著・和合肇訳『計量経済分析の方法』(シーエーピー出版)  
 唯是康彦『Excel で学ぶ計量経済学入門』(東洋経済新報社)  
 縄田和満『Excel による回帰分析入門』(朝倉書店)  
 蓑谷千風彦等『パソコンによる数量分析・Excel とTSP入門』(多賀出版)  
 縄田和満『TSPによる計量経済分析入門』(朝倉書店)  
 和合肇、伴金美『TSPによる経済データの分析』(東京大学出版会)

科目名	イノベーション論	開講	通年	単位	4
配当	営A234選 営B234選				
担当者名	はねだ しやうこ 羽田 尚子				

#### 講義のねらい

本講義では、イノベーションとはどのような特性をもつ現象なのか、どのようにして生まれるか、どのような主体が関わっているのか、経済社会にいかなる影響を与えるのかといった、イノベーションを理解する上で重要かつ基礎的なトピックについて学ぶ。

#### 講義の内容・授業スケジュール

イノベーションは「新しいものを変える、既存のものを変える」といった幅広い概念で用いられるが、本講義では、新製品、新サービス開発および改良といった経済システムにおけるイノベーションを扱う。

講義で扱うトピックは次のようになる。なお、順番は入れ替わることがある。

- ・イノベーションとは何か、その特質や役割
- ・企業戦略におけるイノベーションの役割
- ・組織のイノベーション、生産効率の改善実験
- ・イノベーションにおける政府の役割、技術政策
- ・イノベーションにおける大学の役割、TLO事業、大学初ベンチャー
- ・ナショナルイノベーションシステム
- ・日本のイノベーションシステムの課題と展望

#### 履修上の留意点

一次関数、二次関数等の初歩的数学を使う回がある（その都度解説は入れる）。経済学の基本的な知識があると望ましい。

#### 成績評価の方法

年度末の定期試験（1回）と講義の終わりに小レポート（計算問題含む：不定期複数回）を実施する。小レポートの合計点（30%）と定期試験（70%）により総合評価する。講義への参加状況は、成績評価に加味することがある。

#### 教科書

一橋大学イノベーション研究センター編『イノベーション・マネジメント入門』（日本経済新聞社）2800円

#### 参考書等

小田切宏之『企業経済学』（東洋経済新報社）  
後藤晃『イノベーションと日本経済』（岩波新書）



科目名	日本経済史	開講	通年	単位	4
配当	堂A234選 堂B234選				
担当者名	わたなべ あらた 渡辺 新				

講義のねらい

経済学は理論・歴史・政策の3つの柱から成り立つが、この講義はその内の歴史（経済史）についてのものである。今年度は、日本において資本主義経済が成立して以来の経済の歴史、つまり日本資本主義発達史を学んでいくこととする。現在、私たちが住んでいる日本の資本主義経済はたかだか百数十年の歴史しかもっていない。しかし、その百数十年は人類が経験したことのない速いテンポで進み、大きく変貌している。この講義のねらいは日本の資本主義経済の歴史分析にあることはいままでもないが、そのことによって現代日本の歴史的位置を考えていくことにもう一つのねらいがある。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期・後期を通じてそれぞれの歴史段階に沿った形で日本経済の特質を解説していくが、今年度はとりわけ財閥の歴史を重視していく。財閥は近代日本資本主義において経済発展を担う主体であり、また日本的な企業類型の主要なルーツとして中心的な位置を占めてきた。その財閥が、政商として誕生してから時代とともにどのように変容していったかをみていくこととする。

1. 明治維新の社会経済構造
2. 政商の誕生
3. 日本の産業革命
4. 政商から財閥へ
5. 大正デモクラシーの社会経済構造
6. 商社ブームと破綻
7. 昭和恐慌と高橋財政
8. 財閥の転向
9. 十五年戦争下の日本経済
10. 戦時体制と財閥
11. 敗戦と戦後改革
12. 財閥の解体
13. 高度経済成長の歴史構造
14. 企業集団と財閥

履修上の留意点

歴史は暗記するものではなく理解するものであることを絶えず念頭におくこと。

成績評価の方法

試験ないしはレポートによって評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

そのつど指示する。

科目名	情報処理応用II	開講	半期	単位	2
配当	営A234選				
担当者名	小沢 利久 <small>おざわ としひさ</small>				

#### 講義のねらい

IT化が進行した現在、ネットワークに接続されたコンピューターが至る所に設置され、それらが日々膨大なデータを収集・蓄積しています。それらのデータを基に、適切な経営判断、有効な計画立案を行なうためには、さまざまな観点からデータを分析し、そこから意味のある情報を引き出さなければなりません。この講義では、「パソコンを使ってデータ分析ができる」ことを目標に、Excelのワークシート関数と付属ツールを用いたデータ分析の方法について学んでいきます。

#### 講義の内容・授業スケジュール

アプリケーションはExcelのみを用います。内容は以下を予定しています（カッコ内は分析で用いるExcelの主な機能）。

1. Excel基本機能の復習：式、関数、グラフについて
2. アンケートの分析（クロス表）
3. 利益の計画（財務関数、ゴールシーク）
4. 需要の予測（分析ツール・回帰分析）
5. 生産計画と輸送計画の作成（ソルバー）
6. 株式ポートフォリオの分析（統計関数、近似曲線、ソルバー）

#### 履修上の留意点

情報処理基礎と情報処理応用Iの内容、特にExcelについての基本知識を前提とします。データの分析方法を修得するためには、単にパソコンの使い方を学ぶだけでなく、その分析方法が持つ意味や目的についても理解する必要があります。そのための関連科目として、経営科学概論、経営科学を先または同時に履修しておくことを勧めます。

#### 成績評価の方法

テーマ毎の課題提出を主とし、それに出席状況を加味して評価します。

#### 教科書

必要に応じて指定します。

#### 参考書等

高井徹雄編著『基礎から学ぶ経営科学』（税務経理協会）  
その他の参考書は必要に応じて示します。

#### その他

講義は、基本事項の説明とそれを理解するためのコンピュータ実習により構成します。必要に応じてプリントを配布します。

科目名	情報処理応用II	開講	半期	単位	2
配当	堂A234選				
担当者名	宇谷 <sup>うたに</sup> 明秀 <sup>あきひで</sup>				

講義のねらい

本講義では、簡単なデータ処理であるならば、市販のデータ処理ソフトに頼ることなく、自らプログラムを作成してデータ処理できるようになることを目標に、プログラミングの基礎を学ぶ。演習で簡単なデータ処理プログラムを作成する。

講義の内容・授業スケジュール

1. プログラミング講義（6～7回）  
C言語について、そのすべてを説明する。
2. プログラミング演習（5～6回）  
C++Builderを使って、実際に幾つかの簡単なデータ処理プログラムを作成する。

履修上の留意点

- ・情報処理基礎及び応用Iを履修しておくが良い。
- ・情報処理系の科目、特にプログラミングは暗記科目ではない。
- ・授業は演習中心になるので、欠席は極力避けること。

成績評価の方法

期末試験に出席状況を加味して評価する。

教科書

特に教科書は使用しない。講義内容をまとめた資料を配布する。

参考書等

授業の中で必要に応じて紹介する。

その他

〔クラス定員〕60名  
〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論  
※この科目は4月初旬に事前登録の申請をしなければ履修できません。

科目名	情報処理応用III	開講	半期	単位	2
配当	営A234選				
担当者名	小沢 利久 <small>おざわ としひさ</small>				

#### 講義のねらい

プログラムとはコンピューターに処理を実行させるための命令書であり、その命令書を記述するための言語がプログラミング言語です。例えば、Excelで「折れ線グラフを作成する」という処理もプログラムとして記述されています。自らプログラムを作ることで、より複雑で柔軟な処理をコンピューター上で実行したり、便利な機能をアプリケーションへ追加したりすることが可能となります。この講義では、プログラミング言語VBA（Visual Basic for Applications）を用いてプログラムの作成の初歩を学んでいきます。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- アプリケーションはExcelのみを用います。内容は以下を予定しています。
1. VBAの基礎1：VBエディタ、モジュール、プロシージャ、コード、オブジェクト
  2. VBAの基礎2：変数、演算子、セルの代入と参照、入出力関数
  3. 処理の流れの制御：条件分岐、繰り返し制御
  4. オブジェクト：メソッドとプロパティ、セルの操作、シートの操作
  5. 処理の分割：サブプロシージャ、ユーザー関数
  6. 応用例1：コンピューター・シミュレーション
  7. ユーザーフォーム：コントロール、イベントプロシージャ
  8. 応用例2：データ入力のためのユーザーフォーム

#### 履修上の留意点

情報処理基礎と情報処理応用Iの内容、特にExcelについての基本知識を前提とします。講義内容は全て関連しており、途中が抜けるとその先を理解するのは難しいということをよく頭に入れておいて下さい。

#### 成績評価の方法

応用例1と応用例2に関する課題提出を主とし、それに出席状況を加味して評価します。

#### 教科書

必要に応じて指定します。

#### 参考書等

高井徹雄編著『基礎から学ぶ経営科学』（税務経理協会）  
その他の参考書は必要に応じて示します。

#### その他

講義は、基本事項の説明とそれを理解するためのコンピュータ実習により構成します。必要に応じてプリントを配布します。

科目名	情報処理応用III	開講	半期	単位	2
配当	営A234選				
担当者名	宇谷 <sup>うたに</sup> 明秀 <sup>あきひで</sup>				

講義のねらい

インターネットの普及やコンピュータの性能向上によって、情報の収集・蓄積が容易になってきている。現在、多くの企業では、日々膨大なデータを収集し、収集したデータを分析して企業経営に役立てている。この講義では、

- ・基本的なデータ分析手法の習得
- ・プログラミング技術の習得

を主たる目的として、基本的なデータ分析手法を紹介し、C++Builderを使って実際にデータ分析ソフトを開発する。

講義の内容・授業スケジュール

1. データ分析手法の講義（3～4回）  
幾つかの基本的なデータ分析手法を紹介する（様々なデータを用い、そのデータにどのような意味が隠されているのかを探る）。
2. プログラミング技術の講義（4～5回）  
演習を中心に進める。
3. データ分析ソフトの開発（3～4回）  
C++Builderを使って実際にデータ分析ソフトを開発する。

履修上の留意点

- ・情報処理基礎及び応用I、IIを履修しておくが良い。
- ・C言語の基礎的知識を前提として講義を進める。
- ・授業は演習中心になるので、欠席は極力避けること。

成績評価の方法

期末試験に出席状況を加味して評価する。

教科書

特に教科書は使用しない。講義内容をまとめた資料を配布する。

参考書等

授業の中で必要に応じて紹介する。

その他

〔クラス定員〕60名  
〔関連科目〕経営統計、経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論  
※この科目を履修するためには、「情報処理応用II」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。「情報処理応用II」への事前登録申請のみでは履修できません。

科目名	情報理論	開講	通年	単位	4
配当	営A234選 営B234選				
担当者名	にしむら かずお 西村 和夫				

講義のねらい

近年では日常的に使われる言葉となっている“情報”の本質を探ります。主に、情報の量(情報量)を定義したシャノン(C.E.Shannon)流の情報理論について講義します。

この授業を受講すれば、ある通報や記号のもっている情報量を、具体的な数値として(シャノンという単位で)計算できるようになります。これによって、たとえばDNAの情報を記録するために十分なCD-ROMの枚数が、たちどころに計算できるようになります。

また、情報量の期待値(平均値)であるエントロピーという概念も理解できます。これは、経営情報論、符号理論、通信理論、暗号理論などで利用される重要な概念です。

その後で、エントロピーによって冗長度を導入します。言語の文字や音が冗長であることが、会話を成立させるために重要であることを理解します。

途中で、古代から現代にわたる暗号の話をしてします。現代の暗号技術の基礎についての理解は、現代社会で生きていくために必要なことです。

講義の内容・授業スケジュール

- 4月3回 授業内容概説、情報とは、情報量への要求
- 5月3回 対数の原理と性質、計算練習
- 6月4回 情報量の定義、練習、情報量の利用、2進法
- 7月3回 暗号系と用語、古典的な暗号、“踊る人形”の解説
- 9月2回 現代的な暗号、暗号技術を使ってできること
- 10月2回 符号化(JISコード、国際符号化文字集合)、対数・情報量の間試験
- 10月2回 確率過程およびマルコフ過程
- 11月2回 遷移確率と同時確率
- 11月1回 エントロピーの定義
- 12月2回 冗長度、言語のエントロピー
- 12月1回 価格以外の情報がない場合の市場占有率予測
- 12月1回 検査桁(CD)、情報の圧縮と乱数、デジタルとアナログ

履修上の留意点

4年次で履修するのは困難です。2~3年次のうちに履修しておくように強く奨めます。また、毎回出席して計算練習に参加していないと、試験問題を解くことは無理でしょう。

内容の性質上、確率と対数に関する多少の数学的知識が必要になりますが、これらについて全く知らなくても理解できるように配慮しています(上表5月参照)。

成績評価の方法

10月の中間試験(30%)と定期試験(70%)との合計点によります。

教科書

クイズと計算練習を適宜とりいれます。また、プロジェクトとプリントを使います。適当な教科書はありません。

参考書等

その都度紹介します。

その他

〔関連科目〕→ 経営情報論  
講義内容のページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kazov/Nis/lecture/info.html>

科目名	経営科学	開講	通年	単位	4
担当	営A234選 営B234選				
担当者名	おざわ としひさ 小沢 利久				

講義のねらい

経営科学では、経営活動において生じる様々な問題を、モデルを用いて定量的に分析し、合理的な意思決定へとつなげるための方法を考えます。経営科学の応用範囲は、伝統的な生産・流通の分野から近年はマーケティングやファイナンスの分野へと広がりがつあります。この講義では、経営科学的な問題の捉え方と問題解決のための代表的な手法について例を通して学んでいきます。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、最適化手法（1、2）と意思決定手法（3、4、5）、後期は数理ファイナンスの入門（6、7、8）と在庫管理・待ち行列理論（9、10）を予定しています。

1. 線形計画法：定式化、図による解法、感度分析、Excel Solverを用いた解法
2. ネットワーク計画法：最短経路問題、最小木問題、最大流問題
3. データ包絡分析法（DEA）：CCRモデル、効率的フロンティア
4. 情報の価値：ベイズの定理、完全情報の期待価値、サンプル情報の期待価値
5. ゲーム理論：非協力ゲーム、ナッシュ均衡、混合戦略
6. 現在価値とその応用：現在価値、DCF、内部収益率（IRR）、固定利付債の実効金利
7. ポートフォリオ選択：リターンとリスク、平均・分散モデル、効用関数とリスク
8. オプションの価格付け理論：オプション、裁定機会、無裁定価格
9. 在庫管理：経済的発注量、発注点方式、定期発注方式
10. 待ち行列理論：ケンドールの記号、リトルの式、M/M/Sモデル

履修上の留意点

経営数学、経営科学概論を先または同時に履修しておくことを勧めます。

成績評価の方法

試験（前期末と後期末の2回）を主とし、それに演習課題と出席状況を加味して評価します。

教科書

必要に応じて指定します。

参考書等

高井徹雄編著『基礎から学ぶ経営科学』（税務経理協会）  
その他の参考書は必要に応じて示します。

その他

講義は板書を中心とし、必要に応じてプリントを配布します。理解を深めるために適宜演習を行います。

科目名	経営情報論	開講	通年	単位	4
配当	営A234選 営B234選				
担当者名	いわぶち たくみ 岩淵 匠				

講義のねらい

企業活動を支える経営資源には様々なものがある。この資源をいかに整理して重要なものを取り出すかが企業発展のための鍵となる。  
本講義では、最近の情報技術で活用されている資源整理のための手法を解説する

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1.経営情報学と情報科学の基礎（前期）
  - 1)経営科学における情報（4月～5月）  
経営科学における情報についての考え方と、企業における情報の利用方法を整理する
  - 2)情報科学における情報（5月～6月）  
一般的な情報に関する考え方、コンピュータでの基礎的な情報処理を学習する
  - 3)情報技術（IT）と情報システム（IS）（6月～7月）  
金融情報システムやコンビニなどで利用されているPOSシステムなどの最近の情報技術やシステムについて整理する。また、今後ITとISの展望を考察する。
- 2.経営情報学と情報科学の応用（後期）
  - 1)情報システムの種類（9月～10月）  
基礎的な数理モデルを使って多々あるシステムを整理し、その特性を学習する。
  - 2)データの加工（11月～12月）  
RDBSを利用したデータの整理方法（SQL文の作成）を学習する。
  - 3)シミュレーション（12月～1月）  
実際の経営資源データをコンピュータを利用して整理する技術を学習する

履修上の留意点

「情報処理基礎」と「経営数学」を履修済みまたは同時に履修していることを前提として授業を行う。

成績評価の方法

前期・後期に実施する筆記試験に基づき評価する。その他、出席状況も反映する

教科書

未定



科目名	システム論	開講	通年	単位	4
配当	営A234選 営B234選				
担当者名	宇谷 <small>うたに あきひで</small> 明秀				

講義のねらい

この科目では、複雑で大規模なシステムを理解し、構築し、運用するための方法論を学ぶ。なるべく具体的な事例をとりあげ、システム思考、システム論への理解を深める。

講義の内容・  
授業スケジュール

〔前期〕

1. システム論（その歴史）
2. システム論（分類と展望）
3. モデル化の方法論（分類と特徴）
4. 数理モデリング
5. コンピュータシヨナルモデリング

〔後期〕

1. システムの評価
2. システムの故障と信頼性
3. 危機管理と対策
4. 不確実な事象とシステム設計
5. システム導入における経済性

履修上の留意点

特定分野の事前の知識は要求しないが、基礎的な数学の学力が必要である。

成績評価の方法

中間試験と期末試験に出席状況を加味して評価する。

教科書

授業の中で指示する。

参考書等

授業の中で必要に応じて紹介する。

科目名	統計原論	開講	通年	単位	4
配当	営A234選 営B234選				
担当者名	やまのうち しんじ 山内 慎二				

専門教育

講義のねらい

大雑把に言えば、統計学は「確率と分布」の性質を用いたデータ処理を通して、「母集団」及び「標本」という2つの親子関係の言葉を繋げて、知識や技術を議論する学問である。  
 本講義では、最初に簡潔に確率論の基礎を紹介し、次にデータ処理によって母集団と標本との関係を捉え、最後に統計的推測として推定と検定等を丁寧に説明する。本講義では、実用性を重視し、統計的方法や概念を豊富な例題や数値例によって説明し、数式の使用も必要最小限に止めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は以下の通りです。

- 序説 生活のなかの統計学、量的データと質的データ 1回
- 基礎的概念 階乗と総和、順列と組合せ 2回
- 記述統計 度数分布表、平均と分散、相関係数 3回
- 確率論の基礎 集合、標本空間、確率、2項分布、正規分布 6回
- 前期復習と中間試験（7月中旬） 2回
- 標本分布 カイ2乗分布、t分布、F分布 2回
- 統計的推定 点推定（不偏推定、モーメント法、最尤法） 4回
- 仮説検定 片側と両側検定、有意水準、棄却域、適合度検定 4回
- 回帰と相関 線形回帰モデル、相関係数の標本分布 2回
- 後期復習と定期試験（翌年1月中旬） 2回

履修上の留意点

年間数回程度の練習問題を適時に配布します。これを本講義内容の基礎的部分をもとに、独自に解ければ、中間試験と定期試験は大丈夫でしょう。

成績評価の方法

講義への出席状況及び中間試験と定期試験の結果により総合的に判断します。

教科書

佐和隆光著『初等統計解析 改訂版』（新曜社）2001年 1,500円（税別）  
ISBN4-7885-0224-0

参考書等

数値表としての参考書：  
 森口繁一編『新編 日科技連数値表』（日科技連出版社）1996年 510円（税別）  
 ISBN4-8171-0262-4  
 P.G. ホエール著、浅井晃・村上正康共訳『初等統計学』（培風館）1996年 1,650円（税別）  
 ISBN4-563-00839-7

その他

授業の方法－講義（OHPを使用する場合があります。）

科目名	経営統計	開講	通年	単位	4
配当	堂A234選 堂B234選				
担当者名	ながこきょう 長 国強				

講義のねらい

統計と企業経営の関わりについてを展開する経営統計とは、分析目的に対応して主に経営情報としてのデータを収集・処理・分析し、複雑な現象を理解すると共に、データを生成した集団や構造についてを予測し、いろいろな意思決定をサポートすることである。経営的意思決定において最も重要なことは、将来の経営状況をどう見るかであり、その予測に対して経営統計は十分な役割を果たされるはずである。

この講義では、企業経営における統計データの具体例を数多く取り入れることによって、経営統計の手法をわかりやすく説明していく。また、数学苦手の学生を配慮し、講義の内容説明は微・積分などの計算をいっさい用いず、数式の使用も必要最小限に止める。

講義の内容・授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りである。  
 経営統計について：経営統計の役割、基礎概念  
 統計特性値：平均、分散、正規分布  
 市場調査と統計整理：調査の諸段階、標本設計、データ整理  
 経営時系列：傾向成分の測定、季節指数の計算、時系列予測  
 経営指数：物価指数、数量指数  
 統計的意思決定理論：意思決定基準、期待効用理論

履修上の留意点

年間5回程度の演習問題を適時に配布し、それを独自かつ理解的に解ければ、中間試験や定期試験に心配する必要はない。

成績評価の方法

講義への出席状況と中間・定期試験の結果により総合的に判断する。

教科書

特に使用しないが、プリントは適時に配布する。

その他

統計学、あるいは統計原論を先にまたは同時に履修することが望ましい。

科目名	民法I (総則・物権法)	開講	通年	単位	4
配当	営A234選				
担当者名	須賀 <sup>すが</sup> 昭徳 <sup>あきのり</sup>				

### 講義のねらい

われわれの日常生活は民法に支配されている。したがって、この社会で活動するには民法についてひととりの知識がなければならない。市民の社会生活には財貨の生産、交換、消費、配分などを目的とする経済生活の面（これを規律する法が財産法）と種族保存を目的とする保族生活の面（これを規律する法が家族法）とがある。この財産法の領域の法が物権法と債権法である。これらの通則として総則がおかれている。本講義では民法第一編総則と第二編物権法について、基本となる知識を持てるようにしたい。なお、時間の関係で総則を中心として詳しく講義をし、物権についてはひととりの知識を持てるようにしていきたいと思います。

### 講義の内容・授業スケジュール

#### 前期 (民法総則)

①民法とは何か、民法の歴史 ②民法の基本原則 ③権利の主体（自然人） ④法人（社団法人、財団法人） ⑤権利の客体（物とは） ⑥法律行為（意思の欠缺、瑕疵ある意思表示） ⑦無効と取消 ⑧条件および期限・期間 ⑨時効（取得時効、消滅時効）

#### 後期 (物権法)

①物権の意義、種類 ②物権の効力 ③物権の変動 ④占有権 ⑤所有権 ⑥用益物権 ⑦担保物権（法定担保物権） ⑧約定担保物権 ⑨非典型担保（譲渡担保、仮登記担保）

### 履修上の留意点

講義にはかならず六法を持参すること。

### 成績評価の方法

期末試験の成績により評価する。

### 教科書

甲斐道太郎・乾昭三・椿寿夫編『新民法概説（1）総則・物権』（第4版）（有斐閣）2,000円

### 参考書等

講義の中で指示する。

科目名	商法I (総則・会社法)	開講	通年	単位	4
配当	営A234選				
担当者名	重田 <sup>しげた まきこ</sup> 麻紀子				

### 講義のねらい

現代の市場経済社会を支えるキーパソンは会社である。この会社に関する法的ルールを定める会社法について全般的に学習し、株式会社法制を貫く法原理を理解する。

### 講義の内容・授業スケジュール

現在、会社企業を取り巻く環境は多様化・国際化するなど急速な勢いで変化している。これを受けて、2006年5月から新たに「会社法」が施行され、わが国の会社法制は大きくその姿・内容を変えた。この新しい「会社法」の施行が会社の法務・会計・税務といった会社経営全般に与える影響は計り知れず、企業実務からの関心も集めている法分野である。

会社法は範囲が広いので、組織法に関する説明に重点を置きながら、できるだけ会社法上の論点を広くカバーして講義することとした。会社とりわけ株式会社における利害関係者間の利害調整の基本的なルールを学び、株式会社法制を貫く基礎理論を修得してほしい。

なお、具体的な授業スケジュールは、以下の通りである。

【前期】会社法総論、会社の種類、株式会社の特色、株式会社の設立、株式の意義・種類、株式譲渡、株主名簿、自己株式

【後期】株式会社の経営管理機構の仕組み、株主総会、取締役・取締役会、監査機構。資金調達、組織改編

### 履修上の留意点

なるべく平易な解説をするよう努めるが、各自復習を心がけてもらいたい。できれば、民法科目について事前に（少なくとも並行して）履修していることが望ましい。

### 成績評価の方法

期末試験の成績に小テスト（1～2回）の成績を加味して評価する。

### 教科書

最新の六法（小型のものでよい）を用意すること。  
使用テキストについては開講時に指示する。

科目名	労働法	開講	通年	単位	4
配当	営A234選 営B234選				
担当者名	ふじもと しげる 藤本 茂				

#### 講義のねらい

今日、雇用社会は、能力主義人事管理の導入に見られるように大きく変貌しています。労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。この時期、労働者に降りかかるさまざまな事象は、雇用関係法領域において、顕著です。たとえば、労働基準法改正、労働時間、男女雇用平等、労働契約法制定案などです。本講義ではこの雇用関係法領域を中心に、基礎的な知識を身につけてもらうことを念頭においています。

#### 講義の内容・授業スケジュール

下記事項について、基礎的な知識を学びつつ、現代的課題に言及します。詳細は第1回目の授業のときにプリントを配布して述べます。ここでは、一応の項目を掲げるに止めます。

- (1) 労働法の基礎的思考方
- (2) 日本型雇用システムの変化と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 集団的労働条件の決定・変更－労働契約、就業規則、労働協約
- (7) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (8) 人事異動－配転、出向、転籍
- (9) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (10) 賃金、賞与、退職金
- (11) 労働時間、時間外・休日労働
- (12) 休憩、休日、休暇
- (13) 労働災害など

#### 履修上の留意点

出席を心がけてください。私語はNo、携帯電話はOff、内職はNo。そして無断で席を立つこともNo。いわゆる授業のマナーは守ってください。憲法、民法、社会保障法、社会政策は履修してほしい科目です。

#### 成績評価の方法

成績は、学年末試験がメインで、レポートなどとともに、総合的に評価します。確認テストや中間試験も対象です。出席も考慮します。追試験は実施します。

#### 教科書

道しるべとして、浜村彰ほか著『ベーシック労働法』（有斐閣）か浅倉むつ子ほか著『労働法』（有斐閣）のうち1冊を購入して自宅学習に使ってください。受講者は必ず、1冊は用意してください。

#### 参考書等

概説書・参考書をいくつか、第1回目の授業において紹介します。六法は最新のもの（法律改正や制定があるので特に注意）。そして、労基法施行規則の載っているものを用意してください。

#### その他

各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら授業を進めます。

科目名	税法	開講	通年	単位	4
配当	営A234選 営B234選				
担当者名	おくむら まさひろ 奥村 正郎				

### 講義のねらい

租税は、我々納税者が、税法の定めるところにしたがって、国や地方公共団体（都道府県及び市町村）に納付すべきものであり、それは公共サービスの資金となり、我々の生活に影響する。しかしながら税法は、多数の法律とそれを施行するための政令、省令で成り立ち、さらに多くの通達があり、しかも法律の解釈や手続きは難解で、改正も毎年ある。このような事情からかその重要性は認識していても、将来その専門家になりたいという人以外、積極的に税法の知識を身につけようとする人は少ないように思われる。このようなことから本講義により、我々の身近な法律である税法に、関心を持ち、具体的事例、計算を通じてその基本的知識を修得してもらいたい。

また将来、税理士試験を目指すものにとっても有用な知識が提供できるような内容にした

### 講義の内容・授業スケジュール

講義の内容は以下ようになります。I～V前期、VI～X後期。

- I 財政の役割と租税
- II 税法の基本原則
- III 租税の種類と分類
- IV 税制改革…シャープ税制改革以降、今日までの税制改革
- V 相続税・贈与税…相続時精算課税制度他
- VI 所得税…各種所得の計算等
- VII 法人税…所得金額と税額計算等
- VIII 消費税…消費税額の計算等
- IX その他の国税・地方税
- X その他…徴収手続と納税者の権利他

### 履修上の留意点

本講義では簿記会計の知識は必須ではないが、上級簿記等の講義も受講することを勧める。

### 成績評価の方法

出席状況、期末試験により評価する。

### 教科書

速水昇編著 『公共部門の経済活動と租税』（学文社）

### 参考書等

授業を進める中で適宜紹介する。

### その他

計算演習等プリントを随時配布する。電卓を使用することがあるので持参すること。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	営A3選				
担当者名	明石 <sup>あか!</sup> 博行 <sup>ひろゆき</sup>				

講義のねらい

本演習では、現代の経済社会に関する3年次・4年次の共通研究テーマと課題図書を相談のうえ決定し、経済社会学の応用分野の学習に取り組みます。また、決算書とマクロ経済データの分析におけるエクセルの利用法について学習しつつ、英語の読解力のさらなる向上を図ります。さらに、卒業論文の作成にむけた各自の研究領域をしばってゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

演習は前期と後期にわけて行います。前期には、エクセルおよびパワーポイントの操作能力を育成しつつ、決算書の分析・マクロ経済データ分析のための基礎資料を作成します。後期には、課題図書のノートと基礎資料を利用した学習に取り組み、決定したテーマにそくして現代の経済社会に関する学習と研究を深めます。夏には2年生との合同合宿を行います。3年次にはなお、テーマ別の個人研究が演習における一つの課題となります。

履修上の留意点

チームごとの補習を行いながら、テーマ別の学習・研究と演習参加者全員による学習・研究とを組み合わせるゆきます。補習では、Financial Timesの最新記事を読み続けるとともに、インターネットを利用した情報の収集能力のさらなる向上を図ります。補習を含めた演習全体への参加が求められます。

成績評価の方法

成績は、通常の演習および補習への参加状況を基本としつつ、課題修得の到達度の判断を加え、評価をします。

教科書

多国籍企業にかんする課題図書とともに、エクセルの学習のために『超図解EXCEL2003(総合編)』(エクスメディア、1,480円)を使用します。また、3、4年次の学習用テキストとして、『NIKKEINET・景気ウオッチの活用法』と『決算分析の基礎』を配布し、使用します。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	営A3選				
担当者名	阿部 <sup>あべ</sup> かずひと <sup>かずひと</sup>				

講義のねらい

演習Iに引きつづきテキストにそって財務会計の基礎を体系的に学習する。後期は、企業会計の領域の中から各自がテーマを選び、それにもとづいて研究発表を行う。また、卒業論文としてまとめたテーマを選定し、研究計画書(テーマ、理由、枚数など)を提出してもらう。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、報告発表、レポート等により総合的に判定する。

教科書

広瀬義州著『財務会計』(白桃書房)3,500円

参考書等

授業中において適宜指示する。



科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	堂A3選				
担当者名	飯田 哲夫 <small>いだけつお</small>				

講義のねらい

この演習では、企業経営上の問題解決のための定量的な情報分析の理論と方法について学びます。近年の情報技術の発展により、大量のデータや情報を活用した定量的な分析の多くが、比較的容易に行うことができる状況になってきており、それらを利用して定量的に問題を分析することは、データに裏づけられた合理的な意思決定へと通じていきます。そして、分析の際には、より有効にデータや情報を活用するために、また、問題の本質を理解するために、しばしば問題状況を数理的にモデル化します。問題に応じて、様々なモデルがありますが、この演習では、演習Iでの学習を発展させ、いくつかのモデルについてより発展的・応用的な知識の習得を目指します。また、コンピュータの利用技術についても同様です。

講義の内容・授業スケジュール

モデルによる意思決定・分析の習得のために、関連文献の輪読を行います。また、コンピュータの利用に関する応用的知識も習得します。

履修上の留意点

このゼミでは、学生の主体的・積極的な参加を前提としています。「経営数学」を受講した程度の数学的知識を持っていることが望ましい。その数学的知識を応用してみたいと思っている意欲のある学生の参加を希望します。

成績評価の方法

平常点（出席とゼミへの積極性）、課題のレポートと発表により総合的に評価します。

教科書

最初の授業のときに紹介します。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	堂A3選				
担当者名	石名坂 邦昭 <small>いしなざか くにあき</small>				

講義のねらい

企業の安定経営をはかる上でリスク・マネジメントは欠かすことのできない理論となっている。今日の複雑多岐にわたるビジネス・リスクにどのように対処すべきかは企業経営者の一番の関心事と言える。本演習においては、ビジネス・リスクへの対処を理論的・技術的に考察していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

リスク・マネジメントを学ぶ上で、必要不可欠となる保険について、各課題ごとに毎週レポートを提出してもらい、数名の受講生に報告をしてもらい、そのことにつき討論を行う。また、リスク・マネジメントの基本的なことにつき講義も行う。

履修上の留意点

毎週、定められたテーマについて全員が参加してディスカッションを行うため無断欠席はしないでもらいたい。

成績評価の方法

出席およびレポートによる総合評価を行う。

教科書

講義に必要な資料等はコピーして配布する。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	営A3選				
担当者名	いわぶち たくみ 岩淵 匠				

#### 講義のねらい

IT（情報技術）が社会のキーワードとされる今日、我々は、真の意味で情報が価値を持ち、情報が価値を生み出す、高度情報社会に生きています。皆さんが、企業や官庁の有能なスタッフとして「情報エリート」を目指すならば、少なくとも、

- 1) 発見力：与えられるのではなく、自ら問題を発見する能力。
- 2) 洞察力：必要な情報を選び、情報に基づき分析し、問題の本質を解明する能力。
- 3) 解決力：他社と協力しあって、具体的な問題解決策を提案し、実行化する能力。
- 4) 表現力：自らの提案を解り易く表現し、情報発信する能力。

が要求されるはずです。

3年次ゼミでは、毎週の演習を通じて、また、ゼミ合宿においてはグループのリーダー役として、養ってきた能力を実践的に発揮していただく場を用意します。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

経営における意思決定の問題に、科学的・系統的にアプローチすること。これを念頭において、各週の題材を選んで行きます。どの題材についても、概念→理論→技法→道具、の4つのフェーズを通過します。

およそのスケジュールは以下のとおり。受講生とコミュニケーションをとりながら、理解度や興味の方角を見極めながら進めて行きます。

4-10月：輪読…メンバーの要望もお聞きして適切な文献を1冊選び、全員で輪読会

6月：ソフトシステム方法論…演習Iと合同ゼミ合宿、SSMで社会的問題を扱う

11-12月：ゼミ論テーマの研究

#### 履修上の留意点

ゼミ合宿など課外活動を含め、主体的にゼミに参加されることを願っています。

#### 成績評価の方法

出席状況など平常点の他、前期・後期各1回与える課題により評価します。

#### 教科書

ゼミ在籍者とも相談の上、輪読用の教科書を開講後に指定します。

#### 参考書等

授業中に適宜紹介します。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	営A3選				
担当者名	小沢 利久 <small>おぎわ としひさ</small>				

講義のねらい

個人・企業は様々な場面で次を取るべき行動の選択（意思決定）を迫られています。例えば、投資家は日々変動する株価と付加的な情報を基に資金の投資配分を決めています。電話会社は携帯電話機数の伸びや通話時間の伸びを考慮しながら次の設備投資判断をしています。本演習では、このような問題に対処するための学問的基礎として、経営科学の各種手法とコンピューターリテラシについて学んでいきます。経営科学とは、経営活動などにおいて生じる様々な意思決定を科学的に支援するための方法を考える学問であり、対象をモデルで表現し、コンピューターを使って定量的に分析する点に特徴があります。また、経営科学の応用範囲は、伝統的な生産・流通の分野から近年はマーケティングやファイナンスの分野へと広がりつつあります。

講義の内容・授業スケジュール

経営科学の応用として、マーケティング・サイエンスまたは数理ファイナンスで用いられている様々な分析手法について学んでいきます（どちらにするかはゼミ生との相談で決める予定です）。また、プレゼンテーション能力を高めるための訓練として、商品企画書の作成と PowerPoint を用いた発表練習を行います。

履修上の留意点

演習については、演習III（4年生）を継続して受講することを前提としています。よって、演習IIIの内容についても該当する講義内容で確認しておいて下さい。演習の内容をより良く理解するために、情報処理基礎、情報処理応用I、経営科学概論、経営科学など、経営科学系の科目を事前または並行して履修することを勧めます。

成績評価の方法

出席状況、受講態度や理解度を勘案して評価します。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
担当	営A3選				
担当者名	かしま ひであき 鹿嶋 秀晃				

#### 講義のねらい

研究テーマは現代日本企業の人事労務管理。大学生活の中で、ゼミは最も勉強に打ち込み、一番思い出になるところだと考えます。よって、積極的に勉強し、行事を企画し、みんなで楽しくゼミを過ごしたいという学生を採用します。

#### 講義の内容・授業スケジュール

現代の日本企業とそこに働くサラリーマンが抱える問題に関して、入門書と専門書を読んでいきます。企業と労働、社会について幅広い関心を持ち、科学的に考える力を養います。サブテーマは「終身雇用」「年功賃金と能力主義」「日本的経営」「女性労働」「日本の労使関係」「会社人間」「過労死」ほか。2ヵ月に1冊のペースで本を読みます。受講者全員はあらかじめテキストを熟読し、中から報告者（レジュメを作成）、コメンテータを決め、その2人を中心に議論をしていきます。報告者とコメンテータは順番。また、毎回の「新聞発表」では担当者が最近の新聞から企業経営や労務に関するものを切り抜き、自分のコメントを加えてプレゼンテーション。4年次は卒論作成中心。

専門教育

#### 履修上の留意点

出席重視。無断欠席は単位認定なし。ただし、特別に事情がある場合には個別に対応します。レジュメはワープロで作成のこと。ゼミ以外の工場見学、コンパ、合宿等の時間割以外の行事もゼミの一環なので必ず出席するように。

#### 成績評価の方法

出席点、講義中の発表・発言、レポートを総合して判定。

#### 教科書

適宜指示。参考までに過去のテキスト例。中村圭介『成果主義の真実』、大沢真知子『ワークライフバランス社会へ』、佐藤博樹・佐藤厚『仕事の社会学』、橘木俊詔『格差社会』、木名瀬武『人事改革の法則』など。

#### 参考書等

演習時に適宜紹介。

#### その他

履修希望者は、経営労務論を履修のこと。他のゼミ活動に、卒業論文集の発行、ゼミ書評、全国コンテスト参加などがあります。WEBページ参照。http://www.komazawa-u.ac.jp/kashima/index.html

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	営A3選				
担当者名	かたきり のぶお 片桐 伸夫				

#### 講義のねらい

このゼミは3・4年次（演習II・III）で「就職希望会社の経営分析」を行うことを目的とします。

経営分析とは、文字通り「企業の経営を分析すること」であり、きわめて範囲の広いものです。具体的には、皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
  - 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
  - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
  - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、
- といった内容です。

#### 履修上の留意点

このゼミでは、経営分析の中でも、とくに財務諸表（貸借対照表や損益計算書など）の分析を中心とします。したがって、1年次の簿記学に興味を感じた人向けのゼミです。

#### 成績評価の方法

成績評価の方法は平常点です。

3年次（演習II）では、各自が決めたテーマに取り組み、そのレポートを検討する形式で授業を進めます。

#### そ の 他

プレゼミや合宿も行います。

ゼミ入室の決定方法は面接〔志望理由書（500字程度）事前提出〕とテスト（演習Iは1年次学習中の簿記、演習IIは日商簿記検定2級程度）によります。

なお、いうまでもなく無断欠席と遅刻は厳禁です。以上の方針に見合う、学習意欲十分な学生諸君の参加を希望します。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	営A3選				
担当者名	兼村 栄哲 <small>かむら えいてつ</small>				

#### 講義のねらい

今日のように社会的な分業体制が成立している経済においては、生産と消費の間にさまざまな隔たりが発生しており、円滑な交換が阻害されていることが少なくない。こうした隔たりは、一般に、経済的懸隔と呼称されている。

経済的懸隔には、①財ないしサービスの生産者と消費者が人格的に分離したことから生じる主体的懸隔、②商品の生産者と消費者が、それぞれ、相手の事情に関する情報を欠如していることから生じる情報的懸隔、③商品が生産される地点とそれが消費される地点が異なることから生じる空間的懸隔、④商品が生産される時点とそれが消費される時点が異なることから生じる時間的懸隔などがある。

マーケティングとは、以上の経済的懸隔を架橋することにより、円滑な交換（の連鎖）を実現し、ひいては、消費者が生産者が生産した商品を消費することを可能にする活動をいう。

本演習のねらいは、履修者の一人ひとりが、こうしたマーケティングにかかわる諸現象を体感し、当該現象について自分なりに論理的に説明できるようになることにある。

専門教育

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 通常の演習においては、テキストを全員で輪読し、専門的な概念や理論を学ぶ。
- 2 各自が年に2回業界研究をし、それぞれについてA4版100枚以上のレポートにまとめる。その概略を冬合宿にて発表する。
- 3 夏休みに工場見学をおこなう。後期に、その内容についてのレポートを提出する。
- 4 学内で開催される「G-Planning Contest」に応募する。
- 5 電通主催の学生懸賞論文に応募する。

#### 履修上の留意点

- 1 通常の演習のみならず、合宿その他の課外活動にも参加すること。同時に、たんに出席するのではなく、自発的に自分なりの疑問や意見を示すなど、積極的に参加すること。
- 2 お互いの親睦を図ること。
- 3 授業開始後、諸般の事情で履修を取りやめる場合には、必ず事前にその旨を申し出ること。

#### 成績評価の方法

授業態度、発表内容、レポート内容等による総合的な評価

#### 教科書

開講時に指定

#### 参考書等

適宜紹介する。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	営A3選				
担当者名	岸田 隆行 <small>きしだ たかゆき</small>				

講義のねらい

原価を知ることは経営管理の基礎であり、原価を知ることなくして、経営を理解することは困難である。近年は経営環境の変化が著しく、原価計算も経営環境の変化に対応すべく、様々な技法が編み出されている。しかし、それらの新技法が実際に有効であるのか、またあらゆる企業に適合するのは明らかではない。本演習では原価計算が現代的な経営環境の中で、経営管理においてどのような役割を果たすかについて理解を深めていく。

講義の内容・  
授業スケジュール

それぞれのテーマについて担当者を割り当て、担当箇所についてレジュメを作成し、報告してもらい、報告内容について受講者全員でディベートを行う。

履修上の留意点

積極的にゼミ活動に参加してもらいたい。  
担当箇所の報告では、指定されたテキストだけでなく、様々な文献を読んだ上で報告を行ってもらいたい。また、報告者以外の受講生も事前にテキストを熟読した上で、講義の参加することが望ましい。

成績評価の方法

報告の内容、ゼミへの参加程度により総合的に評価する。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

適宜紹介する。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	営A3選				
担当者名	猿山 <small>さるやま</small> 義広 <small>よしひろ</small>				

#### 講義のねらい

この講義では、現代の管理会計理論について詳細に学ぶことを目的としている。現代の管理会計は経営戦略と密接に結びついており、コスト・リーダーシップの確立や差別化を図るためのマネジメント・ツールとして展開されている点に特徴がある。たんなる事実についての計算ではなく、戦略目標を達成するための計算であることを念頭に置いて勉強を進めていてもらいたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

この講義の内容は以下に示すとおりである。1つの項目について2～3人で分担して報告してもらう。なお、必要に応じて、適宜計算問題を解いてもらう。

- 1 経営者と管理会計
- 2 企業価値創造のための管理会計
- 3 事業部制の管理会計
- 4 キャッシュ・フロー経営
- 5 経営戦略の管理会計への役立ち
- 6 中長期経営計画と予算管理
- 7 バランスシート・スコアカード
- 8 損益分岐点分析と直接原価計算
- 9 標準原価計算とコスト・コントロール
- 10 コスト・マネジメント
- 11 原価企画と戦略的コストマネジメント
- 12 ABCによる経営効率の向上
- 13 物流費、販売促進費、本社費の管理
- 14 経営意思決定のための会計
- 15 戦略的・戦術的価格決定
- 16 戦略的意思決定と設備投資意思決定
- 17 企業再編と分権化の管理会計
- 18 ITのための管理会計
- 19 研究開発費の管理会計
- 20 海外事業のための管理会計

#### 履修上の留意点

演習は学生による報告が中心となる。報告にあたっては、聴講者がより深く理解できるように資料を作成してもらうことになるが、ワープロだけでなく、プレゼンテーション用のツールなども活用すること。

#### 成績評価の方法

割り当てられた報告の内容、授業中の発言、出席状況、年2回課すレポートの内容に基づいて総合的に評価する。

#### 教科書

櫻井通晴『管理会計〔第三版〕』（同文館出版）  
計算問題については授業中に配布する。

#### 参考書等

項目ごとに指示する。

#### その他

演習は真面目に取り組めば生涯を通じての財産になる。1回の授業につきかならず、何か1つは新しい知識を身につけるよう集中して授業に臨んでもらいたい。



科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	営A3選				
担当者名	高田 光明 <small>たかだ みつあき</small>				

講義のねらい

この演習は、企業が行う財務活動に関して、資本調達面から重点的に研究する。今日、企業の財務という場合、企業による資本の調達と運用を指す。企業は、その活動を営むに際し、原材料、機械といった財貨を取得しなければならないし、労働力も確保しなければならない。そのために元手となる資本を企業は必要とする。資本の調達とは、この元手としての資本を集めることをいう。そして調達した資本で、企業は、上で述べた原材料などの生産要素を取得して、製品を生産し販売するという活動を遂行する。これが資本の運用である。

企業が必要とする資本を調達するには、株式や社債の発行とか、銀行からの借入など様々な方法がある。これらの資本調達方法は、特徴がそれぞれ異なる。したがってこうした資本調達方法を使い分けて、生産要素の取得を賄うための資本をいかに調達するかは、企業のその後には大きな影響を与える。当演習では、資本の運用面に配慮しつつ、企業は、資本の調達活動をどのように行うべきかについて考察する。

講義の内容・授業スケジュール

授業の具体的進め方としては、まず、基礎的知識の体系的理解を図るために、企業財務に関する入門書レベルの文献の共同研究から始める予定である。

履修上の留意点

企業が実施する財務活動に伴う資本の増減・変化は、企業の会計システムによって記録・測定される。したがって企業の財務活動に関する情報を理解し、企業の財務を研究するために、企業会計に関する初歩的知識は必要である。

成績評価の方法

適宜提出を求めるレポートにより評価する。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	営A3選				
担当者名	高木 克己 <small>たかき かつみ</small>				

講義のねらい

3年次では、前期において卒業論文作成に向けてのテーマ決定するために、法人税関連のテキストを読みます。なお、「税務会計論」も必ず並行して、受講してください。

3年次後期から4年次終了時までの予定としては、各自選定したテーマを数回に分けて報告することになります。例えば、制度の意義、概要、沿革、ケース・スタディ、問題点の整理、その解決策あるいは方向性、などです。

3年次終了時には、各自選定したテーマで進級論文（10枚以上、400字）の作成を行います。特に3年次では、各自のテーマの沿革、制度導入の背景等、現行の制度の内容、諸外国の制度との比較等に重点を置いて、作成することになります。

なお、合宿等の行事は、2年次と同じく例年通りです。

成績評価の方法

出席及び報告により評価します。

参考書等

最初の授業で紹介します。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	営A3選				
担当者名	滝田 <small>たきた こういち</small> 公一				

講義のねらい

本年度は、文献 [1] のほかに、代表的なデータ処理ソフトであるSPSS (the Statistical Package for the Social Sciences) を利用して演習を行う予定です。もう一つの代表的な処理ソフトであるSASがどちらかと言えば、理科系のためのデータ処理ソフトであるのに対して、SPSSは、文字通り社会科学のために開発されたデータ処理ソフトであります。この演習では、米国のNational Opinion Research Centerによってなされた、アメリカの成人2090人を対象とした世論調査General Social Surverを分析することによって、アメリカ人の宗教観、政治に対する姿勢、墮胎に対する考え方、などを調べます。

また、RATS、TSPといった計量経済学用のソフトを用いて、capital asset pricing modelや、生産費用の測定、製品の品質の変化の測定、賃金差別の問題などについても学習する予定です。

成績評価の方法

成績評価は、学年末に、課題に基づくレポート（通常、computer assignment）を提出してもらい、それによって行います。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	営A3選				
担当者名	中川 <small>なかがわ じゆんぺい</small> 淳平				

講義のねらい

この演習では、経営学説について考察する（したがって、演習での研究テーマとしては、経営学説のなかから1つないし複数の学説から選択することとなる）。併せて、文献・資料の調査の仕方、報告のあり方、文章のまとめ方について習得する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、参加者が知識を共有できる様、経営学史の基本文献を輪読する。したがって、毎回担当者を決め、報告をする。報告後、参加者で討論を行なう。後期は前期で学んだ諸学説の中から、適宜テーマを選択し、その研究内容を報告してもらい、討論を行なう。そして、一年間の学習の成果として、論文を提出してもらう。

履修上の留意点

予習・復習、あるいは論文作成のために多くの時間を割く必要があるので、積極的に勉学する、意欲ある学生の参加を望みます。

成績評価の方法

発表や討論の内容、論文、学習態度によって総合的に評価する。

教科書

岡本英嗣『アメリカ経営学の再吟味』（白桃書房、2005年）

参考書等

参加者が選択したテーマに応じ、適宜指示する。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	営A3選				
担当者名	なかむら こういち 中村 公一				

講義のねらい

本ゼミでは現代企業の置かれている環境とそれに対する経営戦略を紐解いていき、実践的な場面でも応用できる知識と考え方を身に付けるために、文献購読・資料調査・ケーススタディ・ビジネスプランニングなど多彩な課題に取り組みます。

ゼミは、単位を採るだけのものではなく、個人の「知的トレーニングの場」であり、他のゼミ生達と切磋琢磨する場であると考えて下さい。私の役割は、ゼミ生がゼミでの勉強をきっかけにして豊かな学生時代を築こうとする時のお手伝いをするだけに過ぎません。運営の主体は君達にあります。

(1) 文献購読やケーススタディなどを通して、企業の置かれている環境とそれに対する戦略を的確に理解する専門知識の習得、分析力、洞察力の強化を図ります。

(2) レポート作成を通してのアウトプット能力、論述能力、論理構成力の強化を図ります。

(3) 毎週の報告や議論などを通じてプレゼンテーション能力やディスカッション能力の強化を図ります。

(4) 実際にビジネスプランの策定を通して、事業戦略を構築する企画力と構想力の強化を図ります。

講義の内容・授業スケジュール

演習II (3年生)

前期; 経営戦略論に関するテキスト購読 (事例調査)

後期; ケーススタディの学習 (ケース分析レポート)

履修上の留意点

ゼミの理念は「知的トレーニング」にあるので、毎週レポートを宿題として課し、相当の勉強時間の確保が必要になります。また、ゼミでは議論が中心になるために、事前の準備も必要となります。

成績評価の方法

遅刻の常連、無断欠席、各種課題や提出物の期限の遅れ、不十分な内容のレポートを提出した場合は、厳しくチェックします。成績は、出席数、提出課題の内容、議論への貢献度などの平常点によって判断します。なお、4年次にはゼミ論文があります。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	営A3選				
担当者名	ながた ともりの 永田 智則				

講義のねらい

当ゼミナールは国際経済学にかかわる事象を研究対象としている。  
近年の国際的相互依存関係の緊密化は、どの国の経済にとっても、国際経済とのかかわりがいかに重要であるかを認識させてきた。ある国で生じた経済問題は、その影響が全世界に波及し、世界経済の流れを変え、各国経済に変革を迫る。この流れに対応できない経済は取り残され、困難に直面する。  
当ゼミナールでは、世界の各地で生じている諸現象の中から、経済発展と貿易の関係に焦点を絞って、この問題の研究を通して、国際経済の仕組みやメカニズムについて理解を深めることを目標としている。

講義の内容・授業スケジュール

「演習II」では視野を広げ、貿易が経済発展に果たしている役割を検討し、東アジア地域の経済発展と日本経済との関係を中心に研究する。

履修上の留意点

無断欠席、遅刻は厳禁。授業中は積極的に発言をすること。

成績評価の方法

授業中の発言や提出レポート等を含め、ゼミ活動にどの程度積極的に参加したかを最大の評価ポイントにする。

教科書

教科書及び参考文献等については必要に応じて紹介する。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	営A3選				
担当者名	なが こきょう 長 国強				

講義のねらい

現代は情報化社会といわれ、新聞・雑誌・インターネットを開いてもそこに大量の経済・経営データが見られる。ところで、経済・経営などのデータをそのまま見れば、単なる数字の山にすぎず、大切なことはそこから正しい見通しを得ることであろう。実際のデータから経済・経営など社会的な動きをどのように読みとるのかといった能力を養成できるようにすることを目的として、本演習はコンピュータを使ってのデータ解析の基本技術を学習する。

講義の内容・授業スケジュール

演習II（3年生）：HTML言語とEXCEL…コンピュータ上の情報発信とデータ解析  
WORDとEXCELの入門が既に果たされ、これからコンピュータのことを、情報通信やデータ解析などの実践を通じてもっと知りたいという学生のための演習です。インターネットの斬新さは、誰もが簡単にホームページなどで情報を発信できることにあると思う。演習IIの前期は、ホームページのレイアウトや仕掛けを記述するHTMLと呼ばれる言語を中心に展開する。後期は、近い将来学生諸君に直面されるだろう市場調査・予測、品質・生産管理などの課題をコンピュータ上、データ解析手法を使い、企業現場の具体例を交えて細かく実習していく。

成績評価の方法

平常点：出席・レポートの成績などで総合的に評価する。

その他

継続性ということから、演習IIの新規募集はいたしません。  
演習IIも毎回の実習アイテンに連続性があり、1回欠席すると、次回の実習についていけなくなることも考えられる。したがって、理由なく年間5回以上欠席した場合、自動的に除名されることにする。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	営A3選				
担当者名	にしむら かずお 西村 和夫				

講義のねらい

【テーマ：コンピュータ科学】 文書（英論文など）の読みかた、書きかた、発表のしかた、コンピュータの利用のしかたを体得し、論理的な思考力を養う。

講義の内容・  
授業スケジュール

入ゼミ手続き（2年次）

面接と文章完成法テストによって選考する。説明会に出席しないと、面接が受けられない。“情報処理基礎”をすでに履修していること。

演習II

・論文の読み方と発表のしかた（2） スタンフォード大学でも使っている“Concrete Mathematics” [1] の第1章を輪講する（レジュメと書画カメラを使う）。“再帰的な考え方”を理解する。

・“再帰的なプログラム”の作成。ゼミ論文のテーマの決定。

・仕様書の書きかた

・ゼミ論文中間報告書の提出。

その他

◆就職活動についてのアドバイス。面接の実習。ビジネス文書の書きかた [2]。

◆情報処理技術者試験の受験のための学習。

◆ゼミ論文テーマの発表。（年1度）・イベント（年1～2度）。

履修上の留意点

テーマは“コンピュータ科学”であって、コンピュータの操作方法ではない。コンピュータの知識がある人ではなく、やる気と実行力のある人を求む。入ゼミ者は、2年次までに“情報処理基礎”を必ず履修すること。

成績評価の方法

出席のほか

演習2：輪講のレジュメと発表、小テスト、ゼミ論文中間報告書

参考書等

[1] R.Graham, D.Knuth and O.Patashnik, Concrete Mathematics, Addison-Wesley, 1989.

[2] 吉田幸生『仕事の文章が面白いほど書ける本』（中経出版）1992年

その他

西村ゼミのページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kazov/>

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	営A3選				
担当者名	はとり しげる 羽鳥 茂				

講義のねらい

現在の日本経済のさまざまな姿を基本データによって確認し、新しい動きを理解することが本演習の主要な課題である。  
また、2002年3月にスタートした経済学検定試験（ERE）に諸君がチャレンジすることを薦めたいので、出題科目の学習についても指導する予定である。

履修上の留意点

積極的にゼミに参加することを学生諸君に要望する。

成績評価の方法

出席状況とゼミでの積極性ならびに年度末に提出する課題レポートによって成績を評価する。

教科書

古川 顕『テキストブック・現代の金融（第2版）』（東洋経済新報社）2002年 2,500円

参考書等

経済セミナー編集部編『経済学検定試験－ポイント解説と演習－』（日本評論社）2002年 1,680円

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	営A3選				
担当者名	はねだ しやうこ 羽田 尚子				

講義のねらい

自分の興味あるテーマを、データを使って分析し、得られた結果から新たな発見を得ることが目的です。パソコンを使った実習が中心になります。

講義の内容・授業スケジュール

前期はソフトウェアを使った実習が中心。データ解析ソフトTSPによる回帰分析の実習と、DEA Solverによる効率性評価の実習を行います。使い方を講義するので、配布したサンプルデータと自分で探したデータを使って各自実習してもらいます。結果と考察は、定期的に報告およびレポート提出してもらいます。後期は各自興味ある分析テーマを見つけ、そのテーマを分析するためにはどのようなデータを選ばよいか検討し、報告してもらいます。

履修上の留意点

分析テーマは、産業や企業に関するものとします（企業の研究開発活動や技術マネジメント、技術政策やベンチャーキャピタルなどイノベーションに関するものなら尚望ましい）。

成績評価の方法

出席状況、課題の提出、発表態度、理解度により総合的に評価します。無断欠席は厳禁です。

教科書

適宜紹介します。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
担当	営A3選				
担当者名	ひの けんた 日野 健太				

講義のねらい

このゼミでは組織が直面するさまざまな問題を取り上げ、多角的に分析する。組織論の問題を中心に上げ、組織論のものの見方を身につけることを目的とするが、経営学全般についての理解が深まるように、配慮する。

演習IIでは、自分の関心のあるテーマを明確にし、組織論の見地から論じられるようになることを目的とする。文献の輪読によって、分析のための概念を得るとともに、関心の所在について報告してもらう。

専門教育

講義の内容・授業スケジュール

演習Iと同じ。

履修上の留意点

演習Iと同じ。

成績評価の方法

演習Iと同じ。

教科書

開講時に指示する。参考までに、昨年度の演習IIで読破したのは、以下の3冊である。  
 中根千枝『タテ社会の構造』  
 三品和広『戦略不全の論理』  
 金井壽宏『リーダーシップ入門』

参考書等

有斐閣の『経済辞典』は、何かと重宝する。田尾雅夫・若林直樹『組織調査ガイドブック』はゼミ論のテーマを明確にするのに役立つ。

その他

演習Iと同じ。中だるみしないでやろうと思う。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
担当	営A3選				
担当者名	よじわら あつし 藤原 篤志				

#### 講義のねらい

本演習ではテーマを「企業における生産・技術・労働」としている。ゼミ生各人がこのテーマ・領域に関連して自分の興味・関心のあるテーマを選び、それについて研究を行い、4年のゼミ終了の時点までにゼミ論文を作成・完成させることを最大の目的としている。また授業の中で、ゼミ生には自分の論文の経過・成果についてプレゼンテーション（発表・報告）をしてもらい、それに対する質疑応答や議論・討論を他のゼミ生と活発に行うことにしている。以上のゼミ論文作成、プレゼンテーション、質疑応答、議論・討論を通じて、当該領域の知識を吸収することはもちろん、ゼミ生各人が物事に対して疑問や意見を持ち、それらを論理的に思考し、自分の意見を的確に表現することを目指している。

#### 講義の内容・授業スケジュール

3年次・4年次では、先述のように各人がゼミ論文のテーマを設定し、論文作成のための研究を進めていく。また授業自体は、ゼミ生各人による自分の論文についてのプレゼンテーション（発表・報告）、質疑応答、議論・討論を中心に行われる。その中で、報告・発表、思考、発言・表現等の能力を養っていく。このような研究報告や議論・討論を活発に効果的に進めるために、ゼミ内に全員が積極的に発言できるような雰囲気を作りたい。それゆえ授業以外のイベント（工場見学、合宿、コンパなど）には全員が参加することが原則である。

#### 履修上の留意点

以上のような内容なので、中途半端な気持ちで志願する学生には遠慮してもらいたい。2年という時間の中で、一定水準以上の論文を完成させるのは、継続的な努力と意欲が必要になるからである。勉強にしろその他のイベントにしろ、自分から常に積極的に参加・参画する姿勢が求められる。

#### 成績評価の方法

特に出席を重視。規定の欠席回数に達したものは即除籍にする。その他、ゼミでの報告内容や参加態度も成績評価に入る。



科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	営A3選				
担当者名	前田 和利 <small>まへだ かずとし</small>				

**講義のねらい** 日本経営史は圧倒的多数の企業の成功事例に彩られているが、他方では破綻・失敗に陥ったり、そこから再生する企業の事例にも事欠かない。本演習ではそれぞれの要因がどこにあったのかを事例研究をとおして検討する。

**講義の内容・授業スケジュール** 「失われた十年」における日本の経営の変化について検討を行ったうえで、明治期以降から現代までの企業の破綻・失敗→再生の事例を取りあげていく。なお、後期からは並行して個人・グループによる研究のプレゼンテーションを行ない、論文作成の指導を行なう。

**履修上の留意点** 演習を優先できる人の参加を希望する。

**成績評価の方法** 平常点（出席と授業態度）とレポート提出（1回）による。

**教科書** 下川浩一『「失われた十年」は乗り越えられたか』（中公新書）  
 宇田川勝ほか編『失敗と再生の経営史』（有斐閣）  
 その他については後日紹介する。

**参考書等** 適宜紹介する。

**その他** 担当者による要旨報告と問題提起、質疑応答という形式で進めるが、事前に要旨・資料の配布が求められる。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	営A3選				
担当者名	宮城 徹 <small>みやぎ てつ</small>				

**講義のねらい** 演習II（3年）  
 3年次ゼミ生は、2年次ゼミの研究成果を基礎にして英語圏とドイツ語圏（邦訳書）と日本の代表的な「新しい制度学派」の文献を素材として、2年次ゼミの場合と同様のやり方で、企業について一層突っ込んだ研究を行う。

こうして、ゼミ生は、2年次から3年次のゼミへというステップを踏んだ学習・研究を通じて、「組織理論」（特に意思決定理論とコンティンジェンシー理論＝状況的アプローチ）と「新しい制度学派」の双方の組織（＝企業）についての理解の共通性や相違点などを少しでも見分けることができるようになれば、それに越したことはない。それはともあれ、3年次ゼミ生は各自、同ゼミの最後の段までに、「ゼミ論文」のテーマを設定し、私に提出しなければならない。

※ ゼミは、毎回1人あるいは複数のリポーターが与えられた範囲をレジュメに基づいて報告し、その他のゼミ生もそれを中心にして活発にディベートするように進める。

※ ゼミの中心的素材はゼミの開始時に指示する。

※ 斉藤 孝著『学術論文の技法』（日本エディタースクール出版部）平成9年、を入手のこと。

**成績評価の方法** 平常点評価。その際、(a) 出席を重視する。(b) 自分の思うところを述べ、他人の意見に注意深く耳を傾ける能力があるかどうかを重視する。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	営A3選				
担当者名	やまだ じゆんべい 山田 純平				

講義のねらい

日本の会計基準は、国際的な調和化を理由に、ここ10年でかなりの変貌をとげてきたといわれる。しかし、国際的な調和化といっても、そもそも世界的に会計基準がどのような方向に向かいつつあるのか、その背景となる考え方はどのようなものか、といったことは十分に検討されているとはいえない。そこで、本演習では、企業会計に関する基礎的な知識を身につけるとともに、国際基準の動向とその基礎概念を考察する。  
また、会計基準は実際に運用されてこそ意味があるのだから、現実の財務諸表を分析することを通じて、会計基準の実態面についても合わせて検討をする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、企業会計に関する基礎的な知識を得るためのテキストの輪読を継続する。その後、財務諸表の読み方に関するテキストを読むとともに、卒業論文に向けて中間報告をしてもらう。

履修上の留意点

原則として毎回出席すること。また、ゼミの行事にはできるだけ参加すること。

成績評価の方法

議論への参加度、報告の出来、出席率で評価する。

教科書

授業中に参加者と相談のうえ、決定する。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	営A3選				
担当者名	やまだ まさる 山田 勝				

講義のねらい

ボーダレス時代にビジネスパーソンとして活躍するためのセンスを磨くこと。

講義の内容・授業スケジュール

英文経営雑誌 Business Week の Cover Story を素材に（コピーを配布）、その内容についてディスカッションする。共通語は英語。英語を学ぶのではなく、英語が含まれている国際的経営センスを得ることが目的。

成績評価の方法

平常点評価。毎時間出席し、積極的にディスカッションに加わることが評価の対象となる。

科目名	民法II (債権法)	開講	通年	単位	4
配当	営A34選				
担当者名	上井 長久 <small>うえい ながひさ</small>				

講義のねらい

本講義は、他人に対して、或る物を交付させること、または、或ることを為すことを要求する権利、すなわち債権についての実体的権利関係を総合的に考察するが、それを通して、債権をめぐる問題に対して精通するとともに、柔軟に解決できるように導くことを目標とする。そのように人が人に対して或る事柄を要求することを正当と認め、その請求の実現が当事者間ではかることが出来ない場合に、当事者の一方の訴えに基づき他方の責任を追求するために裁判所が力を貸す関係が債権関係である。そのような人と人の関係は、封建的な身分関係から生じるのではなく、周知のように近現代では多くは契約関係から生じる。その他に、契約関係がなくとも相互扶助、公平、損害補填等の要請に基づく事務管理、不当利得、不法行為などからも債権関係が生じる。

債権法は、その全てについて言えることではないが、合意優先ないし契約自由の原則の及ぶ領域においては、その規定が任意法規性のゆえに日常の経済生活では往々にして、合意により債権法規と異なる生活規範が設定され、また、それが許される法の範疇である。この範疇においては、日常生活の一定の基準たる債権法規の解釈と、その法規を排除した、より有益な準則を設定した生活関係の両方を理解することが必要である。

講義の内容・授業スケジュール

この講義は、債権総論と債権各論を講義の対象とする。まず債権法全体の仕組み、内容をひととおり説明したうえで、債権一般の通則たる債権総論、次いで債権発生の原因にあたる契約、事務管理、不当利得、不法行為などの債権各論について逐条的かつ重点的に解明する。講義の内容および進行は、具体的には、以下の予定である。

- (1) 債権の意義・性質・社会的機能、債権法の法源、債権法の特質・体系 (前期) (第1回)
- (2) 債権の目的・内容 (第2回)
- (3) 債権の効力——債務と責任、履行強制 (第3回)
- (4) 債務不履行責任 (第4、5回)
- (5) 債権の対外的効力——債権者代位権 (第6回)
- (6) 詐害行為取消権 (債権者取消権) (第7回)
- (7) 多数当事者の債権関係——債権の共有・合有・総有、分割・不可分債権 (第8回)
- (8) 連帯債務、保証債務 (第9、10回)
- (9) 債権の譲渡、債務の引受 (第11回)
- (10) 債権の消滅 (第12、13回)
- (11) 契約総則——債権発生原因、契約自由の原則、契約の種類 (後期) (第14回)
- (12) 契約の成立 (第15回)
- (13) 契約の効力——同時履行の抗弁権 (第16回)
- (14) 危険負担、(第17回)
- (15) 第三者のためにする契約 (第18回)
- (16) 契約の解除 (第19回)
- (17) 贈与、売買、交換 (第20回)
- (18) 消費貸借、使用貸借、質貸借 (第21回)
- (19) 雇傭、請負、委任等の契約 (第22回)
- (20) 事務管理、不当利得 (第23回)
- (21) 不法行為 (第24、25回)

履修上の留意点

債権法は、民法学の一分野であるから、必然的に民法の他の分野にも関連する。とくに債権を担保するための担保物権や民法全体の基本原則である民法総則などを扱う「民法I」も併せて履修することが望ましい。

成績評価の方法

学年末の定期試験で行う。

教科書

我妻栄・有泉亨・川井健著『民法2 債権法』(勁草書房)

参考書等

遠藤浩・川井健他編『民法(4)～(7)』(有斐閣双書)および稲本洋之助・上井他共著『民法講義5 契約』(有斐閣大学双書)

科目名	商法II（商行為、手形・小切手法）	開講	通年	単位	4
配当	営A34選				
担当者名	なかほま よしあき 中濱 義章				

#### 講義のねらい

手形小切手法の基本的な原則・制度を理解し、諸問題を検討することを通じて有価証券法理の基礎を習得する。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

講義は以下の順に行い、各項目ごとに1～2回程度の授業時間を割り当てる。講義の内容は、制度の概要を解説し、具体例を通じて問題点の検討をおこなう。

- 1 手形・小切手の意義および性質
- 2 手形法・小切手法の意義および役割
- 3 手形行為の意義・特色
- 4 手形行為の成立時期
- 5 手形能力、手形行為と意思表示に関する一般原則
- 6 代理人・代表者による手形行為
- 7 無償代理と偽造
- 8 手形関係と手形の実質関係
- 9 手形の振出
- 10 白地手形
- 11 手形の裏書
- 12 為替手形の引受、手形保証
- 13 手形上の権利の取得と善意取得制度
- 14 手形上の権利と手形抗弁
- 15 手形上の権利の消滅
- 16 支払・不渡・遡及
- 17 小切手特有の法制度
- 18 振込・振替など新たな決済システムに関する諸問題

#### 履修上の留意点

六法は小型のものでかまいませんので2007年版を携行して下さい。例えば、『ポケット六法』（有斐閣）、『コンパクト六法』（岩波書店）、『ディリー六法』（三省堂）など。  
民法（財産法関係科目）および商法科目を履修済み、あるいは履修中であることが望ましい。

#### 成績評価の方法

期末試験での評価を予定していますが、レポートを課す場合もあります。

#### 教科書

濱田惟道『手形法小切手法』（文真堂）

#### 参考書等

開講時に指示します。

『別冊ジュリスト 手形小切手判例百選（第6版）』（有斐閣）  
山下友信＝神田秀樹編『商法判例集』（有斐閣）

科目名	外書講読（英書）	開講	通年	単位	4
担当	堂A34選				
担当者名	高田 <small>ただ みつあき</small> 光明				

講義のねらい

この講義では、英文で書かれた専門書の内容を正確に理解できるようになることを目的とする。そのためには、日本語の場合と異なる英語の構文を正しく捉える必要があるし、単語の意味を、前後の文脈に関連させて正確に知ることが大切である。前後の文脈に配慮することなく、単語を日本語に機械的に置き換えて事足りりとする学習態度では、英語の専門書を読むことにはならない。このような読み方では、簡単な単語で構成された単純な構文の文章でも、その内容を正確に理解できるようにはならない。おそらく、いつまでたっても、たまたま正しく読めることもあるという状態のままであると思われる。この授業では、そのような英文読解力の水準から脱却することを狙いとする。

履修上の留意点

英語の専門書の内容を理解し、本当の意味で読めるようになるためには、たんねんに文脈を追うという態度で、まず自分自身で英文を理解しようと努める必要がある。外書講読のような科目では、予習を行って、教材のどこが分かりどのところが分からないかを自分自身で前もって知っておくことが不可欠である。そして、授業中には、予習で分からなかった点を理解できるように努め、予習では分かると判断した箇所も、ほんとうに理解できていたか確認しながら学んで頂きたい。こうした地道な学習の仕方を続けることが肝心である。

成績評価の方法

筆記試験による評価を原則とし、平常点を加味する。

教科書

アメリカ合衆国で定評のある企業財務の専門書（大学の教科書として入門書レベル）の一部を使用する予定である。

科目名	外書講読（英書）	開講	通年	単位	4
担当	堂A34選				
担当者名	前田 <small>まえだ かずとし</small> 和利				

講義のねらい

英文読解力を養成するとともに、日本のマーケティングに関する理解力を深める。

講義の内容・授業スケジュール

日本のマーケティングに関する全体像を把握したうえで、特に流通システムと総合会社に焦点を当てる。

履修上の留意点

輪読形式をとるので、事前に割り当てられた各担当者は必ず発表することが義務づけられます。

成績評価の方法

平常点（出席・発表）を重視するが、学年末に簡単な試験を行う。

教科書

Paul Herbig, Marketing Japanese Style (Quorum Books,1995)

参考書等

適宜紹介する。

科目名	外書講読（独書）	開講	通年	単位	4
配当	営A34選 営B34選				
担当者名	柴野 <sup>しばの</sup> 博子 <sup>ひろこ</sup>				

講義のねらい

現代のドイツ語圏の政治、経済あるいは文化について書かれたテキストを読みます。ドイツ語の読解力をつけるとともに、現代のヨーロッパ社会について理解を深めることをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

ドイツ語の文章の読解が主な内容です。毎回、一人半ページ位の独文を和訳していただくことになると思います。

履修上の留意点

特別な事情がない限り、毎回出席して下さい。また、すでにドイツ語I、IIを履習していることが望ましいのですが、それ以外でも、意欲のある方は相談して下さい。

成績評価の方法

毎回訳していただきますので、成績評価は平常点で行います。

教科書

テキストは受講者の希望をきいて決定し、コピーしてお渡します。

科目名	外書講読（仏書）	開講	通年	単位	4
配当	営A34選 営B34選				
担当者名	遠山 <sup>とこやま</sup> 博雄 <sup>ひろお</sup>				

講義のねらい

フランスの社会や時事問題について、フランス語の文章の読解を通じて学ぶこと。

講義の内容・授業スケジュール

前もって与えられた課題を予習し、教室で答え合わせをする。

履修上の留意点

これまでに習った文法の知識を自分で復習し、辞書をていねいに引くこと。

成績評価の方法

平常点で評価。

教科書

参加者の希望を聞いてからプリントを作成する。

科目名	外書講読（中国書）	開講	通年	単位	4
担当	堂A34選 堂B34選				
担当者名	宮本 <sup>みやもと</sup> 厚子 <sup>あつこ</sup>				

講義のねらい	ネイティブが読むのとまったく同じ、ピンインなし、語釈なしの文章を読む力を養う。
講義の内容・授業スケジュール	テキストについては、開講時受講者と相談の上決める。やさしいものから始め、段々に難しいものにチャレンジしていく。
履修上の留意点	毎回、辞書を引き、内容を把握してから、授業に臨んでもらう。予習は必須。
成績評価の方法	年に2回の学期末テストと、出席などの平常点で評価する。
教科書	コピーを配布。
参考書等	開講時に指示。

科目名	外書講読（スペイン書）	開講	通年	単位	4
担当	堂A34選 堂B34選				
担当者名	上野 <sup>うえの</sup> 勝広 <sup>かつひろ</sup>				

講義のねらい	専門書をひとりで読みこなすことができるよう、1年次、2年次で学んだスペイン語の基礎の上に、読解力を養う訓練をします。
講義の内容・授業スケジュール	スペイン語圏の社会と文化に関するテキストを読む予定です。
履修上の留意点	スペイン語の基礎文法をしっかり復習しておくこと。現代のスペイン語文に親しんでもらうため、できるだけ多量のテキストを読んでもらいます。予習復習は欠かせません。また個々の受講者の興味、関心、専攻と結びつけてテキストに関してのコメントを求めます。動機を明確にしておきましょう。スペイン語圏に真面目に関心のある学生の受講を期待します。
成績評価の方法	毎回の授業参加と、各回の達成度チェックによります。
教科書	プリント使用。

科目名	外書講読（ロシア書）	開講	通年	単位	4
配当	営A34選 営B34選				
担当者名	すぎやま ひでこ きとう かずこ 杉山 秀子・佐藤 和子				

**講義のねらい** やさしいロシア語の実用的文章をできるだけ多く読み、その中から日常よくつかわれる表現をとりあげ、日常会話で応用できるように学んでいきたい。ビデオや映画なども積極的に活用し、その中でとりあげられてるオフィシャルなロシア語表現に慣れ、ロシア人とのコミュニケーションを円滑なものにするべく努力してみたい。

**成績評価の方法** 出席を重視します。出席率プラス年二回の小テストの総合点で判断します。

**教科書** プリント配布。  
ビデオと映画をみるチャンスをつくります。

科目名	ビジネス英語	開講	通年	単位	4
配当	営A34選 営B34選				
担当者名	すぎやま やすひこ 杉山 泰彦				

**講義のねらい** 総合社の実務で実際に行って居た貿易のステップを教え込み、それに沿った代表的な手紙の書き方の型を暗記させて、基本に従った文章が楽に書ける様にしたい。

**講義の内容・授業スケジュール** 商業英語・ビジネス英語を今回勉強する意義（なぜ係る商業英語を勉強する必要があるのか？）を学生諸君に充分理解してもらおう為に、小職が40年間勤務した日本の総合社で経験した輸出入から大型プラント輸出及びその建設迄をアフリカ、南米、アラブ諸国での経験を具体的に説明し、いかにこれらの仕事のためにビジネス英語が必要であるかを説明し、一般、商内の成立するフローも（offer）-（counter offer）-（nego）～（Contrac）～（決済手段の確保）～船積み）での流れで具体的に理解せしめ、且つその後のクレーム処理、仲裁で負けない英文体を実際に学生達が将来まねのできる総合社の法務部が作成した具体的例文で実戦に役立つ様に教授したい。

**履修上の留意点** 学習姿勢即ち出席率をよくさせ、貿易実務に則した文型を反復して独人で海外出張先でも安全な文章が書ける様に育てたい。

**成績評価の方法** 学期毎の7月、12月の年2回の試験の成績と出席率を重視した受講態度も考慮する。

**教科書** 田中武雄『初めて学ぶビジネス英語』（成美堂）2,000円（税別）

**参考書等** 参考書は日商岩井（株）が使っていた社内教育用の参考書よりプリントを作り参考とした。

**その他** 大手商社が法的にしっかり考えた文例をプリントして Time to Time 配布して参考とした。



科目名	特殊講義（後期）	開講	半期	単位	2
配当	営A34選 営B34選				
担当者名	さいとう ただし 齋藤 正				

講義のねらい

野村ホールディングス（旧野村證券）の提供による本講座は、「資本市場の役割と証券市場」をテーマとして、野村ホールディングス、野村総合研究所の現役スタッフによって講義される。証券投資に関する基礎から出発するので、証券業務にはじめて触れる者にも十分対応しうる授業である。また、現役スタッフによる「現場」の動向をも織り交ぜた講義であり、証券業界のみならず、広く金融業界への就職を検討する際に大いに参考になることが期待される。

講義の内容・  
授業スケジュール

以下の進行を予定しているが、講師の都合によって変更される場合があるので、毎回の授業においてスケジュールを確認しておくこと。

- 1 ガイダンス
- 2 経済情報のとらえ方
- 3 経済成長と金融資本市場
- 4 証券投資のリスクとリターン
- 5 株式市場の役割
- 6 債券市場の役割
- 7 投資信託の役割
- 8 ポートフォリオの考え方
- 9 市場のグローバル化
- 10 資産運用とライフプランニング
- 11 資本市場と投資家心理
- 12 個人投資家
- 13 ベンチャーとIPO

履修上の留意点

定期試験および追試験は実施しない。

成績評価の方法

出席点とレポート点で評価する。

教科書

教科書は特に指定しないが、毎回、レジユメを配布する。パワーポイントを用いた授業となる予定。

参考書等

氏家純一編『日本の資本市場』（東洋経済新報社）2002年。  
福光寛・高橋元編著『ベーシック 証券市場論』（同文館出版）2004年。

その他

企業の現役スタッフによる講義であり、定刻に開始し、4年生の就職活動による場合を除き原則として遅刻は認めない。また、私語など受講態度に問題がある場合、退室を指導することがある。

科目名	演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	営A4選				
担当者名	あかし ひろゆき 明石 博行				

**講義のねらい** 本演習では、今年度の研究テーマである平成不況の研究を深めるとともに、卒業論文を執筆します。

**講義の内容・授業スケジュール** 演習は前期と後期にわけて行います。前期には、パワーポイントを使って、プレゼンテーションに関する学習に取り組み、企業分析と景気動向分析のプレゼンテーション用資料を作成します。また、卒業論文の執筆準備を進めます。後期には、パワーポイントを使って研究成果のプレゼンテーションを行うとともに、卒業論文についての報告と討論をしつつ、卒業論文を完成させます。こうした卒論への取り組みと関連させて、インターネットを通じた情報収集能力と情報の整理能力のさらなる向上を図り、秋にはパワーポイントを用いたプレゼンテーションと卒業論文の中間報告・検討のための合宿を行います。

**履修上の留意点** 4年次には、卒業論文のテーマに即して班を再編します。卒論の作成にさいしては、班ごとあるいは個人ごとに、演習時間外に補足的な相談会を行います。

**成績評価の方法** 成績は、通常の演習および相談会などへの参加状況を基本としつつ、卒業論文の取り組みにかんする判断を加えて評価をします。

**教科書** 卒業論文の作成に必要なすべての文献が、教科書・参考書となります。また、4年次の学習用テキストとして、『NIKKEINET・景気ウオッチの活用法』と『決算分析の基礎』に加え、『卒論作成の手引き』を配布し、使用します。

科目名	演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	営A4選				
担当者名	あべ かずひと 阿部 一人				

**講義のねらい** 各自の選択したテーマにそって、卒業論文の作成とその検討を行う。

**成績評価の方法** 成績評価は、報告発表、レポート、出席状況により総合的に判定する。

**教科書** 授業中において適宜指示する。

科目名	演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	営A4選				
担当者名	飯田 哲夫				

#### 講義のねらい

この演習では、企業経営上の問題解決のための定量的な情報分析の理論と方法について学びます。近年の情報技術の発展により、大量のデータや情報を活用した定量的な分析の多くが、比較的容易に行うことができる状況になってきており、それらを利用して定量的に問題を分析することは、データに裏づけられた合理的な意思決定へと通じていきます。そして、分析の際には、より有効にデータや情報を活用するために、また、問題の本質を理解するために、しばしば問題状況を数理的にモデル化します。この演習では、ゼミ論文の作成を通して、問題を定量的に自ら分析できるようになることを目指します。

#### 講義の内容・授業スケジュール

各自が、モデルによる意思決定・分析に関するテーマを決め、そのテーマに沿ってゼミ論文を作成します。

#### 履修上の留意点

自ら問題意識を持ち、積極的にテーマに沿った調査・研究を行うことが求められます。

#### 成績評価の方法

ゼミ論文の内容とそのプレゼンテーション、および出席・受講態度を考慮して総合的に評価します。

#### その他

高井徹雄 代講分

科目名	演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	営A4選				
担当者名	飯田 哲夫				

#### 講義のねらい

この演習では、企業経営上の問題解決のための定量的な情報分析の理論と方法について学びます。近年の情報技術の発展により、大量のデータや情報を活用した定量的な分析の多くが、比較的容易に行うことができる状況になってきており、それらを利用して定量的に問題を分析することは、データに裏づけられた合理的な意思決定へと通じていきます。そして、分析の際には、より有効にデータや情報を活用するために、また、問題の本質を理解するために、しばしば問題状況を数理的にモデル化します。この演習では、ゼミ論文の作成を通して、問題を定量的に自ら分析できるようになることを目指します。

#### 講義の内容・授業スケジュール

各自が、モデルによる意思決定・分析に関するテーマを決め、そのテーマに沿って論文を作成します。

#### 履修上の留意点

自ら問題意識を持ち、積極的にテーマに沿った調査・研究を行うことが求められます。

#### 成績評価の方法

ゼミ論文の内容とそのプレゼンテーション、および出席・受講態度を考慮して総合的に評価します。

科目名	演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	営A4選				
担当者名	いしなざか くにあき 石名坂 邦昭				

講義の内容・  
授業スケジュール

各自のテーマについて論文を作成し、全体の論文集を作成する。

成績評価の方法

論文をもって評価する。

参考書等

論題に必要な資料を紹介する。

科目名	演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	営A4選				
担当者名	おさわ としひさ 小沢 利久				

講義のねらい

個人・企業は様々な場面で次を取るべき行動の選択（意思決定）を迫られています。例えば、投資家は日々変動する株価と付加的な情報を基に資金の投資配分を決めています。電話会社は携帯電話機数の伸びや通話時間の伸びを考慮しながら次の設備投資判断をしています。本演習では、このような問題に対処するための学問的基礎として、経営科学の各種手法とコンピューターリテラシについて学んでいきます。経営科学とは、経営活動などにおいて生じる様々な意思決定を科学的に支援するための方法を考える学問であり、対象をモデルで表現し、コンピューターを使って定量的に分析する点に特徴があります。また、経営科学の応用範囲は、伝統的な生産・流通の分野から近年はマーケティングやファイナンスの分野へと広がりつつあります。

講義の内容・  
授業スケジュール

経営科学の関連分野から各自テーマを決め、それについて調査、モデル化、分析を行い、論文にまとめてもらいます。そのために、前期は興味のある対象を選び、順番にその調査結果を発表してもらいます。後期は、前期の調査結果をもとに論文にまとめるべき問題を設定し、自分なりの答えを論文としてまとめてもらいます。最後に、論文発表会を行います。

履修上の留意点

演習の内容をより良く理解するために、情報処理基礎、情報処理応用I、経営科学概論、経営科学など、経営科学系の科目を事前に履修することを勧めます。

成績評価の方法

論文の提出を必須とし、その内容に、出席状況、受講態度や理解度を勘案して評価します。

科目名	演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	営A4選				
担当者名	各務 <sup>かがみ</sup> 洋子 <sup>ようこ</sup>				

講義のねらい

大学は、学問追究の場です。しかし、単に高度な学術知識を与えるだけの場ではありません。3年間の演習を通して、大学時代に身につけるべき個人の貴重な資産（能力）を知的交流を通して培うことを目指します。具体的には、(1) 高度な学術性と同時に、創造的な理解力を身につけ、多様な価値観から常に自由な立場であり続けるための批判的知性を育てること。(2) 多くの知識を幅広く学ぶということではなく、幅広い知識を深く学ぶための確固たる主体性を育てること。(3) 生涯、知的に成長を続けるために備えておくべき力を、習慣化すること。これらを実現するために、様々なプログラムを用意しています。常に、ワクワクドキドキする知的緊張感を研ぎ澄ませ、楽しみながら現実と理論の融合を試みます。

現代企業に焦点をあて、企業の所属する業界構造、利害者集団との関わり、競争状態などの外部環境分析、ヒト・モノ・カネ・情報などの内部環境分析を通して、企業の採るべき行動、戦略、組織構造、経営管理形態などを考察する。企業をウチ側とソト側から、経営学の視点に立ち、複眼的、立体的に観察・分析・研究する。

講義の内容・授業スケジュール

理論研究では、最新の経営学の領域で出版された専門書を取り上げる（適宜指示する）。発表方法は、演習Ⅱと同様。重要なポイントをテーマとして取り上げる30分ディベートを、毎週実施する。個人研究は、演習で問題提起され、分析を続けている個人個人の研究をまとめあげる。年度末には、演習Ⅰ、演習Ⅱの履修者も交えて、パワーポイントで作成したプレゼンテーション資料をもとに、発表会を開く。

履修上の留意点

無断欠席は嚴重注意。

成績評価の方法

個人研究の定期的な提出。個人研究のプレゼンテーション。平常点（ゼミでの発表力、議論への貢献度等）。

教科書

ゼミ内で適宜指示する。

参考書等

適宜指示する。

その他

合宿は、年1～2回。後期の研究に関連した会社訪問、工場見学など。コンパは、課題の山終了毎に随時開催。

科目名	演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	営A4選				
担当者名	かしま ひであき 鹿嶋 秀晃				

#### 講義のねらい

研究テーマは現代日本企業の人事労務管理。大学生活の中で、ゼミは最も勉強に打ち込み、一番思い出になるところだと考えます。よって、積極的に勉強し、行事を企画し、みんなで楽しくゼミを過ごしたいという学生を採用します。

#### 講義の内容・授業スケジュール

現代の日本企業とそこに働くサラリーマンが抱える問題に関して、入門書と専門書を読んできます。企業と労働、社会について幅広い関心を持ち、科学的に考える力を養います。サブテーマは「終身雇用」「年功賃金と能力主義」「日本的経営」「女性労働」「日本的労使関係」「会社人間」「過労死」ほか。2ヵ月に1冊のペースで本を読みます。受講者全員はあらかじめテキストを熟読し、中から報告者（レジュメを作成）、コメントータを決め、その2人を中心に議論をしていきます。報告者とコメントータは順番。また、毎回の「新聞発表」では担当者が最近の新聞から企業経営や労務に関するものを切り抜き、自分のコメントを加えてプレゼンテーション。4年次は卒論作成中心。

専門教育

#### 履修上の留意点

出席重視。無断欠席は単位認定なし。ただし、特別に事情がある場合には個別に対応します。レジュメはワープロで作成のこと。ゼミ以外の工場見学、コンパ、合宿等の時間割以外の行事もゼミの一環なので必ず出席するように。

#### 成績評価の方法

出席点、講義中の発表・発言、レポートを総合して判定。

#### 教科書

適宜指示。参考までに過去のテキスト例。中村圭介『成果主義の真実』、大沢真知子『ワークライフバランス社会へ』、佐藤博樹・佐藤厚『仕事の社会学』、橋木俊昭『格差社会』、木名瀬武『人事改革の法則』など。

#### 参考書等

演習時に適宜紹介。

#### その他

履修希望者は、経営労務論を履修のこと。他のゼミ活動に、卒業論文集の発行、ゼミ書評、全国コンテスト参加などがあります。WEBページ参照。<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kashima/index.html>

科目名	演習III	開講	通年	単位	4
配当	営A4選				
担当者名	かたきりのお 片桐 伸夫				

講義のねらい

このゼミは3・4年次（演習II・III）で「就職希望会社の経営分析」を行うことを目的とします。

経営分析とは、文字通り「企業の経営を分析すること」であり、きわめて範囲の広いものです。具体的には、皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
  - 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
  - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
  - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、
- といった内容です。

履修上の留意点

このゼミでは、経営分析の中でも、とくに財務諸表（貸借対照表や損益計算書など）の分析を中心とします。したがって、1年次の簿記学に興味を感じた人向きのゼミです。

成績評価の方法

成績評価の方法は平常点です。  
4年次（演習III）では、2年間の成果をゼミ論としてまとめます。

その他

プレゼミや合宿も行います。  
ゼミ入室の決定方法は面接〔志望理由書（500字程度）事前提出〕とテスト（演習Iは1年次学習中の簿記、演習IIは日商簿記検定2級程度）によります。  
なお、いうまでもなく無断欠席と遅刻は厳禁です。以上の方針に見合う、学習意欲十分な学生諸君の参加を希望します。

科目名	演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	営A4選				
担当者名	かねむら えいてつ 兼村 栄哲				

講義のねらい

今日のように社会的な分業体制が成立している経済においては、生産と消費の間にさまざまな隔たりが発生しており、円滑な交換が阻害されていることが少なくない。こうした隔たりは、一般に、経済的懸隔と呼称されている。

経済的懸隔には、①財ないしサービスの生産者と消費者が人格的に分離したことから生じる主体的懸隔、②商品の生産者と消費者が、それぞれ、相手の事情に関する情報を欠如していることから生じる情報の懸隔、③商品が生産される地点とそれが消費される地点が異なることから生じる空間的懸隔、④商品が生産される時点とそれが消費される時点が異なることから生じる時間的懸隔などがある。

マーケティングとは、以上の経済的懸隔を架橋することにより、円滑な交換（の連鎖）を実現し、ひいては、消費者が生産者が生産した商品を消費することを可能にする活動をいう。

本演習のねらいは、履修者の一人ひとりが、こうしたマーケティングにかかわる諸現象を体感し、当該現象について自分なりに論理的に説明できるようになることにある。

講義の内容・授業スケジュール

学業面における大学生活の集大成として、各自の問題意識にしたがい卒業論文を作成する。当論文は、A4版用紙1頁あたり1,200字（40字×30行）で25枚以上とする（ワープロ原稿）。

履修上の留意点

- 1 通常の演習のみならず、合宿その他の課外活動にも参加すること。同時に、たんに出席するのではなく、自発的に自分なりの疑問や意見を示すなど、積極的に参加すること。
- 2 お互いの親睦を図ること。
- 3 無断で欠席や遅刻を繰り返したり、病気・就職活動などを理由に欠席や遅刻をしたにもかかわらず、その証明書を持参しない履修者については、卒業論文の最低枚数が増加することもあるので注意すること。
- 4 授業開始後、諸般の事情で履修を取りやめる場合には、必ず事前にその旨を申し出ること。

成績評価の方法

授業態度、卒業論文の内容等を総合的に評価する。

参考書等

適宜紹介する。

科目名	演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	営A4選				
担当者名	きしだ たかゆき 岸田 隆行				

講義のねらい

これまでに習得した原価計算・管理会計の知識をもとに、卒業論文を作成する。論文作成の各段階ごとに報告を行い、内容についてゼミ員同士で討論することによってよりよい論文を作成できるようにする。

履修上の留意点

ゼミには積極的に参加してもらいたい。  
また、他人の卒業論文の報告であっても、自分に関係ないという態度ではなく、積極的に批判や質問をすることによって、切磋琢磨し、それぞれがよりよい論文が書けるよう努力してもらいたい。

成績評価の方法

出席、報告の内容、論文によって総合的に評価する。

参考書等

それぞれのテーマに沿った文献を適宜紹介する。



科目名	演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	営A4選				
担当者名	<small>さるやま よしひろ</small> 猿山 義広				

講義のねらい

この講義では、前年度に学んだ現代の管理会計理論に対する理解がより深まるように、相当数の演習問題を解いてもらう。また、自らが決めたテーマについて400字詰め原稿用紙30～50枚程度のレポートを作成してもらう。大学での勉強の集大成となるような力作を期待する。

講義の内容・授業スケジュール

演習問題は以下に示すような項目に分けられる。

- 1 標準原価計算
- 2 直接原価計算
- 3 CVP分析
- 4 セールス・ミックスの決定
- 5 事業部の業績測定
- 6 予算編成
- 7 予算実績差異分析
- 8 差額原価収益分析
- 9 設備投資の意思決定
- 10 戦略的管理会計

履修上の留意点

演習問題を解くにあたっては知識以上に集中力と粘り強さが重要になる。ちょっとだけ問題を見て、難しそうだからといって、簡単にあきらめてはいけない。

成績評価の方法

授業への取り組み、出席状況、レポートの内容に基づいて総合的に評価する。

教科書

前年度に引き続き、櫻井通晴『管理会計〔第三版〕』（同文館出版）を用いる。演習問題については授業中に配布する。

参考書等

必要に応じて指示する。

その他

卒業後、胸を張って「私は学生時代、管理会計論の演習を受講しました」といえるだけの成果が上げられるよう、限られた時間の中で一生懸命に勉強してもらいたい。

科目名	演習III	開講	通年	単位	4
配当	営A4選				
担当者名	鈴木 幸毅				

#### 講義のねらい

我々の生きる現代は、企業社会といわれ、また組織社会とも言われている。この社会において企業は、経済的権力を握り社会的及び政治的権力を行使しているが、国際化の真価を問われ、著しく進んだ情報化・技術革新によって革命的影響を受け、そして成熟化社会における価値観の多様化によって社会との関係枠組みの変革を求められている。こうした状況は、経営管理（論）の理論的及び実践的研究に対して影響を及ぼす。

以上の認識のもとに、今年度は、「企業責任と環境問題」について検討する。  
 <テーマ> 「企業責任と環境問題」

#### 講義の内容・授業スケジュール

- (1) 企業概念と理論について学習し、それを基礎に「企業責任」を考える。
- (2) 企業の環境問題とは何かについて現実的に捉え、それを理論的に整理し、「企業責任」と「社会的貢献」を明らかにする。

#### 成績評価の方法

個人又は共同論文作成を中心に成績を評価する。

#### 参考書等

鈴木幸毅著『環境問題と企業責任〈増補版〉』（中央経済社）平成6年  
 同 『環境経営学の確立に向けて』（税務経理協会）平成11年

科目名	演習III	開講	通年	単位	4
配当	営A4選				
担当者名	高田 光明				

#### 講義のねらい

3年次からの演習に参加している間に、自分なりに持った問題意識のもとで、どのようなゼミ論文のテーマを選ぶかという作業は、自発的な姿勢で取り組むことを要求される。テーマ選定の過程でいろいろと文献を探して読むという経験を積むことは、大学卒業後に、仕事の必要に応じて、また自らの関心・興味にしたがい、自分で主体的に学べる能力である自己学習能力を身に付けるために有効である。そして論文の執筆過程で、考えながら書き、書きながら考えを深めてまとめていくことは、論理的に思考する能力を培うのに役立つ最も主体的な行為である。したがって、これらの作業は、演習IIで強調した大学教育の中心目的の達成を図る上で、きわめて重要な位置を占めている。

#### 講義の内容・授業スケジュール

演習IIIでは、リスク・リターン関係や資本のコストといった概念をキーワードにして、企業の資本調達問題についてさらに議論を深める。そしてこのようなテーマで演習を進めていく間に、各自が持った問題意識のもとで選んだ個別テーマにより、ゼミ論文を作成する。

#### 履修上の留意点

ゼミ論文の出来・不出来は、テーマをいかに絞り込むかにかかっている。扱うテーマが広いとどうしても掘り下げ不足となり、論文が、概説書の抄録のようなものになってしまうがちである。テーマについては、できるだけ絞る必要がある。したがって、自分が関心を持って扱うとする領域に関して理解を深め、テーマを絞り込める眼を育てることが肝要である。

#### 成績評価の方法

ゼミ論文を中心として、適宜提出を求めるレポートも加味して評価する。

科目名	演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	営A4選				
担当者名	高木 <small>たかき かづみ</small> 克己				

講義のねらい

4年次では、5月半ばから7月にかけて、3年次に作成した進級論文を教材にして論文の書き方、文章の構成、専門用語の使い方等、2、3人の少人数で個別指導を行います。そして後期には、各自選択したテーマの問題点の整理、今後の方向性（解決策等）を中心に報告を行い、4年次終了時には、卒業論文（30枚以上、400字）の作成します。  
 なお、合宿等の行事は、2年次と同じく例年通りです。

成績評価の方法

出席及び報告により評価します。

参考書等

各自選択したテーマにより紹介します。

科目名	演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	営A4選				
担当者名	滝田 <small>たきた こういち</small> 公一				

講義のねらい

演習I,IIで習得した、資料の分析的読み、批判的読み、データの情報処理技術などを活用して、ゼミ卒業論文を作成していただきます。ゼミ卒業論文の作成を義務づける理由は、次のようであります。すなわち、  
 (ア) どのようなトピックをゼミ卒業論文のテーマとしたらよいか、すなわち、論題の切り出し方を学ぶ、  
 (イ) 自分の考えを論理的に明確にし、読者に理解しやすいように、幹線のわかる構造を持った論文の書き方を学ぶ、  
 と言った、知的作業については、その重要性にもかかわらず、これまで、日本の学校教育では、その教育が十分になされてこなかったように思われるからであります。最後に比較的入手が容易であろうと思われる参考文献をあげておきます。

成績評価の方法

成績評価は、提出していただいたゼミ論文によって行います。

参考書等

澤田昭夫『論文の書き方』（講談社学術文庫）昭和52年  
 澤田昭夫『論文のレトリック』（講談社学術文庫）昭和58年  
 梅棹忠夫『知的生産の技術』（岩波新書）昭和50年  
 川喜田二郎『発想法』（中公新書）昭和51年  
 中野不二男『メモの技術—パソコンで知的生産—』（新潮選書）平成9年

科目名	演習III	開講	通年	単位	4
配当	営A4選				
担当者名	なかむら こういち 中村 公一				

### 講義のねらい

本ゼミでは現代企業の置かれている環境とそれに対する経営戦略を紐解いていき、実践的な場面でも応用できる知識と考え方を身に付けるために、文献購読・資料調査・ケーススタディ・ビジネスプランニングなど多彩な課題に取り組みます。

ゼミは、単位を採るだけのものではなく、個人の「知的トレーニングの場」であり、他のゼミ生達と切磋琢磨する場であると考えて下さい。私の役割は、ゼミ生がゼミでの勉強をきっかけにして豊かな学生時代を築こうとする時のお手伝いをするだけに過ぎません。運営の主体は君達にあります。

(1) 文献購読やケーススタディなどを通して、企業の置かれている環境とそれに対する戦略を的確に理解する専門知識の習得、分析力、洞察力の強化を図ります。

(2) レポート作成を通してのアウトプット能力、論述能力、論理構成力の強化を図ります。

(3) 毎週の報告や議論などを通じてプレゼンテーション能力やディスカッション能力の強化を図ります。

(4) 実際にビジネスプランの策定を通して、事業戦略を構築する企画力と構想力の強化を図ります。

### 講義の内容・ 授業スケジュール

演習III (4年生)

前期; 過去のゼミ論文優秀作の輪読(論文執筆方法の学習)

後期; ゼミ論文の作成(各自の論文テーマの報告)

### 履修上の留意点

ゼミの理念は「知的トレーニング」にあるので、相当の勉強時間の確保が必要になります。また、ゼミでは議論が中心になるために、事前の準備も必要となります。

### 成績評価の方法

遅刻の常連、無断欠席、各種課題や提出物の期限の遅れ、不十分な内容のレポートを提出した場合は、厳しくチェックします。成績は、出席数、提出課題の内容、議論への貢献度などの平常点によって判断します。なお、4年次にはゼミ論文があります。

### 参考書等

花井等・若松篤『論文の書き方マニュアル』有斐閣、1997年(1,600円+税)

科目名	演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	営A4選				
担当者名	なかがわ じゆんぺい 中川 淳平				

講義のねらい

この演習では、経営学説について考察する（したがって、演習での研究テーマとしては、経営学説のなかから1つないし複数の学説から選択することとなる）。併せて、文献・資料の調査の仕方、報告のあり方、文章のまとめ方について習得する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、参加者が知識を共有できる様、経営学史の基本文献を輪読する。したがって、毎回担当者を決め、報告をする。報告後、参加者で討論を行なう。後期は前期で学んだ諸学説の中から、適宜テーマを選択し、その研究内容を報告してもらい、討論を行なう。そして、一年間の学習の成果として、論文を提出してもらおう。

履修上の留意点

予習・復習、あるいは論文作成のために多くの時間を割く必要があるので、積極的に勉学する、意欲ある学生の参加を望みます。

成績評価の方法

発表や討論の内容、論文、学習態度によって総合的に評価する。

教科書

岡本英嗣『アメリカ経営学の再吟味』（白桃書房、2005年）

参考書等

参加者が選択したテーマに応じ、適宜指示する。

科目名	演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	営A4選				
担当者名	ながた ともり 永田 智則				

講義のねらい

世界の各地で生じている諸現象の中から、経済発展と貿易の関係に焦点を絞り、この問題の研究を通して、国際経済の仕組みやメカニズムについて理解を深めることを目標としている。

講義の内容・授業スケジュール

「演習Ⅲ」では研究活動の集大成としてゼミ論と取り組み、経済開発と貿易の関係を整理しながら、国際経済の仕組みやメカニズムについて理解を深める。

履修上の留意点

無断欠席、遅刻は厳禁。授業中は積極的に発言をすること。

成績評価の方法

提出されたゼミ論を評価対象にする。

教科書

教科書及び参考文献等については必要に応じて紹介する。

科目名	演習III	開講	通年	単位	4
担当	営A4選				
担当者名	なが こきょう 長 国強				

#### 講義のねらい

現代は情報化社会といわれ、新聞・雑誌・インターネットを開いてもそこに大量の経済・経営データが見られる。ところで、経済・経営などのデータをそのまま見れば、単なる数字の山にすぎず、大切なことはそこから正しい見通しを得ることであろう。実際のデータから経済・経営など社会的な動きをどのように読みとるのかといった能力を養成できるようにすることを目的として、本演習はコンピュータを使ってのデータ解析の基本技術を学習する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

演習III（4年生）：総決算…卒業論文作成に挑戦  
研究テーマを自主的に選び、演習Iと演習IIの2年間で学んだコンピュータとデータ解析の基本知識や手法を自ら実践し、卒業論文作成に取り込む。卒業論文については、11月の中間報告、1月の卒論発表会を経て、最終的に提出してもらう。

#### 成績評価の方法

平常点：出席・レポートの成績などで総合的に評価する。

#### その他

継続性ということから、演習IIIの新規募集はいたしません。

科目名	演習III	開講	通年	単位	4
担当	営A4選				
担当者名	にしむら かずお 西村 和夫				

#### 講義のねらい

【テーマ：コンピュータ科学】 文書（英論文など）の読みかた、書きかた、発表のしかた、コンピュータの利用のしかたを体得し、論理的な思考力を養う。

#### 講義の内容・授業スケジュール

演習III  
論文の書きかたを習得する。  

- 資料の調査
- 中間発表とレポート提出
- 論文の作成と発表
- 論文提出
- 発表会

その他  

- 就職活動についてのアドバイス。面接の実習。ビジネス文書の書きかた [2]。
- 情報処理技術者試験の受験のための学習。
- ゼミ論文発表会（年2度）・イベント（年1～2度）。

#### 履修上の留意点

テーマは“コンピュータ科学”であって、コンピュータの操作方法ではない。コンピュータの知識がある人ではなく、やる気と実行力のある人を求む。入ゼミ者は、2年次までに“情報処理基礎”を必ず履修すること。

#### 成績評価の方法

出席のほかに  
演習III：ゼミ論文

#### 参考書等

[1] R.Graham, D.Knuth and O.Patashnik, Concrete Mathematics, Addison-Wesley, 1989.  
[2] 吉田幸生『仕事の文章が面白いほど書ける本』（中経出版）1992年

#### その他

西村ゼミのページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kazov/>

科目名	演習III	開講	通年	単位	4
配当	営A4選				
担当者名	はとり しげる 羽鳥 茂				

講義のねらい

現在の日本経済のさまざまな姿を基本データによって確認し、新しい動きを理解することが本演習の主要な課題である。

また、2002年3月にスタートした経済学検定試験（ERE）に諸君がチャレンジすることを薦めたいので、出題科目の学習についても指導する予定である。

履修上の留意点

積極的にゼミに参加することを学生諸君に要望する。

成績評価の方法

出席状況とゼミでの積極性ならびに年度末に提出する課題レポートによって成績を評価する。

教科書

田中隆之『現代日本経済』（日本評論社）2002年 2,800円

参考書等

経済セミナー編集部編『経済学検定試験－ポイント解説と演習－』（日本評論社）2002年 1,680円

科目名	演習III	開講	通年	単位	4
配当	営A4選				
担当者名	はいた しほこ 羽田 尚子				

講義のねらい

演習IIで決めた各自の分析テーマを、演習Iで習得した解析手法により分析し、卒業論文を作成します。

講義の内容・授業スケジュール

前期は各自分析を進めてもらいます。後期は分析結果の報告をしてもらい、問題点や改善点の修正をし、よりよい分析を進めてもらいます。論文の書き方については、適宜指導します。

成績評価の方法

出席状況、報告状況および論文の内容により総合的に評価します。

科目名	演習III	開講	通年	単位	4
配当	営A4選				
担当者名	日野 健太				

講義のねらい

このゼミでは組織が直面するさまざまな問題を取り上げ、多角的に分析する。組織論の問題を中心に取り上げていくが、経営学全般について理解できるように配慮する。

演習IIIでは、演習IIでの学習を発展させ、2万字程度のゼミ論文を完成させる。テーマは演習IIと同じであることが望ましいが、就職活動等を通じて、問題意識が変わることもあり得るので変更も認める。

講義の内容・授業スケジュール

ゼミも各自の研究テーマの発表を中心に進める。必要に応じて、夏、秋の合宿を行う。普段のゼミで経過発表をした上で、ゼミ論文を提出する。

履修上の留意点

ゼミ論文の提出には合計3回の中間報告が必須。良い論文を書くゼミ生は、他のゼミ生の論文の長所・短所をよく見ている。兄が怒られている（ほめられている）のを見る次男坊の気持ちでディスカッションに参加すること。

成績評価の方法

提出された論文による。発表に参加しなかった場合は提出を認めない。

科目名	演習III	開講	通年	単位	4
配当	営A4選				
担当者名	藤原 篤志				

講義のねらい

本演習ではテーマを「企業における生産・技術・労働」としている。ゼミ生各人がこのテーマ・領域に関連して自分の興味・関心のあるテーマを選び、それについて研究を行い、4年のゼミ終了の時点までにゼミ論文を作成・完成させることを最大の目的としている。また授業の中で、ゼミ生には自分の論文の経過・成果についてプレゼンテーション（発表・報告）をしてもらい、それに対する質疑応答や議論・討論を他のゼミ生と活発に行うことにしている。以上のゼミ論文作成、プレゼンテーション、質疑応答、議論・討論を通じて、当該領域の知識を吸収することはもちろん、ゼミ生各人が物事に対して疑問や意見を持ち、それらを論理的に思考し、自分の意見を的確に表現することを目指している。

講義の内容・授業スケジュール

4年次でも3年次に引き続き、先述のように各人が論文作成のための研究を進めていく。ただ場合によっては必ずしも論文という形にはこだわらず、一つのテーマ（指定もしくは任意のテーマ）についてのレポート作成を目標にすることもある。授業自体はゼミ生各人によるプレゼンテーション（発表・報告）、質疑応答、議論・討論を中心に行われる。その中で、報告・発表、思考、発言・表現等の能力を養っていく。このような研究報告や議論・討論を活発に効果的に進めるために、ゼミ内に全員が積極的に発言できるような雰囲気を作りたい。それゆえ授業以外のイベント（工場見学、合宿、コンパなど）には全員が参加することが原則である。その他、一層の学習および親睦を深めるためのサブゼミの開講も予定している。

履修上の留意点

中途半端な気持ちで志願する学生には遠慮してもらいたい。本ゼミでは何よりもやる気のある学生を歓迎する。

成績評価の方法

特に出席を重視。規定の欠席回数に達したものは即除籍にする。その他、ゼミでの報告内容や参加態度も成績評価に入る。



科目名	演習III	開講	通年	単位	4
配当	営A4選				
担当者名	前田 <small>まえだ</small> 和利 <small>かずとし</small>				

講義のねらい 演習IIのテーマを継続して検討するが、論文作成の指導に力点をおく。

講義の内容・授業スケジュール ①事例研究をとりあげる。  
②個人ないしグループによる研究成果の報告を行ない、論文（ワープロ、12000字以上）を作成する。

成績評価の方法 平常点および論文評価による。

参考書等 論文の進行速度に応じて適宜指示する。

その他 報告者は事前に要旨・資料を配付すること。

科目名	演習III	開講	通年	単位	4
配当	営A4選				
担当者名	宮城 <small>みやぎ</small> 徹 <small>てつ</small>				

講義のねらい 演習III（4年）  
4年次ゼミ生は、400字詰原稿用紙30～50枚程度のゼミ論文の作成にとりかかる。そのさい、テーマに密接に関連のある邦訳書・邦語の文献を適宜指示するが、英語圏あるいはドイツ語圏の論文をゼミ論文の素材にしたいというゼミ生に対しては、然るべき論文を1本割り当てるので、それを翻訳してゼミ論文に加味してもよい。また、論文を仕上げるまでの日程等についてもアドバイスする。  
※ ゼミは、毎回1人あるいは複数のリポーターが与えられた範囲をレジュメに基づいて報告し、その他のゼミ生もそれを中心にして活発にディベートするように進める。  
※ ゼミの中心的素材はゼミの開始時に指示する。  
※ 斉藤 孝著『学術論文の技法』（日本エディタースクール出版部）平成9年、を入手のこと。

成績評価の方法 平常点評価。その際、(a)出席を重視する。(b)自分の思うところを述べ、他人の意見に注意深く耳を傾ける能力があるかどうかを重視する。

科目名	演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	営A4選				
担当者名	山田 <small>やまだ まさる</small> 勝				

講義のねらい

ボーダレス時代にビジネスパーソンとして活躍するためのセンスを磨くこと。

講義の内容・授業スケジュール

月1度の割で、各自が毎日読む『日本経済新聞』の記事の中から、テーマを定めて日本語（1000字程度）と英文のレポートをメールで提出。更にそれを演習時間に発表し、その内容をめぐってディスカッションする。共通語は英語。

成績評価の方法

平常点評価。毎時間出席し、積極的にディスカッションに加わることが評価の対象となる。

科目名	演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	営A4選				
担当者名	山田 <small>やまだ じゆんぺい</small> 純平				

講義のねらい

日本の会計基準は、国際的な調和化を理由に、ここ10年でかなりの変貌をとげてきたといわれる。しかし、国際的な調和化といっても、そもそも世界的に会計基準がどのような方向に向かいつつあるのか、その背景となる考え方はどのようなものか、といったことは十分に検討されているとはいえない。そこで、本講義では、企業会計に関する基礎的な知識を身につけるとともに、国際基準の動向とその基礎概念を考察する。

また、会計基準は実際に運用されてこそ意味があるのだから、現実の財務諸表を分析することを通じて、会計基準の実態面についても合わせて検討をする。

講義の内容・授業スケジュール

卒業論文の構想やその周辺分野について報告をしてもらう。

履修上の留意点

卒業論文を必ず提出すること。また、ゼミの行事にはできるだけ参加すること。

成績評価の方法

議論への参加度、報告の出来、出席率で評価する。

教科書

授業中に参加者と相談のうえ、決定する。

科目名	演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	営A4選				
担当者名	わたなべ えいちろう 渡邊 恵一郎				

講義のねらい

会計の主な役割は、特定の経済主体（家計、企業、官公庁その他）の経済状況を計数（貨幣）的に表現すること、財産を管理保全することそれにこれを利用する人々に伝達することにある。私の演習では、特に現代の経済社会の重要な経済主体である企業の資金会計を中心に、実務に役立つ基礎知識が得られるよう指導する。

講義の内容・授業スケジュール

簿記の基礎を涵養し、次に資金会計の体系的研究および有価証券報告書の見方などを修得させる。  
4年次……3年次に引き続き、経営分析を含めた資金会計論を学修する。その後、わが国の主要企業が作成し市販されている有価証券報告書の一般的見方を解説する。この報告書には、企業に関する数多くの情報が多角的に開示（ディスクローズ）されている。最後に演習の総仕上げとして、卒業論文の作成指導を行う。毎年、自主的に卒業論文集「恵流」（本年第35巻）を刊行している。

履修上の留意点

2年次から4年次まで一貫して段階的に学修するので、出席率を重視し、3年間継続して履修すること。

成績評価の方法

成績評価は、平常点、協調性および出席率を総合して判定する。

# III 他学部履修科目

他学部  
履修科目

### Ⅲ. 他学部履修科目

①授業時間表の区分「B」の科目を履修する場合は、フレックスBの頁を参照してください。(→P.785)

②他学部履修科目は、3年次以上を対象とします。

③配当学科の( )内の学科生は、他学部履修科目として履修できません。

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
禅学概論				休講	
中国禅宗史	他(禅)国英地文環境歴日外考 社福心営AGM34選 他(禅)営B34選	通年	4	石井 修道	533
日本禅宗史	他(禅)国英地文環境歴日外考 社福心営AGM34選 他(禅)営B34選	通年	4	佐藤 秀孝	533
禅籍講読I	他(禅)国英地文環境歴日外考 社福心営AGM34選 他(禅)営B34選	通年	4	程 正	534
禅籍講読III	他(禅)国英地文環境歴日外考 社福心営AGM34選 他(禅)営B34選	通年	4	岩永 正晴	534
仏教概論				休講	
インド仏教文化史	他(仏)国英地文環境歴日外考 社福心営AGM34選 他(仏)営B34選	通年	4	金沢 篤	535
中国仏教文化史	他(仏)国英地文環境歴日外考 社福心営AGM34選 他(仏)営B34選	通年	4	永井 政之	536
日本仏教文化史	他(仏)国英地文環境歴日外考 社福心営AGM34選 他(仏)営B34選	通年	4	袴谷 憲昭	537
中国古典語初級	他(仏)国英地文環境歴日外考 社福心営AGM34選 他(仏)営B34選	通年	4	吉村 誠	538
中国哲学史	他(仏)国英地文環境歴日外考 社福心営AGM34選 他(仏)営B34選	通年	4	前川 亨	538
上代文学研究I	他(国)禅仏英地文環境歴日外考 社福心営A34選 他(国)営B34選	通年	4	中嶋 真也	539
中古文学研究 I	他(国)禅仏英地文環境歴日外考 社福心営A34選 他(国)営B34選	通年	4	桜井宏徳	540
中世文学研究I	他(国)禅仏英地文環境歴日外考 社福心営A34選 他(国)営B34選	通年	4	櫻井 陽子	540

他学部  
履修科目

近世文学研究I	他(国)禅仏英地文環境歴日外 考社福心営A34選 他(国)営B34選	通年	4	近衛 典子	541
近代文学研究I	他(国)禅仏英地文環境歴日外 考社福心営A34選 他(国)営B34選	通年	4	榎本 正樹	541
比較文学	他(国)禅仏英地文環境社福心 営AGM34選 他(国)営B34選	通年	4	木村 朗子	542
西洋思想史	他(国)禅仏英地文環境社福心 経A商営AGM34選 他(国)経B営B34選	通年	4	柴野 博子	542
演劇概論	他(国)禅仏英地文環境社福心 営AGM34選 他(国)営B34選	通年	4	森井 直子	543
日本民俗学	他(国)禅仏英地文環境社福心 経A商営AGM34選 他(国)経B営B34選	通年	4	谷口 貢	544
イギリス文学特講I				休講	
イギリス文学特講II	他(英)禅仏国地文環境歴日外 考社福心営AGM34選 他(英)営B34選	通年	4	高野 正夫	545
イギリス文学特講III	他(英)禅仏国地文環境歴日外 考社福心営AGM34選 他(英)営B34選	通年	4	岡崎 寿一郎	546
イギリス文学特講IV	他(英)禅仏国地文環境歴日外 考社福心営AGM34選 他(英)営B34選	通年	4	川崎 明子	546
イギリス文学特講V	他(英)禅仏国地文環境歴日外 考社福心営AGM34選 他(英)営B34選	通年	4	増田 恵子	547
イギリス文学特講VI	他(英)禅仏国地文環境歴日外 考社福心営AGM34選 他(英)営B34選	通年	4	丸小 哲雄	548
アメリカ文学特講I	他(英)禅仏国地文環境歴日外 考社福心営AGM34選 他(英)営B34選	通年	4	東 雄一郎	549
演劇特講(イギリス・アメリカ)	他(英)禅仏国地文環境歴日外 考社福心営AGM34選 他(英)営B34選	通年	4	落合 和昭	550
時事英語	他(英)禅仏国地文環境歴日外 考社福心経A商営A34選 他(英)経B営B34選	通年	4	サンダース、 L. P.	550
人口地理学	他(地文)禅仏国英歴日外考社 福心経A商営AGM34選 他(地文)経B営B34選	通年	4	山内 昌和	551

文化地理学	他(地文) 禅仏国英歴日外考社 福心経A 商営AGM34選 他(地文) 経B 営B34選	通年	4	小田 匡保	552
現代地理学特論				休講	
日本仏教史	他(日) 国英地文環境社福心営 A34選 他(日) 営B34選	通年	4	松本 信道	552
日本史特講VII 【〔近代〕】	他(日) 禅仏国英地文環境社福 心経A 商営AGM34選 他(日) 経B 営B34選	通年	4	熊本 史雄	553
東洋史特講III 【〔近世史〕】	他(外) 禅仏国英地文環境社福 心営AGM34選 他(外) 営B34選	通年	4	杉山 清彦	553
考古学特講III				休講	
西洋文化史	他(外) 禅仏国英地文環境社福 心経A 商営AGM34選 他(外) 経B 営B34選	通年	4	石田 恵子	554
哲学史	他(日) 国英地文環境社福心経 A 商営AGM34選 他(日) 経B 営B34選	通年	4	山口 祐弘	555
産業・職業社会学				休講	
マス・コミュニケーション論	他(社) 禅仏国英地文環境歴日 外考経A 商営A34選	通年	4	川本 勝	556
社会福祉発達史	他(福) 禅仏国英地文環境歴日 外考心経A 商法A 政営AGM34 選 他(福) 経B 法B 営B34選	通年	4	堀 千鶴子	557
農業政策	他(経) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福営A34選 他(経) 営B34選	通年	4	溝手 芳計	558
中国経済論	他(経) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福心法A 政営AGM34選 他(経) 法B 営B34選	通年	4	小杉 修二	559
アメリカ経済論	他(経) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福心法A 政営AGM34選 他(経) 法B 営B34選	通年	4	瀬戸岡 紘	560
EU統合論	他(経) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福政営AGM34選 他 (経) 営B34選	半期	2	廣田愛理	561
現代西欧経済論	他(経) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福心法A 政営AGM34選 他(経) 営B34選	半期	2	廣田愛理	561
ロシア・東欧経済論				休講	
貿易論	他(商) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福心法A 政営AGM34選 他(商) 法B 営B34選	通年	4	古沢 紘造	562

経済法	他(法A) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心営AGM34選 他(法A) 営B34選	通年	4	若林 亜理砂	563
国際政治学	他(政) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福心経A 商法A 営AGM3 4選 他(政) 経B 法B 営B34選	通年	4	小堀 訓男	564
ヨーロッパ政治史	他(政) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福心経A 商法A 営AGM3 4選 他(政) 経B 法B 営B34選	通年	4	浦田 早苗	564
地方自治法	他(政) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福心経A 商営A34選 他(政) 経B 営B34選	通年	4	富井 幸雄	565
比較政治学	他(政) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福心経A 商法A 営AGM3 4選 他(政) 経B 法B 営B34選	通年	4	三竹 直哉	566
現代国家論	他(政) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福心経A 商法A 営AGM3 4選 他(政) 経B 法B 営B34選	通年	4	大塚 桂	567
医療宗教学	他(放) 禅仏国地文環境歴日外 考社福心営A34選 他(放) 営B34選	半期	2	吉津 宜英	568
医療経済学	他(放) 禅仏国地文環境歴日外 考社福心経A 商営A34選 他(放) 経B 営B34選	半期	2	永山 くに子	569
メディア・コミュニケーション 概論	他(GM) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A 商営A34選 他(GM) 経B 営B34選	半期	2	西岡 洋子	570
ネットワークコミュニケーション 論	他(GM) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A 商営A34選 他(GM) 経B 営B34選	半期	2	菅谷 実	571
情報メディア産業論 I	他(GM) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A 商営A34選 他(GM) 経B 営B34選	半期	2	福家秀紀	572
比較メディア制度論	他(GM) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A 商政営A34選 他(GM) 経B 営B34選	半期	2	西岡 洋子	572
都市とメディア	他(GM) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A 商営A34選 他(GM) 経B 営B34選	半期	2	高 媛	573
グローバルアート政策論	他(GM) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A 商政営A34選 他(GM) 経B 営B34選	半期	2	川崎 賢一	574



情報保護と社会	他 (GM) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経 A 商政営 A34選 他 (GM) 経 B 営 B34選	半期	2	苗村 憲司	574
古典戯曲演劇				休講	
国文学特殊研究				休講	
文化概論				休講	
女性史				休講	
メディアと表現				休講	
時事英語				休講	

他学  
履修  
科目  
部

科目名	中国禅宗史	開講	通年	単位	4
配当	他(禅)国英地文環境歴日外考社福心堂AGM34選 他(禅)営B34選				
担当者名	石井 修道				

#### 講義のねらい

この講義は中国禅宗史を概観するものである。禅宗史を学ぶのに必要な資料にまず触れ、勉強の仕方も折りに触れたい。具体的には、唐・五代・宋・元代の最も魅力ある禅者を一人一人禅宗史上で位置づける中で学んで行きたい。年間、数限られた人数しか触れられないであろうが、しかし、できるだけ数多くの禅者に触れてみたい。特に唐・五代を中心に①菩提達磨②二祖慧可③五祖弘忍④六祖慧能⑤青原行思⑥南嶽懷讓⑦石頭希遷⑧馬祖道一⑨葉山惟儼⑩百丈懷海⑪雲巖曇晟⑫南泉普願⑬趙州從諗⑭獅山靈祐⑮黃檗希運⑯洞山良价⑰臨濟義玄⑱雪峰義存⑲玄沙師備⑳雲門文偃などを取り上げる。宋・元では、①芙蓉道楷②宏智正覺③圓悟克勤④大慧宗杲⑤中峰明本などを取り上げる。興味ある行状はできるだけ触れるつもりである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

プリントの原典資料をできるだけ配布しながら講義を進めたい。

#### 履修上の留意点

教科書の『中国禅宗史話』を読み、予備知識を付けておく。

#### 成績評価の方法

夏期休暇後に提出された教科書の感想文(400字詰め5枚程度)のレポート20点と学年末の筆記試験80点で評価する。成績にはある程度出席数を考慮し、原則として二桁の数の出席を目安とする。

#### 教科書

石井修道『道元禅師正法眼蔵行持に学ぶ』(禅文化研究所)2、415円

#### 参考書等

石井修道『中国禅宗史話』(禅文化研究所)3,605円  
『禅学大辞典』(大修館書店)、入矢義高等『禅語辞典』(思文閣書店)。

他  
学  
部  
履  
修  
科  
目

科目名	日本禅宗史	開講	通年	単位	4
配当	他(禅)国英地文環境歴日外考社福心堂AGM34選 他(禅)営B34選				
担当者名	佐藤 秀孝				

#### 講義のねらい

本講座は、日本における禅宗の歴史を講義するものである。唐・宋代に隆盛した中国禅宗がどのように日本に伝来し、如何なる展開・発展を遂げて日本禅を形成していったのか、その過程を探ることで、思想史的な意義と日本文化への影響などを論じたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

禅宗の伝来、栄西と能忍、兼修禅の系譜、道元の仏法と初期永平寺僧団、来日僧と純粹僧、日本禅の二十四流、五山の成立と五山文学、中世文化と禅宗、応燈関の一流、瑩山紹瑾と曹洞宗の地方展開、隠元の来日と黄檗宗、近世臨濟宗と白隠禅、近世の曹洞宗の宗統復古、近代国家と禅宗、といったテーマを順次進めていく。

#### 履修上の留意点

禅の教理や思想の理解および日本史の一般的知識を習得しておくこと。

#### 成績評価の方法

平常点(出席)と試験による総合評価。

#### 教科書

伊吹敦『禅の歴史』(法蔵館)3,800円

#### 参考書等

田中良昭編『禅学研究入門』(大東出版社)6,000円  
駒澤大学仏教学研究室編『宗教学II』(更正社)2,600円  
船岡誠『日本禅宗の成立』(吉川弘文館)2,500円  
その他、日本禅宗に関する諸文献

科目名	禅籍講読I	開講	通年	単位	4
担当	他(禅)国英地文環境歴日外考社福心営AGM34選 他(禅)営B34選				
担当者名	程 正				

## 講義のねらい

禅籍講読Iは、中国初期禅宗の文献を適宜取り上げて講読し、それぞれの禅思想の特色を明らかにするものである。

講義の内容・  
授業スケジュール

取り扱う禅宗文献は、主に初祖とされる菩薩達磨から、五家の成立以前までのものとする。具体的には、『二入四行論』『絶観論』『修心要論』『六祖壇経』などの禅籍を順次取り上げて、解題を行ってから、それぞれの思想的特色を講義していきたい。

## 履修上の留意点

講義内容を必ずノートすること。出席点を評価に入れるので、欠席しないこと。

## 成績評価の方法

夏休みの課題レポート、期末テスト、出欠点の三つを総合的に評価する。

## 教科書

プリント配布。

## 参考書等

適宜に紹介する。

科目名	禅籍講読III	開講	通年	単位	4
担当	他(禅)国英地文環境歴日外考社福心営AGM34選 他(禅)営B34選				
担当者名	岩永 正晴				

## 講義のねらい

この科目は日本禅宗初期の典籍を講読するものである。また禅学科の選択必修科目であるので、これまで広く読まれてきた基本的な典籍を講読しなければならないと考える。よって本年度も、前年度と同様に、道元禅師撰『学道用心集』を取り上げることとする。『学道用心集』は明治18年に定められた曹洞宗大学林専門学本校の授業科目でも宗部正講の初級に定められており、曹洞宗旨を学ぶための基本的な典籍とみなされてきた。この科目の目的に添うものと思う。

講義の内容・  
授業スケジュール

まず解題として『学道用心集』の成立・刊行状況・特徴・位置付けなどを講じた後、本文を読み進める。

## 履修上の留意点

漢文で書かれた典籍であるので、普段から漢文に慣れる努力をして授業に望んで貰いたい。また、紹介する参考書等は積極的に読んで頂きたい。

## 成績評価の方法

学年末の試験と出席点によって成績評価を行う。

## 教科書

コピーし製本したものを配布する。

## 参考書等

『道元禅師全集』第7巻(春秋社)、角田泰隆『道元入門』(大蔵出版)、大本山永平寺編『学道用心集の参究』(国書刊行会)、篠原寿雄『学道用心集—学習と修行のこころえ—』(大東出版)等。その他は参考書リストを配布して必要に応じて紹介する。

科目名	インド仏教文化史	開講	通年	単位	4
配当	他（仏）国英地文環境歴日外考社福心営AGM34選 他（仏）営B34選				
担当者名	金沢 篤 <small>かなざわ あつし</small>				

講義のねらい

インド生まれの仏教を、広範で多岐多彩なインド文化の史的展望の中でとらえてみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

神や人間などが織りなす奇想天外なインド的物語世界の解説を皮切りに、仏教の出現と展開と衰頽にまつわる文化的トピックを論究する。

履修上の留意点

仏教や古今のインド文化に熱い関心を持つ学生諸君の主体的取り組みを期待する。

成績評価の方法

年度末試験などで総合的に判断する。

教科書

渡辺照宏著『仏教（第二版）』（岩波新書）740円

参考書等

教場で適宜紹介する。

科目名	中国仏教文化史	開講	通年	単位	4
配当	他(仏)国英地文環境歴日外考社福心堂AGM34選 他(仏)堂B34選				
担当者名	ながい まさし 永井 政之				

## 講義のねらい

中国仏教の発展展開を全体的に論ずることは決して容易なことではない。いまに残る膨大な資料によって語られる綿密な思想構築の世界がある一方、資料として残らない、言葉をかえるなら資料を残しえない人々に受容された仏教の世界もまた事実として存在したからである。後者に支えられることによって、前者が歴史に残りえたと言ってよいかも知れない。

そしてこのような歴史的事実を「事実」として複眼的に捉えるところから、中国仏教研究はなされるべきであると、私は考えている。

このように仏教を「複眼的まなざし」で捉えようとするとき、「葬儀」は一方の重要な柱となる。「葬式仏教」という言葉は、現代ではすでに「負のレッテル」を貼られて通用しているが、実態としては葬儀と関わったが故に、仏教は中国、あるいは日本において広まったとも言えるし、むしろ問題とすべきは「葬儀」のありようが、執行者においても、またそれを受容した民衆においても、十全に理解されていないことかもしれない。そのような問題意識を持って、この授業をすすめて行きたい。

 講義の内容・  
授業スケジュール

はじめに葬儀をめぐるブッダの発言、戒律における規程を概観します。ついで南北朝における神滅神不滅の議論を通して、仏教が基本的に説く「無我」の論理と、中国人の死後観がどう結びついたかを考えます。ここでは後の仏教の葬送儀礼に強い影響を与えた儒教の葬送儀礼についても触れたいと思います。

また禅僧がとった葬送にたいする態度をとともに、禅宗の清規における葬送儀礼を紹介し、今日の葬送儀礼の成立や意味するところを考えます。

## 履修上の留意点

毎回、必要なプリントを配布し、積み上げるように授業を進めますから、まじめに出席してください。

## 成績評価の方法

出席、レポート、期末試験の結果を総合して評価します。

## 教科書

教科書はありません。必要なプリントを配布します。

## 参考書等

参考文献として以下を挙げておきます。

圭室諦成『葬式仏教』(大法輪閣)

曹洞宗総合研究センター『葬祭－現代的意義と課題－』(曹洞宗宗務庁)

科目名	日本仏教文化史	開講	通年	単位	4
配当	他(仏)国英地文環境歴日外考社福心営AGM34選 他(仏)営B34選				
担当者名	はかたや のりあき 袴谷 憲昭				

**講義のねらい** 仏教思想とはなにかという課題を断えず問いかけながら、日本における文化の実態を検討する。その検討課題を章節仕立てで示せば、次のとおりである。

<b>講義の内容・ 授業スケジュール</b>	序	仏教伝来以前の文化			
	1	文化構造の解釈	2	日本古来の文化	
	第1章	中国朝鮮の影響下の仏教文化			
	1	呉音漢音と文化	2	美術中の仏教観	
	3	自利利他の問題	4	太子信仰の背景	
	第2章	南部の学問仏教と民衆の文化			
	1	大仏建立の理念	2	学問仏教の実際	
	3	勧進聖と修験道	4	仏教と神祇信仰	
	第3章	日本独自の文化形成と仏教観			
	1	大乘戒壇の設立	2	一乗三乗の論争	
	3	密教と祈禱仏教	4	本覚思想の定着	
	第4章	中世の仏教信仰の確立と変容			
	1	浄土信仰の諸相	2	法華信仰の諸相	
	3	禅宗と五山文学	4	神仏習合の諸相	
	第5章	近世と近代の社会文化と仏教			
1	鉄砲と吉利支丹	2	幕府の宗教政策		
3	江戸文化と仏教	4	維新と廢仏毀釈		
結	現代社会と仏教文化				
1	近代より現代へ	2	戦後と民主主義		

**履修上の留意点** 講義ではあるが、参加者には、文献を自ら読もうとすることが要求される。必要な資料については教場で配布するが、その再発行は原則としてしないので、気をつけられたい。

**成績評価の方法** 学年末の定期試験による。ただし、参加者の状況によっては評価の方法の変化もありうる。

**教科書** 袴谷憲昭著『日本仏教文化史』(大蔵出版)2005年

**参考書等** 袴谷憲昭著『仏教入門』(大蔵出版)2004年

**その他** 必要購読文献はコピーで配布し再発行はしないので注意されたい。

科目名	中国古典語初級	開講	通年	単位	4
配当	他(仏)国英地文環境歴日外考社福心営AGM34選 他(仏)営B34選				
担当者名	吉村 誠 <small>よしむら まこと</small>				

#### 講義のねらい

東アジアでは漢訳仏典が「聖典」とされ、漢文(中国古典語)によって仏教が受容されてきた。注釈書、歴史書、高僧の著作なども、ほとんどが漢文で書かれている。したがって、東アジアの仏教を知るには、何よりもまず「漢文」が読めるようになる必要がある。この講義では、漢文の読み方を基礎から丁寧に指導する。受講者は仏典や名文を読みながら、辞書の引き方や漢文法の基本を、自然にマスターすることができるだろう。「お経」の意味を自力で解説する楽しみを味わってもらいたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

本年度は、初めに基礎文法を解説し、次いで有名な仏典や詩文を講読する。中国で仏教の入門書として読まれた『四十二章経』、東アジアで流行した大乘經典(『般若心経』『維摩経』『法華経』など)、仏教にまつわる伝記や説話(『高僧伝』『搜神記』など)の要文を読む予定である。

#### 履修上の留意点

毎回予習をして、休まず出席する。語学の習得には学習の継続が不可欠である。

#### 成績評価の方法

出席や予習の状況、レポートなどを総合して評価する。一過性のテストは行わない。

#### 教科書

プリントを使用する。漢和辞典は必携のこと。『新字源』(角川書店)、『漢語林』(大修館書店)、『漢辞海』(三省堂)を推奨する。他に文法書の購入も指示する。

#### 参考書等

授業中に随時紹介する。

科目名	中国哲学史	開講	通年	単位	4
配当	他(仏)国英地文環境歴日外考社福心営AGM34選 他(仏)営B34選				
担当者名	前川 亨 <small>まえかわ てる</small>				

#### 講義のねらい

中国の思想・哲学・宗教について、その基本的な知識を伝授し、東アジア世界の歴史や文化に関する知見を深めるための材料を提供したい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

本年度は中国哲学史の前半(先秦時代から唐代まで)を扱う。儒教・仏教・道教それぞれの教義と、それが中国社会に占める位置の検討が中心となるであろう。

#### 履修上の留意点

受講者には、継続的な出席と積極的な参加協力を求める。卒業年次生などで欠席しなければならぬ事由がある場合には、予め申し出ること。欠席が余りに目立つ場合には、名簿から名前を抹消する。遅刻も避けること。東アジアの社会・文化・思想・宗教など様々な分野に関心のある諸君の受講を歓迎する。

#### 成績評価の方法

前期・後期それぞれにレポートを提出してもらおう。欠席が目立つ場合には減点の対象とし、甚しい場合には、レポートが提出されても不可とする。

#### 教科書

特に必要としない。資料を配布する。

#### 参考書等

授業内に適宜紹介する。

#### その他

できるだけ多くの知識を提供するため、講義の形式をとるが、受講者の意見を徹しながら進めていく。受講者からの積極的な問題提起を歓迎する。

科目名	上代文学研究I	開講	通年	単位	4
配当	他(国)禅仏英地文環境歴日外考社福心営A34選 他(国)営B34選				
担当者名	なかしま しんや 中嶋 真也				

### 講義のねらい

現存、日本最古の歌集『万葉集』を精読し、古代の歌の様相を探求していく。総じて日本古典において、「住吉」といえば「松」というように、地名は特定の景物と結び付けて捉えられることが少なくない。それは「歌枕」と称される。このことばは平安以降の和歌の説明に用いられ、『万葉集』研究には極力用いないというのが現状である。しかし「歌枕」認識はそれまでに詠まれた歌々の蓄積があってこそ誕生するものである。『万葉集』の歌々が「歌枕」と無縁ではありえないのである。そのような後代の受容を意識しつつ、『万葉集』において、地名と景物がどのような表現を織り成しているのかを見届けることを、この講義の目的とする。

### 講義の内容・授業スケジュール

最初は『万葉集』の概説を行なう。全20巻に及ぶ『万葉集』の歌の所収状況や、現在4つの区分で説明される作歌の時期などの説明を丁寧に行なう。『万葉集』を読んだ経験は各人によって差があろうが、初学者にも十分配慮する。その上で、具体的な地名を詠んだ歌を取り上げ、どのような景物とともに、どういった表現を成り立たせているのかを見ていく。本年は『万葉集』を生み、育んだ大和国(今の奈良県)の地名を中心に取り上げる予定である。

### 履修上の留意点

毎回の授業で、できるだけ多くの歌を取り上げ、かつ精読していくつもりだが、各人が一層の興味を持って、さまざま読みを深めてほしい。また、そのような熱心な学生の意見や要望は、積極的に授業に生かしていきたい。講義というスタイルだが、主体的な受講を切に希望する。

### 成績評価の方法

出席状況、授業態度、学期末試験などを軸に評価する。

### 教科書

鶴久・森山隆『万葉集』(おうふう)

### 参考書等

授業中に適宜指示する。

### その他

テキスト以外の資料は、必要に応じてプリントで配布する。



科目名	中古文学研究 I	開講	通年	単位	4
配当	他(国) 禅仏英地文環境歴日外考社福心営A34選 他(国) 営B34選				
担当者名	桜井 宏徳 <small>さくらい のりひろ</small>				

講義のねらい

『源氏物語』以後、平安時代後期から中世にかけての王朝物語・歴史物語の展開をたどり見ることを通じて、物語文学の多彩なあり方について考える。

講義の内容・授業スケジュール

『無名草子』の物語批評を糸口として、さまざまな王朝物語・歴史物語を紹介し、物語の本文にも触れながら、その特質や文学史上の位置づけについて講義する。

履修上の留意点

講義では多くの物語を取り上げるので、その中から各自の興味・関心に即した作品を選び、原文を読んでみてほしい。

成績評価の方法

①レポート ②出席状況 ③その他によって総合的に評価する。

教科書

桑原博史校注『無名草子』<新潮日本古典集成> (新潮社、1976年) 2,310円

参考書等

授業時に適宜紹介する。

その他

授業は講義形式とする。また、適宜プリントを配布する。

科目名	中世文学研究I	開講	通年	単位	4
配当	他(国) 禅仏英地文環境歴日外考社福心営A34選 他(国) 営B34選				
担当者名	桜井 陽子 <small>さくらい ようこ</small>				

講義のねらい

軍記物語、そして『平家物語』について、文学史上における意味・意義・問題点について講義し、次に作品の内容を紹介する。

その上で、『平家物語』の多くの登場人物の中から、巻十を中心に平維盛と平重衡に焦点をあてて諸章段を読む。死に立ち向かう人間の苦悩・覚悟・悲しみなどを読み解きながら、『平家物語』は何を描写し得たのか、何を切り落としたのかを考える。諸本による相違に目を配ることによって、『平家物語』の多面的な問題に触れる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1～5 軍記物語にはどのような特徴があるか。
- 6～10 『平家物語』にはどのような特徴があるか。
- 11 『平家物語』巻十の位置づけ。平維盛と平重衡の説明。
- 12～ 『平家物語』諸章段を読む。

履修上の留意点

講義ノートを作成しておくこと。

成績評価の方法

出席・授業態度・レポート・定期試験によって総合的に評価する。

教科書

授業時に指示する。

参考書等

授業時に指示する。

科目名	近世文学研究I	開講	通年	単位	4
配当	他(国) 禅仏英地文環境歴日外考社福心営A34選 他(国) 営B34選				
担当者名	近衛 <small>このま のりこ</small> 典子				

講義のねらい	上田秋成の読本『雨月物語』を読む。
講義の内容・ 授業スケジュール	単に小説のストーリーを追うだけでなく、典拠となった中国白話小説や日本の古典作品の精読、本文との比較検討などを通して、浮かび上がってくる作品の主題を考える。
履修上の留意点	出席重視。
成績評価の方法	出席状況、受講態度、レポート等を総合し評価する。
教科書	鷺山樹心編『講読雨月物語』(和泉書院)
その他	講義

履修  
科目  
目

科目名	近代文学研究I	開講	通年	単位	4
配当	他(国) 禅仏英地文環境歴日外考社福心営A34選 他(国) 営B34選				
担当者名	榎本 <small>そのもと まさき</small> 正樹				

講義のねらい	90年代以降にデビューした新しい作家の作品を網羅的にとりあげ、その作家固有のテーマや表現、モチーフを検証し、さらには同時代的な意義やジャンルの可能性を探ります。
講義の内容・ 授業スケジュール	現代日本文学のフィールドで重要だと思われる作家・作品を網羅的に解説・分析し、作品に内在するテーマ、モチーフ、表現や語りの技法、周辺メディアとの連関などを抽出していきます。扱う作品は主流系文学に限定せず、あらゆるジャンルの小説ジャンルを対象とします。 今年度の授業では、昨年(2006年)映画公開された現代日本文学を原作とする映画を、原作と比較しながら解説する小特集的なテーマを設定します。小川洋子『博士の愛した数式』、群ようこ『かもめ食堂』、江國香織『間宮兄弟』、恩田陸『夜のピクニック』、村山由佳『天使の卵』、山田詠美『風味絶佳』などを取りあげる予定です。 榎本は研究活動の一環として現代作家へのインタビューや取材を積極的に行っていますので、授業では作家の生の情報や現場のエピソードなども盛りこんでいきます。
履修上の留意点	現代日本文学、映画、同時代のメディア全般に興味をもつ学生の履修を歓迎します。
成績評価の方法	学期末提出のレポートの内容をメインに、出席点と授業の参加度を加味し評価します。
教科書	使用しません。取りあげる作品を事前に読んでいなくても理解できる形で、授業は進めます。
参考書等	参考文献等は教室で指示します。
その他	講義形式をとります。資料はプリントで配付します。履修に際しては、榎本のプロフィールや研究業績が掲載されているサイト ( <a href="http://enmt.jp">http://enmt.jp</a> ) も参考にしてください。

科目名	比較文学	開講	通年	単位	4
配当	他(国) 禅仏英地文環境社福心営AGM34選 他(国) 営B34選				
担当者名	木村 <small>きむら さえこ</small> 朗子				

講義のねらい

はじめに比較文学がなにをどのように研究することなのか、また比較文学は、どのような歴史的背景のなかではじまった学問なのかについて確認し、その上で比較文学の方法を実際に用いながらさまざまな文学を実際に検討する。

比較の方法は、異なる国の文学を比較するだけでなく、翻訳の問題、文学を絵画化した場合、映像にした場合などさまざまに可能性がある。授業ではとくに小説を映画化したケースを中心課題として分析を進めながら、比較文学の方法を学ぶ。

成績評価の方法

出席と授業内レポートあるいは学期末のテストによる。

教科書

コピーを配布する。

参考書等

授業中に指示する。

他  
学  
部  
履  
修  
科  
目

科目名	西洋思想史	開講	通年	単位	4
配当	他(国) 禅仏英地文環境社福心経A商営AGM34選 他(国) 経B営B34選				
担当者名	柴野 <small>しばの ひろこ</small> 博子				

講義のねらい

カント以後のドイツを中心とする西洋思想の流れをたどりながら、よりよく生きるための話題を提供したいと思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

はじめに古代と中世思想を概観し(4・5月)、その後カントに入ります。前期は、カントの思想を中心に、ドイツ観念論までお話しする予定です(6・7月)。

後期は、ショーペンハウアー、ニーチェ(9・10月)、ベルクソン、デイルタイ(11月)など、生の哲学者の思想を見ていきます。そして最後に、現代の西洋思想を代表するガダマーの解釈学的一端にも触れたいと思っています(12月)。

成績評価の方法

年2回の試験と出席状況、学習態度などを総合して評価します。

教科書

久保陽一・河合淳『原典による哲学の歴史』(公論社)3,200円

科目名	演劇概論	開講	通年	単位	4
配当	他(国) 禅仏英地文環境社福心営AGM34選 他(国) 営B34選				
担当者名	森井 <small>もりい なおこ</small> 直子				

#### 講義のねらい

「演劇」と言われて思い浮かべるものは、人によって実に多彩である。なぜ、演劇はこれほど様々な顔を持っているのだろうか。明治時代以来現代に至るまでの、日本の演劇の変容を追う。

同時に、それぞれの時代、それぞれの問題意識の中から生まれた戯曲作品の鑑賞も行う。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 前期
- 1、日本近代演劇の黎明(2回)
  - 2、明治40年代の演劇(2回)
  - 3、日本近代戯曲の模索(2回)
  - 4、大正戯曲の時代(2回)
  - 5、築地小劇場(2回)
  - 6、政治と演劇(2回)
  - 7、まとめ(1回)
- 後期
- 1、戦後新劇と戯曲(2回)
  - 2、小劇場運動の隆盛—1960年代(2回)
  - 3、小劇場運動の展開—1970年代(2回)
  - 4、私さがしとメタシアター—1980年代(2回)
  - 5、静かな演劇—1990年代(2回)
  - 6、今日の演劇(1回)
  - 7、まとめ(1回)

他  
学  
部  
履  
修  
科  
目

#### 履修上の留意点

授業の進行に従い、5、6本の戯曲作品をとりあげます。その戯曲については、あらかじめ読んでから出席することが必要。(扱う作品は、授業の中で指示する。) また、1年のうちに2度、劇場へ行って観劇してもらうので、留意されたい。

#### 成績評価の方法

前期末、後期末の観劇レポート、出席点、平常点から評価する。

#### 教科書

特に定めない。

#### 参考書等

授業時に指示する。

#### その他

講義形式の授業。

科目名	日本民俗学	開講	通年	単位	4
配当	他(国) 禅仏英地文環境社福心経 A 商営AGM34選 他(国) 経B 営B34選				
担当者名	たにぐち みつぎ 谷口 貢				

#### 講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の調査・研究を通して、日本社会に展開する生活文化を追究する学問である。「民俗」はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識を把握できるようにしたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

本年度は日本の地域社会に伝承されてきた民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していきたい。年間の講義予定は以下に掲げる内容で、各2回程度に分けて行う予定である。

- 第1講 民俗の多様性
- 第2講 民俗学の流れと現在
- 第3講 家族生活と住まい
- 第4講 食をめぐる民俗
- 第5講 村と町のなりたち
- 第6講 若者と一人前
- 第7講 婚姻と出産・子育ての民俗
- 第8講 女性・子ども・老人の民俗
- 第9講 葬送儀礼と先祖祭祀
- 第10講 里と海・山のなりわい
- 第11講 祭りと年中行事
- 第12講 民俗宗教の諸相
- 第13講 北海道民俗・沖縄民俗の特徴

#### 成績評価の方法

夏期レポート及び小レポートを実施する予定。受講者の成績評価は、夏期レポートと小レポート、そして学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。出席を重視する。

#### 教科書

谷口 貢・松崎憲三編著『民俗学講義－生活文化へのアプローチ』八千代出版、2100円(税込)、ISBN 4-8429-1405-X

#### 参考書等

講義内容を発展させるための参考文献は授業の中で紹介していきたい。

科目名	イギリス文学特講II	開講	通年	単位	4
配当	他(英)禅仏国地文環境歴日外考社福心営AGM34選 他(英)営B34選				
担当者名	高野 <sup>たかの</sup> <sup>まさお</sup> 正夫				

#### 講義のねらい

18世紀後半までの英詩の世界では、秩序のある洗練された詩が好まれ、自然に対してはそれほど強い関心が持たれなかった。「理性の時代」と呼ばれた18世紀であったからこそ、詩人は秩序を尊び、粗野で洗練されていないものを拒絶したのであろう。その結果として、ある意味では快適で居心地のよい都会が、人の近づき難い荒々しい自然よりも好まれたのである。

もちろん、Dryden や Pope などに代表される古典主義的な詩の特徴である洗練された秩序に逆らった詩人もいた。James Thomson のように、人間を研究することなく、自然そのものの素朴な美しさを描いた詩人もいれば、また、Edward Young や Robert Blair そして Thomas Gray などのように、主に「死」を主題として陰うつな詩を書いた墓地派の詩人たちもいた。しかしながら、彼らのほとんどは18世紀の詩の特徴である、不自然で形式的な言葉遣いや技巧から抜け出すことはできなかった。

そして、1798年に William Wordsworth と Samuel Taylor Coleridge によって出版された““Lyrical Ballads““ という、1冊の詩集によってこのような古典主義的で因襲的な詩の流れが大きく変わってしまったのである。いわゆるロマン主義の時代の到来を告げるこの詩集に表現された素朴な言葉や主題は、保守的な批評家たちにとってはまったく受入れ難い、あまりにも革新的なものであったが、この小さな流れは、その後19世紀の前半まで英詩の主流となっていた。

イギリスの北西部に位置する湖水地方を愛し、そこに住んだこの2人の詩人の中でも、特に自然を愛したのがワーズワスであった。ワーズワスの詩に描かれた美しい、しかし時には厳しい姿を露にする自然をうたった詩や、彼が得意とした、普通の人々の様々な人生の絵模様をうたった物語詩などを中心に読みながら、ワーズワスの詩の世界を見ていくことにする。

#### 成績評価の方法

前期のレポートと期末試験によって評価する。

#### 教科書

教場にて指示します。

科目名	イギリス文学特講III	開講	通年	単位	4
担当	他(英) 禅仏国地文環境歴日外考社福心営AGM34選 他(英) 営B34選				
担当者名	おかざき としちろう 岡崎 寿一郎				

#### 講義のねらい

おそらく、過去のいかなる瞬間もまた現在であったことの認識をもつことなく「現代」modernityという言葉の感覚を理解することは、むつかしいとおもいます。この認識の方法によって、19・20世紀の英詩について、その現代的な意味を確認します。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義の進行については、前期では、ワーズワス、コールリッジ、バイロン、シェリー、そしてキーツのロマン派詩人たちの詩について、フランス革命・イギリスの産業革命という時代的背景を捨象することなく論究してみたい。後期では、ヴィクトリア朝の時代と詩人たちについて、テニスン、ブラウニング、スウィンバーン、そしてマシュー・アーノルドの詩を検証した後、イギリスの近代文学を拓いたオスカー・ワイルドの詩と批評を出発として、近代詩人イェーツ、エズラ・パウンド、T. S. エリオットの現代詩(モダニズム)、さらにD. H. ロレンスの詩の論究を経て、現代イギリスの詩人たちの詩にと到達したいとおもいます。

#### 成績評価の方法

成績評価については、平常評価としての出席(50%)、前期試験に代わる夏季レポート(25%)、後期試験(25%)による総合評価とします。

#### 教科書

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、対象とした詩人と詩について必要なプリントを配布します。

#### 参考書等

参考書・文献については講義中に適宜言及します。

科目名	イギリス文学特講IV	開講	通年	単位	4
担当	他(英) 禅仏国地文環境歴日外考社福心営AGM34選 他(英) 営B34選				
担当者名	かわさき あきこ 川崎 明子				

#### 講義のねらい

ヴィクトリア朝の小説と文化を紹介します。小説の黄金時代といわれるヴィクトリア朝の著名作家の代表作品を解説します。具体的には、ディケンズ、ブロンテ姉妹、エリオット、ギャスケル、サッカレー等の長編。並行して当時の文化的・歴史的背景を解説します。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 学期中に小レポート1、2回
  - 2 前期・後期末に筆記試験
  - 3 前期・後期末にレポート
- レポートは合格点に達するまで書き直し。優秀レポートの口頭発表あり。  
レポートと口頭発表は英語・日本語どちらでも可。

#### 履修上の留意点

- 1 上に挙げた作家一人につき最低一つの作品を、翻訳でよいので通読した上で臨むこと
- 2 第一回目の授業より必ず辞書を持参すること
- 3 レポート作成においてはフォーマットを指定するので最低限のワープロの知識を持つこと

#### 成績評価の方法

出席、小レポート、レポート、試験の結果に加え、授業への貢献度により総合的に評価します。

#### 教科書

特になし。

#### 参考書等

川口喬一『イギリス小説入門』(研究社) イギリス小説の流れと特徴を原文入りで易しくまとめた良書。小説研究のヒントも得られます。大学図書館にも入っています。

科目名	イギリス文学特講V	開講	通年	単位	4
配当	他(英) 禅仏国地文環境歴日外考社福心営AGM34選 他(英) 営B34選				
担当者名	増田 <small>ますだ</small> 恵子 <small>けいこ</small>				

講義のねらい

『嵐が丘』や『ジェイン・エア』で知られるブロンテ姉妹について理解を深めます。生い立ちや初期作品、2大作品以外の詩や小説にも触れることで、ブロンテ文学の特徴がおのずと浮かび上がるようにしたいと思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

最初の授業で説明します。

履修上の留意点

3分の2以上の出席と授業への積極的な参加姿勢が必要です。

成績評価の方法

出席回数、発表や提出物、前・後の定期試験を総合的に判断して評価します。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

随時指示します。



科目名	イギリス文学特講VI	開講	通年	単位	4
配当	他(英) 禅仏国地文環境歴日外考社福心営AGM34選 他(英) 営B34選				
担当者名	丸小 哲雄 <small>まるこ てつお</small>				

講義のねらい

日本語の「アート」のインフレ。「英米文学研究」のデフレ。外国文学研究のあり方が問われている。日本語のアートと英語のArtは異質である。アート(art)が「芸術」でも、アーティスト(artist)が「芸術家」でも、ミュージアム(museum)が「美術館」「博物館」でもない。そこで外国文学研究を活性化するには以下に4つの前提がある。一つ目は英米文学を学ぶ受講生にとっては生得でない英語に依存しなければならない宿命的なハンディキャップがあること、二つ目は近代においては日本・日本人・日本語・日本文化(文学)はあたかも一体であると考え方には錯覚があること、三つ目は世界に共通する美的で倫理的な文学の一致はありえないこと、そして最後の前提は文学テキストの読みに関しての論議のためにはテキストの読み・解釈・批評にいてのさまざまな方法論があることである。

本講義は、異文化のズレによる言葉の闘いが文学研究を豊かにし、問題意識を高めていく。異質のものに目を放って、自らを更新するという外国文学研究であるとすれば、四角い言葉(英語)と丸い言葉(日本語)の分裂を意識しながら、精読と思考によって言葉を押し詰めることで、自分の言葉を成り立たせる「丸い言葉」(止揚・揚棄)を獲得し、「屁理屈」ではなく、腑に落ちるように「理屈」を言う外国文学研究の講義となります。

本講義は、とりわけ文学批評のさまざまな方法に親しみつつ、ときに文学テキストの演習を行い、文学テキストの印象や感想に価値を見出せるように講義してゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 自然言語と虚構言語と虚構言語の相違について
- 2) 英米文学の制度の成立と文学研究の意義について
- 3) 文学と批評の基本的用語について
- 4) 文学テキストの基本的要素と文学テキストの機能と力について
- 5) さまざまな批評方法について

・伝統批評、伝記批評、ロシア・フォルマリズム、ニュー・クリティシズム、テーマ批評、受容理論、精神分析批評、構造主義、記号論、ポスト構造主義、ニュー・ヒストリシズム、ポストコロニアル批評

履修上の留意点

私語厳禁

成績評価の方法

出席、翻訳課題、リーディング課題、前期・後期のターム・ペーパー(レポート作成)などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価します。

教科書

- 1) Elements of fiction by Robert Scholes (英宝社)
- 2) プリント使用: 多くのプリントを配布しますので、そのファイル用具を用意すること

参考書等

講義の時に随時指示します。

科目名	アメリカ文学特講I	開講	通年	単位	4
配当	他(英) 禅仏国地文環境歴日外考社福心営AGM34選 他(英) 営B34選				
担当者名	あずま ひとしろう 東 雄一郎				

#### 講義のねらい

アメリカ文学・文化を貫く根本的な問いは、「アメリカ人とは一体何者なのか」、「アメリカとは一体何か(どんな国なのか)」であり、こうした自意識の強さは新奇さや独自性の強調を生みだす。アメリカ文学の(アメリカ芸術一般の)根源的な特徴(根源的衝動に近いもの)は、アメリカ的なものの必要以上の定義と強調である。国民的な叙事詩の欠落、これは逆に、ホイットマンの『草の葉』に始まる叙事詩的な文学への強い憧れを生み出してきた。つまり、ハート・クレイン、ウィリアムズ、ビートのギンズバーグらのアメリカと自分(詩人)の自我を高らかに歌う詩人たち(預言者の詩人)を生み出してきたのである。この講義では、アメリカの詩、映画、音楽などを取り上げ、アメリカの自意識について多様な考察を試みる。アメリカの詩は、口誦的な詩のジャンルから自然発生的に出発したものではなく、本来が実用的な文学なのである。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

毎回、数人の詩人とその作品を取り上げ、精読します。時には作品に関する小レポートを授業内に書いてもらいます。

#### 履修上の留意点

毎回、出欠をとりますので、遅刻をしないように(遅刻者は出席カードに記入できません)。

#### 成績評価の方法

年間2回のレポート(2000字程度)、小レポート、出席点などで総合的に評価します。

#### 教科書

新倉俊一著『アメリカ詩入門』(研究社)2,000円程度

#### 参考書等

開講時に指示します。

他学部  
履修科目

科目名	演劇特講 (イギリス・アメリカ)	開講	通年	単位	4
担当	他 (英) 禅仏国地文環境歴日外考社福心堂AGM34選 他 (英) 営B34選				
担当者名	おちあい かずあき 落合 和昭				

#### 講義のねらい

主として、20世紀のアメリカの著名な劇作家、および、現在、活躍中の劇作家を取り上げ、彼等の劇の特徴を、劇の構成要素(「筋」、「登場人物」、「テーマ」、「台詞」、「視覚効果(背景、照明等)」、「効果音(音楽も含む)」等を通して、できるだけ多角的に考察する。その際、演劇史における思潮も考慮に入れるつもりであるが、講義が抽象的にならないように、必ず、劇作品を通して、具体的に、劇の構成要素等を考察する。アメリカの劇作家以外にも、数人ではあるが、20世紀のアイルランドやイギリスの劇作家も取り上げる予定である。さらに、一般には、あまり知られていない劇作家、特に、一幕劇(短い劇、小説で言うなら、短編小説、通常、「場所」が一つだけの劇)を書いた劇作家も取り上げ、劇の持つ多様性をも考察する。また、講義のなかで、折に触れ、重要な演劇用語や劇場の種類等も学ぶ。さらに、時間があれば、ビデオを通して、劇作家の生い立ちや背景についても学ぶ。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義のなかで取り上げる主なる劇作家は、アメリカでは、Susan Glaspell (1882-1948)、Alice Gerstenberg (1885-1972)、Eugene O'Neill (1888-1953)、Thornton Wilder (1897-1975)、Tennessee Williams (1911-83)、Arthur Miller (1915-2005)、Shirley Jackson (1919-65)、Edward Albee (1928- ), Sam Shepard (1943- ), David Mamet (1947- ), アイルランドでは、John Millington Synge (1871-1909)、Samuel Beckett (1906-89)、イギリスでは、John B. O'neill Priestley (1894-1984)、Peter Shaffer (1926- ), Harold Pinter (1930- ) 等である。

#### 履修上の留意点

講義の内容をふまえて、劇作品を分析してもらうので、積極的な参加が望ましい。

#### 成績評価の方法

期末試験が全評価の40%、前期の課題が30%、後期の課題が30%とする。一回の課題は原稿用紙400字詰め5枚から10枚(ワープロの場合は、2000字から4000字)とする。出席率は平常授業(期末試験は除く)3分の2を越えなければ、成績は「不合格」とする。また、遅刻2回で、欠席1回とし、30分以上の遅刻は欠席とする。出席率が3分の2以上を越えなければ、成績は「不合格」とする。

#### 教科書

- 1) 『楽しく読める英米演劇』 ミネルヴァ書房
- 2) プリント

科目名	時事英語	開講	通年	単位	4
担当	他 (英) 禅仏国地文環境歴日外考社福心経A商営A34選 他 (英) 経B営B34選				
担当者名	サンダース, L. P.				

#### 講義のねらい

このクラスでは、様々なマスメディア (advertising、TVニュース、雑誌、タブロイドなど) で使われている英語を通じて、表現や文化を学んでいく。  
media studies のメソッドで行う。

#### 講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み内容を把握し、ビデオを見てエクササイズを行う。後半はディスカッションを行う。

#### 成績評価の方法

年に2回テストを行う。

#### 教科書

教科書は使用せずプリントを配布する。

#### その他

ビデオを使用する。授業は英語で行う。

科目名	人口地理学	開講	通年	単位	4
配当	他(地文) 禅仏国英歴日外考社福心経A商営AGM34選 他(地文) 経B営B34選				
担当者名	やまうち まさかず 山内 昌和				

### 講義のねらい

人口現象が社会問題として表出する際には、少子化、高齢化、過密・過疎といった形をとるが、これらの理解のためには、出生、死亡、移動、世帯に関する概念や諸指標を理解する必要がある。とくに、地域の人口問題を扱う際には、人口の地域分布変動にもっとも大きな影響を与える地域間の人口移動についての理解が不可欠である。前期では、各種概念や指標に関する基礎的な学習を中心に行い、後期では、日本の人口問題に関する様々な論点について、人口移動を中心に、理解を深めることを目的とする。

### 講義の内容・授業スケジュール

〔人口分析の基礎〕人口学的方程式、人口構造の把握(性比、年齢構造)  
 〔少子化問題と出生の分析〕出生の指標(合計特殊出生率)、出生率の低下とその要因  
 〔人口高齢化と死亡の分析〕死亡の指標(生命表、平均寿命)、人口高齢化とその要因  
 〔人口移動の概念とデータ〕人口移動の概念、人口移動データとその特徴  
 〔世帯の分析〕人口と世帯の関係、世帯データとその特徴、世帯構造の把握  
 〔日本国内の人口移動〕戦後日本の人口移動の概観、地方圏と大都市圏の間の人口移動  
 〔日本人の居住地移動〕地方圏出身者の居住地移動プロセス、Uターン移動とその要因  
 〔将来人口の推計〕将来人口推計ならびに世帯数の将来推計の理論、コーホート変化率法による人口推計の実際、世帯主率法による世帯数の将来推計の実際

他  
学  
部  
履  
修  
科  
目

### 履修上の留意点

あらゆる地域において、現在の人口ピラミッドの形は将来の地域人口のあり方を大きく規定する。例えば郊外のニュータウンにおいては今後急激な高齢化が不可避である。このような地域人口変化のメカニズムを本講義を通じて理解して欲しい。

### 成績評価の方法

授業時間内に複数回の試験を実施し、その結果に基づき成績評価を行う。

### 教科書

とくに指定しない。

### 参考書等

授業時間内に適宜指摘する。

科目名	文化地理学	開講	通年	単位	4
配当	他(地文) 禅仏国英歴日外考社福心経A商営AGM34選 他(地文) 経B営B34選				
担当者名	おだ まさやす 小田 匡保				

#### 講義のねらい

文化地理学の内容は幅広いが、特に宗教地理学の代表的な研究テーマについて研究例に基づき述べる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. 文化地理学とその概要
2. 宗教地理学
3. 宗教分布
4. 信仰圏
5. 宗教集落・宗教都市
6. 巡礼・社寺参詣
7. 墓地
8. 村落の宗教組織

#### 成績評価の方法

成績評価は、出席状況、夏休みレポート、試験(前期・後期の2回、持込不可)によって行なうが、試験の点数が基本である。ただし、半分以上の出席と夏休みレポートの提出を必須条件とする。試験の点数が低い時はもちろんだが、出席回数が足りない場合、レポートが受理されない場合も、単位は認定されない。

#### 教科書

使用しない。

#### 参考書等

授業中に指示する。

履修科目  
他学部

科目名	日本仏教史	開講	通年	単位	4
配当	他(日) 国英地文環境社福心営A34選 他(日) 営B34選				
担当者名	まつもと のぶみち 松本 信道				

#### 講義のねらい

本講座は、「仏教の日本的受容」というテーマを中心として、日本の古代史を再検討してみようというのがねらいである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

仏教が日本に受容された背景を、政治的・社会的・思想的・宗教的環境の中で有機的にとらえていくということを基本的姿勢として講義を進める。とくに、インド・中国・朝鮮半島などの動向も視野に入れた国際的視点と、日本古代社会の皇族・貴族・豪族のみでなく、一般民衆の「苦悩」と「祈り」と「救済」をも視野に入れた民衆史的視点からもアプローチしてみたい。

#### 成績評価の方法

前期・後期2回のレポートと出席点を総合して評価する。

#### 教科書

随時、プリントにて配布します。

#### 参考書等

速水侑『日本仏教史 古代編』(吉川弘文館)

科目名	日本史特講Ⅶ【〔近代〕】	開講	通年	単位	4
配当	他（日）禅仏国英地文環境社福心経A商営AGM34選 他（日）経B営B34選				
担当者名	熊本 <sup>くまもと</sup> 史雄 <sup>ふみお</sup>				

#### 講義のねらい

第一次大戦から第二次大戦を経て、戦後のサンフランシスコ平和条約締結に至るまでの日本外交につき史料を交えて講述し、その外交方針の根底に潜む思想を解明する。戦前期の外交については、対外機構の改変問題も関連づけながら当該期日本外交の中心であった対中関係を考察しつつ、日本が如何なる途を模索し最終的には戦争に進んでいったのかを検討する。戦後期の外交については、占領下において、当時の外務省さらには戦後日本の政治指導者として大きな役割を担った吉田茂が如何にして日本再生の途を模索したかを、その準備過程と条約締結交渉を通じて検証する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期：第一次大戦と日本／「新外交」の模索／対中文化政策への視線／ワシントン体制の成立と対米英関係／満州事変から日中戦争へ／日米交渉と太平洋戦争  
後期：終戦工作／占領の開始／「自主外交」の模索／平和条約締結の準備／サンフランシスコ平和会議／安保条約と行政協定

#### 履修上の留意点

史料の講読を通じて外交政策の決定過程を追体験して欲しい。外交指導者が下した決断の理由は何か、その根底にある主張とは何か、といった問題意識を常に持つことが重要。

#### 成績評価の方法

前・後期2回の定期試験の成績、および出席状況で評価する。

#### 教科書

とくに指定しない。

#### 参考書等

適宜紹介する。

#### その他

講義形式で進め、レジュメと史料を毎回配布する。

他  
学  
部  
履  
修  
科  
目

科目名	東洋史特講Ⅲ【〔近世史〕】	開講	通年	単位	4
配当	他（外）禅仏国英地文環境社福心営AGM34選 他（外）営B34選				
担当者名	杉山 <sup>すぎやま</sup> 清彦 <sup>きよひこ</sup>				

#### 講義のねらい

ユーラシア東方における最大最後の帝国であった大清帝国（清朝）は、一般には「最後の中華王朝」「漢化した異民族王朝」として理解されている。しかし、これは漢人（漢民族）中心の歴史観に引きつけられた見方であり、非漢人の満洲人が広大な非漢地を統治した帝国であるという事実を正面から捉えたものではない。本講義では、大清帝国の形成過程と支配構造を、支配層たる満洲人に焦点を当て、ユーラシア史の観点から再構成することをめざす。

#### 講義の内容・授業スケジュール

おおむね以下のような内容を予定している。  
〔前期〕元明交替と東北アジア マンジュ国から大清帝国へ 八旗制の支配構造  
〔後期〕位階制秩序と辞令・誓書 旗人社会と族譜 ユーラシア国家としての大清帝国

#### 履修上の留意点

講義形式で進め、随時アンケート等を実施して受講生との疎通を図る。高校世界史程度の知識を前提として進めるので、講義中随時紹介する参考文献などを手がかりに、必要な知識は自分でフォローすること。

#### 成績評価の方法

前後期各1回課すレポートを基本とし、平常点を参考とする。

#### 参考書等

講義中適宜紹介する。全般にわたるものとして、岡田英弘・神田信夫・松村潤『紫禁城の栄光』（講談社学術文庫、2006）を薦める。

科目名	西洋文化史	開講	通年	単位	4
配当	他(外) 禅仏国英地文環境社福心経A商営AGM34選 他(外) 経B営B34選				
担当者名	石田 恵子 <small>いしだ けいこ</small>				

講義のねらい

東洋に対する西洋文化のルーツをたどっていくと、ギリシャ・ローマの地中海世界を経て、古代西アジア地域の文化にまでたどっていくことが出来る。特に西アジアに起源する印章文化の展開を柱として、それにまつわる古代オリエントの歴史、印章の種類、役割の多様性などを紹介しつつ、ヨーロッパ世界に伝えられていった指輪型印章や封ロウをルネサンス時代まで追いつき、今日まで残る印章の意義を考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期はメソポタミアで誕生したスタンプ印章の使用開始から円筒印章の登場、メソポタミアに栄えた円筒印章の変遷、その素材と技術、メソポタミア周辺の印章文化も紹介する。後期は書写材料・文字の変遷による円筒印章の終焉とスタンプ印章の復活、ギリシャ・ローマ世界、ビザンチン・イスラム世界、中世ヨーロッパ及びそれ以降の印章及び印章に関わる文化を概観する。

履修上の留意点

広く興味を持って本や展覧会など見るようにすること。

成績評価の方法

出席点と課題レポート、試験

科目名	哲学史	開講	通年	単位	4
配当	他(日)国英地文環境社福心経A商営AGM34選 他(日)経B営B34選				
担当者名	山口 祐弘 <small>やまぐち まさひろ</small>				

### 講義のねらい

ヨーロッパにおける哲学の起源を探索し、その問題圏を明らかにして哲学とは何かを考え、また現代において思索する方法を学ぶ。

### 講義の内容・授業スケジュール

#### 前期

①哲学と哲学史 ②ギリシア哲学の起源 ③イオニアの哲学(タレス、アナクシマンドロス、アナクシメネス) ④ピュタゴラスとピュタゴラス派 ⑤エレア派(クセノファネス、パルメニデス、メリッソス、ゼノン) ⑥ヘライクレイトス ⑦エムペドクレス ⑧原子論(レウキッポス、デモクリトス) ⑨アナクサゴラス ⑩アテネの哲学とポリス ⑪ソフィスト(プロタゴラス、ゴルギアス) ⑫ソクラテス ⑬メガラ派(エウクレイデス、エウプリデス、スティルポン) ⑭キュレネ派(アリストイッポス、テオドロス、ヘゲシアス、アニケリス) ⑮小論文作成

#### 後期

①ペロポネソス戦争とポリスの変貌 ②プラトン ③アリストテレス ④ヘレニズム・ローマ哲学 ⑤ストア哲学 ⑥エピクロス哲学 ⑦新アカデメイア派(アルケシラオス、カルネアデス) ⑧懐疑主義 ⑨キリスト教 ⑩新プラトン主義(アンモニオス・サッカス、プロティノス) ⑪ピロン ⑫カバラ派とグノーシス主義 ⑬古代哲学の問題圏 ⑭哲学の歴史性と普遍性 ⑮小論文の作成

他  
学  
部  
履  
修  
科  
目

### 履修上の留意点

単なる知識の習得ではなく、哲学史を素材として自ら考える態度を養うことに努めてもらいたい。

### 成績評価の方法

平常の学習態度および小論文の評価による。

### 教科書

「原典に見る哲学の歴史」 公論社

### 参考書等

ヘーゲル「哲学史」岩波書店



科目名	マス・コミュニケーション論	開講	通年	単位	4
配当	他(社)禅仏国英地文環境歴日外考経A商営A34選				
担当者名	かわもと まさる 川本 勝				

#### 講義のねらい

テレビが誕生してから半世紀がたちます。「もしもテレビが存在しなかったなら、私達のもの  
の考え方、生活の仕方、日本の社会のあり方はどうなっていたでしょう?」といった問いに対  
して各自の答えが用意できるよう、社会的コミュニケーションの特質を整理し、マス・コミュ  
ニケーションの社会的機能を考察する。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

前期は、まず、コミュニケーションとはなにかを定義し、パーソナル・コミュニケーション、  
マス・コミュニケーションなど社会的コミュニケーションの類型、特質を整理しながら、コミュ  
ニケーションと社会生活の関連を考える。私たちの社会生活は、コミュニケーション活動に  
よる他者との相互作用によって成り立っている。人々は現代社会における多種多様化したメデ  
ィアを利用してどのようなコミュニケーション活動を営んでいるのかを考察する。

後期は、マス・コミュニケーションの受容過程研究の中で明らかにされてきた効果、影響に  
ついての理論を紹介しながら、マス・コミュニケーション活動が社会や人びとに対してどのよ  
うなインパクトや社会的機能を果たしているのか、問題点は何かについて論じる。

#### 履修上の留意点

他学部・学科履修ができる科目ですが、他学部・学科の学生は、社会学の科目をすでに履修し  
ているなど社会学の基礎知識を修得しておくことが望ましい。

#### 成績評価の方法

講義中に課する小レポート、出席を配慮し、定期試験によって行う。

#### 教科書

用いない。

#### 参考書等

適宜紹介する。

科目名	社会福祉発達史	開講	通年	単位	4
配当	他(福) 禅仏国英地文環境歴日外考心経A 商法A 政営AGM34選 他(福) 経B法B 営B34選				
担当者名	堀 千鶴子				

講義のねらい

我が国における、近代以降の社会事業・社会福祉の生成、発展について学ぶ。特に、社会福祉事業・社会福祉に貢献した人物史の足跡をたどることから、社会福祉の歴史を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

1	社会福祉の歴史と人物史 1	13	人物史 4
2	” ” 2	14	” 4
3	慈善・救済の時代	15	” 4
4	人物史 1	16	社会事業・社会福祉の時代
5	” 1	17	人物史 5
6	” 1	18	” 5
7	” 2	19	” 5
8	” 2	20	” 6
9	” 2	21	” 6
10	” 3	22	” 6
11	” 3	23	社会事業に生きた女性
12	” 3	24	地域の歴史

履修上の留意点

出席を重視する。テキスト必ず持参。

成績評価の方法

出席(40%)、レポート(60%)

教科書

室田保夫『人物で読む近代社会福祉のあゆみ』ミネルヴァ書房 2800円 ISBN4-623-04519-6

科目名	農業政策	開講	通年	単位	4
配当	他(経) 禅仏国英地文環境歴日外考社福営A34選 他(経) 営B34選				
担当者名	みぎて よしかず 溝手 芳計				

#### 講義のねらい

“工業が先進国型産業であるのに対して農業は途上国型の産業だ”、“工業が環境負荷になりやすいのに対して、農業は環境に優しい産業である”、“食料価格は主に農業の生産性の高さによって決まる”、“日本農業の競争力が低いのは、主に農家の人が甘えているせいだ”、、、こうした認識は果たして正しいでしょうか。

農業は、一方では、他産業、とりわけ川上の農機具・資材産業や川下の食品関連産業などいわゆるアグリビジネスとの関連が強まり、他方で、WTO農業交渉に象徴される国際化への対応を求められるなど、かつて見られなかった激動の時代を迎えています。こうした時代に農業政策のあり方を考えるためには、農業という産業の特質と現代の農業問題の構図を理解するとともに、政策ツールについて批判的に検討していくことが必要です。

授業では、現代の主要な農業問題と農業政策をいくつか取り上げて、経済学の視点から説明します。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. 「農業政策」とは(2回)
2. 食料問題と食料政策(5回程度)
3. 農産物価格問題と価格・所得政策(5回程度)
4. 農業の特質と現代農業(4回程度)
5. 戦後日本の農業問題と農業政策－農業構造問題を中心に－(6回程度)

#### 履修上の留意点

充実した授業は、教員の努力だけでできるものではありません。授業中に「コミュニケーション・カード」を配布しますので、授業の感想や質問、意見を書いてください。授業改善の参考にします。

#### 成績評価の方法

成績評価は定期試験を基本とします。

#### 教科書

田代洋一『新版農業問題入門』(大月書店)  
※ 授業中には使いませんが、予復習してください。

#### 参考書等

大塚茂・松原豊彦編『現代の食とアグリビジネス』(有斐閣)  
F. マグドフ他編(中野一新監訳)『利潤への渴望』第5章(大月書店)  
梶井功『新基本法と日本農業』(家の光協会)  
橋本卓爾ほか編著『食と農の経済学』(ミネルヴァ書房)

科目名	中国経済論	開講	通年	単位	4
配当	他(経) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政営AGM34選 他(経) 法B営B34選				
担当者名	小杉 <sup>こすぎ</sup> 修二 <sup>しゅうじ</sup>				

### 講義のねらい

前期は中華人民共和国の経済を歴史的に学ぶ。その開発目標に着目して、中ソ同盟下の大国志向としての「ソ連モデル」、独自の超大国を志向して米ソと対立した「毛沢東モデル」について学ぶ。後期は現在につながる鄧小平モデルの経済発展と問題点について学ぶ。

### 講義の内容・授業スケジュール

ソ連モデル期に中国は発展途上国の特徴である機械の生産能力を欠いているという弱点を克服した。現在、中国の知的財産権侵害が問題にもされているが、発展途上国が発展していくとき良かれ悪しかれ、先進的な技術をまねることになる。しかし、世界中のどの国でもまねができるかといえば必ずしもそうではない。まねすることも偉大な能力であることはわが日本が示してきた能力である。まねができるだけの基礎的能力のかなりの部分がこの時期に培われたと考えられる。

また、年9%近い高度経済成長、国民生活の一定の改善もこの時期に達成された。さらに一定の兵器の自給も達成された。

毛沢東モデル時期には国家目標は独自の超大国に切り替えられた。この時期中国は一見すると経済発展に背を向けて「革命」を目指していたなどといわれることもある。しかし、この時期にも6%程度の経済成長があった。しかし、その成果は国民生活のためには使われず、核ミサイルの開発や米ソとの覇権争いのため、また、後にはソ連との戦争に備える臨戦態勢づくりに消費されてしまった。そしてこの開発戦略のため、中国経済の効率は低下し、行き詰った。これら二つの時期の中国の行き方は良くも悪くも今日にまで続く影を落としている面がある。

後期は鄧小平モデル期(1978年一)の中国を考える。この時期の中国は、平和共存の戦略の下でもうひとつの超大国を目指すべく目覚ましい経済発展を遂げるにいたった。平和共存への転換は臨戦態勢からの脱却を可能にした。資本が乏しいというのが発展途上国の特徴だが、中国は毛沢東式の共産主義の下に「我慢することが共産主義」だとして、さまざまなキャンペーンを通じて消費を抑制し、工場や核ミサイルの開発をしてきた。毛沢東の後継者たち＝「4人組」が敗退したということは、新しい国際条件の下では、国民生活の抑制による経済運営ではなく経済成長による国民生活の向上が新しい経済発展の道として選ばれたということであり、この流れは不可逆的なものである。

新しい発展戦略は外国の技術・資本を積極的に導入することによって可能になった。中国の低賃金労働力もそれを後押しする要因だった。電機産業にみられる「組み合わせ型」の技術による産業分野では中国はテレビ、パソコン、電子レンジ、洗濯機、冷蔵庫等で世界有数の生産国になった。1人あたりの所得も1000ドルを超えるにいたった。

こうした中国の発展を可能にした要因を考えていくと同時に、産業構造の特徴、地域的な産業集積、産業高度化の課題、日中関係、地域格差、階層格差等について考えていく。

### 履修上の留意点

私語、飲食、携帯電話禁止(授業に集中できない人は出席不可)。

### 成績評価の方法

前期レポート、後期試験。

### 教科書

前期 小杉修二『増補 現代中国の国家目的と経済開発』(龍溪書舎 1997年) 4000円

### 参考書等

加藤弘之・上原一慶編著『中国経済論』ミネルヴァ書房 2004年、馬成三『中国経済の読み方』ジェトロ 2002年

科目名	アメリカ経済論	開講	通年	単位	4
配当	他(経) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政営AGM34選 他(経) 法B営B34選				
担当者名	瀬戸岡 紘 <small>せとおか ひろし</small>				

#### 講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅広くわかりやすく解説します。特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です。アメリカ経済を自力で理解していく力をつけることが目標です。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

以下の項目をさしあたり準備しています。受講者の要望の強いものから講義していきます。  
 ◇大統領の今年の経済政策、◇建国の理念と現実、◇アメリカの農業、◇アメリカの工業、◇  
 ヴェンチャービジネス、◇雇用と労働者、◇商業とサービス、◇金融、◇教育と経済、◇科学  
 技術、◇先端産業、◇経済と環境問題、◇アメリカ社会とヴォランティア、◇女性・マイノリ  
 ティー、◇ドルの地位とIMF、◇アメリカの貿易、◇軍の世界的ネットワークと経済的意義、  
 ◇海外援助、◇多国籍企業とアメリカ経済、◇アメリカとEU、◇アメリカと日本、◇アメリ  
 カとアジア・太平洋、◇アメリカとカナダ・メキシコ、◇アメリカの経済学、など

#### 履修上の留意点

1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。あたらしい情報やトピックスを、解説つき  
 で、つねに受講者に紹介します。アメリカの諸大学の授業にみられる長所を可能なかぎりとり  
 入れた授業です。

#### 成績評価の方法

随時、受講者には小論を書いてもらい、それで成績評価をします。平常点重視のためえか  
 ら、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しません。

#### 教科書

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。講義では、随  
 時よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカ  
 ものの本の全体がこの講義の教科書ですが、どうしてもといわれれば、  
 瀬戸岡著『アメリカ理念と現実』(時潮社)2005年  
 グリーンバーグ・瀬戸岡訳『資本主義とアメリカの政治理念』(青木書店)1994年  
 瀬戸岡ほか編著『グローバル時代の貿易と投資』(桜井書店)2003年  
 をおすすめします。

科目名	EU統合論	開講	半期	単位	2
担当	他(経) 禅仏国英地文環境歴日外考社福政営AGM34選 他(経) 営B34選				
担当者名	ひろた えり 廣田 愛理				

## 講義のねらい

本講義は、今日の国際政治経済において大きな影響力を持つEUの制度や政策の歴史と現状について学ぶことで、現在のEUが抱える課題について考えることを目的とします。地域統合の歴史的な前例としてのEUについて学ぶことは、単に現在の国際経済を理解する助けとなるだけでなく、今日、「東アジア共同体」という課題をめぐる日本とアジアの関係について考察を深める上でも重要であると思われます。

## 講義の内容・授業スケジュール

講義の主な内容は以下のとおりです：  
 ◇両大戦間・戦後復興期の統合構想と運動  
 ◇EUの制度的起源：ECSCとEEC  
 ◇経済統合の拡大と深化  
 ◇通貨統合  
 ◇EUの政策と制度  
 ◇EUの現在の課題

## 成績評価の方法

期末試験と平常点（出席、小テストなど）で評価します。

## 教科書

教科書は指定しません。

## 参考書等

参考書等は必要に応じて講義の際に紹介します。

科目名	現代西欧経済論	開講	半期	単位	2
担当	他(経) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政営AGM34選 他(経) 営B34選				
担当者名	ひろた えり 廣田 愛理				

## 講義のねらい

本講義では、イギリス、フランス、ドイツといった主要国の個別事例を取り上げつつ、第一次大戦期から今日に至る西欧経済の歩みを辿ることで、西欧社会経済の特徴を捉えることを目的とします。

## 講義の内容・授業スケジュール

講義の主な内容は以下のとおりです：  
 ◇第一次大戦以前の西欧経済  
 ◇第一次大戦とボックス・ブリタニカの動揺  
 ◇大衆消費社会のはじまり  
 ◇世界恐慌と資本主義の“大転換”  
 ◇第二次大戦後の西欧経済社会の再編  
 ◇福祉国家の成立と展開  
 ◇ヨーロッパ経済の分裂から統合へ  
 ◇植民地体制の崩壊と南北問題  
 ◇資本主義の“黄金時代”  
 ◇ブレトン・ウッズ体制の崩壊とヨーロッパ統合の再活性化  
 ◇グローバル化の深化と西欧経済

## 成績評価の方法

期末試験と平常点（出席、小テストなど）で評価します。

## 教科書

教科書は指定しません。

## 参考書等

参考書等は必要に応じて講義の際に紹介します。

科目名	貿易論	開講	通年	単位	4
配当	他(商) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政営AGM34選 他(商)法B営B34選				
担当者名	ふるさわ こうぞう 古沢 紘造				

### 講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまできています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』(御茶の水書房)を読まれるとよいでしょう。

### 講義の内容・授業スケジュール

#### I. 生産・消費と貿易

1. 農産物と貿易
2. 水産物と貿易
3. 林産物と貿易
4. 鉱物資源と貿易
5. 工業製品と貿易

社会・経済状況の変化に対応して、アップ・ツー・デートな貿易問題も積極的に取り上げるようにしたい。

#### II. 政治・経済・社会と貿易

1. 開発援助と貿易
2. 環境と貿易
3. WTOと貿易
4. グローバリゼーションと貿易
5. 持続可能な発展と貿易

### 成績評価の方法

テスト、提出物(講義ごとのまとめ、前期、後期の終り 授業で書いてもらう講義全体のまとめ)などを総合して評価を行う。テストやまとめを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

### 教科書

特にこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

### 参考書等

講義の中で興味をもち、もっと知りたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本など教えます(研究室:第2研究館、4階34号室)。

科目名	経済法	開講	通年	単位	4
配当	他（法A）禅仏国英地文環境歴日外考社福心営AGM34選 他（法A）営B34選				
担当者名	若林 <small>わかばやし</small> 亜理砂 <small>ありさ</small>				

#### 講義のねらい

経済法の中心をなす独占禁止法を理解することを目標とする。独占禁止法は、市場における競争秩序の維持をになうものであるが、これは事業者の活動にかかわるのみならず、私たち消費者の生活にも密着している。この点を念頭に置き、講義では、なるべく多くの事例を紹介することにより、独占禁止法の解釈や運用について具体的なイメージをもって理解できるように進める予定である。

#### 講義の内容・授業スケジュール

以下のトピックについて講義を行う予定である。

- 1 独占禁止法の基礎概念
- 2 不当な取引制限
- 3 私的独占
- 4 一般集中規制
- 5 市場集中規制
- 6 不公正な取引方法
- 7 公正取引委員会
- 8 私的エンフォースメント・刑事罰

#### 成績評価の方法

期末試験により評価を行う。

#### 教科書

丹宗・厚谷編『新現代経済法入門（第2版）』（法律文化社）

#### 参考書等

別冊ジュリスト『独禁法審決・判例百選（第六版）』（有斐閣）

#### その他

授業は毎回配布するレジメに基づいて進めることとする（基本的には教科書に沿ったものとなる予定である）。



科目名	国際政治学	開講	通年	単位	4
配当	他(政) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商法A営AGM34選 他(政) 経B法B営B34選				
担当者名	こぼり のりお 小堀 訓男				

## 講義のねらい

国際社会に展開する政治現象を、政治学的アプローチで論及し、国際政治の本質を理解することが、本講義のねらいである。

前期の講義は、国際政治とは、いかなるものか、分かり易く概説する。具体的には、国家、権力、民族、階級、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等をテーマに“国際政治の本質”について考察する。つぎに、より理解を深めるために、“国際政治の基調”と題して、国際政治が展開し、現在に至るまでの、各時代の国際政治の基調を、歴史的に概観する。

後期では、“国際政治の問題”と題して、冷戦後の国際政治、ナショナリズム、地域的安全保障、エネルギーと環境問題、国連の使命と限界、地域統合と国家の役割の変化等の、国際政治学が取り組むべき課題を、理論的かつ実証的に解明しながら、受講生とともに考えたい。

## 講義の内容・授業スケジュール

講義のテーマ、内容については予告する。受講生は必ず予習をして、講義に出ること。基本的な知識については、共通の理解を徹底したいので、全員で討論しながら授業を進めたい。よって、積極的な参加を求める。

## 成績評価の方法

1年間に数回程度、授業中に30分のショートテストを実施する。これは講義の理解の程度を知るためであるが、このテストの評価を30%とし、定期試験を70%の評価とする。

## 教科書

必要に応じて講義のなかで紹介する。

科目名	ヨーロッパ政治史	開講	通年	単位	4
配当	他(政) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商法A営AGM34選 他(政) 経B法B営B34選				
担当者名	うらた きなえ 浦田 早苗				

## 講義のねらい

現代西ヨーロッパの政治は、そこから多くのことを学んできた我々の先達が描いたほど理想的な状態で機能しているわけではなく、数々の矛盾にみちている。自由、平等の精神なり、『華やかなりし議会政治』の概念は、激動の現代政治のなかにあっては時として空虚な響きを投げかけてくることは否定できない。しかし、国家や政党、国民や民族といった西洋で生まれた近代政治の概念に再検討が迫られている今ほど、そうした概念の本質を成立した歴史過程のなかで考察することの重要性が問われたときはなかった。本講義では、近代ヨーロッパの歴史全般を概説しながら、ヨーロッパが抱える問題の本質を明らかにすること、及び現代政治を誤りなく把握する上で必要な基礎概念を検討することに視点がおかれている。

## 講義の内容・授業スケジュール

- ・近代の始点—ルネサンス期と18世紀
- ・英国革命とIRA
- ・ジャコバイトと英国王室
- ・議院内閣制の成立変遷過程
- ・英国における政治腐敗防止過程
- ・フランス革命と国家の概念
- ・フランス政治におけるジャコバン主義
- ・「後発国型近代化」の問題点—ドイツの場合—
- ・統合ヨーロッパの源流

## 成績評価の方法

年5～6回とる出席点は学年末試験に加算する。試験はあらかじめ提示した2題を出題する。(ノートの持ち込みは不可)

## 教科書

特に教科書は指定しないが、さらに詳細な研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。

科目名	地方自治法	開講	通年	単位	4
配当	他(政) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商営A34選 他(政) 経B営B34選				
担当者名	富井 幸雄 <small>とみい ゆきお</small>				

#### 講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

#### 成績評価の方法

前期試験(40%)と学年末試験(60%)で総合的に評価する。

#### 教科書

開講時に指示します。

#### 参考書等

『地方自治判例百選(第2版)』(別冊ジュリスト)。  
 なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』(良書普及会)は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』(岩波書店)、同他『概説日本の地方自治』(東京大学出版会)は必読。

#### その他

講義では頻りに法律の条文に言及するので、六法(『地方自治小六法』(学陽書房)があるがポケット六法でよい。)は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科目名	比較政治学	開講	通年	単位	4
配当	他(政) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商法A営AGM34選 他(政) 経B法B営B34選				
担当者名	三竹 <small>みたけ なおや</small> 直哉				

#### 講義のねらい

比較政治学は、いろいろな国や地域の事例を比較して、政治現象の因果関係の解明を目指す分野です。この授業では、その一端をご紹介しますとともに、みなさん自身が比較研究をするのに役に立つ勉強をすることを目標にします。

「比較」という手法は、あらゆる分野に使える方法ですので、まじめに勉強すると卒業後も役に立つことが多いと思います。

#### 講義の内容・授業スケジュール

この文章は2006年12月の時点で書いています。授業には、現在世界や日本で起きている出来事を反映させたいです。また、よいドキュメンタリー番組などが放映されれば、積極的に使っていきたいと考えています。そうしたことから、2006年12月の時点で詳細な授業スケジュールは出せません。基本的には、民主化、民族問題、移民政策といったテーマで授業を進めていき、その後方法論の勉強をしたいと思っています。昨年度の授業内容は、下記にある授業用サイトで見ただけですので、参考にしてください。

授業のやり方は、人数や大学からあてがわれる教場の設備によっても大きく変わってきます。参加人数が非常に少なければ、ゼミのような雰囲気でもやることもあり得ます。(2006年度の授業は、ゼミのようにやりました。)

#### 履修上の留意点

基本的事項は自分できちんと調べることが前提です。文献を読む課題がたくさん出ますが、読まなければ単位を取れません。中学校の社会科レベルのことが身につけていない人には単位を出せません。新聞を読んでいない人も同様です。(テストでチェックします。)  
また、高校の社会科レベルのことで、授業に関連することは自分で学習することが前提です。欠席したときの授業内容は、各自の責任で補ってください。就職活動であろうが、部活動であろうが、欠席した人を特別扱いはありません。

#### 成績評価の方法

平常点と定期試験によります。

#### 教科書

高根正昭『創造の方法学』(講談社現代新書)  
他にも指定する可能性はあります。  
ほぼ毎回、授業前までに読んでくるべき課題文献を指定します。読んでいない場合、出席できないことがあります。

#### 参考書等

授業ごとに課題文献を指定します。授業には必ずそれを読んだうえで参加してもらいます。

#### その他

この文章は2006年12月時点で書いています。変更もあり得ることを了承のうえ、読んでください。詳しい授業案内・スケジュールは、2007年4月に授業用ホームページに掲載します。  
<http://www.jj.em-net.ne.jp/~bamboos/>  
URLが変更になる可能性があります。その場合、Googleなどで三竹直哉と入れて検索してみてください。見つからなければ、下記までメールでご連絡ください。  
mitake@komazawa-u.ac.jp

科目名	現代国家論	開講	通年	単位	4
配当	他（政）禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商法A営AGM34選 他（政）経B法B営B34選				
担当者名	おおつか かつら 大塚 桂				

#### 講義のねらい

近年、政治制度の諸改革（1府12省庁、地方分権、規制緩和 etc）がすすんでいます。これにより、21世紀型国家が構築されたものと評価されています。ところで、第2次大戦後、新生日本国家がスタートしました。民主化の徹底、人権意識の高揚がはかられました。これにより、大日本帝国体制が清算されたと考えられています。しかし、果たしてそうといえるのでしょうか。明治国家のフレームワークは、今日にあっても直接間接に影響を与えていますし、その痕跡もはっきりと残っています。現代国家を理解するにあたっては、明治国家の構造を知ることが有益です。本講義では、明治国家における制度、思想、運動について究明していきます。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. 国家論の課題
2. 幕末政治過程
3. 幕末政治思想（水戸学、国学）
4. 公議政体論
5. 太政官制・内閣官制
6. 大日本帝国憲法
7. 法典整備・司法制度
8. 統帥権・戒嚴（令）
9. 地方官官制
10. 自由民権運動
11. 帝国議会
12. 財政制度
13. 教育勅語
14. 国家神道
15. 社会主義運動
16. 大正デモクラシー
17. 天皇機関説
18. 天皇制ファシズム
19. 統制経済
20. まとめ

#### 成績評価の方法

試験による単位認定 ～中間、期末試験により評価します。  
なお、試験は通常の授業時間に実施します。欠試者に対してはレポートを課します。  
※追試験は実施しません。

#### 教科書

大塚桂『明治国家の基本構造』（法律文化社）3,300円

#### 参考書等

大塚桂『現代国家へのアプローチ』（成文堂）、『明治国家と岩倉具視』（信山社）、『明治維新の思想』（成文堂）

#### その他

私の研究室は、第2研究館8階（2835）です。電話は3418-9377（直）です。

科目名	医療宗教学	開講	半期	単位	2
配当	他(放) 禅仏国地文環境歴日外考社福心営A34選 他(放) 営B34選				
担当者名	吉津 宜英 <small>よしづ よしひで</small>				

### 講義のねらい

この科目のねらいを明らかにするためには皆さんが受講する他の科目との比較を行うのが有効かと思ひます。まず「仏教と人間」という科目ですが、これは建学の理念とも関連し、広く宗教への認識を持ってもらった上で、仏教や禅の思想の特色を把握してもらうことを目的にしています。また、「臨床医療人間学」I・IIもこの科目と関連すると思ひます。特にIは生命倫理に焦点を合わせており、IIは医療人の社会性を問題にしています。この医療宗教学はこのIIを宗教的人間観から補完することを目的としています。それは医療人と患者との関係を考えて見ることを意味します。治療する人も治療を受ける人も共に同じ人間であるということは自明なことですが、対等な人間関係を維持することは難しいことでしょう。ただ「人間は必ず死ぬものである」という事実から、仏教などの宗教を援用して、死は医療人にとっても、また患者にとっても決して敗北ではないという観点を示します。また身心一如・生死一如・自他不二の人間観を明らかにし、余裕を持った医療人になってもらう一助としたいと思ひます。

### 他 履修 科目

### 講義の内容・ 授業スケジュール

まず様々な宗教や哲学、さらには現代の科学思想の人間観を広く取り上げてみたいと思ひます。皆さんもそれぞれ人間に対する考え方を持っていると思ひますが、皆さんがいずれ治療を行う患者さんはそれぞれ個人的に多様な人間観を持っていると想像します。その人間観を理解した上で、治療の内容を十分に説明し、相互の人間関係を築きながら治療を進めてゆくことは大切だと思ひます。この科目は人間観、人間を見る眼を鍛えるために古典的な宗教の知識や現代の心理学や哲学の知見を提供できると思ひます。

### 履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。講義内容を筆記すると共に自分の意見や疑問を書きとめ、全体を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいと希望します。

### 成績評価の方法

毎回出席を取り、2回ほど課題提出をお願いし、最後に1月に試験を行い、その結果を総合して成績評価を行います。

### 教科書

特に使用しない。出来るだけプリントを配布します。

### 参考書等

講義の中で随時紹介します。

### その他

私の講義の最中でも拳手して質問して下さい。私語は厳禁です。あまり目立つ場合は退場を要請します。授業開始時間後30分を経過してからは教場に入らないで下さい。

科目名	医療経済学	開講	半期	単位	2
配当	他(放) 禅仏国地文環境歴日外考社福心経A 商営A34選 他(放) 経B 営B34選				
担当者名	ながやま くにこ 永山 くに子				

講義のねらい	日本の医療制度を基軸とした病院マネジメントを科学する
講義の内容・授業スケジュール	<p>SBOs</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 国民医療費とは何かが説明でき、日本における課題が理解できる</li> <li>② 日本および海外の医療制度が理解でき日本における課題が説明できる</li> <li>③ 医療サービス生産の特性と病院組織が説明できる</li> <li>④ 病院組織はどうすれば活性化するかについて考えることができる</li> <li>⑤ どうして病院マーケティングが必要かについて説明できる</li> <li>⑥ 医療の財政的な側面を理解する</li> <li>⑦ 病院のリスクマネジメントについて医療事故・医療過誤の側面から理解する</li> </ul> <p>①～⑦は2回の授業で実施する。尚、⑤は試験とする</p>
履修上の留意点	一方的な講義ではなく、実践に即した内容にするために参加型の授業にしますので、積極的な参加を求めます。
成績評価の方法	(ア) 出席 (イ) レポート (ウ) グループワークへの参加度
教科書	特に指定はしませんが、授業の際に紹介します。
参考書等	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 鶴田忠彦『日本の医療経済』(東洋経済新報社) 3,296円</li> <li>② 川淵孝一『進化する病院マネジメント』(医学書院) 3,000円</li> <li>③ 池上直己『日本の医療』(中公新書) 720円</li> <li>④ 厚生統計協会『国民衛生の動向2004年版』</li> </ul>
その他	履修上の留意点に準じます

他  
履修  
学  
科  
目  
部

科目名	メディア・コミュニケーション概論	開講	半期	単位	2
配当	他 (GM) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経 A 商営 A34 選 他 (GM) 経 B 営 B34 選				
担当者名	にしおか ようこ 西岡 洋子				

講義のねらい

本講義では、コミュニケーションの基本機能およびコミュニケーションにおいて活用されるメディアの基本的特性を理解することを目的とする。まずは、コミュニケーションの基本的構造モデルを紹介したのちに、コミュニケーション主体の違いによって展開される異なるレベルのコミュニケーション（個人、グループ、マスのレベル）があることを理解する。さらには、それぞれのコミュニケーションにおいてどのようなメディアが活用されているか、さらには、それがどのように使い分けられ、また、変化しようとしている大きな傾向を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

1. イントロダクション  
コミュニケーション・モデル
2. パーソナル・コミュニケーション  
人と人とのコミュニケーション  
電話コミュニケーション
3. グループ・コミュニケーション  
集団・組織のコミュニケーション  
地域コミュニティのコミュニケーション  
集団行動のコミュニケーション
4. マス・コミュニケーション  
マス・コミュニケーションとメディア  
マス・コミュニケーション研究  
マーケティング・コミュニケーション
5. グローバル・コミュニケーション
6. まとめ

履修上の留意点

とくになし。

成績評価の方法

期末試験、レポート、平常点などで総合的に評価する。

教科書

講義中に指示する。

参考書等

講義中に指示する。

科目名	ネットワークコミュニケーション論	開講	半期	単位	2
配当	他 (GM) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商営A34選 他 (GM) 経B営B34選				
担当者名	菅谷 実 <small>すがや みのる</small>				

### 講義のねらい

社会のコミュニケーション活動を支える情報ネットワークの基礎的知識の修得とネットワークの進化が社会のコミュニケーション活動にどのような影響を及ぼしてきたかを明らかにすることを目的としている。具体的には、人的組織、物理的ネットワーク、情報ネットワークの歴史、仕組み、機能、運営等を明らかにする。

前半は、「ネットワークとコミュニケーション」というテーマで、社会的コミュニケーション活動とネットワークの関係を明らかにする。具体的には、組織とネットワーク、組織コミュニケーション、ネットワーク産業の特質などを論じる。

後半は、「情報ネットワーク発展の歴史」を、各ネットワーク産業ごとに明らかにする。具体的には、郵便、交通、通信、放送、インターネットなどのネットワークの発展過程を論じる。まとめの部分においては、今後、ますます進化が期待されている「ネットワークの融合と社会的コミュニケーション」を取り上げる。具体的には、融合化が進むネットワーク環境のなかで社会的コミュニケーション活動がどのような影響を受け、変容していくかを展望する。

### 講義の内容・授業スケジュール

#### 第1部 ネットワークとコミュニケーション

1. ネットワークと経営
  - 企業経営とは
  - 企業活動にとっての情報基盤の重要性
  - クローズネットワークとオープンネットワーク
2. 企業組織とネットワーク
  - 企業組織
  - 組織コミュニケーション
3. ネットワーク産業の特質
  - ネットワーク産業の構造
  - ネットワーク産業の変容

#### 第2部 情報ネットワーク発展の歴史

4. 郵便制度
  - 物流と情報流を支える流通ネットワーク
  - 郵便サービス
  - 郵便局
  - 民営化
  - 情報ネットワークとしての郵便ネットワーク

#### 5. 交通ネットワーク

- 貨物輸送
- 国内旅客輸送
- 国際輸送

#### 6. 放送ネットワーク

- 放送ネットワーク種別
- 放送規制
- テレビ放送ネットワークの発展

#### 7. 通信ネットワーク

- 通信事業者の種別
- 通信ネットワークの構造
- 制度の変容

#### 8. インターネット

- 発展の歴史
- ブロードバンドネットワーク
- ネットワーク機能

#### 第3部 ネットワークの融合

9. ネットワークの融合
10. ネットワークの高度化と経営環境の変化

他  
学  
部  
履  
修  
科  
目

### 履修上の留意点

講義には毎回出席してください

### 成績評価の方法

平常点と期末テスト

### 教科書

特に指定しません

### 参考書等

公益事業学会編『日本の公益事業』白桃書房。  
その他 初回講義時に紹介します。



科目名	情報メディア産業論 I	開講	半期	単位	2
配当	他 (GM) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経 A 商営A34選		他 (GM) 経 B 営B34選		
担当者名	福家 秀紀 <small>ふけ ひでのり</small>				

**講義のねらい** インターネットの普及により急速な変化をみせる日本のメディア産業の現状と課題を理解する。

**講義の内容・授業スケジュール**

- ・講義の内容  
情報メディア産業全体を俯瞰した後に、情報通信ネットワークの機能と役割を分析する。しかる後に、電話や放送など旧来型のネットワークと対比させることによって、インターネットの基本的な構造と特徴、ならびにその構造と特徴が社会経済に与える影響と問題点などについて考察する。
- ・授業スケジュール  
①情報メディア産業とは、②情報メディア産業を理解するためのキーワード(1)：ネットワーク、③情報メディア産業を理解するためのキーワード(2)：デジタル化とモジュール化、④電話網と放送網、⑤携帯電話網、⑥インターネットの基礎(1)、⑦インターネットの基礎(2)、⑧情報通信産業、⑨放送産業、⑩ケーブルテレビ産業、⑪新聞産業、⑫コンテンツ産業、⑬まとめ

**履修上の留意点** 授業中の指示事項が成績評価に反映されるので、授業への出席が単位認定の前提となる。

**成績評価の方法** 授業中に実施する小テスト、レポート、定期試験を総合的に評価する。

**教科書** 特に指定しない。

**参考書等**

- ・村井純、『インターネット』、岩波書店、650円、4-00-430416-4
- ・湯浅正敏他、『メディア産業論』、有斐閣、1,800円、4-641-17311-7
- ・その他講義の中で適宜紹介する。

**その他** レジュメを配布する他、新聞記事なども適宜使用する。

科目名	比較メディア制度論	開講	半期	単位	2
配当	他 (GM) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経 A 商政営A34選		他 (GM) 経 B 営B34選		
担当者名	西岡 洋子 <small>にしおか ようこ</small>				

**講義のねらい** 本講義では、米国を中心に、EU主要国、アジア主要国の放送制度について解説する。また、適宜、日本の場合と比較を行うことで、その特徴および制度形成の背景を理解するとともに、日本の制度への適用の可能性を検討する。

**講義の内容・授業スケジュール** 各国の規制機関、放送制度、放送産業の概要と動向

**履修上の留意点** メディア政策論または、同様の講義を受講していることが望ましい。

**成績評価の方法** 期末テスト、レポート、平常点などで総合的に判断する。

**教科書** 授業中に指示する。

**参考書等** 授業中に指示する。

科目名	都市とメディア	開講	半期	単位	2
配当	他 (GM) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経 A 商営A34選 他 (GM) 経 B 営B34選				
担当者名	高 媛 <small>こう えん</small>				

講義のねらい

都市は、種々のメディアが実践する場であると同時に、メディアによって紡ぎ出されたイメージ群から構成される空間でもある。本講義は、都市とメディアに関する基本的な理論を提示した上で、文学、流行歌、広告、映画、ドラマなどに登場する多様な都市像を具体的に検討しながら、都市とメディアとの関係性を読み解いていこうとする。

講義の内容・授業スケジュール

メディア都市の誕生、メディアが変える都市の風景、メディアのなかの都市像、都市空間のなかのメディア、都市というメディアなどの諸テーマに沿って、ビデオ鑑賞や視聴覚教材を交えながら講義する。

履修上の留意点

講義中に取り上げたトピックについて、討論を行うことがあるので、積極的な参加を期待する。

成績評価の方法

出席状況、授業への参加度、毎回講義の最後に提出してもらうコメントの内容、レポートによって総合的に評価する。

教科書

特に指定しない

参考書等

- ・吉見俊哉『都市のドラマツルギー——東京・盛り場の社会史』(弘文堂、1987年)、2,300円、ISBN: 4335550294
- ・前田愛『都市空間のなかの文学』(ちくま学芸文庫、筑摩書房、1992年)、1,600円、ISBN: 4480080147
- ・町村敬志・西澤晃彦『都市の社会学』(有斐閣、2000年)、2,300円、ISBN: 4641121036

その他

講義形式

他  
履修  
学  
科  
目  
部

科目名	グローバルアート政策論	開講	半期	単位	2
配当	他 (GM) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商政営A34選 他 (GM) 経B営B34選				
担当者名	川崎 賢一				

講義のねらい

現代文化システムの特色・機能・可能性、について、文化政策 (cultural policies) 特に芸術文化政策をキーワードとして論じる。文化的グローバリゼーションにより、国家単位の文化システムが、越境的・グローバルな展開を遂げつつある、その中核的な機能を果たしている。その成立過程、展開・普及家庭、そして将来の可能性を展望する。

講義の内容・授業スケジュール

文化政策のオリジナルを、西欧諸国等にイギリスとアメリカに求め、その歴史と展開を概観する。その後1980年代以降のグローバルな展開を、アジア諸国への普及を例とし、比較の観点から概説する。

履修上の留意点

授業以外に、文化政策について調べてもらう予定である。

成績評価の方法

学期末のテスト、あるいは、学期末のレポート、プラス、平常点・出席点等を加算する。

教科書

授業の中で指示する。

参考書等

川崎賢一、「トランスフォーマティブ・カルチャー」、勁草書房、2006年  
佐々木・川崎・河島 (共編)、「グローバル化する文化政策」、勁草書房、2007年

他  
修  
学  
部  
履  
修  
科  
目

科目名	情報保護と社会	開講	半期	単位	2
配当	他 (GM) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商政営A34選 他 (GM) 経B営B34選				
担当者名	苗村 憲司				

講義のねらい

社会活動の全般的な情報化が進展するのにしたがって、情報の価値が増大している。小説、映画、音楽、コンピュータプログラム、データベース、マルチメディア情報等のように経済的価値がありしかも公開された情報については、著作権法等の知的財産権法による保護に適している。企業秘密やプライバシー情報のように経済的価値がありしかも非公開の情報についてはセキュリティ上の対策が必要になる。また、危険な情報から子供を守るための対策も必要となる。この科目では、日本の知的財産戦略および情報セキュリティ政策との関連を含め、情報保護のニーズとこれに対応する種々の社会的方策について考察する。

講義の内容・授業スケジュール

【第1週】情報化社会における情報の価値とその保護の必要性  
【第2週～第6週】知的財産権の保護に関する政策と技術  
【第7週～第11週】情報セキュリティに関する政策と技術  
【第12週～最終週】グローバル環境における情報保護の課題

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

次の2項目を総合して評価する。  
1. 授業時間に行うミニテストの成績  
2. 期末試験の成績

教科書

特に定めない。

参考書等

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~naemura/ps/>上に掲載する。

## IV 「日本語」・「日本事情」科目

「日本語」  
「日本事情」

## IV. 「日本語」・「日本事情」科目

(対象：外国人留学生・帰国生)

### 《日本語科目》

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
日本語入門I a	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	大石 真理子	579
日本語入門I b	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	大石 真理子	579
日本語入門II a	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	大石 真理子	580
日本語入門II b	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	大石 真理子	580
日本語I a	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	佐野 典子	581
日本語I b	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	佐野 典子	581
日本語I a	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	多田羅 哲子	581
日本語I b	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	多田羅 哲子	582
日本語II a	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	佐野 典子	582
日本語II b	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	佐野 典子	582
日本語II a	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	多田羅 哲子	583
日本語II b	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	多田羅 哲子	583
日本語III a	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	多田羅 哲子	584
日本語III b	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	多田羅 哲子	584
日本語III a	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	湯村 礼子	585
日本語III b	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	湯村 礼子	585
日本語IV a	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	石川 守	586
日本語IV b	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	石川 守	586
日本語IV a	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	湯村 礼子	587
日本語IV b	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	湯村 礼子	587

日本語V a	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	石川 守	588
日本語V b	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	石川 守	588
日本語V a	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	多田羅 哲子	589
日本語V b	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	多田羅 哲子	589
日本語VI a	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	石川 守	590
日本語VI b	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	石川 守	590
日本語VI a	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	多田羅 哲子	591
日本語VI b	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	多田羅 哲子	591

## 《日本事情科目》

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
日本事情I〔地理〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	2	高橋 健太郎	592
日本事情II〔自然〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	2	清水 善和	593
日本事情III〔歴史〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	2	井上 桂子	594
日本事情IV〔思想〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	2	菅原 光	595
日本事情V〔社会〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	2	山田 信行	596
日本事情VI〔政治・法律〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	2	三竹 直哉	597
日本事情VII〔文学〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	2	坂口 博規	598
日本事情VIII〔文化・芸術〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	2	佐藤 美奈子	599
日本事情IX〔経済〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	2	小杉 修二	600
日本事情X〔経営〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	2	鈴木 幸毅	601

科目名	日本語入門I a	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	おおいし まりこ 大石 真理子				

講義のねらい ▶ 日本語で短いプレゼンテーションができるようになること。

講義の内容・授業スケジュール ▶ グループを作ってテーマを決め、プレゼンテーションを行う。

履修上の留意点 ▶ 日本語初級学習者のためのクラス

成績評価の方法 ▶ 出席・・・10%  
筆記テスト・・・30%  
プレゼンテーション・・・60%  
(詳細な評価方法は初回の授業で説明します。)

教科書 ▶ 毎回、プリントを用意します。

科目名	日本語入門I b	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	おおいし まりこ 大石 真理子				

講義のねらい ▶ 日本語で、さまざまな社会問題についてのプレゼンテーションができるようになること。

講義の内容・授業スケジュール ▶ グループを作ってテーマを決め、プレゼンテーションを行う。

履修上の留意点 ▶ 日本語初級学習者のためのクラス。

成績評価の方法 ▶ 出席・・・10%  
筆記テスト・・・30%  
プレゼンテーション・・・60%  
(詳細な評価方法は初回の授業で説明します。)

教科書 ▶ 毎回、プリントを用意します。

科目名	日本語入門II a	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	おおいし まりこ 大石 真理子				

講義のねらい 日本語で短いプレゼンテーションができるようになること。

講義の内容・授業スケジュール グループを作ってテーマを決め、プレゼンテーションを行う。

履修上の留意点 日本語中級学習者のためのクラス

成績評価の方法 出席・・・10%  
筆記テスト・・・30%  
プレゼンテーション・・・60%  
(詳細な評価方法は初回の授業で説明します。)

教科書 毎回、プリントを用意します。

「日本語」  
「日本事情」

科目名	日本語入門II b	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	おおいし まりこ 大石 真理子				

講義のねらい 日本語で、さまざまな社会問題についてプレゼンテーションができるようになること。

講義の内容・授業スケジュール グループを作ってテーマを決め、プレゼンテーションを行う。

履修上の留意点 日本語初級学習者のためのクラス

成績評価の方法 出席・・・10%  
筆記テスト・・・30%  
プレゼンテーション・・・60%  
(詳細な評価方法は初回の授業で説明します。)

教科書 毎回、プリントを用意します。



科目名	日本語I a	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	<small>さの のりこ</small> 佐野 典子				

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業は、日本の劇場用映画を主教材とし、日本語を勉強すると同時に、日本人のものの考え方や行動パターン、日本文化の特質を探る。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	日本語I b	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	<small>さの のりこ</small> 佐野 典子				

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業は、日本の劇場用映画を主教材とし、日本語を勉強すると同時に、日本人のものの考え方や行動パターン、日本文化の特質を探る。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	日本語I a	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	<small>たたら あきこ</small> 多田羅 哲子				

講義のねらい

語彙・表現を豊かにし、日本語の理解力、表現力を高める。

講義の内容・  
授業スケジュール

衣・食・住・学生生活など日常の場面ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・擬音語・擬態語・機能語・慣用表現などを紹介し、実際にどう使われているかを知り、より豊かな表現ができるようにする。

成績評価の方法

出席率・平常点（小テスト・提出物・授業への参加度）、期末テストの成績から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。  
辞書を持ってくること。

科目名	日本語I b	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 経商現法A 政営AGM				
担当者名	多田 <sup>なたら あきこ</sup> 羅 哲子				

講義のねらい

語彙・表現を豊かにし、日本語の理解力・表現力を高める。

講義の内容・  
授業スケジュール

政治・経済・文化・社会問題などの分野ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・省略語・慣用表現など日本語の知識を高め・より深く理解できるようにする。

成績評価の方法

出席率・平常点（小テスト・提出物・授業への参加度）、期末試験から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。  
辞書を持ってくること。

科目名	日本語II a	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 経商現法A 政営AGM				
担当者名	佐野 <sup>さの のりこ</sup> 典子				

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	日本語II b	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 経商現法A 政営AGM				
担当者名	佐野 <sup>さの のりこ</sup> 典子				

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	日本語II a	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	多田羅 <small>たたら あさこ</small> 哲子				

講義のねらい

話すことを中心に日本語の運用能力を高める。  
言うべきことが、正しく適切な表現を用いて効果的に相手に伝わることを目指す。  
発音・アクセント・イントネーション等、自分で見直し矯正する習慣をつける。

講義の内容・  
授業スケジュール

紹介・インタビュー・情報提供のスピーチをして、質疑応答・意見交換を行う。ほかの人のスピーチの内容・感想・意見などを限られた時間内に文章にまとめる。  
テープで自分が話した日本語を聞く。

履修上の留意点

授業活動が大切なので出席し、授業に積極的に参加すること。

成績評価の方法

平常点（出席、授業への参加度、提出物など）を重視する。期末テストも行う。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

「日本語  
日本事情」

科目名	日本語II b	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	多田羅 <small>たたら あさこ</small> 哲子				

講義のねらい

話すことを中心に日本語の運用能力を高める。  
言いたいことが、正しく適切な表現を用いて効果的に相手に伝わることを目指す。  
発音・アクセント・イントネーション等を自分で見直し矯正する習慣をつける。  
話し言葉と書き言葉の違いを知る。

講義の内容・  
授業スケジュール

意見表明や提案のスピーチ・ディベートを行う。スピーチのあと質疑応答・討論を行い、自分の意見とその根拠を文章にまとめることによって論理的に話したり書いたりする練習をする。  
テープで、自分が話した日本語を聞く。

履修上の留意点

授業活動が大切なので出席し積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

平常点（出席、授業への参加度、提出物など）を重視する。期末テストも行う。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

科目名	日本語III a	開講	半期	単位	1
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	多田羅 哲子 <small>たたら あさこ</small>				

講義のねらい

聞き取ることを中心に日本語の総合能力を強化する。  
聞き取った内容を把握すると共に、相手や立場、場面を考えてそれにふさわしい言葉で話せるようになることを目指す。

講義の内容・  
授業スケジュール

ビデオでドラマ・映画・ドキュメンタリーなどを聞き取り、自然な話しかたに慣れる。敬語の使い方、くだけた言い方、改まった言い方、この場合どういえば自然かなど、場面や相手や立場などによって適切に使い分けられるよう練習をする。

成績評価の方法

平常点（出席、授業への参加度、提出物など）を重視する。期末テストも行う。

教科書

ビデオを準備し必要に応じてプリントを配布する。  
辞書を持ってくること。

日本語  
日本事情

科目名	日本語III b	開講	半期	単位	1
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	多田羅 哲子 <small>たたら あさこ</small>				

講義のねらい

聞き取ることを中心に日本語の総合的能力を強化する。  
ビデオの内容を把握すると共に、文章力を強化する。

講義の内容・  
授業スケジュール

ドキュメンタリー、ニュース関連番組などのビデオを用い、今話題になっている問題の内容を聞き取る。  
聞き取った内容、自分の感想、意見とその根拠などについて話し合い、文章にまとめる練習をする。

成績評価の方法

平常点（出席、授業への参加度、提出物など）を重視する。

教科書

ビデオを準備し必要に応じてプリントを配布する。  
辞書を持ってくること。

科目名	日本語III a	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 経商現法A 政営AGM				
担当者名	湯村 礼子 <small>ゆむら れいこ</small>				

講義のねらい

これまでに修得してきた日本語能力をさらに高め、文献を自分で調べながら読み、理解できるようになること。さらに、文献を通して考え、自分の意見を持ち、発表、説明ができるようになることをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

新聞・雑誌・専門書などから教材を選び、辞書や事典、他の資料を使って詳しく調べながら読み、理解を深める。その後、意見を出し合い討論をして、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出する。

履修上の留意点

授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。国語辞典を持参すること。調べてくる宿題が出る。

成績評価の方法

期末試験、小レポート、授業での発表、授業活動、授業態度などを総合的に評価する。

教科書

最初の授業時に指定する。

科目名	日本語III b	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 経商現法A 政営AGM				
担当者名	湯村 礼子 <small>ゆむら れいこ</small>				

講義のねらい

これまでに修得してきた日本語能力をさらに高め、文献を自分で調べながら読み、理解できるようになること。さらに、文献を通して考え、自分の意見を持ち、発表、説明ができるようになることをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

新聞・雑誌・専門書などから教材を選び、辞書や事典、他の資料を使って詳しく調べながら読み、理解を深める。その後、意見を出し合い討論をして、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出する。

履修上の留意点

授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。国語辞典を持参すること。調べてくる宿題が出る。

成績評価の方法

期末試験、小レポート、授業での発表、授業活動、授業態度などを総合的に評価する。

教科書

最初の授業時に指定する。

科目名	日本語IV a	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	いしかわ まさる 石川 守				

講義のねらい

日本語の基本を振り返り、よりしっかりした日本語の基礎を身につけるため日本語V・VIの続きの部分をやっていきます。内容は日本語の基礎文法の最終部分を概念シラパス、機能シラパスの観点から認知学習法でやっていきます。

講義の内容・授業スケジュール

日本語の基礎を日本語V→VIに引き続いて深くじっくりやっていきます。

履修上の留意点

日本語IVは、日本語Vと日本語VIの三つの科目で日本語の基礎文法の全体が復習ができるように構成されています。もう一度しっかりとした日本語の基礎を復習したい人にお勧めします。授業順序は日本語V→日本語VI→日本語IVの順でやっていますので、できれば、日本語Vを取り、次に日本語VIそして最後に日本語IVをとってください。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとっても、悪い成績が付く可能性があります。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

授業態度を重視しています。

科目名	日本語IV b	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	いしかわ まさる 石川 守				

講義のねらい

しっかりとした日本語の基礎を作り上げるために日本語IVaに引き続き日本語の基礎文法の最終部分をじっくりやっていきます。

講義の内容・授業スケジュール

日本語IVaの続きの部分を行っていきます。日本語の基礎の最終部分から中上級の始めの部分を行っていきます。

履修上の留意点

日本語IVaの続きの内容を行います。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとっても、悪い成績が付く可能性があります。

教科書

特になし。授業中に自作のプリントを配ります。

参考書等

辞書を持参してください。

その他

授業態度重視しています。

科目名	日本語Ⅳa	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	湯村 礼子 <small>ゆむら れいこ</small>				

**講義のねらい** 読解と文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。

**講義の内容・授業スケジュール** レポートの書き方を学習する。事実・情報を正確に伝える文章を書くために、文、段落、構成などの基本から始める。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。

**履修上の留意点** 授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。

**成績評価の方法** 課題作文（3回）  
提出物  
授業活動（授業での発言、授業態度など）

**教科書** 教科書は授業時に指定する。

科目名	日本語Ⅳb	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	湯村 礼子 <small>ゆむら れいこ</small>				

**講義のねらい** 読解と文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。

**講義の内容・授業スケジュール** 説明文、意見文を学習する。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。

**履修上の留意点** 授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。

**成績評価の方法** 作文（3回）  
提出物  
授業活動（授業での発言、授業態度など）

**教科書** 教科書は授業時に指定する。

科目名	日本語Va	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	いしかわ まもる 石川 守				

講義のねらい

しっかりとした日本語の基礎を築くために概念シラバス、機能シラバスの観点から認知学習法でやっていきます。日本語の基本となる部分、呼称や指示詞などからじっくりやっていきます。

講義の内容・授業スケジュール

日本語Vは、日本語VIと日本語IVの三つの科目で日本語の基礎文法の全体が復習ができるように構成されています。もう一度しっかりとした日本語の基礎を復習したい人にお勧めします。

履修上の留意点

この日本語V→日本語VI→日本語IVの順に進み、全体として日本語の基礎が復習できるように構成されています。この授業をとられる方はこの三つをセットで取ることをおすすめします。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとっても、悪い成績が付く可能性があります。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

受講態度を重視しています。

日本語  
事情

科目名	日本語Vb	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	いしかわ まもる 石川 守				

講義のねらい

日本語 Va に続けて、日本語のしっかりした基礎をつくることを目標にしています。

講義の内容・授業スケジュール

日本語 Va の続きをやっていきます。

履修上の留意点

日本語 Va と同じです。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとっても、悪い成績が付く可能性があります。

教科書

特になし。授業中にプリントなどを配ります。

参考書等

辞書を持ってきて下さい。

その他

受講態度を重視しています。



科目名	日本語V a	開講	半期	単位	1
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経 A 経商現法 A 政営AGM				
担当者名	多田羅 哲子 <small>たたら あきこ</small>				

**講義のねらい** 読むことを通して日本語の読解力、表現力を高める。特に今、話題になっているニュース等について読んだり説明したり意見を述べたりする力をつける。  
レポートを書くための基礎を学ぶ。

**講義の内容・授業スケジュール** 各種の新聞記事など時事問題を中心に自分で調べながら読み、内容について説明したり、意見発表を行う。  
それらを文章にまとめる。

**成績評価の方法** 平常点（小テスト・提出物・授業の参加度）を重視する。期末テストも行う。

**教科書** プリント配布する。  
辞書を持ってくること。

科目名	日本語V b	開講	半期	単位	1
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経 A 経商現法 A 政営AGM				
担当者名	多田羅 哲子 <small>たたら あきこ</small>				

**講義のねらい** 読むことを通して日本語の読解力、表現力も高め、時事的問題について読んだり読したり文章で意見を述べたりする力を養う。

**講義の内容・授業スケジュール** 各自関心のある内容の記事等を読み、内容を発表する。その内容に関して話し合ったり、文章を書いたりする。

**成績評価の方法** 平常点（小テスト・発表・提出物・授業への参加度）を重視する。期末テストも行う。辞書を持ってくること。

科目名	日本語VI a	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 経商現法 A 政営AGM				
担当者名	いしかわ まるる 石川 守				

講義のねらい

日本語の基礎文法を日本語Vに引き続き行い、正確な日本語文法の基礎を作るために概念シラバス、機能シラバスの観点から認知学習法でやっていきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本語V a、bで行った日本語の後の部分をやっていきます。講義内容は日本語V→日本語VI→日本語IVの順番で構成されています。したがって本授業は日本語の基礎の中間部に当たります。

履修上の留意点

日本語VIは、日本語Vと日本語VIの三つの科目で日本語の基礎文法の復習ができるように構成されています。もう一度しっかりとした日本語の基礎を復習したい人は日本語IV、V、VIの三つをとることをお勧めします。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとっても、悪い成績が付く可能性があります。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

授業態度を重視しています。

日本語  
事情

科目名	日本語VI b	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 経商現法 A 政営AGM				
担当者名	いしかわ まるる 石川 守				

講義のねらい

日本語の VIa の続きを行い、しっかりした日本語文法の基礎を作ります。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本語 VIa の残りの部分を行っていきます。内容は日本語の基礎文法の中間部分後半になります。

履修上の留意点

この授業は、日本語 VIa の次の部分をやっていきます。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとっても、悪い成績が付く可能性があります。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

受講態度を重視しています。

科目名	日本語VI a	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 経商現法A 政営AGM				
担当者名	たたら あきこ 多田羅 哲子				

講義のねらい

文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。

講義の内容・  
授業スケジュール

雑誌を中心にさまざまな文章を読み、その内容を把握し、感想や意見を述べる。  
現在よく使われているカタカナ語、語句の意味や使い方、漢字の読み、文法事項等についても各自調べ、確認しながら細部まで理解して読む。

成績評価の方法

平常点（提出物・小テスト・授業への参加度）、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。  
辞書を持ってくること。

科目名	日本語VI b	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 経商現法A 政営AGM				
担当者名	たたら あきこ 多田羅 哲子				

講義のねらい

文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。

講義の内容・  
授業スケジュール

雑誌を中心にさまざまな文章を読み、その内容を把握し感想や意見を述べる。  
現在よく使われているカタカナ語、語句の意味や使い方、漢字の読み、文法事項等についても復習し、確認しながら理解していく。

成績評価の方法

平常点（提出物・小テスト・授業への参加度）、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。  
辞書を持ってくること。

科目名	日本事情I〔地理〕	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	高橋 健太郎				

#### 講義のねらい

人々の生活や地域社会の特徴と変化などを、空間的側面と関連づけて考えるという人文地理学の視点から、日本の諸地域に対する理解を深める。

#### 講義の内容・授業スケジュール

この授業では、最初に、日本の地理的特徴や、日本人の文化や生活の地域性について説明する。

その後、受講生2-3人で1つの班を作り、班ごとに、日本の各都道府県の地理的特徴について調べ、授業で発表してもらう。

また、駒澤大学の周辺地域、つまり東京近郊地域の特徴や変容を理解するために、大学の外に出て、見学も行う。

#### 履修上の留意点

第1回目に授業の案内を行うので必ず出席のこと。また、学外見学の際の交通費や施設入場料は各自の負担となる。

#### 成績評価の方法

頻繁に教場で作成してもらう小レポート、班ごとの発表の内容、学外見学のレポート、および学期末レポートで評価する。

#### 教科書

使用しない。授業中にプリントを配布する。

科目名	日本事情II〔自然〕	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	清水 <sup>しみず</sup> 善和 <sup>よしかず</sup>				

### 講義のねらい

日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り亜熱帯の沖縄まで、約3,000kmの細長い国土を有している。四季の季節変化が明瞭で梅雨や台風、日本海の多雪のような独特な気象現象もみられる。また、37万平方キロメートルの狭い国土の中に、山脈、丘陵、河川、湖沼、平野、海岸が箱庭のように組み合わせり、多種多様な地形が形成されている。さらに、日本は複数のプレートの境界域にあたるため、世界でも有数の火山・地震地帯となっており、これらによる自然災害も多い。このような多様な自然環境を反映して、日本には独特の生物相が発達している。

本講義では日本の自然を位置、気候、地質・地形、生物の4章に分けて解説する。その際に次の3つの視点に留意する：(1)アジア全体の自然の中に日本を位置付ける、(2)現在の状態と過去の歴史とのつながりを重視する、(3)自然と日本人の生活、文化との関わりにも注目する。すなわち、できるだけ時間的、空間的に広い視野から日本の自然をとらえることにより、留学生の母国の自然とのつながりも確認できるようにしたい。なお、日本の自然破壊の歴史や環境保全のあり方等についても適宜言及する。

### 講義の内容・授業スケジュール

#### 第I章 位置

1. 国土の範囲
2. 行政区分
3. 位置の特徴

#### 第II章 気候

1. 気候帯
2. 日本近海の海流
3. 気候の特徴
4. 気団と季節
5. 気象観測
6. 気候と文化

#### 第III章 地質・地形

1. 弧状列島
2. 変動の歴史
3. 多様な地形
4. 火山
5. 地震

#### 第IV章 生物

1. 気候帯と植生帯
2. 生物多様性
3. 生物地理区
4. 里山の生物
5. 帰化生物

#### 第V章 自然保全の諸制度

1. レッドデータブック
2. 国内の法律
3. 国際条約

### 成績評価の方法

レポート(2回)と出席回数に基づいて評価する。

### 教科書

講義の内容を日本語の文章で著わした「web版教科書」(清水執筆)を紹介する。また、それを英語に翻訳した「web版教科書(English version)」も用意する。これらは清水のHPから自由にダウンロードできる。

### 参考書等

「web版教科書」で分野ごとの参考書を紹介する。

### その他

講義に必要な図表をまとめた補助教材のプリントを適宜配布する。講義は日本語で行い、板書には漢字も使用する(漢字にはできるだけ読みがなをつける)。なお、英語圏の留学生のために講義内容を英語で著わした「web版教科書(English version)」を用意する。

科目名	日本事情Ⅲ〔歴史〕	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	井上 桂子				

#### 講義のねらい

本講義では、19世紀以降の日本と中国大陸の文化、人事交流を中心に、大きな歴史の流れの中で両国の人びとがどのような交流し、相互理解に努力したかを学ぶことを目的とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. 19世紀－鎖国政策の中での日本の他国関係
2. 中国商人の「唐風説書」の役割
3. 江戸幕府貿易船で上海に行った明治維新のキーマン
4. 日米和親条約と中国
5. 明治維新と中国の反応
6. 駐華公使森有礼と清朝の李鴻章の会談から見えてくるもの
7. 清末の改革維新と日本との関係
8. 孫中山と日本
9. 民間交流と日中関係
10. 戦争中中国大陸で反戦活動
11. 日中国交正常化への道のり

#### 履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行い、全般的な講義内容を説明します。特別な予習、復習は必要ありません。

#### 成績評価の方法

出席回数と課題レポートで評価します。

#### 教科書

必要に応じてプリントを配布します。

#### 参考書等

授業のなかで適宜紹介します。

#### その他

希望があれば、その日の要点を中国語でも話します。また、中国語で発言してもかまいません。

科目名	日本事情Ⅳ〔思想〕	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	すがわら ひかる 菅原 光				

#### 講義のねらい

近代日本の代表的な思想家を取り上げ、その生い立ちを含めた人物像、並びにその思想内容を紹介し、考察するという形で近代日本思想史を学んでいくことが本講義の目的である。講義では、まずは取り上げる思想家達が活躍していた時期の時代的特徴を押さえるところから出発した後、森有礼、福澤諭吉、西周ら、代表的な思想家について学んでいく。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義はおおよそ、以下の項目に沿って行う。

1. ガイダンス
2. 文明開化とは何か？
3. 森有礼の思想
4. 西周の思想
5. 福澤諭吉の思想
6. 田中正造の思想
7. 武士道
8. 教育思想

#### 履修上の留意点

授業の最後に、簡単なレポートを実施することがある。

#### 成績評価の方法

出席回数と、授業態度、授業の最後に実施する小レポートの評価とを合わせ、総合的に評価する。授業回数のうち8割の出席、小レポートにおいて用紙の8割を埋めることが単位取得の最低条件である。20分以上遅刻した学生、授業態度の悪い学生は、出席としてカウントしないので、注意してほしい。

#### 教科書

特に指定しない。

#### 参考書等

授業時に適宜紹介する。

科目名	日本事情V〔社会〕	開講	半期	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	やまだ のぶひさ 山田 信行				

#### 講義のねらい

この講義では、主として第2次世界大戦後に日本社会が経験した社会変動をふまえて、日本社会の現在と将来を展望する。適宜ビデオ教材などを使用し、日本社会の様々な問題を理解しやすいようにしたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

主な内容は、以下の通り。カッコ内の回数は、当該の項目が授業に当てられるおおよその回数。

1. 戦後日本の社会変動（4回）
2. 現代日本の基本的趨勢（4回）
  - （1）情報化
  - （2）少子・高齢化
  - （3）グローバル化
3. 現代日本の社会問題（4回）
  - （1）若年者問題－フリーター、ニート
  - （2）学力低下問題
  - （3）格差問題

#### 履修上の留意点

ほぼ毎回講義の内容に関するメモを配布するので、それをもとにノートを取るようしてほしい。継続的な出席は、講義の理解を促進する。

#### 成績評価の方法

学期末レポートと平常点による。

#### 教科書

なし。

#### 参考書等

適宜指示する。

#### その他

希望があれば、その日の要点を英語でも話します。また、英語で発言してもかまいません。



科目名	日本事情VI〔政治・法律〕	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	三竹 直哉 <small>みだけ なおや</small>				

講義のねらい

日本の政治について知り、みんなで意見交換します。

講義の内容・  
授業スケジュール

下記のようなトピックを考えていますが、参加者のみなさんの意見を聞いて決めます。

- ◎議会制民主主義
- ◎三権分立と二院制
- ◎天皇
- ◎選挙制度
- ◎政党と派閥
- ◎ナショナリズム
- ◎安全保障
- ◎マイノリティ

履修上の留意点

出席と授業参加を重視します。

成績評価の方法

平常点によります。ただし、出席が少ない人、発言が少ない人などには、期末テストを行う可能性があります。詳細は最初の授業で説明します。

教科書

指定する予定はありません。

その他

I speak English, but students are encouraged to communicate in Japanese.

科目名	日本事情Ⅶ〔文学〕	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	さかくち ひろき 坂口 博規				

#### 講義のねらい

本講義は、日本語を母国語としない外国人留学生等を中心に、日本の文学作品を歴史的な流れに立って紹介し、日本の美意識を含めて文化の諸相に対する理解を深めることを目標とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

日本の古代の文学から近代の文学まで、作品が成立した時代や社会の背景を紹介しつつ、それぞれの時代の美意識の特徴を概説するとともに、作品内容の一部を読みながら、理解を深めることを目標とする。各時限の内容は以下の通り。

- 1、ガイダンス、日本文学のジャンル発生
- 2、古代前期の歌謡
- 3、日本神話・伝説・説話
- 4、古代前期の詩歌
- 5、古代後期の文学とその美意識(1)
- 6、古代後期の文学とその美意識(2)
- 7、中世の文学とその美意識(1)
- 8、中世の文学とその美意識(2)
- 9、近世の文学とその美意識(1)
- 10、近世の文学とその美意識(2)
- 11、近代の文学とその美意識(1)
- 12、近代の文学とその美意識(2)
- 13、日本文学の特徴

#### 履修上の留意点

第1回にガイダンスを行い、半期の講義内容を概括するとともに、日本文学に対する受講生の興味・関心を喚起したい。半期の限られた時間の中で日本文学を要約する上で、中心となるのは時代背景の理解と美意識の把握であることを確認したい。なお古典文学の文章は現代語表現と違うので、出来るかぎり現代語に置き換えるか、現代語を添えて紹介する。

#### 成績評価の方法

レポートにより、授業において特に興味・関心を持った内容について受講生自身の所感をまとめてもらう。レポート評価(90%)を中心に、受講姿勢(出席状況・関心の度合等々、10%)を加えて評価する。

#### 教科書

必要に応じて適宜プリントを配布する。

#### 参考書等

授業内で紹介する。

科目名	日本事情VIII〔文化・芸術〕	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	佐藤 <sup>さとう</sup> 美奈子 <sup>みなこ</sup>				

#### 講義のねらい

「日本文化」とは何か。日本に生まれ育った人でも、この問いにきちんと答えられる人はあまりいません。それは「日本文化」と呼ばれるものが時代によって変化したり、作り変えられたりするものだからではないでしょうか。よって、本授業では「日本文化」を明らかにすることを目的にはしません。むしろ、近代日本において「日本文化」がどのように捉えられてきたのか、という問いに重点を置くことにします。それによって、「日本文化」を通して「日本人」がどのようにアイデンティティを形成してきたのかを、明らかにしていきたいと思えます。

#### 講義の内容・授業スケジュール

授業では、明治中期に影響を持った政教社の国粋主義思想を一つの軸として取り上げます。政府の欧米化主義を批判する中で展開された国粋主義思想は、「日本文化」をどのように捉えたのでしょうか。なぜ、そのような思想的潮流が明治半ばに現れたのでしょうか。こういった国粋主義思想の物の見方は、現代日本にどのような影響を与えているのでしょうか。授業ではまず、こういった問いを考えるために必要な基本的知識（幕末から明治にかけての歴史的・社会的背景）を学びます。その上で、国粋主義思想が何を訴えようとしたのか、それはどのような社会的要請と呼応するものであったのか、その後どのような影響を残したのかを考えていくこととします。

#### 履修上の留意点

授業開始後の入室（遅刻）は、授業の妨げとなるためいっさい認めません。また私語等のマナー違反にも厳しく対処することとします。

#### 成績評価の方法

期末試験、及び授業時に実施される小テストの総合点で成績を決定します。なお、小テストは毎回授業開始時に、前回の授業内容に基づいて行います。欠席の場合は原則として点数は与えられません。

#### 教科書

特に指定しません。

#### 参考書等

授業時に適宜、紹介します。

#### その他

講義形式。授業は基本的に日本語で行いますが、授業後の個別質問には英語でも対応します。

科目名	日本事情IX〔経済〕	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 経商現法A 政営AGM				
担当者名	小杉 <sup>こすぎ</sup> 修二 <sup>しゅうじ</sup>				

#### 講義のねらい

日本で学ぶ外国からの留学生の皆さんとともに、主として日本がたどってきた 経済成長というものを理解し、同時に日本語・日本の文化についても理解してもらいたいと思います。

#### 講義の内容・授業スケジュール

経済成長という、経済現象を生物のように扱うこうした用語は何時生まれたのか？はっきりしたことはわかりませんが産業革命以後であることは間違いないでしょう。つまり、産業革命以前は超安定社会、あるいは超停滞社会だったのです。経済の拡大は時にはありますが、ごくたまにおきる事柄でした。継続的に1-2%の経済の拡大が起こるようになったのが産業革命です。これでもそれ以前に比べれば、革命的变化だったのです。

経済成長を測る用語に「経済成長率」というのがあります。例の年・%というやつです。これはお金を借りた時と同じ「複利計算」になります。年利20%でお金を100万円借りれば、4年でいくらになるでしょう。複利計算では（銀行から借りた時と同じです）、207.36万円になります。180万円と答えた人はお金をうっかり借りないほうがいいでしょう。

20%の成長が何年も続くことは考えなくてもいいでしょうが、7%成長が10年続くと元の数の2倍に増える、というのを知っていれば、いかに複利計算がすごいかがわかるでしょう。そういう経済成長が今世界のあちこちでおきています。日本の高度経済成長期は年率約10%の成長が19年も続きました。それは19年で終わりましたが、もしそれが100年続いていたら、日本経済の規模は最初の1万3800倍というとてもない数値になっていたでしょう。

この授業では、経済成長率とは何か、第2次世界大戦後の日本の経済成長は以下に始まったか、経済成長とはどういうことなのか、それはどんな時に起こるのか、その結果はどのようなのか、成熟経済と経済成長、新たな成長の種、経済成長と心、経済成長と地域環境問題、経済成長と地球規模環境問題等について考えます。

#### 履修上の留意点

出席不良は単位があげられません。

#### 成績評価の方法

出席点と試験による。

#### 教科書

特にありません。

#### 参考書等

特にありません。

#### その他

ビデオを利用した映像とプリントで行う予定。

科目名	日本事情X〔経営〕	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	鈴木 幸毅				

講義のねらい	日本企業の現状と課題について講義し、併せて環境対応の実際について話します。
履修上の留意点	教科書は使用しませんが、必要に応じて参考書は指定します。 講義に際しては、プリントを多く使います。
成績評価の方法	出席を重視します。プリントを音読してもらいます。1回か2回、簡単な課題レポートを提出してもらいます。以上の総合で評価します。
その他	質問（授業中の）を歓迎します。

# 経営学科フレックスB

# I 全 学 共 通 科 目

# 1. 宗 教 教 育 科 目



# 1. 宗教教育科目

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
仏教と人間	営B1必	通年	4	四津谷 孝道	611
仏教と人間〔再クラス〕	経B法B 営B234年	通年	4	四津谷 孝道	
仏教と人間	営B1必	通年	4	岩永 正晴	612
仏教と人間〔再クラス〕	経B法B 営B234年	通年	4	岩永 正晴	
仏教と人間〔再クラス〕	経B法B 営B234年	通年	4	池田 道浩	612
仏教と人間〔再クラス〕	経B法B 営B234年	通年	4	熊本 英人	613
仏教と人間〔再クラス〕	経B法B 営B234年	通年	4	松本 史朗	613
仏教と人間〔再クラス〕	経B法B 営B234年	通年	4	村松 哲文	614

科目名	仏教と人間 仏教と人間〔再クラス〕	開講	通年	単位	4
配当	営B1必 経B法B 営B234年				
担当者名	四津谷 孝道				

#### 講義のねらい

受講生諸君は、今後少なくとも4年間の大学生活において、様々な機会に仏教というものに接することとなるであろう。そのような機会のひとつであるこの授業において、「仏教と自分との接点を探る」という営みの端緒を見い出してもらいたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

この授業においては、下記のテーマについて、順を追って、できるだけわかりやすく解説を加えていきたい。

宗教としての仏教  
 仏教と科学  
 仏教と他の宗教  
 喩えて語る仏教(1)  
 喩えて語る仏教(2)  
 縁起・苦・無我  
 慈悲  
 輪廻と解脱(業について)  
 輪廻と解脱(差別思想について)  
 仏教以前のインドの宗教(歴史)  
 仏教以前のインドの宗教(思想)  
 仏陀の伝記(誕生から出家まで)  
 仏陀の伝記(悟りと伝道)  
 仏陀の伝記(涅槃)  
 部派仏教の歴史と思想  
 インド仏教(大乘仏教の歴史)  
 インド仏教(大乘仏教の思想)  
 チベット仏教(転生ラマについて)  
 チベット仏教(密教)  
 中国仏教(浄土思想)  
 中国仏教(禪仏教)  
 日本仏教(歴史)  
 日本仏教(思想)(1)  
 日本仏教(思想)(2)

#### 履修上の留意点

特になし。

#### 成績評価の方法

学年末の試験。

#### 教科書

必要な資料等は、授業において随時配付する。

#### 参考書等

授業において随時指示する。

科目名	仏教と人間 仏教と人間〔再クラス〕	開講	通年	単位	4
担当	営B1必 経B法B営B234年				
担当者名	いわなが しょうせい 若永 正晴				

#### 講義のねらい

曹洞宗によって創立された駒澤大学で学ぶ学生諸君に仏教および曹洞宗の教えに親しんで貰うことを、本講義の目的とします。しかし、永い歴史を有する仏教が生み出した儀礼や慣例、多くの用語や多量の文献など、諸君を仏教から遠ざける要因は少なくないでしょう。本講義では、その要因のひとつ、仏教で用いる用語の解説に主眼を置きながら、仏教の考え方を紹介していきたいと思ひます。宗教にまつわる問題が取り沙汰される昨今、ひとえに熱狂したり嫌ったりするのではなく、宗教および仏教について冷静に考察するための材料を提供したいと考えています。

#### 講義の内容・授業スケジュール

教科書を読み進め、解説を行います。また必要に応じてプリントを配布して補足します。

#### 履修上の留意点

成績評価に際しては、出席点やレポートなどの補助的な評価材料を用いないので、授業には積極的に参加して貰いたい。

#### 成績評価の方法

学年末の試験のみによって成績評価を行う。レポート、出席点等はない。

#### 教科書

鎌田茂雄『仏陀の観たもの』（講談社学術文庫）

#### 参考書等

中村元『ブッダ入門』（春秋社）、平川彰『仏教入門』（春秋社）、梶山雄一『空入門』（春秋社）、角田泰隆『道元入門』（大蔵出版）、鏡島元隆『正法眼蔵随聞記に学ぶ』（曹洞宗宗務庁）、末木文美士『日本仏教史—思想史としてのアプローチ』（新潮文庫）、松尾剛次『「お坊さん」の日本史』（日本放送出版協会・生活人新書041）等。その他は講義の中で適宜紹介する。

科目名	仏教と人間〔再クラス〕	開講	通年	単位	4
担当	経B法B営B234年				
担当者名	いけだ みちひろ 池田 道浩				

#### 講義のねらい

人間と動物の違いの一つに宗教的思考の有無がある。動物は本能的に死を恐れるが、「死後」を恐れることはなく、世界を超越した神を求めることもない。宗教は日常から離れた特別な場所にあるのではなく、人間の日々の生活に密接に関わっている。

本講義は仏教の歴史を概説するものであるが、それを通じて、宗教に関する視点を身に付けていただきたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

仏教の誕生とその歴史を説明していくが、随時、今日の社会や文化における宗教に関わる事例を取り上げ、問題点を説明する。

#### 履修上の留意点

特定の教科書を使用しないため、欠席が重なると授業の流れが理解できないことになる。また、欠席の多い者には評価を与えない。

#### 成績評価の方法

出席と定期試験によって評価を行う。

#### 教科書

特に使用しない。適宜プリントを配布する。

#### 参考書等

講義中に随時紹介する。

科目名	仏教と人間〔再クラス〕	開講	通年	単位	4
配当	経B法B営B234年				
担当者名	くまもと えいじん 熊本 英人				

講義のねらい

仏教の教えと歴史を知ることによって、自分にとって宗教とは何かを考える。

講義の内容・授業スケジュール

仏教に限らず、宗教は、社会の変容と相互関係をもって展開してきた。仏教の開祖ブッダの伝記や、日本における仏教の歴史や人物などを取り上げて、現代につながる話題として解説していく。

日本人は、なぜ宗教に無関心なのか。実は、意識していないだけで、日常生活の中で宗教的要素に囲まれて生きている。仏教を学ぶことによって、宗教に対する無関心、無自覚が何を意味しているのかを考えてもらいたい。

履修上の留意点

受講態度を重視する。坐禅などの実践体験も行う。

成績評価の方法

年度末の筆記試験の成績に、出席状況、受講態度、通常の小テストを加味して評価する。

教科書

適宜プリントで配布する。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科目名	仏教と人間〔再クラス〕	開講	通年	単位	4
配当	経B法B営B234年				
担当者名	まつもと しろう 松本 史朗				

講義のねらい

本学の建学の理念である「仏教の教義と曹洞宗立宗の精神」を学生諸君に理解してもらうことが、この講義のねらいである。従って、仏教とは何か、それは人生において如何なる意味をもつのかを、分かりやすく説明したい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、仏教成立以前のインド思想から始めて、仏教の開祖である釈尊の思想、さらに大乘仏教の教典の思想、及び、日本仏教の思想の説明へと進みたい。

成績評価の方法

年度末の試験によって、成績を評価する。

教科書

松本史朗『仏教への道』（東京書籍）1,400円

科目名	仏教と人間〔再クラス〕	開講	通年	単位	4
配当	経 B 法 B 営 B234年				
担当者名	むらまつ てつゆみ 村松 哲文				

#### 講義のねらい

東洋世界で生きている我々にとって、仏教は身近な宗教のはずである。ところが案外と知らないことが多いのではないだろうか。いうまでもなく駒沢大学は、仏教精神により建てられた大学である。本学に在籍していることも何かの縁であり、これを機会に仏教を知り、深遠な仏教世界を理解してもらいたい。本講義では、釈尊の生涯、仏教の伝播などについて考察し、宗教の存在意義や宗教と人間との関わりについて考えを深めてゆきたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

釈尊の生涯（1～3）、釈尊の教え（4～8）、経典の内容（9～12）、仏教的世界観（13～14）、大乘仏教と小乗仏教（15・16）中国の仏教受容（17）、中国仏教の展開（18）、日本の仏教受容（19）、日本仏教の展開（20）、仏教と仏画で見る仏教（21～30）

#### 履修上の留意点

仏教が日常の社会・生活に如何に関わっているのか考えながら講義に臨むこと。

#### 成績評価の方法

定期試験、レポート、授業態度、出席率などを総合的に評価する。

#### 教科書

プリントを配布する。

#### 参考書等

授業中に適宜紹介する。

## 2. 教 養 教 育 科 目

## 2. 教養教育科目

・『授業時間表』の区分「A」の科目を履修する場合は、フレックスAの教養教育科目のページを参照してください。(P.31)

・配当学科

経営学科フレックスA…営A

経営学科フレックスB…営B

### (1) 人文分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
宗教学【〔比較宗教文化〕】	経A法A営A放選	通年	4	田中 かの子	619
	経B法B営B選				
文学【1〔日本文学「古典」〕】	経A法A営A放選	通年	4	田中 伸作	619
	経B法B営B選				
文学【2〔日本文学「近代」〕】	経A法A営A放選	通年	4	中西 亮太	620
	経B法B営B選				
文学【3〔日本文学「古典」〕】	経A法A営A放選	通年	4	伴野 英一	620
	経B法B営B選				
歴史学【1〔日本近代史〕】	経A法A営A選	通年	4	林 彰	621
	経B法B営B選				
歴史学【2〔中国史概観〕】	経A法A営A選	通年	4	小林 惣八	621
	経B法B営B選				
歴史学【3〔アジア史概観〕】	経A法A営A選	通年	4	飯山 知保	622
	経B法B営B選				
哲学【〔西洋思想の源流〕】	経A法A営A選	通年	4	滝沢 正之	622
	経B法B営B選				
哲学 【〔近代の人間観と世界観〕】	経A法A営A選	通年	4	伊古田 理	623
	経B法B営B選				
哲学【〔現代文明と人間〕】	経A法A営A選	通年	4	鈴木 聡	623
	経B法B営B選				
論理学 【〔科学方法論と現代論理学〕】	経A法A営A放選	通年	4	伊古田 理	624
	経B法B営B選				
論理学 【〔科学方法論と現代論理学〕】	経A法A営A放選	通年	4	麻生 享志	625
	経B法B営B選				
倫理学【〔現代と倫理〕】	経B法B営B選	通年	4	古田 知章	626
倫理学【〔人生と倫理〕】	経B法B営B選	通年	4	末木 恭彦	627
教育の思想	商政営A234選	半期	2	山本 敏子	627
	経B法B営B234選				
教育と社会	商政営A234選	半期	2	山本 敏子	627
	経B法B営B2選				
発達と学習の心理学	商政営A234選	半期	2	三國 隆子	628
	経B法B営B2選				
カリキュラムと学習	経A商法A政営A234選	半期	2	三國 隆子	629
	経B法B営B234選				

## (2) 社会分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
社会学【〔現代社会を考える〕】	経A法A営A放選	通年	4	呉 炳三	630
	経B法B営B選				
社会学【〔現代文化を考える〕】	経A法A営A放選	通年	4	橋爪 敏	631
	経B法B営B選				
文化人類学【〔文化と人間〕】	経A法A営A放選	通年	4	川上 新一	631
	経B法B営B選				
文化人類学 【〔諸民族とコスモロジー〕】	経A法A営A放選	通年	4	杉井 純一	632
	経B法B営B選				
法学・憲法【〔法と権利〕】	経A営A放選	通年	4	鶏徳 啓登	633
	経B営B選				
法学・憲法【〔法と社会生活〕】	経A営A放選	通年	4	長谷川 日出世	633
	経B営B選				
政治学 【〔政治システムと政治参加〕】	経A法A営A選	通年	4	真下 英二	634
	経B法B営B選				
政治学【〔国際社会と日本〕】	経A法A営A選	通年	4	山村 恒雄	635
	経B法B営B選				
社会科学論 【〔社会認識の思想〕】	経A法A営A選	通年	4	枝松 正行	636
	経B法B営B選				
統計学 【〔社会現象の統計的決定〕】	経A法A営A選	通年	4	新行内 康慈	637
	経B法B営B選				

## (3) 自然分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
心理学 【〔ヒューマン・ウォッチング〕】	経A法A営A選	通年	4	鈴木 順一	638
	経B法B営B選				
心理学 【2〔人間関係を考える〕】	経A法A営A選	通年	4	鈴木 順一	639
	経B法B営B選				
生物学【〔生態と進化〕】	経A法A営A選	通年	4	清水 善和	640
	経B法B営B選				
生物学【〔生物と環境〕】	経A法A営A選	通年	4	中村 敏枝	641
	経B法B営B選				
地球科学 【〔地球の素顔と地球環境問題〕】	経A法A営A選	通年	4	加藤 潔	642
	経B法B営B選				
地球科学 【〔地球の素顔と地球環境問題〕】	経A法A営A選	通年	4	加藤 潔	643
	経B法B営B選				
自然環境論 【〔宇宙から見た地球環境〕】	経A法A営A選	通年	4	篠原 正雄	644
	経B法B営B選				
自然環境論【〔生命と環境〕】	経A法A営A選	通年	4	山縣 毅	645
	経B法B営B選				
情報数学【〔情報と論理〕】	経A法A営A選	通年	4	小沢 誠	646
	経B法B営B選				



科目名	宗教学【〔比較宗教文化〕】	開講	通年	単位	4
配当	経A法A営A放選 経B法B営B選				
担当者名	田中 <sup>たなか</sup> <sup>かのこ</sup> かの子				

#### 講義のねらい

人間には実に様々な生き方・見方・考え方・信じ方があり、「いのち」あるうちに為しうることに、限らない可能性があるということを、諸宗教の比較は教えてくれる。わたくしたち自身も、そのなかの、かけがえのない通りの人生を歩んでいる。「～教」や「～教徒」などという、他の人々と区別しうる特徴をもっているかのように錯覚してしまうが、言うまでもなく、信仰者としての彼らが目指すのは、より善い「人間」としてこの一生を全うすることにほかならない。各宗教が人間にどのような有り方を望んでいるのかを、その伝統的な生活文化をとおして俯瞰し、いま、この世界のどこかで生きている、いまだ出会うことのない人々への共感を呼び覚ましてみたい。それが、誤解や偏見のない「人間」理解に繋がれば幸いである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義担当者の生活体験をともなう地域（インド・ヨーロッパ）を中心に、机上では知りえない、かならずしも教義一辺倒ではない信仰生活の多様性について解説する。

#### 履修上の留意点

板書は、即興の覚え書きや、テーマの骨子を素描したものにすぎない。むしろ、講義の言葉や自分の考えに耳を傾けて、積極的にノートしよう。仏教と他宗教との関連性に注目。

#### 成績評価の方法

出席状況、創意・文章力・工夫の楽しみ方を評価する課題レポート。

#### 教科書

拙著『比較宗教学―「いのち」の探究―』（北樹出版）2006年、改版

#### 参考書等

「いのち」の尊さや、異文化間の交流を扱ったもの（書物、映画など）なら何でも。

#### その他

予定外の試みや受講生の要望などによっては、プログラムを変更することもあります。

教養教育

科目名	文学【1〔日本文学「古典」〕】	開講	通年	単位	4
配当	経A法A営A放選 経B法B営B選				
担当者名	田中 <sup>たなか</sup> <sup>しんさく</sup> 伸作				

#### 講義のねらい

軍記物語の代表として知られる『平家物語』は、平家一門をとりまく人々のドラマを実に生き生きと描き出している。その内容・叙述において『平家物語』は非常に中世らしい文学作品であると言えるだろう。この作品を読むことで、古典文学に親しみ、中世における文学のあり方を考えることを目的とする。

また、史実が文学に取り込まれたとき、どのような世界として描かれるのかという歴史文学としての側面も考察したい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

『平家物語』の代表的な句を読み、内容と特色を把握する。また、関連する史料を紹介し、時代背景や文化史的問題も追及する。

#### 成績評価の方法

定期試験の成績による評価。出席状況も重視する。

#### 教科書

『平家物語抄』（おうふう）

科目名	文学【2〔日本文学「近代」〕】	開講	通年	単位	4
配当	経A法A営A放選 経B法B営B選				
担当者名	なかにし <small>なかにし</small> <small>りょうた</small> 中西 亮太				

#### 講義のねらい

この講義では、明治・大正・昭和の著名歌人の歌集を読み、論じていきます。その過程で、受講者が近代短歌への理解を深めることを目指します。五句三十一文字を基本型とする短歌は、明治以降、庶民がみずからの心やみずからの体験した出来事を表現する文学ジャンルとして親しまれました。また一方で、多くの歌人は、この短い定型詩を近代文学として屹立させるべく、新しい表現世界を切り開いてきました。その両面を、この講義では見ていきます。講義で取り上げる歌を一首紹介しておきます。「野に捨てた黒い手袋も起きあがり指指に黄な花咲かせだす」(斎藤史『魚歌』)

#### 講義の内容・授業スケジュール

取り上げる歌集は、与謝野晶子『みだれ髪』、石川啄木『一握の砂』、北原白秋『桐の花』、斎藤茂吉『赤光』、前川佐美雄『植物祭』、斎藤史『魚歌』、塚本邦雄『水葬物語』、中城ふみ子『乳房喪失』等を予定しています。授業の流れとしては、前期で明治期と大正の前半、後期で大正の後半と昭和期を扱う予定です。

#### 履修上の留意点

当然のことではありますが、ただ出席するだけでなく、積極的な姿勢での受講を望みます。授業時間中や時間後の質問を歓迎します。

#### 成績評価の方法

前期末と後期末に、試験を実施します。

#### 教科書

高野公彦編『現代の短歌』(講談社学術文庫)  
また、授業中、必要に応じて参考プリントを配付します。

#### 参考書等

『短歌シリーズ・人と作品』(桜楓社)  
このシリーズで、後世の研究者が書いた晶子・啄木・白秋・茂吉などの評伝や秀歌鑑賞文を読むことができます。

科目名	文学【3〔日本文学「古典」〕】	開講	通年	単位	4
配当	経A法A営A放選 経B法B営B選				
担当者名	<small>ばんの</small> <small>ひでかず</small> 伴野 英一				

#### 講義の内容・授業スケジュール

いわゆる文運東漸期前後から、洒落本を中心として近世戯作文芸を概観する。実際に作品を読むことで、文芸における「滑稽」がどのように表現されるのかを考察する。また、当時の遊里風俗など、作品成立の時代的背景についても適宜触れてゆく。

#### 履修上の留意点

欠席が三分の一に達した場合は単位不認定となる。

#### 成績評価の方法

年度末の定期試験を主とし、出席状況、受講態度を総合的に評価する。臨時にレポートを課す場合がある。

#### 教科書

必要に応じてプリントを配布する。

#### 参考書等

その都度、講義中に指示する。

科目名	歴史学【1〔日本近代史〕】	開講	通年	単位	4
配当	経A法A営A選 経B法B営B選				
担当者名	はやし あきら 林 彰				

#### 講義のねらい

幕末から明治・大正時代にかけての歴史的な流れを、思想・思潮を中心に政治社会の動向をふまえて概観していく予定である。西欧から輸入された近代思想が日本でどのように浸透し、知識人・民衆がどう受容し、在来の伝統的な思想といかに対立・錯綜・混在していくのか。それらを人物・ジャーナリズムなどを中心にみていきたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期は、幕末から明治・大正・昭和前期の、いわゆる近代史の概説をこころみる。後期には、著名な人物を取り上げ、論じながら、具体的に日本近代史の歩みを、人物とともにたどることにより、よりいっそうの理解を深める。とくに、体制側の動向（政府ないしは体制側の思想と運動の流れ）と反体制側の運動や思想の動向に留意しながらみていきたい。

#### 成績評価の方法

レポートと定期試験。

#### 教科書

大日方純夫『はじめて学ぶ日本近代史（上）』大月書店、2002年、1800円

#### 参考書等

安在邦夫ほか『日本の近代—国家と民衆』粹出版、1984年、2000円  
 早川紀代編『軍国の女たち』吉川弘文館、2005年、2600円  
 安在邦夫ほか編『自由民権の再発見』日本経済評論社、2006年、3500円

科目名	歴史学【2〔中国史概観〕】	開講	通年	単位	4
配当	経A法A営A選 経B法B営B選				
担当者名	こばやし そういち 小林 惣八				

#### 講義のねらい

中国史の歩みを大別すると、黄河文明、殷周時代、秦漢時代、魏晋南北朝時代、隋唐時代、五代・宋時代、元・明・清時代、新生中国とに分けられる。本講義ではその歩みを多角的にとらえ通観するものである。

#### 成績評価の方法

前・後期のレポート提出と定期試験による総合評価。  
 詳細は追って指示する。

#### 教科書

特別定めないが、中国史の概説書や図表を座右に置いて聞くことを望む。

#### その他

出席を重視する。

科目名	歴史学【3〔アジア史概観〕】	開講	通年	単位	4
担当	経A法A営A選 経B法B営B選				
担当者名	飯山 <sup>いひやま</sup> 知保 <sup>ともやす</sup>				

講義のねらい

歴史上アジアに興亡した諸民族の事跡を理解することは、単に歴史を学習するためのみならず、現在のアジアにおける国家・民族の情勢を把握するためにも重要である。本講義では、そうした諸民族の興亡の通時的考察を通じ、主に現代中国の民族情勢とその淵源を検討する。

講義の内容・授業スケジュール

現在アジアの民族分布を解説した後、時代を遡り、主に中国を対象として、紀元前から諸民族集団の興亡を通観する。

成績評価の方法

前・後期の教場試験と平常点による総合評価。詳細はおって指示する。

教科書

特になし。

参考書等

講義上で紹介する。

その他

出席による平常点を重視する。

科目名	哲学【〔西洋思想の源流〕】	開講	通年	単位	4
担当	経A法A営A選 経B法B営B選				
担当者名	滝沢 <sup>たきざわ</sup> 正之 <sup>まさゆき</sup>				

講義のねらい

西洋哲学史を古代から中世にかけてを中心に紹介する。時間があれば、続けて近世から現代へと時代順に進んでいくことになる。

ただし、書店で手に入る哲学史の入門書のように、哲学者たちの思想をダイジェスト版で紹介することはしない。哲学者本人が書いたテキストそのもの（翻訳ではあるが）を実際に読んでいくことにしたい。もちろんすべてを精読するわけにはいかないの、諸著作の一部を抜き出して検討することになる。

本物の哲学者の本物の哲学書から、哲学的な思考とはどのようなものかを実感することを目標とする。それと同時に、はるか昔の頭のよい？人たちがどんな変なことを考えていたのかを楽しんでいきたい。

講義の内容・授業スケジュール

下に指定した教科書『原典による哲学の歴史』の原典の引用部分を丁寧に読み、解説していく。最初から順に読んでいく予定なので、授業スケジュールは教科書の目次を参照されたい。適宜プリントで内容の補足を行う。

履修上の留意点

教科書を必ず入手しておくこと。

成績評価の方法

中間試験および期末試験により評価する。中間試験はレポートにする予定。期末試験は筆記。受講者の人数が少ない場合は出席をとり、それも評価に加味したい。

教科書

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）  
授業中に適宜プリントを配布する予定。

参考書等

講義中に適宜指示する。

科目名	哲学【〔近代の人間観と世界観〕】	開講	通年	単位	4
配当	経A法A営A選 経B法B営B選				
担当者名	伊古田 <sup>いこた まさる</sup> 理				

#### 講義のねらい

現代文明の形成にあたって中核をなした思想である、近代ヨーロッパ思想を紹介し、その問題点を探る。今年度は、特に「機械」について検討する。現代の科学技術文明は、さまざまな機械を製作し、またその前提として自然（および人間）を機械との類比でとらえようとする傾向を明らかに含んでいる。この発想の特性と問題点を探ることが、本年度の課題である。

#### 講義の内容・授業スケジュール

まず、ヨーロッパ思想の源流である古代ギリシャ哲学、キリスト教思想について、必要などころをおさえ、そのうえで近代以降の思想の発展を解説する、という方針をとる。

#### 成績評価の方法

夏期中間試験と冬期定期試験の成績を素点とし、100点満点での素点に対する失点の一定割合を、夏期レポート課題によりリカバーする。

#### 教科書

久保他編『原典による哲学の歴史』（公論社）

科目名	哲学【〔現代文明と人間〕】	開講	通年	単位	4
配当	経A法A営A選 経B法B営B選				
担当者名	鈴木 <sup>すずき さとる</sup> 聡				

#### 講義のねらい

本講義では、現代哲学の重要問題を扱った素材を叩き台として、1つの問題をとことん考え抜くという態度を受講者が身につけるための機会を提供したい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

本講義では、以下のトピックのうちのいくつかを取り上げる予定である。

1. 宇宙のはじまり
2. 懐疑論
3. 意識という謎
4. 推論の落とし穴
5. 他人の心
6. 考える機械
7. 意味とは何か？
8. 道徳を教えるのは神か？
9. 悪について
10. 芸術について
11. 知識について
12. 帰納法の正当化
13. タイム・トラベルは可能か？
14. 人は人を罰しうるか？
15. 人格の同一性
16. 様々なパラドクス

#### 履修上の留意点

欠席・遅刻は一切認めない。必ず予習し、1回の講義につき少なくとも1回は質問すること。

#### 成績評価の方法

成績は、出席状況・講義中の質問によって評価する。

#### 教科書

開講時に指定する。

科目名	論理学【〔科学方法論と現代論理学〕】	開講	通年	単位	4
配当	経A法A営A放選 経B法B営B選				
担当者名	伊古田 <sup>いこた まさる</sup> 理				

#### 講義のねらい

現代論理学の内容を、「ことばの正しさ」のうちで「推論の正しさ」のかたちづくる領域がどのようなものかを考えることにより、紹介してゆく。

具体的には、「推論の正しさ」の領域がどのようなメカニズムで機能しているかを習得することを第一の目標として、そのうえで（時間の許すかぎり）こうした領域の位置づけについて論ずることにしたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- (1) 古典的三段論法 (2) 公理系I～命題論理 (3) 公理系II～述語論理  
(4) コンピュータと論理

#### 成績評価の方法

年2回の試験（夏期中間試験＋年度末定期試験）を実施し、それとは別に各学期にそれぞれレポート課題を出す。

詳細については、授業開始時のガイダンスの際に説明する。

#### 教科書

野矢茂樹著『論理学』（東京大学出版会）

科目名	論理学【〔科学方法論と現代論理学〕】	開講	通年	単位	4
配当	経A法A営A放選 経B法B営B選				
担当者名	あきお たかし 麻生 享志				

### 講義のねらい

西洋哲学の中で、論理学は常に大きな位置をしめてきた。論理とは何か、正しさをどう説明すればよいか、真理をどのようなものとするか、といった問題の考察に、「論理学」は欠かせない。このような「論理の本質への考察」には、古代ギリシャの哲学者、アリストテレスの論理学を知る必要がある。彼の論理学には、当時の学問がおかれた状況が強い影響を与えていたと考えられる。その後、自然科学の発達によって学問状況は変化した。その変化に対応する形で論理学の変革も試みられた。さらに、二十世紀に入って、数学研究と論理学研究の交流・接触が考えられるようになる。このように論理学は変化の歴史を持つ。そこで(1)論理とは何かを考え、(2)変化する論理学の各内容についての知識を持ち、(3)日常生活における論理の活用について、自分で考えることの手引きを与えることをねらいとします。

### 講義の内容・授業スケジュール

論理の本質、真理論、論理パズルとパラドックス、アリストテレス論理学、帰納法論理、実験主義論理学、論理学方法論、記号論理学概観、日常生活における正しい推論、学問と論理などの話題を考えています。

### 履修上の留意点

大学という学問の場においては、講義内容を聞いて理解し、練習問題をこなす、内容を記憶するだけでは、十分ではありません。自分で検討し、疑い、考えることが絶対に必要であると考えます。そのために、自分で本を読んだり、調べたりという作業が加わるでしょう。意欲ある取り組みと、徹底的に自分の頭で考える姿勢を求めます。

### 成績評価の方法

平常点として、出席と、講義中に行う問題や論述を主な評価材料(60%)にし、前期・後期試験・夏休みのレポート成績を加味します。

### 教科書

なし。

### 参考書等

多数。講義内にて詳細に説明します。

### その他

講義と問題演習(ないし論述筆記)。早退は、許可のない限り認めません。主体的な質問を大いに歓迎し、期待します。初日はガイダンスとし、定時から五分間程度、または正規の終了時刻前五分間に資料を配布して質問を受け付けます。(ガイダンス後は、雑談的内容にあてる予定です。この間、入退出自由。)この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。

科目名	倫理学【〔現代と倫理〕】	開講	通年	単位	4
配当	経B法B営B選				
担当者名	古田 知章				

講義のねらい

今日、多くの領域で、倫理の確立、再構築が求められている。これは、言い換えると、様々な技術や科学が発達した現代において、それらに向きあう我々自身の方向性が分からなくなっていることの現れである。そして、このような状況のもと、我々は、ひとつの人格をもつ個人として、自らの倫理観を模索していかなければならない。しかし、倫理とは何かを考えると、個々の領域、場面での「正しさ」の中身を検討すると同時に、その際の倫理的主体となるべき「自己」のあり方が知られなければならない。逆に言うと、この生きている自分が外的世界や他者と結んでいる関係、あるいは、自分が自分自身について考えることの意味などを明確にすることで、現代社会に生きる我々の向かうべき方向も見えてくる。この見通しの上に立って、現代においての倫理的なあり方を検討していく。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を利用し、以下の内容を取り上げる（各項目ごとに、2～4回の講義）。倫理的原理についての検討

1. 倫理学における問題の所在 —倫理的であること—
2. 古代ギリシアにおける様々な倫理思想
3. 中世における宗教的倫理観
4. ルネサンスと宗教改革 —個としての人間—
- I. 倫理的原理についての検討（前期の続き）
  - 近・現代における倫理思想 —主体性と自由の問題—
- II. 応用倫理学の諸問題への基礎的な検討
  1. 生命の尊厳と人生の質
  2. 人間と環境との関係
  3. 情報と倫理

成績評価の方法

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義の際にその都度紹介する。



科目名	倫理学【〔人生と倫理〕】	開講	通年	単位	4
配当	経B法B営B選				
担当者名	すえき やすひこ 末木 恭彦				

#### 講義のねらい

倫理学は、人の行為の規範を考える学問である。人が生きる上に指針を提供する。本科目を通じて、倫理学への基礎的理解を獲得し、自分の生き方を考える手がかりとすることを旨とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

授業の最初に、倫理とは何か、倫理学とは何か確認する。その後、今年度は環境と倫理の問題について考察を行う。環境問題は現在の世界の大きな課題となっている。しかし、環境の問題は既に古代から取り挙げられて来ていた。特に、古代中国のいくつかの学派の議論を取挙げて講義をする。古代中国の環境をめぐる思索を顧みて、そこから現代の環境をめぐる倫理に知恵を汲み上げたい。

#### 履修上の留意点

ノートはしっかりと取る。

#### 成績評価の方法

各学期末の試験と、夏期休暇のレポートにより評価する。

#### 教科書

浅野裕一『古代中国の文明観』（岩波新書）

科目名	教育の思想	開講	半期	単位	2
配当	商政営A234選 経B法B営B234選				
担当者名	やまもと としこ 山本 敏子				

#### 講義のねらい

今日の学校教育が抱える様々な問題を解決していくための方向性を探ることを目指して、日本の公教育制度に影響を及ぼした西洋近代の教育思想への理解を深めるとともに、それが成立する以前に日本列島各地に息づいていた民衆教育思想を学んでいきます。

#### 講義の内容・授業スケジュール

概略は以下の通りですが、授業のすすめ方や詳しいスケジュールについては初回に具体的な案を提示して、受講者の皆さんと相談の上、決めます。

- ・日本の基層文化に流れる教育の思想
- ・近世の表層文化に現れた教育の思想
- ・西洋近代教育思想の二つの大きな流れ

#### 成績評価の方法

出席状況、学期末レポートなどの総合評価。

#### 教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する予定です。

#### その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	教育と社会	開講	半期	単位	2
配当	商政営A234選 経B法B営B234選				
担当者名	やまもと としこ 山本 敏子				

講義のねらい

近代社会の教育は、全生活領域にわたる経営体としての家共同体の解体および近代国民国家の形成と深く関わっています。近代学校成立以前の社会における多様な教育システムを家共同体との関わりで考察することにより、近代学校システムの特徴や問題点を明らかにするとともに、これからの教育のあり方を模索していきます。

講義の内容・授業スケジュール

様々な教育問題や近年の教育改革の動向にも触れながら、次のような柱立てで進めていく予定です。

- ・「家」が未成立の社会と教育システム
- ・「家」社会の形成と教育システム
- ・「家」の解体と近代学校システムの稼働

成績評価の方法

出席状況、学期末レポートなどの総合評価。

教科書

特に使用せず、必要に応じて資料を配布します。

参考書等

適宜紹介します。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	発達と学習の心理学	開講	半期	単位	2
配当	商政営A234選 経B法B営B234選				
担当者名	みくに りゅうこ 三國 隆子				

講義のねらい

- ・子どもから大人へ。人の発達過程について概観する。
- ・発達や個に応じた学習や教育について学ぶ。
- ・以上を踏まえ、学校現場で行われる教育や指導のあり方について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- ・発達とは何か
- ・発達の特徴と発達理論
- ・発達観の変遷と教育
- ・学習とは何か
- ・学習と評価
- ・意欲と学習（1）動機づけ理論
- ・意欲と学習（2）自己効力感

成績評価の方法

- ・毎回の授業でその授業内容についての小テストや課題を提出してもらう。
- ・学期末にレポート試験を行う。
- ・小テストや課題の提出状況と学期末レポートを総合して評価を行う。

教科書

教科書、参考資料等は、授業中に配布する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	カリキュラムと学習	開講	半期	単位	2
配当	経A商法A政営A234選 経B法B営B234選				
担当者名	三國 <small>みくに</small> 隆子 <small>りゅうこ</small>				

#### 講義のねらい

- ・学習指導要領から読み取れる、日本の教育課程を理解する。
- ・カリキュラムと学習の効果について学ぶ。
- ・学校現場で行われているカリキュラムの実際と課題について理解する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- ・我が国の教育課程
- ・学習指導要領の変遷
- ・教授と学習の効果
- ・カリキュラムと学習の効果
- ・学校教育（1）教育制度・カリキュラムの実際について
- ・学校教育（2）教育評価・今後の課題について

#### 成績評価の方法

- ・毎回の授業でその授業内容についての小テストや課題を提出してもらう。
- ・学期末にレポート試験を行う。
- ・小テストや課題の提出状況と学期末レポートを総合して評価を行う。

#### 教科書

教科書、参考資料等は、授業中に配布する。

科目名	社会学【(現代社会を考える)】	開講	通年	単位	4
配当	経A法A営A放選 経B法B営B選				
担当者名	お びよんさん 呉 炳三				

講義のねらい

社会学の主要な対象は人間である。その人間が社会生活のなかで引き起こす諸問題を分析する学問でもある。その分野は、「家族」「恋愛」「結婚」「教育」「文化」「政治」「法律」「犯罪」「経済」など多岐にわたっている。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何かを整理、理解し、それを解決する視点として、社会学の基礎的な知識を身につけることによって、よりよい社会生活に臨んでもらうことが本講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 社会学の基礎概念：

はじめに—社会学とは—(1)

- I 行為論：(2) 社会学における行為 (3) 行為者としての個人 (4) 社会化と人間形成 (5) 日本的行為論
- II 集団論：(6) 集団の概念 (7) 官僚制理論 (8) 小集団論 (9) 集団の類型 (10) 日本的集団論

(後期) 現代社会の特徴的な諸相：

(11) 家族 (12) 恋愛 (13) 結婚 (14) 若者・IT文化 (15) 少年犯罪 (16) 自殺

(17) ジェンダー (18) 少子・高齢 (19) アダルトチルドレン、摂食障害

(20) 就職、転職、リストラ (21) フリーター、ニート、引きこもり (22) 性同一性障害など

以上、講義の予定としているが、受講生の要望も取り入れながら講義を進めているため講義内容を変更することもある。

履修上の留意点

本講義は、教員の一方的な講義ではなく、受講生とともに調べ、その結果を考えた上、その答えを導く方向で講義を進めていくために、授業への積極的な取り組みが望まれる。なお、授業中は指定の教科書や辞書を必ず持参することと、宿題を出すので、宿題をきちんと提出することの出来る学生が受講することを勧める。

成績評価の方法

出席状況と前・後末に行う筆記試験の結果から総合的に評価する。但し、授業中の私語、携帯電話の使用、寝るなど授業態度のよくない学生については出席停止とし単位を与えないことがある。

教科書

開講時に説明する。

参考書等

講義中に、その都度紹介する。

科目名	社会学【〔現代文化を考える〕】	開講	通年	単位	4
配当	経A法A営A放選 経B法B営B選				
担当者名	はしづめ さとし 橋爪 敏				

#### 講義のねらい

この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「現代社会」についての若干の問題を論ずることを目的とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

「講義のねらい」で述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」的見方を通して「現代社会」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。そこで、まず、前期においてこのような社会学独自の社会現象の見方、考え方、基礎的な知識を理解し、後期に、こうした理解を踏まえて、「現代社会」の諸問題－文化とは何か、現代文化とは何か、大衆文化等－を扱うことにしたい。

#### 成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

#### 教科書

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』（学文社）

#### 参考書等

高尾・橋爪編『社会学の基礎』（犀書房）  
R. ニスベット『現代社会学入門1～4』（講談社学術文庫）  
その他授業中に適宜指示したい。

科目名	文化人類学【〔文化と人間〕】	開講	通年	単位	4
配当	経A法A営A放選 経B法B営B選				
担当者名	かわかみ しんじ 川上 新二				

#### 講義のねらい

文化人類学は、世界各地のさまざまな人々の文化を理解し、さらにそれを通じて究極的には人間の理解を目指そうとする学問です。そして、私たちとは異なる人々の文化を理解するためには、客観的な見方を養う必要があります。見方を誤ると理解ではなく、誤解になってしまう危険性があります。この講義では、異文化を理解するための見方を養うことを目的とします。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期は、文化人類学の特徴、文化とは何か、文化人類学の歴史と代表的な学説を紹介します。後期では、具体的な文化事象をとりあげて（日本、韓国、中国など東アジアの文化を中心に考えています）、文化人類学による見方を紹介します。

#### 成績評価の方法

レポートと学期末の試験で評価します。随意的レポート提出など積極的な姿勢があれば、評価に加えます。

#### 教科書

使用しません。

#### 参考書等

伊藤亜人監訳『韓国文化シンボル事典』平凡社、2006年など。その他、講義のなかで適宜紹介します。

科目名	文化人類学【(諸民族とコスモロジー)】	開講	通年	単位	4
担当	経A法A営A放選 経B法B営B選				
担当者名	すぎい じゆんいち 杉井 純一				

### 講義のねらい

さまざまな民族が絶えず各地を移動する現代世界では、私たちは「異質な他者」との出会いを日常的に経験します。こうした多民族社会に生きる私たちは以前にもましてコミュニケーションの困難に直面します。お互いが先入観や偏見にとらわれず、十分な意志疎通を図るためには、相互の民族的、文化的背景への理解が前提となります。

文化人類学は民族や文化の多様性を比較することで、それぞれの文化的相違についての認識を深める学問です。具体的に言えば、人々の生活様式や儀礼、習慣などを通して「人間を取りまく世界、宇宙の成りたちやしぐみ」についての多様な観念体系を理解していきます。

本講義では、前期に文化人類学の基礎、後期に民族とコスモロジーを学びます。まず、「異文化を理解する」ことの面白さ、そして、むずかしさを味わいながら、「異質なものとの共存」「他者との共生」の可能性について考えていくことが本講義の目的です。

### 講義の内容・授業スケジュール

- I 文化人類学の基礎
  1. 文化人類学とは何か
  2. 文化人類学の歩み(1)
  3. 文化人類学の歩み(2)
  4. 文化とコミュニケーション
  5. 環境と人間(1) 狩猟採集民
  6. 環境と人間(2) 牧畜民
  7. 環境と人間(3) 農耕民
  8. ジェンダー
  9. セクシュアリティ
  10. 婚姻の形態
  11. 家族の多様性
  12. 親族と社会
- II 民族とコスモロジー
  1. 呪術と宗教
  2. アニミズム
  3. シャーマニズム
  4. シンクレティズム
  5. 儀礼の構造
  6. コスモロジー
  7. 神話
  8. 政治組織
  9. 民族とエスニシティ
  10. 民族紛争と戦争
  11. 開発と文化
  12. 移動の民族誌

### 履修上の留意点

ビデオを見た感想を問うことがあります。

### 成績評価の方法

夏期レポート(20%)、期末試験(60%)、平常点(20%)で評価します。

### 教科書

特に指定しません。適宜、プリントを配布します。

### 参考書等

祖父江孝男『文化人類学入門』(中公新書)800円  
山下晋司ほか『文化人類学キーワード』(有斐閣)1,700円  
佐々木宏幹・村武精一編『宗教人類学』(新曜社)2,200円

### その他

できるだけ、ビデオを利用します(年に4~5回程度)。

科目名	法学・憲法【(法と権利)】	開講	通年	単位	4
配当	経A 営A 放選 経B 営B 選				
担当者名	けいとく ひろとく 鶏徳 啓登				

#### 講義のねらい

人間は社会の中で生まれ、他の人と利害を対立しながら社会生活を営むものである以上、そこには相互の利害を調整し、紛争を解決するためのルール(規範)が必要である。「社会あるところ法あり。」(法諺)といわれるのはそれを如実に示すものである。この授業では、法の概論と基礎的な実定法上の権利・義務との二つに分けて、「法」とそこに認められる「権利」を講義する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 法の概論は次の内容を中心として行う。
  - 法の意義
  - 法発生の背景
  - 法とその近辺の社会規範
  - 法の種別と解釈
  - 法の適用
- 実定法上の権利・義務の講義は次の内容を中心として行う。
  - 民法上の権利-権利の主体と客体、権利能力・行為能力、権利の種類と内容(財産法上の権利、親族法上の権利、相続法上の権利)、権利の発生・消滅。
  - 憲法上の権利-自由権(経済的自由権、精神的自由権、身体的自由権)、平等権、社会権(生存権、教育権、勤労権、労働者の権利)、参政権(選挙権、被選挙権)、受益権(請願権、国家賠償請求権、裁判を受ける権利、刑事補償請求権)。
  - 国家・地方公共団体の権利-国家作用と三権分立制の意義・統治機構、立法権と立法機関、行政権と行政機関、司法権と司法機関、地方公共団体の自治権と住民の権利。

#### 成績評価の方法

出席状況と試験。

#### 教科書

小林弘人・松村格編著『法学・憲法』(八千代出版)3,500円

#### 参考書等

『小六法』または『ポケット型小六法』(出版社・定価各種類)、その他参考書等については教場にて説明。

科目名	法学・憲法【(法と社会生活)】	開講	通年	単位	4
配当	経A 営A 放選 経B 営B 選				
担当者名	はせがわ ひでよ 長谷川 日出世				

#### 講義のねらい

我々は、好むと好まざるとにかかわらず、法と密接なかわりのある生活を強いられている。しかしながら多くの場合、我々はこの事実を知らず、何等かの法的問題が発生した時に初めて、これに気付く。  
本講義では、まず、社会生活を営む上で不可欠な、社会規範としての法の生成およびその性質についての分析をおこなう。そして、次に、そこで得られた法概念を基礎に、国家の基本法である憲法と我々のかかわりあいを検討する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期では、法を学ぶために必要な基礎的知識の修得を目指す。具体的には法と道德の関係、法と強制、法の体系性、国家と法、実定法上の原則等。  
後期は、日本国憲法を具体的に検討する。特に日本国憲法の基本原理の成り立ち、基本的人権の保障規定等についての検討。

#### 成績評価の方法

定期試験によるものとする。

#### 教科書

長谷川日出世著『法の基礎概念と憲法』(成文堂)

#### 参考書等

『ポケット六法』(有斐閣)

科目名	政治学【(政治システムと政治参加)】	開講	通年	単位	4
配当	経A法A営A選 経B法B営B選				
担当者名	真下 英二				

#### 講義のねらい

そもそも政治とは何か、何のために存在しているのか？政治学の基本的な知識を身につけることにより、社会における政治の役割とわれわれの生活との関わり合いについて考察していく。とりわけ、現代民主主義における参加の問題についても検討を加えていく。

#### 講義の内容・授業スケジュール

春学期：政治学の基本的な概念を中心に検討していく。特に、民主主義に関する問題は、時間をかけて行っていく。

秋学期：より現代的な問題を取り上げながら、現代社会の民主主義の問題について検討を行う。特に、政治システムと政治参加について、より詳細に検討していく予定である。

#### 履修上の留意点

この講義においては、他の履修者の迷惑となるような行為は一切禁止する。当然のことながら、私語は厳禁である。

また、政治学や社会科学全般に関する知識は、必ずしも必要としないが、最低限、社会的な諸問題についての知識を持っていることが期待される。

#### 成績評価の方法

成績評価は、原則的に期末試験の得点のみによって行う。ただし、必要な場合にはレポートを課すこともある。詳細については、講義中に指示する。

#### 教科書

特に指定しない。

#### 参考書等

加藤秀治郎他『政治学の基礎』（一藝社）2002年  
 加藤秀治郎・中村昭雄『新版スタンダード政治学』（芦書房）1999年  
 他は追って指示する。



科目名	政治学【(国際社会と日本)】	開講	通年	単位	4
配当	経A法A営A選 経B法B営B選				
担当者名	やまむら つねお 山村 恒雄				

#### 講義のねらい

「法学」や「経済学」とは違い、「政治学」に対して抱くイメージは、人によってかなり異なるようである。この授業は副題にある通り「国際社会」のなかで日本が直面するさまざまな課題を取り上げ、それを素材として「政治を見る眼」を養うことを目的とする。具体的には、近代国際社会成立以降第二次世界大戦終了後に至るまでの国際政治の主な出来事を解説し、それを基にして現在生じている時事問題を考える素材を提供しようとするものである。したがって、授業は時事問題の解説が目的ではなく、受講生のひとりひとりが、政治問題に対して自分の意見を形成できるよう、「分析の道具」を提供しようとするものである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

時事問題を素材として用いるため、具体的な問題を予め示すことはできないが、分析のための基本的な知識として、以下の項目を取り上げる。

- 1 ウェストファリア体制の形成
- 2 近代の国際政治
- 3 地球的問題群
- 4 第二次世界大戦後の国際政治の変容
- 5 冷戦と核兵器
- 6 食糧問題
- 7 環境破壊と持続可能な開発
- 8 日本が直面する諸問題

#### 履修上の留意点

受け身ではなく、積極的に授業に参加できる意欲のある人を歓迎します。

#### 成績評価の方法

夏休み明けのレポートと学期末試験による。なお、夏休み明けのレポートを提出しない者は、学期末試験の受験資格を失うので注意すること。

#### 教科書

特定の教科書は使用しない。

#### 参考書等

授業中、随時指定。

科目名	社会科学論【(社会認識の思想)】	開講	通年	単位	4
配当	経A法A営A選 経B法B営B選				
担当者名	えだまつ まさゆき 枝松 正行				

### 講義のねらい

社会科学には自然科学や人文科学とは独自の対象把握の方法や体系がある。すなわち、社会現象を形成する個々の人間は、生産的労働を中心とする活動の担い手として、つねに目的意識的な社会活動を行う能動的主体であるにもかかわらず、総体としての社会現象は、市場メカニズムに象徴されるように、人間の意識を超えた物理現象の如き客観的な運動法則に従っている。しかもそれは連続的であると同時に、不連続な飛躍や発展を伴う固有の歴史法則でもある。その意味で、社会科学論は、政治学や経済学、法律学、社会学、宗教学、倫理学など個別社会科学全体を貫く普遍的で総体的な発展法則の解明を課題とするメタ社会科学であるといつてよい。

グローバルトリレンマに直面した現代世界は過去に例を見ない大転換期にあるが、歴史科学であると同時に未来科学でも社会科学論こそは、現代社会の変化・生成・発展法則の解明とリスクの回避に究極的な使命を担っている。それゆえ、現代人の歴史的課題とその根本的な解決としての未来社会論を必然的に内包する普遍的な発展法則の理解こそが講義の最終目標となる。

### 講義の内容・授業スケジュール

講義では、アリストテレスの形而上学、ヘーゲル論理学、マルクス経済学、ヴェーバー社会学、ドラッカー経営学などの方法に学びつつ、社会経済システムの転換メカニズムを解明し、オルタナティブで持続可能なアソシエーション社会への移行を展望する。

このような社会科学的視座の習得を基礎として、さらに、これらを現代社会に適用し、同時多発テロ以降の世界情勢や日本「構造改革」の歴史的な性格を解明するとともに「循環型・男女共同参画社会」への現実的転換を加速しうる実践的な政策・管理科学についても明らかにしていく。

### 履修上の留意点

日々の経済・社会報道に関心を注ぎ、たえず生の現実素材を取り入れておくこと。

### 成績評価の方法

前・後期の中間試験ないしレポートと平常点により評価する。

### 教科書

とくに指定しないが、参考文献はその都度紹介する。

### 参考書等

大塚久雄『社会科学の方法』岩波新書、渡辺憲正『イデオロギー論の再構築』青木書店、など。

### その他

毎回、授業の冒頭で前回授業のカードによる学生諸君の質問・意見・要望に応え、授業に反映させていく。個別の質問・相談は授業終了時に対応する。

科目名	統計学【(社会現象の統計的決定)】	開講	通年	単位	4
配当	経A法A営A選 経B法B営B選				
担当者名	新行内 康慈				

### 講義のねらい

統計学は、観測値からその源泉の特徴や傾向を明らかにして結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析や意思決定など幅広い分野で活用されています。本講義は、統計学の入門としてその基本的な考え方や諸手法を現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。

### 講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1) 統計学の概要 (2) 度数分布表とヒストグラム (3) 基本統計量  
(4) 確率の定義 (5) 場合の数 (6) 和事象・積事象の確率  
(7) 演習 (8) 確率変数と確率分布 (9) 平均・分散と期待値  
(10) 確率変数の標準化 (11) 正規分布表 (12) 演習 (13) まとめ  
(後期) (14) 母集団と標本 (15) 点推定と区間推定 (16) 母平均・母分散の推定  
(17) 仮説検定 (18) 母平均・母分散の検定 (19) 母平均の差の推定・検定  
(20) 母比率の推定・検定 (21) その他の推定・検定 (22) 演習  
(23) 散布図と相関係数 (24) 回帰分析 (25) 回帰分析の応用 (26) まとめ

### 履修上の留意点

統計学は積み重ねが要求される分野です。継続して講義に出席し、一步一步確実に理解していくことが大切です。

### 成績評価の方法

3回の演習と期末試験を総合的に評価します。

### 教科書

テキストは使用しません。必要に応じて適時資料を配布します。

### 参考書等

石村貞夫『すぐわかる統計解析』東京図書  
前野昌弘・三國彰『図解でわかる統計解析』日本実業出版  
永田靖『入門 統計解析法』日科技連出版  
東京大学教養学部統計学教室『統計学入門』東京大学出版

### その他

配布資料に基づいて例題を交えて講義し、さらに理解を深めて実際に活用できるようにするために課題演習を実施します。

科目名	心理学【〔ヒューマン・ウォッチング〕】	開講	通年	単位	4
担当	経A法A営A選 経B法B営B選				
担当者名	鈴木 順一 <small>すずき じゆんいち</small>				

### 講義のねらい

講義形式だけの授業形態は、学習者を受け身のバケツ的学び方にしてしまう。学問とは、問い学ぶと書くように、講師が一方的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める（勉強する）ことではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立て、仮説の基にサーチライトをあて、検証（反証）し、新たな仮説構成や発見をしていくプロセスである。

学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を獲得した人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子の他に「遺言子」とでも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩み出すようになった。

しかし、経験から学ぶプロセスから遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見しようとするモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互と自己内のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。心理学の人間理解の仮説の基に、自分自身や他者を見つめなおし、よりよい人間関係を築くために役立つ道具（理論と技法）を体験的に学んでいきます。

### 講義の内容・授業スケジュール

番号は進行順であり、それぞれ1回から3回程度時間が配当されます。学習計画は、進行状況により変更することがあります。

【前期】 [1]学習とは？ 授業方針 [2]エンカウンター（出会いと人間関係づくり） [3]グループ形成と集団規範 [4]コミュニケーションの促進 [5]心とは何か [6]性格検査による自己理解 [7]パーソナリティ理論 [8]無意識の心の働き（精神分析的人格理論） [9]環境を知る働き（感覚・知覚・認知）

【後期】 [10]カウンセリングの理論と技法 [11]心理療法による自己理解と他者理解 [12] 自他肯定の人間関係 [13]学習理論と行動療法 [14]relaxationによる心身の健康回復

### 履修上の留意点

最初の数回の授業で、6人のグループを編成しますので必ず出席してください。授業は、グループごとに決められた場所に着席していただき、毎回グループごとに自筆で出席をとり本人を確認します。

単独・聴講学習ではなく、グループによる協力学習・相互学習・体験学習・発見学習ですので、集団規範を守ることと、全回出席することが求められます。ルールを守れない人と欠席しがちな人は、履修しないでください。

### 成績評価の方法

出席状況と平常の小試験、小レポート、個人発表とグループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。平常点で評価しますので、学年末定期試験及び追・再試験はありません。

### 教科書

使用しません。授業内で紹介する参考図書や下記参考書の指摘する部分などを読み概念学習を進めていただきます。

### 参考書等

中村昭之編著『心理学概説』（八千代出版）

### その他

すべての「心理学」の授業で、心理学科卒業年次生の卒業論文のための調査に協力していただく時間があります。

科目名	心理学【2〔人間関係を考える〕】	開講	通年	単位	4
配当	経A法A営A選 経B法B営B選				
担当者名	すずき じゆんいち 鈴木 順一				

### 講義のねらい

講義形式だけの授業形態は、学習者を受け身のバケツ的学び方にしてしまう。学問とは、問い学ぶと書くように、講師が一方的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める（勉強する）ことではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立て、仮説の基にサーチライトをあて、検証（反証）し、新たな仮説構成や発見をしていくプロセスである。

学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を獲得した人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子の他に「遺言子」とでも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩み出すようになった。

しかし、経験から学ぶプロセスから遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見しようとするモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互と自己内のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。心理学の人間理解の仮説の基に、自分自身や他者を見つめなおし、よりよい人間関係を築くために役立つ道具（理論と技法）を体験的に学んでいきます。

### 講義の内容・授業スケジュール

番号は進行順であり、それぞれ1回から3回程度時間が配当されます。学習計画は、進行状況により変更することがあります。

【前期】 [1]学習とは？ 授業方針 [2]エンカウンター（出会いと人間関係づくり） [3]グループ形成と集団規範 [4]コミュニケーションの促進 [5]心とは何か [6]性格検査による自己理解 [7]パーソナリティ理論 [8]無意識の心の働き（精神分析的人格理論） [9]環境を知る働き（感覚・知覚・認知）

【後期】 [10]カウンセリングの理論と技法 [11]心理療法による自己理解と他者理解 [12] 自己肯定の人間関係 [13]学習理論と行動療法 [14]relaxationによる心身の健康回復

### 履修上の留意点

最初の数回の授業で、6人のグループを編成しますので必ず出席してください。授業は、グループごとに決められた場所に着席していただき、毎回グループごとに自筆で出席をとり本人を確認します。

単独・聴講学習ではなく、グループによる協学習習・相互学習・体験学習・発見学習ですので、集団規範を守ることと、全回出席することが求められます。ルールを守れない人と欠席しがちな人は、履修しないでください。

### 成績評価の方法

出席状況と平常の小試験、小レポート、個人発表とグループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。平常点で評価しますので、学年末定期試験及び追・再試験はありません。

### 教科書

使用しません。授業内で紹介する参考図書や下記参考書の指摘する部分などを読み概念学習を進めていただきます。

### 参考書等

蓮見将敏・小山望編著『人間関係の心理学―体験をとおして学ぶ心理学―』（福村出版）

### その他

すべての「心理学」の授業で、心理学科卒業年次生の卒業論文のための調査に協力していただく時間があります。

科目名	生物学【(生態と進化)】	開講	通年	単位	4
配当	経A法A営A選 経B法B営B選				
担当者名	清水 善和				

講義のねらい

地球上の生物はすべて約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後には連続と続いた進化の産物である。どの生物も進化の遺産を負って存在しており、進化を抜きにして生物を理解することはできない。また、この地球上には現在1000万種以上の生物が存在していると推定されている。肉眼では見えないバクテリアから体長20mを超すシロナガスクジラまでさまざまな形、大きさの生物が熱帯から極地、高山から深海まで地球上のあらゆる場所において独自の生活を築いている。そして、これらの生物は孤立して存在するのではなく、互いに密接な関係を保ちながら地球上にさまざまな生態系を形成している。この複雑、多様な姿が生物のもう一つの特徴である。一方、生命の基本的な情報を担う分子である遺伝子の研究が進んで、あらゆる生命現象を遺伝子レベルで統一的に理解することも可能になってきた。そこで、本講義では生物の「進化」、「多様性」、「遺伝子」を3つのキーワードにして、生物の進化や生態の実際を体系的に紹介するとともに、進化や多様性の維持に関するメカニズムについて解説する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1章 遺伝子と進化－我ら生物みな兄弟  
 (1) 生命の歴史性 (2) 遺伝子と生命現象 (3) 進化のメカニズム
- 第2章 40億年の生物進化－偶然と必然が織りなす奇跡  
 (1) 地質年代図 (2) マーグリスの共生説 (3) カンブリアの爆発  
 (4) 生物の上陸 (5) 大量絶滅
- 第3章 系統と分類－名もなき雑草はない  
 (1) リンネ式分類体系 (2) 生物五界説 (3) 種の定義と属性 (4) 分子時計  
 (5) 動物と植物の系統
- 第4章 行動と進化－生き物は誰がために生きるか  
 (1) 動物行動学の歩み (2) 適応度とゲーム理論 (3) 性選択と性比  
 (4) 利他的行動と血縁淘汰 (5) 利己的遺伝子
- 第5章 生物の人口論－産めよ殖えよ地に満てよ  
 (1) 潜在的な増殖率 (2) 密度効果とr-K淘汰 (3) 食う・食われる関係  
 (4) 生命表
- 第6章 共生と競争－出し抜きながら深い仲  
 (1) 種間関係(共生と寄生) (2) 花と昆虫の共進化 (3) 菌根 (4) 擬態
- 第7章 人類の進化－ヒトは唯一の生き残り  
 (1) 霊長類の系統 (2) ヒトの発展段階 (3) ホミニゼーション(ヒト化)  
 (4) 人体の特徴
- 第8章 進化論－進化論も進化する  
 (1) ダーウィン以前 (2) ダーウィン進化論 (3) ネオ・ダーウィニズム  
 (4) 進化論と宗教
- 第9章 生態系－命は無数のつながりの中で  
 (1) 生態系(エコ・システム) (2) 食物連鎖と生物濃縮 (3) 光合成と呼吸  
 (4) 生産諸量
- 第10章 物質の循環－元素はめぐるよどこまでも  
 (1) 物質循環の大原則 (2) 水の循環 (3) 炭素の循環 (4) 窒素の循環  
 (5) 地球環境の形成
- 第11章 植生遷移－裸地もいずれは森林に  
 (1) 遷移のモデル (2) 遷移の実例 (3) 森林の更新
- 第12章 生物多様性－多様な世界に未来あり  
 (1) 3つの多様性 (2) 多様性の尺度 (3) 生物地理区と植生帯  
 (4) 多様性の危機
- 第13章 人為と生物－生物界のグローバリゼーション  
 (1) 里山の生物 (2) 都市化と生物 (3) 帰化種の侵入

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

前期のレポート、後期の試験、通年の出席回数を勘案して評価する。

教科書

講義内容を記述した「web版教科書」(清水執筆)を紹介する。受講者は清水のHPより自由

教科書

にダウンロードして利用できる。

参考書等

「web版教科書」で章ごとに紹介する。

その他

講義で必要な図表は章ごとに1枚のプリントにして配布する。

科目名	生物学【〔生物と環境〕】	開講	通年	単位	4
配当	経A法A営A選 経B法B営B選				
担当者名	中村 <sup>なかむら</sup> 敏枝 <sup>としえ</sup>				

講義のねらい

この地球が誕生したのは46億年の昔といわれる。40億年前にはすでに生命が誕生し、以後それは地球の環境を変えつつ、自らも進化の歴史を歩みながら現在に至った。この長い歴史の中で、種の構成は変わり、あるものは絶滅してしまったけれど、現存する生物は40億年の間、生まれ・成長し・繁殖し・死ぬ ということを営々と繰り返してきた。この生物たちの営みをいろいろな段階（細胞・個体・個体群・生態系）で紹介したい。

後期には、環境問題をとりあげる。科学技術は私たちに快適で豊かな生活をもたらした。しかしその負の部分が近年私たちに脅かしている。その一つである人工化学物質の功罪について考える。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) 生物の生活
  - (1-5) 地球の歴史と生命の起源
  - (6-13) 生態系のしくみ
- (後期) 化学物質の功罪—豊かな生活とそのつけ
  - (14-21) ゴミ処理とダイオキシン汚染
  - (22-23) 水銀汚染と水俣病
  - (24-25) 人工放射性物質汚染

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。

教科書

赤堀他著『生物学—地球に生きるいのちを考える』(宣協社) 2,700円

参考書等

授業時間内に随時紹介します。

その他

授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

科目名	地球科学【(地球の素顔と地球環境問題)】	開講	通年	単位	4
配当	経A法A営A選 経B法B営B選				
担当者名	加藤 潔 <small>かとう きよし</small>				

#### 講義のねらい

最近、地球史にロマンを感じて博物館へ足を運ぶ人や化石や鉱物に興味を持つ人が増えています。自然災害や環境問題に関心を持つ人も増えています。家族を守るためにはある程度の知識が必要です。今後の生活をより豊かにかつ安全に過ごすために、地球科学を学ぶのも一法ではないでしょうか。

本講義の目標は、受講者が地球科学の基礎的な概念を再確認しつつ、新聞やTVによる災害などの報道に対して所見を持てるようにすることです。また、グローバルな視点から諸現象を捉えることができるように教養を養ってもらうことにあります。これまで地学を学ぶ機会があまり無かった受講者にも理解できるように心がけます。いつでも質問して下さい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前半は、地球の誕生、内部構造、プレートテクトニクス、ブルームテクトニクス、火山、地震、自然災害、予知について触れます。後半は、地殻の物質、造山運動、アジア大陸や日本列島の形成環境、生命の歴史、環境問題（地球温暖化など）について触れます。

#### 成績評価の方法

主に期末試験で評価されます。また前・後期に3回ぐらいつつビデオ鑑賞時の簡単な感想文や実習レポートを授業中に提出してもらいます（各5点程度）。

#### 教科書

特に定めない。適宜プリントを配布。

#### 参考書等

『ニューステージ地学図表 新訂』（浜島書店）

#### その他

プロジェクター、ビデオ等を使用します。



科目名	地球科学【(地球の素顔と地球環境問題)】	開講	通年	単位	4
配当	経A法A営A選 経B法B営B選				
担当者名	かとう きよし 加藤 潔				

#### 講義のねらい

最近、地球史にロマンを感じて博物館へ足を運ぶ人や化石や鉱物に興味を持つ人が増えています。自然災害や環境問題に関心を持つ人も増えています。家族を守るためにはある程度の知識が必要です。今後の生活をより豊かにかつ安全に過ごすために、地球科学を学ぶのも一法ではないでしょうか。

本講義の目標は、受講者が地球科学の基礎的な概念を再確認しつつ、新聞やTVによる災害などの報道に対して所見を持てるようにすることです。また、グローバルな視点から諸現象を捉えることができるように教養を養ってもらうことにあります。これまで地学を学ぶ機会があまり無かった受講者にも理解できるように心がけます。いつでも質問して下さい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前半は、地球の誕生、内部構造、プレートテクトニクス、ブルームテクトニクス、火山、地震、自然災害、予知について触れます。後半は、地殻の物質、造山運動、アジア大陸や日本列島の形成環境、生命の歴史、環境問題（地球温暖化など）について触れます。

#### 成績評価の方法

主に期末試験で評価されます。また、前・後期に3回ぐらいずつ、ビデオ鑑賞時の簡単な感想文や実習レポートを授業中に提出してもらいます（各5点程度）。

#### 教科書

特に定めません。適宜プリントを配布。

#### 参考書等

『ニューステージ地学図表 新訂』（浜島書店）

#### その他

プロジェクター、ビデオ等を使用します。

科目名	自然環境論【(宇宙から見た地球環境)】	開講	通年	単位	4
配当	経A法A営A選 経B法B営B選				
担当者名	篠原 <sup>しのはら</sup> 正雄 <sup>まさお</sup>				

#### 講義のねらい

現代の天文学と惑星科学の成果の上に立ち、宇宙を視点に地球の自然環境について講義します。

多くの要因が複雑に絡みあう地球規模の環境問題について、原因や対策がすでにわかっているとは到底言えません。しかし、地球環境の基礎を形作る事柄についての研究は着実に進んでいます。この講義を通して個別の環境問題の背後にある地球環境システムについて理解し、より深いところから地球環境を考えられるようになっていただきたいと思います。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. 宇宙と地球環境  
自然の階層構造 宇宙137億年の歴史 地球46億年の歴史 地球の進化と地球環境の形成
2. 地球環境の変動  
宇宙環境と地球環境変動 地球システムと地球環境変動 人類と地球環境変動
3. 地球環境問題  
オゾン層破壊問題 地球温暖化問題 エネルギー その他の環境問題
4. 宇宙と地球の未来  
文明の未来 地球と宇宙の未来 SETI (地球外文明探査)

#### 成績評価の方法

学年末に行う筆記試験の結果により評価します。平常点も考慮します。

#### 教科書

木下紀正・八田明夫著『地球と環境の科学』（東京教学社）2,300円＋税

#### 参考書等

講義の中で適宜紹介します。

#### その他

「宇宙」に関する映像を使うことがあります。教科書外の事柄については適宜プリント等を配布します。

科目名	自然環境論【(生命と環境)】	開講	通年	単位	4
配当	経A法A営A選 経B法B営B選				
担当者名	やまがた たけし 山縣 毅				

#### 講義のねらい

18世紀後半から始まった産業革命以降、産業文明の発展により、地球規模の環境変化が自然の復元能力を超えて急激に進んでいます。その変化は、人類の生存自体にも深刻な影響を及ぼすようになってきました。本講義では、地球科学的立場から、地球環境の諸問題を解説し、人間活動が地球環境に与える影響、自然と人間の関わりについて考えていくことを目標としています。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 〔地球表層の環境〕
- 1. 大気構造とオゾン層
- 2. 気候の決定要因
- 3. 生物生存条件としての地球磁場
- 〔人間活動による環境変化〕
- 1. 公害問題の変遷
- 2. 地球温暖化とその要因
- 3. 大気汚染
- 4. 酸性雨
- 5. 光化学スモッグ
- 6. 海洋汚染
- 7. 資源とエネルギー
- 〔自然災害〕：
- 1. 気候変動
- 2. 地震とその災害
- 3. 火山とその災害

#### 成績評価の方法

成績は、定期試験とレポートにて評価します。

#### 教科書

特になし。

#### 参考書等

講義中に紹介します。

#### その他

講義にて、資料プリントを配布します。

科目名	情報数学【〔情報と論理〕】	開講	通年	単位	4
配当	経A法A営A選 経B法B営B選				
担当者名	おざわ まこと 小沢 誠				

**講義のねらい** コンピュータサイエンスを学ぶ上で必要な数学を身に着けることを目標とする。

**講義の内容・授業スケジュール** 教科書に従って以下の項目を解説する。

1. 集合・・・記号論理、写像、関係
2. ブール代数・・・二進数、電子回路
3. ベクトル・・・ベクトルの演算、ベクトル空間
4. 行列と行列式・・・連立一次方程式、行列の演算、行列式

また、必要に応じてグラフ理論についても解説する。

**履修上の留意点** 毎回必ず出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

**成績評価の方法** 前期と後期の期末試験の結果で評価する。

**教科書** 野崎昭弘／田中公治 共著『情報数学入門』サイエンス社  
1173円（税込）ISBN4-7819-0171-9

**参考書等** 適宜紹介する。

**その他** 講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

### 3. 外 国 語 科 目

### 3. 外国語科目

〔英 語〕						
科目名	曜日・時間	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
英語IA	火7	営B1年	通年	2	尾形 重政	653
英語IA	火7	営B1年	通年	2	西田 義和	653
英語IA	月6	営B1年	通年	2	落合 和昭	654
英語IA	月6	営B1年	通年	2	丸小 哲雄	654
英語IA 【基礎英語特別クラス】	金6	営B1年	通年	2	樋渡 俊光	655
英語IB	火6	営B1年	通年	2	佐々木 隆	656
英語IB	火6	営B1年	通年	2	今井 夏彦	656
英語IB	金7	営B1年	通年	2	樋渡 俊光	657
英語IB	金7	営B1年	通年	2	萩野 一成	657
英語IB 【基礎英語特別クラス】	木7	営B1年	通年	2	杉本 誠	658
英語IA〔再クラス〕	月7	経B法B営B234年	通年	2	高橋 寛	658
英語IB〔再クラス〕	月7	経B法B営B234年	通年	2	高橋 寛	
英語IA〔再クラス〕	水6	経B法B営B234年	通年	2	熊沢 和明	659
英語IB〔再クラス〕	水6	経B法B営B234年	通年	2	熊沢 和明	
英語IA〔再クラス〕	水7	経B法B営B234年	通年	2	熊沢 和明	659
英語IB〔再クラス〕	水7	経B法B営B234年	通年	2	熊沢 和明	
英語IA〔再クラス〕	木7	経B法B営B234年	通年	2	町田 成男	660
英語IB〔再クラス〕	木7	経B法B営B234年	通年	2	町田 成男	
英語IIA	月6	営B2年	通年	2	芝田 興太郎	661
英語IIA	月6	営B2年	通年	2	高橋 寛	661
英語IIA	火6	営B2年	通年	2	西田 義和	662
英語IIA	火6	営B2年	通年	2	萩原 輝	662
英語IIB	月7	営B2年	通年	2	落合 和昭	663
英語IIB	月7	営B2年	通年	2	芝田 興太郎	663
英語IIB	金6	営B2年	通年	2	狩野 晃一	664
英語IIB	金6	営B2年	通年	2	笹倉 貞夫	664
英語IIA〔再クラス〕	火6	経B法B営B34年	通年	2	尾形 重政	665
英語IIB〔再クラス〕	火6	経B法B営B34年	通年	2	尾形 重政	
英語IIA〔再クラス〕	木6	経B法B営B34年	通年	2	岸本 茂和	665
英語IIB〔再クラス〕	木6	経B法B営B34年	通年	2	岸本 茂和	
英語IIA〔再クラス〕	土5	経B法B営B34年	通年	2	飯沼 好永	666
英語IIB〔再クラス〕	土5	経B法B営B34年	通年	2	飯沼 好永	
英語IIA〔再クラス〕	土5	経B法B営B34年	通年	2	本間 俊一	666
英語IIB〔再クラス〕	土5	経B法B営B34年	通年	2	本間 俊一	

〔ドイツ語〕

科目名	曜日・時限	担当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
ドイツ語IA	火7	営B1年	通年	2	清水 修	667
ドイツ語IB	金7	営B1年	通年	2	篠原 敏昭	667
ドイツ語IA〔再クラス〕	土4	経B法B営B234年	通年	2	本橋 右京	668
ドイツ語IB〔再クラス〕	土4	経B法B営B234年	通年	2	本橋 右京	
ドイツ語IIA	火6	営B2年	通年	2	清水 修	668
ドイツ語IIB	金6	営B2年	通年	2	篠原 敏昭	669
ドイツ語IIA〔再クラス〕	土3	経B法B営B34年	通年	2	本橋 右京	669
ドイツ語IIB〔再クラス〕	土3	経B法B営B34年	通年	2	本橋 右京	

〔フランス語〕

科目名	曜日・時限	担当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
フランス語IA	火7	営B1年	通年	2	高橋 明美	670
フランス語IB	金7	営B1年	通年	2	木下 雄介	670
フランス語IA〔再クラス〕	土4	経B法B営B234年	通年	2	長谷川 光明	671
フランス語IB〔再クラス〕	土4	経B法B営B234年	通年	2	長谷川 光明	
フランス語IIA	火6	営B2年	通年	2	高橋 明美	671
フランス語IIB	金6	営B2年	通年	2	木下 雄介	672
フランス語IIA〔再クラス〕	土3	経B法B営B34年	通年	2	長谷川 光明	672
フランス語IIB〔再クラス〕	土3	経B法B営B34年	通年	2	長谷川 光明	

〔中国語〕

科目名	曜日・時限	担当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
中国語IA	火7	営B1年	通年	2	塩旗 伸一郎	673
中国語IB	金7	営B1年	通年	2	王 聡	
中国語IA〔再クラス〕	土4	経B法B営B234年	通年	2	大久保 明男	673
中国語IB〔再クラス〕	土4	経B法B営B234年	通年	2	大久保 明男	
中国語IA〔再クラス〕	土3	経B法B営B234年	通年	2	曹 泰和	674
中国語IB〔再クラス〕	土3	経B法B営B234年	通年	2	曹 泰和	
中国語IIA	火6	営B2年	通年	2	秋元 翼	674
中国語IIB	金6	営B2年	通年	2	王 聡	675
中国語IIA〔再クラス〕	土3	経B法B営B34年	通年	2	弘兼 加奈子	675
中国語IIB〔再クラス〕	土3	経B法B営B34年	通年	2	弘兼 加奈子	

〔スペイン語〕

科目名	曜日・時限	担当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
スペイン語IA	火7	営B1年	通年	2	荻野 雅司	676
スペイン語IB	金7	営B1年	通年	2	中山 直次	676
スペイン語IA〔再クラス〕	土4	経B法B営B234年	通年	2	栗林 ゆき絵	677
スペイン語IB〔再クラス〕	土4	経B法B営B234年	通年	2	栗林 ゆき絵	
スペイン語IIA	火6	営B2年	通年	2	荻野 雅司	677
スペイン語IIB	金6	営B2年	通年	2	中山 直次	678
スペイン語IIA〔再クラス〕	土3	経B法B営B34年	通年	2	栗林 ゆき絵	678
スペイン語IIB〔再クラス〕	土3	経B法B営B34年	通年	2	栗林 ゆき絵	

## 〔ロシア語〕

科目名	曜日・時限	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
ロシア語IA	火 7	営B1年	通年	2	廣田 英靖	679
ロシア語IB	金 7	営B1年	通年	2	廣田 英靖	680
ロシア語IA〔再クラス〕	土 4	経B法B 営B234年	通年	2	杉山 秀子 廣田 英靖	681
ロシア語IB〔再クラス〕	土 4	経B法B 営B234年	通年	2	杉山 秀子 廣田 英靖	
ロシア語IIA	火 6	営B2年	通年	2	廣田 英靖	681
ロシア語IIB	金 6	営B2年	通年	2	廣田 英靖	682
ロシア語IIA〔再クラス〕	土 3	経B法B 営B34年	通年	2	杉山 秀子 廣田 英靖	682
ロシア語IIB〔再クラス〕	土 3	経B法B 営B34年	通年	2	杉山 秀子 廣田 英靖	

## 《選択科目》

科目名	曜日・時限	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
英会話I	金 6	経B法B 営B1234選	通年	2	ロビン、G.F.	683
英会話II	金 7	経B法B 営B選	通年	2	ロビン、G.F.	683
英語LLI	火 7	経B法B 営B1234選	通年	2	川崎 浩太郎	684
英語LLII	木 6	経B法B 営B選	通年	2	林 明人	684



# 英 語 I A

## 〈英語 I A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのびます。文章表現の場合、文から段落へ、会話表現の場合、日常基本表現から、多様な会話表現の理解と運用能力を目指します。

科目名	英語IA	開講	通年	単位	2
配当	営B1年				
担当者名	おがた しげまさ 尾形 重政				

### 講義のねらい

入学時の英語力を基に、英語による伝達能力の獲得を目指します。特に会話表現では、日常基本表現からダイアログまで幅広く学びます。

### 講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み進めると同時に、英字新聞記事や英語検定問題等も適宜使用します。

### 履修上の留意点

予習して授業に臨むこと。辞書を持参すること。

### 成績評価の方法

授業出席率と、前期・後期の試験結果に、積極的な授業参加等を勘案して評価します。

### 教科書

Focus on Communication 1 朝日出版社 ISBN978-4-255-15442-8  
Focus on Communication 2 朝日出版社 ISBN978-4-255-15443-5

科目名	英語IA	開講	通年	単位	2
配当	営B1年				
担当者名	にしだ よしかず 西田 義和				

### 講義のねらい

これまで得た知識を踏まえながら、さらに多くの練習問題を行うことによってより高度な英語の表現力や理解力等を高める指導を行い、基本的な表現から、より効果的な表現へと一段とステップアップすることを目標とする。

### 講義の内容・授業スケジュール

前期・後期を通じて可能な限り、多くの学生にやってもらいたいと思っている。学生諸君は毎時間必ず訳読なり質問なりの指名があると思ってください。

### 履修上の留意点

予習や復習は必ずして、授業には積極的に参加してください。また、辞書は必ず持参してください。

### 成績評価の方法

出席状況、授業態度、発表の内容、テスト等を総合して評価を行う。なお、単位取得は三分の二以上の出席を前提とする。

### 教科書

現在ではまだ未定ですので、四月の開講時に指示する。

科目名	英語IA	開講	通年	単位	2
配当	営B1年				
担当者名	おちあい かずあき 落合 和昭				

#### 講義のねらい

このクラスのレベルは英語の中級（英検準二級、二級、準一級）程度とし、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義は、主として、四段階からなる。第一段階として、ヒヤリングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は書き取りをする。第三段階はヒヤリングのなかで使用されている慣用表現の意味を、テキストを通して、確認する。第四段階は学生に登場人物になってもらって、その会話を再現する（一人の場合と、対話形式の場合がある）。

#### 履修上の留意点

授業は徹底した演習形式を取り、学生の積極的な参加を前提にして、進める。

#### 成績評価の方法

前期試験は20%、後期試験20%、課題・授業中の発表・小テスト等は60%（課題は年間約10回前後提出。授業中の発表等に関しては、全員が一回の授業に最低一回は当てるように心がける）。出席率は平常授業（前期・後期試験は除く）3分の2を越えなければ、成績は「不合格」とする。また、遅刻2回で、欠席1回とし、30分以上の遅刻は欠席とする。

#### 教科書

- 『リスニング教材－アメリカ25都市めぐり』 鶴見書店 1450円  
ISBN4-553-0109-2 C1082
- 『日常英語ライティング入門』 成美堂 1800円  
ISBN4-7919-1041-9 C1082

### 外国語

科目名	英語IA	開講	通年	単位	2
配当	営B1年				
担当者名	まるこ てつお 丸小 哲雄				

#### 講義のねらい

環境問題では先進国である日本。読みと表現の総合。社会現象の捉え方とその分析と表現力に力点を置き、語彙を増やし、英語のヴァリエーション、パラグラフの捉え方・作成の仕方に留意し、速読の要領を捉えるように目指します。

#### 講義の内容・授業スケジュール

ウォーミングアップとしてリスニング・タイムとし、そしてリーディングとして環境問題を扱いつつ、着実なライティング力も養っていきます。

#### 履修上の留意点

質問や発表は評価の対象となりますので、予習・復習が前提条件です。私語は厳禁。

#### 成績評価の方法

出席、平常テスト、レポート作成課題、前期・後期の試験などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価します。

#### 教科書

- ・リスニングとリーディング・テキスト
  1. Your World : Nature, Health, and Lifestyles 英宝社
  2. TOEIC Test Fundamentals 南雲堂 ISBN978-4-523-17533-9

#### 参考書等

参考書を随時指示し、日常英語のプリントや時事英語ニュースのコピーも適宜配布します。

科目名	英語IA 【(基礎英語特別クラス)】	開講	通年	単位	2
配当	営B1年				
担当者名	ひわたろ しゆんこう 樋渡 俊光				

#### 講義のねらい

入学時の英語力を基礎として英語の運用能力の向上をめざす。文章表現の場合、英語文章を形成するパターンの徹底的に理解し、運用できることを目標にする。又会話表現に関しては、多様な会話表現の理解と運用能力の向上をはかる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

教材を中心に、色々な場面に応じた単語、文章を暗記しそれぞれの単元を通して国際人としての英語力を身につける。

#### 履修上の留意点

前単元の暗記・辞書持参

#### 成績評価の方法

前後期試験・レポート提出により総合的に評価を行う。

#### 教科書

Listening Workout for the TOEIC Test(Travel English) ¥1,260-  
ISBN4-7773-6035-0  
(マクミラン・ランゲッチハウス社)

# 英 語 I B

## 〈英語 I B の授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。読解力の場合、精読に加えて段落、章などの大意が把握できること、聴解力の場合、大意が把握できることを目指します。

科目名	英語 I B	開講	通年	単位	2
配当	営 B1 年				
担当者名	ささき たかし 佐々木 隆				

講義のねらい	英文を「聞く」「読む」の分野を中心に引き上げ、さらなる英語運用能力を高める。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを読みすすめると同時に、英文による様々なものを取り扱う。
履修上の留意点	予習はしてくること。辞書は必携。
成績評価の方法	テストの結果を含め、総合的に評価をします。
教科書	「世界事情拝見」南雲堂 ¥1500+税 ISBN 523-17525-X C0082

科目名	英語 I B	開講	通年	単位	2
配当	営 B1 年				
担当者名	いまい なつひこ 今井 夏彦				

講義のねらい	アメリカの東海岸に関するエッセイを通して英語の読解力を養います。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを精読すると同時に、各章に関連するアメリカの歴史や文化の解説をし、簡単なリスニングの練習もします。
履修上の留意点	授業は予習をしてくること。
成績評価の方法	日常点を重視し、前期と後期の試験の結果を入れて総合的に評価をします。
教科書	『アメリカ東海岸探訪』(成美堂) 1,700円 ISBN4-7919-4041-5

科目名	英語IB	開講	通年	単位	2
担当	営B1年				
担当者名	ひわたろ 樋渡 俊光				

- 講義のねらい** 日本国内・海外の新時事を英文を通して学ぶことを目標とする。
- 講義の内容・授業スケジュール** 教材を通して、英文の構成を学び、英文理解力の向上を図る。又ときおりの基礎的 Business 英語に親しむ機会をもつ。
- 履修上の留意点** 授業は予習に重点をおく。
- 成績評価の方法** 前期、後期の試験の結果とレポート提出等にて総合的に評価する。
- 教科書** 『The World at a Glance』（南雲堂）¥1,500＋税 ISBN4-523-17525-X

科目名	英語IB	開講	通年	単位	2
担当	営B1年				
担当者名	おきの かずしげ 荻野 一成				

- 講義のねらい** 中学高校時代に英語で苦労した人は多いが、まさしくそういう「辛酸をなめた」人に、英文の内容が分かった時の喜びを味わってもらうためのクラスである。
- 講義の内容・授業スケジュール** 前期は、パンフレットや広告など様々な媒体を材料に、いかに日本の日常生活を英語抜きで過ごせないかを実感してもらい、素早く必要な情報をつかむコツを習得する。後期は実践として短編ミステリーを読み通す。
- 履修上の留意点** 予復習はもとより、関心を持って積極的に授業参加する姿勢が求められる。
- 成績評価の方法** 平常授業時の出席を重視する。その上で小プレゼンテーションや前後期のレポート・試験等を総合的に評価する。
- 教科書** 開講時に指示する。
- 参考書等** 辞書必携（電子辞書含む）
- その他** 主に講義形式だが、小グループによる活動も多い。

科目名	英語ⅡB【〔基礎英語特別クラス〕】	開講	通年	単位	2
配当	営B1年				
担当者名	すぎもと まこと 杉本 誠				

講義のねらい

日常生活の会話を題材としたテキストを使用して、各場面に合う表現練習をし、使える英語が身につく、英語をコミュニケーションの手段として積極的に活用できるようにするのが目的である。グローバル化および情報化の時代の中で、できるだけ多くの記事を読み、大意を把握し、英語の運用能力を高めることをねらいとします。

講義の内容・  
授業スケジュール

学生生活、ホームステイ、ドライブ、買い物など、若者の生活に密着したテーマをダイアログで紹介し、内容把握、語法、リスニングなどの練習問題を通じて、総合的な英語力を身につけます。

履修上の留意点

かならず毎時間の予習が必要である。

成績評価の方法

前・後期定期試験、小テスト、出席率などを総合して評価する。

教科書

『TOEIC Test Fundamentals』（南雲堂）1,300円 ISBN978-4-523-17533-9

科目名	英語ⅡA〔再クラス〕・英語ⅡB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	経B法B営B234年				
担当者名	たかはし ひろし 高橋 寛				

講義のねらい

英会話でよく用いられる常套句を学ぶとともに、相手に正確に情報を伝えるための正しい文法知識と語彙力を身につける。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストを中心に英会話、英作文の練習としていきます。また併せてリスニングの練習も行います。

履修上の留意点

テキストは必ず購入すること。また毎回英和／和英辞書を持参のこと。

成績評価の方法

1年に2回の定期試験の得点と出席率をもとに評価します。

教科書

『New Activator』（金星堂）ISBN 978-4-7647-3844-7

科目名	英語ⅠA〔再クラス〕・英語ⅠB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
担当	経B法B営B234年				
担当者名	くまさわ かずあき 熊沢 和明				

講義のねらい 英語の基礎的な語学力を確認し、能力を引き伸ばすことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール 平易な総合学習教科書を使い、読み、書き、聞く、話す能力をバランスよく伸ばすように、ペアワークなどの実習形式を取り入れた授業とします。

履修上の留意点 英語が苦手でも積極的に授業参加する姿勢を評価します。

成績評価の方法 出席、授業態度などの平常点を重視します。年間12回の単語テストを実施します。評価は総合評価とします。  
PCおよび携帯メールを利用した補習を行います。

教科書 『Why Is That?』（金星堂）

科目名	英語ⅠA〔再クラス〕・英語ⅠB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
担当	経B法B営B234年				
担当者名	くまさわ かずあき 熊沢 和明				

講義のねらい 英語の基礎的な語学力を確認し、能力を引き伸ばすことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール 平易な総合学習教科書を使い、読み、書き、聞く、話す能力をバランスよく伸ばすように、ペアワークなどの実習形式を取り入れた授業とします。

履修上の留意点 英語が苦手でも積極的に授業参加する姿勢を評価します。

成績評価の方法 出席、授業態度などの平常点を重視します。年間12回の単語テストを実施します。評価は総合評価とします。  
PCおよび携帯メールを利用した補習を行います。

教科書 『Why Is That?』（金星堂）

科目名	英語ⅠA〔再クラス〕・英語ⅠB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	経B法B営B234年				
担当者名	町田 成男				

講義のねらい	英文を通じて様々な教養を身につける。
講義の内容・授業スケジュール	入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をめざす。また、スピード・リーディングの基礎を身につける。
履修上の留意点	英和辞典は必ず持参の事。
成績評価の方法	出席＋発表＋前期後期の試験の総合評価
教科書	未定



# 英 語 II A

## 〈英語 II A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I A を基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。文章表現の場合、段落から自由作文へ、会話表現の場合、ダイアログからディスカッションを目指します。

科目名	英語II A	開講	通年	単位	2
配当	営B2年				
担当者名	芝田 興太郎 <small>しばた こうたろう</small>				

### 講義のねらい

基本文法・語法をもう一度確認しながら、教科書に従ってのびのびと英文を書く能力を養いたい。

### 講義の内容・授業スケジュール

①随時配布するプリントを基にしたドリル ②教科書におおむね従いながら、作業と活動にとりくむ。

### 履修上の留意点

予習がすべて。辞書必携。礼儀作法重視。

### 成績評価の方法

①すべての提出物 ②小テスト ③出席率を基に評価する。

### 教科書

大井恭子他著『WRITING POWER』研究社 ¥1800

科目名	英語II A	開講	通年	単位	2
配当	営B2年				
担当者名	高橋 寛 <small>たかはし ひろし</small>				

### 講義のねらい

英語を用いて正しい情報伝達と情報収集ができる英語力を身につけることを目指します。

### 講義の内容・授業スケジュール

テキストを中心に英会話、英作文の練習としていきます。また併せてリスニングの練習も行います。

### 履修上の留意点

テキストは必ず購入すること。また毎回英和／和英辞書を持参のこと。

### 成績評価の方法

1年に2回の定期試験の得点と出席率をもとに評価します。

### 教科書

『New Activator』(金星堂) ISBN978-4-7647-3844-7

科目名	英語II A	開講	通年	単位	2
配当	営B2年				
担当者名	にしだ よしかず 西田 義和				

講義のねらい

英語学習の基本的な方法は、英文の内容を正しく読み、理解することである。それに加えて英文をある程度の速度で読めるようになることも大切なことである。この授業ではこのようなことを踏まえて、総合英語的な教材を選び、英文和訳、和文英訳等を行うことにより、さらなる英語力の向上を目指すつもりである。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期・後期を通じて可能な限り、多くの学生にやってもらいたいと思っている。学生諸君は毎時間必ず訳読なり質問なりの指名があると思ってください。

履修上の留意点

予習や復習は必ずして、授業には積極的に参加してください。また、辞書は必ず持参してください。

成績評価の方法

出席状況、授業態度、発表の内容、テスト等を総合して評価を行う。なお、単位取得は三分の二以上の出席を前提とする。

教科書

現在ではまだ未定ですので、四月の開講時に指示する。

科目名	英語II A	開講	通年	単位	2
配当	営B2年				
担当者名	はぎわら てる 萩原 輝				

講義のねらい

英語で自分の意見が自由に表現出来る能力を身につける。

講義の内容・  
授業スケジュール

毎時間、その日に読んだテキストの本文に対する意見を、英語で表現する。

履修上の留意点

大学生としてふさわしい辞書を持ってくること。

成績評価の方法

授業態度、出席、前期、後期の試験等の総合評価

教科書

Jim Knudsen 著『Who Said That?』ISBN4-523-17292-7 C0082

# 英 語 II B

## 〈英語 II B の授業内容と履修上の留意点〉

Speed Reading and Intensive Reading : I Bを基礎として、できるだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。また、より高度な英文を的確に理解するための構文も学びます。

科目名	英語II B	開講	通年	単位	2
配当	営B2年				
担当者名	おちあい かづみ 落合 和昭				

### 講義のねらい

このクラスのレベルは英語の中級（英検準二級、二級、準一級）程度とし、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを目標とする。現代口語英語の文章が読めるだけでなく、必ず、それを運用できるようにする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。

### 講義の内容・授業スケジュール

講義は、主として、四段階からなる。第一段階として、ヒヤリングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は書き取りをする。第三段階はヒヤリングのなかで使用されている慣用表現の意味を、テキストを通して、確認する。第四段階は学生に登場人物になってもらって、その会話を再現する（一人の場合と、対話形式の場合がある）。

### 履修上の留意点

授業は徹底した演習形式を取り、学生の積極的な参加を前提にして、進める。

### 成績評価の方法

前期試験は20%、後期試験20%、課題・授業中の発表・小テスト等は60%（課題は年間約10回前後提出。授業中の発表等に関しては、全員が一回の授業に最低一回は当てるように心がける）。出席率は平常授業（前期・後期試験は除く）3分の2を越えなければ、成績は「不合格」とする。また、遅刻2回で、欠席1回とし、30分以上の遅刻は欠席とする。

### 教科書

- 『TOEICテストのための文法戦略』 南雲堂 1600円
- 『オフィス・コミュニケーション入門』 成美堂 1800円

外国語

科目名	英語II B	開講	通年	単位	2
配当	営B2年				
担当者名	しばた こうたろう 芝田 興太郎				

### 講義のねらい

言いたいこと、思っていることをのびのびと書いてみよう。英語で発表してみよう。表現しようとする意欲と表現できた達成感を育ててゆきたい。

### 講義の内容・授業スケジュール

- 幾つかのテーマの中から自由に選択し、年間3～4篇のESSAY（自由作文）を書き上げる。
- 併行して和文英訳演習プリントを継続的に使用。基礎力を増進する。

### 履修上の留意点

表現しようとする意欲を最重視する。欠席、遅刻、駒澤大学学生にふさわしくないマナーには厳しく対処するつもり。辞書必携。

### 成績評価の方法

定期試験は行わず、ESSAY、小テスト、平常の積極性、出席率を総合的に判断する。

### 教科書

テキスト、参考書は使わない予定。

科目名	英語II B	開講	通年	単位	2
配当	営B2年				
担当者名	かのう こういち 狩野 晃一				

講義のねらい

IBを基礎としてより高度な文章に触れる。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は文法の総点検につとめ、後期はそれを土台に文章読解へと進む。

履修上の留意点

辞書を持参すること。紙製のものがよい。当然、予習復習を行う。特に後者に重点を置くこと。

成績評価の方法

3分の2以上の出席が必須。授業態度などを含め総合的に判断する。

教科書

未定。

科目名	英語II B	開講	通年	単位	2
配当	営B2年				
担当者名	ささくら さだお 笹倉 貞夫				

講義のねらい

近年ますます国際化していく現代社会に即応しうような国際感覚の育成とともに英語の実践的な運用能力の伸長をめざす。

講義の内容・  
授業スケジュール

平易な現代アメリカ英語で書かれたテキストを用いて、英語による文章表現を学ぶ。テープ教材併用。

履修上の留意点

予習重視。

成績評価の方法

前・後期末テストの他、場合によっては、レポートを提出していただき、出席状況も勘案しながら総合的に最終評価を出す。

教科書

M.Vogel『珍しい事実・記録のビッグブック』(太陽社) ¥1,400

科目名	英語IIA〔再クラス〕・英語IIB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
担当	経B法B営B34年				
担当者名	おがた しげまさ 尾形 重政				

講義のねらい

入学時の英語力を基に、英語による伝達能力の獲得を目指します。特に会話表現では、日常基本表現からダイアログまで幅広く学びます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み進めると同時に、英字新聞記事や英語検定問題等も適宜使用します。

履修上の留意点

予習して授業に臨むこと。辞書を持参すること。

成績評価の方法

授業出席率と、前期・後期の試験結果に、積極的な授業参加等を勘案して評価します。

教科書

『Focus on Communication 1』(朝日出版社) ISBN978-4-255-15442-8  
『Focus on Communication 2』(朝日出版社) ISBN978-4-255-15443-5

科目名	英語IIA〔再クラス〕・英語IIB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
担当	経B法B営B34年				
担当者名	さしなと しげかず 岸本 茂和				

講義のねらい

基本英語の向上、とくに読解力を伸ばすことを意図する。やさしいパラグラフリーディングをとおして基礎学力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの本文および問題はそれぞれ受講者が訳読し解答をだしてゆくことにする。1年間でできるだけの章をこなしてゆきたい。

履修上の留意点

授業にはかならず英和辞書をもってくる。電子辞書も可。予習は必須。

成績評価の方法

出席は毎授業とる。試験は前期・後期の2回。全授業日数の3分の1以上欠席の場合は「不可」とする。

教科書

『イングリッシュ・ワールド』(朝日出版社) 1,700円

科目名	英語IIA〔再クラス〕・英語IIB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	経B法B営B34年				
担当者名	飯沼 好永 <small>いひぬま よしなが</small>				

#### 講義のねらい

様々な英語の文章を読みながら、より速く、正確に内容を把握する力を養うことを目指します。また、リーディングの英文は、一種のライティングのお手本でもありますので、ライティングに活かせるよう、基本的な文法事項も確認していきます。

#### 履修上の留意点

受け身の姿勢では自己の英語力を向上させることは困難ですから、積極的に授業に参加して下さい。そのためには予習をしっかりと行うよう心がけて下さい。

#### 成績評価の方法

出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行います。

#### 教科書

「21世紀の企業—成功の舞台裏 Leading Companies in the 21st Century」(松柏社)  
¥1,900 ISBN 4-88198-566-3

科目名	英語IIA〔再クラス〕・英語IIB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	経B法B営B34年				
担当者名	本間 俊一 <small>ほんま としかず</small>				

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。

#### 履修上の留意点

毎回、作品の全体を視野にいれながら、細部に注目し、各自が一部を責任もって発表する予定。  
パソコン・ネットワークを利用した、英語自習、研究の発展、相互のコミュニケーションに及ぶつもりである。

#### 成績評価の方法

前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

#### 教科書

『愛の諸相』(朝日出版社) 1,700円 ISBN4-255-15154-7

## 〔ドイツ語〕

科目名	ドイツ語IA	開講	通年	単位	2
配当	営B1年				
担当者名	清水 <sup>しみず おさむ</sup> 修				

### 講義のねらい

ドイツ語でのコミュニケーションのために必要な文法を、特に日本語および英語と比較対照させながら理解し、身に付け、また基礎的な語彙を習得する。

### 講義の内容・授業スケジュール

ドイツ語でコミュニケーションするためには何が重要で、何が重要でないかを明確に示しながら授業を進めていきます。

また、ほとんどの学生が大学生になって初めて第二外国語としてドイツ語を学び始めるということを考慮して、常に「なぜ」という問題意識を提起しながら授業を進めていきます。

そこでは当然、日本語や英語との比較対照が問題になり、これが日本語や英語への理解をさらに深める契機になればと考えています。

### 履修上の留意点

必ずしも教科書に沿った授業はしません。また、常に参加者の意欲と関心が反映される授業を心がけますので、進度は予測できません。

したがって、やむを得ず欠席した時は必ず自分の責任で補うのが原則ですが、自分で解決できないときは必ず教師に相談するようにしてください。

### 成績評価の方法

普段の授業への参加と貢献、および年に2回実施する予定の試験等で総合的に判断します。

### 教科書

早川東三『完全ドイツ文法(改訂版)』(朝日出版社)

### 参考書等

ヴォルフガング・シュレヒト『独検突破単語集』(三修社)

科目名	ドイツ語IB	開講	通年	単位	2
配当	営B1年				
担当者名	篠原 <sup>しのはら としあき</sup> 敏昭				

### 講義のねらい

簡単なドイツ語を耳で聞き、目で見、口に出して言うことを通じて、語彙や文法の基礎的な知識とドイツ語による表現の習得をねらいとしています。

### 講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて授業をおこないます。ドイツ人の生活や考え方などもテキストをとおして学んでいきたいと思っています。

### 履修上の留意点

欠かさず出席すること、予習・課題を確実にやってくること、辞書を必ずもってくること。

### 成績評価の方法

毎回の授業における各人の取組みを重視したいと思っています。予習や宿題の消化が大事になるでしょう。小テスト、期末試験、学年末試験などを含めて総合的に評価します。

### 教科書

『モデル1 問題発見のドイツ語(改訂版)』(三修社) 2,600円

### 参考書等

辞書・参考書は授業の中で指示します。

### その他

ビデオを活用した授業をおこなう予定です。

科目名	ドイツ語IA〔再クラス〕・ドイツ語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	経B法B営B234年				
担当者名	もとほし うきよ 本橋 右京				

講義のねらい

初級文法の配列に則った読章を読み、基本的な語彙やドイツ語の構文の特徴を習得して行きます。

講義の内容・授業スケジュール

初級文法に準拠して、文法項目を確認しながら学んで行きます。基本表現はできるだけ覚えましょう。

履修上の留意点

テキストは丁寧に無理なく、また興味深く作られています。しっかり予習・復習して授業に臨んでください。授業中の発表や表現練習など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期・後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

春日・松澤 『レッカー！レッカー！レッカー！ おいしく学ぶドイツ語』（郁文堂）

科目名	ドイツ語IIA	開講	通年	単位	2
配当	営B2年				
担当者名	しみず おさむ 清水 修				

講義のねらい

ドイツ語でのコミュニケーション能力の養成をめざします。基本的な会話能力と、辞書の助けを借りて簡単な文章が読めるようになるのが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

最初は特に、基礎的な能力の復習に力を入れます。受講者の習熟度、意欲に合わせて授業を進めて行きます。

履修上の留意点

ドイツの文化を知り、それについて考えるということは、日本の文化を知り、それについて批判的に考えるということです。受講者には自分自身の意見を持つこと、主体的に考えるという態度を期待します。

成績評価の方法

主に平常点で評価します。

教科書

プリントを用意します。

参考書等

授業中に指示します。



科目名	ドイツ語II B	開講	通年	単位	2
配当	営B2年				
担当者名	篠原 敏昭 <small>しのはら としあき</small>				

講義のねらい

1年次で習った基礎的なことからをもとに、少し進んだレベルのドイツ語の理解、ドイツ語による表現ができるようになることをめざします。

講義の内容・  
授業スケジュール

下記のテキストを用いて授業をおこないますが、ドイツ人の考え方などもテキストをとおしで学んでいきたいと思っています。ドイツ語検定試験（4級）の受験も勧めています。後期には検定試験対策の教材も授業に採り入れる予定です。

履修上の留意点

予習を必ずやってくること、欠かさず出席すること、辞書を必ずもってくること。

成績評価の方法

毎回の授業における各人の取組みを重視したいと思っています。予習や宿題の消化が大事になります。小テスト、期末試験、学年末試験などを含めて総合的に評価します。ドイツ語検定試験合格者および受験者には相応の評価の追加を行う予定です。

教科書

『CD付きドイツ人を知る9章+1』（三修社）2,500円

参考書等

授業の中で指示します。

その他

CDを活用する授業をおこなう予定です。

科目名	ドイツ語II A〔再クラス〕・ドイツ語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	経B法B営B34年				
担当者名	本橋 右京 <small>もとはし うきょう</small>				

講義のねらい

初級文法の配列に則った読章を読み、基本的な語彙やドイツ語の構文の特徴を習得して行きます。

講義の内容・  
授業スケジュール

初級文法に準拠して、文法項目を確認しながら学んで行きます。基本表現はできるだけ覚えましょう。

履修上の留意点

テキストは丁寧に無理なく、また興味深く作られています。しっかり予習・復習して授業に臨んでください。授業中の発表や表現練習など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期・後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

中川・長澤・吉原 『エルスター・シュリット』（白水社）

## 〔フランス語〕

科目名	フランス語IA	開講	通年	単位	2
配当	営B1年				
担当者名	たかばし あけみ 高橋 明美				

### 講義のねらい

初めてフランス語を学ぶ学生を対象に、フランス語の初級文法の説明と演習を行う。日常語は理解でき、辞書を使用すれば簡単な文章なら読めるようにしたい。出席を欠かさないこと。積極的に授業に参加すること。予習・復習、特に復習を欠かさないこと。

### 成績評価の方法

期末に行う試験のほかに、レポート、小テスト、授業中の積極性なども考慮して評価する。

### 教科書

清岡智比古著『ル・フランセ・クレール』（白水社）2300円

科目名	フランス語IB	開講	通年	単位	2
配当	営B1年				
担当者名	きのした ゆうすけ 木下 雄介				

### 講義のねらい

フランス語の基本文法を習得する。

### 講義の内容・授業スケジュール

おおむね教科書の章立てにそって授業を進めます。

### 履修上の留意点

初めて学ぶ外国語である以上、予習復習が必要なことは言うまでもありません。その反面、扱うのは初歩的な事項ばかりだから、予習・復習を怠らなければ、修得が難しいわけではない。学生諸君の努力に期待します。

### 成績評価の方法

期末・学年末試験の成績に平常点を加味して採点する。かならず予習をして出席すること。

### 教科書

石川・清水・須長・中川『新・ゆっくりいそげフランス語』（弘学社、2400円）  
ISBN4-7681-1319-2 C1085

### 参考書等

仏和辞典として、以下のものからどれか一つを選んで購入して下さい。電子辞典や小型の辞書は、初心者には向かないので使用しないこと。

- ・『ジュネス仏和辞典』（大修館）
- ・『新スタンダード仏和辞典』（大修館）
- ・『プチ・ロワイヤル仏和辞典』（旺文社）
- ・『ロワイヤル仏和中辞典』（旺文社）
- ・『クラウン仏和辞典』（三省堂）

科目名	フランス語ⅠA〔再クラス〕・フランス語ⅠB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
担当	経B法B営B234年				
担当者名	長谷川 光明 <small>はせがわ みつあき</small>				

講義のねらい

旅行会話を教材にして、フランス語の実践的な表現能力を徐々に高めていくことを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

下記の教科書に従って、各文法事項を解説したのち、その場で練習問題に取り組んでもらいます。試験は前期末と後期末の計二回行います。

履修上の留意点

基本表現をまず習得し、練習問題に取り組むことによって、その応用能力を養っていきます。そのためには、出席者は口答問題、筆答問題に積極的に取り組む必要があります。辞書は必ず毎回持参してください。

成績評価の方法

前期、後期の試験と小テストおよび平常点の総計。

教科書

瀬戸秀一他『街かどのフランス語』（朝日出版社）2,100円

科目名	フランス語ⅡA	開講	通年	単位	2
担当	営B2年				
担当者名	高橋 明美 <small>たかひし みけみ</small>				

講義のねらい

初級文法をひとつおりの学習した者を対象にさらに文法学習を通してフランス語を理解することを目的として授業をすすめる。  
出席、予習・復習、積極的な授業参加を求める。前期1回、後期1回のテストで成績評価します。

成績評価の方法

出席、予習・復習、積極的な授業参加を求める。前期1回、後期1回のテストで成績評価します。

教科書

渡辺公子著『アルモニ』（駿河台出版社）1800円

科目名	フランス語II B	開講	通年	単位	2
配当	営B2年				
担当者名	きのした ゆうすけ 木下 雄介				

講義のねらい

1年次の授業で修得した文法の知識をもとに、辞書と相談しながら文章を読み解く練習をする。

講義の内容・  
授業スケジュール

平易な文章で書かれた読み物をテキストに用います。

履修上の留意点

予習復習が必要なことは言うまでもありません。テキスト中のすべての単語について、意味ばかりでなく、品詞・用法をきちんと確認し、ノートにとった上で授業にのぞむこと。

成績評価の方法

平常点を重視し、期末・学年末の試験成績を加味して採点します。かならず予習をして出席すること。

教科書

最初の授業のときにプリントを配布します。

科目名	フランス語IIA〔再クラス〕・フランス語IIB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	経B法B営B34年				
担当者名	はせがわ みつあき 長谷川 光明				

講義のねらい

ビデオ教材を用いて、フランス語初級文法を複合過去から復習していきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

下記の教科書に従って、各文法事項を解説したのち、その場で練習問題に取り組んでもらいます。試験は前期と後期二回行います。

履修上の留意点

基本表現をまず習得し、練習問題に取り組むことによって、その応用能力を養っていきます。そのためには、出席者は口頭問題、筆答問題に積極的に取り組む必要があります。辞書は必ず毎回持参してください。

成績評価の方法

前期、後期試験及び平常点。

教科書

藤田裕二『新・えすかるご2』（朝日出版社）2,625円

# 中 国 語

中国語ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB

(P.219) 参照

【辞書について】

(P.219) 参照

科目名	中国語ⅠA・中国語ⅠB	開講	通年	単位	2
配当	営B1年				
担当者名	<small>しおはた しんいちろう おう ぞう</small> 塩旗 伸一郎・王 聡				

講義のねらい

中国語の音声の魅力を感じるとともに、その構造的特徴や、表現の背景にある文化、ひいては中国人のものの考え方や世界観を理解すること。それは私たち自身の言葉や習慣、社会について異なる視点から捉えなおすことにも繋がるだろう。

講義の内容・授業スケジュール

「中国語ⅠA」（火曜第7時限）と「中国語ⅠB」（金曜第7時限）はペア授業。ⅠAで中国語のルールを理解し、ⅠBで実際に運用することを目指す。実際に学ぶ中国語はすべて口語（会話）であり、A、Bを問わず口頭での練習が主要な部分を構成する。

音を離れて言葉は存在し得ない。漢字だけ読んで当て推量する暗号解読作業に陥らぬため、定期試験の相当部分は音声により出題する。また年間を通じて聞き取り・発音等の小テストを盛大に行う。

履修上の留意点

必ずⅠA-ⅠBセットで履修すること。  
携帯メールは禁止。従わぬ者には退席を命じる。

成績評価の方法

定期試験＋小テスト＋平常点－欠席点。  
「平常点」とは「出席点」ではない。ただ坐っていれば評価されると期待するのは大いなる誤解である。  
欠席は年間3回を超えると10点ずつ原点。遅刻は2回で欠席1回に換算する。

教科書

楊凱栄・張麗群『スリム版 表現する中国語』（白帝社）2310円

外国語

科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕・中国語ⅠB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	経B法B営B234年				
担当者名	<small>おおくぼ みさお</small> 大久保 明男				

講義のねらい

正確な発音と基礎文法の習得、中国語コミュニケーション能力の養成をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

基本的に教科書に沿って授業を進める。折に触れて中国の社会や文化に関わることを紹介したり、ビデオを見たりする予定。

履修上の留意点

中国語を学ぶ意義を充分に認識し、授業に意欲を持って臨むこと。  
毎回予習、復習が必要。

成績評価の方法

出席率、定期試験の成績、平常点の三項目で総合評価する。

教科書

本間史・孟広学著『中国語ポイント42』（白水社）

科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕・中国語ⅠB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	経B法B営B234年				
担当者名	曹 <sup>そう</sup> 泰和 <sup>たいわ</sup>				

講義のねらい

中国語に興味と関心を持ってもらうこと。

講義の内容・  
授業スケジュール

基本的な文法が充実したテキストで、基礎的な発音、基本文法をゼロから学ぶ。また、授業を通じて、言葉と中国文化のことなどについて学ぶ。

履修上の留意点

元気よく、積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

テスト、宿題、出席、学習態度で総合評価する。

教科書

南雲智・趙暉『始めよう！中国語』（白水社）2,100円＋税

参考書等

開講時に説明する。

その他

中国語の辞書を一冊買ったほうがよい。

科目名	中国語ⅡA	開講	通年	単位	2
配当	営B2年				
担当者名	秋元 <sup>あきもと</sup> 翼 <sup>たすく</sup>				

講義の内容・  
授業スケジュール

初級の文法の復習をしながら、最初は「矛盾」や「塞翁が馬」のような故事を易しい文で読んでいく。前半では読解力の基礎を養い、後半では中国人のために書かれた文を辞書を引きながら読む段階へと進む。

履修上の留意点

使用する教科書の文章は比較的短いので暗記する努力をして欲しい。暗記は語彙を増やすばかりでなく、読解力を養うためにも大いに役立つであろう。4分の3以上の出席が必要。

成績評価の方法

平常の学習態度や到達度と、中間・期末のテストの結果によって総合的に評価する。

教科書

董燕・遠藤光暁著『読む中国語』（朝日出版社）2200円

科目名	中国語II B	開講	通年	単位	2
配当	営B2年				
担当者名	王 聡				

講義の内容・  
授業スケジュール

初級の文法の復習をしながら、最初は「矛盾」や「塞翁が馬」のような故事を易しい文で読んでいく。前半では読解力の基礎を養い、後半では中国人のために書かれた文を辞書を引きながら読む段階へと進む。

履修上の留意点

使用する教科書の文章は比較的短いので暗記する努力をして欲しい。暗記は語彙を増やすばかりでなく、読解力を養うためにも大いに役立つであろう。4分の3以上の出席が必要。

成績評価の方法

平常の学習態度や到達度と、中間・期末のテストの結果によって総合的に評価する。

教科書

董燕・遠藤光暁著『読む中国語』（朝日出版社）2200円

科目名	中国語II A〔再クラス〕・中国語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	経B法B営B34年				
担当者名	弘兼 加奈子				

講義の内容・  
授業スケジュール

全15課の課文を通し、中国の現在の状況を学んでいく。テキストには文化的、社会的、経済的な視点から見たテーマが取り上げられている。

成績評価の方法

年数回の試験と教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

村松恵子・董紅俊『中国語中級テキスト China Now』（白帝社）2400円

## 〔スペイン語〕

科目名	スペイン語IA	開講	通年	単位	2
配当	営B1年				
担当者名	荻野 <small>おぎの</small> 雅司 <small>まさし</small>				

### 講義のねらい

スペイン本国のスペイン語に限らず、中南米で今日常用されているものも含めて、スペイン語の全体を概観することを狙いとします。

### 講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って初級スペイン語を学習して行きますが、言葉のみでなく、出来るだけヒスパニック圏の人々の物の考え方や文化、習慣を学ぶことで、communication がより容易に行えるようにします。

さらに、このクラスはスペイン語の理解を促進するために、英語の語法との対比を常時行うことを特徴の一つとしています。

### 成績評価の方法

原則として年2回正規のテストを行います。総合的な成績の評価に当っては、良くて、悪くてもテストの結果のみによってこれを行いません。むしろ、日頃の出席状況と受講態度を同じくらいに重視して評価します。

### 教科書

細川幸夫『英語からスペイン語へ』（弘学舎）

科目名	スペイン語IB	開講	通年	単位	2
配当	営B1年				
担当者名	中山 <small>なかやま</small> 直次 <small>なれじ</small>				

### 講義のねらい

初めて学ぶ受講生が対象なので、まずはスペイン語世界に親しみ、楽しみながらスペイン語の総合力を身につけることを目指します。

### 講義の内容・授業スケジュール

一通り発音を練習したあと、平易なスペイン語で書かれた童話を読みます。表現文の音読、文法の理解、語句の置き換えなどによる応用演習を行います。

### 履修上の留意点

初習の語学は、途中で抜けると続けにくくなります。なるべく欠席しないようにしてください。また、必ず予習をして授業に臨むように心がけてください。

### 成績評価の方法

平常授業中の演習や応答の状況、および宿題や小テストの成績などを記録しておき、その合計を数値化して成績の評価とします。

### 教科書

中山著『スペイン語が面白いほど身につく本』（中経出版）

### 参考書等

辞書：宮城他編『現代スペイン語辞典』（白水社）  
参考書：中山著『初級スペイン語』（白水社）  
特に上記の本でなくても構いませんが、辞書のほかに手頃な自習参考書を一冊併用することをお勧めします。

### その他

常に「ピンポン型」の対話形式で授業を進めます。



科目名	スペイン語ⅠA〔再クラス〕・スペイン語ⅠB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	経B法B営B234年				
担当者名	栗林 <small>くろばやし ゆきえ</small> ゆき絵				

講義のねらい

基本的な単語や挨拶のほか、基本的なスペイン語のことばのしくみを学習し、日常の簡単な会話に応用できることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業は文法事項の説明とそれを応用した練習問題という構成で進める。前期は現在形、後期は過去形、現在完了を中心に学習する。毎回時間の初めに小テスト（活用・単語）を実施。

履修上の留意点

少しずつ文法や単語を身につけられるよう、毎回、授業の最初に2問程度の小テストを行う。途中でわからなくなってもめげずに授業に出席するように心がけてほしい。

成績評価の方法

平常点（毎時間の小テスト含む）30％と前後期の期末試験70％。半期のうち5回以上欠席した者は試験の受験を認めない。

教科書

初回の授業の授業で指示（プリント教材配布予定）。初回は必ず出席のこと。

参考書等

『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）  
\*辞書はすでに所有しているものはそれを使用すればよいが、未購入の者は上記の辞書を購入するように。

科目名	スペイン語ⅡA	開講	通年	単位	2
配当	営B2年				
担当者名	荻野 <small>おぎの まさじ</small> 雅司				

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習したものを更に広く深く学ぶ事で、実際に使えるスペイン語を習得することを第一の目的とします。さらに、学期が終る頃には、通常のスペイン語Ⅱの一段上のレベルが身に付いている事を狙いとします。

講義の内容・授業スケジュール

上記の目的を達成するために、一方でスペイン語Ⅰで得た知識を今一度リフレッシュしながら、新しい領域に進んで行きます。この過程では教科書以外にテープ、ビデオ、更に広くスペイン文学作品の抜粋を含めた多様なプリント類を併用します。これにより、生きたスペイン語と同時に、例えその片鱗だけでも、スペイン語本来の持つ美しさにも触れる様にします。

履修上の留意点

言葉の学習には継続が肝要ですから、特別な事情がある場合を除き、可能な限りコンスタントに出席出来る学生の受講を期待します。

成績評価の方法

成績評価に当たっては、テストの成績よりも、むしろ日頃の受講態度を重視します。

教科書

佐藤玖美子著「新・何を話しましょうか」  
（弘学舎）

参考書等

出来るだけ詳しい西和辞典（例、小学館「西和中辞典」等）を用意したい。

科目名	スペイン語II B	開講	通年	単位	2
配当	営B2年				
担当者名	なかやま なおし 中山 直次				

- 講義のねらい** スペイン語の日常会話によく現われる表現を暗誦し、状況に応じて簡単な応用ができるようになることをねらいとします。
- 講義の内容・授業スケジュール** 空港・駅・路上・ホテル・カフェ・レストラン・銀行・郵便局・洋品店・病院等の場面を設定し、そこで交わされる典型的ないし最大公約数的な表現を習得します。モデル表現を暗唱し、人称・性数・語句などの置換練習や状況の変更に伴う表現拡大等の応用を演習します。
- 履修上の留意点** 「継続は力なり」と言います。「勉強する」というよりは「つきあう」という感覚で結構です。ので、気楽に、しかし気長に取り組んでください。
- 成績評価の方法** 平常授業時の演習や応答の状況、および宿題や小テストの成績などを記録しておき、その合計を数値化して成績の評価とします。
- 教科書** 中山著『250語でできるやさしいスペイン会話』（白水社・1996年改訂）
- 参考書等** 辞書：宮城他編『現代スペイン語辞典』（白水社）  
桑名他編『西和中辞典』（小学館・1990年）  
参考書：中山著『初級スペイン語』（白水社）  
特に上記の本でなくても構いませんが、小型辞書しか持っていない人や参考書類を一冊も持っていない人は、手頃な中型辞書や自習参考書を購入手、予習・復習の際に参照することをお勧めします。
- その他** 常に「ピンポン型」の対話形式で授業を進めます。

外国語

科目名	スペイン語II A〔再クラス〕・スペイン語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	経B法B 営B34年				
担当者名	くりげやし ゆきえ 栗林 ゆき絵				

- 講義のねらい** 現在形・過去形(点過去・線過去)の復習のあと、未来形・過去未来形や接続法の形も学び、初級会話を越えた豊かな表現を身につける。最終的には、活用表と辞書があれば、会話文から新聞記事まで読みこなせることをめざす。
- 講義の内容・授業スケジュール** 活用・文法事項・重要表現の確認のあと、会話テキストの読解、発音練習を行う。また受講者の希望に応じて新聞記事など生のスペイン語教材も毎回1記事ずつ読んでいく。新聞記事は最初は見出しのみの読解、その後5文程度の記事、最後にはA4ページ程度の記事を読む予定。
- 履修上の留意点** できるだけ個人のレベルに合わせた指導を行うので、出席をかかさないように。試験は行わないので、日々の授業で地道に力をつけてほしい。  
辞書(和西単語集つき)は授業中に使用するので必ず持ってくる。
- 成績評価の方法** 平常点(出席点および授業中の和訳提出)で評価する。
- 教科書** 福嶋教隆『生き生きスペイン語』（朝日出版社）2,000円
- 参考書等** <辞書>『プログレッシブ スペイン語辞典』（小学館）  
\*和西（単語集）のついている辞書をすでに所有している者はそれを使用すればよい。

## 〔ロシア語〕

科目名	ロシア語IA	開講	通年	単位	2
配当	営B1年				
担当者名	<small>ひろた ひでやす</small> 廣田 英靖				

### 講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。  
 はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感がなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしくないことが大切。

### 講義の内容・授業スケジュール

前期はイントネーションや発音に力点を置き、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

### 成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

### 教科書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円

### 参考書等

『露和辞典』

科目名	ロシア語I B	開講	通年	単位	2
配当	営B1年				
担当者名	ひろた ひでやす 廣田 英靖				

#### 講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期はイントネーションや発音に力点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

#### 成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

#### 教科書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円

#### 参考書等

『露和辞典』

科目名	ロシア語IA〔再クラス〕・ロシア語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
担当	経B法B営B234年				
担当者名	すぎやま ひでこ ひろた ひでやす 杉山 秀子・廣田 英靖				

#### 講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。  
はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返し練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしながらないことが大切。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期はイントネーションや発音に重点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

#### 成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

#### 教科書

『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円＋税

#### 参考書等

『露和辞書』

科目名	ロシア語IIA	開講	通年	単位	2
担当	営B2年				
担当者名	ひろた ひでやす 廣田 英靖				

#### 講義のねらい

ロシア語IAで学んだ基本的な語尾変化、基礎文法を復習しながら、複文（関係代名詞、形動詞、副動詞など）をさらにわかりやすく具体的に解説し、辞書の引き方を学び、辞書をたよりに簡単な文章を読んだり、日常会話も試みます。  
授業の合間には、ロシア文化圏を紹介するビデオを鑑賞し、また Windows で日本語ワープロソフト Word を用いてロシア語の文書を作り、「パソコンでロシア語の処理ができる」ことを実感します。

#### 成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

#### 教科書

教場にてプリントを配布。

#### 参考書等

『露和辞書』

科目名	ロシア語II B	開講	通年	単位	2
配当	営B2年				
担当者名	<small>ひろた ひでやす</small> 廣田 英靖				

講義のねらい

ロシア語IBで学んだことを基礎に、新聞・雑誌などから選んだ生の興味ある見出しや短い文章を教材として利用し、ロシア語の理解力を向上させるために、辞書を実用的な文章の学習に取り組みます。

授業の合間には、旧ソ連、新しいロシアおよびその近隣諸国の文化、歴史の理解に役立つビデオを鑑賞し、またユーモアあふれるロシアのアネクドート（小話）や含蓄に富んだことわざにもふれ、生き生きとした実践的なロシア語学習を目指します。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教科書

教場にてプリントを配布。

参考書等

『露和辞書』

科目名	ロシア語II A〔再クラス〕・ロシア語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	経B法B営B34年				
担当者名	<small>すぎやま ひでこ ひろた ひでやす</small> 杉山 秀子・廣田 英靖				

講義のねらい

1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

出席と平常点を重視します。

教科書

既習の教科書と文法表。

参考書等

『露和辞書』

その他

プリント配布。教場にて指示します。

# 英 会 話 I ・ II

初級の会話クラスです。基本的な日常表現ができることを目指します。達成目標の目安は英検 2 級合格、TOEFL®のスコアー450点、TOEIC®のスコアー500点程度です。

科目名	英会話I	開講	通年	単位	2
担当	経B法B営B1234選				
担当者名	ロビン, G. F.				

## 講義のねらい

This course will focus on developing conversation skills for students using vocabulary and grammar that would normally have been acquired from previous courses in the school system. New vocabulary will be introduced as needed. Students will be encouraged to express themselves in English through pair and group activities and will be graded.

## 講義の内容・授業スケジュール

It will consist of pair group, small group, and class discussion activities designed to gradually build and improve upon vocabulary and fluency normally acquired from previous pre-college study of English.

## 成績評価の方法

According to class participation, homework assignments, and a mid-term and final test which will be given at the end of each term.

## 教科書

「Fifty-Fifty Student Book 1」 Warren Wilson and Roger Barnard  
ISBN-10 9620056655

科目名	英会話II	開講	通年	単位	2
担当	経B法B営B選				
担当者名	ロビン, G. F.				

## 講義のねらい

This course will focus on developing conversation skills for students using vocabulary and grammar that would normally have been acquired from previous courses in the school system. New vocabulary will be introduced as needed. Students will be encouraged to express themselves in English through pair and group activities and will be graded.

## 講義の内容・授業スケジュール

It will consist of pair group, small group, and class discussion activities designed to gradually build and improve upon vocabulary and fluency normally acquired from previous pre-college study of English.

## 成績評価の方法

According to class participation, homework assignments, and a mid-term and final test which will be given at the end of each term.

## 教科書

「Fifty-Fifty Student Book 1」 Warren Wilson and Roger Barnard  
ISBN-10 9620056655

## 英語 L L I ・ II

情報メディア機器（1号館3・4階のPC教場）を使用し、英語の発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。I、IIともTOEFL®で450点、TOEIC®500点、英検2級合格程度を達成目標とする初級レベルのクラスです。

科目名	英語LLI	開講	通年	単位	2
配当	経B法B営B1234選				
担当者名	川崎 <sup>かわさき</sup> 浩太郎 <sup>こうたろう</sup>				

### 講義のねらい

英語の母音、子音の発音、アクセント、イントネーション等を学習し、ネイティブスピーカーが聞いて分かる明確な発音で話すことが出来るようになることを目指します。

### 講義の内容・授業スケジュール

日常の様々な場面を再現したスキットをビデオを見ながらリスニング能力の向上を目指します。さらに、スキットの中で用いられた単語や、フレーズ、文章等の発音練習を行っていきます。TOEICのリスニングなどもおこなう予定です。

### 履修上の留意点

恥ずかしがらずに大きな声で発音するよう努めて下さい。

### 成績評価の方法

出席点、発表点50%、前期末と後期末の試験50%の割合で評価する。全授業日数のうち3分の1以上欠席したものは不可とする。

### 教科書

村川久子『Sounds Right! Sounds Good!』（マクミランランゲージハウス）¥2000（税別）ISBN4-89585-304-7

## 外国語

科目名	英語LLII	開講	通年	単位	2
配当	経B法B営B選				
担当者名	林 <sup>はやし</sup> 明人 <sup>あきと</sup>				

### 講義の内容・授業スケジュール

リスニング用のテキストを使用します。CDがテキストに付いてきますので事前によく聞き取りをしてきて下さい。

### 履修上の留意点

遅刻（交通機関の遅延を除く）及び授業中の出入りは認めない。

### 成績評価の方法

①発表、②試験、③出席で総合評価するが、出席は3分の2を越えていなければならない。出席以外のそれぞれの評価が一つでも4割に満たない場合は単位を認めない。

### 教科書

4月に教場で指示します。



## 4. 保 健 体 育 科 目

## 保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

## 保健体育科目時間表

(於：本校体育館)

	月 曜 日		火 曜 日		水 曜 日		木 曜 日	
6 時 限	※大石	ミニサッカー					鈴 木	健康・スポーツ論*
	秋 田	バドミントン						
7 時 限	※秋田	バドミントン	田 中	健康・スポーツ論*	※三幣	バドミントン		
	大 石	ミニサッカー			村 松	卓球		

※は、科目の主担当者      \*時間表で教場を確認のこと。

## 4. 保健体育科目

科目名	曜日・時間	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
健康・スポーツ論〔再クラス〕	木6	法B営B選	半期	2	鈴木 淳平	689
健康・スポーツ論〔再クラス〕	火7	法B営B選	半期	2	田中 佳孝	689
健康・スポーツ実習 (ミニサッカー)	月6	営B1必	通年	2	大石 武士	691
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 (ミニサッカー)	月6	経B営B234年	通年	2	大石 武士	
健康・スポーツ実習 (バドミントン)	月6	営B1必	通年	2	秋田 浩一	692
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 (バドミントン)	月6	経B営B234年	通年	2	秋田 浩一	
健康・スポーツ実習 (バドミントン)	月7	営B1必	通年	2	秋田 浩一	693
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 (バドミントン)	月7	経B営B234年	通年	2	秋田 浩一	
健康・スポーツ実習 (ミニサッカー)	月7	営B1必	通年	2	大石 武士	694
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 (ミニサッカー)	月7	経B営B234年	通年	2	大石 武士	
健康・スポーツ実習 (バドミントン)	水7	営B1必	通年	2	三幣 晴三	695
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 (バドミントン)	水7	経B営B234年	通年	2	三幣 晴三	
健康・スポーツ実習 (卓球)	水7	営B1必	通年	2	村松 誠	696
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 (卓球)	水7	経B営B234年	通年	2	村松 誠	
生涯スポーツ実習(集中前期・基礎)					休講	
生涯スポーツ実習(集中前期・応用)					休講	
生涯スポーツ実習(集中後期・基礎)					休講	
生涯スポーツ実習(集中後期・応用)					休講	
生涯スポーツ演習Ⅰ (シーズン基礎) (ゴルフ)	特3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 経B法B営B選	シーズン	2	佐藤 政之 他	697
生涯スポーツ演習Ⅰ (シーズン応用) (ゴルフ)	特3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 経B法B営B選	シーズン	2	佐藤 政之 他	697
生涯スポーツ演習Ⅱ (シーズン基礎) (スキー・スノーボード)	特3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 経B法B営B選	シーズン	2	山口 良博 他	699
生涯スポーツ演習Ⅱ (シーズン応用) (スキー・スノーボード)	特3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 経B法B営B選	シーズン	2	山口 良博 他	699

科目名	健康・スポーツ論〔再クラス〕	開講	半期	単位	2
担当	法B 営B 選				
担当者名	すずき じゆんぺい 鈴木 淳平				

講義のねらい

健康であるための諸条件の追求と、それに深くかかわる体育・スポーツの本質を見つめる。将来の社会生活に有用な、科学的・医学的知識を得ることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：健康のための条件を再確認し、健康と身体運動の意義を認識する。
- 3 時限目：スポーツの発生経緯、発案者、命名の様相、各々の特徴、分類について
- 4 時限目：スポーツと体力の関係について
- 5 時限目：運動能力発達の原理
- 6 時限目：運動能力の領域
- 7 時限目：運動能力の構造
- 8 時限目：運動能力とスポーツ技能の分析
- 9 時限目：総合力力の定義と要素
- 10 時限目：スポーツ実施上の功罪、その一つとしてのスポーツ障害について
- 11 時限目：トレーニング理論全般
- 12 時限目： ”
- 13 時限目：応急処置（テーピング、アイシング等）の実際
- 14 時限目： ”
- 15 時限目：まとめ

成績評価の方法

出席を重視し、学期末のレポートとの総合評価をする。

科目名	健康・スポーツ論〔再クラス〕	開講	半期	単位	2
配当	法B営B選				
担当者名	たなか よしたか 田中 佳孝				

#### 講義のねらい

煩雑な現代社会の中で、人間が健康を維持しながら日常生活を営む為には安定した栄養摂取、十分な休養（睡眠）と適度な運動が必要である。これら三つは全て不可欠なものであるが、この講義では殊に栄養の観点から健康に係る諸問題を識り、より積極的な健康維持の為の栄養学的方法を学び、ストレスの多い現代社会生活に対抗できる食生活や健康な学生生活を送る為の栄養学をビタミンを中心に学ぶ。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 人間に必要な栄養素
- 2 戦前・戦後に於ける栄養不足の違いについて  
ビタミンとは
- 3 ビタミンの生理作用と薬理作用について
- 4 ビタミン欠乏症について  
潜在性ビタミン欠乏症と自律神経失調症について
- 5～7 主なビタミンの働きについて  
A、B群、C、D、E、K、U等
- 8～10 健康な学生生活を送る為のビタミン  
○飲酒  
○喫煙  
○スポーツ  
○外食、甘党  
○ダイエット  
○妊娠
- 11～12 健康を保つ食べ物
- 13 筆記試験

#### 履修上の留意点

授業中の携帯電話の使用は厳禁。違反者は不合格とする。

#### 成績評価の方法

2/3以上の出席をした者に対し筆記試験を行ない、評価を行なう。出席回数が不足した者は不合格とする。

#### 参考書等

『健康科学ライブラリー』1、4、7、8、9巻（大修館）  
『0歳からのビタミンバイブル』／『貝原益軒の養生訓』／『サーロインステーキ症候群』  
『食事療法』／『新健康になるシリーズ』（女子栄養大学）

#### その他

授業は、主に講義形式で進めるが、テーマによっては受講生の見解を公表してもらう場合もある。また、バイオフィードバック装置（脳波測定装置）等の機器を利用して実験的な内容の授業も試みたい。

科目名	健康・スポーツ実習(ミニサッカー) 健康・スポーツ実習〔再クラス〕(ミニサッカー)	開講	通年	単位	2
担当	営B1必 経B 営B234年				
担当者名	おおいし たけし 大石 武士				

#### 講義のねらい

ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること(キック)、止めること(トラッピング)、運ぶこと(ドリブル)から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係づくりを目的とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義の内容・授業スケジュール  
 1時限目：オリエンテーション  
 2時限目：ゲームの進め方、練習ゲーム  
 3時限目：ゲームの攻め方、守り方、ゲーム  
 4時限目～9時限目：基礎技術の応用練習、ゲーム  
 10時限目～14時限目：ゲーム  
 15時限目：まとめ

#### 履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。

#### 成績評価の方法

評価は出席点70%、総合評価30%で行う。

科目名	健康・スポーツ実習(バドミントン) 健康・スポーツ実習〔再クラス〕(バドミントン)	開講	通年	単位	2
担当	営B1必 経B営B234年				
担当者名	あきた こういち 秋田 浩一				

#### 講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
  2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通して体験することから、これからの活動欲求を高める。
- また、技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
- (1) フォアハンド、バックハンドとも使うことができる。
  - (2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
- 4 時限目：反面での簡易ゲーム
- 5 時限目：〃
- 6 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7 時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8 時限目：} 総合練習・ゲーム（シングルス）
- 10 時限目：} 総合練習・ゲーム（シングルス）
- 11 時限目：} 総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 15 時限目：} 総合練習・ゲーム（ダブルス）

#### 履修上の留意点

1. 定員は約30名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

#### 成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科目名	健康・スポーツ実習(バドミントン) 健康・スポーツ実習〔再クラス〕(バドミントン)	開講	通年	単位	2
配当	営B1必 経B 営B234年				
担当者名	あきた こういち 秋田 浩一				

#### 講義のねらい

- 1.補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
- 2.バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通して体験することから、これからの活動欲求を高める。  
また、技術的課題として、以下の点に留意して行なう。  
(1)フォアハンド、バックハンドとも使うことが出来る。  
(2)ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
- 4時限目：反面での簡易ゲーム
- 5時限目：〃
- 6時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8時限目：}
- 10時限目：} 総合練習・ゲーム（シングルス）
- 11時限目：}
- 15時限目：} 総合練習・ゲーム（ダブルス）

#### 履修上の留意点

- 1.定員は約30名とする。
- 2.実技は本校第1体育館で行なう。
- 3.服装は身軽に動作できるものがよい。
- 4.シューズは体育館専用のものを用意する。
- 5.その他のものは用意しなくてもよい。

#### 成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。



科目名	健康・スポーツ実習(ミニサッカー) 健康・スポーツ実習〔再クラス〕(ミニサッカー)	開講	通年	単位	2
配当	営B1必 経B 営B234年				
担当者名	おおいし たけし 大石 武士				

#### 講義のねらい

ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること(キック)、止めること(トラッピング)、運ぶこと(ドリブル)から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係づくりを目的とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義の内容・授業スケジュール  
 1 時限目：オリエンテーション  
 2 時限目：ゲームの進め方、練習ゲーム  
 3 時限目：ゲームの攻め方、守り方、ゲーム  
 4 時限目～9 時限目：基礎技術の応用練習、ゲーム  
 10 時限目～14 時限目：ゲーム  
 15 時限目：まとめ

#### 履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。

#### 成績評価の方法

評価は出席点70%、総合評価30%で行う。

科目名	健康・スポーツ実習(バドミントン) 健康・スポーツ実習〔再クラス〕(バドミントン)	開講	通年	単位	2
配当	営B1必 経B営B234年				
担当者名	三幣 晴三				

#### 講義のねらい

バドミントンは、大衆スポーツとして日本人には非常に親しい存在である。幼いころからバドミントンラケットとシャトルコックで遊びとしてラリーを楽しんでいる。にもかかわらず、バドミントンを正式のルールのもとで実施できる人は非常に少ない。これは、おそらく学校教育の中で実施している学校がすくないことによるものであろう。

本講義では、手軽に実施できて、しかも運動量も予想以上に多く、虚々実々の駆け引きを必要とするバドミントンを、生涯スポーツとして長く楽しめるように、そのための基礎知識と技術を提供しようとするものである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション・バドミントンの基礎知識・ラリー練習  
(バドミントンのスイング技術・グリップ)
- 2時限目：サーブの基本技術・フォアとバックスイングの基本技術  
簡易ゲーム(ダブルスのラリーゲーム)
- 3時限目：スマッシュの基本技術/ネット際のプレー技術  
簡易ゲーム(ダブルスのラリーゲーム)
- 4時限目：バドミントンコートの説明・ダブルスゲームの運び方、ルールの説明  
正式ルールでのダブルス練習試合
- 5時限目：ダブルスゲーム、1部リーグから4部リーグまでのリーグ戦第1日目
- 6時限目：同 第2日目
- 7時限目：同 第3日目
- 8時限目：同 第4日目
- 9時限目：同 第5日目
- 10時限目：シングルスゲームの運び方、ルールの説明、正式シングルスゲームでの練習試合
- 11時限目：シングルスゲーム、1部から7部までのリーグ戦
- 12時限目：同 第2日目
- 13時限目：同 第3日目
- 14時限目：ダブルス、トーナメント優勝戦
- 15時限目：シングルス、トーナメント優勝戦

#### 履修上の留意点

服装：一般的な運動服装  
シューズ：運動靴(体育館用として中履きのシューズを使用すること)

#### 成績評価の方法

出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

科目名	健康・スポーツ実習(卓球) 健康・スポーツ実習〔再クラス〕(卓球)	開講	通年	単位	2
配当	営B1必 経B営B234年				
担当者名	むらまつ まこと 村松 誠				

#### 講義のねらい

卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2時限目：ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
- 11時限目：ダブルスゲーム
- 12時限目：ダブルスゲーム
- 13時限目：ダブルスゲーム
- 14時限目：ダブルスゲーム
- 15時限目：まとめ

#### 履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

#### 成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

#### そ の 他

他時限・他種目を含め、施設・用具の都合、授業効率のため、受講人数を30名程度に制限する。受講希望が多数の場合は、抽選にて受講者を決定する。したがって、1時限目に出席しないものは、受講できない可能性があるので注意すること。

科目名	生涯スポーツ演習I (シーズン基礎) (ゴルフ) 生涯スポーツ演習I (シーズン応用) (ゴルフ)	開講	シーズン	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政管A選 経B法B管B選				
担当者名	佐藤 政之				

### 講義のねらい

「健康スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフを基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。ゴルフの技術的向上を主たるねらいとするが、プレーヤーとしてのマナーやエチケット、更に同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいとなる。生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

### 講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション：
  - 1回目 4月7日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
  - 2回目 4月14日(土) 12:20~12:40 2研-102教場

※本オリエンテーションにて、受講許可書を発行いたします。  
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
2. 事前授業：7月17日(火) 13:00~16:10 2研-102教場「ゴルフの基礎知識」
3. 実習内容および現地講義
  - 1日目 9月10日(月)
    - 講義：9:00~12:10 ゴルフコースとゲーム、スイングの基礎
    - 実技：13:00~17:30 打撃練習

※注意：1日目は、玉川校舎で実施する。
  - 2日目 9月11日(火) 実技・講義：11:00~18:00 打撃練習・ゴルフ規則I、その他
  - 3日目 9月12日(水) 実技・講義：8:30~17:00 打撃練習・ラウンド・ゴルフ規則II
  - 4日目 9月13日(木) 実技・講義：8:30~17:00 打撃練習・ラウンド・ラウンドの総括
  - 5日目 9月14日(金) 実技・講義：8:30~13:30 打撃練習・ラウンド・閉校式

### 履修上の留意点

- 生涯スポーツ演習I (シーズン基礎・シーズン応用) を履修する場合は、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可を受けなければなりません。
1. 実習日程：平成19年9月10日(玉川校舎)・9月11日~14日(現地：3泊4日)
  2. 場所：
    - 宿泊：マロウドインターナショナルホテル成田  
286-0121 千葉県成田駒井野763-1  
電話 0476-30-2222 FAX 0476-32-9112
    - 練習場コース：ダイナミックゴルフ成田  
289-2231 千葉県香取郡多古町飯笹1040  
電話 0479-75-0793 FAX 0479-75-0785
  3. 定員：40名
  4. 集合解散：
    - (1) 集合 9月10日(月) 午前9時 玉川校舎 305教場  
9月11日(火) 午前11時 ダイナミックゴルフ成田
    - (2) 解散 9月14日(金) 午後12時30分：予定 ダイナミック成田
  5. 受講料：35,700円(左記金額には、交通費は含まれない。)
  6. 納入期間：平成19年5月21日(月)~6月2日(土)  
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書をスポーツ・健康科学部門(第2研究館9館資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
  7. 服装・用具
    - (1) 一般的なゴルフ服装(セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要)
    - (2) ゴルフシューズ(ソフトスパイクに限る)は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。
    - (3) グローブは、必ず各自で用意すること。
    - (4) ゴルフクラブ・キャディーバッグは大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。

#### 成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習（5日間）によって2単位が認められる。  
成績は講義・実技の出席状況講義・実技テスト実習参加態度等総合的に評価される。

科目名	生涯スポーツ演習II(シーズン基礎)(スキー・スノーボード) 生涯スポーツ演習II(シーズン応用)(スキー・スノーボード)	開講	シーズン	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴史日外考社福心経商現法A政営A選 経B法B営B選				
担当者名	やまぐち よしひろ 山口 良博他				

### 講義のねらい

現在わが国において、スキーやスノーボードに代表されるスノースポーツは、国民に広く普及し「生涯スポーツ」として定着している。これらを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーなどについて理解を深めていきたい。

実習はそれぞれの技術レベルに応じて班分けして実施する。コースの内容は以下の通りである。

○スキー・スノーボード基礎コース：雪面に慣れることから始まり、基礎的な滑走技術の習得を目指す。

○スキー・スノーボード応用コース：基礎コースを更に発展させ、安全で楽しくゲレンデを滑る技術の習得を目指す。

### 講義の内容・授業スケジュール

- オリエンテーション 1回目 4月7日(土) 12:20~12:40 2研-102教場  
2回目 4月14日(土) 12:20~12:40 2研-102教場  
※ 本オリエンテーションにて、種目決定と受講許可書発行を行います。  
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
- 事前授業 1月9日(水) 13:00~16:00 2研-102教場「スノースポーツの基礎知識」
- 実習内容および現地講義
  - 1日目 1月29日(火)  
午後、現地ホテルロビー集合  
午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの基礎技術解説および安全・マナー」
  - 2日目 1月30日(水)  
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの応用技術解説」
  - 3日目 1月31日(木)  
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツと環境」
  - 4日目 2月1日(金)  
午前・午後：班別実習および全体講義「本実習の反省とまとめ」
  - 5日目 2月2日(土)  
午前・午後：班別実習 午後、現地解散の予定

### 履修上の留意点

本講座は、生涯スポーツ演習IIシーズン・基礎/応用ですが、履修する場合は、スキーまたはスノーボードのどちらかの種目とします。また、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。

- 1) 実習日程：平成20年1月29日(火)~2月2日(土)の4泊5日(現地集合解散予定)
- 2) 場 所：実習 安比高原スキー場  
宿泊・現地講義 安比グラウンド 電話(0195)73-5019
- 3) 定 員：スキー 20名  
スノーボード 30名(但し、初心者に限る)
- 4) 受 講 料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。  
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書をスポーツ・健康科学部門(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。  
納入期間：平成19年5月21日(月)~6月2日(土)
- 5) 用 具：用具は現地レンタル可能(有料)。
- 6) 特記事項：卒業年次生が履修する場合は日程などに注意すること。

### 成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びに技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

### そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急にスポーツ・健康科学部門(第2研究館9階資料室)に連絡すること。なお、参加費は返却されないことがある。

## Ⅱ．専 門 教 育 科 目

経営学科フレックスB

## Ⅱ. 専門教育科目

- ・『授業時間表』の区分「A」の科目を履修する場合は、フレックスAの専門教育科目のページを参照してください。(P.399)
- ・科目名の前に※印が付いている科目はフレックスB生の科目ですが、フレックスA時間帯に開講しています。フレックスAの専門教育科目のページを参照してください。
- ・配当学科  
経営学科フレックスA…営A 経営学科フレックスB…営B

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
経営学	営B1必	通年	4	藤原 篤志	707
簿記学	営B1必	通年	4	小田 幹雄	708
簿記学	営B1必	通年	4	水野 恵子	709
簿記学	営B1必	通年	4	阿部 一人	710
簿記学	営B1必	通年	4	大野 満奈	711
経済学概説	営B1234選	通年	4	永田 智則	712
会計学	営B1234選	通年	4	岩渕 昭子	713
経営数学	営B1234選 営A1234選	通年	4	飯田 哲夫	714
情報処理基礎	営B1234選	半期	2	桃塚 薫	715
情報処理基礎	営B1234選	半期	2	依田 聖	716
情報処理基礎	営B1234選	半期	2	加藤 武信	717
情報処理応用I	営B1234選	半期	2	桃塚 薫	718
情報処理応用I	営B1234選	半期	2	加藤 武信	719
情報処理応用I	営B1234選	半期	2	依田 聖	720
経営学史	営B234選 営A234選	通年	4	中川 淳平	721
アメリカ経営学	営B234選 営A234選	通年	4	宮城 徹	722
ドイツ経営学	営B234選 営A234選	通年	4	高橋 成夫	723
経営管理論	営B234選 営A234選	通年	4	枝松 正行	724
経営組織論	営B234選 営A234選	通年	4	日野 健太	725
経営労務論	営B234選 営A234選	通年	4	鹿嶋 秀晃	726
生産管理論				休講	
マーケティング論	営B234選 営A234選	通年	4	兼村 栄哲	727
経営財務論	営B234選 営A234選	通年	4	高田 光明	728
国際経営論				休講	
経営戦略論	営B234選 営A234選	通年	4	中村 公一	729



現代企業論				休講	
ベンチャー企業論	営B234選 営A234選	通年	4	許 伸江	730
公益企業論				休講	
環境経営論	営B234選 営A234選	通年	4	白鳥 和彦	731
経営史	営B234選 営A234選	通年	4	前田 和利	732
日本経営史	営B234選 営A234選	通年	4	大島 久幸	733
商業史	営B234選 営A234選	通年	4	山田 勝	734
保険経営論	営B234選 営A234選	通年	4	石名坂 邦昭	735
銀行経営論	営B234選 営A234選	通年	4	服部 昌久	736
商業経営論	営B234選 営A234選	通年	4	石川 和男	737
上級簿記	営B234選 営A234選	通年	4	田辺 正	738
財務会計論	営B234選 営A234選	通年	4	渡邊 恵一郎	739
管理会計論	営B234選 営A234選	通年	4	猿山 義広	740
会計監査論	営B234選 営A234選	通年	4	阿部 一人	741
原価計算論	営B234選 営A234選	通年	4	岸田 隆行	742
税務会計論	営B234選 営A234選	通年	4	高木 克己	743
経営分析論	営B234選 営A234選	通年	4	片桐 伸夫	744
国際会計論	営B234選 営A234選	通年	4	山田 純平	745
情報会計論				休講	
経済原論	営B234選	通年	4	明石 博行	746
近代経済学	営B234選	通年	4	滝田 公一	747
経済政策	営B234選	通年	4	三好向洋	747
財政学	営B234選 営A234選	通年	4	速水 昇	748
金融論	営B234選 営A234選	通年	4	渡部 訓	749
国際経済論				休講	
日本経済論	営B234選 営A234選	通年	4	羽鳥 茂	750
証券市場論	営B234選 営A234選	通年	4	佐藤 昇	751

計量経済学	営B234選	通年	4	呉 逸良	752
	営A234選				
イノベーション論	営B234選	通年	4	羽田 尚子	753
	営A234選				
日本経済史	営B234選	通年	4	渡辺 新	754
	営A234選				
経営科学概論	営B234選	通年	4	飯田 哲夫	755
情報処理応用II	営B234選	半期	2	宇谷 明秀	756
情報処理応用III	営B234選	半期	2	宇谷 明秀	757
情報理論	営B234選	通年	4	西村 和夫	758
	営A234選				
経営科学	営B234選	通年	4	小沢 利久	759
	営A234選				
経営情報論				休講	
システム論	営B234選	通年	4	宇谷 明秀	760
	営A234選				
統計原論	営B234選	通年	4	山内 慎二	761
	営A234選				
経営統計	営B234選	通年	4	長 国強	762
	営A234選				
民法	営B234選	通年	4	織田 晃子	763
商法	営B234選	通年	4	重田 麻紀子	764
労働法	営B234選	通年	4	藤本 茂	765
	営A234選				
税法	営B234選	通年	4	奥村 正郎	766
	営A234選				
演習I	営B3選	通年	4	大野 満奈	767
演習I	営B3選	通年	4	小田 幹雄	767
演習I	営B3選	通年	4	鹿嶋 秀晃	768
演習I	営B3選	通年	4	片桐 伸夫	769
演習I	営B3選	通年	4	加藤 武信	770
演習I	営B3選	通年	4	猿山 義広	771
演習I	営B3選	通年	4	園田 哲男	772
演習I	営B3選	通年	4	滝田 公一	772
演習I	営B3選	通年	4	渡辺 新	773
外書講読（英書）	営B34選	通年	4	日野 健太	773
外書講読（英書）	営B34選	通年	4	速水 昇	774
※外書講読（独書）	営A34選	通年	4	柴野 博子	503
	営B34選				
※外書講読（仏書）	営A34選	通年	4	遠山 博雄	503
	営B34選				
※外書講読（中国書）	営A34選	通年	4	宮本 厚子	504
	営B34選				
※外書講読（スペイン書）	営A34選	通年	4	上野 勝広	504
	営B34選				
※外書講読（ロシア書）	営A34選	通年	4	佐藤 和子	505
	営B34選				

ビジネス英語	営A34選	通年	4	杉山 泰彦	774
	営B34選				
※特殊講義（前期）				休講	
※特殊講義（後期）	営A34選	半期	2	斉藤 正	506
	営B34選				
演習II	営B4選	通年	4	岩淵 昭子	775
演習II	営B4選	通年	4	大島 久幸	775
演習II	営B4選	通年	4	奥村 正郎	776
演習II	営B4選	通年	4	兼村 栄哲	777
演習II	営B4選	通年	4	中川 淳平	777
演習II	営B4選	通年	4	服部 昌久	778
演習II	営B4選	通年	4	藤原 篤志	778
演習II	営B4選	通年	4	山田 純平	779
演習II	営B4選	通年	4	依田 聖	779

科目名	経営学	開講	通年	単位	4
配当	営B1必				
担当者名	藤原 篤志 <small>ふじわら あつし</small>				

#### 講義のねらい

中学・高校の授業において「公民」、「現代社会」、「政治経済」、「商業」等を学習したことがあると思われるが、一つの学問・授業として「経営学」を学ぶ機会はほとんどなかったであろう。経営学部においては2年次以降専門的な科目を履修していくことになる。そこでそういった専門科目の学習に入る前に、本講義では経営学の各分野における基本的用語・内容、概念および理論について解説を行ないたい。もちろん受講者は経営学の初心者であるから、上記の内容の解説の際には、極力黒板に書き、実例・具体例を用いてなるべく平易な講義にしたいと考えている。講義を担当する者としては、経営学の基礎の勉強を通じて、企業や経営に少しでも関心を持ち、今後の専門科目の履修・学習につなげてもらえれば幸いである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

以下のテーマで講義を行なう。①経営学とは ②企業形態 ③経営財務 ④経営組織 ⑤経営戦略 ⑥経営労務 ⑦生産管理 ⑧マーケティング ⑨日本の経営 ⑩企業経営の国際化 ⑪企業経営と情報化 ⑫コーポレートガバナンス ⑬中小企業の経営 ⑭企業の社会的責任

#### 履修上の留意点

本講義では板書を頻繁に行なうが、板書される内容以外にも各自重要な事は積極的にノートをとること。また授業中の私語、携帯電話の音、その他受講態度が不良な者は即座に教場から退室してもらう。このように授業環境の維持には特に厳しいので注意すること。

#### 成績評価の方法

主として期末試験による。その他、レポートや小テストを行なうこともある。

#### 教科書

教科書は指定しないが、講義において参考書を紹介する。

科目名	簿記学	開講	通年	単位	4
配当	営B1必				
担当者名	小田 <sup>おだ みきお</sup> 幹雄				

#### 講義のねらい

簿記を初めて学ぶ学生のために設けられた、基礎知識を理解してもらおうクラスです。簿記は、日常の経済活動の状態を数値的に把握し、記録するための大切な手段であるので、本講座では「簿記とはどのようなものか」ということを認識してもらうために、プリントや練習問題により、簿記学習のいろいろな基礎である資産・負債・資本の概念や、収益・費用の意味について理解してもらいたい。また、勘定科目の意味を理解し、簿記一連の流れである仕訳・転記・試算表・決算修正・決算等についての基本的問題について正確に理解してもらいたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義の内容は次のようになります。

- I 複式簿記の原理：複式簿記の計算構造・簿記一巡の手順
- II 期中取引の処理：現金預金、商品売買、売掛金・買掛金、受取手形・支払手形
- III 決算に必要な処理：決算修正仕訳・残高試算表の作成など
- IV 帳簿処理の合理化：伝票制度、(コンピューター簿記)

#### 履修上の留意点

簿記の学習は「自分自身がペンと電卓をもって練習問題を数多く解くこと以外にはない」との私の教育方針から、練習問題を解かせるし、テストや宿題を出すこともある。テスト用紙は必ず提出すること。出欠席のチェックは毎回行う。

#### 成績評価の方法

講義の際のテストの点数および、宿題の点数を合計し、更に、定期試験の点を加算し、再び平均点を出して評価する。そのため、講義中のテストや宿題の未提出者は当然平均点が下がることになるから注意すること。

#### 教科書

羽淵信宏監修『簿記テキスト—商業簿記—初級編』（共栄出版）2,000円程度  
中村義彦編著『基本簿記演習』（プレスウェーブ）1,524円＋税

科目名	簿記学	開講	通年	単位	4
配当	営B1必				
担当者名	水野 恵子 <small>みずの けいこ</small>				

#### 講義のねらい

初めて簿記を学ぶ学生を対象に、簿記の基本原則を解説する「簿記入門」の授業です。この講義では、簿記検定3級程度の知識の習得を目的とします。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義の内容はつぎのようになります。

- |               |                 |
|---------------|-----------------|
| 1. 簿記を学ぶにあたって | 1. 現金・預金        |
| 2. 簿記上の取引と勘定  | 2. 仕入・売上        |
| 3. 取引の仕訳      | 3. 手形           |
| 4. 勘定への転記     | 4. 債権・債務        |
| 5. 試算表の作成     | 5. 有価証券         |
| 6. 精算表の作成     | 6. 固定資産         |
| 7. 決算手続       | 7. 資本金          |
|               | 8. 貸倒償却費の計算     |
|               | 9. 減価償却費の計算     |
|               | 10. 収益と費用の見越・繰延 |
|               | 11. 8けた精算表の作成   |

#### 履修上の留意点

簿記の学習には、授業の復習は不可欠です。練習問題を多く解くことで力がつきます。一步一步の努力が検定合格には重要です。授業中の私語は厳禁です。

#### 成績評価の方法

前期と後期の定期試験のほか、講義の際の小テストの点数、出席状況などを総合して評価します。

#### 教科書

『日商簿記検定テキスト三丁版3級』城戸宏之著  
 実教出版 1,700円 ISBN4-407-01975-1  
 『日商簿記検定テキスト基本問題集三丁版3級』  
 実教出版 650円 ISBN4-407-04623-6

#### その他

必要に応じてレジュメを配布します。

科目名	簿記学	開講	通年	単位	4
配当	営B1必				
担当者名	あべ かずひと 阿部 一人				

### 講義のねらい

簿記についての基礎的な知識と技術の習得を目的とする。本講義は、複式簿記の基礎から仕訳転記、試算表ならびに精算表の作成、帳簿の締切、損益計算書および貸借対照表作成までの一連の手続の説明と記帳練習を重ねながら進める。

### 講義の内容・授業スケジュール

- |                 |                       |
|-----------------|-----------------------|
| (1) 企業の経営と簿記    | (13) その他の債権・債務の記帳     |
| (2) 簿記の目的と種類    | (14) 手形の記帳            |
| (3) 簿記の基本要素     | (15) 有価証券の記帳          |
| (4) 取引と勘定       | (16) 固定資産の記帳          |
| (5) 仕訳と仕訳帳      | (17) 資本金の記帳           |
| (6) 転記と総勘定元帳    | (18) 決算整理と棚卸表         |
| (7) 試算表         | (19) 期末商品棚卸高と商品売買益の算定 |
| (8) 精算表         | (20) 損益整理             |
| (9) 簡単な決算       | (21) 精算表              |
| (10) 現金・預金の記帳   | (22) 元帳の締切            |
| (11) 商品売買の記帳    | (23) 損益計算書と貸借対照表の作成   |
| (12) 売掛金・買掛金の記帳 | (24) 帳簿・伝票            |

### 履修上の留意点

簿記学の実際的な側面を考慮すると、実践的能力を高めることも必要です。そこで、記帳練習を随時行って、簿記の知識と技術の習得をはかります。“継続は力なり”まさにその典型が簿記学です。簿記学は、積み重ねの学問でありますから、特に出席することが肝要です。(途中で欠席すると、その後の講義の理解が困難になります。)

### 成績評価の方法

評価方法は、前期と後期の定期試験、練習問題の解答結果および出席状況を考慮して総合的に判定する。なお、第一回目の講義において、本講義の内容とその進め方、試験の方法および評価方法等の詳細について説明するので、受講者はかならず出席すること。

### 教科書

中原章吉編著『複式簿記の基礎構造』 2,000円  
ワークブック 1,400円

### 参考書等

講義において指示する。

科目名	簿記学	開講	通年	単位	4
配当	営B1必				
担当者名	おおの まんな 大野 満奈				

### 講義のねらい

簿記は会計学の基本であり、複式簿記の計算構造は、会計学のどの分野を学ぶにしても前提的に理解されることが必要である。この意味において、簿記の基本原理を理解し、経営学部に通学する者が最低必要とされる簿記知識を修得することを目的とする。

### 講義の内容・授業スケジュール

#### 前期

1. 簿記・会計の意義と目的
2. 企業の財政状態—貸借対照表
3. 企業の経営成績—損益計算書
4. 取引と仕訳
5. 勘定記入と元帳の締め切り
6. 帳簿・伝票・証ひょう
7. 試算表の作成（1）
8. 精算表の作成（1）
9. 現金・預金
10. 小口現金
11. 商品売買の処理と仕入帳・売上帳
12. 総合復習
13. 総合復習

#### 後期

1. 商品有高帳
2. 売掛金・買掛金と人名勘定
3. 有形固定資産の取得と売却
4. 資本金と引出金
5. 試算表の作成（2）
6. 売上原価の計算と決算仕訳
7. 貸し倒れの見積りと減価償却
8. 精算表の作成（2）
9. 有価証券
10. 手形取引
11. 費用・収益の見越しと繰り延べ
12. 精算表の作成（3）
13. 総合復習

### 履修上の留意点

簿記は自分で練習問題を解き、照合することによって初めて修得できるものであるから、原則として毎回出席して要点を理解し、自宅では毎回の復習に心掛けること。また、疑問点は、積極的に質問することによって早期に解決しておくこと。

### 成績評価の方法

試験の点数・出席回数・提出物の三点をもって総合的に評価する。

### 教科書

『要点整理 日商簿記検定練習問題集』3級（一橋出版）



科目名	経済学概説	開講	通年	単位	4
配当	営B1234選				
担当者名	ながた ともりの 永田 智則				

#### 講義のねらい

本講義では、経済学の基礎理論の修得を目指します。ミクロ経済学やマクロ経済学の基本的な概念や考え方を学習して、私たちの身近な経済問題を自ら解明するのに役立つように、「経済学の考え方」を身に付けることを意図しています。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. 経済学の課題、2. 消費者の行動、3. 生産者の行動、4. 市場機構、
5. 独占価格の決定、6. 国民所得、7. 国民所得の決定、8. 乗数理論と財政政策、
9. 金融政策、10. 景気循環、11. 経済成長

#### 履修上の留意点

授業中は他の受講生に迷惑が及ばないように、私語を謹み、携帯電話の電源を切るなど全員が授業に集中できるように心がけて下さい。授業内容で不明な点や疑問点があれば遠慮なく質問して下さい。

#### 成績評価の方法

成績評価は、学年末の定期試験にウエイトをおきますが、授業への出席も重視し、年度途中に検討課題も課しますので、総合的な評価になります。

#### 教科書

下記の書物と、授業中に配布するプリントを併用します。  
幸村千佳良著 『経済学事始』 多賀出版 2700円

#### 参考書等

- ① N. グレゴリー・マンキュー著、足立他訳  
『マンキュー経済学』（ミクロ編、マクロ編） 東洋経済新報社
- ② ジョセフ・E・スティグリッツ／カール・E・ウォルシュ著、藪下他訳  
『スティグリッツ入門経済学』 東洋経済新報社
- ③ 伊藤元重著 『入門経済学』 日本評論社

科目名	会計学	開講	通年	単位	4
配当	営B1234選				
担当者名	岩渕 昭子 <small>いわぶち しょうこ</small>				

#### 講義のねらい

会計の目的は、一般的に複式簿記の手法等によって、組織（主に企業）の経営成績および財政状態を明らかにして、それらを企業の利害関係者に会計情報として提供することにあります。簿記学は主に帳簿記入のルールを学習するのに対し、会計学は主に理論的なフレームワークや会計制度を学習します。2006年5月に新しい会社法が施行され、会計は難しくなりました。本講義では、会計学を経済社会との動きとも関連して学習します。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション、総論
2. 会計の仕組み
3. 企業会計の理論的特徴  
会計公準、会計原則
4. 企業会計制度
5. 資産会計  
意義、分類、評価、流動資産、固定資産、繰延資産
6. 負債会計  
意義、分類、流動負債、固定負債
7. 資本会計  
意義、分類、資本金、資本剰余金、利益剰余金、自己株式
8. 損益会計  
意義、分類、諸原則
9. 財務諸表の作成
10. 連結財務諸表

#### 履修上の留意点

簿記学と平行して受講すると、会計学を理解することが容易になります。

#### 成績評価の方法

前期末試験、後期末試験、小テスト、出席、授業態度などの総合評価。

#### 教科書

『現代会計学 [第8版]』、新井清光著、加古宜士補訂、中央経済社、2,600円＋税

#### 参考書等

必要に応じて適宜指示します。

科目名	経営数学	開講	通年	単位	4
配当	営B1234選 営A1234選				
担当者名	飯田 哲夫				

### 講義のねらい

企業経営上の諸問題を扱う際、問題を定量的に分析したり、合理的な意思決定を行うために数理的方法論を用いることがしばしばある。また、近年の情報化の発展に伴い、多種大量のデータを収集し、企業経営に活用することが容易になっており、そのための情報利用技術もまた発展してきている。

合理的な意思決定を支援する方法論や情報利用技術については、経営科学や経営情報学といった専門科目で学ぶことになるが、それらを理解する上で、ある程度の数学的素養があることが望ましい。

この講義では、経営科学や経営情報学、そして、その他の経営学関連の専門科目に関係する数学的知識のみを対象とし、数学をあまり得意としない人でも理解できるように、応用例を交えて、数学がどのように用いられるのかを具体的に紹介しながら基礎的なことから講義を進めていく。

### 講義の内容・授業スケジュール

講義は高校で習った数学の復習を含めて基本的な内容から始め、微分および線形代数を扱う。具体的には以下の内容を予定している。

1. 1次関数、2次関数
2. 分数関数、指数関数
3. 数列、極限
4. 微分法とその応用
5. 多変数関数、多変数関数の微分とその応用
6. ベクトル、行列、逆行列
7. 確率の基礎

ただし、応用例などを紹介するにあたり、関連性の強いいくつかの内容をまとめて説明することもあるため、必ずしも上記の順番で講義を行うものではない。

### 履修上の留意点

講義では理解を助けるために例を用いて説明を行うけれども、数学を学ぶ上では、抽象的な概念に慣れることが必要であり、かつ、講義の積み重ねを経ないと理解できないことも多いため、毎回出席すること。

### 成績評価の方法

前期・後期それぞれに数回小テストを行う。必要に応じてレポートの提出を求めることもある。それらの成績を年度末の筆記試験に加味して評価する。

### 教科書

最初の授業のときに紹介する。プリントを適宜配布する。

### 参考書等

講義中に適宜紹介する。

### その他

〔関連科目〕経営科学概論、経営科学、経営情報論、情報理論、経営統計、統計原論

科目名	情報処理基礎	開講	半期	単位	2
配当	営B1234選				
担当者名	桃塚 薫 <small>ももづか かおる</small>				

#### 講義のねらい

この講義の目的は、大学生として必要不可欠なコンピュータの基礎的リテラシーを習得してもらうことです。パソコンとインターネットを用いて、必要な情報を収集する能力、自分で情報発信をする能力の両方を学習します。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- ・ Windows の基本操作（電源の入れ方、キーボード、マウスの使い方、日本語入力、ファイルの保存）
- ・ インターネット活用方法（電子メール、ブラウザの使い方、情報倫理）
- ・ ワードプロソフトの基礎（Word による文書作成）
- ・ 表計算ソフトの基礎（Excel によるデータ処理）

#### 履修上の留意点

実習授業のため、欠席をしないようにしてください。毎回出席を取ります。なお、授業中に数回、課題を提出してもらいます。

#### 成績評価の方法

出席点、課題提出状況、レポートにより評価します。

#### 教科書

毎回プリントを配布します。

科目名	情報処理基礎	開講	半期	単位	2
担当	菅B1234選				
担当者名	よだ さよし 依田 聖				

#### 講義のねらい

コンピュータなしでは社会生活を遂行してゆくことは困難になりつつある。コンピュータの基本的な操作方法をマスターする中で、コンピュータの機能について理解し、情報を大学生活に活用する能力を身につける。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

大学あるいは企業でPCを道具（情報収集、情報伝達、レポートの作成等）として使う基本的な力（コンピュータ・リテラシー）を養う。演習を中心に進めるが、コンピュータ化の問題点と情報倫理等の講義も行う。演習の主要な点は（1）PCの操作（Windowsの基本操作）（2）WWW（ブラウザの使用法、情報検索・収集）（3）電子メール（送受信、添付ファイル、アドレス帳）（4）ワープロ（操作法、文書作成、印刷）

#### 履修上の留意点

講義にはメールを活用（講義録の送付と課題の提出）する。  
本科目は積み重ねが必要。欠席した場合必ず休んだ部分を勉強し、次回にのぞむように。分からないことは恥ずかしがらず聞き、その場で解決のこと。また復習をしっかりとすること。演習は結果としてハードなものになるので熱意を持って取り組むこと。休まず、遅刻はしないこと（出欠は必ずとる）。

#### 成績評価の方法

出席（毎回の課題を提出）・レポート40%、試験60%。特にメールを習った後は毎回の課題はメールで提出する。受講者が多いと試験を行う場合もある。

#### 教科書

太田忠一編『文科系のためのコンピュータリテラシ [第3版]』（サイエンス社）2004年  
1,995円、ISBN4-7819-1085-8

#### その他

授業の方法：1人1台コンピュータを使った実習形式  
〔クラス定員〕 60名  
〔関連科目〕 経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論  
※この科目は4月初旬に教務部で受講票を受け取らなければ履修できません。

科目名	情報処理基礎	開講	半期	単位	2
配当	営B1234選				
担当者名	かとう たけのぶ 加藤 武信				

#### 講義のねらい

情報化社会の電子文房具であるパソコンは、個人レベル、組織レベルおよび社会レベルで益々必要性を増している。ここではパソコンの原理とその活用法の基礎部分を総合的に学習し、それを自在に使用して、インターネットを用いた情報検索やワープロによる文書の作成、表計算によるデータ加工の技法などを修得する。パソコンの実習環境は、Windowsを用いる。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- (1) コンピュータの仕組みとWindowsの基本操作  
アクセサリとペイントの活用、タイピング、ファイルシステムの操作を含む
- (2) ワードプロソフトWordによる文書作成  
日本語入力、手紙、納品書、履歴書などの作成、図形描画の活用
- (3) 表計算ソフトExcelによる作表・作図（基本レベル）  
売上集計、成績処理と各種グラフ、納品書、履歴書、精算表の作成  
基本関数、論理関数、データベースの活用
- (4) インターネットと電子メールの活用  
Webページの検索、ダウンロード、メールの送受信など

#### 履修上の留意点

パソコン実習が全体の80%を占めるので、欠席せず、熱意をもって受講することを望む。習熟するためには、時間外のパソコン実習が必須である。また、テキストや配布教材を熟読しなければならない。

#### 成績評価の方法

平常点（出席とレポートへの点数付け）およびテストにより総合評価する

#### 教科書

加藤武信他『コンピュータ活用』（サンウェイ出版）2,300円  
ISBN4-88389-012-0 C0004

#### 参考書等

授業の中で示す

#### その他

授業の方法：パソコン実習  
〔クラス定員〕 60名  
〔関連科目〕 経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論  
※この科目は4月初旬に教務部で受講票を受け取らなければ履修できません。

科目名	情報処理応用I	開講	半期	単位	2
配当	営B1234選				
担当者名	ももづか <small>かおる</small> 桃塚 薫				

#### 講義のねらい

この講義の目的は、大学生として、そして卒業後も必要となるコンピュータの比較的高度なリテラシーを習得してもらうことです。パソコンとインターネットを用いて、必要な情報を収集する能力、自分で情報発信をする能力の両方を学習します。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- ・プレゼンテーションソフトの使い方（PowerPointによる資料作成、効果的なプレゼンテーションについて）
- ・ウェブサイトの作成（htmlのタグの使い方）
- ・コンピュータ・ネットワークの仕組み

#### 履修上の留意点

実習授業のため、欠席をしないようにしてください。毎回出席を取ります。なお、授業中に数回、課題を提出してもらいます。

#### 成績評価の方法

出席点、課題提出状況、レポートにより評価します。

#### 教科書

毎回プリントを配布します。

科目名	情報処理応用I	開講	半期	単位	2
担当	菅B1234選				
担当者名	かとう たけのぶ 加藤 武信				

#### 講義のねらい

「情報処理基礎」の授業で確立したパソコンに関する知識・技術をさらに発展させ、実社会で応用できる活用能力に高める。すなわち Excel による応用処理と PowerPoint を用いたプレゼンテーション、さらに関係データベース Access を活用した「仕事の仕組み」の具体化を試みる。パソコンの実習環境は、Windows を用いる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- (1) 表計算ソフト Excel による応用処理  
データベース応用、ピボットテーブルの活用、各種計算モデルの活用、管理資料の作成
- (2) プレゼンテーションソフト PowerPoint によるデータの視覚化  
表題、箇条書き、組織図、表、グラフ、挿絵入りスライドなどの作成
- (3) データベースソフト Access による成績処理業務の設計と処理  
テーブルの設計、フォームによるデータ入力、テーブルの結合、クエリによる各種集計、SQLの基礎

#### 履修上の留意点

パソコン実習が全体の80%を占めるので、欠席せず、熱意をもって受講することを望む。習熟するためには、時間外のパソコン実習が必須である。また、テキストや配布教材を熟読しなければならない。

#### 成績評価の方法

平常点（出席とレポートへの点数付け）およびテストにより総合評価する。

#### 教科書

加藤武信他『コンピュータ活用』（サンウェイ出版）2,300円  
ISBN4-88389-012-0 C0004

#### 参考書等

授業の中で示す

#### その他

授業の方法：パソコン実習  
〔クラス定員〕60名  
〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論  
※この科目を履修するためには、「情報処理基礎」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得たうえで履修登録してください。



科目名	情報処理応用I	開講	半期	単位	2
担当	営B1234選				
担当者名	依田 聖 <sup>よだ きよし</sup>				

#### 講義のねらい

コンピュータなしでは社会生活を遂行してゆくことは困難になりつつある。コンピュータの基本的な操作方法をマスターする中で、コンピュータの機能について理解し、情報を大学生活に活用する能力を身につける。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

前期で養った基本的な力をベースにして、コンピュータを実践的に使えるような力を養う。演習を中心に進めるが、情報倫理やITビジネス等の講義も行う。演習の主要な点は(1)表計算(エクセル)(操作法、表計算、グラフ)(2)www-ワープロ-エクセルの連携(アプリケーション間でのデータのやり取り、情報検索・収集とその解析)(3)HPの作成(ITML言語でHPを作成)

#### 履修上の留意点

講義にはメールを活用(講義録の送付と課題の提出)する。

本科目は積み重ねが必要。欠席した場合必ず休んだ部分を勉強し、次回にのぞむように。分からないことは恥ずかしがらず聞き、その場で解決のこと。また復習をしっかりとすること。演習は結果としてハードなものになるので熱意を持って取り組むこと。休まず、遅刻はしないこと(出欠は必ずとる)。

#### 成績評価の方法

出席(毎回の課題を提出)・レポート40%、試験60%。毎回の課題はメールで提出する。受講者が多いと試験を行う場合もある。

#### 教科書

太田忠一編『文科系のためのコンピュータリテラシ [第3版]』(サイエンス社)2004年  
1,995円、ISBN4-7819-1085-8

#### その他

授業の方法：パソコン実習  
〔クラス定員〕60名

〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論

※この科目を履修するためには、「情報処理基礎」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得たうえで履修登録してください。

科目名	経営学史	開講	通年	単位	4
配当	営B234選 営A234選				
担当者名	なかがわ じゅんぺい 中川 淳平				

#### 講義のねらい

この講義では、100年あまりにわたる経営学の歴史上、重要なものと位置づけられる学説の展開を、企業経営の背景にある社会経済システムの動きと関連させながら検討する。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

1. 経営理論のジャングルの状況、経営学前史
2. 科学的管理法と人間関係論
3. 所有と経営の分離（制度学派）
4. 近代組織論の展開
5. 社会経済構造の変動と経営学説の変容（マクロ組織論・経営戦略論）
6. 経済学の企業理論（新制度学派）
7. 企業と社会（ドイツ経営学の発展）

#### 履修上の留意点

講義中の私語は慎んで下さい。

#### 成績評価の方法

試験による。また必要に応じてレポートの提出を求めることがある。

#### 教科書

適宜プリントを配布する。

#### 参考書等

配布するプリントに適宜指示する。

科目名	アメリカ経営学	開講	通年	単位	4
担当	営B234選 営A234選				
担当者名	みやぎ てつ 宮城 徹				

### 講義のねらい

世界の経営学をリードしているのは、いうまでもなく、アメリカ経営学とドイツ経営学である。そして、日本の経営学の研究・教育は、第2次大戦前はドイツ経営学から、大戦後はアメリカ経営学から圧倒的な支配的影響を受けて発展してきた。ところが、特に1960年代以降になると、ドイツ経営学にもアメリカ経営学の影響が顕著に見られるようになった。

学生諸君は、必修科目である「経営学」の授業を通じて、無意識のうちに、アメリカとドイツの経営学にかんする基礎知識をある程度身につけていることを前提とした上で、経営学徒のメッカ、アメリカ経営学をその最先端の理論的・経験的研究の基本的成果を踏まえて全般的に講義するが、主として、下記の授業計画の7つの要目について検討する。その際、日本の企業との関連についても検討を加える。

### 講義の内容・授業スケジュール

マイクと板書。教科書は指定しない。

この授業は1週1回90分で年間30週の時間数（ただし、期末試験日を入れて）から成る。最初の授業時間は、この科目を選択するか否かを判断するために下見に来ている学生諸君に、アメリカ経営学の1年間の授業の概要を説明する。原則として、下記の授業計画の要目をそれぞれカッコ内の授業回数（合計29回）で完結する予定である。

なお、この授業回数は一応の目安であり、授業時間が祝祭日に当たる場合は授業の進展状況によって若干変更することがある。

#### 〈2007年度『アメリカ経営学』授業計画〉

- I 1年間の授業の概要 (1)
- II 経営学の対象と方法 (2)
- III 意思決定と権力（パワー）(8)
- IV 戦略（特に提携、グループ、ファミリー）(4)
- V コンティンジェンシー理論 (4)
- VI 取引コスト理論 (6)
- VII プロパティ・ライツ理論 (2)
- VIII プリンシパル・エージェント理論 (2)
- IV 契約の理論

### 履修上の留意点

テキストにそって講義し、要点を板書するが、受講生は口述を書き留める能力を磨く必要がある。

### 成績評価の方法

期末筆記試験。なお、学生諸君の理解度と教育効果を確認するために、期末試験以外に、小試験をおこない、その結果を評価の対象に加味することがある。

#### 《期末試験の出題形式》

複数の問題から1題選択して論述する。詳細は試験前の授業で説明する。

### 参考書等

- 1 宮城徹『企業の政治理論序説』（税務経理協会）1997年
- 2 宮城徹「企業制度とプロパティ・ライツ理論」『商学研究科紀要』（早大、第20号）1985年
- 3 宮城徹「情報と企業経営の理論的諸問題」日本経営学会編『情報化の進展と企業経営』（千倉書房）1987年
- 4 宮城徹「経営者論」鈴木英寿編著『経営学総論』（第2版）（成文堂）1998年
- 5 宮城徹「経営学の歴史」藤芳誠一編著『新版・新時代の経営学』（学文社）1993年
- 6 宮城徹「組織の経済理論の基礎構造」日本経営学会編『現代経営学の課題』（千倉書房）1997年
- 7 宮城徹（単独訳書）『情報時代の企業管理の教科書—組織の経済理論の応用—』（税務経理協会）2005年（A. Picot u. a., Die grenzenlose Unternehmung, Gabler, 1998）
- 8 宮城徹（共訳書）『新制度派経済学による組織入門』（白桃書房）1999年（A. Picot u. a., Organisation. Eine ökonomische Perspektive, Schaffer-Poeschel, 1997）  
ここでは紙幅の関係で上記の授業内容に直接関連のある私の著書・論文・訳書だけを参考文献の一部として掲げておいたが、その他の文献については適宜紹介しておく。
- 9 宮城徹「企業文化と組織の経済理論」遠山正朗編著『ケースに学ぶ企業の文化』（敬愛大学学術叢書）（白桃書房）2003

科目名	ドイツ経営学	開講	通年	単位	4
配当	営B234選 営A234選				
担当者名	<small>たかはし しげお</small> 高橋 成夫				

講義のねらい

ドイツ経営学の性格や内容を、この学問の歴史の中で明らかにするとともに、現代のドイツの企業経営制度の特徴を解明することにある。

講義の内容・  
授業スケジュール

- I. ドイツ経営学の生成
- II. ドイツ経営学の展開
  - (1) 科学的私経済学と技術論的私経済学
  - (2) 私経済学的企業経済学と規範的・技術的経営経済学
  - (3) 理論科学的経営経済学と応用科学的経営経済学
- III. ドイツ経営学の動向
  - (1) 意思決定志向的経営経済学
  - (2) システム志向的経営経済学
  - (3) 労働志向的経営経済学
- IV. ドイツの企業経営制度

履修上の留意点

積極的に出席することが望ましい。

成績評価の方法

定期試験や出席状況等を総合して評価する。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

北野利信編『経営学説入門』(有斐閣新書)  
北村健之助『経営経済学』(学文社)

科目名	経営管理論	開講	通年	単位	4
配当	営B234選 営A234選				
担当者名	えだまつ まさゆき 枝松 正行				

講義のねらい

経営管理の理論と現実について、経済社会の動向、資本主義企業の現在の姿を視野に入れつつ、説明する。

講義の内容・  
授業スケジュール

下記の1、2、3を前期にとりあげ、それとの関連において後期には4を中心に講義する。

- 1 古典的理論
  - (1) テイラーの科学的管理論
  - (2) 管理過程論（職能論）
  - (3) 管理構造論（組織論）
- 2 新古典的理論
  - (1) ホーソン実験と人間関係論的管理論
  - (2) 行動科学的管理論
  - (3) 管理開発論
- 3 近代理論
  - (1) パーナード革命
  - (2) 組織論的管理論
  - (3) 意思決定論的管理論
- 4 現代企業論
  - (1) 環境適応的管理論
  - (2) 戦略的管理論
  - (3) 環境問題と企業責任論

履修上の留意点

毎回出席をとり、カードにより質問・意見・要望を次回授業に反映させる。

成績評価の方法

成績は前・後期の中間テストと平常点により評価する。

教科書

鈴木幸毅著『企業と管理の理論』（税務経理協会）2001年4月

参考書等

鈴木幸毅著『パーナード組織理論の基礎』（税務経理協会）1998年  
 鈴木幸毅著『環境ビジネスの展開』（税務経理協会）2001年5月  
 鈴木幸毅著『地球環境問題と各国・企業の環境対応』（税務経理協会）2001年6月

科目名	経営組織論	開講	通年	単位	4
配当	営B234選 営A234選				
担当者名	日野 <small>ひの けんた</small> 健太				

#### 講義のねらい

組織論のフレームワークによって、企業をはじめとする組織を分析できるようになることを目的とする。そのための基本概念と思考方法を学ぶ。

#### 講義の内容・授業スケジュール

経営組織論の内容は、大きく分けて、組織の環境適応を扱うマクロ組織論と、組織における集団、個人を扱うマイクロ組織論に大別される。この講義は、マイクロ組織論、マクロ組織論の順序で講義を進める。学生諸君が具体的なイメージを持てるように、配慮する。また、学年末の数回は、組織論の分野の新しい理論やトピックについて扱い、全体的な理解が深まるようにする。

講義の対象は以下の通り（番号と講義の回数は対応しない。また必要に応じて順序を入れ替えることがある。）。

- (1) 組織論における組織観と人間観
- (2) モチベーション
- (3) 組織文化
- (4) リーダーシップ
- (5) 組織の環境適応
- (6) 戦略と組織構造
- (7) 情報処理の理論
- (8) 知識創造理論
- (9) 資源依存モデル
- (10) まとめ

#### 履修上の留意点

どうすればうまく学べるか、を意識して欲しい。「自分の言葉でひとにわかるように説明する」ことを意識して講義に参加すること。試験前に困っている友達にノートを貸して、講義の内容を教えてあげられるようになれば完璧。

#### 成績評価の方法

後期の授業開始日に中間試験を行う。このテストのウエイトが30%程度、学年末の定期試験のウエイトが70%程度。大まかには、この二つが成績を決める。中間試験を欠席するのは、即不可ではないが、致命的である。

授業中に小テストを行ったり、講義の内容に対してフィードバックを得るために出席をとることがあるが、必要に応じて成績評価に加味する。

#### 教科書

金井壽宏『経営組織』（日経文庫）

#### 参考書等

桑田・田尾『組織論』（有斐閣）  
 大月・藤田・奥村『組織のイメージと理論』（創成社）  
 田尾『モチベーション入門』（日経文庫）  
 経営学辞典の類、例えば、二神編著『ビジネス・経営学辞典』（中央経済社）などもなにかと重宝である。

科目名	経営労務論	開講	通年	単位	4
配当	営B234選 営A234選				
担当者名	かしま ひであき 鹿嶋 秀晃				

#### 講義のねらい

この講義では、現代の日本企業とそこに働く労働者が抱える経営労務問題を幅広く扱っていく。具体的には経営学と経営労務論、戦後日本経済と日本的経営論、終身雇用、年功序列賃金、企業別組合制度、福利厚生制度、異動と昇進、人材形成、労働時間問題、ホワイトカラーの労働問題、女性労働問題などの小テーマを設けて講義していく。学生には経営労務論を受講することで企業と労働、社会について幅広い問題関心を持ってもらいたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義は1コマ1テーマの原則。各回の最初に「日本は本当に終身雇用なのか？」といったようなテーマを掲げ、その解説をおこなう。また、最近の新聞記事から重要な経営労務問題をピックアップして紹介する。

#### 履修上の留意点

詳細は最初の講義で説明する。出席は取らないので、出席点は無し。(1) 私語は真剣に聞いている他の学生に迷惑になるのではないこと。(2) 携帯電話は消音すること。ひどいときには退室してもらい、単位の認定をしない。

#### 成績評価の方法

評価は学期末試験とレポート提出の合計点で成績評価を実施する。受講者数の大小によって変更する場合もあり。

#### 教科書

テキストは年度途中で指定する予定。

#### 参考書等

津田真澄『人事労務管理』（ミネルヴァ書房）1993（定価3,000円程度）、労務学説史をわかりやすく説明したものとして渡辺峻『企業組織の労働と管理』（中央経済社）1995（定価2,600円程度）、経営労務をより体系的に深く学習するのによい白井泰四郎『現代日本の労務管理第2版』（東洋経済新報社）1992（定価3,500円程度）をあげておく。この他にも講義の中で適宜いろいろな文献を紹介していく。

#### その他

授業は講義形式でおこなうが、図表やグラフを多用し、ただ聞いてノートを取るだけでなく「頭をつかう」ような形にする。ホームページでも授業に関する情報提供をしていく。次のURLを参照。<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kashima/>

科目名	マーケティング論	開講	通年	単位	4
配当	営B234選 営A234選				
担当者名	かねむら えいてつ 兼村 栄哲				

### 講義のねらい

社会的分業体制が成立している今日の経済においては、生産と消費の間に、財ないしサービスの生産者と消費者が人格的に分離したことから生じる主体的懸隔、商品の生産者と消費者が、それぞれ、相手の事情に関する情報を欠如していることから生じる情動的懸隔、商品が生産される地点とそれが消費される地点が異なることから生じる空間的懸隔、商品が生産される時点とそれが消費される時点が異なることから生じる時間的懸隔といったさまざまな経済的懸隔が発生している。

マーケティングとは、こうした経済的懸隔を架橋することにより、円滑な交換（の連鎖）を実現し、ひいては、消費者が生産者が生産した商品を消費することを可能にする活動をいい、社会経済的な観点に立ったマクロ・マーケティング（流通とはほぼ同義）と、個別企業のマネジメントの観点に立ったミクロ・マーケティング（いわゆる「マーケティング」）に大別される。マーケティング論は、以上の2つのマーケティングのメカニズムを研究する学問である。本講義のねらいは、各履修者が、マーケティング論における基本的な概念ないし理論などを正確に理解することにある。

### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 マーケティングの二義性
- 2 流通機能の意義と領域
- 3 流通機構の意義
- 4 流通機関の意義と分類
- 5 商業者の分類
- 6 小売業者の分類
- 7 マーケティング・コンセプト
- 8 企業におけるマーケティングの役割
- 9 マーケティング管理
- 10 製品政策
- 11 価格政策
- 12 プロモーション政策
- 13 チャンネル政策

### 履修上の留意点

講義中に印刷物を配布することがあるが、この印刷物は当該講義時間内にしか配布しない。やむを得ない事情により、印刷物配布時に欠席した場合には、次回講義までに知人に印刷物をコピーさせてもらうこと。

### 成績評価の方法

テスト 90点  
出席状況 10点（5回の抜き打ち調査による。）

### 参考書等

宮澤永光監修『基本流通用語辞典』〔改訂版〕（白桃書房）2007年  
宮澤永光・亀井昭宏監修『マーケティング辞典』〔改訂版〕（同文館）2003年



科目名	経営財務論	開講	通年	単位	4
配当	営B234選 営A234選				
担当者名	<small>たかだ みつあき</small> 高田 光明				

#### 講義のねらい

経営財務論は、企業という組織体の財務活動を研究対象とする学問分野である。今日、企業の財務という場合、企業による資本の調達と運用をいっている。企業は、その活動を営むに際し、原材料などの財貨や労働力を確保しなければならない。そのために元手となる資本を必要とする。資本の調達とは、この元手となる資本を集めることをいう。そして調達した資本で、企業は、原材料などの生産要素を取得して、製品を生産し販売するという活動を遂行する。これが資本の運用である。

資本の源泉は、それぞれ異なる特徴を持っている。したがって、生産要素の取得を賄うために必要とする資本を、どの源泉からどのくらいずつ調達するかは、企業のその後に大きな影響を与える。この授業では、以上の問題意識のもとに、次のスケジュールにしたがって講義を進め、経営財務に関する基礎的知識・基本的考え方を身に付けることを主要目的とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. 経営財務の領域
2. 資本と資産
3. 資本の分類
4. 資本の運用形態
5. 資金調達方法の特徴
6. 資金調達の基本原則
7. 流動・固定分類法の重要性
8. 資金概念
9. 企業利益の概念
10. 減価償却費の性格
11. キャッシュ・フロー
12. リスクとリターン
13. レバレッジ
14. 資本のコスト
15. 続・資金調達の基本原則
16. 資金調達の手順

#### 成績評価の方法

期末の筆記試験による評価を原則とし、出席点を加味する。

科目名	経営戦略論	開講	通年	単位	4
配当	営B234選 営A234選				
担当者名	なかむら こういち 中村 公一				

### 講義のねらい

経営戦略論は、現実の企業経営と密接に関連している実践的要素の強い科目である。受講生が企業に就職した時に、その企業が属する業界がどのように動いており、それに対応して企業が採っている戦略を理解することは、自分達の仕事の意義を考える上でも有効なことである。さらに、就職活動の時にも、希望する企業の動向を把握することは重要な選択要因の1つとなるだろう。

本講義では、さまざまな企業の置かれている環境とそれに対する経営戦略を理解し、実践的な場面でも応用できる知識と考え方を提供することを目標に進めていく。そこで、新聞やビジネス誌などをリソースとして、実際の経営戦略をケースとしてできるだけ取り上げるようにする。

そして、なぜこの企業はこの戦略を採るのか、その戦略によってどのような効果が期待されるのか、ということに関して、古典から最先端の理論を使って解釈することを焦点に講義を行う。

### 講義の内容・授業スケジュール

講義のテーマは、企業の成長戦略と競争戦略にある。これは、経営戦略論の中心的概念であり、企業が存続し発展していくには成長が必要であり、そのためには他企業との競争が避けられないからである。講義内容は、1回の講義で1つのトピックの理解に努める。

1、経営戦略の基本課題（経営戦略とは何か、戦略の概念、経営戦略論の発展；学説的系譜、外部環境分析・内部資源分析、戦略の策定と実行、現代企業の経営戦略、組織変革との関係など）

2、企業の成長戦略（企業の成長とは何か、事業領域の決定、多角化戦略、内部成長戦略；研究開発戦略、外部成長戦略；M&A・アライアンス、グループ戦略、グローバル戦略など）

3、企業の競争戦略（企業の競争とは何か、競争上の優位性、価値連鎖；パリューチェーン、コア・コンピタンス、コーポレート・ブランド、ビジネスモデル、ナレッジ・マネジメント、イノベーションなど）

以上は、講義で扱う主要テーマであり、この順番通りに行うわけではない。また、1回の講義の中で複数のテーマを扱う場合もある。

### 履修上の留意点

経営戦略論は、実際の企業活動と密接に関連しているために、日頃から新聞や雑誌などで関連する記事にはできる限り目を通すことが望まれる。

注意点としては、講義に対する妨害行為（私語、携帯電話など）には厳しく対処する。1人（数名）の愚かな行為により、他の真面目な学生に迷惑をかけ、講義自体の雰囲気が悪くなるために、教場を友人との話す場として考えている者は出席しないこと。

### 成績評価の方法

年度末の定期試験を中心に、レポート課題や、授業中に実施する小レポートなども成績評価に含める。

### 教科書

授業中にレジュメを配布して、それに基づいて講義を進める。1回の講義で1つの重要テーマに関する内容を学習する。

基本図書や参考文献などは授業中にその都度指摘する。

### 参考書等

・中村公一『M&Aマネジメントと競争優位』（白桃書房）

科目名	ベンチャー企業論	開講	通年	単位	4
配当	営B234選 営A234選				
担当者名	許 伸江 <small>きよのぶえ</small>				

#### 講義のねらい

経済の停滞が長引く中、活力あるベンチャー企業への関心が高まっている。本講義は、ベンチャー企業の意義、歴史、特徴等について理解することをねらいとする。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

前期の講義では、ベンチャー企業台頭の経済社会的背景について理解するため、主に中小企業に焦点を当てる。その中で、企業家（起業家）、イノベーション、企業成長プロセス、および資金調達等のテーマについてもとり上げることとする。

後期の講義では、ベンチャー企業の経営的特徴について、より詳しくみていく。必要に応じて、ベンチャー企業のケースもとり上げる。

#### 成績評価の方法

期末テストにより成績評価を行う。かつ、授業中の小レポート等も加味する。

#### 教科書

教科書は使用せず、ノート講義の形式とする。

#### その他

授業方法は、講義形式とする。

科目名	環境経営論	開講	通年	単位	4
配当	営B234選 営A234選				
担当者名	しらとり かずひこ 白鳥 和彦				

講義のねらい

地球環境問題は全人類の課題であると共に、企業経営においても重要な課題である。我が国では公害問題以降、環境問題への対応は進み、企業活動における環境への対応は今や必須であるが、これまでは環境対応は負担と考えられてきた。しかし環境問題を企業の成長の糧、競争優位の条件として捉えた「環境経営」の取り組みが進められている。

持続可能な成長のために企業が行う環境経営とは如何なるものか。企業の社会的責任（CSR）の遂行のためにどう取り組んでいるか。企業経営における環境課題の取り組みについて理解を深めてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

環境経営の考え方と課題、およびその取り組みについて小テーマに分けて講義を行う。また産業界に籍を置く講師の知見を活かし、具体的な事例を多く取り上げていく。

1. 環境マネジメント  
ISO14001、エコアクション  
環境教育、環境業績評価、等
2. 事業活動（生産システム）の環境対応  
温暖化防止、省資源・リサイクル、化学物質削減、グリーン調達、等
3. 環境技術開発  
エコプロダクツ、LCA、環境効率、等
4. 環境情報開示と環境コミュニケーション  
環境会計、環境報告、エコラベル、自然活動、等

履修上の留意点

途中数回小レポートを課することがある。

成績評価の方法

講義への出席状況および期末試験により評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

参考書は適宜紹介する。

その他

単に知識を積み上げるのではなく、企業の具体的な事象に触れ、原因、成果及び効果、課題などについて自ら考えられる形とする。

科目名	経営史	開講	通年	単位	4
担当	営B234選 営A234選				
担当者名	前田 <small>まさた</small> 和利 <small>かずとし</small>				

#### 講義のねらい

経営史を学ぶことによって企業経営の変化のダイナミズムを理解することが可能となる。本講義では、方法論を検討したうえで、経営発達史における各段階の典型国をとりあげて講義するが、その際できるだけ産業・企業の歴史や国際比較の視点をふまえて論じていく。その結果、日本の企業経営の特質を鮮明に浮かび上がらせることができよう。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- I. 経営史研究の課題と方法
  - II. 企業経営発達史
    1. 企業経営の生成  
商人資本の経営、マニファクチュア経営
    2. 企業経営の確立  
産業革命、工場制度、企業経営の諸様相－企業経営者のタイプと理念、企業・経営諸機能
    3. 企業経営の発展  
市場と技術、大量生産システム、大企業の形成と戦略・組織、巨大企業の成立と管理機構
    4. 企業経営の変容  
大企業体制の動揺と新動向－管理組織の変遷を中心として
- 以上のうち、前期において企業経営の確立のうち企業経営の諸様相の一部まで終える。なお、後期には進行速度に応じて日本の企業経営の変革について論じる予定である。

#### 履修上の留意点

教科書は使用しないので、授業開始時に配布するレジュメおよび下記の参考書を参照し、必ずノートを整理しておくこと。年に数回簡単な問題等を提示して回答してもらう予定である。

#### 成績評価の方法

学年末試験による評価を原則とするが、出席時に提出した回答を多少考慮する。

#### 教科書

使用しない。

#### 参考書等

榎本悟『アメリカ経営史学の研究』（同文館）、大河内暁男『経営史講義』（第2版）（東京大学出版会）、米倉誠一郎『経営革命の構造』（岩波新書）、安部悦生『経営史』（日経文庫）、鈴木良隆ほか『ビジネスの歴史』（有斐閣）、経営史学会編『外国経営史の基礎知識』（有斐閣）、下川浩一『「失われた十年」は乗り越えられたか』（中公新書）その他随時紹介する。

科目名	日本経営史	開講	通年	単位	4
配当	営B234選 営A234選				
担当者名	おおしま ひさゆき 大島 久幸				

#### 講義のねらい

株主との利害調整、持株会社の機能、経営者の役割など現代企業が直面する様々な問題に対処するうえで、近代以降の企業経営の歴史から多くの示唆を得ることができよう。本講義では、近代日本において経済発展を担う主体として、また日本的な企業類型の主要なルーツとして中心的な地位を占めてきた財閥に着目して、それら財閥が、どのようなプロセスで誕生し、日本の経済発展とともにどのように成長していったのかという点を考察し、そこから日本経済の歴史的な起源や日本の経済発展を考えてみたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

【前期】 1. 財閥の定義 2. 幕末維新の危機 3. 資本生社会論 4. 政商の誕生 5. 政商と華族資本 6. 政商からの脱皮 7. 運輸・通信システムの建設 8. 産業化の光と影 9. 家政改革と家憲 10. コンツェルンと持株会社 11. 専門経営者の登場（1） 12. 専門経営者の登場（2） 13. 前期のまとめ

【後期】 1. 第一次大戦期における商社ブームと破綻 2. 三井物産の形成 3. 鈴木商店と金融恐慌 4. 都市化の進展と大衆生活の洋風化 5. 三大財閥の覇権 6. 恐慌とドル買い事件 7. 財閥の転向 8. 戦時体制と財閥 9. 財閥解体 10. 企業集団の形成 11. 高度成長期の日本経済 12. 高度成長期の専門経営者 13. 後期のまとめ

#### 成績評価の方法

前期試験と定期試験で総合的に評価する。

#### 教科書

武田晴人『財閥の時代』（新曜社）1996年

#### 参考書等

宇田川勝・中村青志『マテリアル日本経営史』（有斐閣）1999年。老川慶喜・仁木良和・渡邊憲一『日本経済史』（税務経理協会）2002年。

科目名	商業史	開講	通年	単位	4
配当	営B234選 営A234選				
担当者名	やまだ まさる 山田 勝				

講義のねらい

大変革の渦中にある現下の商業経営を、歴史的視点から見つめ直し、変革の方向と意味を考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

- <A> 生産主導の商業
  - (1) 商業史の意義と講義の目的
  - (2) パラダイムの発展
  - (3) 利益と継続性
  - (4) 商品と市場
  - (5) 大衆消費社会の特徴
- <B> 需要主導の商業
  - (1) 消費スタイルの変化
  - (2) 充足から満足度重視へ
  - (3) 多様化の要因
  - (4) 「サービス」商品の特徴
  - (5) IT革命と商業経営
  - (6) 生活（文化）の変革と商業

履修上の留意点

教科書の内容を講義で補充していくので、出席はとらないが聴講に努め質問をして欲しい。講義中の私語は他の受講生に迷惑となるので厳禁とする。

成績評価の方法

定期試験による。

教科書

山田勝『商業史概論』（創成社）3,000円（消費税別）

科目名	保険経営論	開講	通年	単位	4
配当	営B234選 営A234選				
担当者名	石名坂 邦昭				

#### 講義のねらい

本講義においては、保険学のアプローチとして近年一般化しつつあるリスク・マネジメントの基本的事柄につき理解した後に、保険理論の基本的知識を正確にし、わが国の保険事業並びに一般企業がかかえているリスクに関する諸問題にどのように対処したらよいかの応用能力が持てるようになることを目標とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

保険学の研究は、保険法学的アプローチ、保険経済的アプローチ、保険経営学的アプローチとそれぞれの時代を背景に論じられてきた。今日、保険学研究については保険経営学的研究をより発展させた、「危機管理論」(リスク・マネジメント)研究が主流となっている。本講義においては、最初にリスク・マネジメントの基本的体系について論じ、リスク・マネジメントの理論、歴史的発展について見た後に、リスク・マネジメントの中心となる保険の機能、保険本質、保険技術について詳しく見ていきたい。

前期はリスク・マネジメントを中心とした講義を行い、後期に保険論を中心とした講義を行う。講義は、理解しやすいように工夫をこらしていく。教科書は使用するが、それは本講義を理解するための基本的共通知識として使用し、講義は教科書に書かれている事柄が理解されていることを前提として進めていく。

#### 履修上の留意点

保険およびリスク・マネジメントを理解するためには使用される専門用語を理解されていないと、学ぶことも広範囲にわたるため、講義を受ける前に必ず教科書を読み講義後の復習も忘れないようにしてほしい。学生諸君の積極的な授業への参加を望む。

#### 成績評価の方法

講義への出席状況および授業時の質疑応答と定期試験の結果を総合して成績評価を行う。

#### 教科書

石名坂著『リスク・マネジメントの理論』(白桃書房) 3,500円

#### 参考書等

石名坂著『ファミリーリスク・マネジメントと保険』(白桃書房)  
石名坂著『リスク・マネジメントの基礎』(白桃書房)



科目名	銀行経営論	開講	通年	単位	4
配当	営B234選 営A234選				
担当者名	はつとり よしひさ 服部 昌久				

#### 講義のねらい

金融制度は一国の歴史的発展の産物であり、その国の繁栄を築くための社会的インフラである。社会が今日のように大きな変革期にあるときには、長期的な展望に立って変化を先取りして新たな制度を構築しなければならない。経営環境が大きく変化した中で、銀行は新たな道を求めて模索しているが、本講義においては、戦後のわが国の金融システムの変遷を振り返るとともに、欧米主要銀行の動きにも注目しながら、利用者のニーズに応える銀行のあるべき姿を探りつつ、時事問題も含め、銀行経営にかかわる諸問題を、わかりやすく解説する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義はおおよそ次のような内容を予定している。

- (1) わが国の金融制度の沿革と特徴
- (2) 銀行の機能
- (3) 銀行の業務
- (4) 銀行経営と業績の見方
- (5) 銀行経営とリスク管理
- (6) 信用秩序の維持と諸規制
- (7) これからの銀行経営のあり方

#### 履修上の留意点

講義は基本的な事柄を取り上げ、わかりやすく解説するよう心がけるが、それでも不明な点があれば、質問を歓迎する。

#### 成績評価の方法

学年末の定期試験（参照物の持込不可）（50％）、レポート（45％）、授業への出席（5％）を総合して評価する。

レポートの課題は開講時に指示する。

#### 教科書

指定しない。

#### 参考書等

- ・高木仁、高月昭年『入門 日本の金融機関』（東洋経済新報社）2000年 2,900円
- ・鹿野嘉昭『日本の金融制度』（第2判）（東洋経済新報社）2006年 3,800円
- ・藪下史郎、武士俣友生『中小企業金融入門』（東洋経済新報社）2002年 2,800円
- ・全国銀行協会金融調査部『図説わが国の銀行（2003年版）』（財経詳報社）2003年 2,200円
- ・星岳雄・A.カシャップ『日本金融システム進化論』日本経済新聞社 2006年 2,800円

科目名	商業経営論	開講	通年	単位	4
配当	営B234選 営A234選				
担当者名	いしかわ かずお 石川 和男				

### 講義のねらい

人は日々モノやサービスを購入し生活している。またこれらの活動なしには人々の生活が成立しなくなっている。本講義では主に人々（消費者）にモノやサービス（特にモノ）を販売する主体（商業者）の行動を取り上げる。分野として大きく分けると4つの分野から構成されている。1）商業・流通の概念とその機能、2）商業者（流通業者）の現状とその行動、3）販売に関する技術と方法、4）商業者を取り巻く外部環境と内部環境についてである。これら4つの面から多面的に商業者の組織的行動である「商業経営」をとらえてもらえればと考えている。また受講生には受け身の姿勢ではなく、積極的に疑問に思い、解決を探る姿勢が身につけられるように期待したい。

### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 開講にあたって（受講上の諸注意）
- 2 商業とは、流通とは（商業概念、流通概念）
- 3 流通機能と流通機構
- 4 流通機能I（商的流通と物的流通）
- 5 流通機能II（流通情報と流通情報システム）
- 6 流通補助機関の役割
- 7 小売とその営業形態
- 8 小売業の構造と変化
- 9 小売マーケティング
- 10 卸売とその営業形態
- 11 卸売業の構造と変化
- 12 卸売マーケティング
- 13 卸売マーケティングの事例
- 14 予算管理と販売管理
- 15 商品回転率と価格政策
- 16 仕入管理と売買契約
- 17 在庫管理
- 18 消費者行動の変化
- 19 商業立地と商業集積
- 20 商業・流通を取り巻く法的環境
- 21 流通政策I（競争政策と振興政策）
- 22 流通政策II（調整政策）
- 23 中小零細商業者問題
- 24 中小零細商業者の将来
- 25 日本の商業環境と商慣行I
- 26 日本の商業環境と商慣行II
- 27 これまでの講義のまとめ

### 履修上の留意点

- 1 遅刻、早退、中抜けをしない
  - 2 授業中は携帯電話の電源を切る（発見した場合はその場で受講中止）
  - 3 他人との会話などを授業中はしない
  - 4 帽子の着用、飲食しないなど最低限のマナーは守る
  - 5 公欠の取り扱い（運動部の人は必ず公式試合などの場合は提出のこと）
  - 6 その他
- ・第1回目の授業時に詳細な注意事項を書いたプリントを配付する

### 成績評価の方法

授業への参加意欲（出席点） 約30%  
 中間レポート（テーマまたは課題図書を選択制） 約30%  
 期末試験 約40%  
 授業中のボーナス加点  
 また、年度内に販売士試験2級に合格したものは加点する

### 教科書

青木・石川・尾崎・斎藤(2007)『流通論』創成社、2000円

参考書等

石川和男(2004)『基礎からの商業と流通』中央経済社  
鈴木安昭(2004)『新・流通と商業(第3版)』有斐閣  
小宮路雅博編著(1997)『現代の小売流通』同文館

その他

第1回目の授業時に詳細な説明を行う。必ず第1回目の授業から出席のこと。  
連絡方法は、授業時に指示する。

科目名	上級簿記	開講	通年	単位	4
配当	営B234選 営A234選				
担当者名	<small>たなべ ただし</small> 田辺 正				

講義のねらい

この講義は「簿記学」を習得した学生を対象とし、通年で日商簿記検定2級から1級程度の商業簿記の知識を身につけることを目的としています。

投資家、債権者、取引先、課税当局などの外部利害関係者に対して、企業は経済活動及び経済事象を財務諸表等によって報告する役割があります。しかし、企業では経営の多角化及び国際化の傾向が急速に強まり、これにともなって取引も複雑化してきました。したがって、企業は高度な会計知識をもった会計技術者を必要としています。問題意識をもって積極的な姿勢でこの講義を受講することを強く望みます。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 現金預金取引
2. 銀行勘定調整表
3. 有価証券
4. 手形取引
5. 引当金
6. 特殊商品売買取引
7. 固定資産
8. リース
9. 社債
10. 本支店会計
11. 合併
12. 連結会計

履修上の留意点

必ず電卓を用意してきてください。

成績評価の方法

小テスト及び期末テストによって総合的に評価します。

教科書

加古宜士、渡部祐亘編著『新検定簿記講義2級商業簿記』中央経済社

参考書等

加古宜士、渡部祐亘編著『新検定簿記ワークブック2級商業簿記』中央経済社(教科書と併せて購入すれば検定試験対策になります。)

その他

是非、日商簿記検定2級を目指してみてください。教科書は『簿記講義』を使用しますが、各項目ごとに出来るだけ丁寧に説明していきます。ただ、『ワークブック』も購入して勉強していただければ、より効率があがると思われます。

科目名	財務会計論	開講	通年	単位	4
配当	営B234選 営A234選				
担当者名	わたなべ えいちろう 渡邊 恵一郎				

#### 講義のねらい

財務会計論は会計学の一分野であり、企業の経営成績と財政状態を明らかにするという基本的職能を取り扱っている。財務会計の目的は、企業経営に責任を負う経営者に、投資者、債権者その他企業と利害関係を持つ外部の人々に対して、適切な企業財務情報を提供させることにある。この主たる手段が、損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書などの財務諸表である。

講義では、財務諸表を作成するための会計処理（測定）と表示方法（伝達）を中心的課題とし、またこれに関するわが国の会社法、税法などの会計法規も取り上げ、さらに国際会計基準との関連にも触れる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義の内容はおおむね下記の教科書によることとし、この授業スケジュールは次のとおりである。

- (1) 4～5月 財務会計の機能と制度、利益計算の仕組み、会計理論と会計原則
- (2) 6～7月 利益計算と資産評価の基本原則、現金預金と有価証券、売上高と売上債権、棚卸資産と売上原価
- (3) 9～10月 固定資産と減価償却、繰延資産、負債、純資産
- (4) 11～12月 財務諸表の作成と公開、連結財務諸表、外資建取引等の換算

#### 履修上の留意点

毎時間の出席率と宿題提出（年1回）を重視する。

#### 成績評価の方法

成績評価は、出席率、宿題提出及び定期試験点数の総合による。

#### 教科書

桜井久勝著『財務会計講義』（中央経済社）

#### 参考書等

日本公認会計士協会編『監査小六法』（中央経済社）

#### その他

- (1) 授業の方式は、講義による。
- (2) 簿記学・会計学の単位を修得していること。

科目名	管理会計論	開講	通年	単位	4
配当	営B234選 営A234選				
担当者名	さるやま よしひろ 猿山 義広				

### 講義のねらい

この講義の目的は、日商簿記検定試験や公認会計士試験に出題された計算問題を解きながら、管理会計の考え方や技法を理解してもらうことにある。管理会計は財務会計と並ぶ会計学の柱であり、会計学系列の演習を受講する学生はできるだけ履修してほしい。また、管理会計は経営学とも深く関わっているので、経営学系列の演習を受講する学生も積極的に履修してほしい。

### 講義の内容・授業スケジュール

この講義の小テストを除いた授業計画は以下のとおりである。

- 第1回 管理会計の基礎
- 第2回 管理会計と原価計算Ⅰ－原価の意義と分類
- 第3回 管理会計と原価計算Ⅱ－原価計算の手続
- 第4回 管理会計と原価計算Ⅲ－直接原価計算
- 第5回 短期利益計画におけるCVP分析Ⅰ－損益分岐点分析
- 第6回 短期利益計画におけるCVP分析Ⅱ－目標利益の達成計画
- 第7回 短期利益計画におけるCVP分析Ⅲ－プロモーション効果
- 第8回 原価予測
- 第9回 最適セールス・ミックスの決定
- 第10回 経済的発注量（EOQ）の決定
- 第11回 事業部制の管理会計
- 第12回 標準原価計算による原価管理Ⅰ－原価統制の基礎
- 第13回 標準原価計算による原価管理Ⅱ－製造間接費の原価差異分析
- 第14回 予算実績差異分析
- 第15回 標準直接原価計算
- 第16回 活動基準原価計算（ABC）
- 第17回 原価企画
- 第18回 バランスト・スコアカード（BSC）
- 第19回 意思決定会計Ⅰ－不確実性下の意思決定
- 第20回 意思決定会計Ⅱ－設備投資の意思決定

### 履修上の留意点

講義の重点は計算問題の解法に置かれるので、かならず電卓を持参すること。周知のように、管理会計における計算問題の多くは、日商簿記1級原価計算や公認会計士試験原価計算の特殊原価調査の分野で出題されるような問題と重なっているので、学習効果を高めるためにも、できるだけ「原価計算論」と併せて履修してほしい。

### 成績評価の方法

年間で6回から8回行う小テストを計20点満点、定期試験を80点満点として、合計100点満点で評価を行う。定期試験は電卓以外の持ち込みは一切不可なので、注意してほしい。ただし、中間試験および夏休み中のレポートなどは行わないので、安心して下さい。

### 教科書

とくに指定する教科書はないが、計算問題については日商簿記2級工業簿記や日商簿記1級原価計算の過去問題を参考にしてほしい。また、例題や解法のポイントについてのプリントを毎回配布するので、それを保存するようにしてほしい。

### 参考書等

管理会計の最新理論については次の本に詳しく述べられている。  
櫻井通晴『管理会計〔第三版〕』同文館出版。

### その他

少しでも疑問な点があれば、授業中でも授業終了後でもかまわないので、積極的に質問すること。最後まであきらめることなく、よい成績が得られるように、粘り強く勉強してほしい。

科目名	会計監査論	開講	通年	単位	4
配当	営B234選 営A234選				
担当者名	あべ かずひと 阿部 一人				

### 講義のねらい

“監査論を無味乾燥であるとエスケープしないでくれたまえ”

もともと監査論は、その言葉自体がもつ語感からして、堅苦しく・手続的で暗いイメージを与えがちである。

監査論は他人の不実行為を暴くこと自体を目的とするものではないので、仮にその結果、内容のどこにも非のうちどころがなく全く適切で妥当なことが明らかになったとしても、それはむしろ当然の事柄であって、その人が負っている責任を免れることにもなるのである。

監査は、優れて社会的・人間的な用具として生みだされたものであるが、しかしそれを悪用したり骨抜きにしたりする者も現実には存在することは、過去の事例からも明らかなことであるけれども、そのような者が多ければなおのこと監査に対する社会的な要望も多岐に存在している。

まさに、監査がどれだけ社会一般に受け入れられているかということこそ、文明社会を映し出す尺度であると言えまいか！

監査論は財務諸表監査として特徴づけられている。

これは、企業をめぐる多数の利害関係者を保護するため、企業の発表する財務諸表が企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて、職業的監査人が公正な立場から批判的意見を表明する社会制度であり、他のあらゆる監査の標準をなすものである。

本講義では、財務諸表監査を中心として、さらに監査役監査ならびに内部監査をはじめ最近の経営監査、監査の国際化などの関連領域をも含めて論及する。

### 講義の内容・授業スケジュール

1. 会計監査の意義と目的（総論）（1）
  - （1）監査の必要
  - （2）監査の意義
  - （3）監査の対象
2. 会計監査の意義と目的（2）
  - （1）監査の目的
  - （2）監査思想の変遷
  - （3）監査の効用
3. 監査の機能
4. 会計上の誤謬と不正
5. 監査の種類
6. 会計監査と財務諸表監査
7. 我国の監査制度
  - （1）証券取引法監査
  - （2）商法監査
  - （3）その他の監査制度
8. 監査基準（1）
  - （1）必要性
  - （2）生成と展開
9. 監査基準（2）
  - （1）意義
  - （2）体系
  - （3）一般基準
  - （4）実施基準
  - （5）報告基準
10. 監査人
11. 監査証拠
12. 監査計画
13. 内部統制
14. 試査
15. 監査技術と監査手続
16. 監査調書
17. 監査報告書
18. 連結財務諸表の監査
19. 中間財務諸表の監査
20. システム監査
21. 国際監査基準
22. 現代監査論の動向
  - （1）監査概念の拡大化
  - （2）監査保証に程度の差を認める監査概念

専門教育

### 履修上の留意点

「簿記学」「会计学」の科目を履修済みであることが好ましい。

成績評価の方法

評価の方法は、前期と後期の定期試験、レポート（夏季）および出席状況を考慮して、総合的に判定する。なお、最初の講義時に詳細な講義内容、試験の方法および評価の方法等について説明するので、受講希望者は必ず出席すること。

教科書

小関・柳田共著『監査論セミナー 改訂版』（東京経済情報出版）3,200円

参考書等

大矢知浩司『監査論概説』（白桃書房）3,300円  
 田島四郎『最新監査論』（税務経理協会）2,900円  
 高田正淳『最新監査論』（中央経済社）2,800円  
 鳥羽至英『監査基準の基礎』（白桃書房）3,900円  
 三澤 一『会計監査の理論』（中央経済社）2,800円  
 山榊忠恕・松田信男『監査基準精鋭精説』（税務経理協会）3,500円  
 脇田良一『財務諸表監査の構造と制度』（中央経済社）3,800円

科目名	原価計算論	開講	通年	単位	4
配当	営B234選 営A234選				
担当者名	岸田 隆行				

講義のねらい

原価計算は特に製造業において必須の技術である。原価計算は一方で財務会計を支え、一方で管理会計を支えており、会計を学ぶものにとっては必ず習得しておかなければならない知識である。

原価計算の計算理論はすべて企業の製造プロセスの実態を数字として表すにはどのようにすべきであるのかを理論化したものである。理論の背景には企業の製造プロセスや環境変化がある。単に公式を覚えて、計算ができるようになるだけでなく、実態を正確に表すためにはどのような計算方法をとるべきなのか、また、計算された数字がどういう意味を持つのか、自ら考えられるようになってもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期	後期
① 原価計算とはなにか	① 個別原価計算（1）
② 原価計算の機能と原価概念	② 個別原価計算（2）
③ 工業簿記（1）	③ 総合原価計算（1）
④ 材料費計算（1）	④ 総合原価計算（2）
⑤ 材料費計算（2）	⑤ 工程別総合原価計算
⑥ 労務費計算	⑥ 組別・等級別総合原価計算
⑦ 経費計算	⑦ 工業簿記（2）
⑧ 製造間接費（1）	⑧ 標準原価計算（1）
⑨ 製造間接費（2）	⑨ 標準原価計算（2）
⑩ 部門別原価計算（1）	⑩ 直接原価計算（1）
⑪ 部門別原価計算（2）	⑪ 直接原価計算（2）
⑫ 中間試験	⑫ 活動基準原価計算（ABC）

履修上の留意点

原価計算を習得するためには自ら計算を行うことが必要である。講義では随時小テストを行い、知識の定着をはかる。受講するにあたっては、必ず、電卓を持参すること。

成績評価の方法

前期末に行う中間試験30点、年度末の定期試験70点に講義中に、随時行う小テストの結果を加味して評価する。

教科書

特に指定しない。毎回プリントを配布する。

参考書等

講義の進行にしたがって、下記のテキストを自ら進めていくことが望ましい。  
 木島淑孝・高橋史安・吉川武男『コスト・アカウンティング・セミナー』（税務経理協会）

科目名	税務会計論	開講	通年	単位	4
配当	営B234選 営A234選				
担当者名	たかき かつみ 高木 克己				

### 講義のねらい

今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。ここ数年、法人税も税率の引き下げをはじめ、多くの改正が行われている。本講義では、普通法人（株式会社等）を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、会社法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。ここでは、法人税法固有の規定（いわゆる別段の定め）が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

### 講義の内容・授業スケジュール

講義内容の概要は次のとおりである。

1. 法人の種類及び課税所得の範囲等
2. 同族会社と青色申告
3. 課税所得の計算構造
  - (1) 企業利益と課税所得の関係
  - (2) 益金の額及び損金の額
  - (3) 公正処理基準及び資本等取引
4. 収益の計上基準についての原則的な考え方
  - (1) 引渡基準
  - (2) 特殊販売収益の計上基準
  - (3) 役務、請負、譲渡収益等の計上基準
5. 受取配当金益金不算入
6. リース取引
7. 給与（報酬、給料、賞与）の税務処理基準
8. 交際費及び寄付金
9. 有価証券、棚卸資産、固定資産、繰延資産等の税務処理
10. 圧縮記帳
11. 引当金と準備金
12. 企業を巡る国際課税の問題
  - (1) 移転価格税制
  - (2) タックス・ヘイブン対策税制
  - (3) 外国税額控除制度
13. 法人税額の計算

### 履修上の留意点

「簿記学」「会计学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。

### 成績評価の方法

原則として学年末の試験によって評価する。レポートは年1回程度提出を求める。

### 教科書

開講時に指示する。

### 参考書等

開講時に指示する。



科目名	経営分析論	開講	通年	単位	4
配当	営B234選 営A234選				
担当者名	かたぎり のぶお 片桐 伸夫				

#### 講義のねらい

経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
  - 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
  - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
  - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、
  - 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、
- といった内容です。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期は、企業の毎期の経営活動を報告する「貸借対照表」や「損益計算書」などの「財務諸表」の読み方をまず説明し、安定性・収益性分析を学習します。

後期は生産性・成長性・社会性分析や、さらに、損益分岐点・利益増減その他の分析をとりあげます。

「各自が企業の経営を分析できるようになる」ため、授業で必要最小限の理論を学び、ただちに、新聞などの最新のトピックによって企業の現実にあふれます。

#### 履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、ささやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

#### 成績評価の方法

成績評価はレポートと授業中のテストで行います。学年末試験は行いませんのでご注意ください。

\*レポート・テーマ：前期「各自が関心を持っている企業の収益性・安定性分析」

：後期「各自が関心を持っている企業の成長性その他の分析（続）」

☆提出日（授業はじめに配布するシラバスに明記）以外は受け付けませんのでご注意ください。

\*テスト範囲：財務諸表数値を用いた経営比率の算出問題。

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおいでください。

#### 教科書

開講時、指示します。

#### 参考書等

随時、紹介します。

#### その他

数学が必要なときにはできるだけ解説しますが、諸君達の努力は不可欠です。意欲ある皆さんの出席を期待しています。

科目名	国際会計論	開講	通年	単位	4
配当	営B234選 営A234選				
担当者名	やまだ じゆんぺい 山田 純平				

#### 講義のねらい

近年、経済活動がグローバル化し、生産や販売、資金調達などの活動を、国内のみならず、海外でも活発に行っている企業が見られます。トヨタやソニーなどは、そういった国際企業のひとつといえるでしょう。

このような企業活動のグローバル化という流れを受けて、会計の分野においても急速な国際化が進みつつあります。これまでは、会社法・税法などの法律と会計との関係が問題とされることが多かったのですが、最近では、それよりもむしろ、国際基準と日本国内の会計基準との関係の方が注目されています。

そこで、この講義では、①会計基準の国際化が進んでいる現状と問題点、②具体的な会計基準の動向とその背景となる考え方（特に国際基準と日本基準が異なる分野を重点的に）、③多国籍企業の財務諸表分析、といったことを中心に解説をしていきます。

#### 講義の内容・授業スケジュール

この講義を受講することで、以下の点を理解することが望めます。

- (1) 会計基準が国際的に収斂化しつつある一方で、国際基準をそのまま受け入れればすむという単純な問題ではないこと。
- (2) 会計基準が国際的に収斂していくなかで、考え方の違いから差異が残されてしまうこと。また国際基準で提案される考え方自体がこれまでの実務に根ざした考え方とは異なること。
- (3) 現実の財務諸表における会計基準の適用と財務諸表の分析の仕方。

#### 履修上の留意点

簿記学や会計学の履修を前提とします。ただし、授業の内容を理解するのに必要な基礎的知識については、そのつど解説します。

#### 成績評価の方法

試験50%、小テスト30%、出席・課題20%。

#### 教科書

開講時に指定します。

#### 参考書等

授業中に紹介します。

科目名	経済原論	開講	通年	単位	4
配当	営B234選				
担当者名	あかし ひろゆき 明石 博行				

### 講義のねらい

本講義では、資本制の経済社会（資本制経済）を対象とする経済社会学の基礎理論について、入門的な講義をします。資本制社会は、近代から現代にかけて生まれ、発展し、変化してきた、現代世界における支配的な経済社会です。この講義では、この資本制社会について、そこにはどのような経済的な仕組みと法則があるのか、資本制社会の思想・法律・政策などは経済の仕組みや法則によってどのように影響され制度化されるのか、社会的に埋め込まれた諸制度によって資本制経済はどのような変容を受けるのか、について説明します。資本制経済の仕組みや法則に関する基礎認識および資本制社会に関する概括的な認識を得られるよう援助することが、この講義の基本的な課題です。

### 講義の内容・授業スケジュール

序論的な解説を行う序章ののち、(1) 市場、(2) 貨幣の資本への発展、(3) 資本と労働、(4) 資本の蓄積と再生産、(5) 資本の流通、(6) 資本と利潤、(7) 資本の諸姿態、(8) 資本制社会における市民・階級・階層、という8つの章からなる本論について、その第1章から4章までに重点をおいて授業をします。講義予定のおおまかなスケジュールは以下のとおりです。

第1回 講義紹介	第2章 貨幣の資本への発展
序章 経済社会学と経済原論	第17回 資本の一般的定式とその矛盾
第2回 経済社会学と経済学	第18回 商品の購買と消費
第3回 科学的社会主義の学説	第3章 資本と労働
第4回 科学的社会主義の知的遺産	第19回 資本による生産と労資型生産様式
第5回 経済社会把握の基本	第20回 剰余価値を増大させる諸方法
第6回 伝統的な経済観と経済学	第21回 賃金制度
第7回 経済学の拡張と展開	第4章 資本の蓄積と再生産
第8回 資本制の社会と経済	第22回 資本の蓄積と再生産
第1章 市場	第23回 雇用と失業
第9回 商品の二面的性格	第24回 身分階層型生産様式と階層分化
第10回 商品価値	補章 資本の流通と資本の諸姿態
第11回 商品の価値形態と物神的性格	第25回 資本の流通
第12回 交換過程	第26回 資本と利潤
第13回 貨幣の諸機能	第27回 商業・信用・地代
第14回 貨幣制度	第28回 資本制社会における市民・階級・階層
第15回 インフレとデフレの基礎理論	
第16回 市場型生産様式と市民社会	

### 履修上の留意点

講義に出席し、ノートをとる必要があります。

### 成績評価の方法

出席点、レポート、年度末の定期試験の結果を総合的に判断し、評価をします。

### 教科書

教科書は使用しません。講義時に毎回プリントを配布し、講義を理解できるよう援助します。

### 参考書等

なお、参考書として、大谷禎之介『図解・社会経済学』（桜井書店）3,000円＋税も使用します。

科目名	近代経済学	開講	通年	単位	4
配当	営B234選				
担当者名	滝田 公一				

講義のねらい

産業組織論の入門的講義を行います。産業組織論は、企業及び産業の経済学分析を目的とするものです。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 産業組織論とは？
- 第2回 市場支配力の厚生経済学
- 第3回 企業の理論
- 第4回 支配的企業の理論
- 第5回 非線形価格付けと製品差別化
- 第6回 ゲームの理論I
- 第7回 寡占理論
- 第8回 ゲームの理論II
- 第9回 寡占の動学理論
- 第10回 製品差別化
- 第12回 企業の戦略的行動
- 第13回 研究開発投資
- 第14回 垂直的統合と垂直的制約
- 第15回 水平的合併
- 第16回 産業規制の経済理論
- 第17回 自然独占に対する最適価格付け

履修上の留意点

特にありません。

成績評価の方法

年度末の筆記試験で評価します。

教科書

特に指定しません。

参考書等

J. Chruch and R. Ware, Industrial Organization, McGraw-Hill, 2000.  
 J.M. Perloff and D.W. Carlton, Modern Industrial Organization, Harper Collins, 1994.  
 ロジャー・クラーク『現代産業組織論』（多賀出版）1989年  
 新庄浩二ほか『産業組織論』（有斐閣ブックス）1995年

科目名	経済政策	開講	通年	単位	4
配当	営B234選				
担当者名	三好 向洋				

講義のねらい

経済政策に関する新聞やテレビのニュースについて、どのような意味をもつのか、使われている用語の意味から理解できるようになることを目指します。

成績評価の方法

数回のレポート及び期末試験

参考書等

マンキュー経済学（東洋経済新報社）マクロ編・ミクロ編

科目名	財政学	開講	通年	単位	4
配当	営B234選 営A234選				
担当者名	速水 昇				

#### 講義のねらい

私たちの日常生活は、そのほとんどの側面で直接・間接的に政府の経済活動の恩恵を受けている。たとえば、出掛けに傘を持っていくべきか否かは、適確な天気予報によって判断できるし、病気や怪我をしたときにかかる医療費は医療保険のおかげで実際に支払った額の数割程度ですむ。また、道路・港湾などの社会資本整備は公共部門が供給しているなど、政府はさまざまな役割を担っている。さらに金融不安、国債の累積残高、高齢化・少子化社会、規制緩和など政府が解決しなければならない問題が非常に多くある。

その反面、わが国の政府は、平成17年度末で国債の発行残高が約538兆円、地方公共団体の赤字が約205兆円、これに約28兆円の旧国鉄の債務や「隠れ借金」といわれる林野事業等の特別会計の借金などを加えると、財政赤字は実に約774兆円になる。この数字は17年度わが国のGDP見込みの151.2%に相当する。EU（ヨーロッパ連合）の基準だと健全な国家の財政赤字はGDPの60%とされているから、わが国の財政はいかに不健全な状態であるかが理解できる。最近の景気低迷、これから高齢化・少子化社会に向けて、納税者としての立場、あるいは日本国民としての立場から財政の問題を考えていくことが大切であるという認識に立って授業を行う。尚授業中に勉強したことについて10回程度の小テストを予定しているので、出席に自信のある学生を希望する。

#### 成績評価の方法

試験、授業中の小テスト、レポート（小テスト、レポートで成績の半分を評価する）

#### 教科書

速水昇編著 『公共部門の経済活動と租税』（学文社）

科目名	金融論	開講	通年	単位	4
配当	営B234選 営A234選				
担当者名	わたなべ さとし 渡部 訓				

#### 講義のねらい

本講義は、担当教員の日本銀行、Bank for International Settlements、預金保険機構における金融実務経験も踏まえて、金融に関心のある学生、将来金融界での勤務を希望する学生を対象にしています。

本講義の狙いは、①金融の基礎から出発して、金融システム、金融機関行動と金融政策、市場メカニズムと金利形成、国際金融取引まで幅広く応用分野をカバーして、金融を理解する前提となる理論的なフレームワークを提供するとともに、②現代の金融問題の中で、金融システム安定に向けたプルーデンス政策（金融庁検査および日本銀行考査、自己資本比率に関するBIS規制、預金保険制度）、金融システムにおけるイノベーション（セキュライゼーション、デリバティブス、リスク・マネジメント）について、実践的な検討を行うことを目指しています。

#### 講義の内容・授業スケジュール

授業は、以下のスケジュールで行いますが、毎回、教科書に加え、日本銀行公表資料や日本経済新聞掲載記事等を紹介して、理論と実践のインターフェースを図ることを目標としています。

- ・（前期）下掲の教科書を中心に、上記①の金融の基礎および応用分野を理解する前提となる理論的なフレームワーク習得に向けた説明を行います。
- ・（後期）前期の後半部分を説明した後、上記②に関する問題提起と問題解決に向けた議論を行います。

#### 履修上の留意点

履修者は、マクロ経済学の基礎知識があることが望まれます。

#### 成績評価の方法

前期末にレポートの提出を課すほか、後期末に筆記試験を行います。配点のウエイトは、レポート50%、筆記試験50%です。

#### 教科書

黒田見生、『入門金融（第4版）』、東洋経済新報社、¥2,300、2006年

#### 参考書等

日本銀行金融研究所編『新しい日本銀行 その機能と業務（増補版）』、有斐閣、¥2,520 2004年

#### その他

毎回、授業の中で、講義の後、質疑応答の時間を設けます。

科目名	日本経済論	開講	通年	単位	4
配当	営B234選 営A234選				
担当者名	はとり しげる 羽鳥 茂				

#### 講義のねらい

1990年代以降の長期停滞が長引くなかで、日本の経済システムの問題点およびそれと関連するシステム変換の必要性がさまざまな視点から議論されています。これらの議論を理解し自分の意見を持つためにはそもそも多様な経済システム（日本の経済システムもその1つ）がどのようにして生成し、またどのように進化していくのかについての理解が不可欠です。このことを考えてみたいと思います。

#### 講義の内容・授業スケジュール

情報・組織・契約のミクロ経済学と、それらの理論的基礎を提供するゲーム理論、およびゲーム理論のフロンティアの1つである進化ゲーム理論の新しい展開をふまえて、講義のねらいの目標にチャレンジします。

前期では企業の内部システムを検討します。企業内コーディネーションの情報効率性比較、企業システムの生成と進化の可能性、雇用契約とインセンティブが主要なテーマです。

後期においては、企業間の競争と合併、コーポレート・ガバナンス、企業金融、政府と企業の関係がテーマになります。

#### 成績評価の方法

後期授業終了後の筆記試験によって成績評価を行います。ただし、課題レポートの提出とその内容も考慮に入れます。

#### 教科書

青木昌彦、奥野正寛編著『経済システムの比較制度分析』（東京大学出版会）1996年、3,200円

#### 参考書等

講義の進み具合に応じて適宜紹介します。

#### その他

数学が必要な時にはできるだけ解説します。意欲ある諸君の出席を期待しています。

科目名	証券市場論	開講	通年	単位	4
配当	営B234選 営A234選				
担当者名	ミシロ 昇 <small>のぼる</small> 佐藤 昇				

#### 講義のねらい

従来、わが国の金融システムは銀行等を仲介者とする間接金融を中心として発展してきた。しかしながら、近年、有価証券を発行して投資家から資金を調達する手段である直接金融システムへの比重移行の気運が高まっている。講義では有価証券市場の機能や市場構成など基礎的な解説とともに将来への展望についても検討し、経済動向に関する報道等を正しく理解し、みずから判断する能力を培うことを目的とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

最初に証券市場で取り扱う対象である有価証券を定義し、その機能等を解説する。そのうえで伝統的有価証券である債券や株式の種類や機能、発行・流通市場について考察するが、わが国の財政事情と国債市場の動向あるいは株式市場動向と経済全般との関わり、など経済社会における重要な課題についても触れておきたい。

また、資金運用手段としての証券市場の役割も重要であるので、債券利回りの意味と計算の方式、株式の投資尺度やその利用方法、あるいは企業の債務返済能力を示す格付け制度の概要と活用方法など、いわば実務的側面についても解説する。

なお、近年における金融・証券市場のグローバル化にともなって、資金の動きが速くなり、移動の範囲も急速に拡大しているため、市場改革のテンポも極めて速くなっている。今後も、内外共に市場の激変が予想されるため、証券市場に関連して重要な事態が発生した際には、その都度背景や影響などを解説する。

#### 履修上の留意点

証券や金融市場に関するニュースに関心を持って欲しい。その上で、疑問点や不明な用語等があれば積極的に質問してもらいたい。授業に際しては出来るかぎり質問の時間を設ける予定である。

#### 成績評価の方法

原則として学年末の定期試験によって評価する。

#### 教科書

佐藤昇ほか著「入門 現代の証券市場（第2版）」（東洋経済新報社）2,800円  
ISBN4-492-71160-0

#### 参考書等

授業中に指定する。



科目名	計量経済学	開講	通年	単位	4
配当	営B234選 営A234選				
担当者名	こいつりょう 呉 逸良				

#### 講義のねらい

現実の経済データを用いた例題を実際に解くことを通じて、計量経済学を学ぶ。パソコンを利用して演習を行うことにより、抽象的になりがちな計量経済学を分かりやすく理解し、実際のデータ分析の能力を身につける。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- (前期) Excel を利用して例題を解きながら、以下の内容を講義する。
- (1・2) 統計学の基礎知識 (I)
  - (3) 統計学の基礎知識 (II)
  - (4～8) 単純回帰モデル
  - (9～11) 重回帰モデル
  - (12・13) 回帰モデルの仮説検定 (I) TSPを利用して前期の例題を再計算することを通じて、TSPの扱いをマスターする。その上で、以下の内容を講義し、TSPを用いて演習を行う。
  - (14) 回帰モデルの仮説検定 (II)
  - (15・16) TSPの基礎および練習
  - (17・18) Chow Test と予測
  - (19・20) ダミー変数
  - (21～23) 系列相関
  - (24～) 復習・授業中試験

#### 履修上の留意点

経済理論をある程度勉強していることと、統計原理と経営数学を履修すること。

#### 成績評価の方法

日頃の宿題、レポートと学期末試験の結果により総合的に判断する。期末試験は授業中に行い、試験での持ち込みは自由。

#### 教科書

白砂堤津耶『例題で学ぶ 初歩からの計量経済学』(日本評論社) 2003年 2,800円(税別)

#### 参考書等

山本拓『計量経済学』(新世社)  
 蓑谷千風彦『計量経済学』(東洋経済新報社)  
 G.S. マダラ著・和合肇訳『計量経済分析の方法』(シーエーピー出版)  
 唯是康彦『Excel で学ぶ計量経済学入門』(東洋経済新報社)  
 縄田和満『Excel による回帰分析入門』(朝倉書店)  
 蓑谷千風彦等『パソコンによる数量分析・Excel とTSP入門』(多賀出版)  
 縄田和満『TSPによる計量経済分析入門』(朝倉書店)  
 和合肇、伴金美『TSPによる経済データの分析』(東京大学出版会)

科目名	イノベーション論	開講	通年	単位	4
配当	営B234選 営A234選				
担当者名	はねだ しょうこ 羽田 尚子				

#### 講義のねらい

本講義では、イノベーションとはどのような特性をもつ現象なのか、どのようにして生まれるか、どのような主体が関わっているのか、経済社会にいかなる影響を与えるのかといった、イノベーションを理解する上で重要かつ基礎的なトピックについて学ぶ。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

イノベーションは「新しいものを変える、既存のものを変える」といった幅広い概念で用いられるが、本講義では、新製品、新サービス開発および改良といった経済システムにおけるイノベーションを扱う。

講義で扱うトピックは次のようになる。なお、順番は入れ替わることがある。

- ・イノベーションとは何か、その特質や役割
- ・企業戦略におけるイノベーションの役割
- ・組織のイノベーション、生産効率の改善実験
- ・イノベーションにおける政府の役割、技術政策
- ・イノベーションにおける大学の役割、TLO事業、大学初ベンチャー
- ・ナショナルイノベーションシステム
- ・日本のイノベーションシステムの課題と展望

#### 履修上の留意点

一次関数、二次関数等の初歩的数学を使う回がある（その都度解説は入れる）。経済学の基本的な知識があると望ましい。

#### 成績評価の方法

年度末の定期試験（1回）と講義の終わりに小レポート（計算問題含む：不定期複数回）を実施する。小レポートの合計点（30%）と定期試験（70%）により総合評価する。講義への参加状況は、成績評価に加味することがある。

#### 教科書

一橋大学イノベーション研究センター編『イノベーション・マネジメント入門』（日本経済新聞社）2800円

#### 参考書等

小田切宏之『企業経済学』（東洋経済新報社）  
後藤晃『イノベーションと日本経済』（岩波新書）

科目名	日本経済史	開講	通年	単位	4
配当	営B234選 営A234選				
担当者名	わたなべ あらた 渡辺 新				

#### 講義のねらい

経済学は理論・歴史・政策の3つの柱から成り立つが、この講義はその内の歴史（経済史）についてのものである。今年度は、日本において資本主義経済が成立して以来の経済の歴史、つまり日本資本主義発達史を学んでいくこととする。現在、私たちが住んでいる日本の資本主義経済はたかだか百数十年の歴史しかもっていない。しかし、その百数十年は人類が経験したことのない速いテンポで進み、大きく変貌している。この講義のねらいは日本の資本主義経済の歴史分析にあることはいうまでもないが、そのことによって現代日本の歴史的位置を考えていくことにもう一つのねらいがある。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期・後期を通じてそれぞれの歴史段階に沿った形で日本経済の特質を解説していくが、今年度はとりわけ財閥の歴史を重視していく。財閥は近代日本資本主義において経済発展を担う主体であり、また日本的な企業類型の主要なルーツとして中心的な位置を占めてきた。その財閥が、政商として誕生してから時代とともにどのように変容していったかをみていくこととする。

1. 明治維新の社会経済構造
2. 政商の誕生
3. 日本の産業革命
4. 政商から財閥へ
5. 大正デモクラシーの社会経済構造
6. 商社ブームと破綻
7. 昭和恐慌と高橋財政
8. 財閥の転向
9. 十五年戦争下の日本経済
10. 戦時体制と財閥
11. 敗戦と戦後改革
12. 財閥の解体
13. 高度経済成長の歴史構造
14. 企業集団と財閥

#### 履修上の留意点

歴史は暗記するものではなく理解するものであることを絶えず念頭におくこと。

#### 成績評価の方法

試験ないしはレポートによって評価する。

#### 教科書

特に指定しない。

#### 参考書等

その都度指示する。

科目名	経営科学概論	開講	通年	単位	4
配当	営B234選				
担当者名	いいだ てつお 飯田 哲夫				

#### 講義のねらい

高品質の製品やサービスを提供する効率的で生産性の高い企業経営を行うために、種々の管理技術が発達してきている。この講義では、経営科学および経営工学の管理技術の基本理論と応用を概説する。それらの中で代表的なものであるOR（オペレーションズ・リサーチ）、IE（インダストリアル・エンジニアリング）、QC（品質管理）を主に取り上げ、本学部において学ぶ経営科学系科目の基礎を習得することを目指す。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義内容は以下のとおりである。

1. 経営科学・経営工学の概略と歴史
2. 問題発見と解決のプロセス
3. 生産管理と計画
4. 日程計画
5. 在庫管理
6. 品質管理
7. 経済性分析
8. 販売管理
9. 階層化意思決定法

#### 履修上の留意点

経営数学を履修済みまたは同時に履修することが望ましい。

#### 成績評価の方法

前期・後期それぞれに小テストを数回行う。それらの成績を年度末の筆記試験に加味して評価する。

#### 教科書

適宜プリントを配布する。

#### 参考書等

高井徹雄編著『基礎から学ぶ経営科学』（税務経理協会）

#### その他

[関連科目]経営科学、経営数学、経営情報論、情報理論、経営統計、統計原論

科目名	情報処理応用II	開講	半期	単位	2
配当	営B234選				
担当者名	<small>うたに あきひで</small> 宇谷 明秀				

#### 講義のねらい

本講義では、簡単なデータ処理であるならば、市販のデータ処理ソフトに頼ることなく、自らプログラムを作成してデータ処理できるようになることを目標に、プログラミングの基礎を学ぶ。演習で簡単なデータ処理プログラムを作成する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. プログラミング講義（6～7回）  
C言語について、そのすべてを説明する。
2. プログラミング演習（5～6回）  
C++Builderを使って、実際に幾つかの簡単なデータ処理プログラムを作成する。

#### 履修上の留意点

- ・情報処理基礎及び応用Iを履修しておくが良い。
- ・情報処理系の科目、特にプログラミングは暗記科目ではない。
- ・授業は演習中心になるので、欠席は極力避けること。

#### 成績評価の方法

期末試験に出席状況を加味して評価する。

#### 教科書

特に教科書は使用しない。講義内容をまとめた資料を配布する。

#### 参考書等

授業の中で必要に応じて紹介する。

#### その他

〔クラス定員〕60名  
 〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論  
 ※この科目は4月初旬に教務部で受講票を受け取らなければ履修できません。

科目名	情報処理応用III	開講	半期	単位	2
配当	営B234選				
担当者名	宇谷 明秀 <small>うたに あきひで</small>				

#### 講義のねらい

インターネットの普及やコンピュータの性能向上によって、情報の収集・蓄積が容易になってきている。現在、多くの企業では、日々膨大なデータを収集し、収集したデータを分析して企業経営に役立てている。この講義では、

- ・基本的なデータ分析手法の習得
- ・プログラミング技術の習得

を主たる目的として、基本的なデータ分析手法を紹介し、C++Builderを使って実際にデータ分析ソフトを開発する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. データ分析手法の講義（3～4回）  
幾つかの基本的なデータ分析手法を紹介する（様々なデータを用い、そのデータにどのような意味が隠されているのかを探る）。
2. プログラミング技術の講義（4～5回）  
演習を中心に進める。
3. データ分析ソフトの開発（3～4回）  
C++Builderを使って実際にデータ分析ソフトを開発する。

#### 履修上の留意点

- ・情報処理基礎及び応用I、IIを履修しておくことと良い。
- ・C言語の基礎的知識を前提として講義を進める。
- ・授業は演習中心になるので、欠席は極力避けること。

#### 成績評価の方法

期末試験に出席状況を加味して評価する。

#### 教科書

特に教科書は使用しない。講義内容をまとめた資料を配布する。

#### 参考書等

授業の中で必要に応じて紹介する。

#### その他

〔クラス定員〕60名

〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論

※この科目を履修するためには、「情報処理応用II」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。

科目名	情報理論	開講	通年	単位	4
配当	営B234選 営A234選				
担当者名	にしむら かずお 西村 和夫				

#### 講義のねらい

近年では日常的に使われる言葉となっている“情報”の本質を探ります。主に、情報の量（情報量）を定義したシャノン（C.E.Shannon）流の情報理論について講義します。

この授業を受講すれば、ある通報や記号のもっている情報量を、具体的な数値として（シャノンという単位で）計算できるようになります。これによって、たとえばDNAの情報を記録するために十分なCD-ROMの枚数が、たちどころに計算できるようになります。

また、情報量の期待値（平均値）であるエントロピーという概念も理解できます。これは、経営情報論、符号理論、通信理論、暗号理論などで利用される重要な概念です。

その後で、エントロピーによって冗長度を導入します。言語の文字や音が冗長であることが、会話を成立させるために重要であることを理解します。

途中で、古代から現代にわたる暗号の話をしてします。現代の暗号技術の基礎についての理解は、現代社会で生きていくために必要なことです。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 4月 3回 授業内容概説、情報とは、情報量への要求
- 5月 3回 対数の原理と性質、計算練習
- 6月 4回 情報量の定義、練習、情報量の利用、2進法
- 7月 3回 暗号系と用語、古典的な暗号、“踊る人形”の解説
- 9月 2回 現代的な暗号、暗号技術を使ってできること
- 10月 2回 符号化（JISコード、万国共通文字符号）、対数・情報量の間試験
- 10月 2回 確率過程およびマルコフ過程
- 11月 2回 遷移確率と同時確率
- 11月 1回 エントロピーの定義
- 12月 2回 冗長度、言語のエントロピー
- 12月 1回 価格以外の情報がない場合の市場占有率予測
- 12月 1回 検査桁（CD）、情報の圧縮と乱数、デジタルとアナログ

#### 履修上の留意点

4年次で履修するのは困難です。2～3年次のうちに履修しておくように強く奨めます。また、毎回出席して計算練習に参加していないと、試験問題を解くことは無理でしょう。

内容の性質上、確率と対数に関する多少の数学的知識が必要になりますが、これらについて全く知らなくても理解できるように配慮しています（上表5月参照）。

#### 成績評価の方法

10月の中間試験（30%）と定期試験（70%）との合計点によります。

#### 教科書

クイズと計算練習を適宜とりいれます。また、プロジェクタとプリントを使います。適当な教科書はありません。

#### 参考書等

そのつど紹介します。

#### その他

〔関連科目〕→ 経営情報論

講義内容のページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kazov/Nis/lecture/info.html>

科目名	経営科学	開講	通年	単位	4
配当	営B234選 営A234選				
担当者名	おざわ としひさ 小沢 利久				

#### 講義のねらい

経営科学では、経営活動において生じる様々な問題を、モデルを用いて定量的に分析し、合理的な意思決定へとつなげるための方法を考えます。経営科学の応用範囲は、伝統的な生産・流通の分野から近年はマーケティングやファイナンスの分野へと広がりつつあります。この講義では、経営科学的な問題の捉え方と問題解決のための代表的な手法について例を通して学んでいきます。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期は、最適化手法（1、2）と意思決定手法（3、4、5）、後期は数理ファイナンスの入門（6、7、8）と在庫管理・待ち行列理論（9、10）を予定しています。

1. 線形計画法：定式化、図による解法、感度分析、Excel Solverを用いた解法
2. ネットワーク計画法：最短経路問題、最小木問題、最大流問題
3. データ包絡分析法(DEA)：CCRモデル、効率的フロンティア
4. 情報の価値：ベイズの定理、完全情報の期待価値、サンプル情報の期待価値
5. ゲーム理論：非協力ゲーム、ナッシュ均衡、混合戦略
6. 現在価値とその応用：現在価値、DCF、内部収益率 (IRR)、固定利付債の実効金利
7. ポートフォリオ選択：リターンとリスク、平均・分散モデル、効用関数とリスク
8. オプションの価格付け理論：オプション、裁定機会、無裁定価格
9. 在庫管理：経済的発注量、発注点方式、定期発注方式
10. 待ち行列理論：ケンドールの記号、リトルの式、M/M/Sモデル

#### 履修上の留意点

経営数学、経営科学概論を先または同時に履修しておくことを勧めます。

#### 成績評価の方法

試験（前期末と後期末の2回）を主とし、それに演習課題と出席状況を加味して評価します。

#### 教科書

必要に応じて指定します。

#### 参考書等

高井徹雄編著『基礎から学ぶ経営科学』（税務経理協会）  
その他の参考書は必要に応じて示します。

#### その他

講義は板書を中心とし、必要に応じてプリントを配付します。理解を深めるために適宜演習を行います。



科目名	システム論	開講	通年	単位	4
配当	営B234選 営A234選				
担当者名	宇谷 <small>うたに あきひで</small> 明秀				

講義のねらい

この科目では、複雑で大規模なシステムを理解し、構築し、運用するための方法論を学ぶ。なるべく具体的な事例をとりあげ、システム思考、システム論への理解を深める。

講義の内容・  
授業スケジュール

〔前期〕

1. システム論（その歴史）
2. システム論（分類と展望）
3. モデル化の方法論（分類と特徴）
4. 数理モデリング
5. コンピュータシヨナルモデリング

〔後期〕

1. システムの評価
2. システムの故障と信頼性
3. 危機管理と対策
4. 不確実な事象とシステム設計
5. システム導入における経済性

履修上の留意点

特定分野の事前の知識は要求しないが、基礎的な数学の学力が必要である。

成績評価の方法

中間試験と期末試験に出席状況を加味して評価する。

教科書

授業の中で指示する。

参考書等

授業の中で必要に応じて紹介する。

科目名	統計原論	開講	通年	単位	4
配当	営B234選 営A234選				
担当者名	やまのうち しんじ 山内 慎二				

#### 講義のねらい

大雑把に言えば、統計学は「確率と分布」の性質を用いたデータ処理を通して、「母集団」及び「標本」という2つの親子関係の言葉を繋げて、知識や技術を議論する学問である。本講義では、最初に簡潔に確率論の基礎を紹介し、次にデータ処理によって母集団と標本の関係を捉え、最後に統計的推測として推定と検定等を丁寧に説明する。本講義では、実用性を重視し、統計的方法や概念を豊富な例題や数値例によって説明し、数式の使用も必要最小限に止めていきたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義内容は以下の通りです。

序説 生活のなかの統計学、量的データと質的データ 1回  
 基礎的概念 階乗と総和、順列と組合せ 2回  
 記述統計 度数分布表、平均と分散、相関係数 3回  
 確率論の基礎 集合、標本空間、確率、2項分布、正規分布 6回  
 前期復習と中間試験（7月中旬） 2回  
 標本分布 カイ2乗分布、t分布、F分布 2回  
 統計的推定 点推定（不偏推定、モーメント法、最尤法） 4回  
 仮説検定 片側と両側検定、有意水準、棄却域、適合度検定 4回  
 回帰と相関 線形回帰モデル、相関係数の標本分布 2回  
 後期復習と定期試験（翌年1月中旬） 2回

#### 履修上の留意点

年間数回程度の練習問題を適時に配布します。これを本講義内容の基礎的部分をもとに、独自に解ければ、中間試験と定期試験は大丈夫でしょう。

#### 成績評価の方法

講義への出席状況及び中間試験と定期試験の結果により総合的に判断します。

#### 教科書

佐和隆光著『初等統計解析 改訂版』（新曜社）2001年 1,500円（税別）  
 ISBN4-7885-0224-0

#### 参考書等

数値表としての参考書：  
 森口繁一編『新編 日科技連数値表』（日科技連出版社）1996年 510円（税別）  
 ISBN4-8171-0262-4  
 P.G. ホエール著、浅井晃・村上正康共訳『初等統計学』（培風館）1996年 1,650円（税別）  
 ISBN4-563-00839-7

#### その他

授業の方法—講義（OHPを使用する場合があります。）

科目名	経営統計	開講	通年	単位	4
配当	営B234選 営A234選				
担当者名	なが こきょう 長 国強				

#### 講義のねらい

統計と企業経営の関わりについてを展開する経営統計とは、分析目的に対応して主に経営情報としてのデータを収集・処理・分析し、複雑な現象を理解すると共に、データを生成した集団や構造についてを予測し、いろいろな意思決定をサポートすることである。経営的意思決定において最も重要なことは、将来の経営状況をどう見るかであり、その予測に対して経営統計は十分な役割を果たされるはずである。

この講義では、企業経営における統計データの具体例を数多く取り入れることによって、経営統計の手法をわかりやすく説明していく。また、数学苦手の学生を配慮し、講義の内容説明は微・積分などの計算をいっさい用いず、数式の使用も必要最小限に止める。

#### 講義の内容・授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りである。

経営統計について : 経営統計の役割、基礎概念  
統計特性値 : 平均、分散、正規分布  
市場調査と統計整理 : 調査の諸段階、標本設計、データ整理  
経営時系列 : 傾向成分の測定、季節指数の計算、時系列予測  
経営指数 : 物価指数、数量指数  
統計的意思決定理論 : 意思決定基準、期待効用理論

#### 履修上の留意点

年間5回程度の演習問題を適時に配布し、それを独自かつ理解的に解ければ、中間試験や定期試験に心配する必要はない。

#### 成績評価の方法

講義への出席状況と中間・定期試験の結果により総合的に判断する。

#### 教科書

特に使用しないが、プリントは適時に配布する。

#### その他

統計学、あるいは統計原論を先にまたは同時に履修することが望ましい。

科目名	民法	開講	通年	単位	4
配当	営B234選				
担当者名	織田 <small>おだ</small> 晃子 <small>てるこ</small>				

#### 講義のねらい

このクラスは民法及び民法1が講義の対象とされている。そこで、民法総則を中心に行うが、具体的には取引行為、特に契約を通して必要があれば物権にもふれながら、下記の講義内容を進める。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 権利の主体
  - (1) 自然人
    - (1) 権利能力 (2) 意思能力、行為能力 (3) 不在者、失踪宣言
  - (2) 法人
    - (1) 法人の意義・本質 (2) 法人格否認の法理 (3) 権利能力なき社団・財団
    - (4) 法人設立とその能力 (5) 法人の不法行為責任
- 2 権利の客体
  - (1) 物の概念 (2) 不動産と動産 (3) 主物と従物 (4) 元物と果実
- 3 権利の変動
  - (1) 法律行為 (2) 意思表示 (3) 代理 (4) 無効及び取消 (5) 条件及び期限、期間
  - (6) 時効

#### 履修上の留意点

六法は必ず持参すること。

#### 成績評価の方法

期末試験の成績による。

#### 教科書

河野弘矩著改訂版『民法総則講義』(八千代出版) 3,100円+税  
コンパクト六法(岩波)

#### その他

プリント配布

科目名	商法	開講	通年	単位	4
配当	営B234選				
担当者名	重田 <sup>しげた まきこ</sup> 麻紀子				

#### 講義のねらい

現代の市場経済社会を支えるキーパンソンは会社である。その会社に関する法的ルールを定める会社法について全般的に学習し、株式会社法制を貫く法原理を理解する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

現在、会社企業を取り巻く環境は多様化・国際化する等、急速な勢いで変化しており、これを受けて、今春から新たに「会社法」が施行される。これに伴い、わが国の会社法制は大きくその姿・内容を変えることになる。この新しい「会社法」の施行が会社の法務・会計・税務といった会社経営全般に与える影響は計り知れず、現在、企業実務からの関心も集めている法分野である。

会社法は範囲が広いため、組織法に関する説明に重点を置きながら、できるだけ会社法上の論点を広くカバーして講義することとしたい。具体的な項目としては、会社の意義、会社の種類、株式会社の設立、株主と株式、経営管理機構の仕組み、資金調達、企業結合などである。会社とりわけ株式会社における利害関係者間の利害調整の基本的なルールを学び、株式会社法制を貫く基礎理論を修得してほしい。

#### 履修上の留意点

なるべく平易な解説をするよう努めるが、各自予習・復習を心がけてもらいたい。できれば、民法科目について事前に（少なくとも並行して）履修していることが望ましい。

#### 成績評価の方法

前後・後期各1回ずつ試験を行い、評価する。

#### 教科書

最新の六法（小型のものでよい）を用意すること。  
丸山秀平『やさしい会社法』（法学書院）2,000円

科目名	労働法	開講	通年	単位	4
担当	営B234選 営A234選				
担当者名	ふじもと しげる 藤本 茂				

### 講義のねらい

今日、労働関係は、リストラ、成果主義人事管理の導入に見られるように大きく変貌しています。

労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。

この時期、労働者に降りかかるさまざまな事象は、雇用関係法領域において、顕著です。労働基準法改正、労働時間法制、労働契約法制定の動きや男女雇用平等などです。

本講義ではこの雇用関係法領域を中心に授業を進め、その基礎的知識を身につけることを目標とします。

### 講義の内容・授業スケジュール

授業では、下記事項について、行います。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本型雇用システムの変化と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 労働条件の集団的決定－就業規則、労働協約
- (7) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (8) 人事異動－配転、出向、転籍
- (9) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (10) 賃金、賞与、退職金
- (11) 労働時間、時間外・休日労働
- (12) 休憩、休日、休暇
- (13) 労働災害など

### 履修上の留意点

出席を心がけてください。私語はNo、携帯電話はOff、内職はNo、そして無断で席を立つことはNo。いわゆる授業のマナーは守ってください。

憲法、民法、社会保障法、社会政策は、近接科目であるので、ぜひ履修してください。

### 成績評価の方法

成績は、学年末試験がメインで、出席などととも、総合的に評価します。確認テストや中間試験も評価の対象です。

追試験は実施します。

### 教科書

浜村彰ほか著『ベーシック労働法』（有斐閣）か浅倉むつ子ほか著『労働法』（有斐閣）のうち1冊は用意してください。受講者は必ず1冊は用意してください。

### 参考書等

第1回目の授業で、プリントで紹介します。

六法は、最新のもの（法律改正や制定があるので特に）。そして労基法施行規則の載っているものを用意してください。

### その他

皆さんが各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら、授業を進めます。

科目名	税法	開講	通年	単位	4
配当	営B234選 営A234選				
担当者名	おくむら きさあゆ 奥村 正郎				

#### 講義のねらい

租税は、我々納税者が、税法の定めるところにしたがって、国や地方公共団体（都道府県及び市町村）に納付すべきものであり、それは公共サービスの資金となり、我々の生活に影響する。しかしながら税法は、多数の法律とそれを施行するための政令、省令で成り立ち、さらに多くの通達があり、しかも法律の解釈や手続きは難解で、改正も毎年ある。このような事情からその重要性は認識していても、将来その専門家になりたいという人以外、積極的に税法の知識を身につけようとする人は少ないように思われる。このようなことから本講義により、我々の身近な法律である税法に、関心を持ち、具体的事例、計算を通じてその基本的知識を修得してもらいたい。

また将来、税理士試験を目指すものにとっても有用な知識が提供できるような内容にしたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義の内容は以下ようになります。I～V前期、VI～X後期。

- I 財政の役割と租税
- II 税法の基本原則
- III 租税の種類と分類
- IV 税制改革…シャープ税制改革以降、今日までの税制改革
- V 相続税・贈与税…相続時精算課税制度他
- VI 所得税…各種所得の計算等
- VII 法人税…所得金額と税額計算等
- VIII 消費税…消費税額の計算等
- IX その他の国税・地方税
- X その他…徴収手続と納税者の権利他

#### 履修上の留意点

本講義では簿記会計の知識は必須ではないが、上級簿記等の講義も受講することを勧める。

#### 成績評価の方法

出席状況、期末試験により評価する。

#### 教科書

速水昇編著 『公共部門の経済活動と租税』（学文社）

#### 参考書等

授業を進める中で適宜紹介する。

#### その他

計算演習等プリントを随時配布する。電卓を使用することがあるので持参すること。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	営B3選				
担当者名	おのの まんな 大野 満奈				

#### 講義のねらい

この演習を通じて参加各人の個性や発想を生かし、意見交換等を通じて相互の交流を深めること、そして、大学での自己の専攻と呼べる領域を築きあげること、この二点をねらいとする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

財務会計の諸概念を理論的に追究する作業を行う。さしあたりは、企業会計原則を中心とする制度会計の理解が得られるよう指導していき、その後は今日における会計上の諸問題を取り扱っていく。

#### 履修上の留意点

日商簿記検定3級取得者、または「簿記学」の単位を修得しその内容をよく理解している者が望ましい。

#### 成績評価の方法

出席率・ゼミ論の内容等により成績を評価する。

#### その他

合宿を1回～2回予定しているので参加すること。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	営B3選				
担当者名	おだ みきお 小田 幹雄				

#### 講義のねらい

景気が上向き始めたとは言え、中小企業にはまだまだその実感が湧かないのが現実である。そんな中、少子高齢化が進むなか、政府は税収不足を消費税で賄うのが手っ取り早いとばかりに税率を7～10%に引き上げるべく議論をしている。わが国の中小企業のうち法人税を納付している会社は35%に過ぎない。実に65%は赤字のために法人税の支払いは行われていない。このような現実に加えて消費税率を引き上げたところで、わが国の財政は健全になるのだろうか？わが国の税体系は一体どのようになっているのだろうか？そこでわがゼミでは、さまざまな税に焦点を当て考えることにしたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 第一章 暮らしの中の税金
- 第二章 サラリーマンと税金
- 第三章 自営業者と税金
- 第四章 マイホームと税金
- 第五章 相続税と贈与税
- 第六章 金融資産の運用・保険・年金と税金
- 第七章 会社経営と税金

#### 履修上の留意点

将来税理士や会計事務所に就職したい学生向きです。

#### 成績評価の方法

出席を重視する。

#### 教科書

教科書：納税協会連合会編 『新くらしの税金百科』 清文社 ￥1,470

#### 参考書等

学生時代は多くの学生と切磋琢磨して人格を磨くものだと思うので、ゼミ旅行や懇談会などを通じて学生間の交流を図ってほしい。そのなかから一生の友達を見出して欲しい。



科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	管B3選				
担当者名	かしま ひであき 鹿嶋 秀晃				

#### 講義のねらい

研究テーマは現代日本企業の人事労務管理。大学生活の中で、ゼミは最も勉強に打ち込み、一番思い出になるころだと考えます。よって、積極的に勉強し、行事を企画し、みんなで楽しくゼミを過ごしたいという学生を採用します。

#### 講義の内容・授業スケジュール

現代の日本企業とそこに働くサラリーマンが抱える問題に関して、入門書と専門書を読みます。企業と労働、社会について幅広い関心を持ち、科学的に考える力を養います。サブテーマは「終身雇用」「年功賃金と能力主義」「日本的経営」「女性労働」「日本的労使関係」「会社人間」「過労死」ほか。2ヵ月に1冊のペースで本を読みます。受講者全員はあらかじめテキストを熟読し、中から報告者（レジュメを作成）、コメントータを決め、その2人を中心に議論をしていきます。報告者とコメントータは順番。また、毎回の「新聞発表」では担当者が最近の新聞から企業経営や労務に関するものを切り抜き、自分のコメントを加えてプレゼンテーション。4年次は卒論作成中心。

#### 履修上の留意点

出席重視。無断欠席は単位認定なし。ただし、特別に事情がある場合には個別に対応します。レジュメはワープロで作成のこと。ゼミ以外の工場見学、コンパ、合宿等の時間割以外の行事もゼミの一環なので必ず出席するように。

#### 成績評価の方法

出席点、講義中の発表・発言、レポートを総合して判定。

#### 教科書

適宜指示。参考までに過去のテキスト例。中村圭介『成果主義の真実』、大沢真知子『ワークライフバランス社会へ』、佐藤博樹・佐藤厚『仕事の社会学』、橋木俊詔『格差社会』、木名瀬武『人事改革の法則』など。

#### 参考書等

演習時に適宜紹介。

#### その他

履修希望者は、経営労務論を履修のこと。他のゼミ活動に、卒業論文集の発行、ゼミ書評、全国コンテスト参加などがあります。WEBページ参照。http://www.komazawa-u.ac.jp/~kashima/index.html

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	営B3選				
担当者名	かたざりのおお 片桐 伸夫				

#### 講義のねらい

経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
  - 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
  - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
  - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、
  - 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、
- といった内容です。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期は、企業の毎期の経営活動を報告する「貸借対照表」や「損益計算書」などの「財務諸表」の読み方をまず説明し、安定性・収益性分析を学習します。

後期は生産性・成長性・社会性分析や、さらに、損益分岐点・利益増減その他の分析を取りあげます。

「各自が企業の経営を分析できるようになる」ため、授業で必要最小限の理論を学び、ただちに、新聞などの最新のトピックによって企業の現実にふれます。

#### 履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、ささやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

#### 成績評価の方法

成績評価はレポートと授業中のテストで行います。学年末試験は行いませんのでご注意ください。

\*レポート・テーマ：前期「各自が関心を持っている企業の収益性・安定性分析」

：後期「各自が関心を持っている企業の成長性その他の分析（続）」

☆提出日（授業はじめに配布するシラバスに明記）以外は受け付けませんのでご注意ください。

\*テスト範囲：財務諸表数値を用いた経営比率の算出問題。

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおいでください。

#### 教科書

開講時、指示します。

#### 参考書等

随時、紹介します。

#### その他

数学が必要なときにはできるだけ解説しますが、諸君達の努力は不可欠です。意欲ある皆さんの出席を期待しています。

この科目は再試験を実施しません。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	営B3選				
担当者名	加藤 <small>かとう たけのぶ</small> 武信				

#### 講義のねらい

現代企業における情報システムの役割に関して、理論的・技術的な検討を行う。理論面では、情報システムベースの企業経営者に関して、文献を踏まえて考察する。また情報技術の修得訓練では、文具としてのWordやExcelの活用から開始し、データベースを活用したシステム設計までの幅広い分野について、演習IIも含めて2年間を通して計画的に勉強を進める。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- ① WordやExcel、PowerPoint、Accessの基本操作およびプログラミングの検討  
まず、Word、Excel、PowerPoint、Accessを活用するための基礎を確立する。さらに通産省の情報処理技術者試験取得の目標をもつ諸君に対しては、Java言語の勉強もやれるように工夫する。
- ② 販売管理や顧客管理のシステム化に関する文献の考察とシステム設計の検討  
ExcelやAccessによる設計事例をベースにした検討を行う。
- ③ キャッシュフロー経営・会計の理解  
キャッシュフロー経営・会計の概要を検討し、パソコンを用いた計算事例を検討し、データ処理を行う。
- ④ 競争戦略・戦略情報システム  
今後の情報システムの構築は、経営戦略と深い係わりをもつ。その分野の論文や専門書を5点ほど精読し、その要点整理を分担して行い、ワープロ文書にまとめる。

#### 履修上の留意点

演習は、諸君の専門をつくるための講座である。そのためには、自宅でのパソコン環境の整備（中古パソコンで可）や教材への資金の投入を惜しまず、情熱をもって努力を継続することが不可欠である。

#### 成績評価の方法

授業への出席、レポート提出、個別テーマへの取り組みと論文作成等平常の活動を総合して評価する。

#### 教科書

開講時に指示

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	営B3選				
担当者名	さるやま よしひろ 猿山 義広				

#### 講義のねらい

この講義では、現代における企業経営の動向を踏まえたうえで、会計学について広範に学ぶことを目的としている。演習において重点的に学ぶのは管理会計だが、現代の管理会計は経営戦略と密接に結びついており、具体的にはコスト・リーダーシップの確立や差別化を図るためのマネジメント・ツールとして展開されている点に特徴がある。たんなる事実についての計算ではなく、戦略目標を達成するための計算であることを念頭に置いて勉強を進めてもらいたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

この講義の内容は以下に示すとおりである。必要に応じて、適宜計算問題を解いてもらう予定である。

- 1 経営者と管理会計
- 2 企業価値創造のための管理会計
- 3 事業部制の管理会計
- 4 キャッシュ・フロー経営
- 5 経営戦略の管理会計への役立ち
- 6 中長期経営計画と予算管理
- 7 バランス・スコアカード
- 8 損益分岐点分析と直接原価計算
- 9 標準原価計算とコスト・コントロール
- 10 コスト・マネジメント
- 11 原価企画と戦略的コストマネジメント
- 12 ABCによる経営効率の向上
- 13 物流費、販売促進費、本社費の管理
- 14 経営意思決定のための会計
- 15 戦略的・戦術的価格決定
- 16 戦略的意思決定と設備投資意思決定
- 17 企業再編と分権化の管理会計
- 18 ITのための管理会計
- 19 研究開発費の管理会計
- 20 海外事業のための管理会計

#### 履修上の留意点

演習のレベルは学生がいかに主体的に勉強するかで決まってくる。与えられた資料に満足することなく、自発的に関連情報を収集して、授業に還元してほしい。また、報告にあたっては、プレゼンテーション用のツールなども積極的に活用すること。

#### 成績評価の方法

授業への取り組み、授業中の発言、出席状況、および報告の内容に基づいて総合的に評価する。

#### 教科書

櫻井通晴『管理会計〔第三版〕』同文館出版。  
計算問題については授業中に配布する。

#### 参考書等

項目ごとに指示する。

#### その他

演習は真面目に取り組めば生涯を通じての財産になる。1回の授業につきかならず、何か1つは新しい知識を身につけるよう集中して授業に臨んでもらいたい。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	営B3選				
担当者名	そのだ てつお 園田 哲男				

#### 講義のねらい

21世紀はアジアの時代といわれている。1985年のプラザ合意を契機に日本からアジアNIESへ、そして80年後半にはNIES（台湾、韓国、香港、シンガポール）からA.S.E.A.N.（タイ、マレーシア、インドネシア、フィリッピン）、中国へと投資が活発に行われている。こういったアジアの経済発展のメカニズムを、日本とNIES、中国を中心に分析し、21世紀のアジアを展望する。

本ゼミでは、学生諸君が将来企業家、ビジネスマンとして活躍を期待される中で、アジア諸国の経済発展の特徴、要因、構造を理解することによって、アジアを舞台にビジネスチャンスをつかみ、さらに大きな飛躍を遂げられることをめざす。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期・後期を通じて、アジア諸国・地域に関する実態経済について学習し、基礎的知識を身につける。特にアジア諸国・地域の経済発展の特徴や要因を実態的に把握する視点から、アジア諸国・地域の実態調査を実施する予定である。

#### 履修上の留意点

本ゼミは、欧米諸国から驚異の目で見られている、アジアNIESや中国経済のマクロ的パフォーマンスの実態を研究する観点から、実態調査なども行う予定であり、意欲のある学生を歓迎する。

#### 成績評価の方法

出席、発表内容など総合的に評価する。

#### 教科書

授業の中で指示する。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	営B3選				
担当者名	たまた こういち 滝田 公一				

#### 講義のねらい

本年度は、次の文献を利用して演習を行う予定です。

東北大学経営学グループ著、『ケースに学ぶ経営学』、有斐閣、1998年

この文献は、「企業とは何か？それはどのように経営されているのか？」という問題を幾つかの現実の事例によって考察したものです。この教科書を題材として、学生諸君には、現代企業の抱えている問題について課題報告をしてもらう予定です。このような課題報告を通じて、文献・資料の探し方、その研究の仕方、レポートの書き方を学んで頂くことも演習Iの狙いのひとつです。

また、このような文献研究と併せて、代表的な表計算ソフトであるEXCELを使った、経済データの情報処理も勉強する予定です。ここでは、回帰分析、線形計画法、データベースの分析、シミュレーションなどが取り扱われる予定です。

#### 成績評価の方法

成績評価は、学年末に課されるレポートによって行います。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	営B3選				
担当者名	わたなべ あらた 渡辺 新				

#### 講義のねらい

この演習のねらいは、以下の三つである。

- ①1960年に約80%であった日本の食料自給率は、現在40%に過ぎない。つまり、私たちの食料の60%は輸入に依存していることになるが、これほど食料自給率の低い国は先進国の中で日本だけである。また、輸入食料も、マクドナルドやコカコーラに代表されるように戦後一貫してアメリカ型であったが、近年アジア型の食料輸入が急増している。こうした日本の食料事情を経済史的に解明していく。
- ②かつて日本のそば屋や寿司屋は飲食店とよばれていた。しかし、1970年代以降、ファーストフードやファミレスの登場によって外食産業とよばれるようになった。さらに、弁当・総菜屋やコンビニ食とよばれる中食産業も生まれた。こうした「食」をめぐる産業の変化を解明する。
- ③アメリカ産牛肉の再輸入によって牛丼の販売は再開されたが、BSE問題は解決したわけではない。また、食品表示の偽装事件もいまだに起きているのが現状である。この演習では、BSEの発生以来、私たちの前に突きつけられた「食」の安全の問題も考えていきたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

上記の「演習のねらい」にそって、日本の食料事情を歴史と現状の二つの方向から分析していく。とりあえず、この問題に関する文献を輪読していくが、学生諸君が自らデータを処理し、資料を分析していけるように指導していく。また、食料の生産、流通、消費の場を訪れるようなフィールドワークも考えている。

#### 履修上の留意点

ゼミナールは学生が主役である。学生自身が共に学び、近年少なくなった議論のできる場をつくっていくのも演習のねらいの一つである。

#### 成績評価の方法

平常点による。したがって、出席することが大前提となる。

#### 教科書

その都度指示する。

#### 参考書等

その都度指示する。

科目名	外書講読（英書）	開講	通年	単位	4
配当	営B34選				
担当者名	ひの けんた 日野 健太				

#### 講義のねらい

易しめの雑誌論文を輪読して、経営学のいくつかのテーマを学ぶと同時に、英語力を向上させる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

あるテーマについて（e.g. 企業家精神、CSR、リーダーシップなど）取り上げた英語の論文を読む。1本目は私が用意するが、2本目以降は学生の意見を反映させて決定。最先端の（悪くいえば「はやり」の）理論を選択したい。  
指定部分について予習してきたうえで、講義では一人一文ずつ訳してもらおう。

#### 履修上の留意点

必ず予習してくる。また出席しないことには始まらない。辞書（電子辞書で構わない）持参。

#### 成績評価の方法

出席点と授業への参加のみ。定期試験は行わない。

#### 教科書

コピー配布。1本目は私が用意するが、2本目以降は学生の意見を反映させる。

科目名	外書講読（英書）	開講	通年	単位	4
配当	営B34選				
担当者名	はやみ のほる 速水 昇				

#### 講義のねらい

「外書講読」は1字1句言葉を確認しながら自分の力で訳すため、スピードは遅いが内容を把握する点では最適といえる。そして、経済・経営のテクニカル・タームを把握し、この大学を卒業するところには英字新聞の経済・経営の記事が読めるようにして欲しいというのが私の希望であり、講義のねらいである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

最初は辞書がなくても訳せるような易しい文献を選んで「外書講読」に慣れ親しんでもらう。そして、徐々に専門的な知識が身に付くような文献を講読し、専門的な知識を深めることにする。1年間で4つのテーマ、たとえば貿易摩擦（Trade Friction）、財政赤字（Deficit Finance）などについての講読を予定しているが、「外書講読」は休むと身に付かないので出席に自信のある学生を希望する。

#### 成績評価の方法

レポート、小テスト、和訳等総合評価による。

#### 教科書

授業時にプリントを配布

科目名	ビジネス英語	開講	通年	単位	4
配当	営A34選 営B34選				
担当者名	すぎやま やすひこ 杉山 泰彦				

#### 講義のねらい

総合商社の実務で実際に行って居た貿易のステップを教え込み、それに沿った代表的な手紙の書き方の型を暗記させて、基本に従った文章が楽に書ける様にしたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

商業英語・ビジネス英語を今回勉強する意義（なぜ係る商業英語を勉強する必要があるのか？）を学生諸君に充分理解してもらう為に、小職が40年間勤務した日本の総合商社で経験した輸出入から大型プラント輸出及びその建設迄をアフリカ、南米、アラブ諸国での経験を具体的に説明し、いかにこれらの仕事のためにビジネス英語が必要であるかを説明し、一般、商内の成立するフローも（offer）-（counter offer）-（nego）～（Contrac）～（決済手段の確保）～船積み）での流れで具体的に理解せしめ、且つその後のクレーム処理、仲裁で負けない英文体を実際に学生達が将来まねのできる総合商社の法務部が作成した具体的例文で実戦に役立つ様に教授したい。

#### 履修上の留意点

学習姿勢即ち出席率をよくさせ、貿易実務に則した文型を反復して一人で海外出張先でも安全な文章が書ける様に育てたい。

#### 成績評価の方法

学期毎の7月、12月の年2回の試験の成績と出席率を重視した受講態度も考慮する。

#### 教科書

田中武雄『初めて学ぶビジネス英語』（成美堂）2,000円（税別）

#### 参考書等

参考書は日商岩井（株）が使っていた社内教育用の参考書よりプリントを作り参考とした。

#### その他

大手商社が法的にしっかり考えた文例をプリントして Time to Time 配布して参考とした。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	営B4選				
担当者名	いわぶち しょうこ 岩渕 昭子				

#### 講義のねらい

演習Iで学習した企業の社会的責任 (Corporate Social Responsibility; CSR) は、コーポレート・レピュテーション (Corporate Reputation ; 企業の評判) と密接な関係にある。本演習は、コーポレート・レピュテーションを重要なインタンジブルズ (intangibles : 無形の資産) とみなし精力的に取り組んでいる企業や不祥事の事例から、コーポレート・レピュテーションと企業価値との関係を検討する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. コーポレート・レピュテーションとは何か
2. コーポレート・レピュテーションの資産性
3. CSRとコーポレート・レピュテーション
4. コーポレート・レピュテーション調査とその評価指標
5. レピュテーション・リスクの測定と管理
6. BSCによるコーポレート・レピュテーションの管理
7. レピュテーション・マネジメント
8. 卒業研究のまとめ
9. 卒業研究の報告会

#### 履修上の留意点

卒業論文を書くことを前提として演習に臨むこと。

#### 成績評価の方法

レポート・出席・卒業論文などで、総合的に評価します。

#### 教科書

「コーポレート・レピュテーション—会社の評判をマネジメントする」、櫻井通晴著、中央経済社、2,400円+税

#### 参考書等

「戦略志向の管理会計」  
必要に応じて指示します。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	営B4選				
担当者名	おおくま ひさゆき 大島 久幸				

#### 講義のねらい

本演習では、具体的な企業の事例研究を通じて、日本の企業の歴史を学びます。歴史を学んでも今すぐ役出づ知識は得られないかもしれませんが、しかし、絶えず変動する今日をじっくり見据える判断力を養うには歴史はとてもよい素材を提供してくれます。対象を相対化できることによる客観性が歴史の妙味だからです。事例研究では個人の実名の入った生き活きた歴史を学びます。そこから未来を生きる助けになる材料を皆さん自身で探してください。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期の初めに文献輪読を通じて、論文の作成方法等を学んだ後、具体的テーマを設定して、有価証券報告書・社史・関連文献、雑誌記事等の資料を収集し、秋までに全員の共同作業で論文を作成する。

#### 成績評価の方法

平常点ならびにゼミ活動への貢献度によって総合的に評価します。



科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	営B4選				
担当者名	おくむら まさひろ 奥村 正郎				

講義のねらい

近年、少子・高齢化や経済のグローバル化が急速に進展する中で、今後の税のあり方が、その使い途とともに、国民の高い関心事となっている。本演習では、一度は基礎から租税を勉強してみたいと考えている学生、また将来、会計の専門職を目指している学生を対象に、租税のしくみや意義など、基本的事項についての理解を深めてもらうことを目的とする。演習 I では、テキストを中心に現在の租税制度について学んでいくことにする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、租税原則、租税の変遷、相続税等を、後期は所得税、法人税、消費税を中心に行う予定。

履修上の留意点

本演習では簿記会計の知識は必須ではないが、専門職を目指す学生は上級簿記等も受講することを勧める。

成績評価の方法

出席状況、課題等により総合的に評価する。

教科書

速水昇編著『政府の役割と租税』（学文社）2,800円

参考書等

授業を進める中で適宜紹介する。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	営B4選				
担当者名	かねむら えいてつ 兼村 栄哲				

#### 講義のねらい

今日のように社会的な分業体制が成立している経済においては、生産と消費の間にさまざまな隔たりが発生しており、円滑な交換が阻害されていることが少なくない。こうした隔たりは、一般に、経済的懸隔と呼称されている。

経済的懸隔には、①財ないしサービスの生産者と消費者が人格的に分離したことから生じる主体的懸隔、②商品の生産者と消費者が、それぞれ、相手の事情に関する情報を欠如していることから生じる情報の懸隔、③商品が生産される地点とそれが消費される地点が異なることから生じる空間的懸隔、④商品が生産される時点とそれが消費される時点が異なることから生じる時間的懸隔などがある。

マーケティングとは、以上の経済的懸隔を架橋することにより、円滑な交換（の連鎖）を実現し、ひいては、消費者が生産者が生産した商品消費することを可能にする活動をいう。

本演習のねらいは、履修者の一人ひとりが、こうしたマーケティングにかかわる諸現象を体感し、当該現象について自分なりに論理的に説明できるようになることにある。

#### 講義の内容・授業スケジュール

学業面における大学生活の集大成として、各自の問題意識にしたがい卒業論文を作成する。当論文は、A4版用紙1頁あたり1,200字（40字×30行）で25枚以上とする（ワープロ原稿）。

#### 履修上の留意点

- 1 通常の演習のみならず、合宿その他の課外活動にも参加すること。同時に、たんに出席するのではなく、自発的に自分なりの疑問や意見を示すなど、積極的に参加すること。
- 2 お互いの親睦を図ること。
- 3 無断で欠席や遅刻を繰り返したり、病気・就職活動などを理由に欠席や遅刻をしたにもかかわらず、その証明書を持参しない履修者については、卒業論文の最低枚数が増加することもあるので注意すること。
- 4 授業開始後、諸般の事情で履修を取りやめる場合には、必ず事前にその旨を申し出ること。

#### 成績評価の方法

授業態度、卒業論文の内容等を総合的に評価する。

#### 参考書等

適宜紹介する。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	営B4選				
担当者名	なかがわ じゆんぺい 中川 淳平				

#### 講義のねらい

この演習では、企業、そして企業をめぐる社会・経済現象について参加者が多角的な理解が得られるようにしたいと考える。併せて、報告の仕方、文章のまとめ方について習得する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

経営学・経済学の基本的な文献を読み、討論してゆく。文献は開講時にこちらで指定する文献のなかから参加者が適宜選択し、その概要を発表してもらう。さらに、一年間の学習のまとめとして、レポート（小論文）を作成する。

#### 履修上の留意点

多量の文献を読む予定なので、積極的に勉学する、意欲ある学生の参加を望みます。

#### 成績評価の方法

発表や討論の内容、レポート、学習態度によって総合的に評価する。

#### 教科書

開講時に指示します。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	営B4選				
担当者名	服部 昌久 <small>はつどり ますひさ</small>				

講義のねらい

日本経済は大きな変化の渦中にある。さまざまな視点から現状を理解し、将来を展望するとともに、そのあるべき姿を考える。

講義の内容・授業スケジュール

具体的企業を取り上げ、さまざまな角度から企業分析を行うことを通じ、企業経営の一端を理解するとともに、企業をめぐるさまざまな問題、ひいては日本経済の現状を学ぶ。前期、後期とも、それぞれ1～2業種の各数社を対象に、比較分析を行う予定。

履修上の留意点

発表者は1週間前に資料を配布し、他の参加者はそれを十分咀嚼しておくこと。発表者が議論をリードするが、その他の出席者も積極的に意見・疑問を提示するなど、議論に参加し、受身で聴講するという姿勢を取らないでほしい。  
講義の妨げになるので、原則15分以上の遅刻は認めない。

成績評価の方法

演習での活動状況をもって評価する。

教科書

なし。

参考書等

必要に応じて紹介する。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	営B4選				
担当者名	藤原 篤志 <small>ふじわら あつし</small>				

講義のねらい

本演習ではテーマを「企業における生産・技術・労働」としている。ゼミ生各人がこのテーマ・領域に関連して自分の興味・関心のあるテーマを選び、それについて研究を行い、4年のゼミ終了の時点までにゼミ論文を作成・完成させることを最大の目的としている。また授業の中で、ゼミ生には自分の論文の経過・成果についてプレゼンテーション（発表・報告）をしてもらい、それに対する質疑応答や議論・討論を他のゼミ生と活発に行うことにしている。以上のゼミ論文作成、プレゼンテーション、質疑応答、議論・討論を通じて、当該領域の知識を吸収することはもちろん、ゼミ生各人が物事に対して疑問や意見をもち、それらを論理的に思考し、自分の意見を的確に表現することを目指している。

講義の内容・授業スケジュール

4年次でも3年次に引き続き、先述のように各人が論文作成のための研究を進めていく。ただ場合によっては必ずしも論文という形にはこだわらず、一つのテーマ（指定もしくは任意のテーマ）についてのレポート作成を目標にすることもある。授業自体はゼミ生各人によるプレゼンテーション（発表・報告）、質疑応答、議論・討論を中心に行われる。その中で、報告・発表、思考、発言・表現等の能力を養っていく。このような研究報告や議論・討論を活発に効果的に進めるために、ゼミ内に全員が積極的に発言できるような雰囲気を作りたい。それゆえ授業以外のイベント（工場見学、合宿、コンパなど）には全員が参加することが原則である。その他、一層の学習および親睦を深めるためのサブゼミの開講も予定している。

履修上の留意点

中途半端な気持ちで志願する学生には遠慮してほしい。本ゼミでは何よりもやる気のある学生を歓迎する。

成績評価の方法

特に出席を重視。規定の欠席回数に達したものは即除籍にする。その他、ゼミでの報告内容や参加態度も成績評価に入る。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	営B4選				
担当者名	やまだ じゆんべい 山田 純平				

#### 講義のねらい

日本の会計基準は、国際的な調和化を理由に、ここ10年でかなりの変貌をとげてきたといわれる。しかし、国際的な調和化といっても、そもそも世界的に会計基準がどのような方向に向かいつつあるのか、その背景となる考え方はどのようなものか、といったことは十分に検討されているとはいえない。そこで、本講義では、企業会計に関する基礎的な知識を身につけるとともに、国際基準の動向とその基礎概念を考察する。

また、会計基準は実際に運用されてこそ意味があるのだから、現実の財務諸表を分析することを通じて、会計基準の実態面についても合わせて検討をする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

卒業論文の構想やその周辺分野について報告をしてもらう。

#### 履修上の留意点

卒業論文を必ず提出すること。また、ゼミの行事にはできるだけ参加すること。

#### 成績評価の方法

議論への参加度、報告の出来、出席率で評価する。

#### 教科書

授業中に参加者と相談のうえ、決定する。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	営B4選				
担当者名	よだ きよし 依田 聖				

#### 講義のねらい

現代社会は知識社会と言われ、その場合科学技術がその中心に位置付けられている。従って科学技術の創造やマネジメントについて理解しそれをビジネスに結び付けていくこと。すなわちベンチャービジネスや新規事業を起こす機会がいろいろな局面で増加することであろう。理工科系学部ではMOT (Management of technology) 教育に力を入れ始めている。文科系学部出身者もそのような場面を想定して現代科学技術の役割と科学技術のマネジメントを学ぶ必要性が益々高まるであろう。そして科学技術をコアにした競争戦略の策定や事業計画の立案について訓練する必要に迫られる。

本演習では経営戦略や競争戦略の基礎的な事項を整理検討し、自ら科学技術等によるビジネスシーズを探索し、それをもとにビジネスプラン (事業計画) を作成することで、演習のまとめを行っていく。

#### 講義の内容・授業スケジュール

a. 最終的には自ら策定したビジネスプランを発表するため、代表的なプレゼンテーションソフトであるパワーポイント (PPT) の使い方を覚える。b. 科学技術や競争戦略の基本的文献を各自分担して読み、PPTを使い発表・報告し、様々な課題をみんなでディスカッションをしていく。

#### 履修上の留意点

科学技術、ニュービジネス、新規事業開発、起業に興味を持つ学生、熱意のある学生の受講を望む。

#### 成績評価の方法

出席状況、報告発表、レポート等々により、総合的に評価する。  
ビジネスプランの作成とそれをプレゼンするパワーポイントの作成を義務付ける。

#### 教科書

授業中に指示する。

# Ⅲ 他学部履修科目

### Ⅲ. 他学部履修科目

- ①授業時間表の区分「A」の科目を履修する場合は、フレックスAの頁を参照してください。(→P.533)  
 ②他学部履修科目は、3年次以上を対象とします。  
 ③配当学科の( )内の学科生は、他学部履修科目として履修できません。

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
商学総論	他(経B) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心法A政営A34選 他(経B) 法B営B34選	通年	4	大吹 勝男	785
社会思想史 a				休講	
社会思想史 b				休講	
商業政策				休講	
アジア経済論				休講	
社会政策	他(経B) 禅仏国英地文環境歴 日外考心営A34選 他(経B) 営B34選	通年	4	光岡 博美	786
中小企業論	他(経B) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心法A政営A34選 他(経B) 法B営B34選	半期	2	吉田 敬一	786
中小企業政策論	他(経B) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心法A政営A34選 他(経B) 法B営B34選	半期	2	吉田 敬一	787
人口論	他(経B) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心法A政営AGM34選 他(経B) 法B営B34選	通年	4	森岡 仁	788
法思想史	他(法B) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A商政営A34選 他(法B) 経B営B34選	通年	4	高橋 洋城	789
日本法制史				休講	
西洋法制史	他(法B) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A商営A34選 他(法B) 経B営B34選	通年	4	北野 かほる	790
経済法	他(法B) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心営A34選 他(法B) 営B34選	通年	4	荒井 登志夫	791
国際関係論	他(法B) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A商営A34選 他(法B) 経B営B34選	通年	4	三船 恵美	792
地方自治法	他(法B) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A商営A34選 他(法B) 経B営B34選	通年	4	富井 幸雄	793
国際紛争解決法	他(法B) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A商営A34選 他(法B) 経B営B34選	通年	4	王 志安	794
倒産処理法	他(法B) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A商政営A34選 他(法B) 経B営B34選	通年	4	鈴木 貴博	795

科目名	商学総論	開講	通年	単位	4
配当	他（経B）禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政営A34選 他（経B）法B営B34選				
担当者名	おおがき かつお 大吹 勝男				

### 講義のねらい

大学は、「企業に貢献する人材を育成」しなければならない、として大学は社会的要請に応えねばならないというが、その実、社会ではなく、会社・企業のために諸君を育成しろというマスコミや評論家等々、そして学問に背をむけ、それらに迎合する大学人がいます。しかし、大学は君たち自身のためにあり企業のためにあるものではありません。大学で学ぶことは、将来君たちが人間らしく生きるための助けになるものでなければなりません。本学もまた大学である限り、学問の場でなければなりません。いいかえれば、大学においてしか学ぶことのできない、物事の見方、考え方を身につけることです。さらにいうならば、実用的でないもの、すぐには役に立たないもの、これらを学ぶのが大学です。諸君が、悩みに悩み、迷いに迷い、そして考え大人になっていくところが、大学という場です。「即戦力になる人材の育成」をうたい文句にした大学も続々と出現していますが、企業は即戦力が必要ならば、そのような人材を中途採用します。キャリアを積んだビジネスマンから多く聞くことは、学生時代に「学問」をしておくべきであったということです。諸君も、過労死や過労自殺をすることなく、使い捨てのサラリーマンになることのないように、体系的に物事を考える能力を身につけてください。そして、社会人として現実には困難な問題に直面しても、学問をした人間として、大学の卒業生として、きちっと解決のできる人間になってください。本講義では、現代における流通および商業に関する諸現象を科学的に認識するために必要な流通理論および商業資本の理論を講義しますが、それらの知識を習得するとともに、それらを学ぶ過程において体系的な思考方法を習得し、思考能力を高めてください。また本講義は、君たちが履修するであろうマーケティングや商業政策・流通政策を学習するための基礎理論を提供するものでもあります。

### 講義の内容・授業スケジュール

授業内容は下記の項目のようになります。

- (1) 商品論（価値論）・電子マネー
- (2) 生産過程論（労働過程論）
- (3) 流通過程論（資本の流通過程・商品在庫と保管費用・市場と商品輸送）
- (4) 商業資本の本質・機能論
- (5) 商業資本の自立化論・卸売り排除論（中抜き論）
- (6) 商業利潤論
- (7) 商業労働論・ホワイトカラー労働論

### 成績評価の方法

評価は期末試験によるが、授業の予習をかねたレポートの提出も評価します。期末試験では、テキストおよびノートの参照は可とします。しかし、この措置は、私自身、学生時代に非常に疑問に思っていたことでありますが、君たちに、受験生のような暗記の勉強を早く卒業してもらい、十分な準備（学習）をして試験に望んでもらいたいということでもあります。したがって容易に単位が取得できるということを意味しませんから要注意です。

### 教科書

前期 大吹勝男著『流通諸費用の基礎理論』（粹出版社）1,500円  
後期 大吹勝男著『商業資本の基礎理論』（粹出版社）1,500円

科目名	社会政策	開講	通年	単位	4
配当	他(経B) 禅仏国英地文環境歴日外考心営A34選 他(経B) 営B34選				
担当者名	みつおか ぼくみ 光岡 博美				

講義のねらい

最後に私は2006年4月より1年間、琉球大学(沖縄)に留学しました。従って、時間的余裕があれば、現代沖縄の社会・経済問題についても講義したいと考えています。

履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うか、あるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義のなかで指示する。但し、受講者が多い場合は実施できない場合もある。年度末試験については2~3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。なお、再試験は実施しない。

教科書

特にないが、講義の内容と関連して参考書を適時指示する予定である。

科目名	中小企業論	開講	半期	単位	2
配当	他(経B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政営A34選 他(経B) 法B営B34選				
担当者名	よしだ けいいち 吉田 敬一				

講義のねらい

商店街のパン屋さんも中小企業、ハイテク製品を造るベンチャーも中小企業。中小企業は異質で多様な形で存在しています。しかも戦後日本の経済発展において中小企業は意外に大きな役割を果たしてきました。この点に関して自動車工業を事例として明らかにし、中小企業の実態を考えることが、この講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

- I 中小企業の基礎理論、
- I-1 中小企業の法的規定、
- I-2 中小企業の経営類型、
- I-3 中小企業の企業形態、
- I-4 日本型下請構造の特質、
- II 日本型下請システムの形成過程、
- II-1 日本経済復活期の生産分業構造、
- II-2 高度経済成長期の下請管理の合理化、
- II-3 自動車工業の急成長と日本型下請構造の確立、
- II-4 グローバル化と日本型下請け構造の改変、

履修上の留意点

中小企業問題は国際経済・日本経済の動向と密接に絡み合っているため、毎日の新聞に目を通しておくことが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は学期末試験(ノート持込可)を基準とし、追試験は実施します。

教科書

教科書は使用せず、ノート講義の形式で授業を行いません。

参考書等

- 『中小企業白書』
- 吉田ほか編著『産業構造転換と中小企業』ミネルヴァ書房
- 吉田ほか『グローバル化のなかの中小企業問題』新日本出版
- 渡辺ほか『21世紀中小企業論』有斐閣
- 『世界を制した中小企業』講談社現代新書



科目名	中小企業政策論	開講	半期	単位	2
配当	他（経B）禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政営A34選		他（経B）法B営B34選		
担当者名	吉田 敬一				

#### 講義のねらい

この講義は中小企業論の内容を前提として進めます。戦後日本の高度成長を支えた中小企業の革新過程を支援した中小企業政策の特徴を学ぶこと、さらに下請問題・金融問題を取り上げ、中小企業のおかれている立場・条件の劣悪性を明らかにし、経済大国にとどまらず、生活大国を21世紀に建設するための重要課題としての日本の中小企業問題の解決の方向と展望を考えることを主要課題とします。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 復興期の中小企業政策、
- 2 中小企業と不公正取引問題
- 3 高度成長と中小企業近代化政策、
- 4 中小企業政策の大転換、
- 5 経済のグローバル化と中小企業政策

#### 履修上の留意点

中小企業問題は国際経済・日本経済の動向と密接に絡み合っているため、毎日の新聞に目を通しておくことが望ましい。

#### 成績評価の方法

成績評価は学期末試験（ノート持込可）を基準とし、追試験は実施します。

#### 教科書

教科書は使用せず、ノート講義の形式で授業を行ないます。

#### 参考書等

『中小企業白書』  
 吉田ほか編著『産業構造転換と中小企業』ミネルヴァ書房  
 吉田ほか『グローバル化のなかの中小企業問題』新日本出版  
 渡辺ほか『21世紀中小企業論』有斐閣  
 『世界を制した中小企業』講談社現代新書

科目名	人口論	開講	通年	単位	4
配当	他(経B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政営AGM34選 他(経B) 法B営B34選				
担当者名	もりおか じん 森岡 仁				

### 講義のねらい

人口に関わる学問分野は数多く存在するが、とくに経済学との関係から接近しようとするところにこの授業の特徴がある。経済と人口との関係はどちらかが一方的に他に働きかけるというものではなく、互いに作用しあう相互依存の関係にある。1970年代に成立しその後大きな発展を遂げた経済人口学は、この点に注目する人口学の一分野であるが、本講義も経済人口学の立場に立って、経済と人口の相互依存の関係を理論的、実証的に追求する。そこにおいては、日本を含む世界全体の人口について、過去から現在、そして可能な限り将来に及ぶ人口現象にまで論及してみたい。ことに、先進工業諸国に現在共通してみられる少子化と年齢構造の高齢化の問題、さらには2005年から始まった人口減少問題は、わが国においても経済との関係から早急に解決を迫られている関心事であり、将来益々その重要度を高めていく。

一方発展途上諸国に生じている人口増加の問題は、貧困からの脱却のため、あるいは資源・環境の観点からも緊急に解決しなければならない困難な課題を提起している。このようにみえてくると、今や人口問題は地球規模で考え、そして解決していかなければならないことが理解されよう。しかしながら、人口を取り巻く関連分野が広範囲に及ぶことから、はたしてどこまでが人口の問題であり、どこまでが他の分野の問題であるのかを的確に見極めることが重要になってくる。真の人口問題が不明確だとすれば、それに対応する政策も不適切なものにならざるをえない。的確な事実判断の下に適切な政策を施すには、しっかりとした理論的知識を備えていなければならない。ここでは、経済人口学の成立と発展の過程を辿ることによって、人口理論の基礎的知識を養い、政策論にも言及してみたい。

この授業では人口という眼鏡を通じて経済をじっくりと眺めることによって、一人でも多くの学生諸君が人口に関心を抱くようになってほしいと考えている。なぜなら近年の先進諸国においては子供を公共財的に扱う傾向があり、人口問題が国民一人一人の問題になっているからである。

### 講義の内容・授業スケジュール

- I. 経済人口学の生成と発展
- II. 日本の人口と経済発展
- III. 人口高齢化の経済的諸問題
- IV. 人口政策

### 履修上の留意点

履修に当たっての条件というものはとくに無いが、近年大きな関心事になっている人口の“高齢化”や“少子化”に関する知識を、どのような手段をつうじてでも良いから得ておくことが望ましい。

### 成績評価の方法

学年末の定期試験、出席状況。

### 教科書

大淵 寛・森岡 仁『経済人口学』(新評論)1981年、2,800円、1033-330172-3177  
大淵 寛・森岡 仁『人口減少時代の日本経済』(原書房)2006年、2,800円

### 参考書等

大淵寛『少子化時代の日本経済』(日本放送出版協会)1997年、4-562-09112-6  
阿藤誠『現代人口学』(日本評論社)2000年

### その他

授業の方法：講義

科目名	法思想史	開講	通年	単位	4
配当	他（法B）禅仏国英地文環境歴史外考社福心経A商政営A34選 他（法B）経B営B34選				
担当者名	たかはし ひろき 高橋 洋城				

### 講義のねらい

法に関する概念や用語が生まれてきた歴史的、哲学的背景や世界観に遡って検討するのが法思想史の役割である。これには二つの側面がある。一つは、中核的な概念の由来や変遷を知ることにより現代法を形成する要素の理解を深めることである。しかし同時に、様々な思考様式に触れることによって近代的思考を相対化し、実はそれが或る特殊な一様式なのだということが自覚する、ということも重要である。

なお題材はヨーロッパの法思想史にほぼ限定される（東洋および日本固有の法思想を扱うことはできない）。講義の理解のためには、最低限の世界史的知識が必要だが、講義時間内においてはそこに時間をさくことはではないので、そうした点について不安のある受講者は自学自習して講義に臨んでもらわねばならない。また20世紀以降の法理論史については本講義ではとりあげず、むしろ法哲学講義の方で扱うことになるのでそちらを参照されたい。

### 講義の内容・授業スケジュール

以下に掲げる時系列に沿った講義を柱とし、その過程でいくつかの重要な法概念については、時代横断的な考察をも交えていく。

#### 第 I 部 古典的自然法論とその背景的世界像

- [1] 講義のねらい、対象、重点、注意事項などについて / プラトンの法思想：『国家』を中心に考察する
- [2] アリストテレスの法思想：アリストテレス哲学の基礎理論を考察する
- [3] アリストテレスの法思想（続）：正義論、政治体制論を中心に考察する
- [4] キリスト教とローマ法：ヨーロッパの法律学・法思想を規定してきたキリスト教およびローマ法に由来する諸概念・思想について概説的な紹介を行なう。
- [5] 中世自然法論：トマス・アクィナスの自然法論を中心に論ずる。題材は主として『神学大全』に拠る。

#### 第 II 部 近代自然法論の思想

- [6] 近代的世界像と社会契約説総説
- [7] ホッブズの法思想：『リヴァイアサン』を中心に考察する
- [8] ロックの法思想：『統治論』を中心に考察する。また特に、所有権論史におけるロック所有権論の意義に着目する
- [9] ルソーの法思想：『社会契約論』『不平等起源論』を題材に考察する / 近代自然法論まとめ
- [10] カントの哲学と法思想 批判哲学の意義とその法理論への展開を考察する。特にカントに於ける「公論」の意義を検討する

#### 第 III 部 19世紀以降の法思想・法律学の潮流

- [11] 近代市民社会の思想：18世紀～19世紀の自然法論の果たした役割、およびヘーゲル法哲学について論ずる
- [12] 19世紀の法律学の動向：歴史法学・概念法学についてとりあげる。
- [13] 概念法学批判
- [14] 法実証主義の諸形態
- [15] 現代法理論の動向

### 履修上の留意点

とりあげる著作の原文抜粋を中心とした資料をあらかじめ配布し、これに基づいて説明を加える形式で講義を進める。受講者は少なくとも資料の該当箇所を事前に読んだ上で講義に臨むことが要求される。

### 成績評価の方法

年度末の定期試験と平常点によって評価する。平常点には小テスト、課題レポート等が含まれるが、これらは加算点にのみ用いる（定期試験のみを受験するのでもかまわないということ）。

### 教科書

教科書としては特定の書籍を指定しないが、講義の理解を深めるため、法思想史全般の概観ができる図書を手元に置き、予・復習に役立てることを推奨する。次項の参考図書参照。

参考書等

法思想史に関する概説書の例として  
 ・三島淑臣『新版・法思想史』（青林書院）4,854円：講義内容をさらに深く掘り下げて勉強したい場合に有益であろう。  
 ・田中成明他編『法思想史』（有斐閣Sシリーズ）1,800円：法思想史の流れを大まかにつかみ整理するのに役立つだろう。  
 講義開始時に、上記の他にもいくつかの概説的な入門書について、それぞれの特徴などを紹介するが、書店・図書館などで手に取ってみて自分にあったものを選ぶと良いと思う。また講義でとり上げる思想家の著作原著については、そのつど指示する。

科目名	西洋法制史	開講	通年	単位	4
担当	他（法B）禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商営A34選		他（法B）経B営B34選		
担当者名	北野 <small>きたの</small> かほる				

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1部 総論
  - 第1章 法制史学概説
    - 第1節 法制史学の方法と対象
    - 第2節 法制史学の目的と効用
    - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
  - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
    - 第1節 時間的範囲
    - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
  - 第1章 古代
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造
    - 第3節 法構造
  - 第2章 中世（1066-1350）
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造 封建制
    - 第3節 統治構造 封建制の解体
    - 第4節 法構造
  - 第3章 近世（1350-1650）
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造
    - 第3節 統治構造
    - 第4節 法構造

履修科目

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

年度当初に指示する。

その他

一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度は講義内容を大幅に変更するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

科目名	経済法	開講	通年	単位	4
配当	他（法B）禅仏国英地文環境歴日外考社福心営A34選 他（法B）営B34選				
担当者名	荒井 登志夫 <small>あらい としお</small>				

#### 講義のねらい

規制緩和・グローバル化の下で、独占禁止法を中心とする経済法の分野はますます重要性を増し、近年、相次いで法改正が行われている。本講では、独占禁止法を中心に、景品表示法、下請法及び官製談合防止法の規定を、①我が国の経済構造、取引実態を具体的に説明し歴史的視点も取り入れながら、②法律の規定を平易に解説しつつ、③ホットで具体的な適用事例を挙げて説明して行く計画である。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1～3 講義方針、基礎概念、歴史 4～5 私的独占 6～10 不当な取引制限、官製談合防止法、課徴金 11～14 不公正な取引方法 15～17 景品表示法 18～19 第四章規定（一般集中、市場集中） 20 寡占規制 21～23 公正取引委員会、手続規定、罰則 24 国際的環境 25～26 事例研究、まとめ

#### 履修上の留意点

講義に出席しないと理解できないと思われるため、できる限り出席されたい。

#### 成績評価の方法

成績評価は、試験 7 割、出欠及びレポート提出 3 割の割合で評価し、合算するものとする。

#### 教科書

「経済法」（第 5 版・荒井大太郎・向田直範）ほか・有斐閣アルマ

#### 参考書等

「独占禁止法（第 2 版）」（金井貴嗣・川濱昇ほか・弘文堂）  
 根岸哲・杉浦市郎『経済法』（法律文化社）  
 根岸哲・舟田正之『経済法概説』（有斐閣）  
 丹宗暁信・岡田外司博ほか『新現代経済法入門』（法律文化社）  
 「経済法」（鈴木満・深雪・尚学社）

#### その他

レジュメを配布する。六法を必ず持参のこと。

科目名	国際関係論	開講	通年	単位	4
配当	他(法B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 商営A34選		他(法B) 経B 営B34選		
担当者名	三船 <sup>みふね</sup> <sup>えみ</sup> 恵美				

#### 講義のねらい

国際関係論の基本的な概念や理論、国際機構、現代国際関係の枠組み、国際関係における諸問題などについて講義します。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

1. イントロダクション
2. 国際関係のアクター
3. 国際関係の分析視角
4. 日本の領域と日韓関係
5. 日本の領域と日中関係
6. 国益とパワー
7. 安全保障の概念と類型
8. 人間の安全保障とODA外交
9. 国連と日本
10. 《9・11》以後のアメリカ外交：テロ・WMD・MD
11. 北朝鮮問題と国際関係
12. 日米同盟と米中関係・日中関係
13. 中央アジアをめぐる多国間協議と中露関係：CIS・EAES・SCO・CICA
14. APEC、ARF、「1+10」、東アジア共同体構想
15. AUの枠組み・ルワンダ・ダルフルからみる国連の限界
16. EUの枠組み・EU拡大とその影響
17. イラン問題
18. 地球環境問題をめぐる政治と経済
19. リアリズム
20. ネオ・リアリズム
21. ゲーム理論
22. リベラリズム
23. ネオ・リベラリズム
24. マルキシズム
25. グローバル・ガバナンス論、デモクラティック・ピース論、平和研究
26. #2～9、19～25のクイズ(=小テスト)
27. クイズの解説
28. 総括

#### 履修上の留意点

テストを欠席した場合にレポートは課しません。配布物は、理由の如何に関わらず、一度しか配りません。欠席した場合の授業内容は、各自の責任で補って下さい。

#### 成績評価の方法

試験(100%)。

#### 教科書

『グローバル社会の国際関係論』山田高敬、大矢根聡編(有斐閣)2,000円 ISBN4-641-1732-5-7  
天児慧『中国・アジア・日本』ちくま新書、2006年、700円+税。

科目名	地方自治法	開講	通年	単位	4
配当	他(法B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商営A34選 他(法B) 経B営B34選				
担当者名	とみい ゆきお 富井 幸雄				

#### 講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

#### 成績評価の方法

前期試験(40%)と学年末試験(60%)で総合的に評価する。

#### 教科書

開講時に指示します。

#### 参考書等

『地方自治判例百選(第2版)』(別冊ジュリスト)。  
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』(良書普及会)は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』(岩波書店)、同他『概説日本の地方自治』(東京大学出版会)は必読。

#### その他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法(『地方自治小六法』(学陽書房)があるがポケット六法でよい。)は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成19年度版以降を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両方分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科目名	国際紛争解決法	開講	通年	単位	4
配当	他（法B）禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商営A34選 他（法B）経B営B34選				
担当者名	おう しあん 王 志安				

#### 講義のねらい

国際法における紛争処理の様々な手段について、それぞれの形態、機能、限界及び適用可能性を把握し、国際紛争解決の法的仕組みを理解する。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

国際紛争の処理を具体的な法制度、手続きの側面から取り上げ、一回の講義で一つの課題を絞り、それぞれ制度の展開、機能及び事例検証の形で説明する。前期では、国際紛争の基本構造、紛争解決手段の基本的枠組みを講義した上で、外交的手段による紛争解決、国連における紛争解決及び世界貿易機構（WTO）の紛争処理制度を取り上げる。具体的には、国際義務違反の責任形態、紛争の平和的解決の意義、交渉、仲介、国際調査及び調停といった制度の展開及び適用、国連における紛争処理の制度的展開及び現状、そしてWTOの紛争処理制度の発展、手続き及び制度の意義を講義する。後期では、仲裁裁判及び国際司法裁判を取り上げる。具体的には、国際裁判の史的展開、仲裁裁判制度の確立及びその手続き、国際商業仲裁の現状、国際司法裁判所の組織、管轄権、適用法規則、手続規則などを講義する。

#### 履修上の留意点

参考資料を適宜に配布し、教科書の内容を補足しながら講義を進めていく。power point で講義を進める。簡潔な聴講ノートは、下記のホームページから入手できる。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm>

#### 成績評価の方法

年末の筆記試験によって評価する。ただし、前期小テストと出席状況も成績を評価する際に考慮される。

#### 教科書

大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版（下）（東信堂）2002年 2,000円

#### 参考書等

市販されている国際条約集及び国際判例集。これらにつき開講時に詳しい情報を提供する。

#### その他

授業は主として講義方式で行うが、判例の分析につき学生のまとめ報告を求めることもある。

板書のかわりに、powerpoint を利用した講義を行う。



科目名	倒産処理法	開講	通年	単位	4
配当	他（法B）禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商政営A34選 他（法B）経B営B34選				
担当者名	すずき たかひろ 鈴木 貴博				

講義のねらい

破産法を中心に倒産法制の概要とその基本事項に関する理解を深める。

講義の内容・  
授業スケジュール

倒産処理手続は、債務者、債権者、担保権者など多数の利害関係人の利益が錯綜する。そのため、手続の基準は債権者の平等な取扱いや社会経済上の不利益の回避といった要請に応え、多数の利害関係人を納得させるように機能することが期待される。このような手続の必要に伴う法律関係の修正・変更について手続の概要とともにまなんでいくことにする。

- |                 |             |
|-----------------|-------------|
| 1. 倒産法制の概観      | 6. 財団再建・取戻権 |
| 2. 破産原因・破産能力    | 7. 破産手続の主体  |
| 3. 破産申立てと破産宣告手続 | 8. 否認権・配当   |
| 4. 別除権・相殺権      | 9. 免責・破産犯罪  |
| 5. 破産財団をめぐる法律関係 |             |

履修上の留意点

民事法関連科目（民法・商法・民事訴訟法など）を履修済みであることが望ましい。その他、受講にあたって必要なことは開講時に指示する。

成績評価の方法

簡単なレポートと定期試験の総合評価により行う。

教科書

徳田和幸『プレップ破産法』第3版（弘文堂）2005年 1,260円

参考書等

山本和彦『倒産処理法入門』第2版（有斐閣）2005年 2,100円

伊藤真『破産法』第4版（有斐閣）2005年 4,200円

青山善充・伊藤真・松下淳一編『倒産判例百選』第3版（有斐閣）2005年 2,730円